

No.

神戸市

使用者名

神戸市建築・設備積算システム Ver.2

〈電気設備工事編〉

〈取扱説明書〉

平成 25 年 03 月 作成
平成 26 年 02 月 改訂 1
平成 26 年 10 月 改訂 2
平成 27 年 03 月 改訂 3
平成 27 年 08 月 改訂 4
平成 28 年 06 月 改訂 5
平成 28 年 08 月 改訂 6
平成 29 年 06 月 改訂 7
平成 30 年 06 月 改訂 8
令和 元年 06 月 改訂 9

神戸市

目次		<i>Page</i>
1	セットアップの前に	
	1 動作環境について	1
2	神戸市建築・設備積算システムのセットアップ	
	1 セットアップ時の注意事項	2
	2 セットアップの手順	2
	3 セットアップ後の認証について	9
	4 Microsoft Access データベースエンジンのインストール	10
	5 削除の手順	12
3	神戸市建築・設備積算システムへのログイン	
	1 ログイン時の[ユーザーID]と[パスワード]について	14
	2 ログインの手順	14
4	神戸市建築・設備積算システムの基本操作	
	1 ツリービュー表示について	17
	2 画面表示について	
	1 メインメニュー画面（「5. メインメニュー」<本書 P37>を参照）	18
	2 当該単価登録画面（当該基礎/名称変更代価/補足単価/代価等）	18
	3 内訳明細登録画面	19
	3 ツリービューの操作について	
	1 基本事項	20
	2 フォルダー・シートの新規作成	20
	3 フォルダー・シートの複写（コピー）	21
	4 フォルダー・シートのプロパティ設定	23
	5 フォルダー・シートの移動	24
	6 フォルダー・シートの削除	25
	4 一覧入力時のツールボタン	27
	5 単価コードについて	28
	6 内訳明細・代価の計算コードについて	29
7 端数処理について	30	
8 コードの検索機能	31	
9 パターンコピー機能	32	
10 内訳書データベースの最適化	36	

		目次	<i>Page</i>	
5		メインメニュー		
	1	メインメニュー画面の表示項目について	37	
	2	メインメニューの機能について		
		1	環境設定(基本設定)	38
		2	積算システムのアップデート(不具合修正・部分的な変更の発生時)	39
	3	積算基準改定に伴う表示について	40	
6		内訳書の新規作成/保存・読み込み		
	1	内訳書の新規作成	41	
	2	内訳書の保存		
		1	名前をつけて保存	42
		2	上書き保存	43
		3	バックアップ保存	44
		4	保存先フォルダーの既定値の設定	45
	3	内訳書の金抜き保存	46	
	4	内訳書の読み込み		
		1	内訳書の読み込み	49
		2	内訳書の読み込み先フォルダーの既定値の設定	51
		3	内訳書ファイルの追加登録	52
		4	読み込み先フォルダーの全内訳書ファイルを再登録	53
		5	新しい内訳書管理ファイルの追加	54
		6	内訳書情報の更新	55
		7	内訳書の読み込み時にメッセージが表示されて読み込み処理が中断する場合	55
	5	内訳書の金入れ処理	56	
7		内訳書作成要領		
	1	使用単価ファイルの設定		
		1	使用単価ファイルの設定	58
		2	配布単価のインストール(複写)	60
		3	積算基準改定に伴う表示について	62
	2	設計書(甲表)の作成		
		1	設計書(甲表)の作成	63
		2	設計書(甲表)の Excel 編集	64
		3	積算基準改定に伴う表示について	65
		4	甲表ファイル差し替え	66
3	工事概要の入力			
	1	工事概要の入力	67	

		目次	Page	
7	3	2 積算基準改定に伴う表示について	69	
	4	消費税率の設定		
		1	消費税率の設定	70
	5	当該単価(6 頭コート)・複合単価 (7 頭コート) 登録・再計算		
		1	当該単価登録画面の表示	71
		2	単価登録シートの基本設定	71
		3	当該基礎単価の登録～見積り比較	72
		4	当該基礎単価→複合単価の登録	75
		5	見積りメーカー数の変更(ルートプロパティの設定)	79
	6	当該見積メーカー登録		
		1	当該見積メーカー登録画面の表示	80
	7	当該歩掛集計表登録・再計算		
		1	当該歩掛集計表登録画面の表示	83
		2	単価登録シートの基本設定	83
	8	3	盤類歩掛集計表の登録	84
		標準代価(8 頭コート)・複合単価 (9 頭コート) 登録・再計算		
		1	当該標準代価登録画面の表示	88
		2	単価登録シートの基本設定	88
		3	配線器具代価の登録	90
4		土工事代価の登録	93	
5		搬入費代価の登録	96	
6		はつり・復旧費代価の登録	99	
7		撤去費歩掛集計表の登録	102	
8		基礎工事代価の登録	105	
9		レースウェイ代価・メタルモール代価・ライティングダクト代価・ フロアダクト代価・ケーブルラック代価の登録	108	
10		配管支持材代価の登録	111	
9	11	共通代価の登録	114	
	12	当該標準代価→複合単価の登録	117	
	共通費の入力			
	1	共通費の入力画面の表示	121	
	2	既定の設定(平成 24 年度以降積算基準に基づいた設定)	121	
10	3	共通仮設工事費積上げによる明細の入力	123	
	4	現場・一般管理費積上げによる明細の入力	123	
	5	共通費計算の確認	124	
10	内訳書の入力・再計算			
	1	内訳書の入力・再計算画面の表示	125	
	2	既定の設定(平成 24 年度以降積算基準に基づいた設定)	125	

		目次	<i>Page</i>	
7	10	3 内訳集計項目(工事項目)の編集	126	
		4 内訳明細の編集	129	
		5 内訳明細 直接工事費の合計行の追加	132	
		6 共通費の按分について	133	
		7 コード検索	136	
		8 シートに数量を付加	137	
		12	一括再計算	138
		13	単価表・内訳明細の印刷	
		1	印刷画面における基本操作(各種印刷画面共通)	139
		2	印刷帳票の Excel 出力	140
		3	当該単価表印刷	141
		4	当該見積メーカー一覧表印刷	142
	5	当該見積比較表印刷	143	
	6	歩掛集計表印刷	144	
	7	当該標準代価表印刷	145	
	8	内訳明細書の印刷	146	
	9	共通仮設明細の印刷	148	
	10	単価種別・専門データ印刷(オプション印刷)	149	
	11	数量公開書印刷(オプション印刷)	150	
8		設計変更書作成要領		
	1	内訳書の確定処理～使用単価ファイルの設定		
		1 内訳明細書の確定処理	151	
		2 設計変更時の使用単価ファイルの設定	153	
	3	設計変更時の消費税率の設定	153	
		請負金額の入力～落札率の算出		
	1	請負金額の入力及び落札率の算出方法の設定	154	
		2 【参考】請負金額算出根拠表の印刷	155	
	3	当該単価(6頭コート)・複合単価(7頭コート)登録・再計算【設計変更】		
		1 設計変更時の当該単価・複合単価登録	157	
		2 設計変更時の見積単価変更処理	157	
	4	当該歩掛集計表登録・再計算【設計変更】		
		1 設計変更時の当該歩掛集計表登録	160	
		2 歩掛の設変	161	
	5	標準代価(8頭コート)・複合単価(9頭コート)登録・再計算【設計変更】		
1 設計変更時の標準代価登録		163		
	2 代価の設変	164		

操作目的別索引

※この操作順序・方法は、1つの標準的な参考です。

※()は、参照ページを示します。

I. 内訳書を作成する前に

・(P60～P61)神戸市標準単価等を、システムで読込むため、パソコンへ保存する。

II. 作業を途中で中断・保存したいとき

・内訳書ファイルを新規作成した場合 : (P42)内訳書の名前をつけて保存を行う。

・既存の内訳書ファイルを編集した場合 : (P43)内訳書の上書き保存を行う。

III. 内訳書の新規作成・編集 ～ 保存まで

- ① (P14～P16)積算システムを起動し、ログインを行う。
- ② (P41)内訳書の新規作成を行う。
※ 既存の内訳書ファイルの編集を行う場合は、内訳書ファイルの読み込みを行う。(P49～P55)
- ③ 工事概要の入力を行う。(新規作成時は P42) (既存のファイルの編集時は P67～P69)
- ④ (P63～P66)設計書(甲表)を作成する。
- ⑤ (P28:基本情報)単価コードについてを参照。
- ⑥ (P58～P62)適用する単価ファイルを設定する。(基礎単価・標準単価・補足単価・歩掛)
- ⑦ (P19～P35:基本情報) (P125～P128:実践)内訳項目(種目・科目・中科目…)を設定する。
- ⑧ (P18, P20～P35:基本情報) (P83～P87:実践)当該歩掛を登録する。
- ⑨ (P18, P20～P35:基本情報) (P80～P82:実践)当該見積メーカを登録する。(登録しなくても可)
- ⑩ (P18, P20～P35:基本情報) (P71～79:実践)当該単価(6 頭コード)・複合単価 (7 頭コード)を作成する。
- ⑪ (P18, P20～P35:基本情報) (P88～P120:実践)標準代価(8 頭コード)・複合単価 (9 頭コード)を作成する。
- ⑫ (P18, P20～P35:基本情報) (P121～P124:実践)共通費の入力を行う。
- ⑬ (P19～P35:基本情報) (P125～P137:実践)内訳書の入力を行う。
※⑧～⑬において、前工程の登録不足や間違いがあれば、適宜前工程に戻って作業を行う。
- ⑭ (P138)一括再計算を行う。(設計事務所版では金抜きのため、実質正確な金額の処理はされないが、項目の最終設定のため推奨。)
- ⑮ (P139～P150)単価表・内訳書の印刷を行う。
(数量公開書の印刷は P150(7-13-11)を参照。但し表紙の様式は本システムにありません。)
- ⑯ (P42～P43)内訳書の保存を行う。
(設計事務所等の場合、このデータを記録媒体に保存して納品。)

【注意】

不測の事態に備え、⑯に至るまでの作業途中においても、内訳書の保存処理を適宜行うことを推奨。

操作目的別索引

IV. 設計事務所等に入力を委託 ～ 委託先から納品されたデータを使用して内訳書を作成する

- ※ 本製品のインストール CD-ROM 及び取扱説明書を、必要に応じて設計事務所等に貸し出すこと。
- ※ 金抜き配布単価ファイルが入力作業時に必要なので、設計事務所等に渡すこと。
- ① 作成済の金入り内訳書の内容の変更を委託する場合は、(P46～P48) 金抜き保存をし、作成された金抜き内訳書ファイルを設計事務所等に渡して入力を委託する。
※ 新規の内訳書データの作成を委託した場合は②から。
- ② (P52) 納品された内訳書データの追加登録を行う。
- ③ (P49～P57) 内訳書の読み込みを行う。
- ④ (P56～P57) ①にて金抜き内訳書を渡して入力を委託した場合は、金入れ処理を行う。
※ 新規の内訳書データの作成を委託した場合は④の金入れ処理は不要。
- ⑤ (P63～P66) 設計書(甲表)の入力を行う。(不足情報の追加・修正等)
- ⑥ (P67～P69) 工事概要の入力を行う。(不足情報の追加・修正等)
- ⑦ (P58～P62) 適用する単価ファイルを設定する。(基礎単価・標準単価・補足単価・歩掛)
(その他、Ⅲ. の操作の環境設定について設定変更があれば適宜変更する。)
- ⑧ (P18, P20～P35: 基本情報) (P121～P124: 実践) 共通費の入力を行う。
(設計事務所版では、制限により共通費の計算は行いません。)
※ Ⅲ. の⑧～⑬の作業が、適宜必要。
- ⑨ (P138) 一括再計算を行う。
- ⑩ (P139～P150) 単価表・内訳書の印刷を行う。
(数量公開書の印刷は P150(7-13-11)を参照。)
- ⑪ (P42～P43) 内訳書の保存を行う。

【注意】

不測の事態に備え、⑪に至るまでの作業途中においても、内訳書の保存処理を適宜行うことを推奨。

V. 設計変更の内訳書を作成する

- ② P151～P156) 原設計の確定処理・概要作成。
- ② 設計変更単価コードの作成。(Ⅲ. の⑧～⑪及び P157～P165の作業により、設計変更単価コードを入力)
- ③ (P18, P20～P35: 基本情報) (P121～P124, P166: 実践) 共通費の入力を行う。(設計変更明細を入力)
- ④ (P19～P35: 基本情報) (P125～P137, P167: 実践) 内訳書の入力を行う(設計変更内訳明細を入力)
- ⑤ (P138) 一括再計算を行う。
- ⑥ (P106～118) 単価表・内訳書の印刷を行う。
- ⑦ (P139～P150) 内訳書の保存を行う。

【注意】

不測の事態に備え、⑦に至るまでの作業途中においても、内訳書の保存処理を適宜行うことを推奨。

操作目的別索引

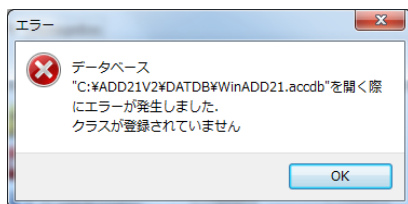
Ⅵ. 各種機能について

- 現在ある内訳書を使って、別の内訳書を作成したい。
→(P170・Q16)「既存の内訳書ファイルの内容を利用して、他の工事の内訳書を入力したい」を参照。
- 設計変更で確定処理済みの原設計の内訳書ファイルを再度編集したい。
→(P171・Q26)「名前をつけて保存」により別ファイル名で保存すると確定情報が外れた状態の同じ内容のファイルが作成できる。
- 共通費の按分計算をしたい。
→(P133～P135)共通費の按分についてを参照。

Ⅶ. トラブルが発生したとき

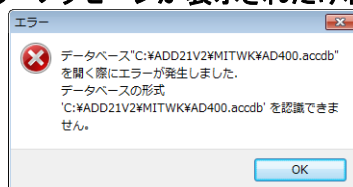
- 正常にインストールができない。
→対処①(P1)セットアップについて参照。

→対処②管理者と標準ユーザーの権限を分けている環境において、標準ユーザーに対してアプリケーションのインストールを制限していることにより本製品のインストールが正常にできない場合は、各所属のコンピュータ管理者に連絡して指示を受けて下さい。
※ セットアップ CD-ROM に関するよくある質問は、P168 の Q4・Q5 を参照。
- 積算システムのインストールは正常にできたはずなのに、下図のようなメッセージが表示されて起動しない。



→(P10) Microsoft Access データベースエンジンのインストールを参照

- 動作が不安定である。
→(P169・Q14)一時的に動作が不安定になっている可能性があるため、積算システムを終了し、コンピュータを再起動して動作確認を行う。
- アップデートプログラムが配布されたけれど、どうしたらよいか？
→(P39)積算システムのアップデートを参照。
- 作業中に下図の例のようなエラーメッセージが表示されたけれど、どうしたらよいか？



→(P36)内訳書データベースの最適化を参照。

セットアップの前に

動作環境について

* セットアップを実行する前に、次の環境で正常動作していることを確認して下さい。

【動作環境】

- パーソナルコンピュータの OS (オペレーティングシステム) が、Windows7 (SP1 以降)、Windows 8.1、Windows10 (バージョン 1607 以降) (いずれも 32 ビット版/64 ビット版とも対応) の何れかで正常動作していること。
- CD-ROM ドライブ (DVD/BD ドライブ等を含む) が使用可能であること (セットアップ作業で必要)。
- Microsoft Excel 2010 SP1 (サービスパック 1) 以降/2013、2017 (何れも 32 ビット版のみ) の何れかがインストールされていること。

【注意】

- ※ Windows の各 OS のバージョンについても、新元号 (令和) に対応させるために最新の更新プログラムを適用した状態にしておいて下さい。新元号に対応していない状態の場合は、工期の計算や帳票の印刷に支障をきたします。
(令和元年 (2019 年) 5 月以降に Windows Update を実行し、最新の状態にしておいて下さい。)
- ※ Office2007 以前の Microsoft Office は、新元号 (令和) に対応していないため、本システムも対応していません。
- ※ 64 ビット版の Microsoft Office には対応していません。
- ※ Office2010 をご使用の場合、必ず SP1 以降にアップデートして下さい。サービスパック未適用の場合、エラーが発生する場合があります。
- ※ 各製品のサービスパックの入手方法及び適用手順の詳細につきましては、インターネットでマイクロソフト社のサイトのサポートページをご確認下さい。
- インストール先のディスクが、本製品のプログラム用として 600MB 以上の空き容量が確保できること。
 - ※ 別途、データ保存のための空き容量が必要。(1 ファイル当り、小規模工事で 4MB 程度、再開発や学校建設等の大規模工事で 16MB~19MB 必要。入力したデータ行数により変化します。)
 - ※ Windows を安定動作させるためには、システムドライブ (C ドライブ) の空き容量が 10GB 程度あることが望ましい。
- 印刷可能なプリンタが設定されていること (モノクロ・カラーどちらでも可)。
- 上記の OS 及び Office のバージョンよりも古い製品は、マイクロソフト社のサポートが終了したため、新元号の対応ができないため、本システムも動作対象外の環境といたします。

【インストール時の条件】

- 初回インストール時は、管理者権限 (Administrator) でログオンしていること。
 - ※ 平成 25 年 10 月現在における神戸市統合管理システム上の PC では必ずしも必要ではありません。運用基準の変更によりセキュリティ制限が厳しくなった際は管理者権限 (Administrator) でログオンの上、インストール作業を行って下さい。
- ウィルス対策ソフトウェアが常駐監視 (「リアルタイム保護」・「リアルタイム検索」等) している場合、環境により本製品のセットアップ プログラムを正常に実行できない場合があります。その際は、ウィルス対策ソフトウェアの常駐監視を一時的に解除し、セットアップが終了した後で常駐監視を再開して下さい。

※セットアップ CD-ROM は、技術管理委員会事務局から配布されたものを使用して下さい。必要枚数が不足している場合や正しく読み込みが出来ない場合は、技術管理委員会事務局 (設計事務所等の方は神戸市設計担当者) にお問い合わせ下さい。

※セットアップ CD-ROM は、信号面に傷や指紋等の汚れを付けないよう丁寧に取り扱いして下さい。

2

神戸市建築・設備積算システムのセットアップ

1

セットアップ時の注意事項

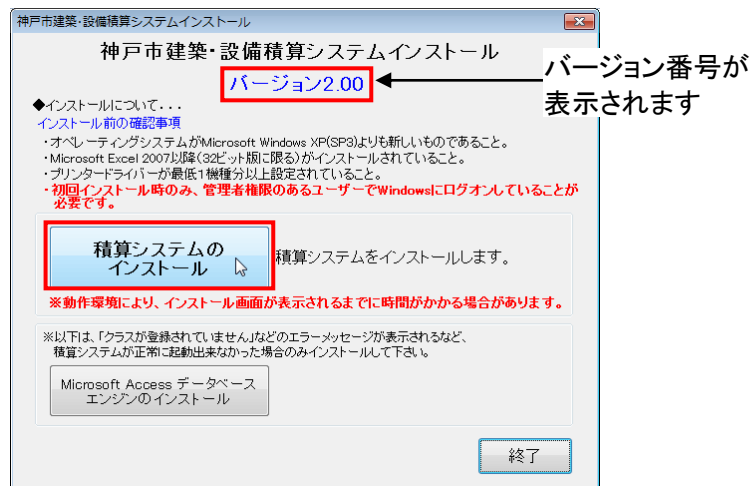
- ※ウイルス対策ソフトウェアをご使用の場合は終了または常駐監視を一時的に解除してからインストールして下さい。(推奨)
- ※ウイルス対策ソフトウェアが常駐監視(「リアルタイム保護」・「リアルタイム検索」等)している場合、環境により本製品のセットアップ プログラムを正常に実行できない場合があります。その際は、ウイルス対策ソフトウェアの常駐監視を一時的に解除し、セットアップが終了した後で再び常駐監視を再開して下さい。
- ※本製品のセットアップを始める前に実行中の全てのアプリケーションを終了して下さい。

2

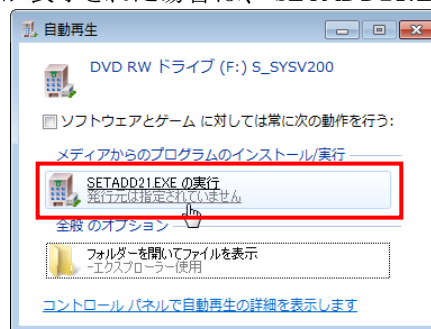
セットアップの手順

本製品をセットアップするには以下の操作を行います。

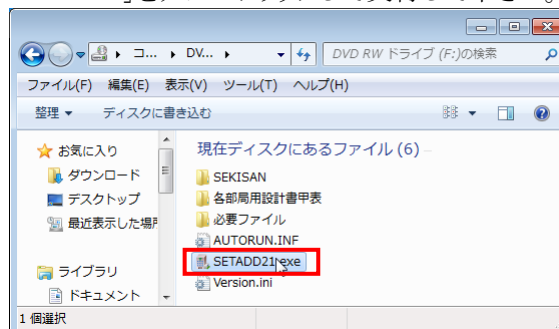
- 1) 本製品のセットアップ CD をドライブに挿入すると、インストールメニューが表示されます。バージョン番号を確認の上、[積算システムのインストール]ボタンをクリックして下さい。



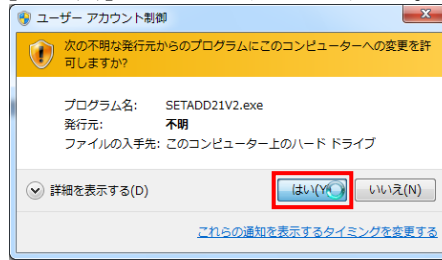
- ※ [積算システムのインストール]ボタンをクリック後、動作環境によっては次の画面が表示されるまでしばらく時間がかかって画面に変化が無く進捗していないように感じる場合がありますが、しばらくお待ち下さい。
- ※ 下図のような画面が表示された場合は、「SETADD21.EXE の実行」をクリックして下さい。



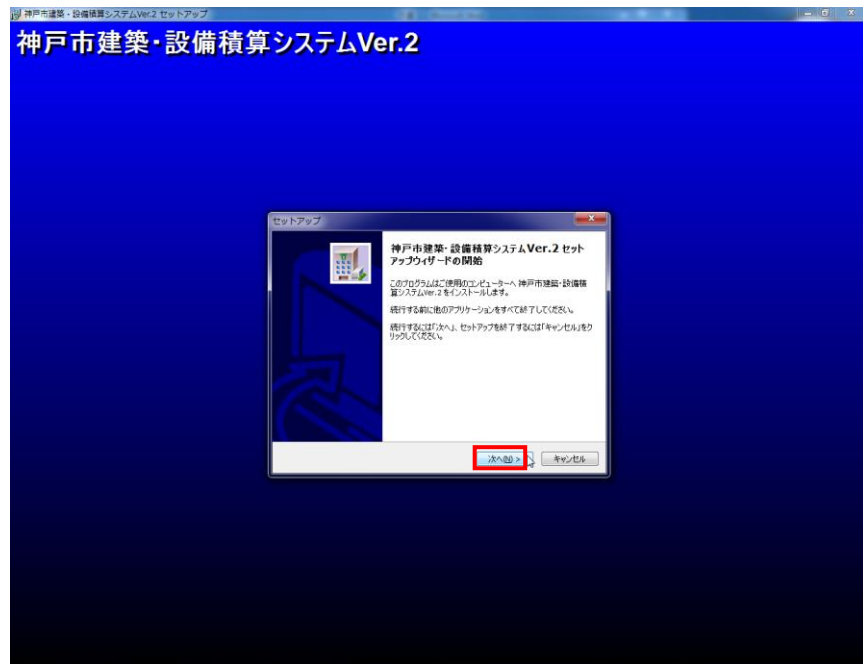
- ※ リムーバブルメディア (CDドライブ含む) の自動再生機能が無効になっている場合、インストールメニューは自動的に表示されません。その場合は、エクスプローラーで CD ドライブを開き、「SETADD21.exe」をダブルクリックして実行して下さい。



- 2) OS が Windows 7 以降の動作環境の場合、ユーザーアカウント制御画面が表示される場合がありますので、[はい(Y)]ボタンをクリックして下さい。



- 3) セットアップウィザードの開始ダイアログ画面の[次へ(N) >]ボタンをクリックして下さい。



- 4) [インストール先の指定]ダイアログ画面が表示されます。

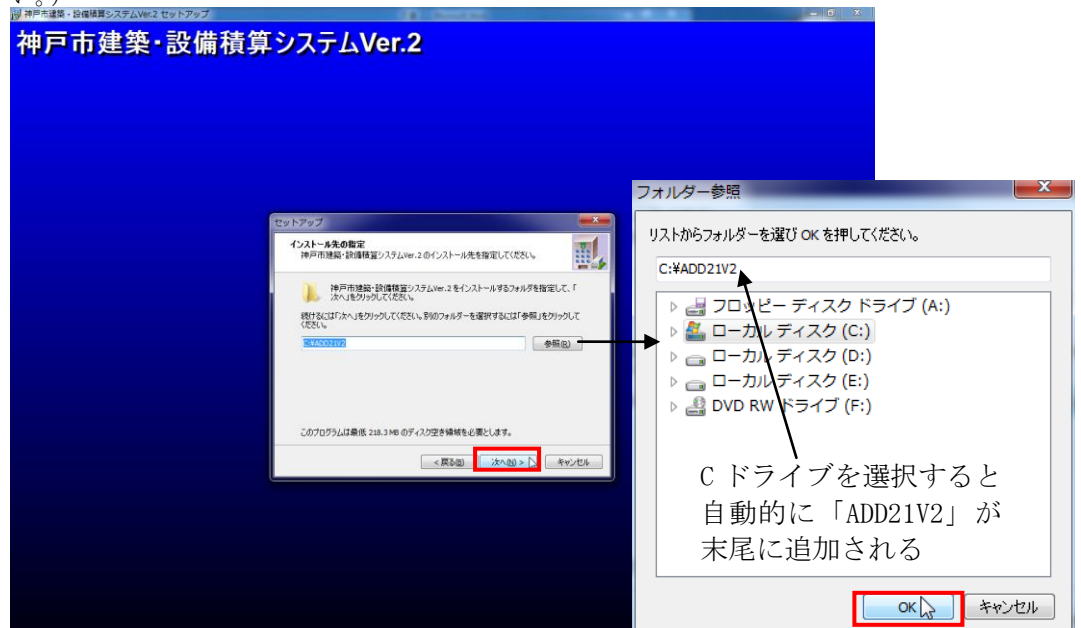
インストール先フォルダーを設定し、[次へ(N) >]ボタンをクリックして下さい。

本製品は、既定の設定では主に以下のフォルダーに本製品に必要なファイルがコピーされます。

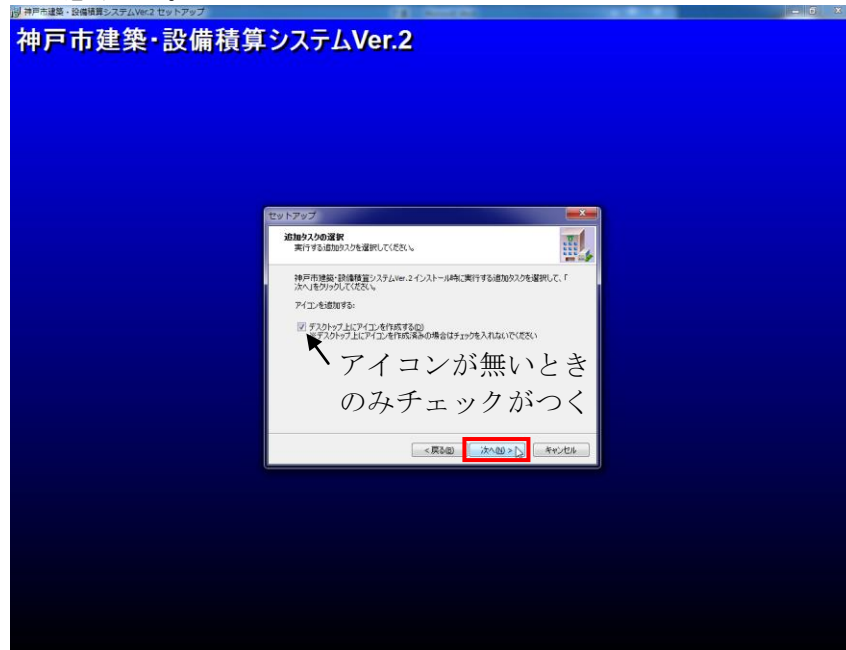
C:\¥ADD21V2¥ (C:\¥ は 通常、Windows がセットアップされているドライブです。)

なお、本製品は、既定のフォルダーにセットアップすることをお勧めします。

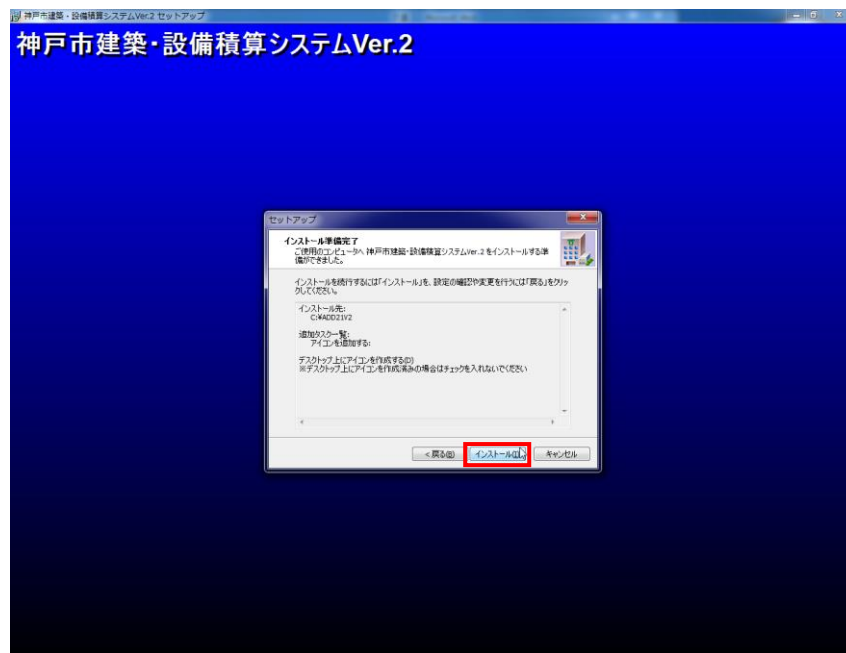
(権限による制限やディスクの空き容量の都合などにより、他のフォルダーに設定する場合は、[参照(R)]ボタンをクリックし、インストール先を任意の場所に変更して下さい。フォルダー参照画面で設定する場合、ドライブやフォルダー選ぶと自動的に末尾に「ADD21V2」が追加される仕様となっていますので、注意して下さい。)



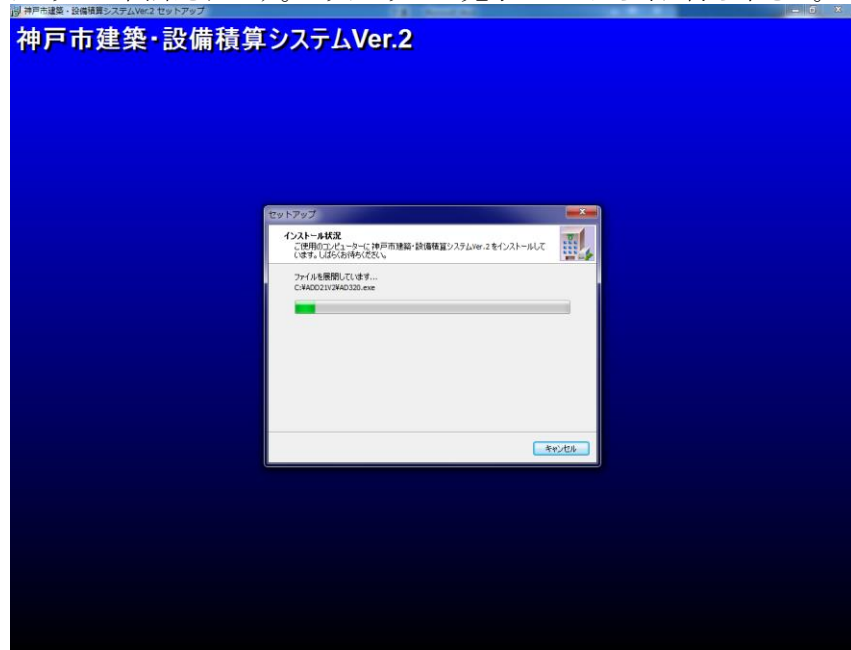
- 5) [追加タスクの選択]ダイアログ画面で、デスクトップにアイコンを作成するかどうかを選択し、[次へ(N)>]ボタンをクリックして下さい。
- ※ 「デスクトップ上にアイコンを作成する(D)」にチェックを入れるとデスクトップ上に本システムのショートカットアイコンが作成されます。
 - ※ デスクトップ上に本システムのショートカットアイコンが無い時は自動的にチェックが入ります。
 - ※ デスクトップ上に既に本システムのショートカットアイコンがある時にチェックを入れると、環境によっては本システムのショートカットアイコンが複数登録される場合がありますのでご注意ください。



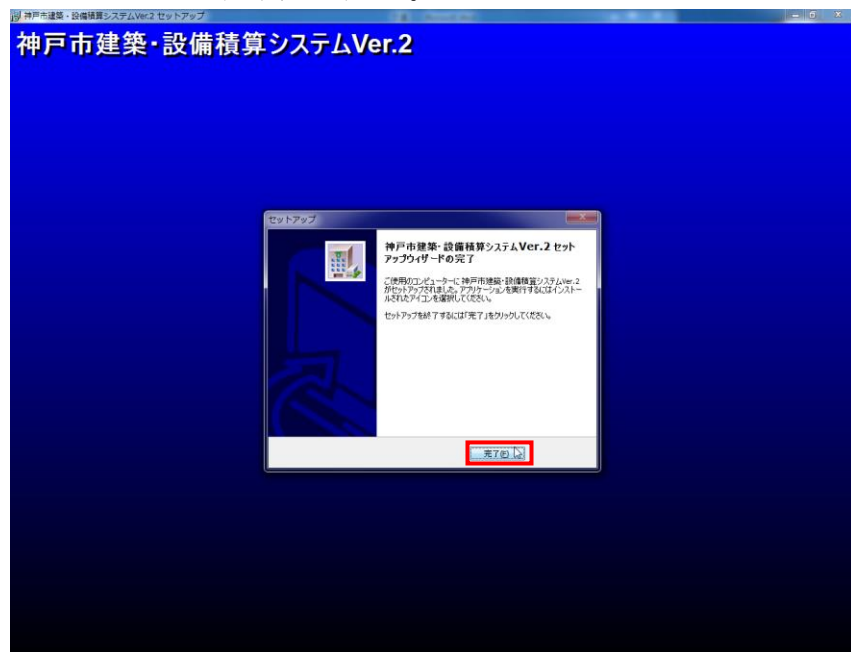
- 6) インストール準備完了ダイアログ画面でインストールの条件を画面で確認し、[インストール(I)]ボタンをクリックして下さい。設定変更が必要な場合は[戻る(B)]ボタンをクリックして前の手順に戻り、設定を変更して下さい。



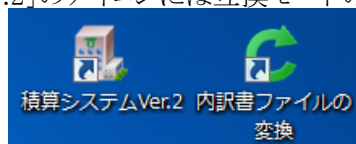
- 7) セットアップが開始されます。セットアップの完了までしばらくお待ち下さい。



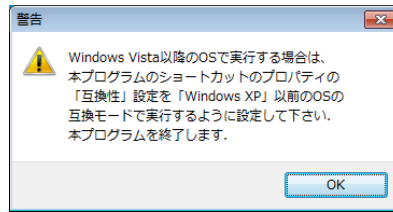
- 8) [セットアップの完了]ダイアログ画面が表示されたら、セットアップは完了です。
[完了(F)]ボタンをクリックし、セットアップウィザード画面が閉じた後、本製品の CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出して下さい。



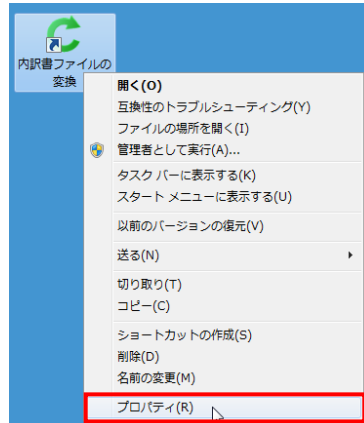
- 9) デスクトップ上に次の2つのショートカットアイコンが作成されています。
積算システムの起動は、この「積算システム Ver.2」のショートカットアイコンをダブルクリックして下さい。
なお、Windows 7 以降の動作環境の場合、「内訳書ファイルの変換プログラム」のショートカットアイコンに「互換モードの設定」が必要です。「互換性の設定」がまだの場合は、次の手順 10)へ進んで下さい。過去のセットアップ時に互換モードの設定を済ませている場合は、セットアップ作業はこれで終了です。
※ 「積算システム Ver.2」のアイコンには互換モードの設定は不要です。



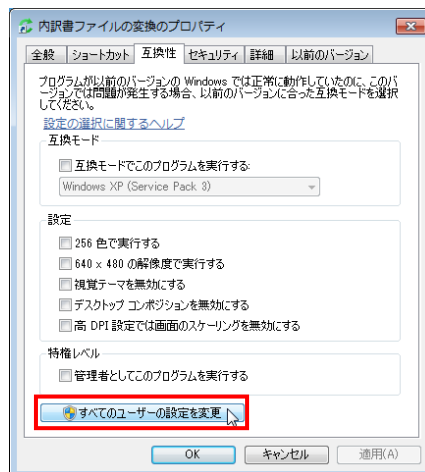
- ※ Windows 7 以降の動作環境で、内訳書ファイルの変換プログラムのショートカットアイコンに「互換モードの設定」をしていない場合、起動時に下記のメッセージが表示されて起動しません。その場合は、次の手順で互換モードの設定を行って下さい。



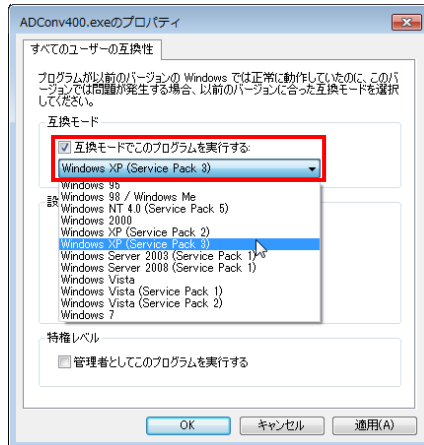
- 10) 「内訳書ファイルの変換」ショートカットを右クリックし、「プロパティ(R)」をクリックして下さい。



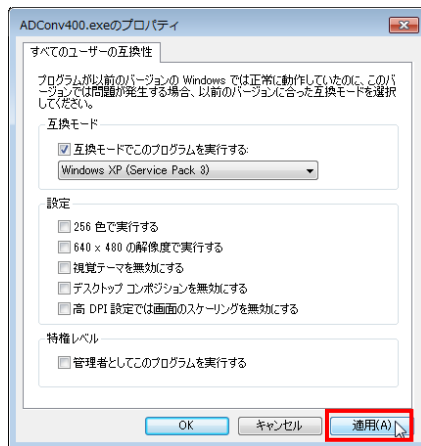
- 11) 「互換性」タブを選択し、「すべてのユーザーの設定を変更」ボタンをクリックして下さい。
 ※ 管理者権限が無い場合は「すべてのユーザーの設定を変更」ボタンが無効になっている場合があります。その場合は、この「互換性」タブ上の互換モードの部分(12)以降の手順で設定して下さい。



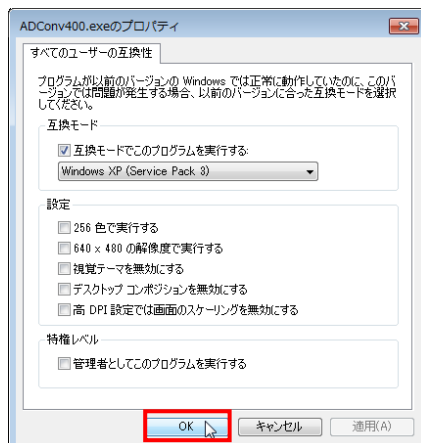
- 12) 「互換モードでこのプログラムを実行する」にチェックを入れ、「Windows XP」等を選択して下さい。(Windows 7 上で実行している場合は「Windows XP (Service Pack 3)」・Windows 7 上で実行している場合は「Windows XP (Service Pack 2)」を選択して下さい。)



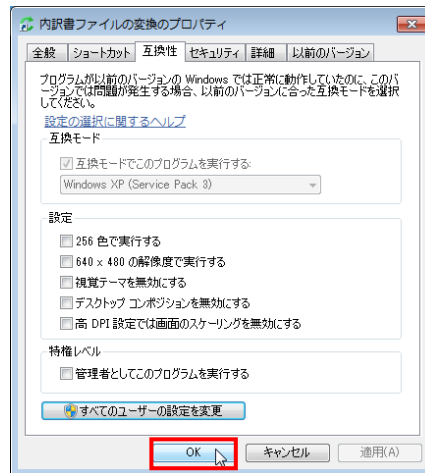
- 13) 前の手順 12) で設定した内容を確認し、「適用(A)」ボタンをクリックして下さい。



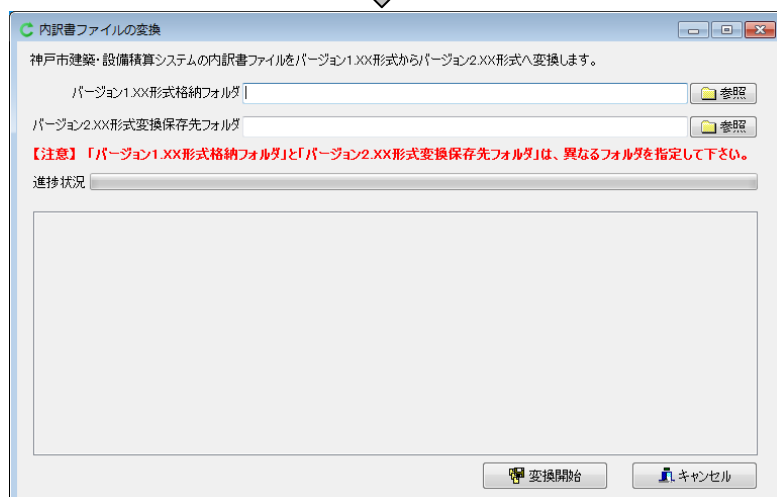
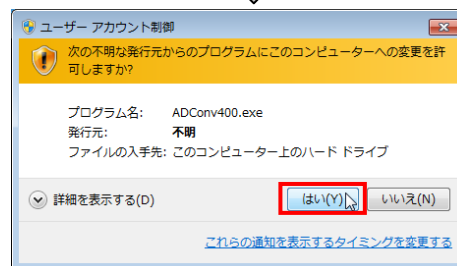
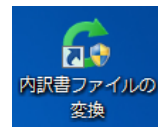
- 14) 「OK」ボタンをクリックして下さい。



15) 「OK」ボタンをクリックして下さい。



16) 互換モードの設定が完了すると、ショートカットアイコンに盾のマークが付加されます(動作環境によっては付加されない場合もあります)。ショートカットアイコンをダブルクリックしてプログラムを起動すると、ユーザーアカウント制御画面が毎回表示されます。「はい(Y)」ボタンをクリックすると、「内訳書ファイルの変換」プログラムが起動します。



3

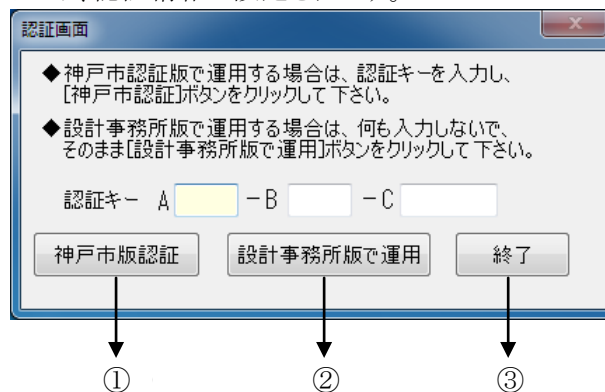
セットアップ後の認証について

- ※ 本製品を神戸市認証版で運用するには認証キーによるユーザー認証が必要です。
- ※ 認証キーによる認証ができない場合は、設計事務所版(機能制限版)として運用します。
- ※ 一度認証情報を設定すると、本システムを削除するまで認証情報は保持されます。そのため、次回以降のバージョンアップ等でのインストール後は、ユーザー認証は不要です。
- ※ 神戸市認証版にすべきところを誤って設計事務所版にしてしまった場合は、一旦本システムを削除の上<本書 P12 参照>、再度インストール作業を行って認証処理を行って下さい。

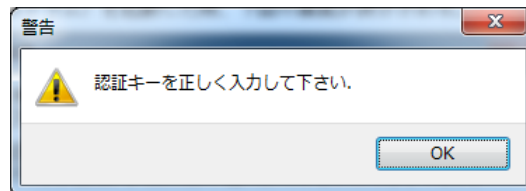
- 1) 「積算システム Ver.2」ショートカットアイコンをダブルクリックして起動すると、認証画面が表示されます。



- 2) 次の操作により、認証情報が設定されます。



- ① 正しい認証キーを入力して[神戸市認証版]ボタンをクリックした場合
「神戸市認証版」で積算システムが運用されるように設定された状態で積算システムログイン画面<本書 P14 参照>が表示されます。
※ 不正な認証キーを入力した場合は下図のメッセージが表示されますので、正しい認証キーを再入力して下さい。



- ※ 設計事務所版で運用する場合は、認証キーの入力は不要です。認証キーは絶対に公開しないで下さい。
- ② [設計事務所版で運用]ボタンをクリックした場合
「設計事務所版」で積算システムが運用されるように設定された状態で積算システムログイン画面<本書 P14 参照>が表示されます。
※ 正しい認証キーを入力した上で[設計事務所版で運用]をクリックした場合も「設計事務所版」で積算システムが運用されるように設定されますのでご注意ください。
 - ③ [終了]ボタンをクリックした場合
次回起動時も再度認証画面が表示されます。

Microsoft Access データベースエンジンのインストール

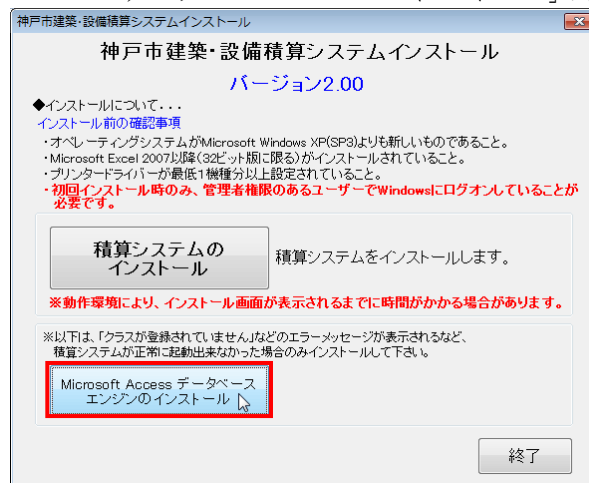
ログイン画面〈本書 P14 参照〉でユーザーIDとパスワードを入力して認証を行う際、以下のようなエラーメッセージが表示された場合は、Microsoft Access データベースエンジンのインストールが必要です。

- ※ Microsoft Access データベースエンジンは、本製品で使用しているデータベースを読み書きするためのソフトウェアです。
- ※ 正常に起動する場合はインストール不要です。
- ※ 一度インストールすると、次回のバージョンアップ時などはインストール不要です。

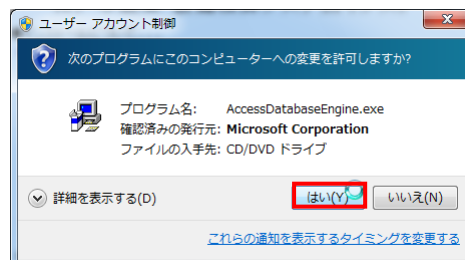
※ 下のようなエラーメッセージが表示された場合は、Microsoft Access データベースエンジンをインストールして下さい。



- 1) 本製品の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入、インストールメニューを起動して下さい。
※自動的に実行されない場合の起動手順は、〈本書 P2〉を参照して下さい。
- 2) 「Microsoft Access データベースエンジンのインストール」ボタンをクリックして下さい。



- 3) Windows 7 以降の動作環境の場合で、ユーザー アカウント制御ダイアログが表示された場合は、「はい(Y)」ボタンをクリックして下さい。



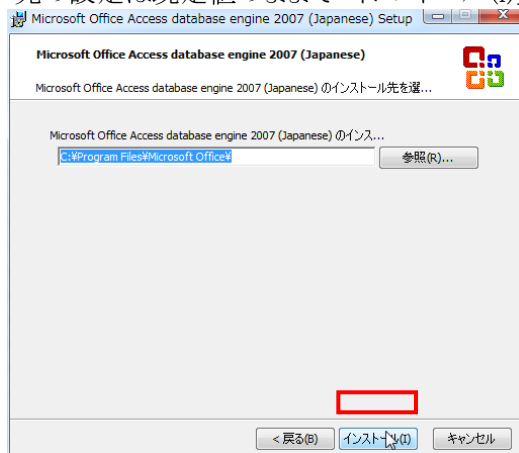
4) Microsoft Office Access database engine 2007(Japanese)」のセットアップ画面が表示されま

す。
「使用許諾契約書」の条項に同意します(A)」にチェックを入れ、「次へ(N)」ボタンをクリックし

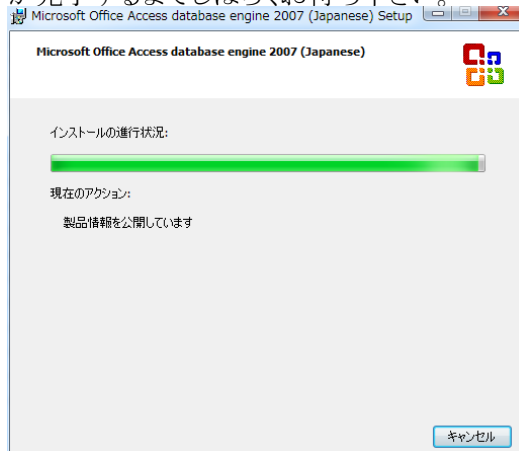
て下さい。
※Microsoft Office2010 以降の環境では「Microsoft Access database engine 2010(Japanese)」のセットアップ画面が表示されますが、操作方法は同様です。



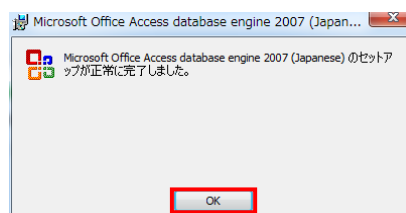
5) インストール先の設定は既定値のままで「インストール(I)」ボタンをクリックして下さい。



6) セットアップが完了するまでしばらくお待ち下さい。



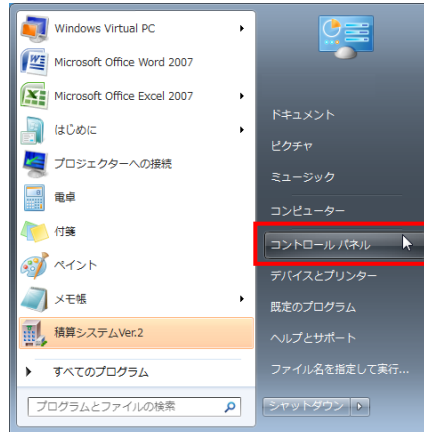
7) セットアップの完了メッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックして下さい。



削除の手順

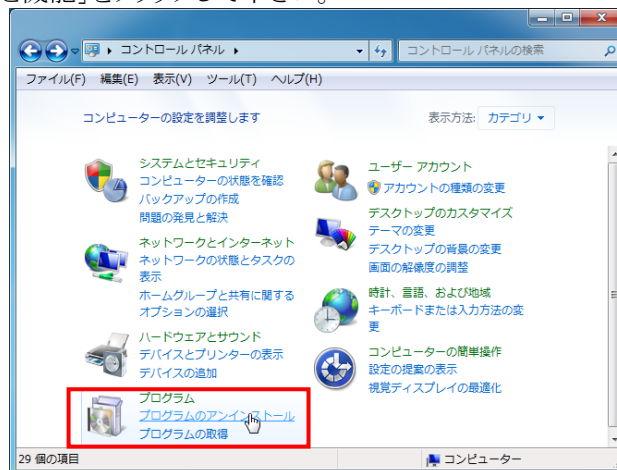
本製品をセットアップ後、お使いのシステムから本製品を削除するには、以下の操作を行って下さい。

- 1) 実行中のアプリケーションを全て終了して下さい。
- 2) [スタート]メニューから、[コントロール パネル(C)]をクリックして下さい。

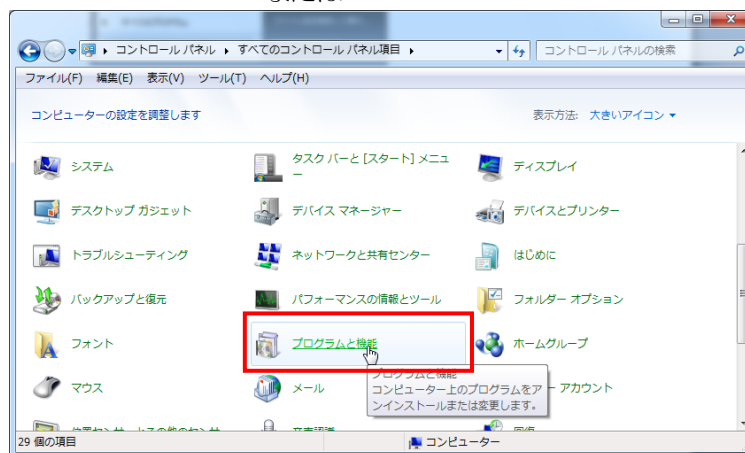


※Windows のバージョン及び設定により、表示方法が異なります。

- 3) コントロールパネルの「プログラム」→「プログラムのアンインストール」または「プログラムと機能」をクリックして下さい。

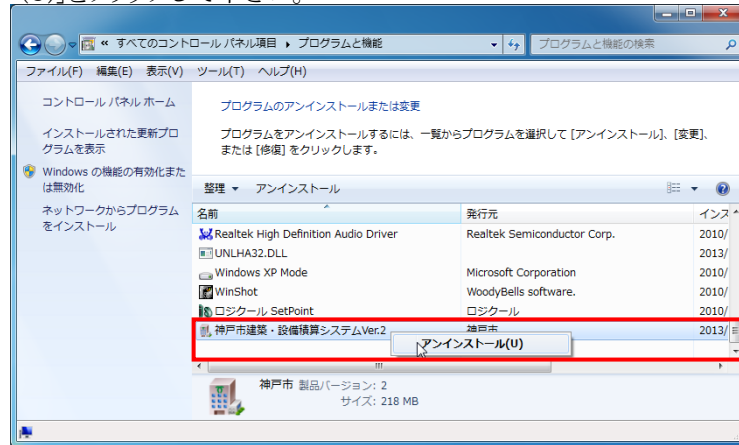


または



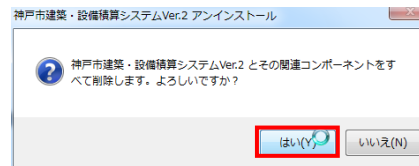
※Windows のバージョン及び設定により、表示方法が異なります。

- 4) 一覧から「神戸市建築・設備積算システム Ver.2」をクリックして選択し、右クリック→[アンインストール(U)]をクリックして下さい。

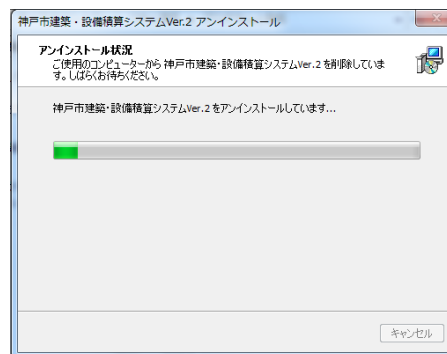


※Windows のバージョンにより、表示方法が異なります。

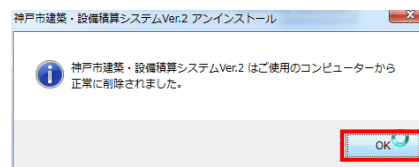
- 5) [アンインストールの確認]ダイアログが表示されたら、[はい(Y)]ボタンをクリックして下さい。



- 6) アンインストールが完了するまでしばらくお待ち下さい。



- 7) アンインストール処理の完了メッセージが表示されましたら、[OK]ボタンをクリックして下さい。



※ アンインストールを行っても、下記のフォルダー及びその中に保存されているファイルは残ります。

- ・「_金抜き内訳書」フォルダー
- ・「_配布単価」フォルダー
- ・「My_SEKKEISYO」フォルダー
- ・上記以外で、インストール先の ADD21V2 フォルダー内に保存されているファイルのうち、セットアッププログラム以外が作成したファイル(本システム利用者が作成したファイル等) それらのフォルダーやファイルについても不要な場合は、手作業で削除して下さい。

※ 神戸市認証版、設計事務所版に関するシステム認証情報も削除されます。再インストール時は神戸市認証版、設計事務所版の設定が必要となります(＜本書 P9 参照＞)。

3

神戸市建築・設備積算システムへのログイン

1

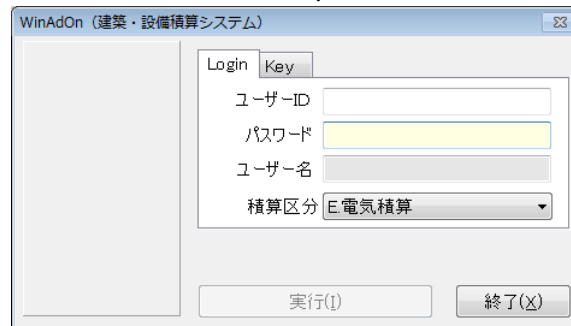
ログイン時の[ユーザーID]と[パスワード]について

- ※ 神戸市建築・設備積算システムを神戸市認証版で運用時は、予め登録されたユーザー(使用者)しか起動させることができません。また、起動にはユーザーIDとパスワードが必要です。
- ※ 神戸市建築・設備積算システムは、ユーザーID 毎に作業項目の設定(限定)を行うための情報を持つ「LOGIN Key ファイル」を作成し、システムに組み込んで運用します。

2

ログインの手順

- 1) 神戸市建築・設備積算システム Ver.2 のショートカットアイコンをダブルクリックすると、ログイン画面が表示されます。

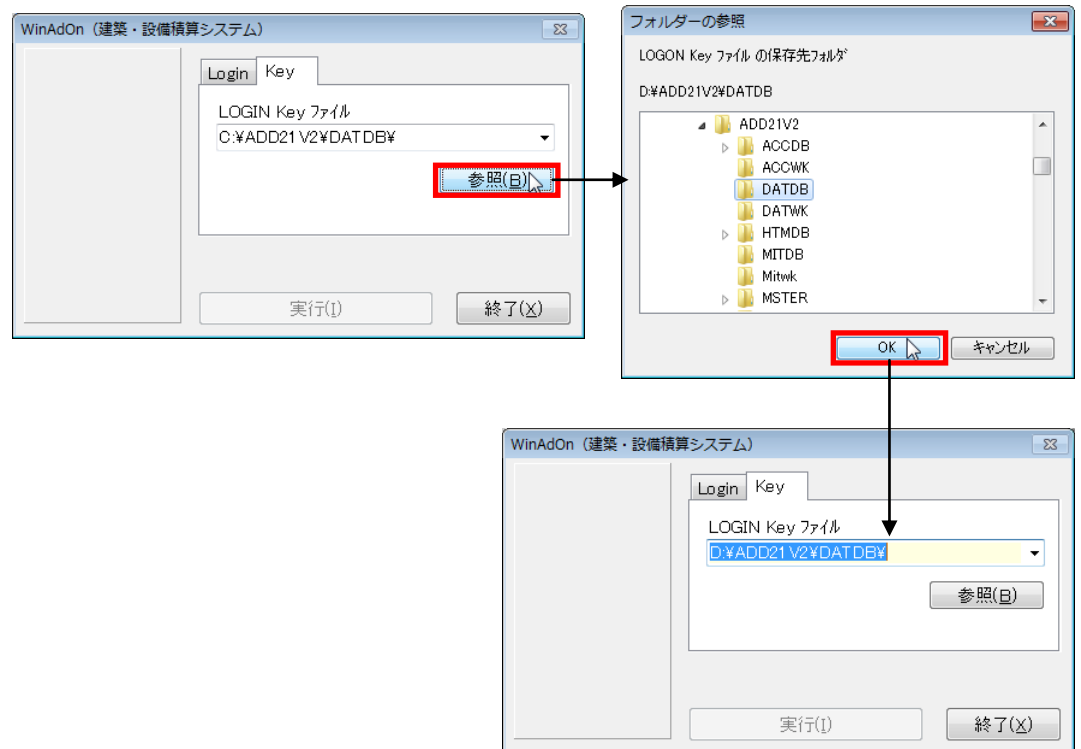


- ※ 設計事務所版で運用時は認証済みの状態で起動するため、ユーザーID とパスワードの入力は不要です。次ページの 6) の手順へ進んで下さい。
- ※ 神戸市建築・設備積算システムを既定(C:\¥ADD21V2)以外のフォルダーにセットアップした場合や、インストール先のドライブが異なる場合、または、別の「LOGIN Key ファイル」フォルダーを設定する場合には、「LOGIN Key ファイル」の保存先フォルダーを設定する必要があります。
- ※ 神戸市建築・設備積算システムを既定(C:\¥ADD21V2)のフォルダーにインストールした場合、「LOGIN Key ファイル」の保存先フォルダーは「C:\¥ADD21V2¥DATDB¥」になります。**(既定の設定で運用する場合は、次ページの 5) の手順へ進んで下さい。)**

- 2) ログイン画面の[Key]タブを選択して下さい。
現在設定されている「LOGIN Key ファイル」の保存先が表示されます。



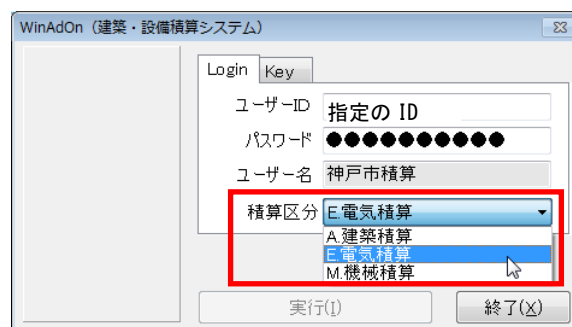
- 4) [参照(B)]ボタンをクリックすると、フォルダー一覧ウィンドウが表示されます。LOGIN Key ファイルの保存先のフォルダーを指定し、[OK]ボタンをクリックして下さい。
 (下図は、DドライブのADD21V2に本システムをインストールした場合の「LOGIN Key ファイル」の保存先(D:\ADD21V2\DATDB)を指定している例です。)



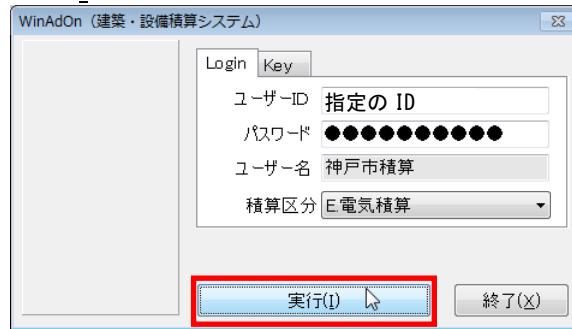
- 5) ログイン画面の[Login]タブをクリックし、[ユーザーID]と[パスワード]を入力して下さい。
 ※ [ユーザーID]は、「_____」・[パスワード]は、「_____」です。
 パスワード入力部で[Enter]キーを押すと、ログインの認証が行われます。
 ユーザーが認証されると、[ユーザー名]に、設定ユーザー名が表示されます。
 ※ 設計事務所版で運用時は、[ユーザーID]と[パスワード]は自動設定され、認証済状態で起動します。



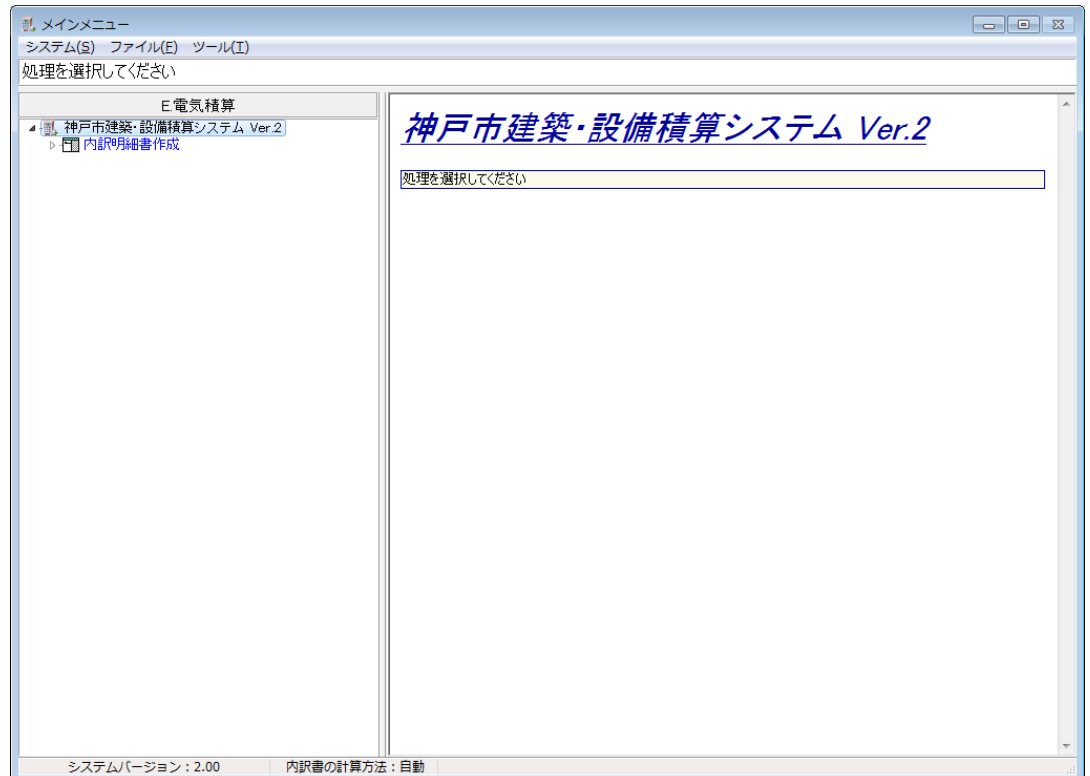
- 6) [積算区分]を選択して下さい。



7) ログイン画面の[実行(I)]ボタンをクリックして下さい。



8) システム情報が読み込まれ、起動処理が完了するとメインメニューが表示されます。



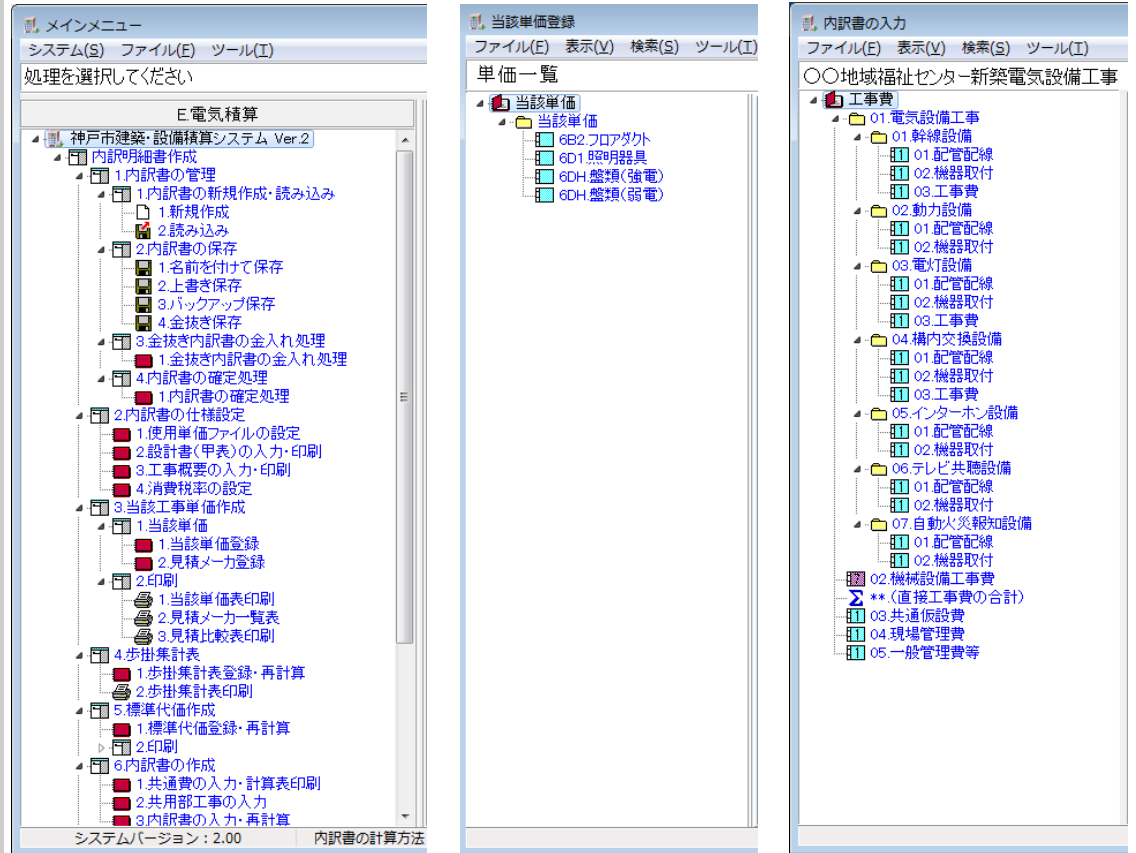
4

1

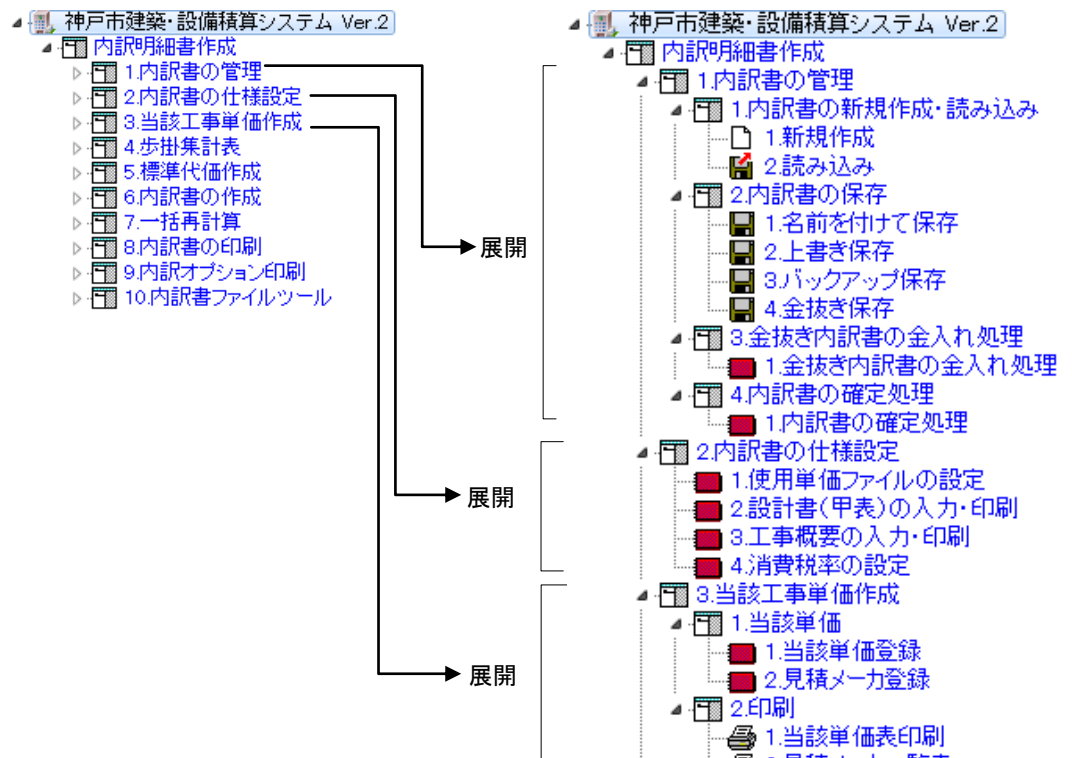
神戸市建築・設備積算システムの基本操作

ツリービュー表示について

神戸市建築・設備積算システムでは、メイン業務選択メニュー、当該単価グループ、設計書集計項目(種目・科目・中科目)など、階層に管理できるものは、全てツリービュー方式を採用しています。



ツリービューの表示パターン



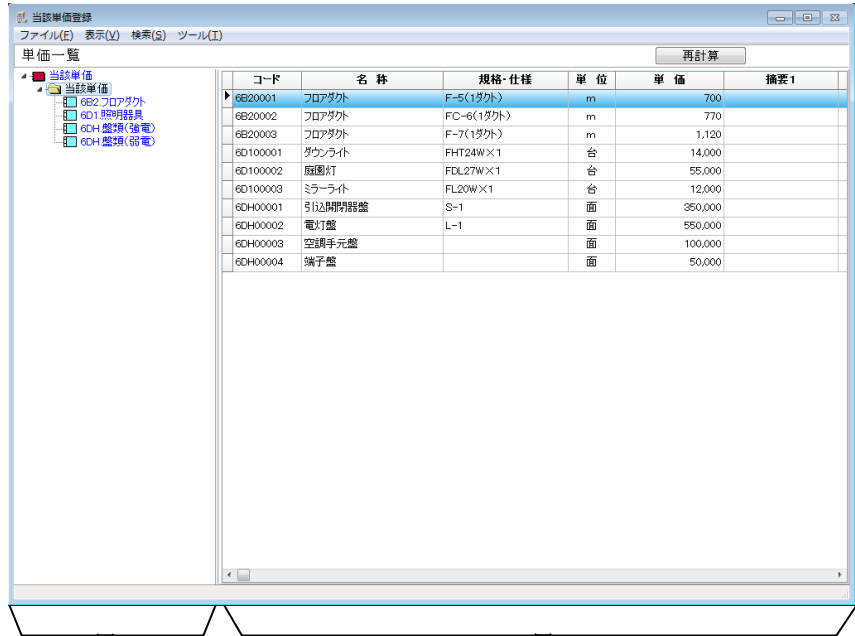
ツリーの展開は、ツリービュー文字をダブルクリックするか、▶ の部分をクリックして下さい。(Windows の「エクスプローラー」のツリービューの操作と同様です▶ の部分は + で表示される環境もあります。)

2 画面表示について

1 メインメニュー画面

「5. メインメニュー」〈本書 P37〜〉を参照して下さい。

2 当該単価登録画面(当該基礎/当該歩掛/代価等)



〔単価分類階層〕

分類階層の作成/設定を行います。〈ツリービュー〉

〔登録単価の一覧表示〕

登録済み単価の一覧を表示します。

アイコン	内 容
	〔ルートフォルダーアイコン〕 主要な設定及び、初期設定を行います。
	〔フォルダーアイコン〕 ※右側はオープン時 このアイコン下階層に単価登録用シートを設定します。
	〔シートアイコン〕 ※右側はオープン時 単価を登録します。

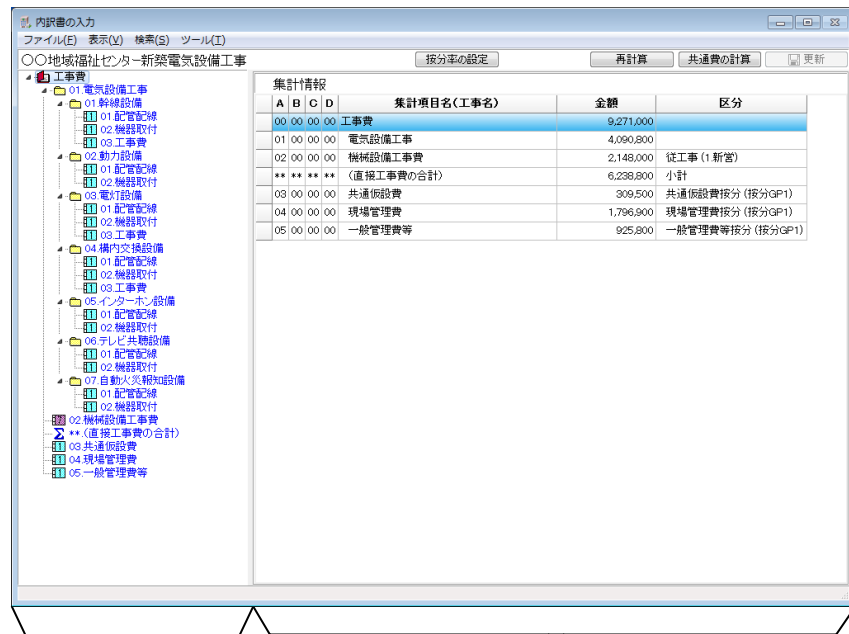
※キーボードでの操作

:〈ツリービュー〉項目を上下に移動します。

:〈ツリービュー〉の拡張/縮小を行います。

:単価一覧へ処理が移行します。
続けて により、単価の編集画面へ移行します。

3 内訳明細登録画面



【工事分類階層】

分類階層の作成/設定を行います。〈ツリービュー〉

【工事の一覧表示】

工事の一覧及び区分・積算額を表示します。

アイコン	内 容
	[ルートフォルダーアイコン] 主要な設定及び、初期設定を行います。
	[フォルダーアイコン(種目/科目)] ※右側はオープン時 このアイコン下階層に単価登録用シートを設定します。
	[シートアイコン(科目/中科目)] 科目/中科目に該当し、細目別内訳を入力します。
	[従工事シートアイコン] 従工事の直接工事費・現場管理費・一般管理費等を入力します。
	[小計アイコン] 「直接工事費の合計」等、同階層の直前項目までの小計を計算します。
	[シートアイコン(按分計算)] 共通仮設費/現場管理費/一般管理費等の按分指定を行います。

※キーボードでの操作

:〈ツリービュー〉項目を上下に移動します。

:〈ツリービュー〉の拡張/縮小を行います。

:フォルダー時、〈ツリービュー〉の選択
シートの時、明細入力画面へ処理が移行します。

3 ツリービューの操作について

1 基本事項

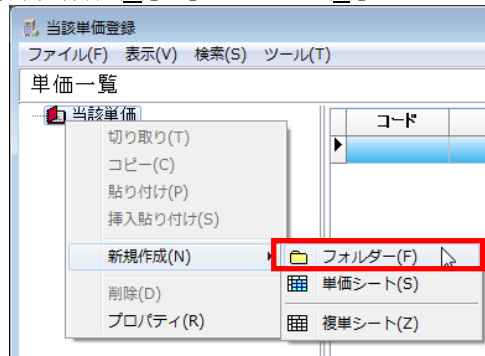
- ・以降、マウスの左ボタンでクリック操作をすることを明示的に[左クリック]または[クリック]と称します。
- ・以降、マウスの右ボタンでクリック操作をすることを[右クリック]と称します。
- ・以降、マウスの左ボタンを2回素早くクリックし、命令などを実行する操作を[ダブルクリック]と称します。
- ・マウスでフォルダーやシートを選択(フォルダーの背景に色がついた表示または文字色が反転表示となります)する際は、対象のフォルダーやシートを必ずマウスの**左ボタン**を[クリック](左クリック)して確実に選択して下さい。(マウスの右ボタンによる[右クリック]操作では、対象のフォルダーやシートの選択操作にはならず、元から選択されている位置に戻ってしまいます。)
- ・操作ミスによりフォルダーやシートを想定外の位置に移動させてしまうことを防止するため、マウス操作による[ドラッグ&ドロップ]機能は本製品には実装しない仕様となっております。

2 フォルダー・シートの新規作成

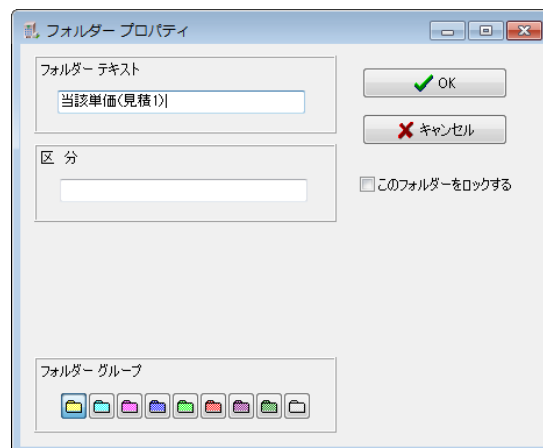
※フォルダーは、シートを階層に整理して管理する為に用います。(作成は必須ではありません。)

- ・当該単価・代価等では、単価及び代価の種別の分類等に使用します。
- ・内訳明細では、工事項目の分類(種目・科目・中科目…等)に使用します。

- 1) 作成する階層の親フォルダーにカーソルを合わせて[左クリック]して選択して下さい。
- 2) [右クリック]すると、ポップアップメニューが表示されます。
- 3) [新規作成(N)]→[フォルダー(F)]にカーソルを合わせて[左クリック]して下さい。

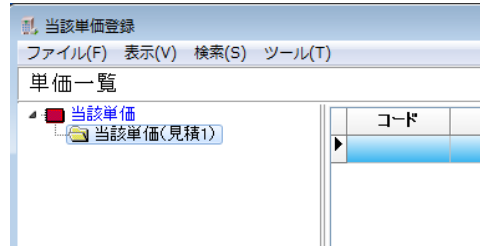


- 4) [フォルダー プロパティ]が表示されます。
※当該単価、代価、内訳書、共通費によりプロパティの内容は異なります。



- 5) [フォルダー テキスト]・[区分]・その他項目を設定し、[OK]ボタンをクリックして下さい。
※[フォルダー(シート) グループ]はツリービューの「表示色」に反映されます。

6) 指定した親フォルダー下に、新たにフォルダーが作成されます。



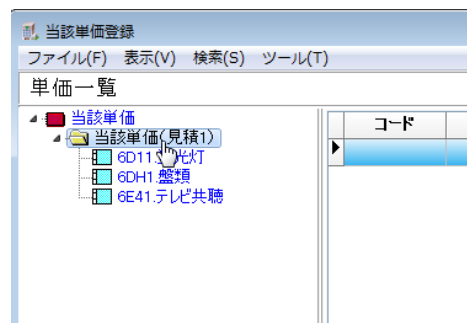
※ シート(小計・按分グループ等)についても同様の手順で作成できます。

※ シートを選択時は、[新規作成(N)]メニューは操作出来ません(シートの配下にフォルダーやシートは作成出来ません)。

3 フォルダー・シートの複写(コピー)

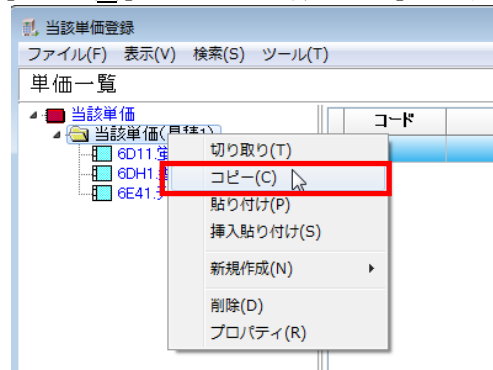
1) 複写するフォルダーにカーソルを合わせて[左クリック]して下さい。

※画面は、フォルダーの中にシートを3つ作成しています。



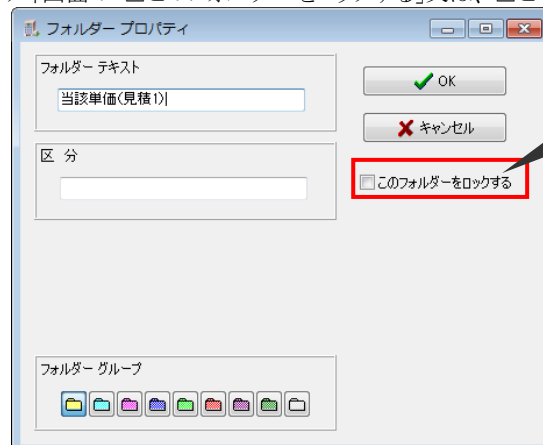
2) [右クリック]すると、ポップアップメニューが表示されます。

3) [コピー(C)]にカーソルを合わせて[左クリック]して下さい。

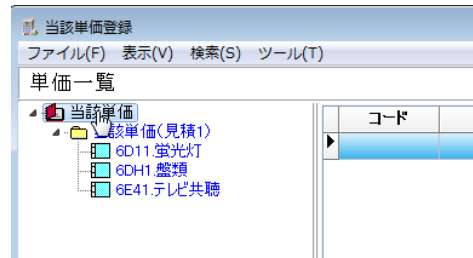


※「ルートフォルダー」はコピーできないため、「ルートフォルダー」選択時は[コピー(C)]が使用不可になります。

※[コピー(C)]が選択できない時は、対象のフォルダーやシートを[右クリック]→[プロパティ(R)]を選択し、プロパティ画面の「このフォルダーをロックする」又は、「このシートをロックする」のチェックを外して下さい。

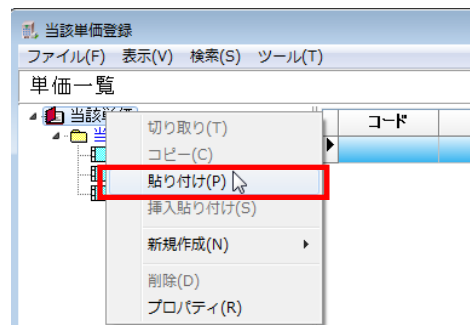


- 4) 複写したい場所の親フォルダーに、カーソルを合わせて[左クリック]して下さい。



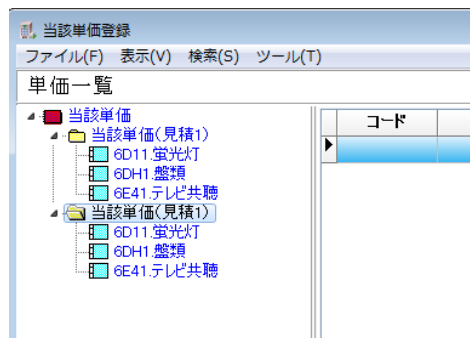
- 5) [右クリック]すると、ポップアップメニューが表示されます。

- 6) [貼り付け(P)]にカーソルを合わせて[左クリック]して下さい。



※ シートを選択した時は、[貼り付け(P)]メニューは無効となります(「シート」はそれ自体で完結するものであり、階層下にフォルダーやシートを配置するためのものではないため)。

- 7) 指定した親フォルダー下に、複写したフォルダー(階層下も含む)が作成されます。



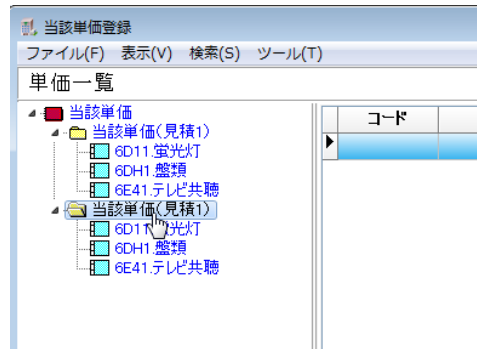
※ シートも同様に複写(コピー)できます。

※ 当該基礎単価や当該代価等を入力しているシートを複写した場合は、コードが重複しないように再設定して下さい。

4 フォルダ・シートのプロパティ設定

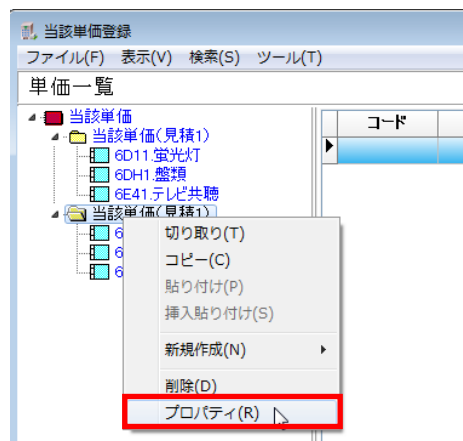
※「プロパティ」とは「対象」についての「属性」のことを意味します。例えば、「信号機」を対象とし、その「色」をプロパティ(属性)とすると、その値には、「赤」・「黄」・「青」があるということだと考えて下さい。

- 1) 設定を行うフォルダにカーソルを合わせて[左クリック]して選択して下さい。

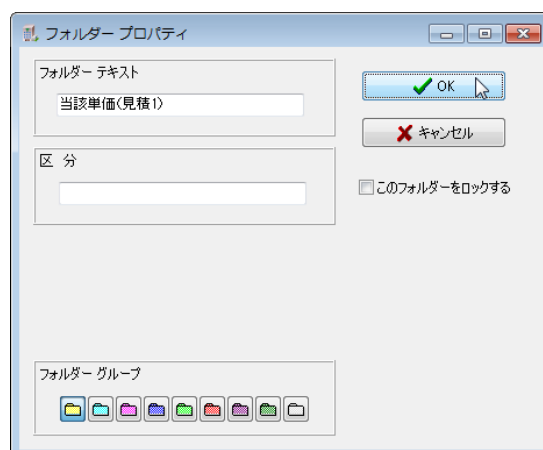


- 2) [右クリック]すると、ポップアップメニューが表示されます。

- 3) [プロパティ(R)]にカーソルを合わせて[左クリック]して下さい。



- 4) プロパティ画面の各項目を設定し、[OK]ボタンをクリックすると変更した内容が反映されます。[キャンセル]ボタンをクリックすると、変更内容を破棄します。



※[フォルダ(シート) グループ]はツリービューの「表示色」に反映されます。

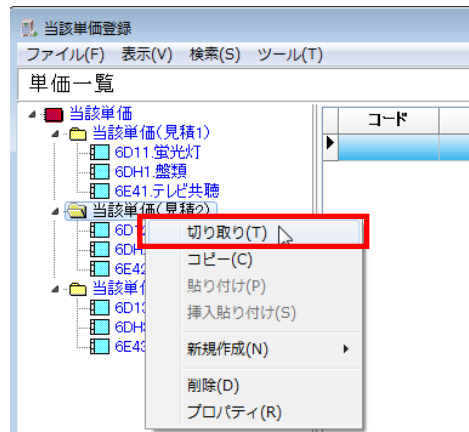
※ シートのプロパティ設定手順も同様です。

5 フォルダ・シートの移動

- 1) 移動するフォルダにカーソルを合わせて[左クリック]して選択して下さい。
※画面は、フォルダグループを3つ作成しています。



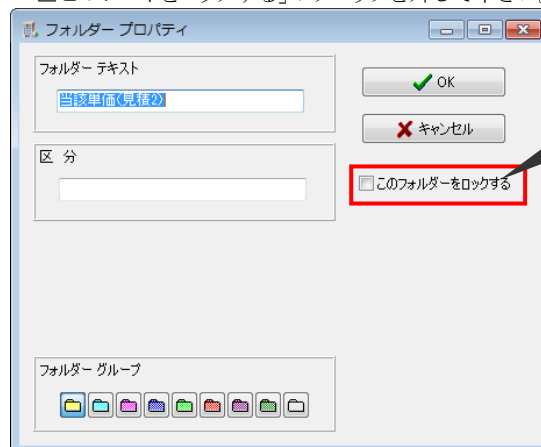
- 2) [右クリック]すると、ポップアップメニューが表示されます。
3) [切り取り(T)]にカーソルを合わせて[左クリック]して下さい。



※「ルートフォルダ」は移動できないため、「ルートフォルダ」選択時は[切り取り(T)]メニューは使用不可になります。

※[切り取り(T)]が選択できない時は、[プロパティ(R)]を選択し、プロパティの「このフォルダをロックする」又は、

「このシートをロックする」のチェックを外して下さい。



- 4) 移動先を指定して下さい。

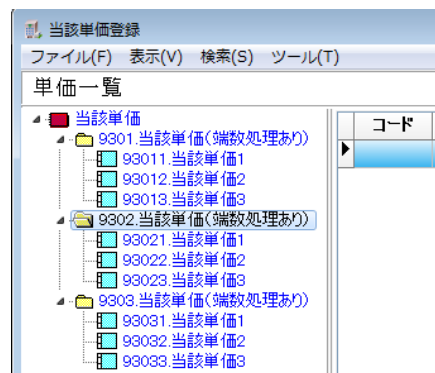
- ◆挿入する場合…挿入したい場所にある(移動対象のフォルダやシートを移動後、それらの下の並びに配置したい)フォルダ又は、シートにカーソルを合わせて[左クリック]して下さい。
- ◆選択したフォルダ内の最下に移動する場合…親フォルダにカーソルを合わせて[左クリック]して下さい。

- 5) [右クリック]すると、ポップアップメニューが表示されます。
- 6) [貼り付け(P)]又は、[挿入貼り付け(S)]にカーソルを合わせて[左クリック]すると、対象のフォルダー(階層下も含む)が移動されます。
- ◆挿入する場合・・・[挿入貼り付け(S)]を[左クリック]して下さい。
 - ◆フォルダー内最下に移動する場合・・・[貼り付け(P)]を[左クリック]して下さい。
- ※ シートを選択した時は、[貼り付け(P)]・[挿入貼り付け(S)]メニューは無効となります(「シート」はそれ自体で完結するものであり、階層下にフォルダーやシートを配置するためのものではないため)。

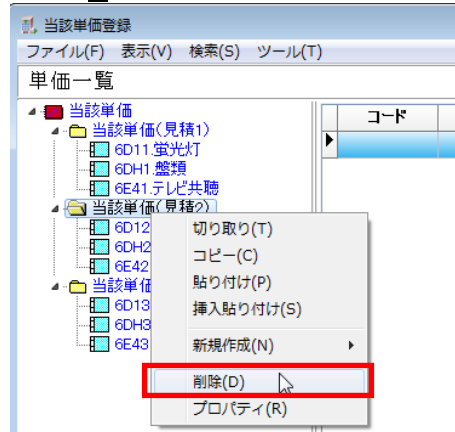


6 フォルダー・シートの削除

- 1) 削除するフォルダーにカーソルを合わせて[左クリック]して選択して下さい。

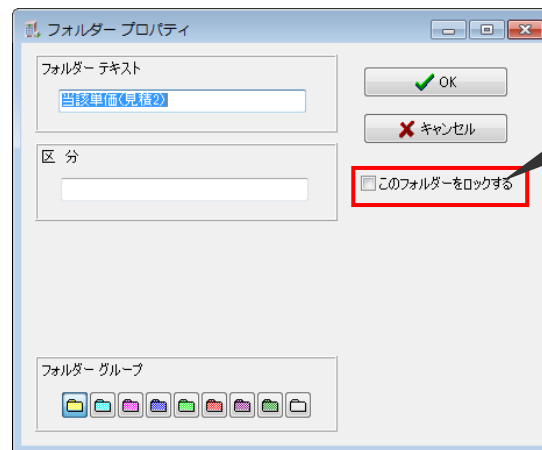


- 2) [右クリック]すると、ポップアップメニューが表示されます。
- 3) [削除(D)]にカーソルを合わせて[左クリック]して下さい。

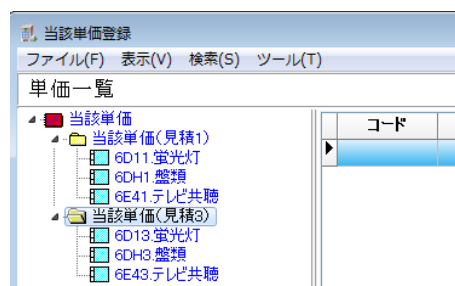


※「ルートフォルダー」は削除できないため、「ルートフォルダー」選択時は[削除(D)]メニューは使用不可になります。

※[削除(D)]が選択できない時は、[プロパティ(R)]を選択し、プロパティの「このフォルダーをロックする」又は、「このシートをロックする」のチェックを外してください。



- 4) 指定したフォルダー(階層下にあるフォルダーやシートも含む)が削除されます。

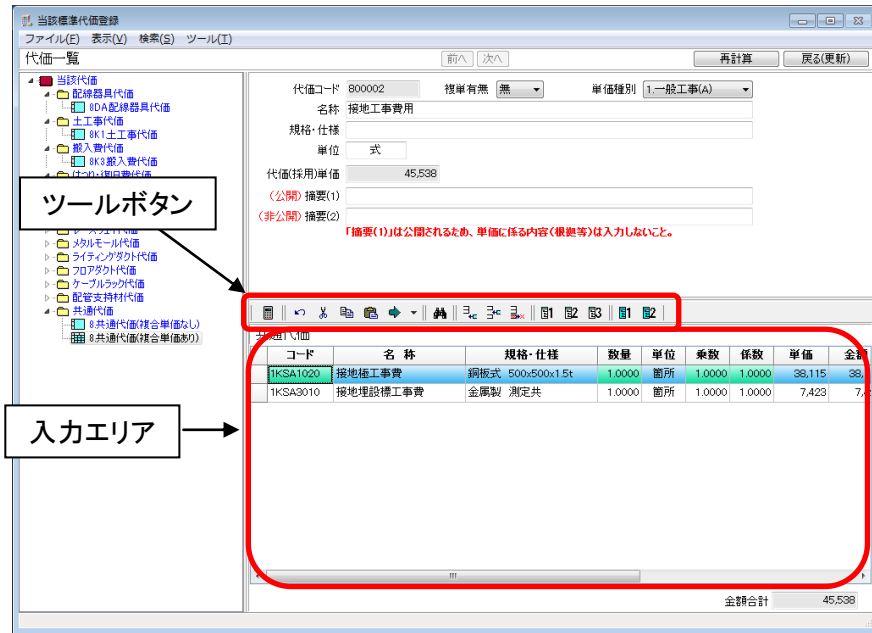


※シートの削除手順も同様です。

4

一覧入力時のツールボタン

※ データの入力時、入力エリア上部にツールボタンが表示されます。



◆ 表示されるボタンと機能

ツールボタン	機能説明
	表示データの編集結果を保存します。
	表示データを再計算します。
	編集内容を元に戻します。 ※削除した行の復活はできません。
	セルの値を切り取りします。
	セルの値をコピーします。
	選択しているセルに値を貼り付けします。
	[Enter]キー後のカーソルの移動方向を指定します。
	置換ウィンドウを表示し、選択領域の置換作業を行います。
	最終行に、行を追加します。
	カーソル行の上に、行を挿入します。
	選択行の削除を行います。 ※削除した行の復活はできません。
	「使用単価ファイルの設定」<本書 P58～参照>で設定した配布単価の単価コード選択画面を表示します。
	当該基礎単価・当該代価・複合単価の単価コード選択画面を表示します。
	※設計変更時のみ [原]: 原設計の配布単価を引込 [変]: 設計変更の配布単価を引込

※ 入力エリア上で[右クリック]により、次のポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューの選択を行っても、同様に処理されます。



5 単価コードについて

1) 配布単価(電気)

頭コード	単価名称	備考
1	基礎単価	年1回配布予定
2	標準単価(複合単価)	年1回配布予定
3	補足単価	年1回配布予定
J	住宅整備課標準単価	住宅建設課に問い合わせ

※歩掛は種別毎に異なる頭コードが付番されています。

※「住宅整備課標準単価」(頭コード J)は、住宅建設課(平成 26 年度迄は住宅整備課が担当)関連の公共住宅事業者等連絡協議会(事連協)基準で積算を行う際に使用します。なお、環境設定(基本設定)画面<本書 P38 参照>で「H14 年度・H22 年度・H24 年度共通費計算シート」の設定値を「住整備備」に設定した場合のみ使用可能です。

※配布時期は、住宅都市局 建築技術部 設備課の積算システム担当者にお問い合わせ下さい。

2) 配布単価ファイル名について

ファイル名は、下記の通りになっています。

[積算区分]+[単価名称]+西暦年月+「.zip」(拡張子)

(例)平成 25 年 6 月(2013 年 6 月)度電気標準単価の場合 → E 標準 201306.zip

積算区分:A(建築)、E(電気)、M(機械)

単価名称:基礎(基礎単価)、標準(標準単価)、補足(補足単価)、住整(住宅整備課標準単価)^{*1}、歩掛(歩掛)

西暦年月:201306(平成 25 年(2013 年)6 月)

拡張子 :zip^{*2} (ZIP 形式圧縮ファイル)

※1 「住宅整備課単価」は、住宅建設課(平成 26 年度迄は住宅整備課が担当)関連の公共住宅事業者等連絡協議会(事連協)基準で積算を行う際に使用します。

※2 配布時、金入り配布単価ファイルは、拡張子が「.zip」(小文字)で金抜き配布単価ファイルは、拡張子が「.ZIP」(大文字)になっています。但し、Windows2000 よりも古い OS 環境にデータを保存した経歴がある場合、ファイル名が自動的に変更され(全て大文字、ファイル名の先頭だけ大文字等)判別出来なくなる場合もありますのでご注意ください。なお、一般的にはファイル容量が小さい方が金抜き配布単価ファイルとなります。

3) 当該工事単価(頭コード)

頭コード	単価名称	備考
6	当該基礎単価(刊行物・カタログ・見積単価等)	当該工事毎に作成
7	複合単価(当該基礎単価をもとに作成)	当該工事毎に作成
8	当該代価	当該工事毎に作成
9	複合単価(当該代価をもとに作成)	当該工事毎に作成
0	当該歩掛(盤類歩掛集計表の新歩掛コード)	当該工事毎に作成

※当該工事単価コード 2 桁目、3 桁目を、次の通りに設定して下さい(下記に無い場合は任意で設定)。

コード 2 桁目	コード 3 桁目	コード 2 桁目	コード 3 桁目		
A. 配線	1. 高圧ケーブル	D. 電力設備 (続き)	C. コンセント		
	2. 低圧ケーブル		E. プレート		
	3. 弱電ケーブル		F. トイレ呼出		
	4. その他		G. 換気扇		
	E. エコ・ケーブル		H. 盤類		
	F. エコ・ケーブル (高圧)		J. 電保護設備		
	T. 低圧ケーブル (市場単価)		E. 通信設備	1. インターホン	
	U. エコ・ケーブル (市場単価)			2. 時計	
	B. 配管			1. 電線管	3. 拡声
				2. ダクト	4. テレビ共聴
3. ケーブルラック		5. 構内情報通信網設備			
4. 配管支持材		F. 防災設備	1. 自動火災報知設備		
5. ボックス			2. 非常警報設備		
6. プルボックス			3. 自動閉鎖設備		
7. その他			4. ガス漏れ警報		
S. 電線管 (市場単価)		G. 受変電設備	1. 変圧器		
T. ケーブルラック (市場単価)			2. コンデンサー		
U. プルボックス (市場単価)			3. PAS		
V. ダクト (市場単価)	4. その他				
C. 構内線路	1. コンクリート柱	H. 視聴覚設備	1. 視聴覚設備		
	2. 鋼管柱	I. 監視用設備	1. 監視用機器		
	3. 外灯用ポール	J. 構内交換機	1. ボタン電話		
	4. 装柱材		2. 電子ボタン電話		
	5. 地中管路埋設標		3. 直流電源装置 (電話用)		
D. 電力設備	1. 蛍光灯	K. 共通工事	1. 土工事		
	2. 非常用蛍光灯 (電池内蔵)		2. 建築工事		
	3. 非常用蛍光灯 (電池別置)		3. 設備共通工事		
	4. 白熱灯		4. 電気共通工事		
	5. 非常用白熱灯 (電池内蔵)		A. 労務単価		
	6. 非常用白熱灯 (電池別置)	S. 電気共通工事 (市場単価)			
	7. 誘導灯	S. スクラップ費	A. 配線		
	8. HID 灯 (ランプ・安定器別)		B. 配管		
	9. 照明付属機器		S. 鉄くず		
	A. スイッチ				

6

内訳明細・代価の計算コードについて

コード入力部に入力できるコードは、登録済みの単価コード以外に次にあげるものがあります。
 (例1)「当該標準代価登録画面」の共通代価明細入力部

コード	名称	規格・仕様	数量	単位	乗数	係数	単価	金額	摘要1(公開・単価根拠は)	摘要2(非公開)	仮	GP
3K101040	土工事 根切	機械0.13m3 (機)	3.0000	m3	1.0000	1.0000	2,290	7,170			*	1
3K107020	土工事 地業	砂利(砕石)(機)	1.0000	m3	1.0000	1.0000	8,010	8,010			*	1
3K103040	土工事 埋め戻し	機械0.13m3 (機)	2.0000	m3	1.0000	1.0000	3,060	6,120			*	1
3K104010	土工事 残土処分(場内)	場内 機械(建)	1.0000	m3	1.0000	1.0000	809	809			*	1
#	小計(直前合計)	(直前までの単価を仮単価と)						22,109				
3K405270	電気共通工事 ハンドホール	S5号 機械掘	1.0000	箇所	1.0000	1.0000	187,000	187,000				1
3K406160	電気共通工事 ハンドホール	F 500Φ, E-1.5 6t	1.0000	枚	1.0000	1.0000	23,200	23,200				1
%10	雑材料	直前行の10%	10.0000	%	1.0000	1.0000	23,200	2,320				
#1	小計(グループ合計)	(グループ小計は仮単価扱い)						232,309			*	
#1%10	諸雑費	グループ小計の10%	10.0000	%	1.0000	1.0000	232,309	23,230				
/	コメントが書き込めます											
2C112160	コンクリート柱 コンクリート柱	10m-19cm-350kg	1.0000	本	1.0000	1.0000	47,900	47,900				2
2C511220	地中管路埋設表示 地中管	埋設表示テープ(二重)	4.0000	m	1.0000	1.0000	232	928				2
#2	小計(グループ合計)	(グループ小計は仮単価扱い)						48,828			*	

種別	入力例	入力例による結果
直接仮設工事費 (率による計算)	※%20	明細の仮単価以外の合計*0.20 ※内訳明細のみ有効
直前行掛率	%5	直前行*0.05
直前行掛率	%5%7	直前行*0.05*0.07
直前仮単価行掛率	%%5	直前行*0.05 (直前行は自動的に仮単価となり、計算対象となりません。注)
直前行までの合計	#	直前行までの合計 (直前までの行は自動的に仮単価となり、計算対象となりません。注)
グループ 合計	#1	全行のうち同一グループの合計 (入力例「#1」はグループ1の合計) (グループ合計の行は自動的に仮単価となり、計算対象となりません。注)
グループ 合計に掛率	#1%5	全行のうち同一グループの合計*0.05 (グループ1の合計*0.05)
グループ 仮単価の合計に掛率	#3%5	全行のうち同一グループ 仮単価の合計*0.05 (グループ3の合計*0.05 直前までの同一グループ 行は自動的に仮単価となり、計算対象となりません。注)
/	/	名称・規格にコメント
T (コードの先頭)	T	任意入力単価

※ 頭コード「@」は、従工事の金額を入力する際に自動設定されるコードなので、従工事シート以外では使用できません。

※ グループ番号は1~9まで指定可能(#1~#9)。

(例2)「内訳書の入力画面」の内訳明細入力部(小計「#」、「#1」の使用例)

単価コード	名称	規格・仕様	施工条件	数量	単位	単価	金額	摘要1(公開・単価根拠)	摘要2(非公開)	工種	単価種別	専	GP	仮
1E411110	テレビ共聴 共聴用	共聴用, AV-1	0条件なし	1.0000	本	21,420	21,420			1.新営	1-一般工事(A)	0	1	*
1E461210	テレビ共聴 アンテナ	壁付型, 塔屋	0条件なし	1.0000	方所	47,880	47,880			1.新営	1-一般工事(A)	0	1	*
1E421240	テレビ共聴 テレビ	U-4	0条件なし	6.0000	台	35,343	212,058			1.新営	1-一般工事(A)	0	1	*
1E431210	テレビ共聴 分配器	CS-D6	0条件なし	6.0000	個	5,670	34,020			1.新営	1-一般工事(A)	0	1	*
1E433AA0	テレビ共聴 直列コ	CS-7F-7	0条件なし	2.0000	個	3,412	6,824			1.新営	1-一般工事(A)	0	1	*
1E433CC0	テレビ共聴 直列コ	CS-7F-R	0条件なし	1.0000	個	3,066	3,066			1.新営	1-一般工事(A)	0	1	*
#	小計(直前合計)	(直前までの単価を)					325,268			1.新営	1-一般工事(A)	0		
1E312220	拡声 ラック型非常	E4M8-60C1	0条件なし	1.0000	台	857,902	857,902			1.新営	3-主要機器(M)	0	1	
1E321160	拡声 卓上型一般	AP7-120C5-	0条件なし	1.0000	台	66,885	66,885			1.新営	3-主要機器(M)	0	1	
1E332210	拡声 スピーカ(露)	SW2 HI-3V0	0条件なし	18.0000	個	4,709	84,762			1.新営	1-一般工事(A)	0	1	
1E332520	拡声 スピーカ(露)	高音質型防水15	0条件なし	2.0000	個	14,332	28,664			1.新営	1-一般工事(A)	0	1	
1E341210	拡声 マイク	スタンド 卓上型	0条件なし	1.0000	台	3,412	3,412			1.新営	3-主要機器(M)	0	1	
1E341420	拡声 マイク	リセコン 5局卓上	0条件なし	3.0000	台	35,490	106,470			1.新営	3-主要機器(M)	0	1	
1E351730	拡声 ジャック類	タイピンマイク用ホ	0条件なし	1.0000	台	32,760	32,760			1.新営	3-主要機器(M)	0	1	
#1	小計(グループ合)	(グループ小計は仮)					1,506,123			1.新営	1-一般工事(A)	0		*

共通費率の計算に単価種別が反映されない項目 (仮単価となっている項目)

(注) 内訳明細等で単価項目を小計でまとめる際、仮単価の行(「仮」の列に「*」が自動表示される行)の単価種別は、共通費率の計算に単価種別が反映されません。
 内訳明細等で小計を行う場合は、グループ合計(「#1」等)の機能を使用して下さい。

◆グループ番号及びグループ合計を設定する際の注意事項

1. グループ番号は上から1、2、3、・・・9というように若い番号順に入力すること。
2. 各グループ内でグループ合計を入力するまでの途中の行には、異なるグループ番号は入力しないこと。

共通代価	コード	名称	規格・仕様	数量	単位	乗数	係数	単価	金額	摘要1(公開・単価根拠は)	摘要2(非公開)	版	gl
	3K101040	土工事 根切り	機械O. 1.3m3 (機)	3.0000	m3	1.0000	1.0000	2,390	7,170				1
	3K107020	土工事 地業	砂利 (碎石) (機)	1.0000	m3	1.0000	1.0000	8,010	8,010				1
	3K103040	土工事 埋め戻し	機械O. 1.3m3 (機)	2.0000	m3	1.0000	1.0000	3,060	6,120				1
	#1K10	諸雑費	グループ小計の10%	10.0000	%	1.0000	1.0000	21,300	2,130				
	3K101040	土工事 根切り	機械O. 1.3m3 (機)	4.0000	m3	1.0000	1.0000	2,390	9,560				2
	3K107020	土工事 地業	砂利 (碎石) (機)	1.5000	m3	1.0000	1.0000	8,010	12,015				2
	3K103040	土工事 埋め戻し	機械O. 1.3m3 (機)	2.5000	m3	1.0000	1.0000	3,060	7,650				2
	#2K10	諸雑費	グループ小計の10%	10.0000	%	1.0000	1.0000	17,210	1,721				

※注意
 グループ合計(に掛率)(#●%**)を設定する場合、グループ合計より上の行に当該グループコードを入力して下さい。
 グループ合計の下の行に当該グループ番号を入力してもエラーが出てグループ番号を振ることができません。
 この場合、GR欄に「1」を入力するとエラーになり、グループ合計に含まれません。

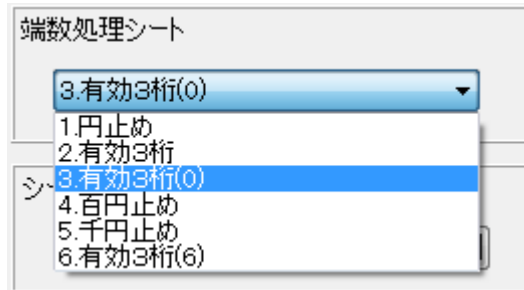
7 端数処理について

◆端数処理のパターンと処理後の値

種別	1	11	111	1,111	11,111	111,111	1,111,111
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
1. 円止め	1	11	111	1,111	11,111	111,111	1,111,111
2. 有効3桁	1	11	111	1,110	11,100	111,000	1,110,000
3. 有効3桁(0)	1	11	110	1,110	11,100	111,000	1,110,000
4. 百円止め	1	11	111	1,100	11,100	111,100	1,111,100
5. 千円止め	1	11	111	1,000	11,000	111,000	1,111,000
6. 有効3桁(6)	1	11	110	1,110	11,100	111,000	1,111,000

※「6.有効3桁(6)」は10万以上は「千円止め」、10万未満は「有効3桁(0)」と同じ処理となる。

◆端数処理の設定はプロパティ画面にて設定します。



8

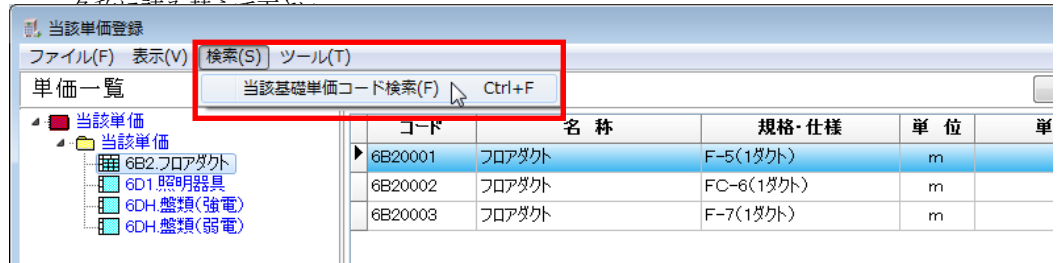
コードの検索機能

※当該単価コード・当該見積メーカーコード・当該歩掛コード・当該代価コードを各入力画面にて検索します。大規模な工事などのように入力済のコードの行数が多い場合においても、目的のコードへの頭出しを容易に行うことができます。

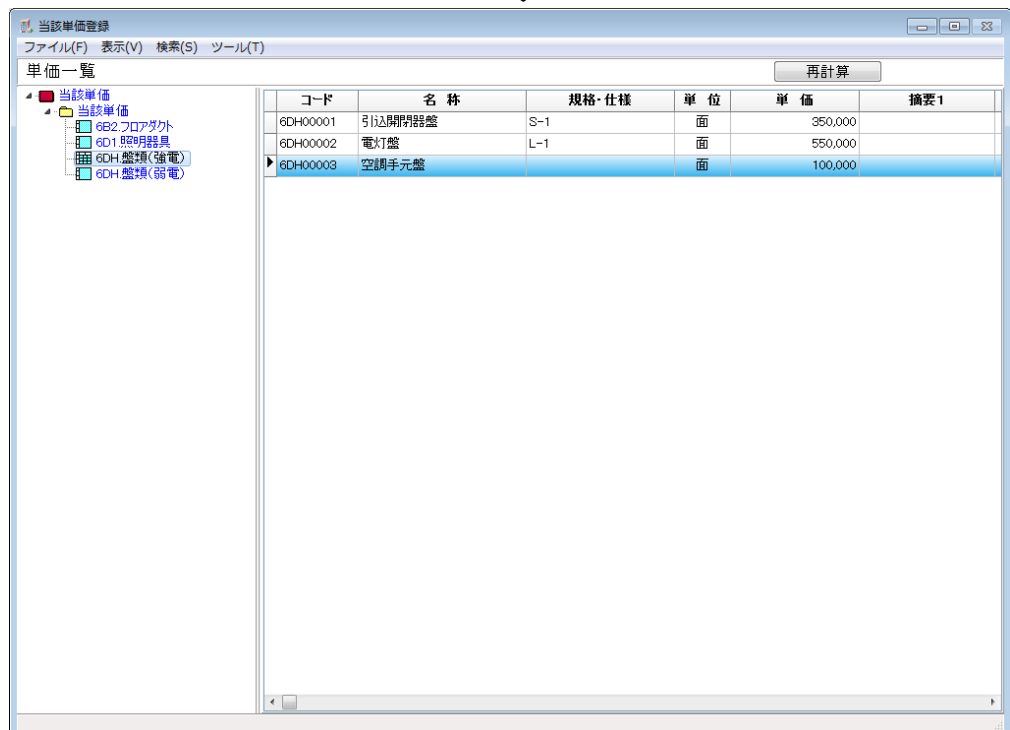
※本解説は[当該単価の入力]画面にて行います。他の画面についても操作方法は同じです。

1) [検索(S)]→[当該基礎単価コード検索(F)]をクリックして下さい。

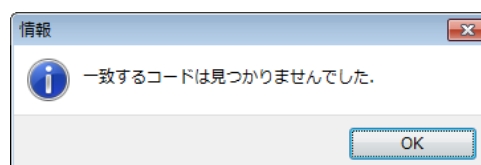
※[当該基礎単価コード検索(F)]など、ポップアップされるメニューの文字列はそれぞれの画面で対応する



2) 検索したいコードを入力し、[次を検索(F)]ボタンをクリックすると、一致するコードが見つかった場合はそのコードの行に頭出しされます。



※入力したコードと一致するデータが無い場合は、下記のメッセージが表示されます。



パターンコピー機能

※パターンコピー機能は以下のようなときに使用します。

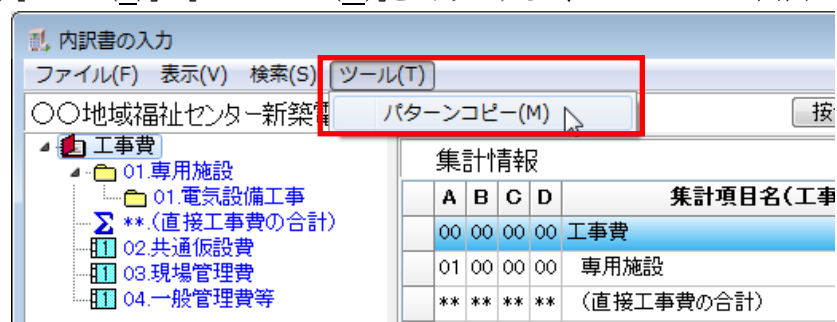
- ・本システムのインストール先フォルダー（標準は C ドライブの ADD21V2 フォルダー）内にある[内訳書パターン]フォルダー内に格納されている内訳書パターンファイルの、内訳明細の項目のフォルダー及びシート階層パターンを作業中の内訳書ファイルに取り込む時。
（内訳書パターンファイルは、「建築積算用」・「電気設備積算用」（2 パターン）・「機械設備積算用」が準備されていますので該当するものを利用します。）
- ・大規模な工事のように入力する項目が非常に多い場合、入力作業を複数人で分担して行うと複数の内訳書ファイルに分割された状態となります。それらの複数の内訳書ファイルの内容を最終的に1つの内訳書ファイルに取りまとめ作業を行うとき（内訳書ファイルの併合処理）。

※本解説は[内訳書の入力]画面にて行います。他の画面についても操作方法は同じです。適宜読み替えて下さい。なお、各画面におけるパターンコピーの対象データは、各画面で処理を行うデータとなります。

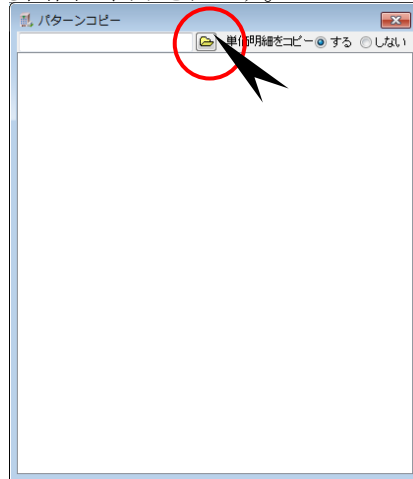
- 1) あらかじめ、内訳書ファイルが新規作成済または読み込まれている状態にして下さい。
- 2) 内訳書の入力・再計算 画面の集計情報表示状態にして下さい。
他の画面では、単価一覧(コード一覧)表示状態にして下さい。
※コード入力表示や内訳明細入力表示状態では操作できません。
※電気積算の内訳書ファイルの初期状態では、科目や中科目となるフォルダーやシートが登録されていないので、本機能を利用することにより、登録作業を省力化できます。



- 3) [ツール(T)]→[パターンコピー(M)]をクリックすると、パターンコピー画面が表示されます。



- 4) パターンコピー画面のフォルダーボタンをクリックすると、パターンを取り込むファイルを選択する画面が表示されます。



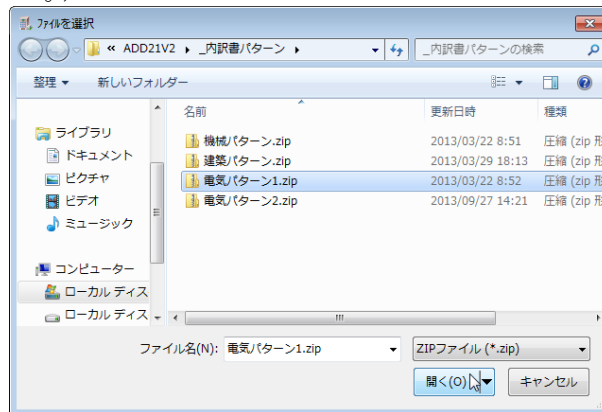
- 5) 「内訳書パターンファイル」または情報の取り込みを行う(併合処理を行いたい)内訳書ファイルを選択し、[開く(O)]ボタンをクリックすると、フォルダー・シート階層が表示されます。
 ※選択したファイルのバージョンが積算システムのバージョンと異なる場合は読み込みできません。選択したファイルから情報の取り込みを行いたい場合は、一旦そのファイルを読み込んでバージョンアップを行い、上書き保存(または[名前をつけて保存]により別名で保存)を行ってから処理を行って下さい。

※「内訳書パターンファイル」は、下記のフォルダーにインストールされています。

C:\¥Add21V2¥内訳書パターン (Cドライブ内の[ADD21V2]フォルダー内の[内訳書パターン]フォルダー)

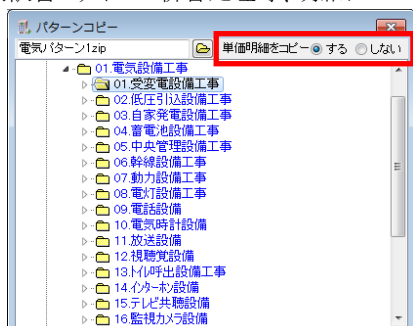
積算システムが、Cドライブにインストールされているものとします。

(尚、インストール先がCドライブでない場合は、Cを該当するドライブ名に読み替えて下さい。また、インストール先が任意の場所を指定した場合は、その場所に読み替えて下さい。)

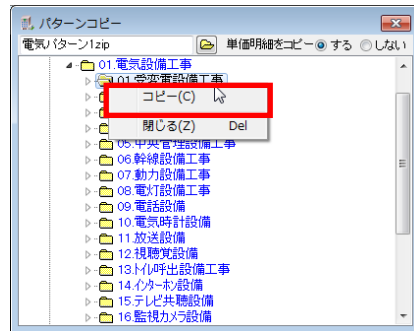


- 6) シートに保存されている明細(単価情報)についてもコピーする場合は、[単価明細をコピー]を[する]を選択して下さい。フォルダー・シート階層のみをコピーする場合は、[しない]を選択して下さい。

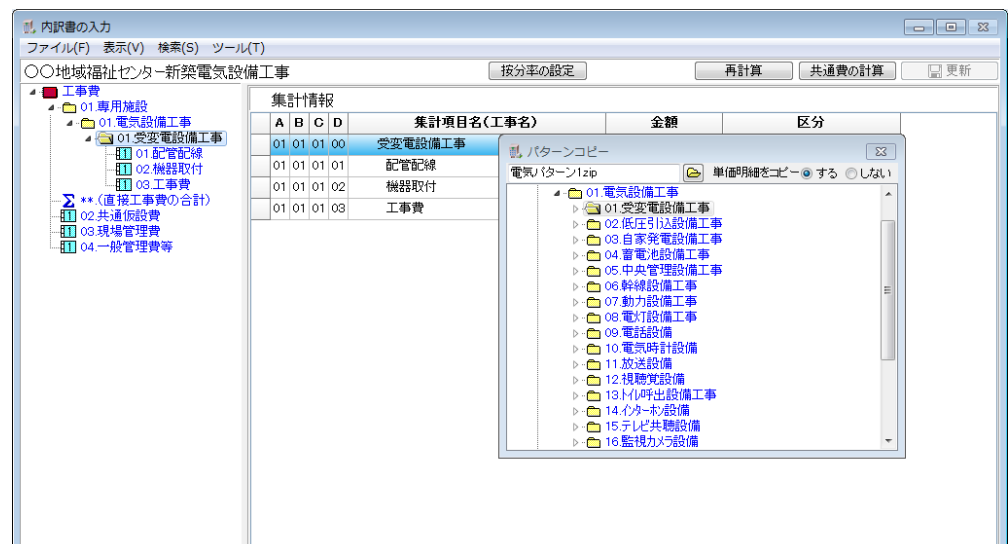
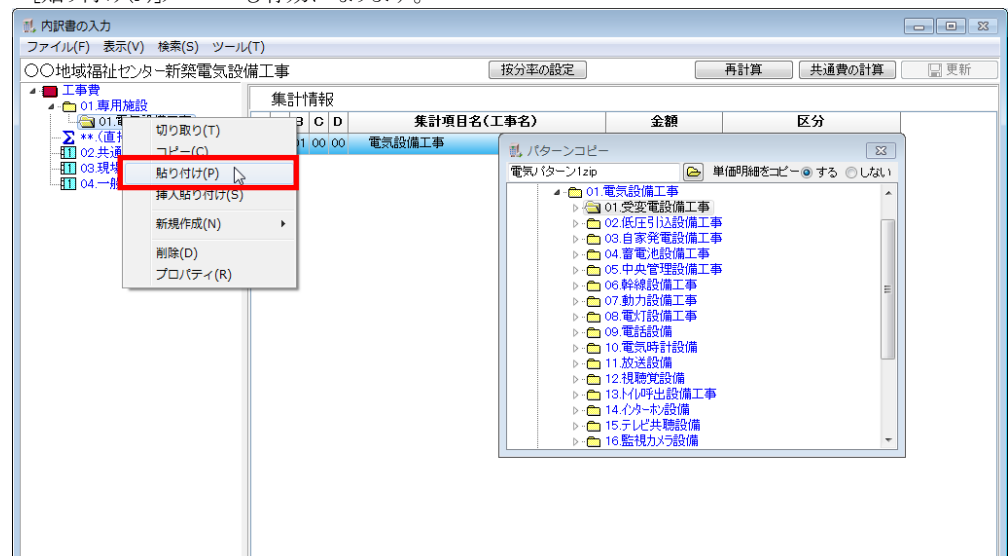
※内訳書ファイルの併合処理等、明細についてもコピーを行う場合は、必ず[する]を選択して下さい。



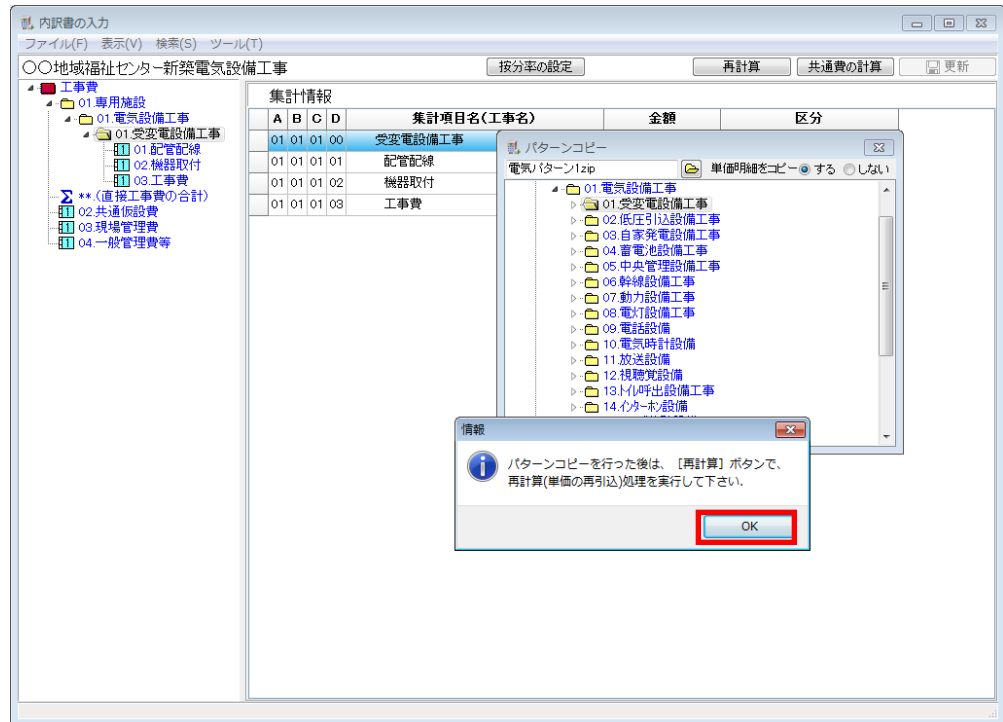
- 7) コピーしたいフォルダー又はシートを選択し(文字の背景に色がついた状態または文字色が反転している状態で)、右クリック→[コピー(C)]をクリックして下さい。
 ※コピーした情報が失われるので、パターンコピー画面は開いたまま、選択しているフォルダーまたはシートをそのまま保持しておいてください。



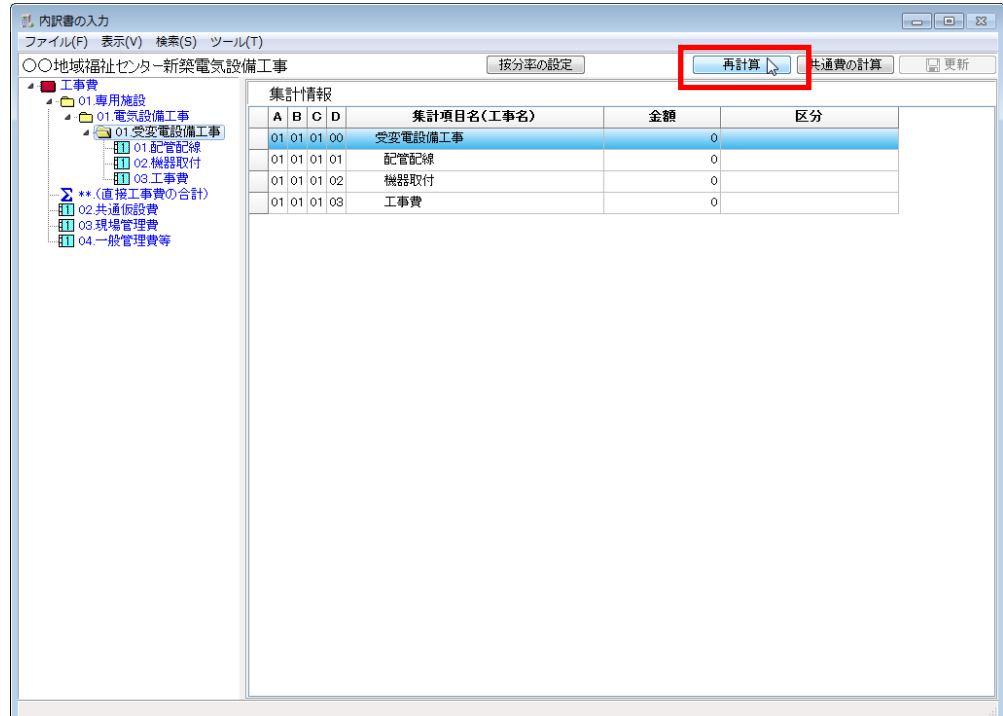
- 8) 入力画面の貼り付け(または挿入貼り付け)を行いたいツリービューの位置を選択し(文字の背景に色がついた状態または文字色が反転している状態で)、右クリック→[貼り付け(P)] (または[挿入貼り付け(S)])をクリックすると、内容が貼り付けられます。
 ※[単価明細をコピー]を[する]を選択した場合は、シートに保存されている明細(単価情報)も貼り付けられます。
 ※下図はシートを選択しているため[貼り付け(P)]メニューが無効になっています。フォルダーを選択すると[貼り付け(P)]メニューも有効になります。



- 8) パターンコピー作業が完了しましたら、パターンコピー画面の右上の \times ボタンをクリックし、パターンコピー画面を閉じて下さい。
 ※パターンコピー画面を閉じる際に下記のメッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックして下さい。

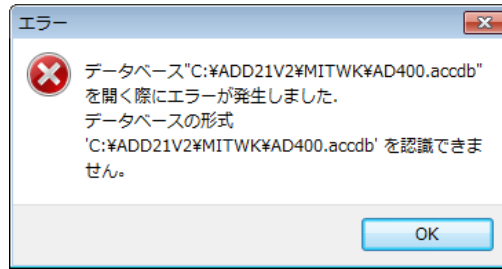


- 8) 再計算ボタンをクリックし、再計算を行って下さい。

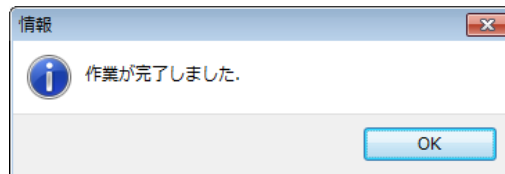
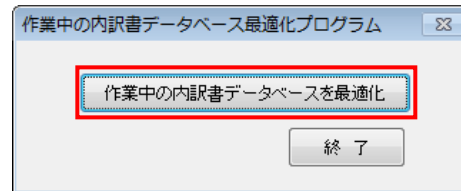


内訳書データベースの最適化

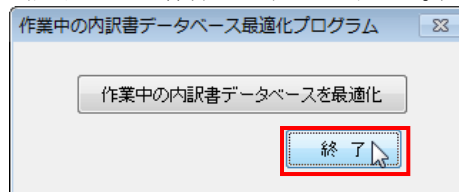
作業中に、極めてまれに下図の例のようなエラーメッセージが表示され、何らかの原因によりデータを正常に読み書き出来ない状態となる現象が発生する場合があります。その際は、下記の手順にて内訳書データベースの最適化を行うことにより、エラーが解消される場合があります。



- 1) メインメニュー[11.内訳書ファイルツール]→[1. 内訳書データベースの最適化]をダブルクリックすると、内訳書データベースの最適化画面が表示されます。
- 2) 「作業中の内訳書データベースの最適化」ボタンをクリックすると最適化処理が行われます。最適化作業が完了すると、「作業が完了しました。」というメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックして下さい。



- 3) 「終了」ボタンをクリックして内訳書データベースの最適化画面を閉じ、メインメニューへ戻して下さい。その後、エラーが発生した作業を再試行し、エラーが発生しなければ問題は解消されています。(エラーが解消しない場合は、内訳書ファイルのエラーが修復不可能なため、保存済の内訳書ファイルを読み込んで作業を再開して下さい。)



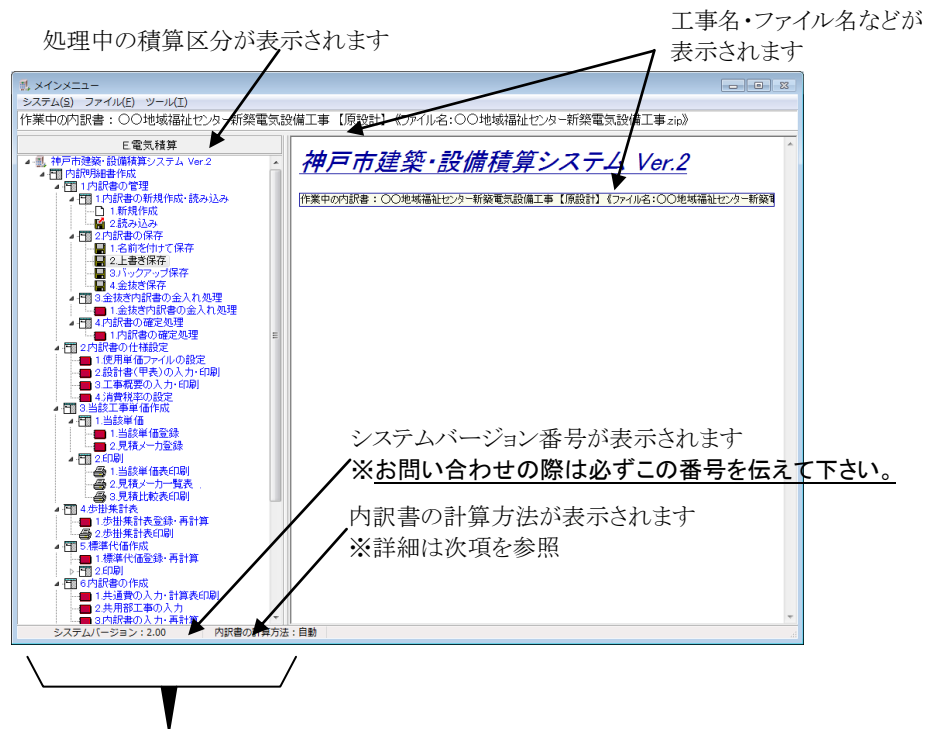
※ 内訳書データベースの最適化処理は内訳書の保存処理中に自動的に実行されるため、通常は実行する必要はありません。

5

メインメニュー

1








メインメニュー画面の表示項目について





[業務選択メニュー]



ダブルクリックでプログラムを
実行します。〈ツリービュー〉


※[ファイル(F)]メニューにも、[内訳書の新規作成]・[読み込み]・[保存]関係などのようなよく使われる機能を割り当てています(動作は[業務選択メニュー]の該当する機能と同じです)。

アイコン	内 容
	[システム(S)メニュー内アイコン] システムを終了します。
	[システム(S)メニュー内アイコン] システムの環境を設定します。
	[グループアイコン] このアイコン下階層に関連プログラム起動用アイコンがあります。
	[プログラムアイコン] 登録/計算/その他プログラムを実行します。
	[プログラムアイコン] 内訳書ファイルの新規作成を行います。
	[プログラムアイコン] 内訳書ファイルの読み込みを行います。
	[プログラムアイコン] 内訳書ファイルの保存を行います。
	[プログラムアイコン] データ印刷のプログラムを実行します。

※キーボードでの操作

  :〈ツリービュー〉項目を上下にスクロールします。

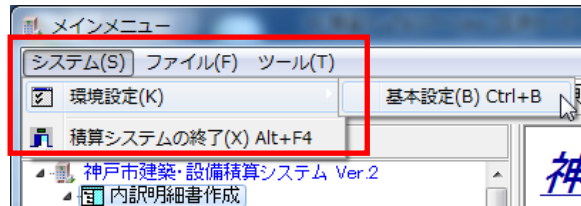
  :〈ツリービュー〉の拡張/縮小を行います。

 :プログラムアイコンを実行します。

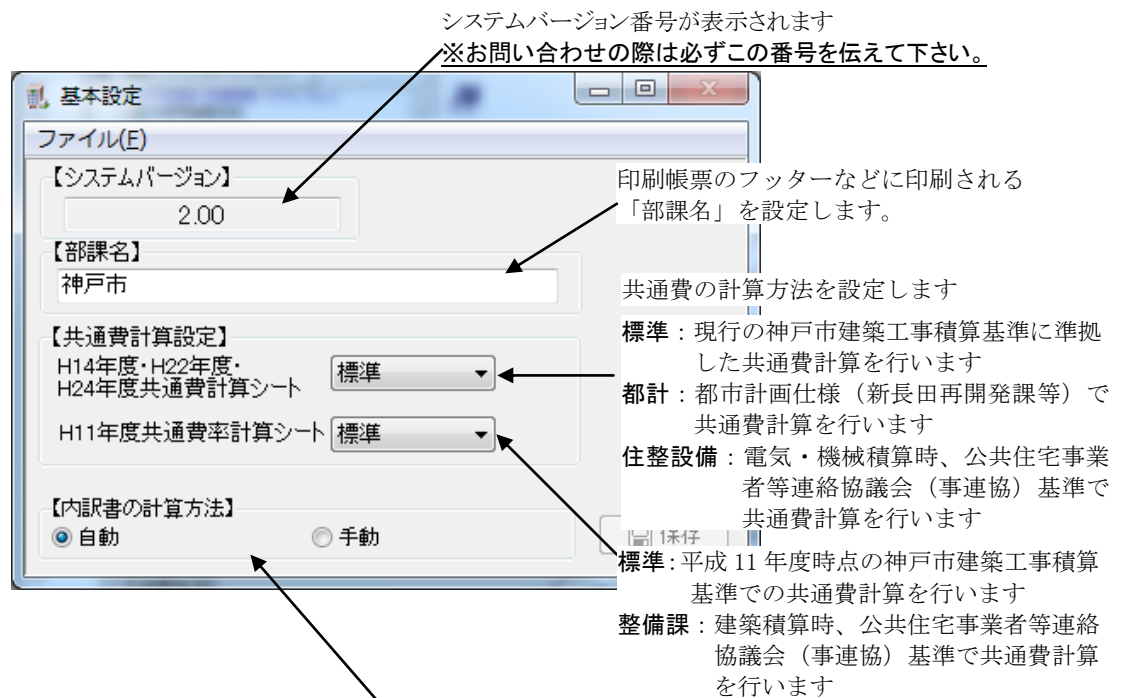
2 メインメニューの機能について

1 環境設定(基本設定)

- 1) メインメニューの[システム(S)]→[環境設定(K)]→[基本設定(B)]をクリックして下さい。



- 2) 各項目の設定を行い、「保存」ボタンをクリックするとシステム環境に反映されます。
 ※次回起動時も設定値を記憶しています。【内訳書の計算方法】など、その都度変更を要する項目については、必要に応じて本画面にて再設定を行って下さい。



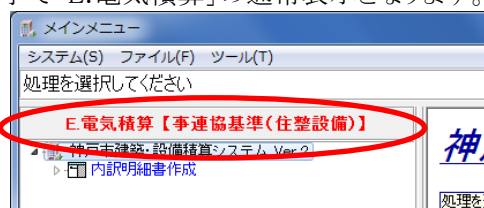
通常は「自動」に設定して下さい。

内訳書の項目及び明細が多い大規模な工事を作業する際、内訳明細の入力を終えた後に項目へ戻る際、積上げ計算をその都度行っているため画面の切り替え処理が極端に遅くなる場合があります。その際は「手動」にしますと、その都度行われる積上げ計算を省き、処理速度を向上させることが出来ます。

（「手動」に設定している場合、最終的な金額を出す場合は、必ず【一括再計算】処理を行って下さい。）

※共通費計算については、[共通費の入力]画面における共通費シートの設定状況により、「H14年度・H22年度・H24年度」または「H11年度」のいずれかの共通費計算シートがシステムにて選択されます。

※「H14年度・H22年度・H24年度共通費計算シート」の設定値を「住整設備」に設定した場合のみ、メインメニュー画面の下図の部分の表示が変更されます。（「標準」・「都計」の場合は黒文字で「E.電気積算」の通常表示となります。）



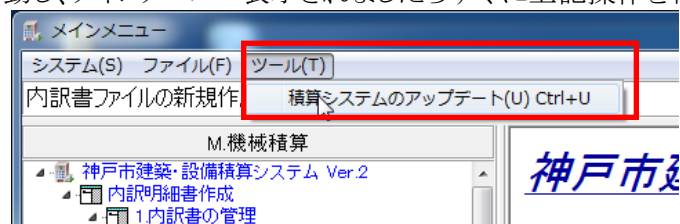
※バージョン1では消費税率の設定を本画面で行いましたが、バージョン2以降は「消費税率の設定画面<本書 P70 参照>」にて行います。

2 積算システムのアップデート(不具合修正・部分的な変更の発生時、設計書(甲表)差し替え時)

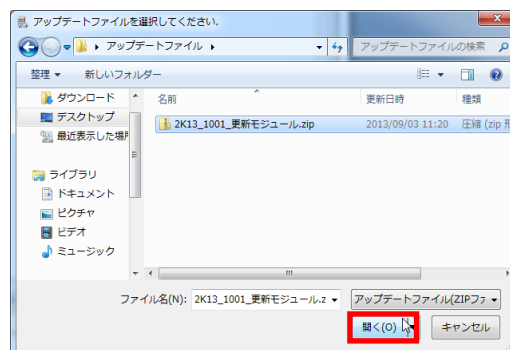
積算システムの不具合・システムの変更点が生じた際、次回バージョン配布までの間、現在のシステムの修正・変更部分を新しいプログラムに置き換えます。また、各部署用の設計書(甲表)の差し替え時も同様の操作で行います。

※ 以降、解説用に作成した擬似アップデートファイルによる実行結果の例として解説致します。従いまして、[2K13_1001_更新モジュール(2.00).zip](平成 25 年(2013 年)10 月 01 日修正分)擬似アップデートファイルは実際は配布されていません。

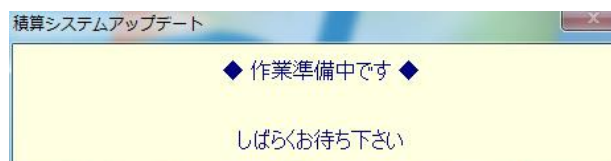
- 1) 積算システムを起動し、メインメニューを表示して下さい。
- 2) メインメニューの [ツール(T)] → [積算システムのアップデート(U)]をクリックして下さい。
 ※(既に内訳書の新規作成や読み込みを行うなど何らかの作業を行った場合は[積算システムのアップデート(U)]が使用不可になります。その際は、積算システムを再起動し、メインメニュー表示されましたらすぐに上記操作を再試行して下さい。)



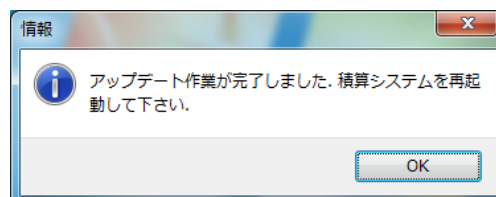
- 3) 配布されたアップデートファイルを選択し、[開く(O)]ボタンをクリックして下さい。
 ※ファイルの名前・ファイル数は、配布される時により異なります。



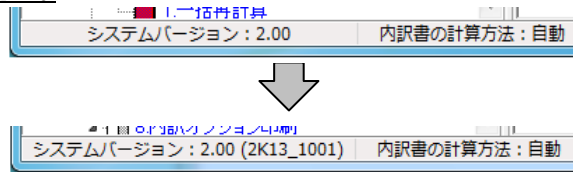
- 4) 以下のような画面が表示されるのでしばらくお待ち下さい。



- 5) 完了後、以下のメッセージが表示されます。積算システムを再起動して下さい。



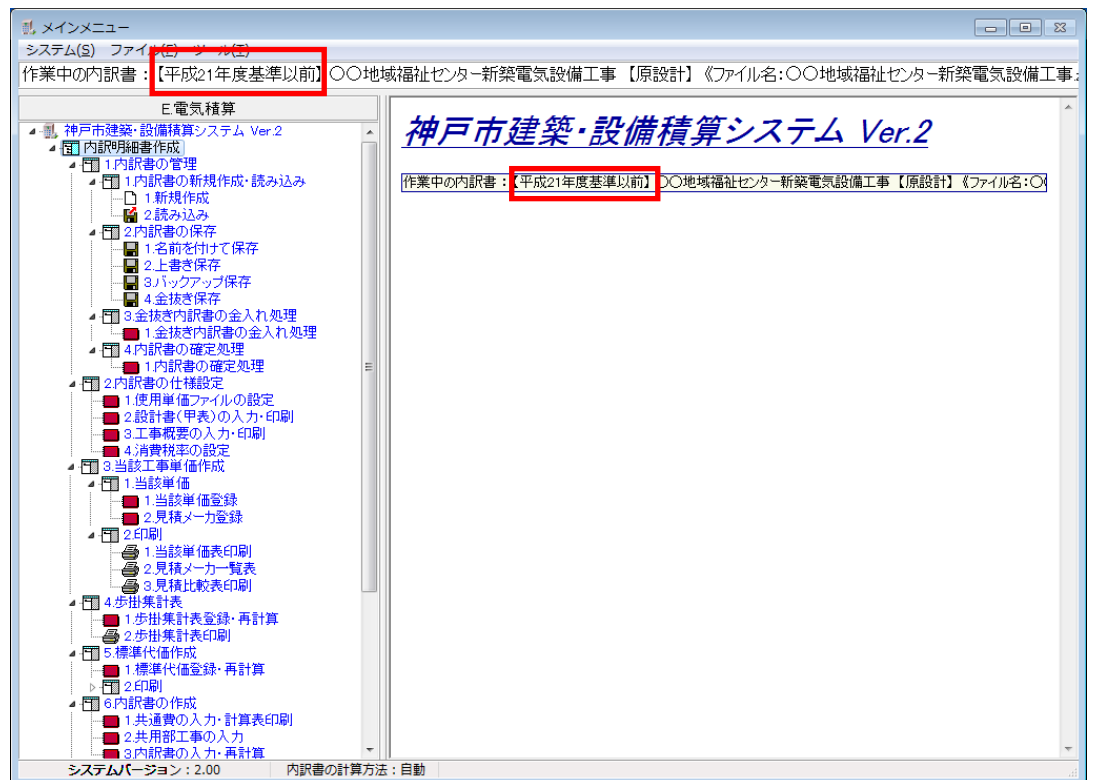
- 6) 更新後、メインメニュー画面左下のバージョン表示部は、システムバージョンに加えて括弧で囲まれた更新バージョン番号(下記の例では[2K13_1001])が表示されます。
※お問い合わせの際は必ずシステムバージョン番号に加え更新バージョン番号も併せて伝えて下さい。



- ※以降の解説ではシステムバージョンの表示を[更新前]の状態に戻しています。
 ※設計書(甲表)の差し替え時は、システムバージョン番号は変更されません。

3 積算基準改定に伴う表示について

平成 29 年度版よりも前の積算基準で作成された内訳書ファイルを読み込んだ際は、工事名称等表示部に下記のように表示されます。積算基準変更に伴う本システムの更新内容等の詳細は、下記に示す補足事項を参照して下さい。



作成した積算システムバージョン (基準更新前)	積算基準(表示)	詳細参照箇所 (本書)
β 1.00～β 1.46	【平成 21 年度基準以前】	補足 1
β 1.50～β 1.56	【平成 22～23 年度基準】	補足 2
β 1.60～2.07	【平成 24～28 年度基準】	補足 3

内訳書の新規作成/保存・読み込み

内訳書の新規作成

1) メインメニュー[1.内訳書の管理]→[1.内訳書の新規作成・読み込み]→[1.新規作成]をダブルクリックすると工事概要入力画面が表示されます。

2 [工事名称]及び[工事概要]の各項目を入力して下さい。

【注意】工事名称が入力されていないと、新規内訳書を作成できません。

※工事名称は、次のように反映されます。

① 設計書(甲表)の工事名称 ※工事概要⇄設計書(甲表)の相互で修正変更が可能です。

② 保存時の工事名称(新規作成→名前をつけて保存時のみ(任意変更可))

※保存時の工事名称([内訳書の読み込み]画面のリスト表示用)は、内訳書の保存画面にて本来の工事名とは異なる任意の工事名称を設定可能(別名称の工事名称は帳票等には反映されません)。

※【工事名】及び【工事概要(全体)】の各項目は、次のように反映されます。

① 【工事】 ※共通費計算時の判断項目

＜1.主工事＞ ＜2.従工事＞ 何れか該当する工事を選択して下さい。

※内訳書の項目の雛形に影響するため、新規作成時に正確に選択して下さい。

※環境設定(基本設定)画面<本書 P38 参照>で「H14 年度・H22 年度・H24 年度共通費計算シート」の設定値を「住整設備」に設定した場合のみ、<従工事>は使用しないため、「※」表示になっています。

② 【工事種別】 ※共通費計算時の判断項目/内訳明細の[工事種別]項目([工種]と表示)の値

＜1.新営＞ ＜2.改修＞ ＜4.昇降機＞

※設備積算では<3.新営+改修>は使用しないため、「※」表示になっています。

※設計事務所版として運用している場合、設備積算では<2.改修>は選択できません。

※環境設定(基本設定)画面<本書 P38 参照>で「H14 年度・H22 年度・H24 年度共通費計算シート」の設定値を「住整設備」に設定した場合のみ、<2.改修>は使用しないため、「※」表示になっています。

③ 【追加工事】 …追加工事か否かを設定して下さい。 ※共通費計算時の判断項目

④ 【契約保証金の有無】 ※共通費計算時の判断項目(平成 30 年度以降積算基準に適用)

＜1.有＞ …契約保証金を[一般管理費等]に計上する場合設定します。

[契約保証率]契約保証率(%)を入力して下さい。

※<0.無>の場合は、契約保証金を一般管理費等に計上しません。

⑤ 上記以外の項目は、メモ情報として処理されます。(入力値は共通費計算に影響しません。)

3) [OK] ボタンにより、新規データがシステムの作業領域に作成され、メインメニューに戻ります。

※処理が正常に行われると、メインメニューの工事名称等表示部に、入力した工事名称が表示されます。

※内訳書を「名前をつけて保存」<本書 P42 参照>を行うまでは、内訳書ファイルとして保存されません。

2

内訳書の保存

1 名前を付けて保存

※既存の内訳書ファイルを別ファイル名で保存する場合も、「名前をつけて保存」にて処理を行います。

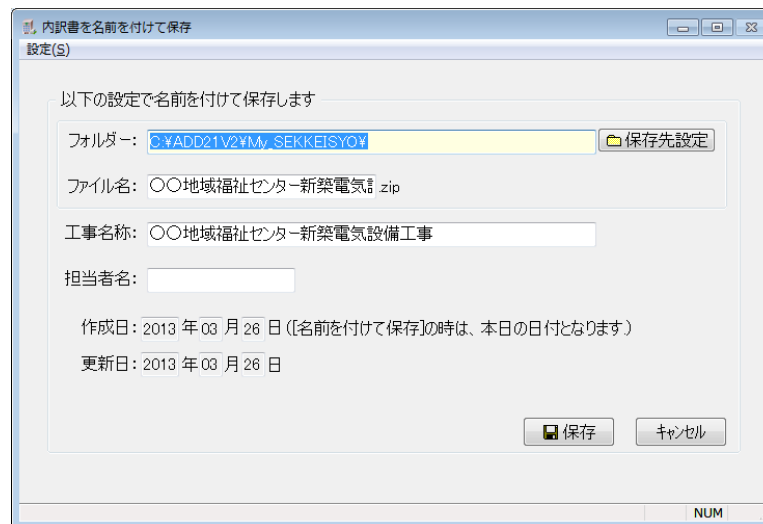
(既存の内訳書ファイルとは別物扱いとなります。)

※既存の確定済内訳書ファイルに対して「名前をつけて保存」にて保存処理を行った場合は、確定済情報が削除され、編集可能となります(確定済の内訳書ファイルを残す必要があるため、必ず、「確定済内訳書ファイル」とは異なるファイル名で保存して下さい)。

※神戸市認証済環境で既存の内訳書ファイルに対して「名前をつけて保存」にて保存処理を行った場合は、金抜き情報が削除されます。同じファイル名で保存した場合は金入れ処理を行うことが不可能となりますので、必ず別ファイル名で保存するように十分注意して下さい。

1) メインメニューのツリービューの[1.内訳書の管理]→[2.内訳書の保存]→ [1.名前を付けて保存] をダブルクリックすると[内訳書を名前を付けて保存] 画面が表示されます。

※上記操作はメインメニューの[ファイル(F)]→「内訳書に名前をつけて保存(Ctrl+A)」と同様。



2) 別のフォルダーに保存したい場合は、[フォルダー]欄に保存先フォルダーまでのパス名を直接入力するか、[保存先設定]ボタンを押して保存先を設定してください。



※データベースファイルの圧縮率低下に伴い、ファイルサイズが 3MB 以上になりますのでご注意ください。

※[作成日]と[更新日]は、双方ともに本日の日付となります(既存の内訳書ファイルを処理時も同様)。

3) [保存]ボタンをクリックして保存処理を実行して下さい。

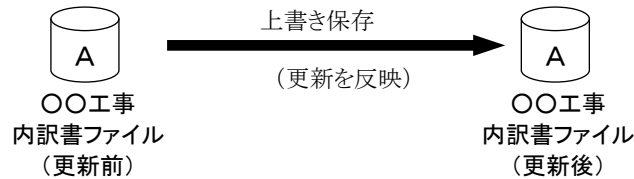
4) 保存処理が完了するとメニューに戻りますが、システムを終了するまで作業中のデータは保持されています。

※引続き作業を行うことが可能です。

※引続き編集作業を行った後で再度データを保存する場合は、通常、上書き保存を行います。

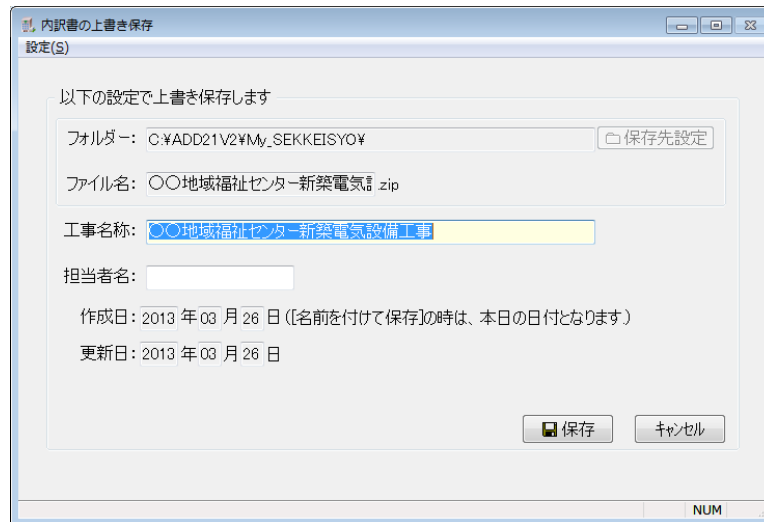
2 上書き保存

※内訳書の新規作成時は、上書き保存は実行できません。まず、[1.名前を付けて保存]を行って下さい。



- 1) メインメニュー[1.内訳書の管理]→[2.内訳書の保存]→[2.上書き保存] をダブルクリックすると、[内訳書の上書き保存] 画面が表示されます。

※上記操作はメインメニューの[ファイル(F)]→「内訳書を上書き保存(Ctrl+S)」と同様。



※ 最終保存先(読み込み先または最後に保存したフォルダー)の内訳書ファイルが上書き保存されます(保存先フォルダー及びファイル名は変更出来ません)。

※上書き保存後はデータを元に戻すことはできませんので、十分注意して下さい。

※[更新日]のみ、本日の日付に更新されます。

- 2) [保存]ボタンをクリックして保存処理を実行して下さい。

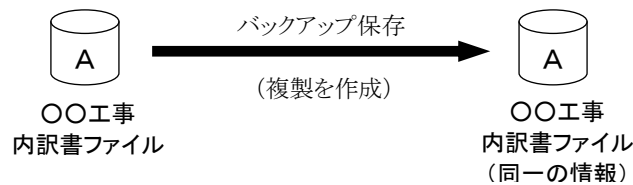
- 3) 保存処理が完了するとメニューに戻りますが、システムを終了するまで作業中のデータは保持されています。

※引続き作業を行うことが可能です。

※引続き編集作業を行った後で再度データを保存する場合は、通常、上書き保存を行います。

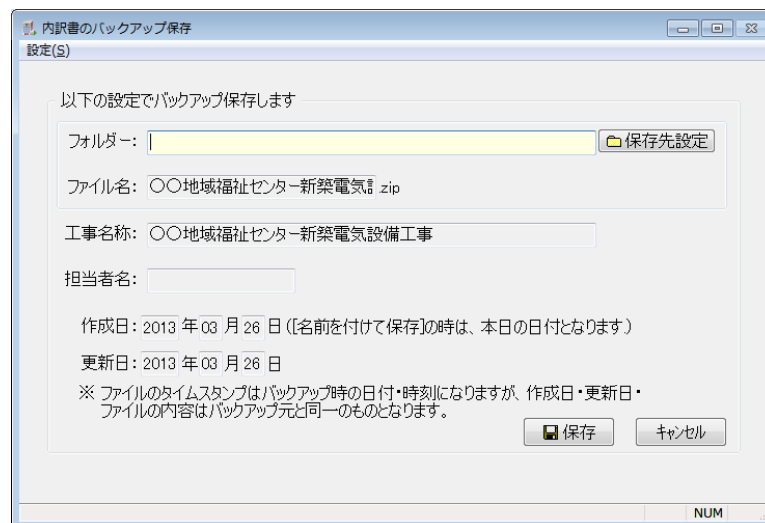
3 バックアップ保存

※最終保存先と異なる保存先に[作成日]及び[更新日]を変更されることなく保存したい場合に使用します。
 ※内訳書の新規作成時は、バックアップ保存は実行できません。まず、[1.名前を付けて保存]を行って下さい。



- 1) メインメニュー[1.内訳書の管理]→[2.内訳書の保存]→[3.バックアップ保存] をダブルクリックすると、[内訳書のバックアップ保存]画面が表示されます。

※上記操作はメインメニューの[ファイル(F)]→「内訳書をバックアップ保存(Ctrl+U)」と同様。



- 2) バックアップ保存先フォルダーまでのパス名を直接入力するか、[保存先設定]ボタンを押して保存先を設定してください。

※バックアップ保存先に指定したフォルダーに同じファイル名のファイルが既に存在する場合は、そのフォルダーにはバックアップ保存できません。その際は別のフォルダーを設定して下さい。

- 3) [保存]ボタンをクリックして保存処理を実行して下さい。

- 4) 保存処理が完了するとメニューに戻りますが、システムを終了するまで作業中のデータは保持されています。

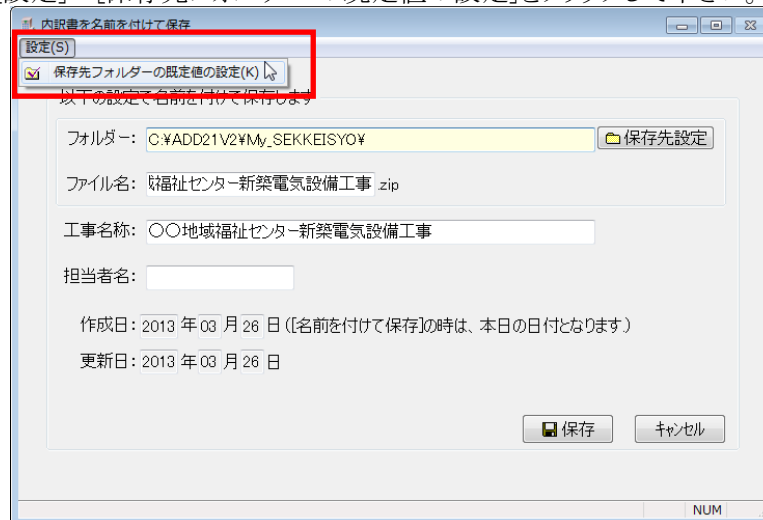
※引続き作業を行うことが可能です。

※引続き編集作業を行った後で再度データを保存する場合は、通常、上書き保存を行います。

4 保存先フォルダーの既定値の設定

※「名前をつけて保存」・「上書き保存」・「バックアップ保存」とも共通。

- 1) [設定]→[保存先フォルダーの既定値の設定]をクリックして下さい。



- 2) 保存先の既定値に設定したいフォルダーを選択し、[OK]ボタンをクリックして下さい。



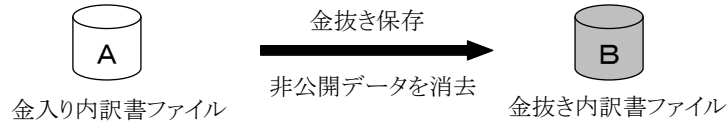
※次回から、[名前をつけて保存]を行う際は、設定したフォルダーが保存先の既定値として設定されます。
 ※内訳書ファイルの読み込み先フォルダーの既定値にも反映されます。

3

内訳書の金抜き保存

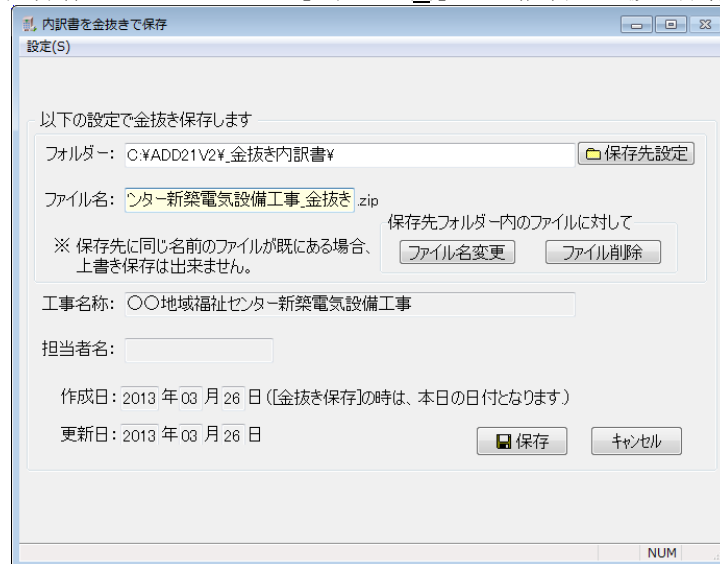
※内訳書の新規作成時は、金抜き保存は実行できません。まず、[1.名前を付けて保存]を行って下さい。
 ※設計事務所版環境では、金抜き保存は実行できません。

- ◆ 神戸市認証版システム環境に保存されている既存の金入り内訳書ファイルの編集作業を設計事務所等に委託する際は、必ず「金抜き処理」を行い、金抜き内訳書ファイルを渡します。(金入り内訳書ファイルは設計事務所版環境では読み込みできません)。
 ※単価、金額、摘要、低減率、査定率等の非公開データは消去されます。なお、消去された非公開データは、「金抜き内訳書の金入れ処理」〈本書 P56 参照〉にて元に戻します。

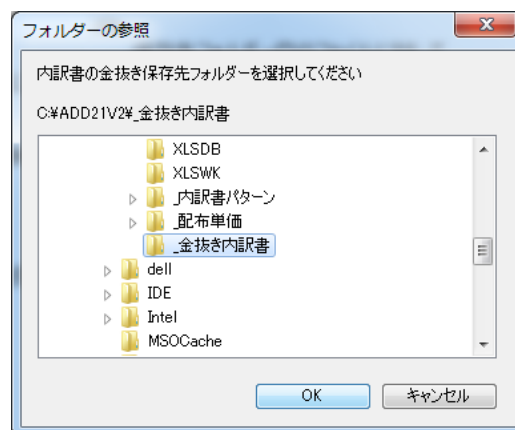


- 1) メインメニュー[1.内訳書の管理]→[2.内訳書の保存]→[3.金抜き保存] をダブルクリックすると、[内訳書の金抜きで保存]ダイアログが表示されます。

※上記操作はメインメニューの[ファイル(F)]→「内訳書を金抜き保存(Ctrl+M)」と同様。



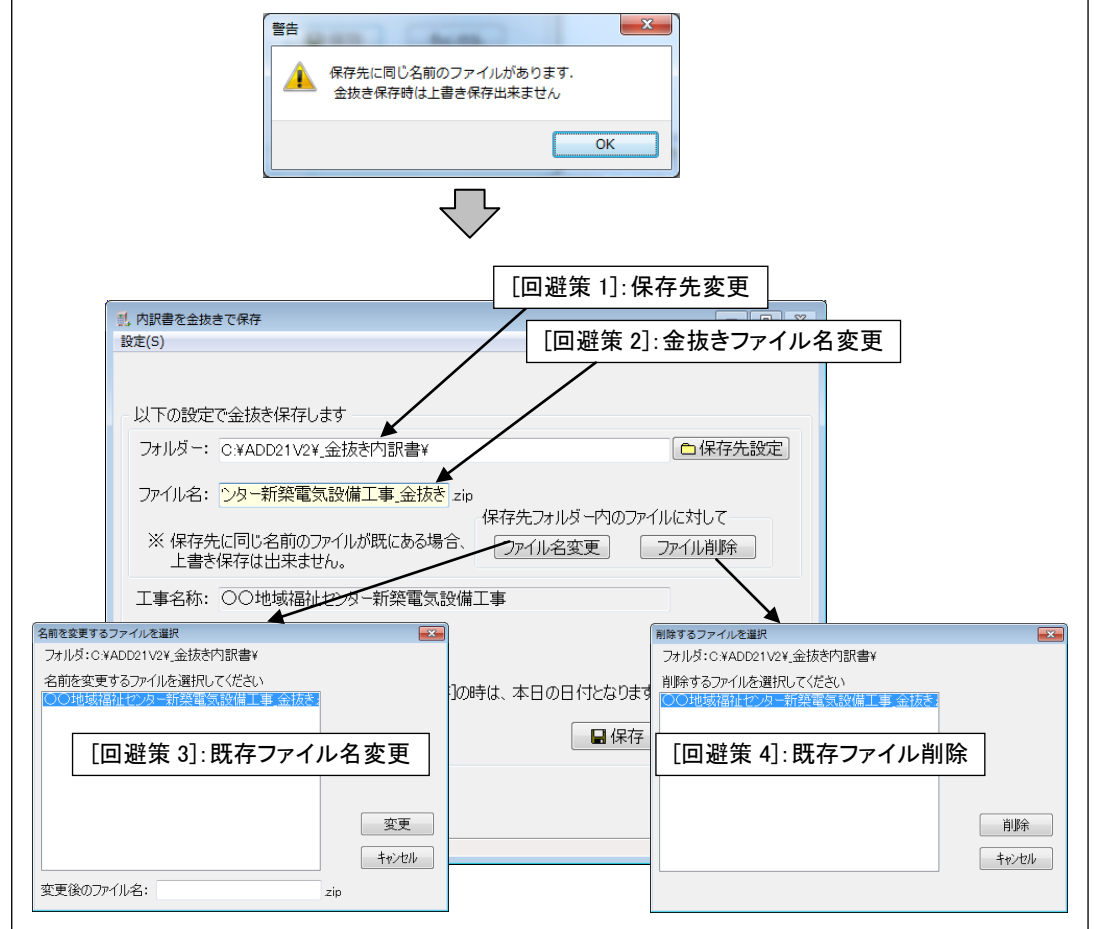
- 2) 保存先を変更したい場合は、直接フォルダー欄に入力するか、[保存先設定]ボタンを押して保存先を設定してください。



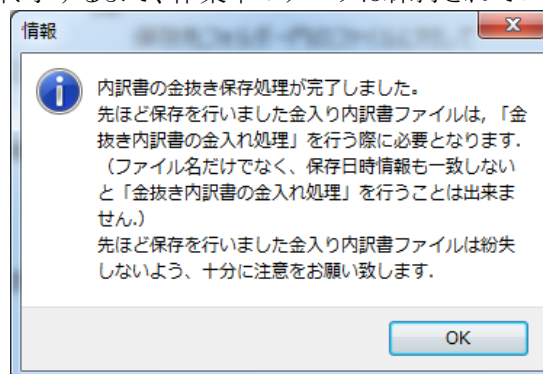
※データベースファイルの圧縮率低下に伴い、ファイルサイズが 3MB 以上になりますのでご注意ください。

3) 保存ファイル名を入力して、[保存]ボタンをクリックして下さい。

※金抜き保存先に同じファイル名のファイルが存在する場合は下記メッセージが表示され、金抜き保存できません。その際は、別の保存先または別のファイル名を設定するか、金抜き保存先の既存のファイルに対して[ファイル名変更]を行うか、[ファイル削除]を行って下さい。



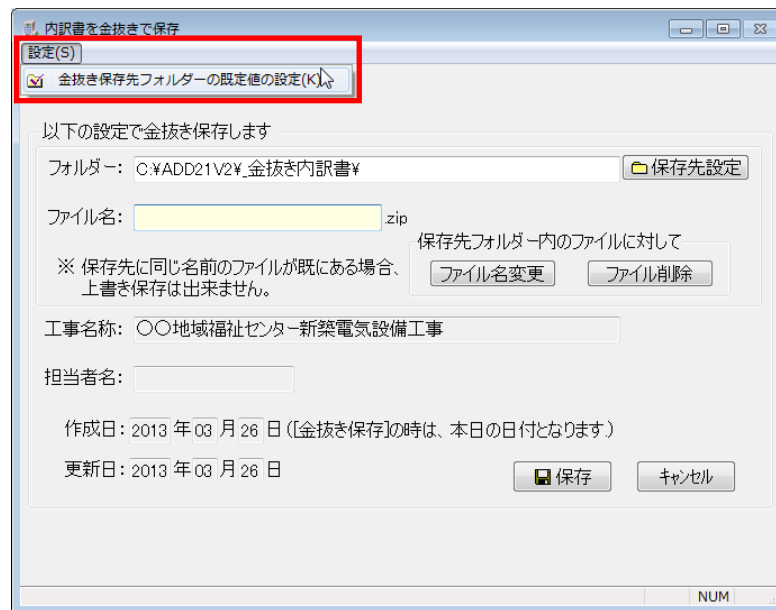
4) 保存が終了すると下記メッセージが表示され、[OK]ボタンをクリックするとメニューに戻りますが、システムが終了するまで、作業中のデータは保持されています。



- ※金抜き処理後、設計事務所等に編集作業を委託前に変更を要する箇所が発見された場合は、修正後に上書き保存し、再度金抜き保存を行い、金抜き処理した内訳書を設計事務所等に渡して下さい。
- ※引続き作業を行うことが可能ですが、設計事務所等に編集作業を委託後は、トラブル防止のため、後日金抜き内訳書ファイルの最終成果物が納品されて金入れ処理を行うまでの間については、金入り内訳書ファイルは編集しないで下さい(正常に金入れ処理が出来なくなる可能性があるため、内容の閲覧や印刷を行う程度にとどめて下さい)。
- ※設計事務所等に編集作業を委託後は、内訳書ファイル名の変更を行ったり金抜き処理を再度行ったりすることは厳禁です。金抜き内訳書の金入れ処理ができなくなります。
- ※設計事務所等に編集作業を委託後は、金抜き内訳書ファイルの最終成果物が納品されるまでは、金入り内訳書ファイルは絶対に紛失しないように注意して下さい。金抜き内訳書の金入れ処理ができなくなります(非公開情報を神戸市環境で全て手作業にて復旧することとなります)。
- ※内訳書の金入れ処理は、<本書 P56>を参照して下さい。

※ 金抜き保存先フォルダーの既定値の設定

- 1) [設定]→[保存先フォルダー既定値の設定]をクリックして下さい。



- 2) 金抜き保存先の既定値に設定したいフォルダーを選択し、[OK]ボタンをクリックして下さい。



※次回から、[金抜き保存]を行う際は、設定したフォルダーが金抜き保存先の既定値として設定されます。

4

内訳書の読み込み

1 内訳書の読み込み

1) メインメニュー[1.内訳書の管理]→[1.内訳書の新規作成・読み込み]→[2.読み込み] をダブルクリックして下さい。

※上記操作はメインメニューの[ファイル(F)]→[内訳書の読み込み(Ctrl+O)]と同様。

2) [内訳書の読み込み]画面が表示されます。

◆読み込み先フォルダー内の内訳書データファイルの一覧が表示されます。

※読み込み先フォルダーに工事ファイルが無い時 または、内訳書管理ファイルが無い時には一覧表示されません。

[内訳書管理ファイル]・・・このファイルに登録(ファイル名、工事名称等の情報)された工事ファイルをシステムが、[内訳書ファイル選択]時に一覧表示します。

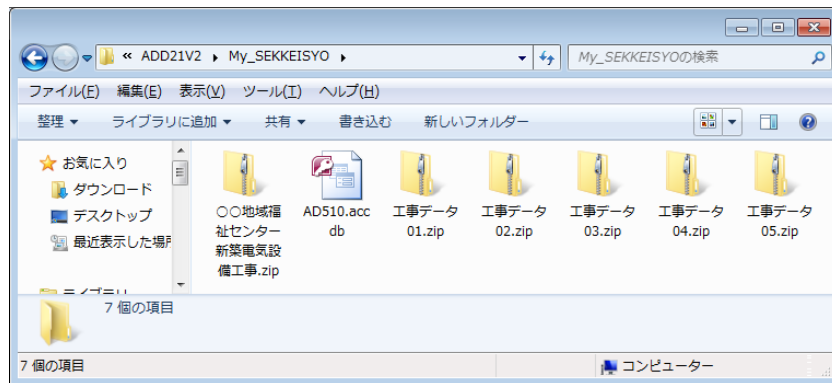
※このファイルは、保存先フォルダーに必ず1つ必要です。

◇インストール時の既定値「C:\Add21V2\My_SEKKEISYO」を読み込み先フォルダーと仮定した場合、内訳書管理ファイルと内訳書データファイル、読み込み先フォルダーの関係は次のようになります。

内訳書管理ファイル AD510..accdb(選択リストに表示される情報が保存されています)

内訳書データファイル ... 工事データ_01..zip ~ 工事データ_05..zip・・・等

・読み込み先フォルダー(内訳書データファイルが保存されているフォルダー)



・内訳書管理ファイル「AD510..accdb」の登録されている情報が一覧表示されます。(標題部の項目名をダブルクリックすると、その項目順にデータが並び変わります。)

内訳書の読み込み												
読み込み先フォルダー: C:\ADD21V2\My_SEKKEISYO												
E. 電気積算												
No	*	積算区分	ファイル名	工事名	担当者名	作成日	更新日	ファイル有無	設計回	確定	金抜き	保存バージョン
1	E	電気積算	〇〇地域福祉センター新築電気設備工事	〇〇地域福祉センター新築電気設備工		2010.05.22	2013.09.23	○	原設計			2.00
2	E	電気積算	工事データ01.zip	工事①		2013.02.18	2013.02.26	○	原設計			2.00
3	E	電気積算	工事データ02.zip	工事②		2013.02.01	2013.02.19	○	原設計			2.00
4	E	電気積算	工事データ03.zip	工事③		2013.03.19	2013.03.24	○	原設計			2.00
5	E	電気積算	工事データ04.zip	工事④		2013.01.11	2013.03.03	○	原設計	○		2.00
6	E	電気積算	工事データ05.zip	工事⑤		2013.03.03	2010.03.26	○	設置01			2.00

※読み込み先フォルダーに内訳書データファイルが存在するのに、一覧表示されない時は、[追加登録]ボタンを押して一覧表示させたい内訳書データファイルを選択して下さい。

※一覧から登録情報を削除したい場合は、[登録削除]ボタンを押して下さい。

1. 「選択されている内訳書の登録情報を内訳書管理ファイルより削除しますか?」というメッセージが表示されます。

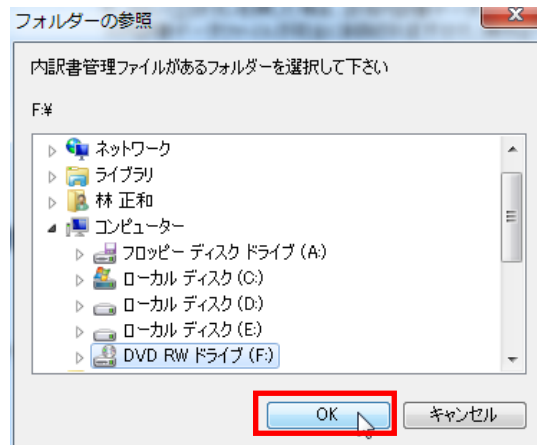
[はい(Y)]ボタンを押した場合、内訳書管理ファイルの該当情報が削除されます。

※この時点では、読み込み先フォルダー内の内訳書データファイルは削除されません。

2. 次に、「読み込み先フォルダーの内訳書データファイルも削除しますか?」のメッセージが表示されます。[はい(Y)]ボタンを押した場合、該当内訳書データファイルが削除されます。

※内訳書データファイルが完全に削除されますので、十分に注意して操作して下さい。

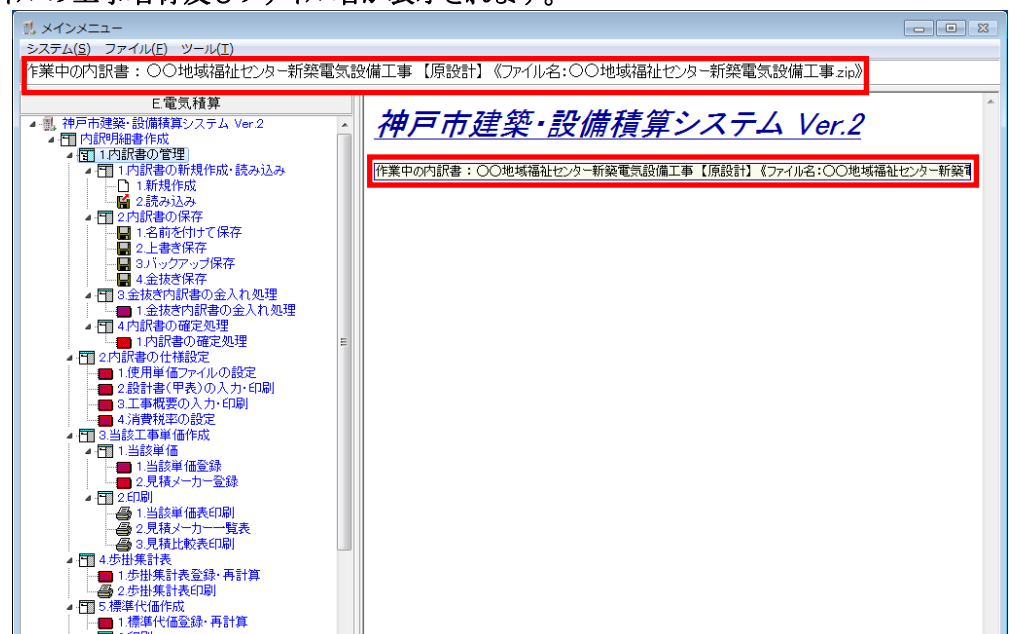
- 3) 読み込み先を変更したい場合は、[読み込み先フォルダーの変更]ボタン(または[設定(S)]→[読み込み先フォルダーの変更(H)])をクリックして読み込み先を設定して下さい。
 ※CDドライブ等、書き込みの出来ないドライブの指定は出来ません。



- 4) 読み込みを行う内訳書ファイルの行を選択し、ダブルクリック又は、[読み込み]ボタンをクリックすると、内訳書ファイルの読み込み作業を実行します。



- ※処理が正常に行われると、メインメニューの工事名表示部に、読み込みを行った内訳書ファイルの工事名称及びファイル名が表示されます。



※既存の内訳書ファイルのバージョンが積算システムのバージョンよりも古い場合、読み込み時にバージョンアップ作業が行われます(上書き保存により、バージョンアップ結果が反映されます。)

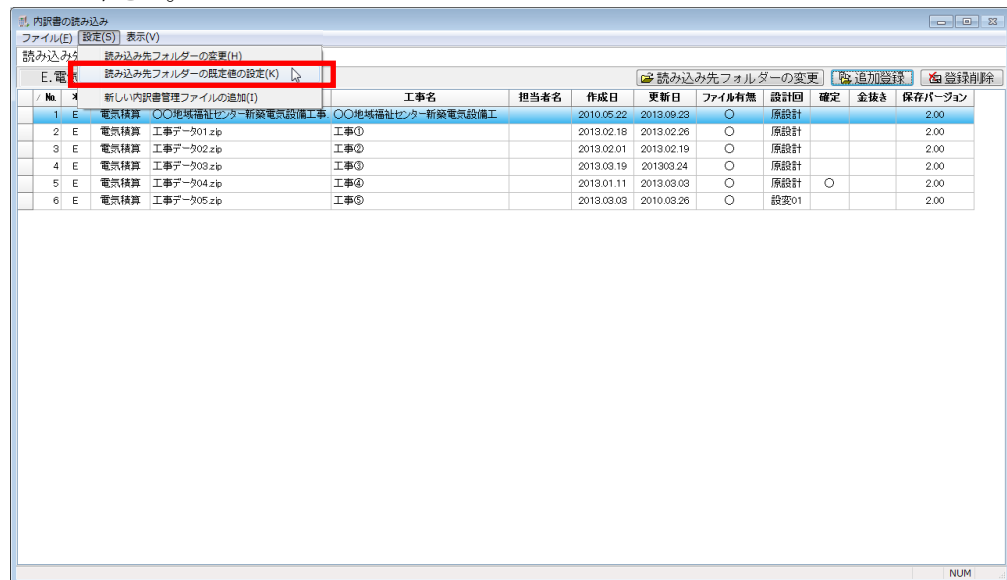
※既存の内訳書ファイルのバージョンが積算システムのバージョンよりも新しい場合、内訳書ファイルを読み込みことが出来ません(積算システムをバージョンアップして下さい)。

※設計事務所版では、金入り内訳書ファイルを読み込むことは出来ません。

2 内訳書の読み込み先フォルダーの既定値の設定

※[内訳書の読み込み]画面が表示された際に初期表示される読み込み先フォルダーを変更したい場合、下記の手順で設定します。

- 1) [内訳書の読み込み]画面の[設定(S)]→[読み込み先フォルダーの既定値の設定(K)]をクリックして下さい。



- 2) 読み込み先の既定値に設定したいフォルダーを選択し、[OK]ボタンをクリックすると、次回の[内訳書の読み込み]画面を起動した時から指定したフォルダーが初期表示されます。



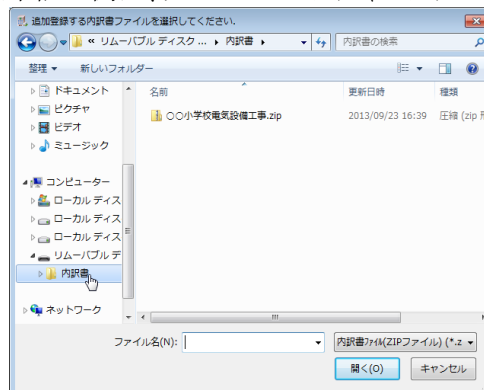
3 内訳書ファイルの追加登録

※ CD-R や USB フラッシュメモリー等のリムーバブルメディアで納品された内訳書ファイルなど、内訳書ファイル一覧に登録されていないファイルを1件ずつ取り込んで追加登録を行います。

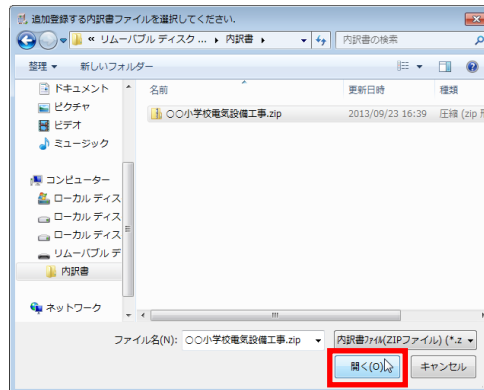
- 1) [内訳書の読み込み]画面の[追加登録]ボタンをクリックして下さい。



- 2) 追加するデータの格納されているドライブ・フォルダーを選択します。
 ※下記の例は、リムーバブルメディアにデータがあるものとして解説します。



- 3) 追加するデータファイルを選択し[開く]ボタンをクリックして下さい。



- 4) 追加処理が終了しますと、一覧表示画面にデータが追加されます。
 (その後、通常の内訳書の読み込み作業を行います。)

No	*	精算区分	ファイル名	工事名	担当者名	作成日	更新日	ファイル有無	設計回	確定	全抜き	保存バージョン
1	E	電気精算	〇〇地域福祉センター新築電気設備工事	〇〇地域福祉センター新築電気設備工		2010.05.22	2013.09.23	○	原設計			2.00
2	E	電気精算	工事データ01.zip	工事①		2013.02.18	2013.02.26	○	原設計			2.00
3	E	電気精算	工事データ02.zip	工事②		2013.02.01	2013.02.19	○	原設計			2.00
4	E	電気精算	工事データ03.zip	工事③		2013.03.19	2013.03.24	○	原設計			2.00
5	E	電気精算	工事データ04.zip	工事④		2013.01.11	2013.03.03	○	原設計	○		2.00
6	E	電気精算	工事データ05.zip	工事⑤		2013.03.03	2010.03.26	○	設置01			2.00
7	E	電気精算	〇〇小学校電気設備工事.zip	〇〇小学校電気設備工事		2006.05.31	2006.05.31	○	原設計			2.00

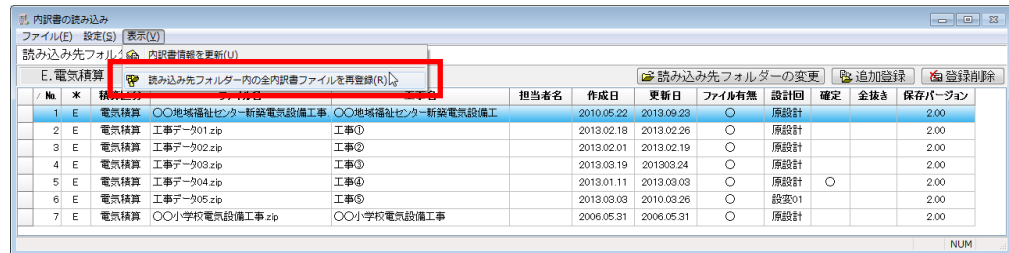
4 読み込み先フォルダーの全内訳書ファイルを再登録

※内訳書ファイルの一覧情報を初期化し、読み込み先フォルダー内にある全ての内訳書ファイルを再登録し、内訳書一覧情報を更新します(読み込み先フォルダー内にある未登録の内訳書ファイルを大量に追加登録する際に便利な機能です)。

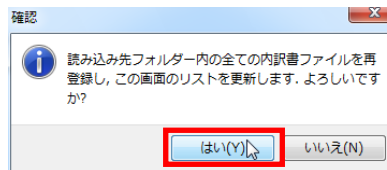
※この機能を実行すると、[ファイル有無]の項目に“×”が表示されている(ファイルが存在しない)行の情報は無くなります。

※この機能を実行すると、内訳書ファイルの登録順([No.]の順)が実行前の状態と変わる場合があります。(読み込み先フォルダー内にある全ての内訳書ファイルを「ファイル名」順で登録するため。)

- 1) [内訳書の読み込み]画面の[表示(Y)]→[読み込み先フォルダーの全内訳書ファイルを再登録(R)]をクリックして下さい。

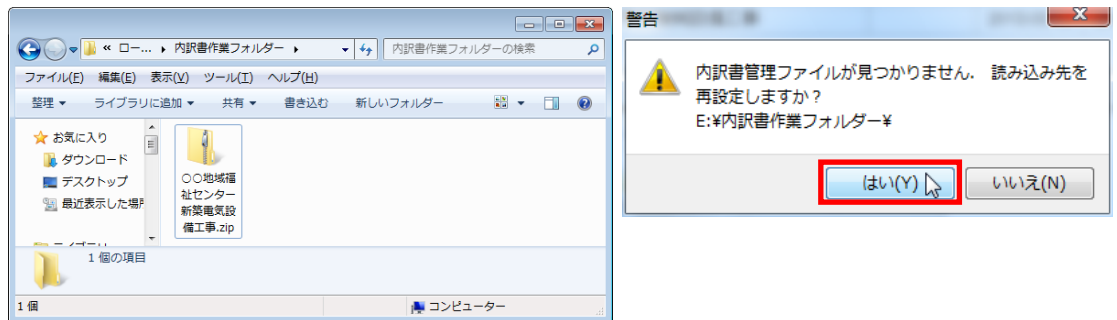


- 2) [はい(Y)]ボタンをクリックすると処理を開始します。処理が完了すると、内訳書ファイル一覧リストが更新され、読み込み先フォルダー内に存在する全ての内訳書ファイルが一覧表示されます。(その後、通常の内訳書の読み込み作業を行います。)



5 新しい内訳書管理ファイルの追加

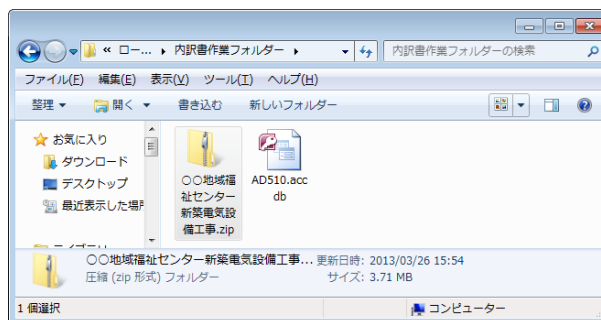
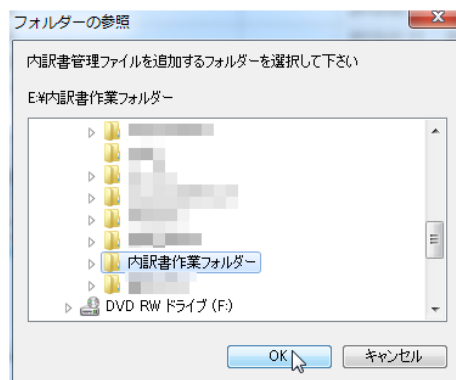
※例えば、内訳書ファイルのみを任意のフォルダーにコピーしたが、そのフォルダーに内訳書管理ファイルが無いためにシステムで読み込みが出来ない状態となっている場合などに、そのフォルダーに内訳書管理ファイルを追加することによってそのフォルダーを読み込み先として指定できるようにします。



- 1) [内訳書の読み込み]画面の[設定(S)]→[新しい内訳書管理ファイルの追加(I)]をクリックして下さい。



- 2) 新しい内訳書管理ファイルの追加したいフォルダーを選択し、[OK]ボタンをクリックすると、指定したフォルダーに新しい内訳書管理ファイルが追加され、そのフォルダーを読み込み先に指定可能となります。



※新しい内訳書管理ファイルには、内訳書ファイル一覧は登録されていません。「2. 内訳書ファイルの追加登録」または「3. 読み込み先フォルダーの全内訳書ファイルを再登録」の手順にて内訳書ファイルを追加登録してから読み込みを行います。

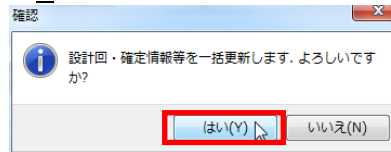
6 内訳書情報の更新

内訳書一覧リストに登録されているファイルを対象に、表示項目を最新の状態に更新します。
 ※あくまでも内訳書一覧リストに登録されているファイルを対象に処理を行うため、内訳書一覧リストに登録されていない内訳書ファイルの追加登録処理等は行いません。

- 1) 「表示(V)」→「内訳書情報を更新(U)」をクリックして下さい。



- 2) 下図のメッセージの「はい(Y)」ボタンをクリックして下さい。

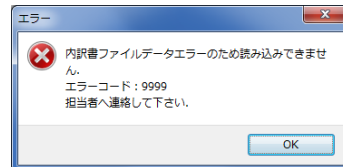


- 3) 処理が完了すると、[設計回]・[確定]・[金抜き]・[保存バージョン]情報が正しく表示されます。

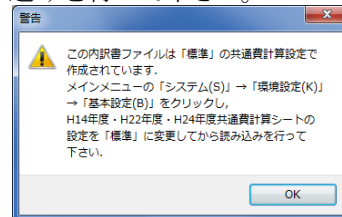
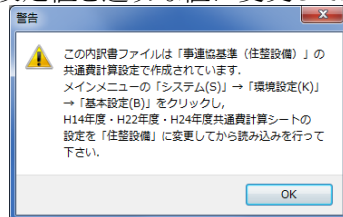


7 内訳書の読み込み時にメッセージが表示されて読み込み処理が中断する場合

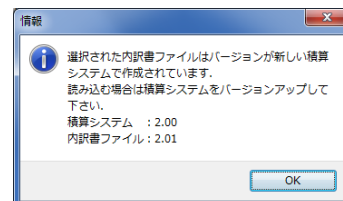
「エラーコード:9999」が表示される場合は担当者へ連絡して下さい。



下図のようなメッセージが表示される場合は、メインメニューの「システム(S)」→「環境設定(K)」→「基本設定(B)」(本書 P38 参照)をクリックし、H14 年度・H22 年度・H24 年度共通費計算シートの設定値を適切な値に変更してから読み込みを行って下さい。



下図のようなメッセージが表示される場合は、積算システムをバージョンアップして下さい。(内訳書ファイルのバージョンが積算システムのバージョンよりも新しい場合)



その他のメッセージで読み込み処理が中断する場合は、本システムを一旦終了し、Windows を再起動してから本システムを再起動し、読み込みを試みて下さい。それでもエラーが発生する場合は、内訳書ファイルに異常がある可能性がありますので、バックアップがある場合はバックアップから復元してから読み込んで下さい。

5

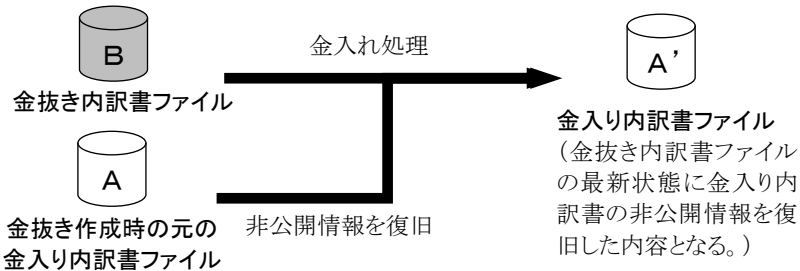
内訳書の金入れ処理

※金入り内訳書を読み込み時は、金入れ処理を実行できません。

※金抜き処理情報が記録されていない内訳書ファイルは、金入れ処理を実行できません。

※設計事務所版環境では、金入れ処理は実行できません。

- ◆ 神戸市認証版システム環境にて金抜き保存<本書 P46 参照>を行い、設計事務所等に編集作業を委託した場合、その金抜き内訳書ファイルは単価、金額、摘要、低減率、査定率等の非公開データが消去された状態となっています。金入り内訳書に保存されている非公開情報をもとに金抜き内訳書の非公開情報を復旧することを「金入れ処理」と称します。

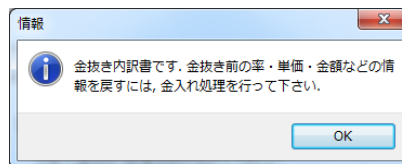


※金入れ処理後の内訳書ファイルのデータの内容

	金入り内訳書の情報を反映	金抜き内訳書の情報を反映
金抜き内訳書で当該単価、当該代価の単価コードの追加・削除を行った場合	—	○
配布単価の年月を変更する場合	—	○
金抜き内訳書の当該単価の単価・摘要2等の変更を行った場合	○	—

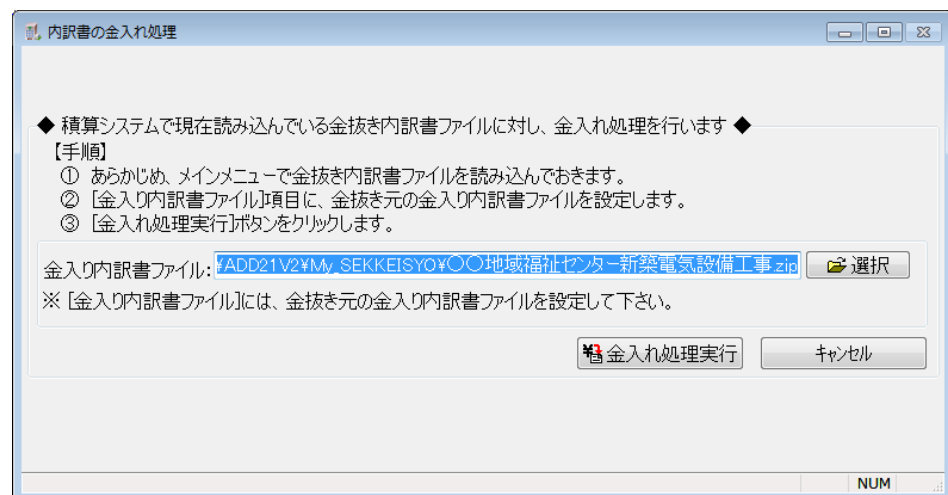
※ 積算システムをバージョンアップ後に金入れ処理を行う場合は、金入り内訳書ファイルを新バージョンで読み込んで上書き保存によりファイルのバージョンを揃えてから行って下さい。

- 1) あらかじめ、**金入れ処理を行う[金抜き内訳書]**を読み込んでおきます。
 ※内訳書の読み込みは<本書 P49>を参照。
 ※必ず[金抜き内訳書]を読み込んで下さい。
 ※金抜き内訳書を読み込み時は、読み込み処理完了前に下記のメッセージが表示されます。



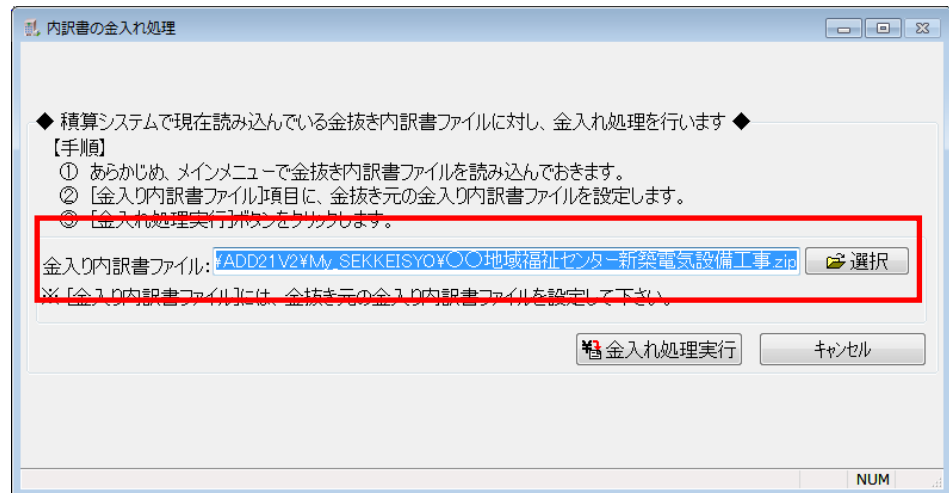
- 2) メインメニュー[1.内訳書の管理]→[3.金抜き内訳書の金入れ処理]→[1.金抜き内訳書の金入れ処理]をダブルクリックすると、[内訳書の金入れ処理]画面が表示されます。

※上記操作はメインメニューの[ファイル(F)]→「金抜き内訳書の金入れ処理(Ctrl+I)」と同様。



- 3) [金入り内訳書ファイル]設定項目に、金入り内訳書ファイルまでのフルパス(金抜き内訳書のある場所までのフォルダー及びファイル名)が自動設定※1されますが、金入り内訳書の保存先を変更している場合は、[選択]ボタンをクリックして再指定して下さい。

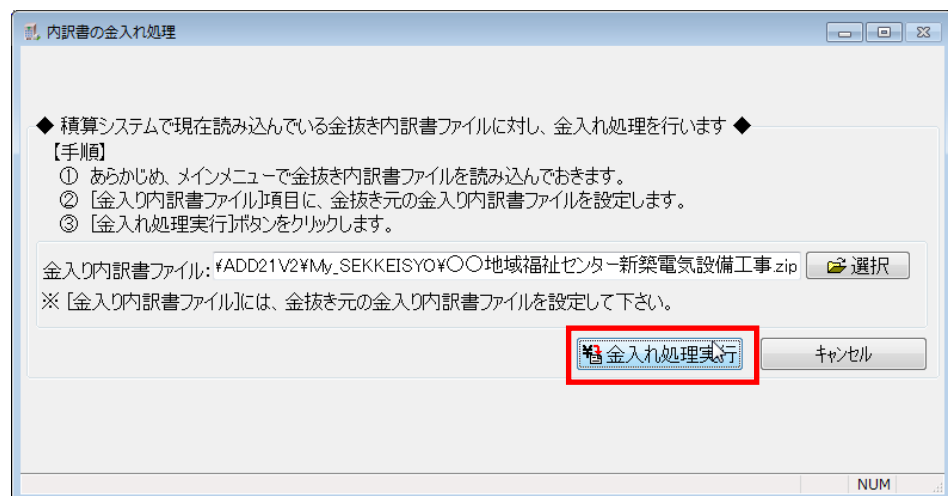
※1 金抜き内訳書側に記録された金抜き情報のうち、金入りファイルに関する情報が自動設定されます。



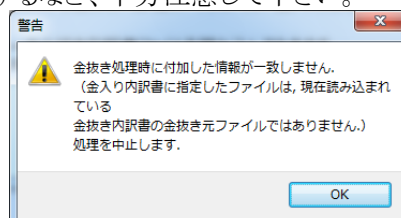
- 4) [金入れ処理実行]ボタンをクリックすると金入れ処理を実行します。金入れ処理が完了するとメインメニューに戻ります。

※金抜き内訳書は、金入り内訳書となります。上書き保存時の保存場所は、[金入り内訳書]の保存先となります(金入り内訳書が上書き保存されます。不都合な場合は[名前をつけて保存]により、別ファイル名で保存して下さい。)

※金抜き後に追加された項目の非公開情報については、神戸市認証済環境にて適宜入力して下さい。



※[金入れ処理実行]ボタンをクリック後に下記のメッセージが表示された場合は、読み込んである[金抜き内訳書]側に記録されている金抜き情報と[金入り内訳書]側に記録されている金抜き情報とが一致しないため、金入れ処理が実行出来ません。正しい金抜き元の金入り内訳書ファイルを再指定して下さい。なお、正しい金抜き元の金入り内訳書ファイルが存在しない場合は金入れ処理が不可能となり、単価、金額、摘要、低減率、査定率等の非公開データは手作業による復旧が必要となりますので、金抜き処理後は、金抜き元の金入り内訳書ファイルの編集作業を行ったり名前をつけて保存処理を行ったりすることは避けて下さい。また、紛失ないように厳重に保管するなど、十分注意して下さい。



7

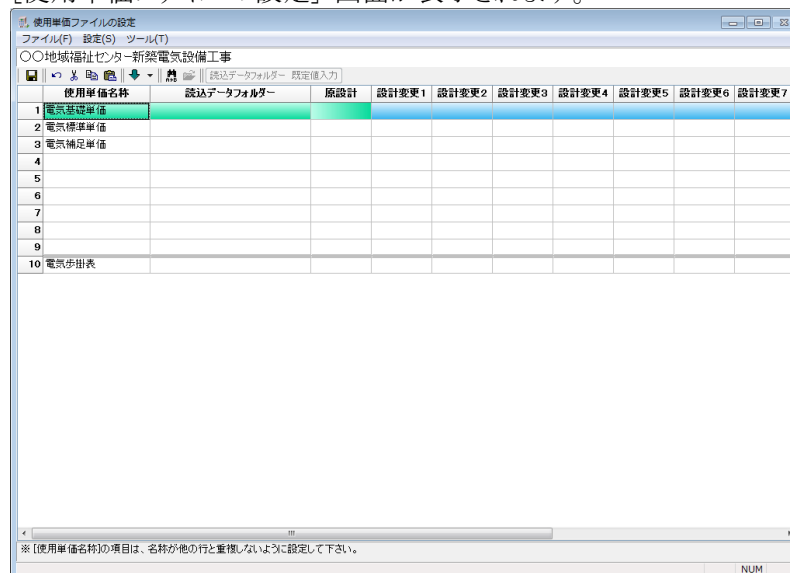
1

内訳書作成要領

使用単価ファイルの設定

1 使用単価ファイルの設定

- 1) メインメニュー[2.内訳書の仕様設定]→[1.使用単価ファイルの設定]をダブルクリックすると[使用単価ファイルの設定]画面が表示されます。

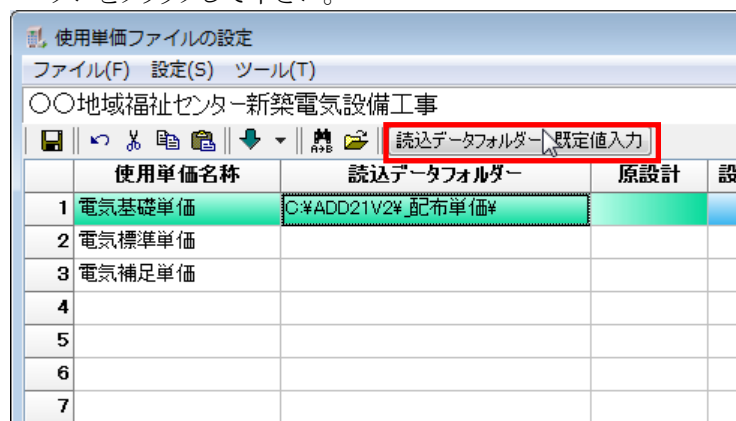



- 2) 使用単価名称及び読込データフォルダーを設定します。

※使用単価名称をリストから選択して下さい。

(住宅建設課(平成26年度迄は住宅整備課が担当)関連の公共住宅事業者等連絡協議会(事連協)基準で積算を行う際に環境設定(基本設定)画面<本書P38参照>で「H14年度・H22年度・H24年度共通費計算シート」の設定値を「住整設備」に設定した場合のみ「使用単価名称」の選択リストの選択肢に「電気住宅整備課単価」が追加されますので、適宜手作業にて追加設定して下さい。)

※カーソルを読込データフォルダー列へ移動させ、[読込データフォルダー 既定値入力]ボタンをクリックして下さい。



※読み込みデータフォルダーを既定値以外に設定する場合は、 ボタンをクリックして、任意のフォルダーを指定して下さい。

注意) 内訳書の計算を行うため単価ファイルは必ず必要になります。既定値以外での利用の場合は、該当フォルダーの削除や一時的なフォルダーの使用は出来るだけ避けて下さい。基本的に既定値設定のフォルダーを利用して下さい。(既定値フォルダーの変更方法は、次ページに解説しています。)

- 3) 原設計列にカーソルを移動させて、使用する単価の年度(西暦)、月(1桁の月は0を補って下さい)を入力して下さい。

使用単価名称	読込データフォルダ	原設計	設計変更1	設計変更2	設計変更3	設計変更4	設計変更5	設計変更6	設計変更7
1 電気基礎単価	C:\ADD21V2¥ 配布単価¥	2013-06							
2 電気標準単価	C:\ADD21V2¥ 配布単価¥								
3 電気補足単価	C:\ADD21V2¥ 配布単価¥								
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10 電気歩掛表	C:\ADD21V2¥ 配布単価¥								

※例) 平成 25 年度(2013 年度)6 月単価の場合、「2013-06」と入力します。

- 4) 同様に、他の単価や歩掛についても設定を行います。
 ※他の配布単価についても積算業務に使用する場合は、[使用単価名称]を上詰めに設定し、2)~4)の手順を行って下さい。

使用単価名称	読込データフォルダ	原設計	設計変更1	設計変更2	設計変更3	設計変更4	設計変更5	設計変更6	設計変更7
1 電気基礎単価	C:\ADD21V2¥ 配布単価¥	2013-06							
2 電気標準単価	C:\ADD21V2¥ 配布単価¥	2013-06							
3 電気補足単価	C:\ADD21V2¥ 配布単価¥	2013-06							
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10 電気歩掛表	C:\ADD21V2¥ 配布単価¥								

- 5) [保存]ボタン(または[ファイル(F)]→[保存(S)])をクリックして保存を行って下さい。

使用単価名称	読込データフォルダ	原設計	設計変更1	設計変更2	設計変更3	設計変更4	設計変更5	設計変更6	設計変更7
1 電気基礎単価	C:\ADD21V2¥ 配布単価¥	2013-06							
2 電気標準単価	C:\ADD21V2¥ 配布単価¥	2013-06							
3 電気補足単価	C:\ADD21V2¥ 配布単価¥	2013-06							
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10 電気歩掛表	C:\ADD21V2¥ 配布単価¥								

※使用単価ファイル(配布単価)の詳細は、「4. 神戸市建築・設備積算システムの基本操作」の「6. 単価コードについて」を参照して下さい。

* 読み込みデータフォルダの既定値の変更方法

※インストール時の読み込みデータフォルダの既定値は、「C:\¥ADD21V2¥ 配布単価」となっています。

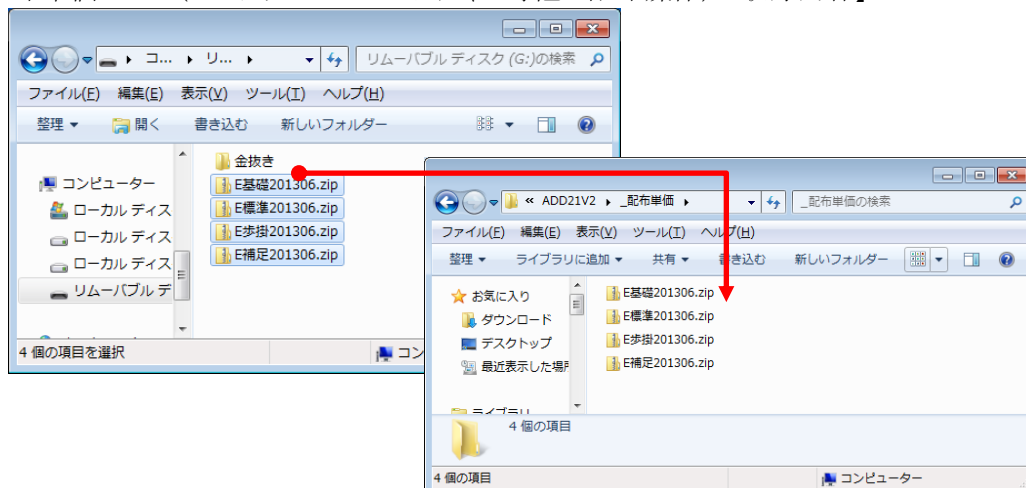
(C:\¥ は、システムインストールドライブです。)

- 1) [設定]→[既定の読み込みデータフォルダの設定(K)]をクリックし、既定値としたいフォルダを選択して[OK]ボタンをクリックして下さい。

使用単価名称	読込データフォルダ	原設計	設計変更1	設計変更2	設計変更3	設計変更4	設計変更5	設計変更6	設計変更7
1 電気基礎単価	C:\ADD21V2¥ 配布単価¥								
2 電気標準単価	C:\ADD21V2¥ 配布単価¥								
3 電気補足単価	C:\ADD21V2¥ 配布単価¥								
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10 電気歩掛表	C:\ADD21V2¥ 配布単価¥								

2 配布単価のインストール(複写)

【配布単価 CD-R(またはリムーバブルメディア等の配布媒体)の収録内容】



※金抜きファイルは設計事務所等に入力業務を委託する際に必ず貸し出して下さい。(金入りを渡さないこと!!)
 ※金抜きファイルは保存容量が若干小さくなります。)

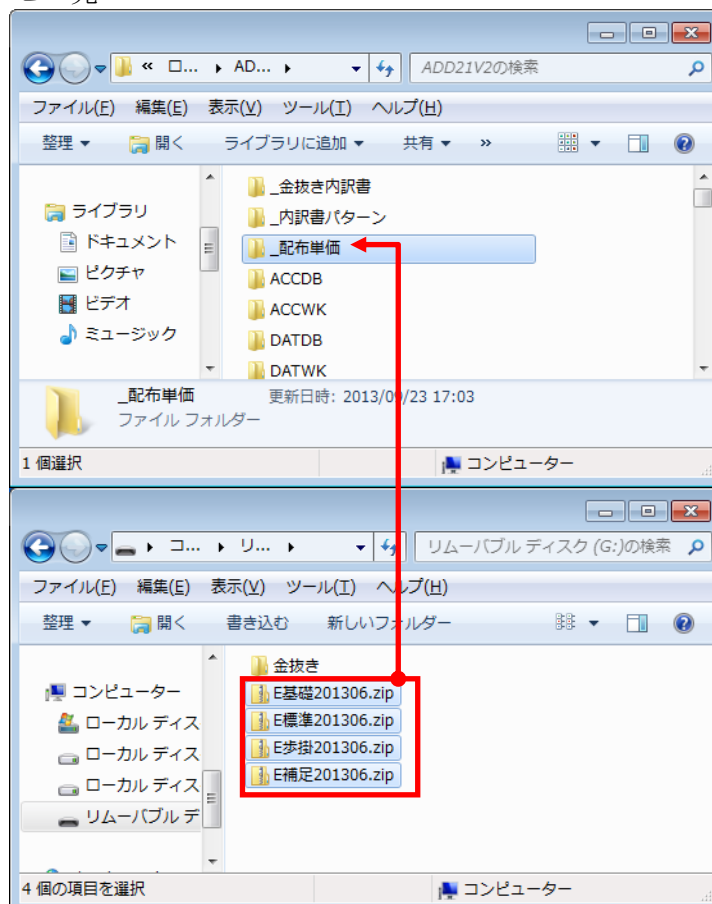
配布単価のシステムへのインストール方法

【方法1】

・全ファイル(金入りまたは金抜きのいずれか)を、下記のフォルダーにコピーして下さい。
 C:¥ADD21V2¥_配布単価(Cドライブ内の[ADD21V2]フォルダー内の[_配布単価]フォルダー)

※積算システムがCドライブの「ADD21V2」にインストールされている場合(尚、Cドライブではない場合は、Cを該当するドライブ名に読み替えて下さい。また、任意のフォルダーに変更している場合はそのフォルダーに読み替えて下さい。)

※コピー先

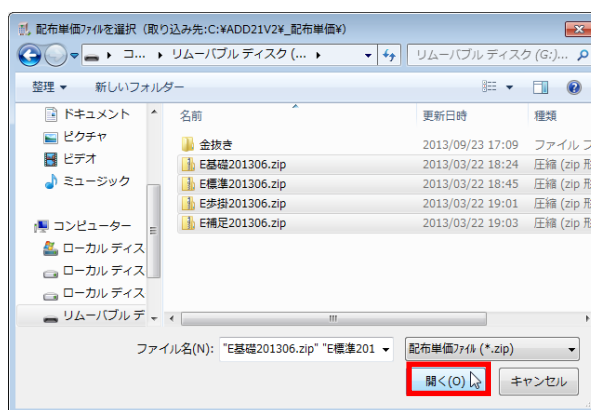


【方法2】

- 1) [ツール(T)]→[配布単価ファイルを既定の読み込みデータフォルダーへ取り込む(R)]をクリックして下さい。

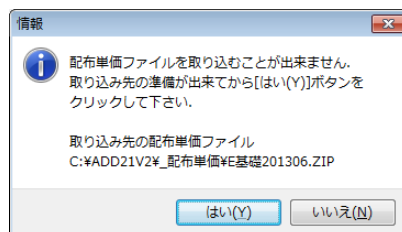


- 2) 取り込むファイルを選択し(複数のファイルを選択可能)、[開く(O)]ボタンをクリックすると、配布単価ファイルが既定の読み込みデータフォルダーにインストールされます。



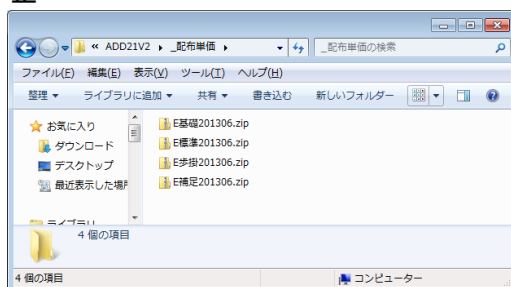
【頻度の高い失敗について】

作業中に下記のようなメッセージが表示される場合は、以下の点を確認して下さい。

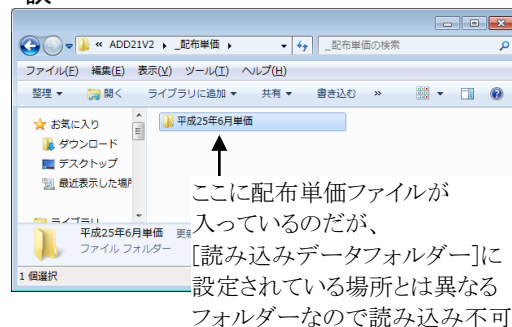


- ① 配布単価ファイルが[読み込みデータフォルダー]に設定したフォルダー内に存在するか？(仮に、[読み込みデータフォルダー]内の1階層下のフォルダーに配布単価ファイルが存在していても、[読み込みデータフォルダー]とは異なる場所であるため取り込むことが出来ません。)

正



誤



- ② [読み込みデータフォルダー]の入力値が正しく設定されているか？(配布単価が積算システムにインストール済でも、[読み込みデータフォルダー]に意図しない場所を設定していると取り込むことが出来ません。)

3 積算基準改定に伴う表示について

平成 29 年度版よりも前の積算基準で作成された内訳書ファイルを読み込んだ際は、工事名称等表示部に下記のように表示されます。積算基準変更に伴う本システムの更新内容等の詳細は、下記に示す補足事項を参照して下さい。

使用単価名称	読込データフォルダ	原設計	設計変更1	設計変更2	設計変更3	設計変更4	設計変更5	設計変更6	設計変更7
1 電気基礎単価	C:\ADD21V2\配布単価*	2013-06							
2 電気標準単価	C:\ADD21V2\配布単価*	2013-06							
3 電気補足単価	C:\ADD21V2\配布単価*	2013-06							
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10 電気歩掛表	C:\ADD21V2\配布単価*	2013-06							

※ [使用単価名称]の項目は、名称が他の行と重複しないように設定して下さい。

作成した積算システムバージョン (基準更新前)	積算基準(表示)	詳細参照箇所 (本書)
β 1.00～β 1.46	【平成 21 年度基準以前】	補足 1
β 1.50～β 1.56	【平成 22～23 年度基準】	補足 2
β 1.60～2.07	【平成 24～28 年度基準】	補足 3

2 設計書(甲表)の作成

1 設計書(甲表)の作成

- 1) メインメニュー[2.内訳書の仕様設定]→[2.設計書(甲表)の入力・印刷]をダブルクリックすると、[設計書(甲表)の入力・印刷]画面が表示されます。

- 2) 工事名、工事場所、概要、摘要 を入力して下さい。
 ※摘要の 工事施工期間、工事担保期間の設定値は、次のように設計書へ反映されます。
 ・**工期(平成 24 年度基準以降は共通費計算に使用するため入力必須)**
 日付入力の場合…「本工事施工期間は請負契約締結の翌日から+[入力日付]+ ~ + [入力日付]+ までとする。」
 ※期間がマイナスとなる日付を設定した場合は保存時に警告メッセージが表示されます。
 (但し、平成 23 年積算基準以前の場合は工期末日のみの表示・入力となります。)
 期間入力の場合…「本工事施工期間は請負契約締結の翌日から + [入力数値] + 日間とする。」
 ・**担保期間**
 「本工事担保期間は工事目的物引き渡しの日から + [入力数値] + [ヵ月間(日間)]+とする。」
 なお、「担保期間」の[ヵ月間(日間)]及び摘要③～⑦はプルダウンリストに候補が無い場合は、任意入力も可能です。
- 3) 会計項目を選択して下さい。(各項目とも、プルダウンリスト(会計科目は選択画面)に候補が無い場合は、任意入力も可能です。)
- 4) 各項目の入力が完了しましたら、[保存]ボタンをクリックし、データを保存して下さい。
- 5) 印刷設定を設定して下さい。
 ・補修(画面左上部の作成日欄の右)…補修の場合チェックを入れて下さい。
 (設計書(甲表)入力画面の「工事」が補修に表示が変わります。)
 ・他部署合議 …… 決裁欄の所属名の表示が変わります。(所属名は任意入力も可能。)
 ・補助事業 …… 「補助事業」の表示が会計項目欄の下に印刷されます。
 ※「他部署合議」・「補助事業」は、部署により制御されない場合があります。
 ・金抜き …… 設計書を金抜き印刷します。
 ・Excel ファイル出力 …… 保存先を指定後、印刷物と同じ様式を Excel ファイルに出力します。
- 6) [印刷]ボタン下の[プレビュー]をチェックして、ボタンをクリックすると、Excel の印刷プレビュー画面が表示されます。その後、[印刷]ボタンを押し印刷して下さい。
 ※[プレビュー]をチェックしていない場合は、直接プリンタに印刷出力されます。
- 7) 印刷処理が終了すると、設計書(甲表)の入力画面に戻ります。
- 8) 上部メニュー[ファイル(F)]→[メニューに戻る(X) Alt+F4]により、メインメニューに戻ります。
 ※データが更新されている場合は、更新の確認メッセージが表示されます。

2 設計書(甲表)の Excel 編集

※各部課において、都度、一部様式を変更したい場合などに行います。

- 1) [設計書(甲表)の入力・印刷]画面より、[Excel 編集]ボタンをクリックして下さい。

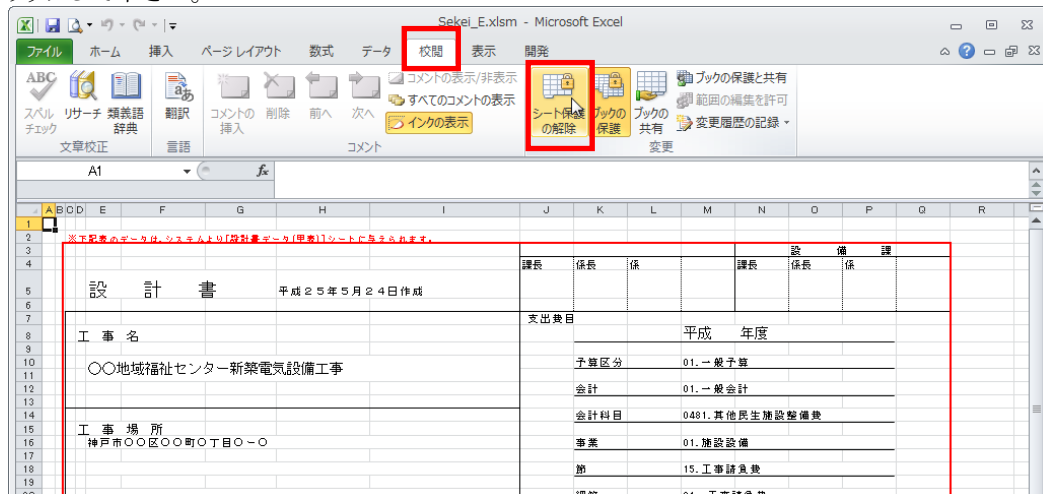
- 2) Excel が自動起動し、Excel 画面に切り替わります

([甲表の入力・印刷]画面は操作出来ません)。

※Excel の画面に切り替わらない場合は、タスクバーに表示されている「Excel」をクリックして下さい。

※Excel の起動時間が多少要する場合がありますので、画面が切り替わるまでしばらくお待ち下さい。

- 3) 編集規制を解除するには、シートの保護を解除します。[校閲]→[シート保護の解除]をクリックして下さい。



※編集の注意事項

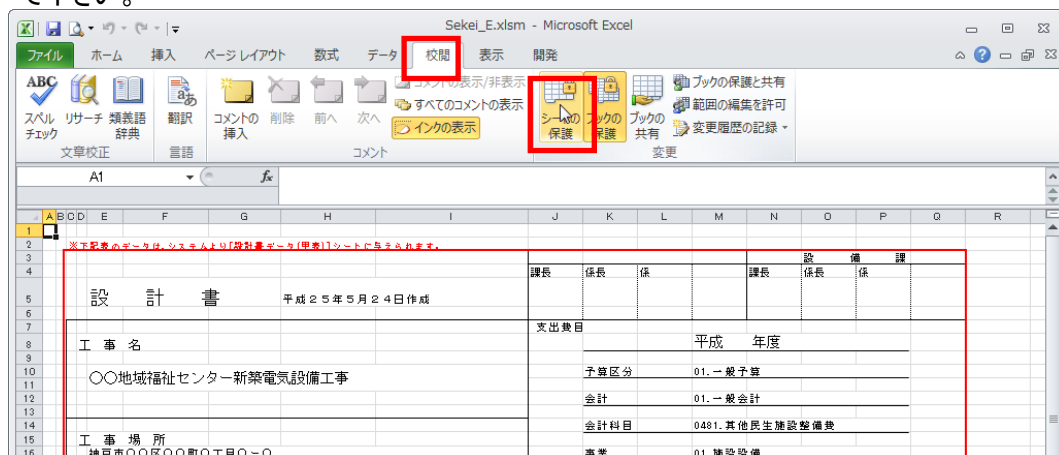
- ・ファイル名の変更は絶対に行わないで下さい(保存の際は**上書き保存**すること)。
- ・シート名の変更は、絶対に行わないで下さい。
- ・予め設定されている計算式などを変更した場合は自動的に元に戻りせん。
- ・次のシートには、絶対編集しないで下さい。

「設計書データ(甲表)」、「全体工事概要データ」、「個別工事概要データ」、

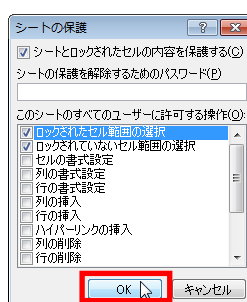
- ・各項目の値の修正は、[設計書(甲表)の入力・印刷]画面で行って下さい。

(Excel 編集で直接入力した内容は入力画面の内容に反映されません。)

- 4) 編集が終わりましたら、必ず編集規制をかけて下さい。[校閲]→[シートの保護]をクリックして下さい。

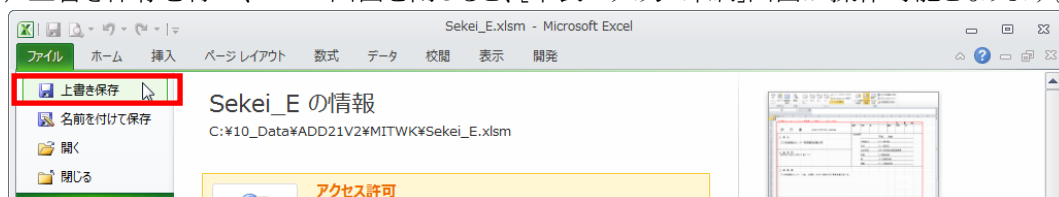


- 5) チェックの状態及びパスワードの値はそのまま変更しないで[OK]ボタンをクリックして下さい。



※Excel のバージョンによっては左の画面の項目が異なる場合があります。

- 6) 上書き保存を行い、Excel 画面を閉じると、[甲表の入力・印刷]画面が操作可能となります。



※積算システムのバージョンアップを行った場合は、以前のシステムバージョン上でExcel 編集にて変更した内容は初期化され、通常の様式に戻ります。お手数をおかけいたしますが、再度、Excel 編集にて変更して下さい。

3 積算基準改定に伴う表示について

平成 29 年度版よりも前の積算基準で作成された内訳書ファイルを読み込んだ際は、工事名称等表示部に下記のように表示されます。積算基準変更に伴う本システムの更新内容等の詳細は、下記に示す補足事項を参照して下さい。

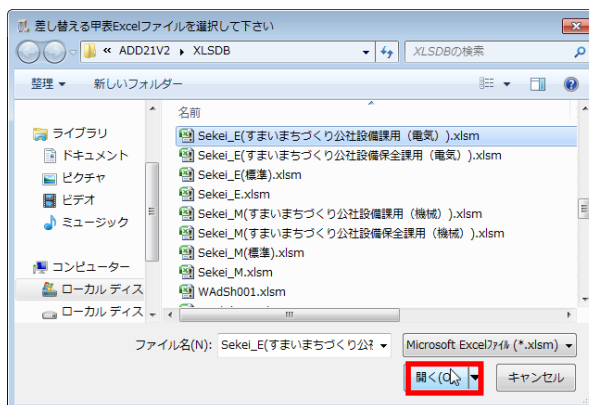


作成した積算システムバージョン (基準更新前)	積算基準(表示)	詳細参照箇所 (本書)
β 1.00～β 1.46	この内訳書は平成 21 年度積算基準以前の共通費計算を行います	補足 1
β 1.50～β 1.56	この内訳書は平成 22～23 年度積算基準以前の共通費計算を行います	補足 2
β 1.60～2.07	この内訳書は平成 24～28 年度積算基準以前の共通費計算を行います	補足 3

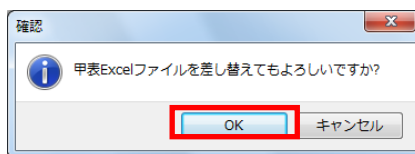
4 甲表ファイル差し替え

- 1) [甲表 Excel ファイル差し替え]ボタンをクリックして下さい。

- 2) 差し替え対象のファイルを選択し、[開く(O)]ボタンをクリックして下さい。
 ※ 電気積算の場合は、ファイル名に「Sekei_E」がついているものを選択します。



- 3) 確認メッセージの[OK]ボタンをクリックすると、差し替え作業が完了します。



3

工事概要の入力

1 工事概要の入力 <新規作成時の工事概要の入力は、P41 を参照して下さい>

1) メインメニュー[2.内訳書の仕様設定]→[3.工事概要の入力]をダブルクリックすると、[工事概要入力・印刷]画面が表示されます。

※ 新規作成直後に本画面を表示した場合、【工事名称】及び【工事概要(全体)】の内容は、新規作成時に入力した内容が反映されています。

2) 【工事概要(全体)】の各項目を設定して下さい。

※【監理事務所の有無】・【専門性の高い工事】・【その他工事を単独発注】・【支給材料費の有無】・【合併入札工事費の有無】・【前払い金の有無】は使用しません(使用不可となっています)

※【工事概要(全体)】の各項目は、次のように反映されます。

① 【工事】 ※共通費計算時の判断項目

<1.主工事> <2.従工事> 何れか該当する工事を選択して下さい。

※新規作成時以外は設定値を変更しても内訳書の項目の難形は変更されません。

(主工事または従工事の設定を間違えていた場合は、内訳書の[一般管理費等]按分グループシートを適宜手作業にて追加削除して下さい。)

※環境設定(基本設定)画面<本書 P38 参照>で「H14 年度・H22 年度・H24 年度共通費計算シート」の設定値を「住整設備」に設定した場合のみ、<従工事>は使用しないため、「※」表示になっています。

② 【工事種別】 ※共通費計算時の判断項目/内訳明細の【工事種別】項目(【工種】と表示)の値

<1.新営> <2.改修> <4.昇降機>

※設備積算では<3.新営+改修>は使用しないため、「※」表示になっています。

※設計事務所版として運用している場合、設備積算では<2.改修>は選択できません。

※環境設定(基本設定)画面<本書 P38 参照>で「H14 年度・H22 年度・H24 年度共通費計算シート」の設定値を「住整設備」に設定した場合のみ、<2.改修>は使用しないため、「※」表示になっています。

③ 【追加工事】 …追加工事か否かを設定して下さい。 ※共通費計算時の判断項目

④ 【契約保証金の有無】 ※共通費計算時の判断項目(平成 30 年度以降積算基準に適用)

<1.有> …契約保証金を[一般管理費等]に計上する場合設定します。

[契約保証费率]契約保証费率(%)を入力して下さい。

※<0.無>の場合は、契約保証金を一般管理費等に計上しません。

⑤ 上記以外の項目は、メモ情報として処理されます。(入力値は共通費計算に影響しません。)

3) 【工事概要(個別)】の各項目を設定して下さい。

① 必要に応じて、行を追加して下さい。

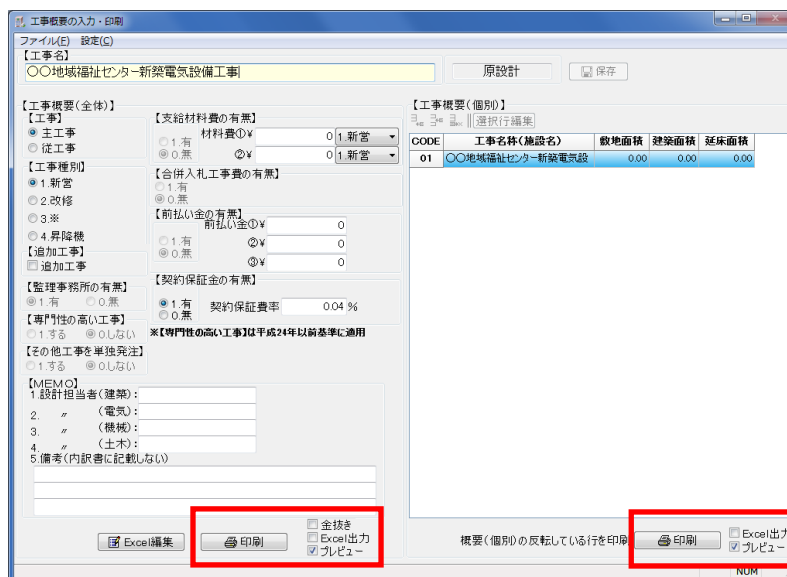
② 編集を行う行を選択し、ダブルクリックするか、[選択行編集]ボタンをクリックすると、[個別工事概要編集]画面が表示されます。

③ 各項目を入力し、[更新]ボタンをクリックして下さい。

(【要求課】・【工事種別】・【建物用途】・【構造】はプルダウンリストに候補が無い場合は、任意入力も可能です。)

4) 【工事名称】・【工事概要(全体)】・【工事概要(個別)】の全ての項目の入力が完了しましたら、[保存]ボタンをクリックしてデータを保存して下さい。

- 5) 【工事名称】・【工事概要(全体)】及び【工事概要(個別)】は、それぞれ必要に応じて印刷を行って下さい。



- ①印刷設定を設定します。

- ・金抜き 設計書を金抜き印刷します。
- ・Excel 出力 保存先を指定後、印刷物と同じ様式を Excel ファイルに出力します。

- ②[印刷]ボタン右の[プレビュー]をチェックして、ボタンをクリックすると、Excel の印刷プレビュー画面が表示されます。

その後、[印刷]ボタンを押し印刷して下さい。

※【工事概要(個別)】は、印刷する行を選択(反転)してから印刷ボタンをクリックして下さい。

※[プレビュー]をチェックしていない場合は、直接プリンタに印刷出力されます。

- 6) 印刷処理が終了すると、[工事概要の入力・印刷]画面に戻ります。

- 7) 上部メニュー[ファイル(F)]→[メニューに戻る(X) Alt+F4]により、メインメニューに戻ります。

※データが更新されている場合は、更新の確認メッセージが表示されます。

2 積算基準改定に伴う表示について

平成 29 年度版よりも前の積算基準で作成された内訳書ファイルを読み込んだ際は、工事名称等表示部に下記のように表示されます。積算基準変更に伴う本システムの更新内容等の詳細は、下記に示す補足事項を参照して下さい。



作成した積算システムバージョン (基準更新前)	積算基準表示	詳細参照箇所 (本書)
β 1.00～β 1.46	この内訳書は平成 21 年度積算基準以前の共通費計算を行います	補足 1
β 1.50～β 1.56	この内訳書は平成 22～23 年度積算基準以前の共通費計算を行います	補足 2
β 1.60～2.07	この内訳書は平成 24～28 年度積算基準以前の共通費計算を行います	補足 3

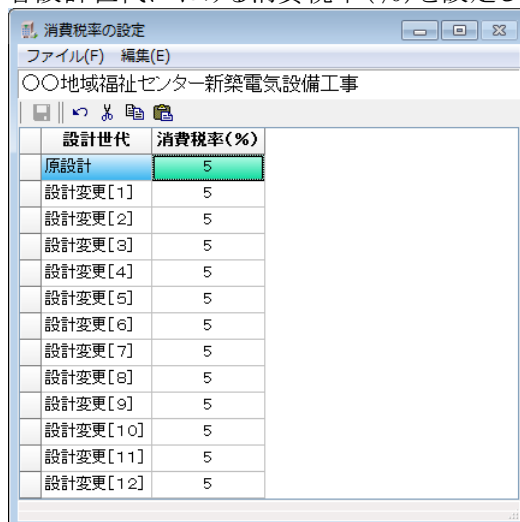
4

消費税率の設定

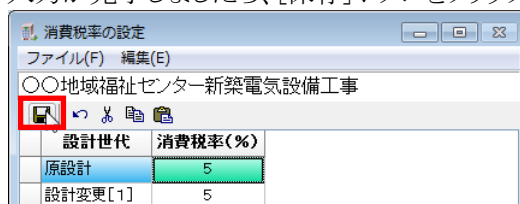
1 消費税率の設定

※原設計・設計変更毎に消費税率を設定します。

- 1) メインメニューの[2.内訳書の仕様設定]→[4.消費税率の設定]をダブルクリックすると、[消費税率の設定]画面が表示されます。
- 2) 各設計世代における消費税率(%)を設定して下さい。



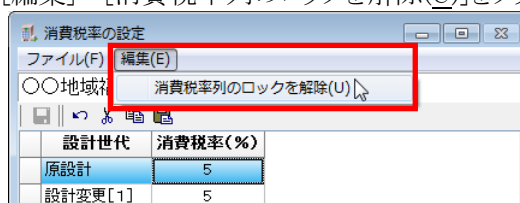
- 3) 入力が完了しましたら、[保存]ボタンをクリックしてデータを保存して下さい。



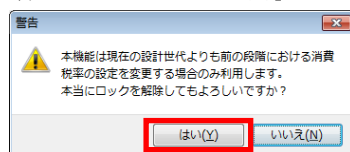
* 設計変更時の消費税率列ロック(変更不可)解除について

※設計変更時では、現時点の設計世代より前の消費税率は、原則、変更しない仕様としています。
現時点の設計世代より前の消費税率を変更して計算する場合は、消費税率列のロック解除を行い、税率を変更します。

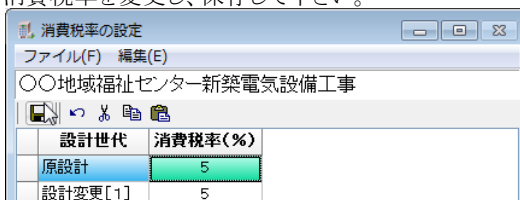
- 1) [編集]→[消費税率列のロックを解除(U)]をクリックして下さい。



- 2) 警告メッセージの「はい(Y)」をクリックすると、消費税率(%)列の全ての行のロックが解除されます。



- 3) 消費税率を変更し、保存して下さい。

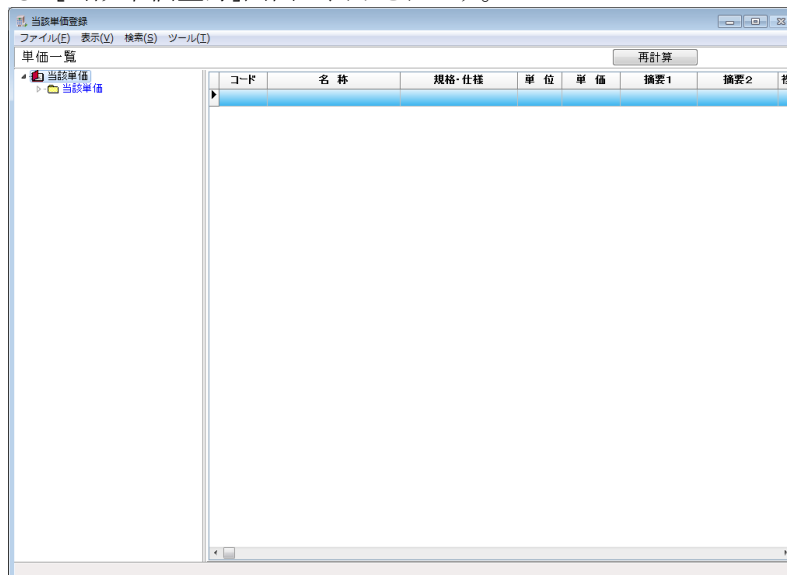


5 当該単価(6頭コード)・複合単価(7頭コード)登録・再計算

1 当該単価登録画面の表示

※刊行物単価・カタログ記載単価・見積比較単価で構成する当該単価(6頭コード)および当該単価に歩掛等の率などを乗じることにより作成する複合単価(7頭コード)を作成します。

- 1) メインメニュー[3.当該工事単価作成]→[1.当該単価]→[1.当該単価登録]をダブルクリックすると[当該単価登録]画面が表示されます。



2 単価登録シートの基本設定

- 1) ツリービューを展開し、予め登録されているシートで左クリックして選択します。
- 2) シートが選択されていることを確認し、右クリックします。
- 3) ポップアップメニューが表示されますので、[プロパティ(R)]にあわせて、左クリックします。



- 4) 作成する内容に応じて各設定を行います。



※シートテキスト:入力した文字列をツリービューに表示します。

※区分:各設定値が、単価コードの頭コードに反映されます。(必要に応じて設定)

※端数処理については、<本書 P30>を参照して下さい。

※コード入力時の桁数(最大桁):コードの最大桁数を設定します。

※単位:単価の追加・挿入時、単位の初期値を入力します。(必要に応じて設定)

※単価種別:単価の追加・挿入時、単価種別の初期値を入力します。「複単単価種別」は複合単価における単価種別の初期値です。(必要に応じて設定)

※複単有無:複合単価を作成するときは「有」に設定します。

※複単頭コード:複合単価コードの頭コードに反映されます。(設定桁分を基礎単価頭コードと置き換えます。)

3 当該基礎単価の登録～見積り比較

※見積り比較を行う場合、見積りを行うメーカーの組み合わせごとにシートを予め作成しておきます。
(見積りする部材毎に、「A社・B社・C社」、「A社・B社・D社」のように組み合わせが異なる場合は、複数のシートに分けて単価を登録します。)

- 1) 単価を登録するシートをダブルクリックすると、一覧登録表示になります。



- 2) [単価コード]、[名称]、[規格・仕様]、[単位]、[数量]、[率]、[摘要 1]、[摘要 2]を入力して下さい。

※一覧入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。

・**単価コード**：下記の頭コード既定とし、桁数は8桁までを基本として重複しない番号を入力して下さい。

6.有効3桁(複単無)・・・複合単価を作成しない単価を登録します(当該基礎単価(6頭コード)の端数処理は「2.有効3桁」に設定)

6.円止め:(複単有)・・・複合単価を作成する単価を登録します。(当該基礎単価(6頭コード)の端数処理は「1.円止め」、複合単価(7頭コード)の端数処理は「2.有効3桁」に設定)

※8桁までを基本とします。なお、コード入力時の桁数(最大桁)に設定した桁数までは入力可能です。

・**単位**：未入力時は単位選択画面が自動表示されます。再表示させる場合は、[F2]キーを押して下さい。任意入力も可能です。

・**数量**：数量を入力して下さい(見積り数量に反映されます)。

・**率**：査定率等を入力して下さい。

【注意】

摘要1は初期設定では、数量公開書で印刷されるので、**単価根拠等非公開事項は入力しないようにしてください。**

摘要2(非公開事項を入力)は、数量公開書には印刷されません。

- 3) 刊行物単価の平均値を採用する場合の入力は、<本書 補足 6>を参照して下さい。

- 4) 見積り比較を行う場合、見積りメーカーを設定して下さい。

※見積り比較をしない場合は、見積りメーカー情報は登録しないので、そのまま8)の手順から、[単価]を入力して下さい。

- 5) 画面上部の[見積りメーカー]ボタンをクリックすると、[見積りメーカー]画面が表示されます。

※初期設定は、3社表示になっています。メーカー数の変更については、<本書 P79>を参照して下さい



6) 見積メーカーコード・メーカー名・採用基準を設定して下さい。

※メーカーコード欄に入力が無い場合は、メーカー名を入力しても削除されますので、必ずメーカーコード（任意の場合は、T+連番）を入力してください。（T 頭コードは任意入力時に使用。）

※見積比較を行わない場合でも、必ず、[A 社]の[メーカーコード]に「T」・[メーカー名 略称]に「任意」と入力して下さい。

※事前に当該見積メーカー情報を登録すると、[A 社]・[B 社]…ボタンをクリックすると見積メーカーを選択でき、他の見積グループでもそのメーカー情報を再使用することが可能です。当該見積メーカーの登録方法は、当該見積メーカー登録<本書 P80>を参照して下さい。

※見積メーカー画面では、単価・金額等は入力しません。

採用基準について

- ・金額合計：見積グループ内で、単価×数量により金額を求め、その金額の合計が最安値となるメーカーを採用。
- ・単価合計：見積グループ内で単価の合計が最安値となるメーカーを採用。
- ・単品比較：見積単価(行毎)で最安値となるメーカーの単価を採用(いい所取り)。

※ある当該メーカーの単価を入力しない場合(または 0 円を入力した場合)は、単価の左の列に「*」が表示されると共に見積グループのメーカーの中で最安値の単価が自動的に設定され、その単価が当該メーカーの見積単価とみなされます。(補足 4-2 ページ参照。)

7) [更新]ボタンをクリックして更新して下さい。なお、必要に応じて画面右上の[×]ボタンをクリックして[見積メーカー]画面を閉じて下さい(表示したままでも以降の作業は出来ます)。

8) A 社の見積り額(単価)を入力します。

※下記例の単価コードの行数は 3 行ですが、必要に応じて適宜増減して下さい。表示されます

9) [次へ]ボタンをクリックし、B 社の見積り額(単価)を入力します。

※ [前へ]ボタンで、A 社 の入力画面に戻ります。

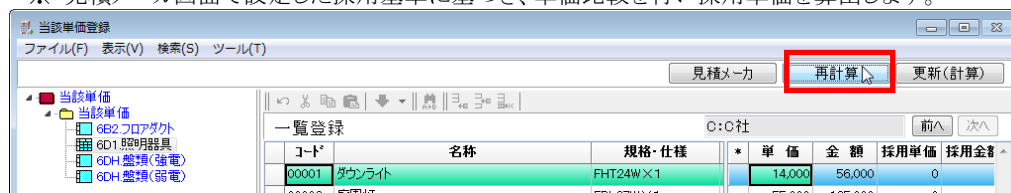
見積メーカー名 略称・単価欄が切り替わります

10) [次へ]ボタンを押していき、同様に全てのメーカーの見積額(単価)を入力します。

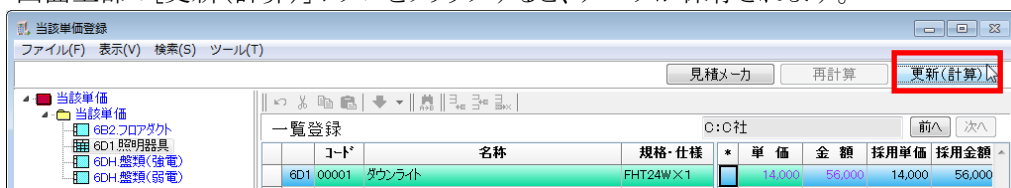
※ [前へ]ボタンで、前回表示していた見積メーカーの見積額(単価)入力表示に戻ります。

11) 画面上部の[再計算]ボタンをクリックして下さい。

※ 見積メーカー画面で設定した採用基準に基づき、単価比較を行い採用単価を算出します。



12) 画面上部の[更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存されます。



◆登録手順概要

① 単価コード、名称、規格・仕様、数量、単位、率、摘要(1) (2)を入力して下さい。

② 見積メーカー、採用基準を入力し、見積メーカー画面の[更新]ボタンをクリックして下さい。

③ 見積メーカーの単価を入力して下さい。

④ [次へ]ボタンにより、次の見積メーカーの入力を行います。(手順④を繰り返して下さい。)

⑤ [金額] = [数量] × [単価]
 [採用単価] = 比較後採用対象となる[単価] × [率] (査定率)
 [採用金額] = [採用単価] × [数量]

⑥ [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[更新(計算)]ボタンをクリックして保存して下さい。

手順

- ① 単価コード、名称、規格・仕様、数量、単位、率、摘要(1) (2)を入力して下さい。
 ※コードが 10 桁を超えるとき(又はプロパティ設定値超過時)、エラーメッセージが表示されます。
 ※単価コードは重複しないようにして下さい(他のシートのコードとも重複しないように)。
- ②、③ 見積メーカー、採用基準を入力し、見積メーカー画面の[更新]ボタンをクリックして下さい。
- ④ 見積メーカーの単価を入力して下さい。
- ⑤ [次へ]ボタンにより、次の見積メーカーの入力を行います。(手順④を繰り返して下さい。)
 [金額] = [数量] × [単価]
 [採用単価] = 比較後採用対象となる[単価] × [率] (査定率)
 [採用金額] = [採用単価] × [数量]
 ※ 内訳明細、代価等に引込み対象となる単価は、端数処理を施した[採用単価]になります。
 端数処理はシートプロパティで設定します。
- ⑥ [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[更新(計算)]ボタンをクリックして保存して下さい。

4 当該基礎単価→複合単価の登録

- 1) シートプロパティの[複単有無]が「無」に設定されている場合は、当該単価登録画面の[複単有無]は表示されないのので、複合単価を登録する場合は事前に「有」に設定して下さい。

シートプロパティ

シートテキスト

区分

6

D 電力設備

1 蛍光灯

端数処理シート

1 円止め

シートグループ

コード入力時の桁数(最大桁)

8

単位

単価種別

1 一般工事(A)

複単有無

無

複単端数処理シート

2 有効3桁

複単種別

1 一般工事(A)

基礎単価コード 6D100001 単価種別 1 一般工事(A)

名称 ダウンライト

規格・仕様 FHT24W×1

単位 台 数量 4,000 率 1,000

単価 14,000 1.円止め

(公開) 摘要(1)

(非公開) 摘要(2)

「摘要(1)」は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。

- 2) 「複単有無」が「有」になっていることを確認して下さい。

当該単価登録

一覧登録

A: A社

コード	名称	規格・仕様	* 単価	金額	採用単価	採用金額
6D1 00001	ダウンライト	FHT24W×1	15,000	60,000	14,000	56,000
6D1 00002	庭園灯	FDL27W×1	60,000	180,000	55,000	165,000
6D1 00003	ミラーライト	FL20W×1	10,000	10,000	12,000	12,000

基礎単価コード 6D1 00001 複単有無 有 単価種別 1 一般工事(A)

名称 ダウンライト

規格・仕様 FHT24W×1

単位 台 数量 4,000 率 1,000

単価 14,000 1.円止め

(公開) 摘要(1)

(非公開) 摘要(2)

「摘要(1)」は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。

複合単価(Ctrl+H) 7D1 00001 複合単価 0

- ※ 当該単価登録画面の[複単有無]が「無」になっている場合は、複合単価に関する項目は表示されません。[複単有無]を「無」から「有」に変更し、他の項目入力部に移動すると複合単価に関する項目が表示されます。

当該単価登録

ファイル(E) 表示(V) 検索(S) ツール(T)

見種メニュー 再計算 更新(計算)

当該単価

6B2 フロアダクト
6D1 照明器具
6DH 盤類(強電)
6DH 盤類(弱電)

一覧登録 A:A社

コード	名称	規格・仕様	* 単価	金額	採用単価	採用金額
6D1 00001	ダウンライト	FHT24W×1	15,000	60,000	14,000	56,000
6D1 00002	庭園灯	FDL27W×1	60,000	180,000	55,000	165,000
6D1 00003	ミラーライト	FL20W×1	10,000	10,000	12,000	12,000

基礎単価コード 6D1 00001 複単有無 無 単価種別 1.一般工事(A)

名称 ダウンライト

規格・仕様 FHT24W×1

単位 台 数量 4,000 率 1,000

単価 14,000 1円止め

(公開) 摘要(1)

(非公開) 摘要(2)

「摘要(1)」は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。



当該単価登録

ファイル(E) 表示(V) 検索(S) ツール(T)

見種メニュー 再計算 更新(計算)

当該単価

6B2 フロアダクト
6D1 照明器具
6DH 盤類(強電)
6DH 盤類(弱電)

一覧登録 A:A社

コード	名称	規格・仕様	* 単価	金額	採用単価	採用金額
6D1 00001	ダウンライト	FHT24W×1	15,000	60,000	14,000	56,000
6D1 00002	庭園灯	FDL27W×1	60,000	180,000	55,000	165,000
6D1 00003	ミラーライト	FL20W×1	10,000	10,000	12,000	12,000

基礎単価コード 6D1 00001 複単有無 有 単価種別 1.一般工事(A)

名称 ダウンライト

規格・仕様 FHT24W×1

単位 台 数量 4,000 率 1,000

単価 14,000 1円止め

(公開) 摘要(1)

(非公開) 摘要(2)

「摘要(1)」は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。

複合単価(CtrHB) 7D1 00001 複合単価 0

3) [複合単価(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、複単カード画面が表示されます。

コード	名称	規格・仕様	単価	金額	採用単価	採用金額
6D1 00001	ダウライト	FHT24W×1	15,000	60,000	14,000	56,000
6D1 00002	庭園灯	FDL27W×1	60,000	180,000	55,000	165,000
6D1 00003	ミラーライト	FL20W×1	10,000	10,000	12,000	12,000

基礎単価コード: 6D1 00001 複合単価有無: [有] 単価種別: 1-一般工事(A)

名称: ダウライト
規格・仕様: FHT24W×1
単位: 台 数量: 4,0000 率: 1.0000
単価: 14,000 1.円止め

(公開) 摘要(1):
(非公開) 摘要(2):

複合単価(Ctrl+B): D1 00001 複合単価: 0

【摘要(1)は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。】

4) 複単カード画面の各項目を設定して下さい。

[歩掛コード]ボタンをクリックすると、歩掛選択画面が表示されます。適用したい歩掛コードを選択(右下の表の行をダブルクリック)すると、歩掛が設定されます。また、配管の塗装費を設定する場合は[塗装費コード]ボタンをクリックすると補足単価(塗装費単価)選択画面が表示されます。適用したい塗装費コードを選択(右の表の行をダブルクリック)すると、塗装費が設定されます。

複合単価コード: 7D100001 複合単価: 0 単価種別: 1-一般工事(A)

歩掛コード: 331288 名称: 蛍光灯 規格・仕様: 埋込型 FL H24W×1 単位: 個 計算式: 03 電気(その他)

塗装費コード: [未設定]

電気歩掛表 (Table 1):

コード	名称	規格・仕様	計算式
331	蛍光灯		03 電気(その他)
331	蛍光灯		03 電気(その他)
331	蛍光灯		03 電気(その他)
331	蛍光灯		03 電気(その他)

電気補足単価 (Table 2):

コード	名称	規格・仕様	単位	単価
3K407000	電気共通工事 塗	鉄部1 m ²	m ²	953
3K407040	電気共通工事 塗	1.04	m	722
3K407160	電気共通工事 塗	1.6	m	142
3K407190	電気共通工事 塗	1.9	m	122
3K407220	電気共通工事 塗	2.2	m	183
3K407250	電気共通工事 塗	2.5	m	163
3K407280	電気共通工事 塗	2.8	m	225
3K407310	電気共通工事 塗	3.1	m	204

- 5) 全ての項目が正しく設定されていることが確認できましたら、[再計算]ボタンをクリックして下さい。

複単カード

複合単価コード 7D100001 端数処理シフト 2有効3桁
 複合単価 0 単価種別 1-一般工事(A)

歩掛コード	コード	名称	規格・仕様	単位	計算式
331288		蛍光灯	埋込型 FLH24W×1	個	03電気(その他)

コード	名称	単位	労務乗率	本数	乗率
1KAAA000	労務費(電工)	人	1.00	1,000	1,000

歩掛(R1)	歩掛(R2)	歩掛(R3)	雑材料率	その他率				
0.2190	0.0000	0.0000	0.0600	0.1300	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000

塗装費コード

- 6) [戻る]ボタンをクリックすると、複単カード画面が消え、当該単価登録画面に計算された複合単価が表示されます。

複単カード

複合単価コード 7D100001 端数処理シフト 2有効3桁
 複合単価 0 単価種別 1-一般工事(A)

歩掛コード	コード	名称	規格・仕様	単位	計算式
331288		蛍光灯	埋込型 FLH24W×1	個	03電気(その他)

コード	名称	単位	労務乗率	本数	乗率
1KAAA000	労務費(電工)	人	1.00	1,000	1,000

歩掛(R1)	歩掛(R2)	歩掛(R3)	雑材料率	その他率				
0.2190	0.0000	0.0000	0.0600	0.1300	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000

塗装費コード



当該単価登録

一覽登録 A:A社

コード	名称	規格・仕様	*	単価	金額	採用単価	採用金額
6D1 00001	ダウンライト	FHT24W×1		15,000	60,000	14,000	56,000
6D1 00002	庭園灯	FDL27W×1		60,000	180,000	55,000	165,000
6D1 00003	ミラーライト	FL20W×1		10,000	10,000	12,000	12,000

基礎単価コード 6D1 00001 複単有無 有 単価種別 1-一般工事(A)

名称 ダウンライト
 規格・仕様 FHT24W×1
 単位 台 数量 4,0000 率 1,0000
 単価 14,000 1円止め

(公開) 摘要(1)
 (非公開) 摘要(2)

「摘要(1)」は公開されるもの。単価に係る内容(規程等)は入力しないこと。

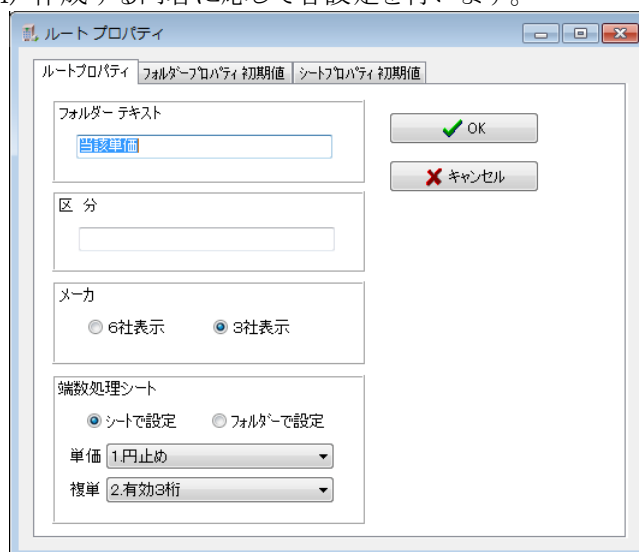
複合単価(Ctrl+H) 7D1 00001 複合単価 18,900

5 見積りメーカー数の変更(ルートプロパティの設定)

- 1) ツリービューの最上部階層のルートアイコン(赤色のアイコン)で[左クリック]します。
- 2) アイコンが反転していることを確認し、右クリックします。
- 3) ポップアップメニューが表示されますので、[プロパティ(R)]にあわせて、[左クリック]します。



- 4) 作成する内容に応じて各設定を行います。



※フォルダテキスト: 内容をツリービューに表示します。

※区分: 設定値が、単価コードに反映されます。

※メーカー: 見積メーカー設定ウインドウでのメーカー数の設定をします。

※端数処理シート: 端数処理の設定を、フォルダで行うか、シートで行うかを設定します。

*フォルダを指定した場合、設定したフォルダ以下の階層にある全てのデータに設定が反映されます。

(※複合単価の設定値は、複単カード編集時の初期値となります。)

※端数処理については、<本書 P30 >を参照して下さい。

◇[フォルダプロパティ初期値],[シートプロパティ初期値]での設定は、フォルダ、シートの新規作成時に、初期値として反映されます。

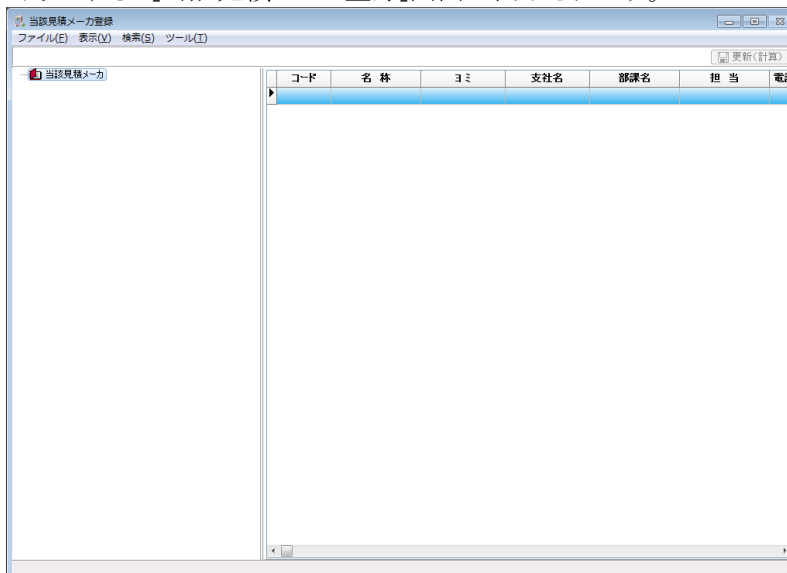
6

当該見積メーカー登録

- ※機械積算による内訳書ファイルの雛形には、見積メーカーが予め登録されています。
- ※当該見積メーカーの登録は任意です(見積メーカー画面にて任意入力が可能のため)。
- ※当該見積メーカーを登録すると、複数の見積グループで同じメーカー情報が利用できます。

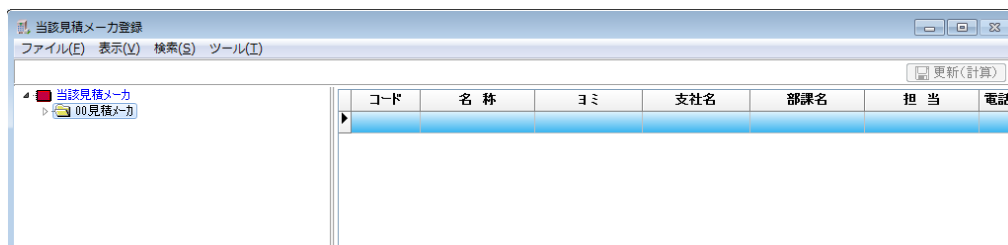
1 当該見積メーカー登録画面の表示

- 1) メインメニュー[3.当該工事単価作成]→[1.当該単価]→[2.見積メーカー登録]をダブルクリックすると[当該見積メーカー登録]画面が表示されます。

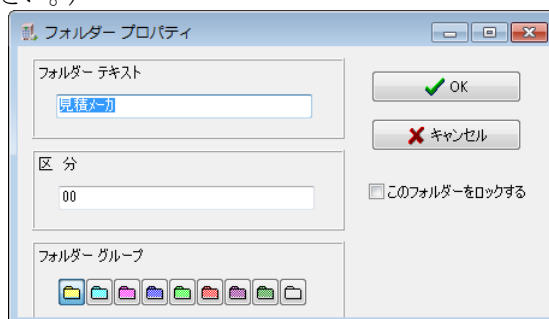


2 当該見積メーカーの登録

- 1) 見積メーカーの「ヨミ」(ア行・カ行…)または見積を行う資材の分類等、目安となる項目によりフォルダーを適宜作成して下さい。



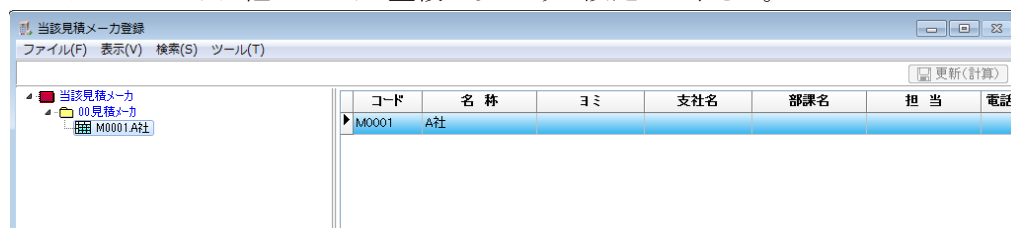
※フォルダー作成時の[フォルダー プロパティ](作成する内容に応じて各種設定を行って下さい。)



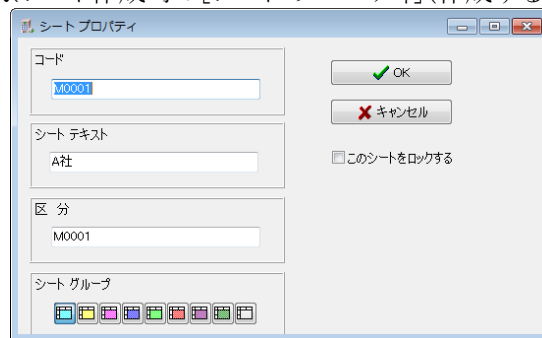
※フォルダーテキスト: 内容をツリービューに表示します。

※区分: 設定値が、フォルダーテキストの前に付加されます。

- 2) 見積メーカ 1 社につき、1 シートを作成して下さい。
 ※メーカコードは、新規作成時のシートプロパティにて設定します。
 ※メーカコードは他のシートと重複しないように設定して下さい。

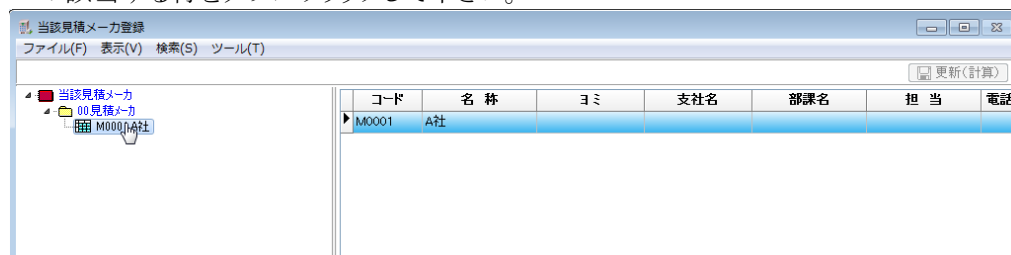


※シート作成時の[シート プロパティ](作成する内容に応じて各種設定を行って下さい。)

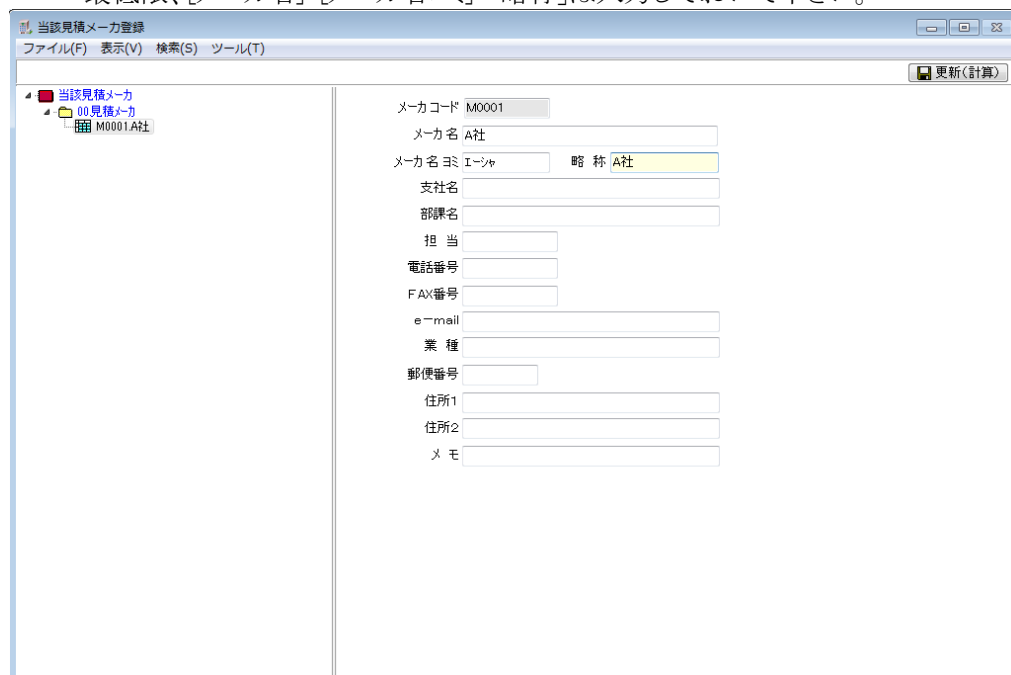


- ※コード:メーカコードに反映されます。
 6桁までの重複のない番号を設定して下さい。
 ※シートテキスト:内容をツリービューに表示します。
 ※区分:設定値が、シートテキストの前に付加されます。

- 3) 編集を行いたいメーカのシートをツリービューでダブルクリックして下さい。または一覧表示の該当する行をダブルクリックして下さい。



- 4) メーカ情報を編集して下さい。
 ※[略称]は、見積比較のメーカ情報での表示に使用するため入力必須です。
 最低限、[メーカ名]・[メーカ名ヨミ]・「略称」は入力しておいて下さい。

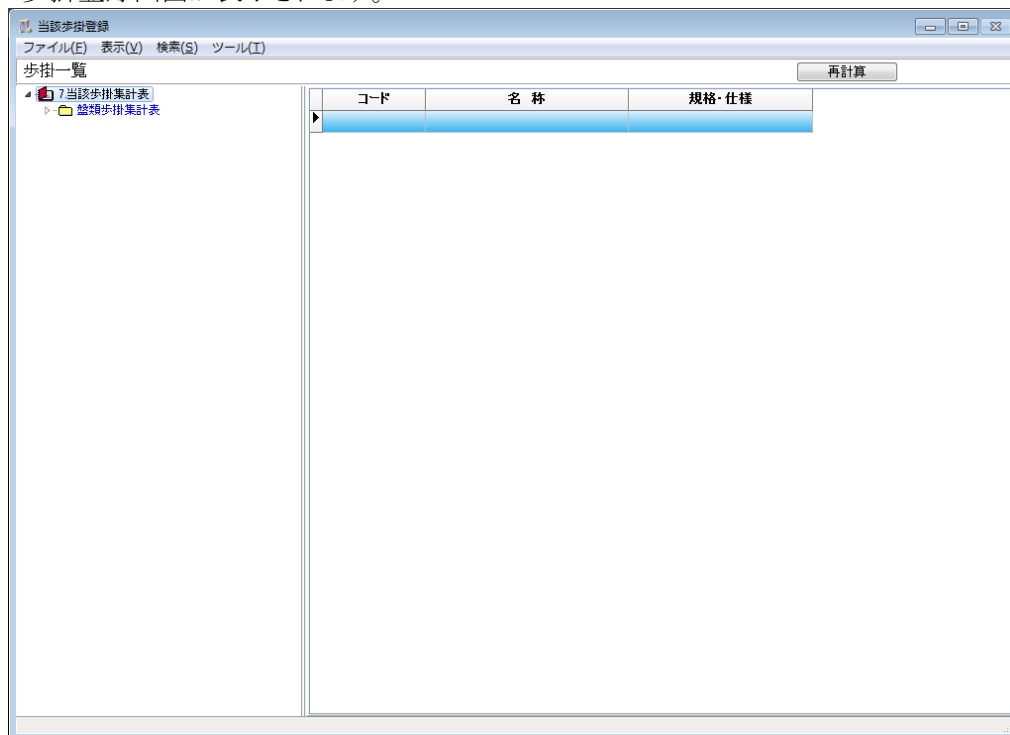


7 当該歩掛集計表登録・再計算

1 当該歩掛集計表登録画面の表示

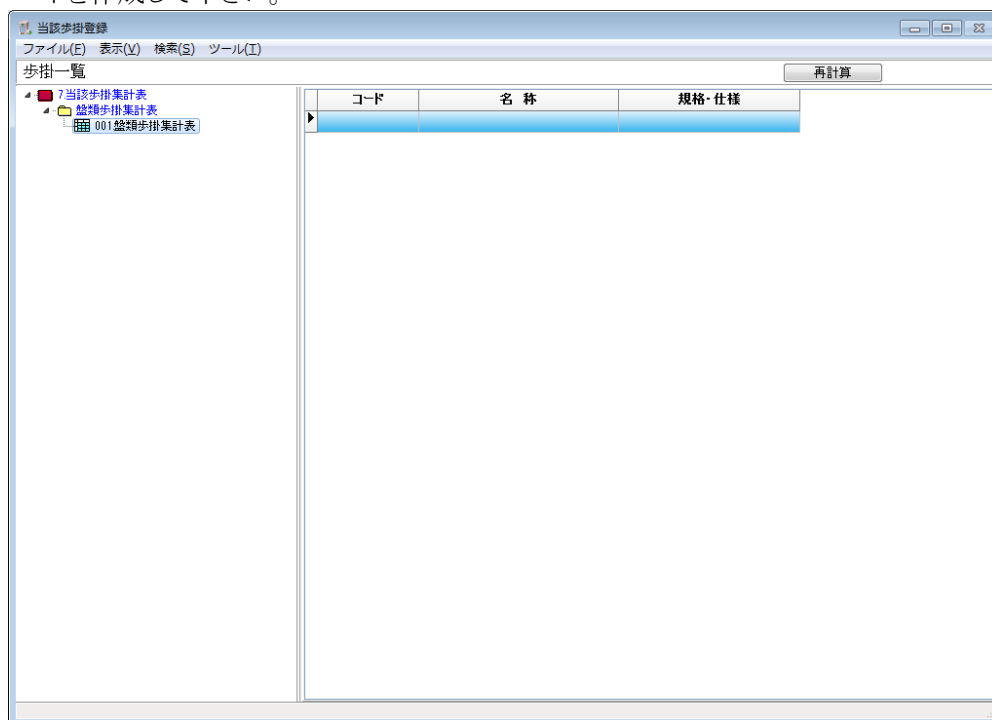
※ 歩掛集計表は、配布単価の歩掛を使用して、当該工事の盤類用の歩掛を作成します。

- 1) メインメニューの[4.歩掛集計表]→[1.歩掛集計表登録・再計算]をダブルクリックすると、当該歩掛登録画面が表示されます。



2 単価登録シートの基本設定

- 1) ツリービューを展開し、「盤類歩掛集計表」フォルダー内に、盤類歩掛集計表を作成するシートを作成して下さい。



※ 新規作成時のシートプロパティの設定値

※新規作成時のみ選択可能です。

- ※代価: 種別を選択します。盤類歩掛集計表のみ設定可能です。
- ※シートテキスト: 入力した文字列をツリービューに表示します。
- ※区分: 各設定値が、単価コードの頭コードに反映されます。
- ※コード入力時の桁数(最大桁): コードの最大桁数を設定します。

3 盤類歩掛集計表の登録

- 1) 盤類歩掛集計表を登録するシートをダブルクリックすると、一覧登録画面が表示されます。

コード	区分	名称	規格・仕様
001 001	1 電灯	電灯盤	
001 002	3 その他	端子盤	

- 2) 歩掛グループの[コード]、[区分]、[名称]、[規格・仕様]を入力します。

※一覧入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。

- ・コード: 0 頭を既定とし、桁数は 6 桁までを基本として重複しない番号を入力します。
【注意】ここで作成するコードは歩掛のグループを管理するためのグループコードであり、複合単価に登録する際に入力する歩掛コードではありません
- ・区分: 「1.電灯」・「2.動力」・「3.その他」から選択します。
- ・名称: グループの名称を入力します。
- ・規格・仕様: グループの規格・仕様を入力します。

3) 歩掛の明細を入力します。

画面上部の[歩掛編集 (Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、歩掛編集画面になります。

※ [Ctrl]キーを押しながら[B]キーを押しても、同様の制御になります

※ 新規作成時、「1.電灯」または「2.動力」を選択した場合は既定値の歩掛コードの行が設定されます。

必要に応じて歩掛コードを追加したり削除したりして下さい。

コード	名称	規格	歩掛	数量	交	電工
341201	電灯盤	MCB.ELB 1F30A	0.2210	0.0000		0.0
341202	電灯盤	MCB.ELB 1F60A	0.3120	0.0000		0.0
341203	電灯盤	MCB.ELB 2F30A	0.2740	0.0000		0.0
341204	電灯盤	MCB.ELB 2F60A	0.3900	0.0000		0.0
341205	電灯盤	MCB.ELB 2P100A	0.5360	0.0000		0.0
341206	電灯盤	MCB.ELB 2P225A(200)	0.7510	0.0000		0.0
341208	電灯盤	MCB.ELB 3P30A	0.3970	0.0000		0.0
341209	電灯盤	MCB.ELB 3P60A	0.5690	0.0000		0.0
341210	電灯盤	MCB.ELB 3P100A	0.7190	0.0000		0.0
341211	電灯盤	MCB.ELB 3P225A(200)	1.0500	0.0000		0.0
341212	電灯盤	MCB.ELB 3P400A(300)	1.2700	0.0000		0.0
341221	電灯盤	協約形1種サイズ 2P30A	0.2100	0.0000		0.0
343101	その他盤種	学校電灯放送端子盤	0.3100	0.0000		0.0
合計				0.0000	修正後	0.0000

4) 歩掛の明細を入力して下さい。(積上明細の入力)

[←][→]ボタンで、表の右部分の名称・新歩掛コード及び数量の列の切り替えを行いながら入力を行います。最大 30 列分入力可能です。(矢印ボタンの間の数字は列番号です。)

[列削除]ボタンをクリックすると、表示中の列を削除し、前詰めにします。

・盤名: 盤の名称を入力します。

・新歩掛コード: 0 頭を基本とし、複合単価に登録する際に入力する歩掛コードを 6 桁で入力します。

・コード(引込コード): 配布単価の歩掛コードを入力します。

※ ツールボタンにより歩掛選択画面からコード選択による入力も可能です。

・数量: 数量を入力します。

・交: 自動交互をするかしないかを設定します(する場合は 1 を、しない場合は 0 を設定。)

2) の手順で、区分を「2.動力」に設定したときのみ有効となります。

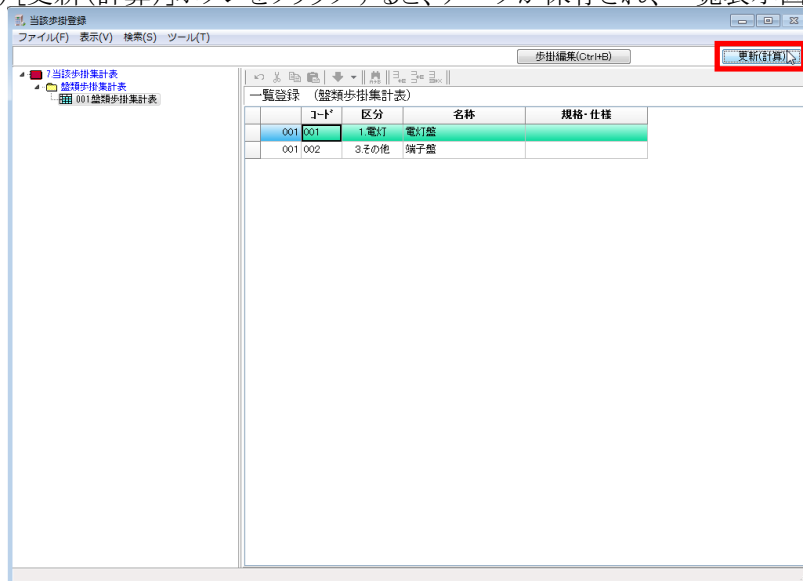
5) [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。

※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。

手順 6)により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。

コード	名称	規格	歩掛	数量	交	電工
341201	電灯盤	MCB.ELB 1F30A	0.2210	0.0000		0.0
341202	電灯盤	MCB.ELB 1F60A	0.3120	0.0000		0.0
341203	電灯盤	MCB.ELB 2F30A	0.2740	0.0000		0.0
341204	電灯盤	MCB.ELB 2F60A	0.3900	0.0000		0.0
341205	電灯盤	MCB.ELB 2P100A	0.5360	0.0000		0.0
341206	電灯盤	MCB.ELB 2P225A(200)	0.7510	0.0000		0.0
341208	電灯盤	MCB.ELB 3P30A	0.3970	0.0000		0.0
341209	電灯盤	MCB.ELB 3P60A	0.5690	1.0000		0.5
341210	電灯盤	MCB.ELB 3P100A	0.7190	1.0000		0.7
341211	電灯盤	MCB.ELB 3P225A(200)	1.0500	0.0000		0.0
341212	電灯盤	MCB.ELB 3P400A(300)	1.2700	0.0000		0.0
341221	電灯盤	協約形1種サイズ 2P30A	0.2100	0.0000		0.0
343101	その他盤種	学校電灯放送端子盤	0.3100	0.0000		0.0
合計				1.2960	修正後	1.2960

6) [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、一覧表示画面に戻ります。



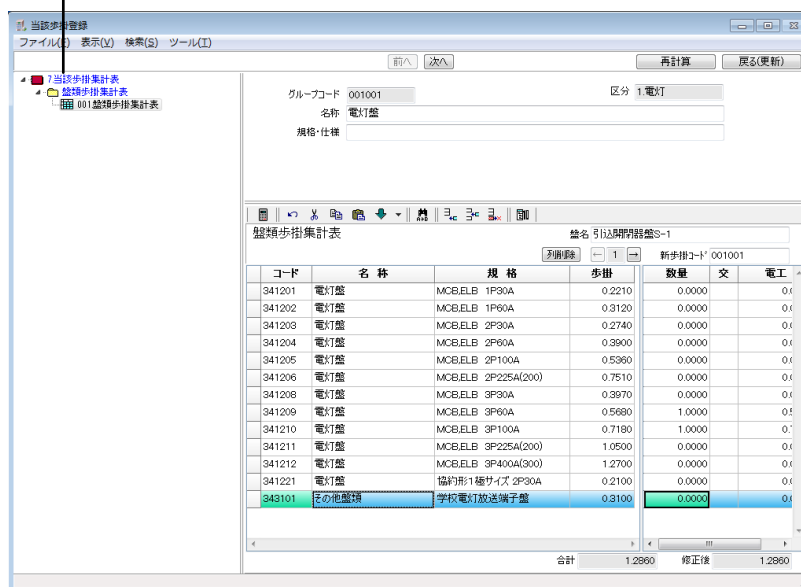
◆ 歩掛選択画面での表示(当該歩掛表示時)



① 歩掛グループの情報

② 明細で登録した新歩掛コード・盤名の情報

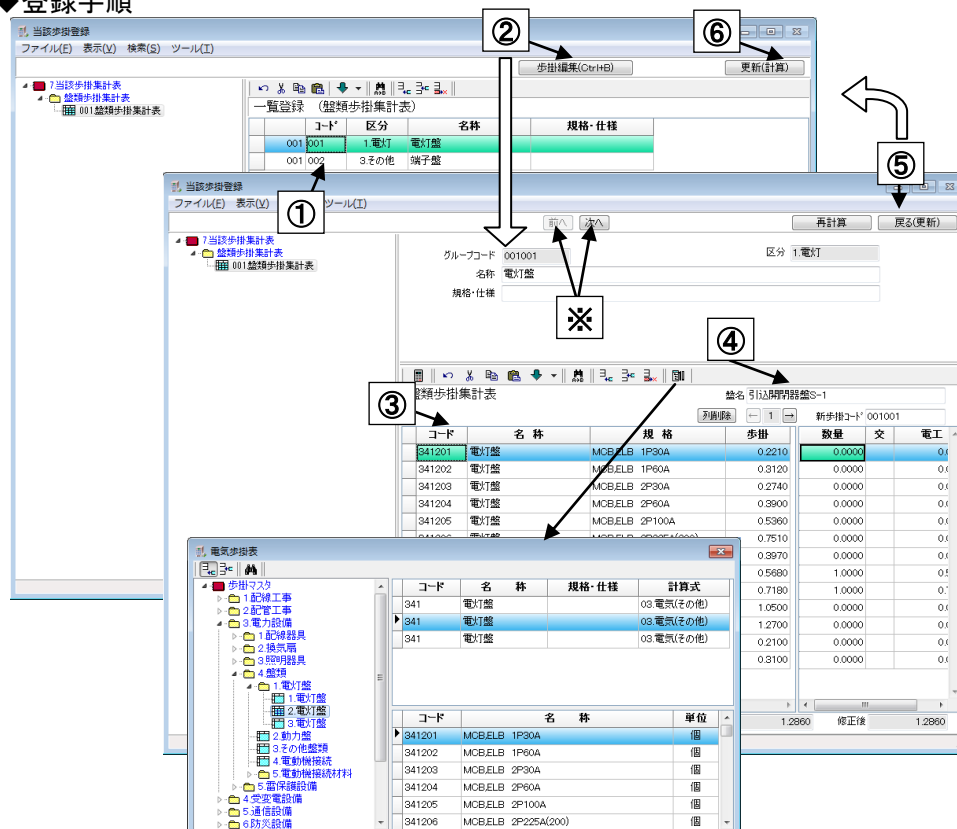
フォルダー・シート階層



①

②

◆登録手順



手順

- ① 歩掛グループののグループコード・区分・名称・規格・仕様を入力して下さい。
※グループコードが6桁を超えると(又はプロパティ設定値超過時)、エラーメッセージが表示されます。
※グループコードは重複しないようにしてください。
 - ② [歩掛編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、歩掛編集画面が表示されます。
 - ③ コード(引込歩掛コード)を入力して下さい。
配布単価の歩掛コードを入力して下さい。
該当歩掛の名称、規格・仕様・歩掛が引き込まれます。
※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
 - ④ 盤名・新歩掛コード・数量を入力して下さい。
新歩掛コードは、0頭を基本とし、複合単価に登録する際に入力する歩掛コードを6桁で入力します。
[←][→]ボタンで、表の右部分の名称及び数量の列切り替えを行いながら入力を行います。最大30列分入力可能です。(矢印ボタンの間の数字は列番号です。)
[列削除]ボタンをクリックすると、表示中の列を削除し、前詰めにします。
 - ⑤ [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。
【計算】
[電工] = 歩掛 × 数量
[合計] = 各列の電工の計
[修正後] = 各列の合計の値に応じて自動的に修正された値
※複合単価の歩掛コードに引込む歩掛コードは、[新歩掛コード]です。
- ※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。
手順⑤により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。
- ⑥ [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

8 標準代価(8頭コード)・複合単価(9頭コード)登録・再計算

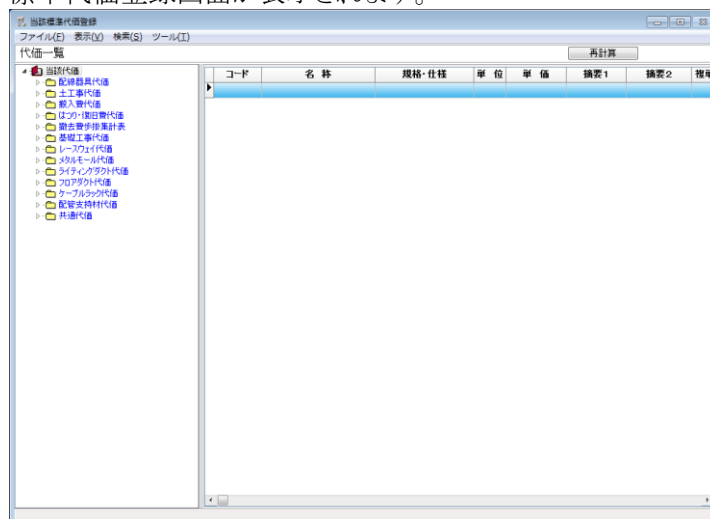
1 当該標準代価登録画面の表示

※標準代価は、配布単価、配布歩掛、当該単価(6頭コード)・当該単価の複合単価(7頭コード)を利用し、代価歩掛明細を積算し、内訳書に使用する単価です。

※コードの循環参照防止のため、標準代価(8頭コード)で作成したコードを標準代価(8頭コード)に引き込むことは出来ません(機械積算では別途作成の代価を代価に引き込む運用は行いません)。

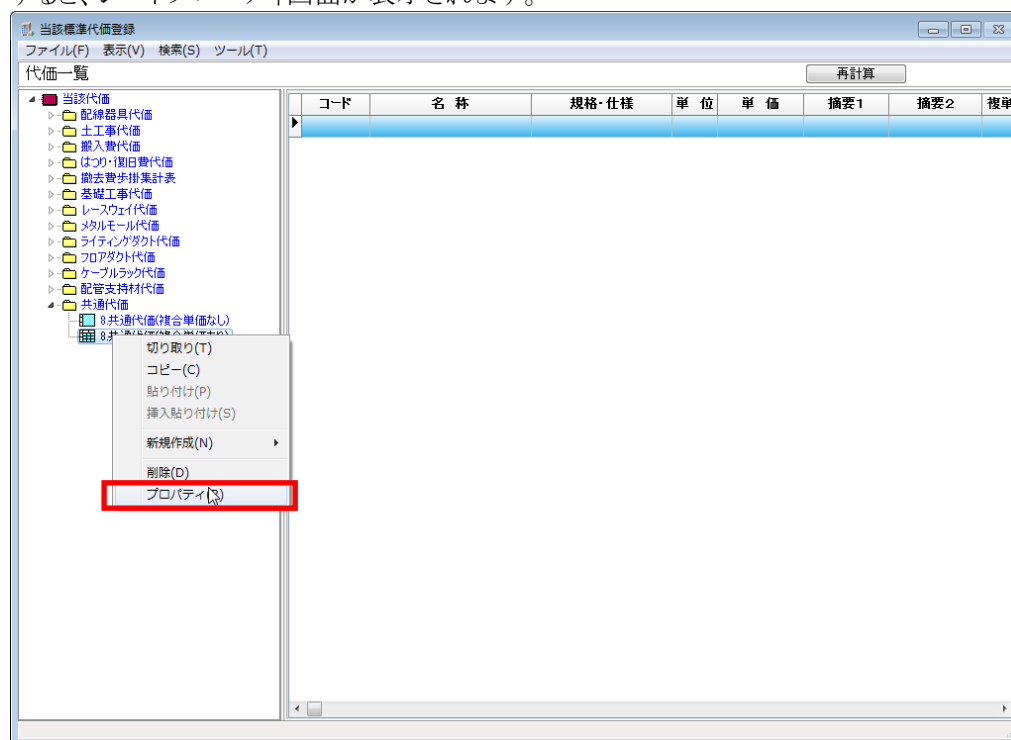
※標準代価(8頭コード)を基に作成する複合単価(9頭コード)は、代価の種別が「共通代価」のときのみ作成できます。

- 1) メインメニューの[5.標準代価作成]→[1.標準代価登録・再計算]をダブルクリックすると、当該標準代価登録画面が表示されます。

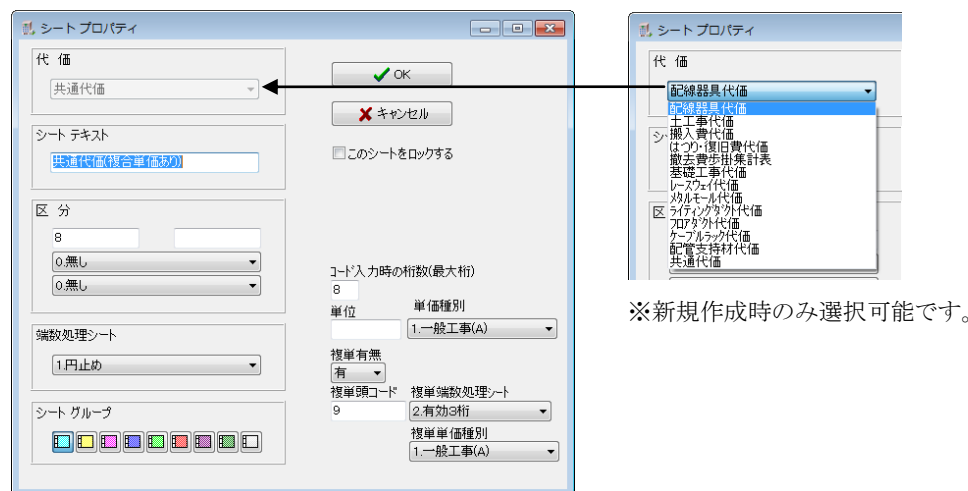


2 単価登録シートの基本設定

- 1) ツリービューを展開し、予め登録されているシートをクリックして選択して下さい。
- 2) シートが選択(文字列が反転)されていることを確認し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックすると、シートプロパティ画面が表示されます。



3) 作成する内容に応じて各設定を行って下さい。



※新規作成時のみ選択可能です。

※**代価**:代価の種別を選択します。配線器具代価・土工事代価・搬入費代価・はつり・復旧費代価・撤去費歩掛集計表・基礎工事代価・レースウェイ代価・メタルモール代価・ライティングダクト代価・フロアダクト代価・ケーブルラック代価・配管支持材代価・共通代価が選択可能です。(共通代価のみ複合単価を登録可能です。他の代価表を選択した時は複合単価に関する項目は非表示となります。)

※**シートテキスト**: 入力した文字列をツリービューに表示します。

※**区分**: 各設定値が、単価コードの頭コードに反映されます(リストから選択可)。

※**端数処理**については、〈本書 P30〉を参照して下さい。

※**コード入力時の桁数(最大桁)**:コードの最大桁数を設定します。

※**単位**: 単価の追加・挿入時、単位の初期値を入力します。(必要に応じて設定)

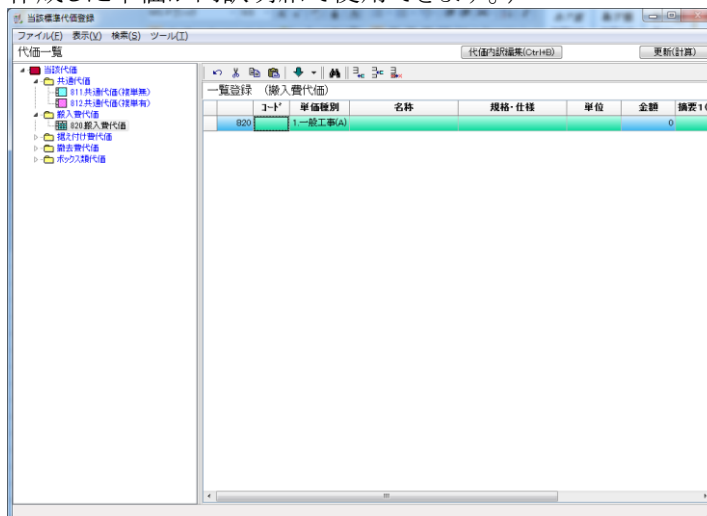
※**単価種別**: 単価の追加・挿入時、単価種別の初期値を入力します。「複単単価種別」は複合単価における単価種別の初期値です。(必要に応じて設定)

※**複単有無**: 複合単価を作成するときは「有」に設定します。

※**複単頭コード**: 複合単価コードの頭コードに反映されます。(設定桁分を標準代価頭コードと置き換えます。)

3 配線器具代価の登録

- 1) 代価を登録するシートをダブルクリックすると、代価一覧登録画面が表示されます。(ここで作成した単価が内訳明細で使用できます。)



- 2) [単価コード]、[単価種別]、[名称]、[規格・仕様]、[単位]、[摘要 1]、[摘要 2]を入力します。
※一覧入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。

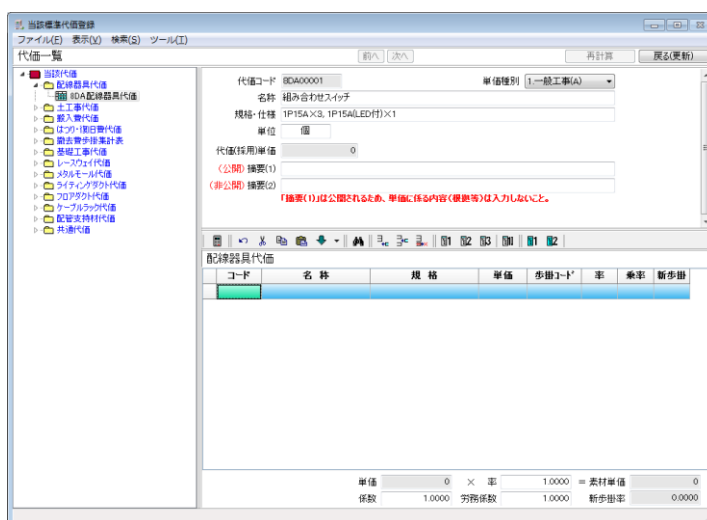
- ・**単価コード**: 8 頭を既定とし、桁数は 8 桁までを基本として重複しない番号を入力します。
- ・**単位**: 未入力時は単位選択画面が自動表示されます。再表示させる場合は、[F2]キーを押して下さい。任意入力も可能です。

【注意】

摘要1は初期設定では、数量公開書で印刷されるので、**単価根拠等非公開事項は入力しないようにしてください。**

摘要2(非公開事項を入力)は、数量公開書には印刷されません。

- 3) 作成した単価の代価内訳明細を入力します。
画面上部の[代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面になります。
※[Ctrl]キーを押しながら[B]キーを押しても、同様の制御になります



4) 代価明細を入力して下さい。(積上明細の入力)

・コード(引込コード): 配布単価コード(基礎単価)、当該基礎単価(6頭コード)・当該複合単価(7頭コード)を入力します。

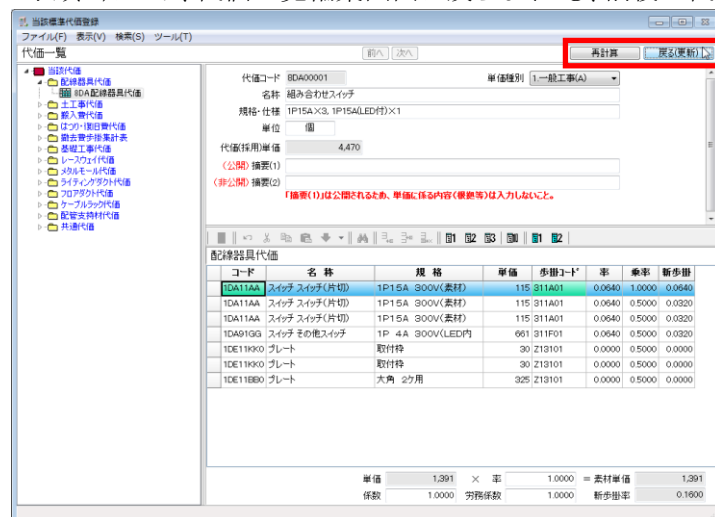
※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。

・歩掛コード(引込コード): 歩掛コードを入力します。

・率・係数・労務係数: それぞれの係数を入力します。

5) [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。

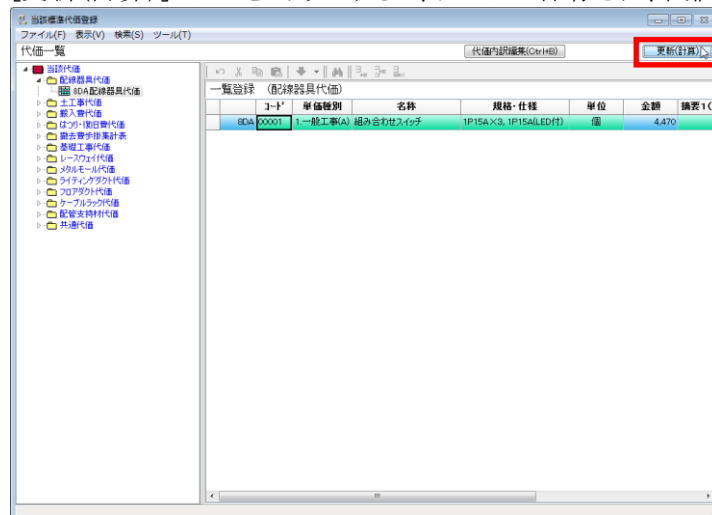
※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。手順 5)により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。



コード	名称	規格	単価	歩掛コード	率	乗率	新歩掛
1DA11AA	スイッチ スイッチ(片切)	1P15A 300V(素材)	115	311A01	0.0640	1.0000	0.0640
1DA11AA	スイッチ スイッチ(片切)	1P15A 300V(素材)	115	311A01	0.0640	0.5000	0.0320
1DA11AA	スイッチ スイッチ(片切)	1P15A 300V(素材)	115	311A01	0.0640	0.5000	0.0320
1DA91GG	スイッチ その他スイッチ	1P 4A 300V(LED内)	661	311F01	0.0640	0.5000	0.0320
TDE119K0	プレート	取付枠	30	213101	0.0000	0.5000	0.0000
TDE119K0	プレート	取付枠	30	213101	0.0000	0.5000	0.0000
TDE119B0	プレート	大角 2ヶ用	325	213101	0.0000	0.5000	0.0000

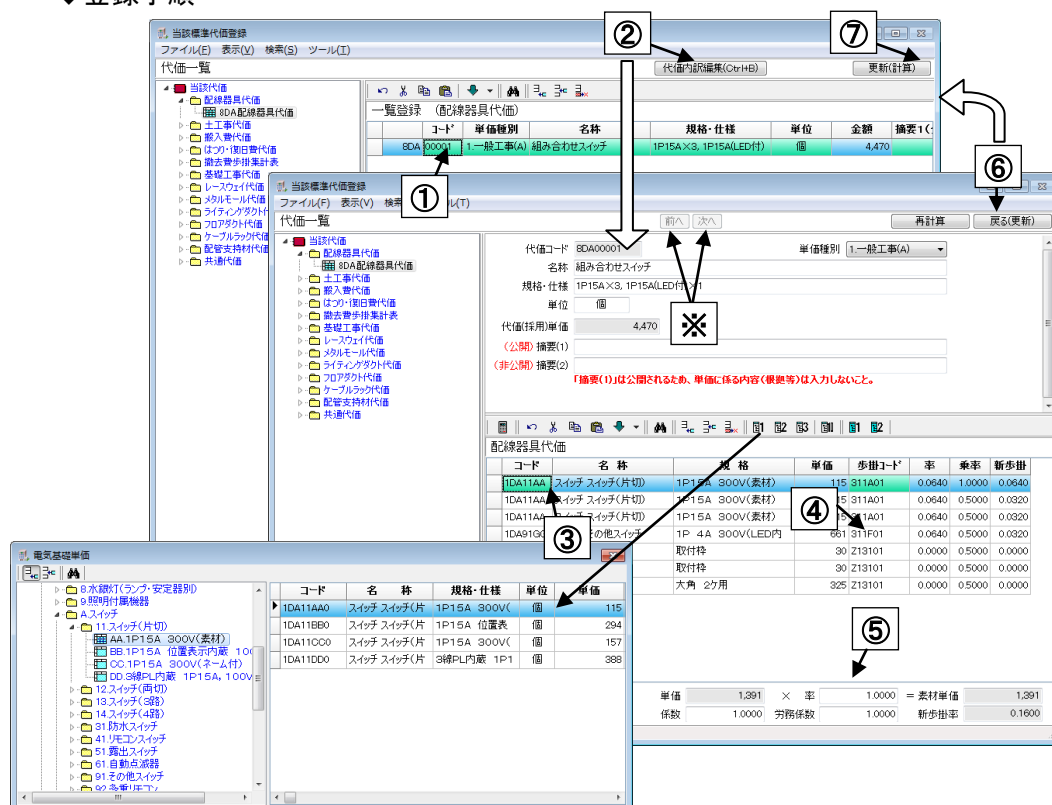
単価 1.391 × 率 1.0000 = 素材単価 1.391
係数 1.0000 労務係数 1.0000 新歩掛率 0.1600

6) [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。



コード	単価種別	名称	規格・仕様	単位	金額	積算1(
80A 00001	1一般工事(A)	組み合わせスイッチ	1P15A×3, 1P15A(LED付)	個	4.470	

◆登録手順



手順

- ① 標準単価の単価コード・単価種別・名称・規格・仕様・単位・摘要1・摘要2を入力して下さい。
※コードが 10 桁を超えるとき(又はプロパティ設定値超過時)、エラーメッセージが表示されます。
※単価コードは重複しないようにしてください。
- ② [代価内訳編集 (Ctrl+B)] ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面が表示されます。
- ③ コード(引込単価コード)を入力して下さい。
配布単価コード、配布単価コード(基礎単価)、当該基礎単価(6 頭コード)のコード番号を入力して下さい。
該当単価の名称、規格・仕様が引き込まれます。
※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
- ④ 歩掛コードを入力して下さい。
※ツールボタンにより歩掛選択画面からコード選択による入力も可能です。
- ⑤ 率・係数・労務係数を入力して下さい。
- ⑥ [再計算] ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)] ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。

【計算】

[乗率] = 歩掛の率が最大の行(複数該当の場合はそのうちの1行のみ)は 1.0 となり、
その他は 0.5 となる。

[新歩掛] = 歩掛の率 × 乗率

[単価] = 単価(積み上げ分)の計

[素材単価] = [単価] × 率

[新歩掛率] = 新歩掛の計

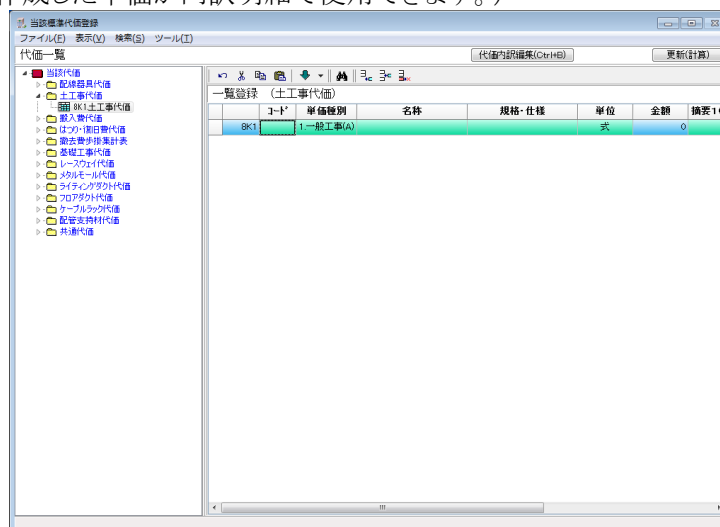
[採用単価] = [[素材単価] × (1 + 雑材料率) + {電工 × [新歩掛率] × 労務係数 × (1 + 其他率)}] × 係数

※内訳明細に引込み対象となる単価は、端数処理を施した[採用単価]になります。
端数処理はシートプロパティで設定します。

- ※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。
手順⑥により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。
- ⑦ [更新(計算)] ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

4 土工事代価の登録

- 1) 代価を登録するシートをダブルクリックすると、代価一覧登録画面が表示されます。(ここで作成した単価が内訳明細で使用できます。)



- 2) [単価コード]、[単価種別]、[名称]、[規格・仕様]、[単位]、[摘要 1]、[摘要 2]を入力します。
※一覧入力時のツールボタンについては、本書 P27を参照して下さい。

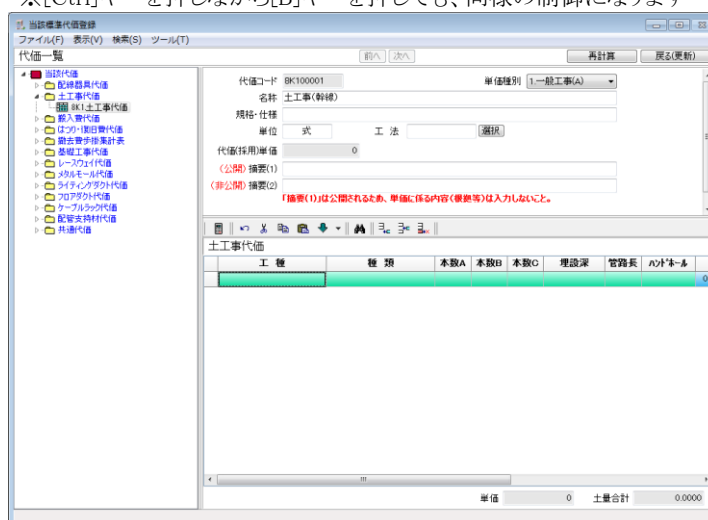
- ・**単価コード**: 8 頭を既定とし、桁数は 8 桁までを基本として重複しない番号を入力します。
- ・**単位**: 未入力時は単位選択画面が自動表示されます。再表示させる場合は、[F2]キーを押して下さい。任意入力も可能です。

【注意】

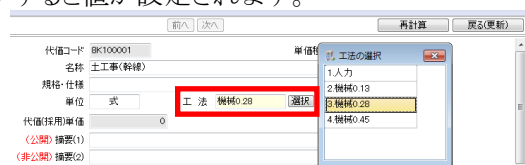
摘要1は初期設定では、数量公開書で印刷されるので、**単価根拠等非公開事項は入力しないようにしてください。**

摘要2(非公開事項を入力)は、数量公開書には印刷されません。

- 3) 作成した単価の代価内訳明細を入力します。
画面上部の[代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面になります。
※[Ctrl]キーを押しながら[B]キーを押しても、同様の制御になります



- 4) 工法を選択して下さい。
[選択]ボタンをクリックすると、選択画面が表示されます。選択画面の表の行をダブルクリックすると値が設定されます。



- 5) 代価明細を入力して下さい。(積上明細の入力)
 工種、種別、本数 A、本数 B、本数 C、埋設深さ(mm)、管路長(m)、ハンドホールを入力して下さい。
- 6) [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。
- ※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。手順 5)により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。

再計算

埋設深さ(mm)	管路長(m)	ハンドホール	幅	ABC計	種別	掘削土量/m	掘削土量(m3)	備考
2 GL-800	24.0000	2.2号	0.5000	4	E	0.2500	15.4000	

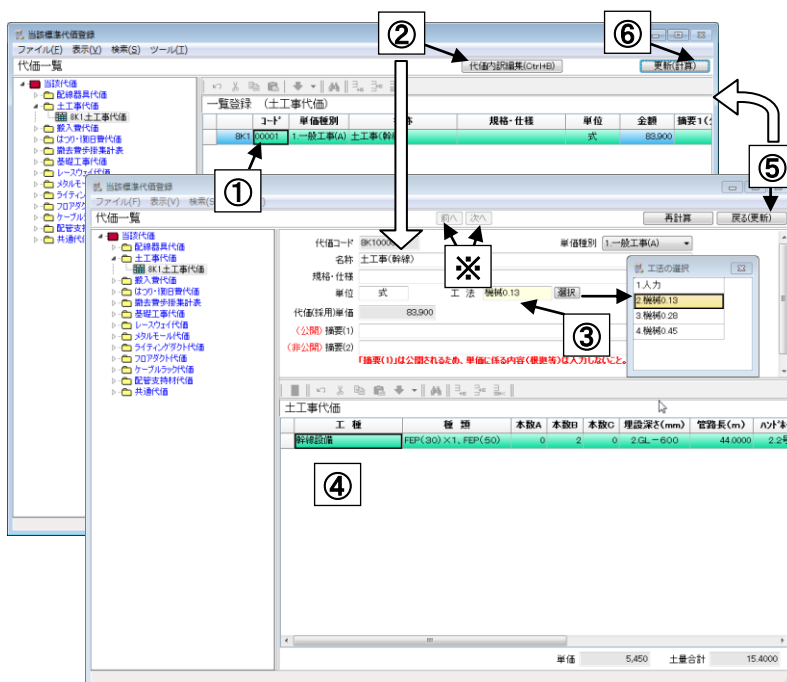
単価 5,450 土量合計 15,4000

- 7) [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

更新(計算)

コード	単価種別	名称	規格・仕様	単位	金額	摘要1(C)
8K1 00001	1-般工事(A)	土工事(幹線)	式		83,900	

◆登録手順



手順

- ① 標準代価の単価コード・単価種別・名称・規格・仕様・単位・摘要1・摘要2を入力して下さい。
 ※コードが 10 桁を超えるとき(又はプロパティ設定値超過時)、エラーメッセージが表示されます。
 ※単価コードは重複しないようにして下さい。
- ② [代価内訳編集 (Ctrl+B)] ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面が表示されます。
- ③ 工法を入力して下さい。
 ※選択画面より入力します。
- ④ 工種、種別、本数 A、本数 B、本数 C、埋設深さ(mm)、管路長(m)、ハンドホールを入力して下さい。
- ⑤ [再計算] ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)] ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。

【計算】

[ABC 計] = 本数 A + 2×本数 B + 3×本数 C

[幅]・[種別]・[掘削土量/m]:埋設深さ・ABC 計・ハンドホールの設定値により自動的に設定されます。

[掘削土量(m³)] = 管路長×[掘削土量/m]

[土量合計] = [掘削土量(m³)]の計

[単価]: 工法の設定値に応じて、掘削単価+埋め戻し単価を自動的に設定します。

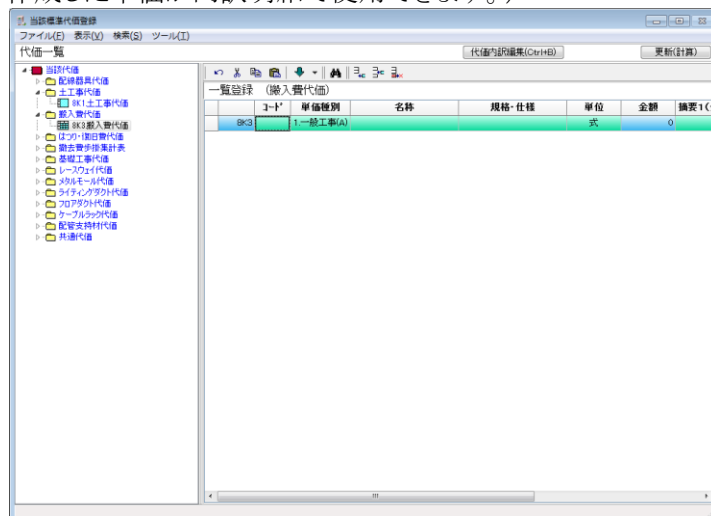
[代価(採用)単価] = [単価]×[土量合計]

※内訳明細に引込み対象となる単価は、端数処理を施した[採用単価]になります。
 端数処理はシートプロパティで設定します。

- ※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。
 手順⑤により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。
- ⑥ [更新(計算)] ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

5 搬入費代価の登録

- 1) 代価を登録するシートをダブルクリックすると、代価一覧登録画面が表示されます。(ここで作成した単価が内訳明細で使用できます。)



- 2) [単価コード]、[単価種別]、[名称]、[規格・仕様]、[単位]、[摘要 1]、[摘要 2]を入力します。
※一覧入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。

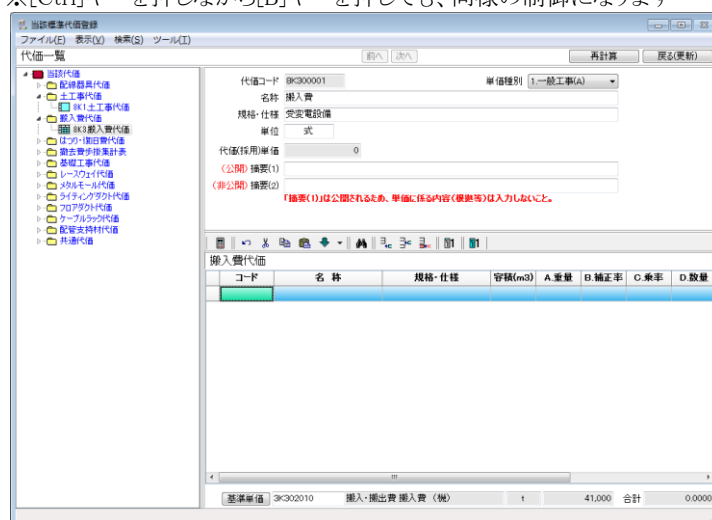
- ・**単価コード**: 8 頭を既定とし、桁数は 8 桁までを基本として重複しない番号を入力します。
- ・**単位**: 未入力時は単位選択画面が自動表示されます。再表示させる場合は、[F2]キーを押して下さい。任意入力も可能です。

【注意】

摘要1は初期設定では、数量公開書で印刷されるので、**単価根拠等非公開事項は入力しないようにしてください。**

摘要2(非公開事項を入力)は、数量公開書には印刷されません。

- 3) 作成した単価の代価内訳明細を入力します。
画面上部の[代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面になります。
※[Ctrl]キーを押しながら[B]キーを押しても、同様の制御になります



4) 代価明細を入力して下さい。(積上明細の入力)

- ・**コード(引込コード)**: 配布単価コード(基礎単価)、当該基礎単価(6 頭コード)を入力します。
※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
- ・**容積(m3)、重量(kg)、乗率、数量**: 数量及び各乗率等を入力します。
- ・**基準単価**: 搬入費基準単価(単価コード「3K302010」)を設定します(通常、自動設定値を使用します)。

5) [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。

※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。手順 5)により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。

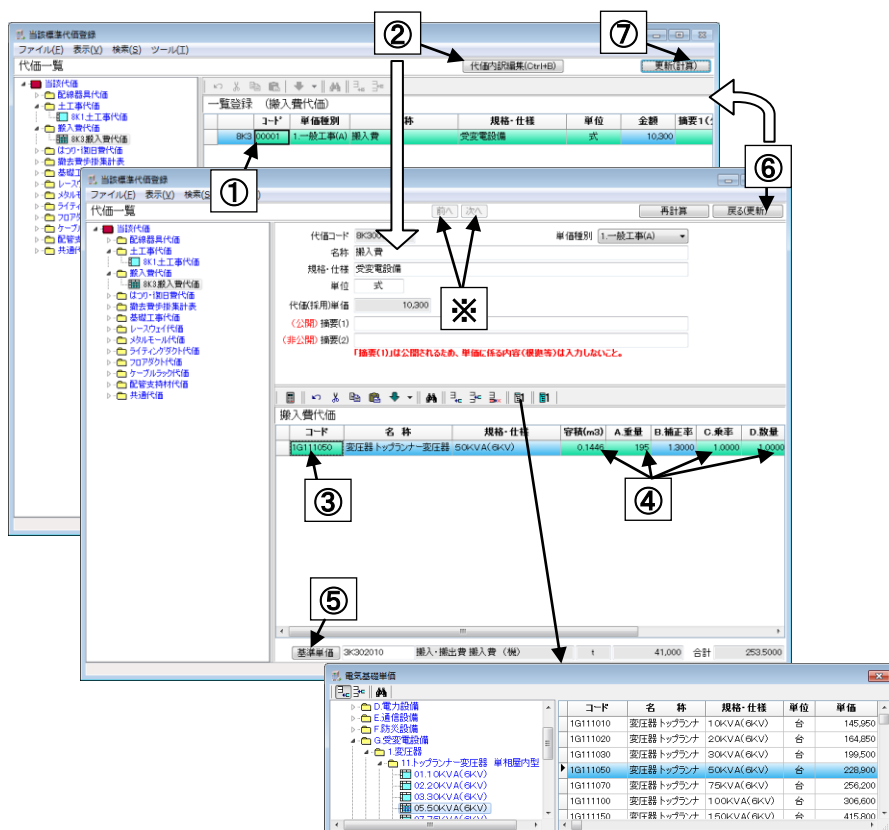
コード	名称	規格・仕様	容積(m3)	A.重量	B.補正率	C.乗率	D.数量
1G111050	配圧器 トップランナー配圧器	BK-V(A)(B-V)	0.1446	195	1.3000	1.0000	1.0000

基準単価	3K302010	搬入・搬出費 搬入費 (機)					41,000	合計	253,5000
------	----------	----------------	--	--	--	--	--------	----	----------

6) [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

コード	単価種別	名称	規格・仕様	単位	金額	摘要(C)
BK3	00001	1-一般工事(A)	搬入費	式	10,300	

◆登録手順



手順

- ① 標準単価の単価コード・単価種別・名称・規格・仕様・単位・摘要1・摘要2を入力して下さい。
 ※コードが10桁を超えるとき(又はプロパティ設定値超過時)、エラーメッセージが表示されます。
 ※単価コードは重複しないようにしてください。
- ② [代価内訳編集 (Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面が表示されます。
- ③ コード(引込単価コード)を入力して下さい。
 配布単価コード、配布単価コード(基礎単価)、当該基礎単価(6頭コード)のコード番号を入力して下さい。
 該当単価の名称、規格・仕様が引き込まれます。
 ※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
- ④ 容積(m3)、重量(kg)、乗率、数量を入力して下さい。
- ⑤ 基準単価が設定されていることを確認して下さい(通常は自動設定値を使用します)。
- ⑥ [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。
【計算】

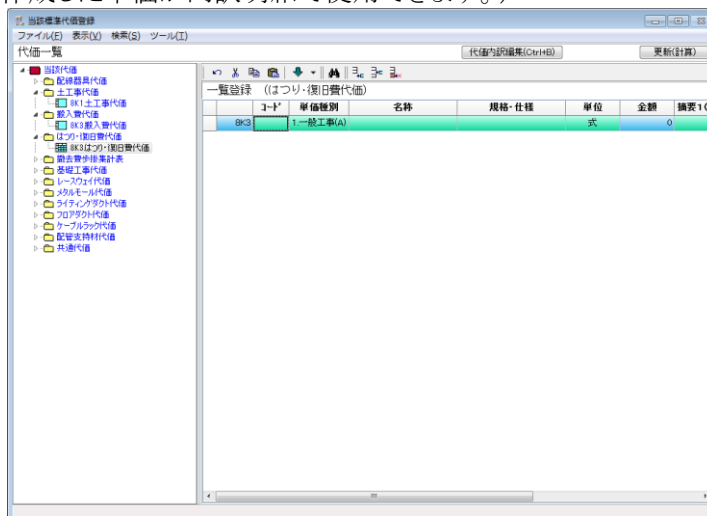
$$[合計] = [重量(kg)] \times [補正率] \times [乗率] \times [数量]$$
 の合計値
 ※ 補正率は容積(m3)と重量(kg)の入力値により自動的に設定されます。

$$[代価(採用)単価] = [合計] \times 搬入費単価 \times 1/1,000$$

 ※内訳明細に引込み対象となる単価は、端数処理を施した[採用単価]になります。
 端数処理はシートプロパティで設定します。
- ※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。
 手順⑥により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。
- ⑦ [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

6 はつり・復旧費代価の登録

- 1) 代価を登録するシートをダブルクリックすると、代価一覧登録画面が表示されます。(ここで作成した単価が内訳明細で使用できます。)



- 2) [単価コード]、[単価種別]、[名称]、[規格・仕様]、[単位]、[摘要 1]、[摘要 2]を入力します。
※一覧入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。

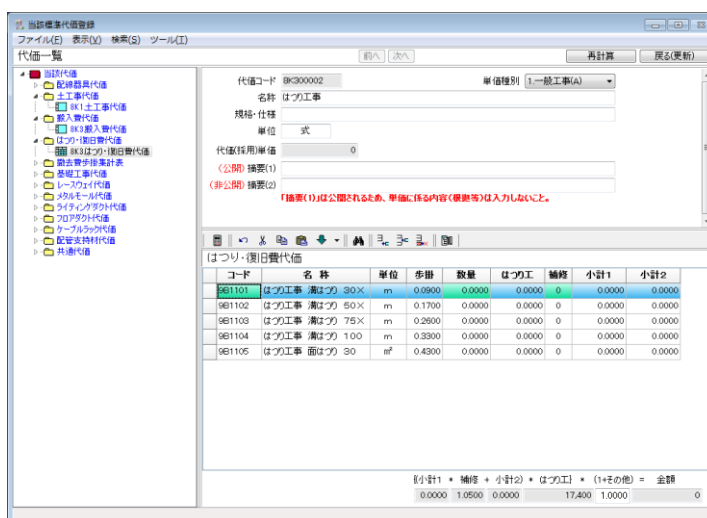
- ・**単価コード**: 8 頭を既定とし、桁数は 8 桁までを基本として重複しない番号を入力します。
- ・**単位**: 未入力時は単位選択画面が自動表示されます。再表示させる場合は、[F2]キーを押して下さい。任意入力も可能です。

【注意】

摘要1は初期設定では、数量公開書で印刷されるので、**単価根拠等非公開事項は入力しないようにしてください。**

摘要2(非公開事項を入力)は、数量公開書には印刷されません。

- 3) 作成した単価の代価内訳明細を入力します。
画面上部の[代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面になります。その際、初回入力時は、既定値の行が設定されます。
※[Ctrl]キーを押しながら[B]キーを押しても、同様の制御になります



4) 代価明細を入力して下さい。(積上明細の入力)

- ・**コード(引込コード)**: 歩掛コードを入力します。
 ※ 新規作成時、既定値の歩掛コードの行が設定されます。
 ※ ツールボタンにより歩掛選択画面からコード選択による入力も可能です。
- ・**数量**: 数量を入力します。
- ・**補修**: 補修の有無を選択画面から設定して入力します。

5) [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。

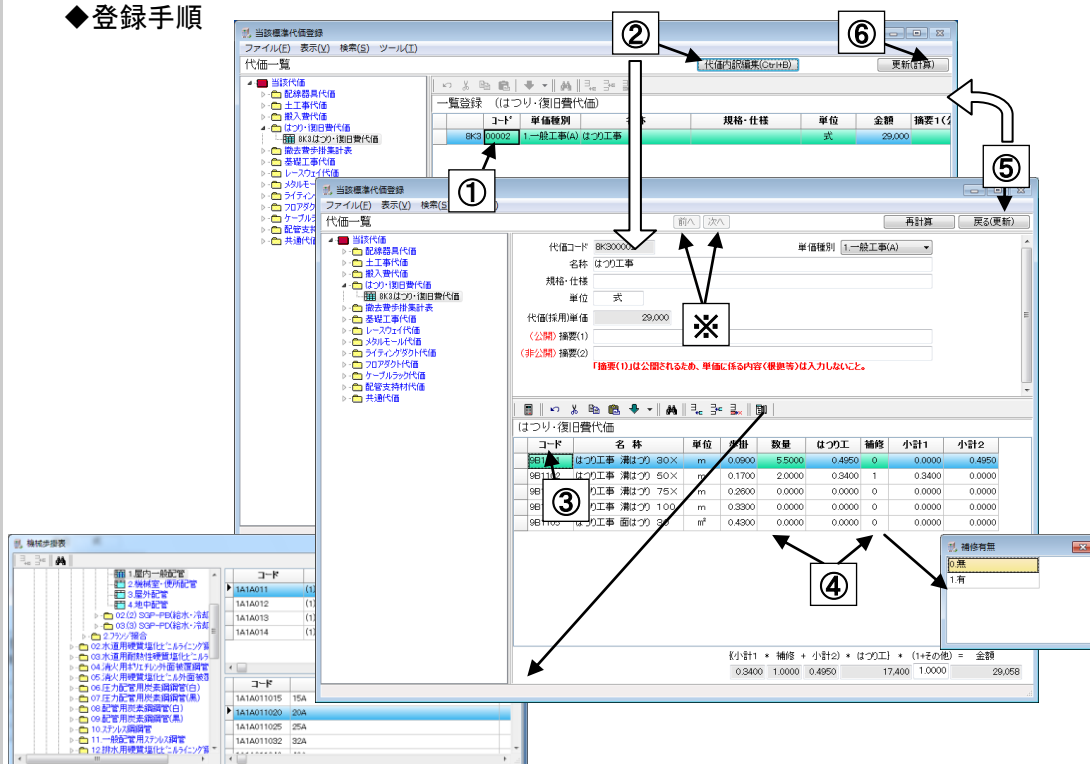
※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。手順 5)により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。

コード	名称	単位	歩掛	数量	はつり工	補修	小計1	小計2
8E1101	はつり工事 溝はつり 30×	m	0.0000	5.0000	0.4950	0	0.0000	0.4950
8E1102	はつり工事 溝はつり 50×	m	0.1700	2.0000	0.3400	1	0.3400	0.0000
8E1103	はつり工事 溝はつり 75×	m	0.2900	0.0000	0.0000	0	0.0000	0.0000
8E1104	はつり工事 溝はつり 100	m	0.3300	0.0000	0.0000	0	0.0000	0.0000
8E1105	はつり工事 面はつり 30	m ²	0.4300	0.0000	0.0000	0	0.0000	0.0000

6) [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

コード	単価種別	名称	規格・仕様	単位	金額	摘要1(%)
8E300002	1-一般工事(A)	はつり工事		式	29,000	

◆登録手順



手順

- ① 標準代価の単価コード・単価種別・名称・規格・仕様・単位・摘要1・摘要2を入力して下さい。
 ※コードが 10 桁を超えるとき(又はプロパティ設定値超過時)、エラーメッセージが表示されます。
 ※単価コードは重複しないようにしてください。
- ② [代価内訳編集 (Ctrl+B)] ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面が表示されます。
- ③ コード(引込歩掛コード)を入力して下さい。
 歩掛コード番号を入力して下さい。
 該当歩掛の名称・単位・歩掛が引き込まれます。
 ※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
- ④ 数量、補修の有無を入力して下さい。
 ※補修の有無は選択画面で入力します。
- ⑤ [再計算] ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)] ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。

【計算】

入力表右端の[小計 1] = 補修有りの計
 入力表右端の[小計 2] = 補修無しの計
 画面下部の[小計 1] = 補修有りの合計値
 画面下部の[補修] : 補修率(自動設定)
 画面下部の[小計 2] = 補修無しの合計値
 画面下部の[はつり工] : はつり工の労務単価(自動設定)
 画面下部の[その他] : その他率(自動設定)

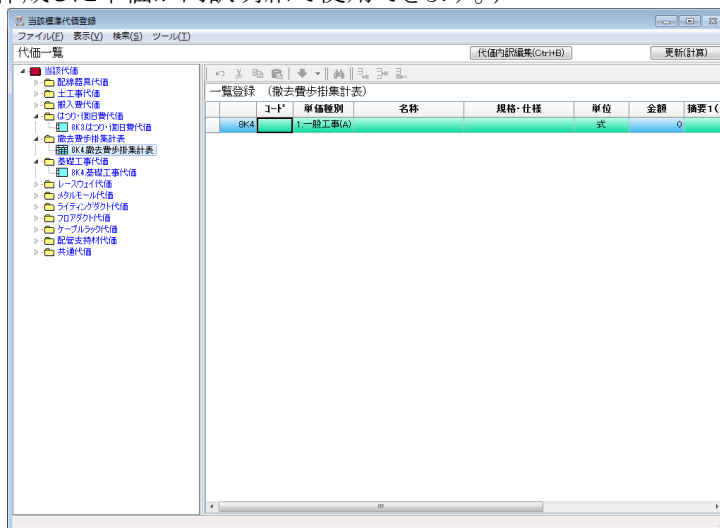
$$[\text{金額}](\text{単価}) = \{(\text{画面下部の}[\text{小計 1}] \times [\text{補修}] + \text{画面下部の}[\text{小計 2}]) \times [\text{はつり工}] \times (1 + [\text{その他}])\}$$

※内訳明細に引込み対象となる単価は、端数処理を施した[採用単価]になります。
 端数処理はシートプロパティで設定します。

- ※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。
 手順⑤により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。
- ⑥ [更新(計算)] ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

7 撤去費歩掛集計表の登録

- 1) 代価を登録するシートをダブルクリックすると、代価一覧登録画面が表示されます。(ここで作成した単価が内訳明細で使用できます。)



- 2) [単価コード]、[単価種別]、[名称]、[規格・仕様]、[単位]、[摘要 1]、[摘要 2]を入力します。
※一覧入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。

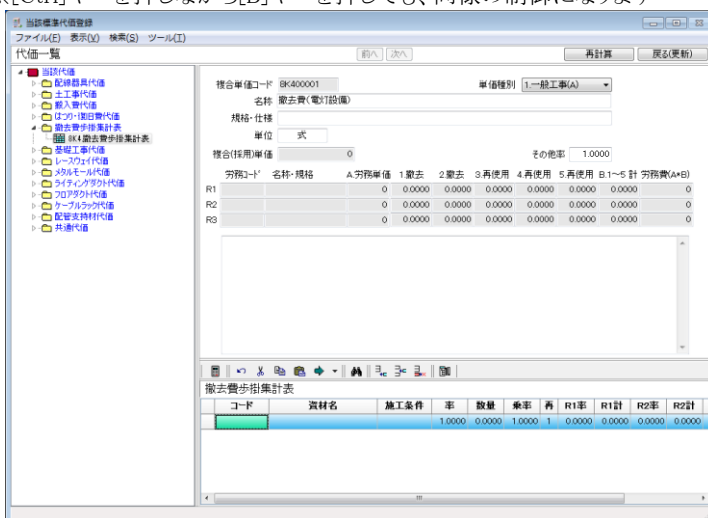
- ・**単価コード**: 8 頭を既定とし、桁数は 8 桁までを基本として重複しない番号を入力します。
- ・**単位**: 未入力時は単位選択画面が自動表示されます。再表示させる場合は、[F2]キーを押して下さい。任意入力も可能です。

【注意】

摘要1は初期設定では、数量公開書で印刷されるので、**単価根拠等非公開事項は入力しないようにしてください。**

摘要2(非公開事項を入力)は、数量公開書には印刷されません。

- 3) 作成した単価の代価内訳明細を入力します。
画面上部の[代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面になります。
※[Ctrl]キーを押しながら[B]キーを押しても、同様の制御になります



4) 代価明細を入力して下さい。(積上明細の入力)

- ・**コード**: 歩掛コードを入力します。

※ツールボタンにより歩掛選択画面からコード選択による入力も可能です。

- ・**施工条件**: 施工条件をリストから選択して入力します(歩掛コードによりリストの候補は自動変更されます)。
- ・**数量、乗率**: 数量及び乗率を入力します。
- ・**再使用**: 再使用をする・しないを選択画面で選択すると、対応するコード番号が自動設定され、そのコードにより画面右上部の撤去・再使用の各 1~5 に振り分けます。

5) [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。

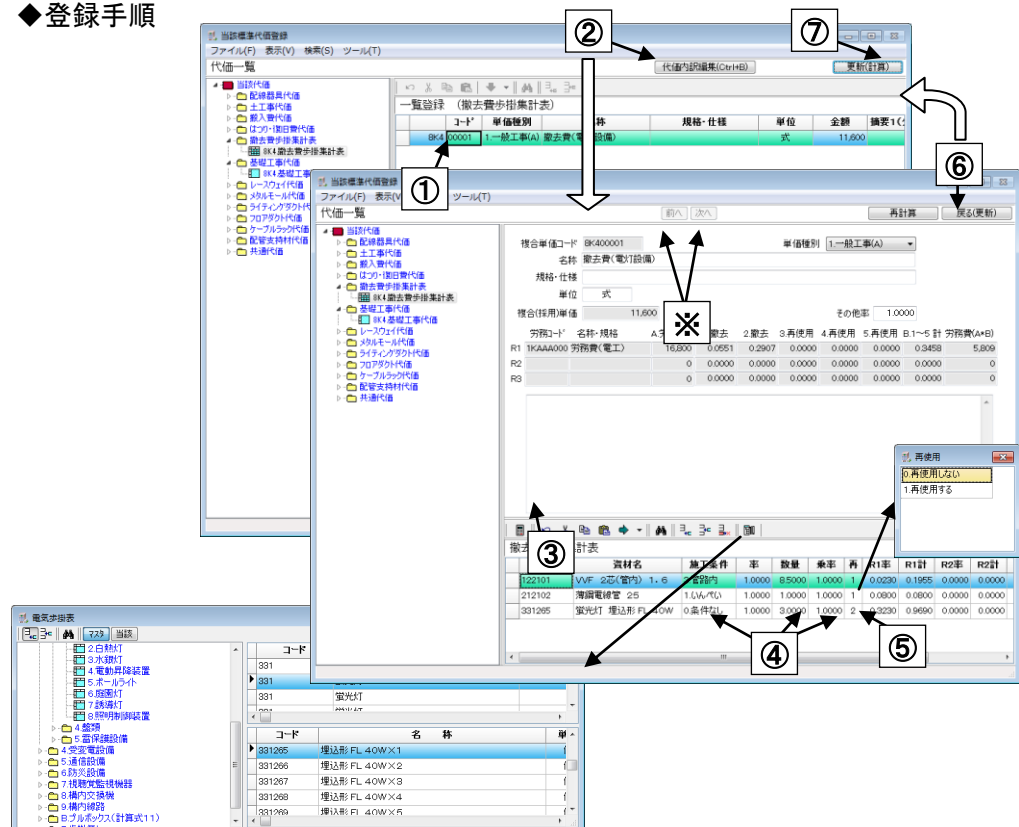
※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。手順 5)により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。

コード	資材名	施工条件	率	数量	乗率	再	R1率	R1計	R2率	R2計
22101	VVF 2芯(管内) 1.6	3管引き	1.0000	8.5000	1.0000	1	0.0230	0.1955	0.0000	0.0000
212102	海線電線管 25	1.0kV以下	1.0000	1.0000	1.0000	1	0.0800	0.0800	0.0000	0.0000
331205	蛍光灯 埋込形 FL 40W	0条件なし	1.0000	3.0000	1.0000	2	0.3230	0.9690	0.0000	0.0000

6) [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

コード	単価種別	名称	規格・仕様	単位	金額	積算1C
8K4	00001	1-一般工事(A)	撤去費(電灯設備)	式	11,600	

◆登録手順



手順

- ① 標準代価の単価コード・単価種別・名称・規格・仕様・単位・摘要1・摘要2を入力して下さい。
 ※コードが10桁を超えるとき(又はプロパティ設定値超過時)、エラーメッセージが表示されます。
 ※単価コードは重複しないようにしてください。
- ② [代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面が表示されます。
- ③ 歩掛コードを入力して下さい。
 ※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
- ④ 施工条件、数量、乗率を入力して下さい。
- ⑤ 撤去後再使用するかしないかを選択画面から選択します。
- ⑥ [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。

【計算】

[率] = 施工条件に対する率(自動設定)

[R1 率]・[R2 率]・[R3 率]: 歩掛の労務に対する率

[R1 計]・[R2 計]・[R3 計]: [率] × 数量 × 乗率 × [R1 率(または R2 率または R3 率)]
 画面右上(R1・R2・R3 毎の)率集計値

・[1.撤去]・[2.撤去]・[3.再使用]・[4.再使用]・[5.再使用] =

[R1 率(または R2 率または R3 率)]の計 × 「再」のコードで自動設定される率

・[B.1~5 計] = [1.撤去] + [2.撤去] + [3.再使用] + [4.再使用] + [5.再使用]

・[労務費(A*B)] = 労務単価 × [B.1~5 計]

[その他率]: その他率(自動設定)

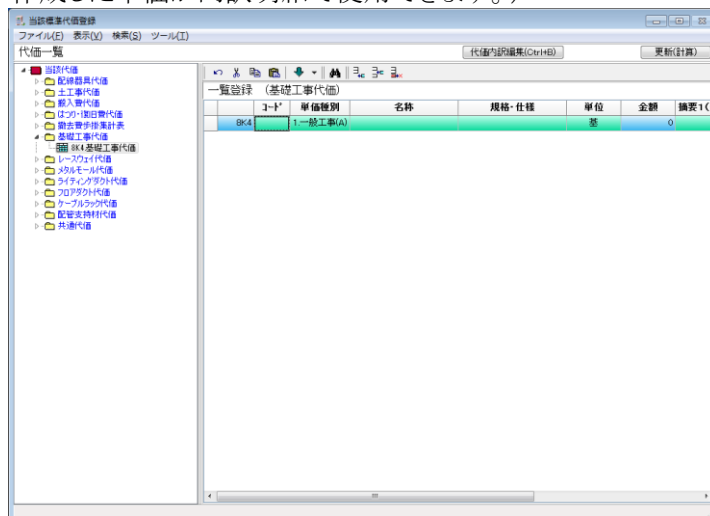
[代価(採用)単価] = [労務費(A*B)]の合計 × (1 + [その他率])

※内訳明細に引込み対象となる単価は、端数処理を施した[採用単価]になります。
 端数処理はシートプロパティで設定します。

- ※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。
 手順⑥により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。
- ⑦ [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

8 基礎工事代価の登録

- 1) 代価を登録するシートをダブルクリックすると、代価一覧登録画面が表示されます。(ここで作成した単価が内訳明細で使用できます。)



- 2) [単価コード]、[単価種別]、[名称]、[規格・仕様]、[単位]、[摘要 1]、[摘要 2]を入力します。
 ※一覧入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。
- ・**単価コード**: 8 頭を既定とし、桁数は 8 桁までを基本として重複しない番号を入力します。
 - ・**単価種別**: 共通費算出時、集計分類として単価に種別を割り付けます。
 - ・**単位**: 未入力時は単位選択画面が自動表示されます。再表示させる場合は、[F2]キーを押して下さい。任意入力も可能です。

【注意】

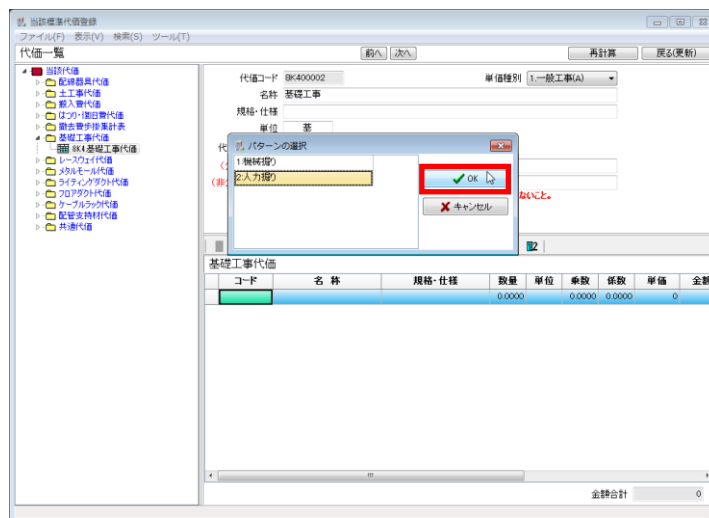
摘要1は初期設定では、数量公開書で印刷されるので、**単価根拠等非公開事項は入力しないようにしてください。**

摘要2(非公開事項を入力)は、数量公開書には印刷されません。

- 3) 作成した単価の代価内訳明細を入力します。

画面上部の[代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面になります。その際、初回入力時は、パターンを選択画面が表示されますので、該当する方のパターン(1. 機械掘り、2. 人力掘り)を選択して[OK]ボタンをクリックすると、既定値の行が設定されます。

※[Ctrl]キーを押しながら[B]キーを押しても、同様の制御になります



4) 代価明細を入力して下さい。(積上明細の入力)

・**コード(引込コード)**: 配布単価コード、当該単価(6頭コード)・当該複合単価(7頭コード)を入力します。

※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。

・**数量、乗数、係数**: 数量及び各乗率等を入力します。

・**単位(任意単価入力時)**: 未入力時は単位選択画面が自動表示されます。再表示させる場合は、[F2]キーを押して下さい。任意入力も可能です。

5) [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。

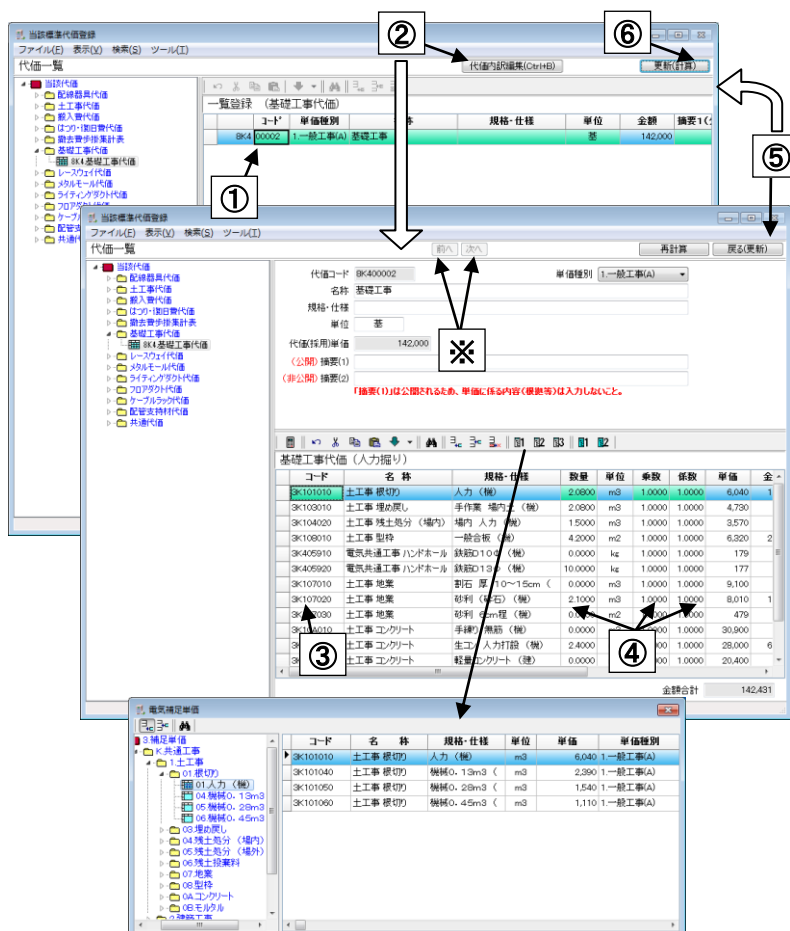
※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。手順 5)により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。

コード	名称	規格・仕様	数量	単位	乗数	係数	単価	金
3K103010	土工事 掘削	人力 (掘)	2,000.00	m3	1.0000	1.0000	6,040	1
3K103010	土工事 掘削	手作業 掘内土 (掘)	2,000.00	m3	1.0000	1.0000	4,730	
3K104020	土工事 残土処分 (掘内)	掘内 人力 (掘)	1,500.00	m3	1.0000	1.0000	2,570	
3K109010	土工事 型枠	一般合板 (掘)	4,000.00	m2	1.0000	1.0000	6,520	2
3K405910	電気共通工事 ハンドホル	鉄線φ10φ (掘)	0.0000	kg	1.0000	1.0000	179	
3K405920	電気共通工事 ハンドホル	鉄線φ13φ (掘)	10.0000	kg	1.0000	1.0000	177	
3K107010	土工事 地盤	割石 厚 10~15cm (0.0000	m3	1.0000	1.0000	9,100	
3K107020	土工事 地盤	砂利 (砕石) (掘)	2,100.00	m3	1.0000	1.0000	8,010	1
3K107030	土工事 地盤	砂利 6cm程 (掘)	0.0000	m2	1.0000	1.0000	479	
3K10A010	土工事 コンクリート	手練り 無筋 (掘)	0.0000	m3	1.0000	1.0000	30,900	
3K10A020	土工事 コンクリート	生コン 人力打設 (掘)	2,400.00	m3	1.0000	1.0000	28,000	6
3K10A040	土工事 コンクリート	軽量コンクリート (掘)	0.0000	m3	1.0000	1.0000	20,400	
金替合計								142,431

6) [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

コード	単価種別	名称	規格・仕様	単位	金額	摘要1 (C)
8K4	00002	1-一般工事(A) 基礎工事		基	142,000	

◆登録手順



手順

- ① 標準代価の単価コード・単価種別・名称・規格・仕様・単位・摘要1・摘要2を入力して下さい。
 ※コードが 10 桁を超えるとき(又はプロパティ設定値超過時)、エラーメッセージが表示されます。
 ※単価コードは重複しないようにしてください。
 - ② [代価内訳編集 (Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面が表示されます。
 - ③ コード(引込単価コード)を入力して下さい。
 配布単価コード、当該単価(6 頭コード)・当該複合単価(7 頭コード)のコード番号を入力して下さい。
 該当単価の名称、規格・仕様、単位、摘要(1)(2)が引き込まれます。
 ※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
 - ④ 数量、乗率・係数を入力して下さい。
 - ⑤ [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。
【計算】

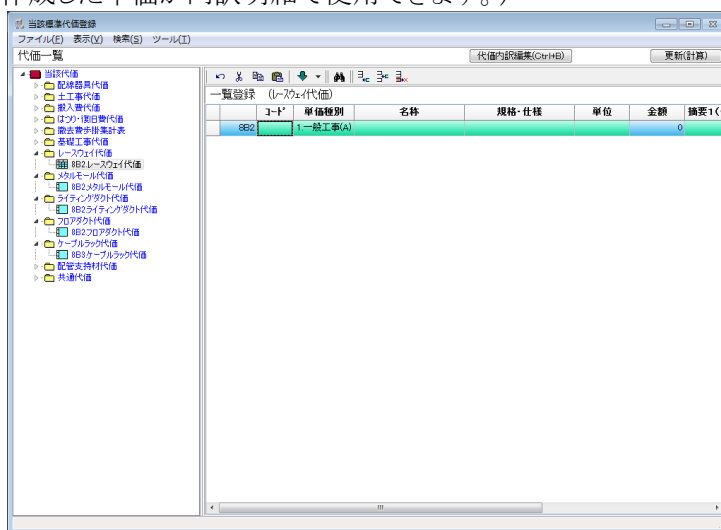
$$[\text{金額}] = [\text{数量}] \times [\text{乗数}] \times [\text{係数}] \times [\text{単価}]$$

$$[\text{代価(採用)単価}] = [\text{金額の合計}]$$
 ※内訳明細に引込み対象となる単価は、端数処理を施した[採用単価]になります。
 端数処理はシートプロパティで設定します。
- ※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。
 手順⑤により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。
- ⑥ [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

9 レースウェイ代価・メタルモール代価・ライティングダクト代価・フロアダクト代価・ケーブルラック代価の登録

※上記の代価表はいずれも操作手順は共通です。

- 1) 代価を登録するシートをダブルクリックすると、代価一覧登録画面が表示されます。(ここで作成した単価が内訳明細で使用できます。)



- 2) [単価コード]、[単価種別]、[名称]、[規格・仕様]、[単位]、[摘要 1]、[摘要 2]を入力します。
※一覧入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。

- ・**単価コード**: 8 頭を既定とし、桁数は 8 桁までを基本として重複しない番号を入力します。
- ・**単位**: 未入力時は単位選択画面が自動表示されます。再表示させる場合は、[F2]キーを押して下さい。任意入力も可能です。

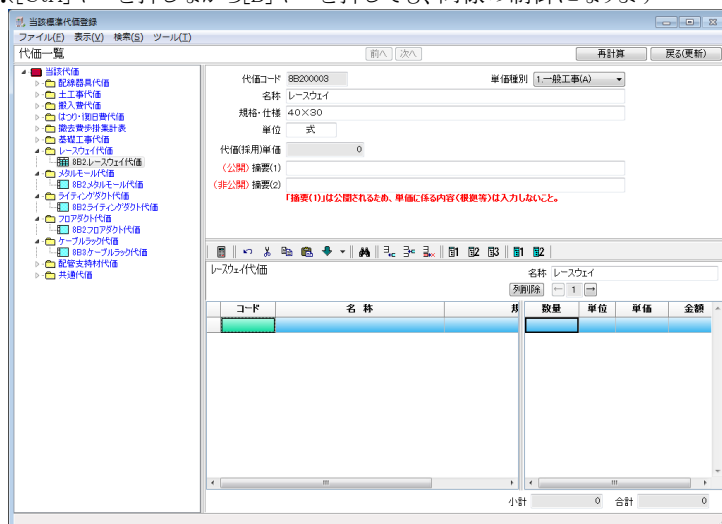
【注意】

摘要1は初期設定では、数量公開書で印刷されるので、**単価根拠等非公開事項は入力しないようにしてください。**

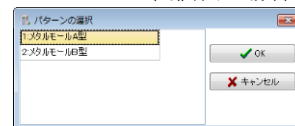
摘要2(非公開事項を入力)は、数量公開書には印刷されません。

- 3) 作成した単価の代価内訳明細を入力します。
画面上部の[代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面になります。その際、初回入力時は、パターンを選択画面でパターンを選択して[OK]ボタンをクリックすると、既定値の行が設定される代価表や、選択画面の表示無しで既定値が設定される代価表もあります。

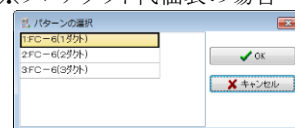
※[Ctrl]キーを押しながら[B]キーを押しても、同様の制御になります



※メタルモール代価表の場合



※フロアダクト代価表の場合



4) 代価明細を入力して下さい。(積上明細の入力)

コード	名称	規	数量	単位	単価	金額
2B211110	ダクト レスウェイ 40×30	蓋	5.0000	m	214	1,07
2B211120	ダクト レスウェイ 40×30	本体	5.0000	m	2,060	10,30
2B211210	ダクト レスウェイ 40×30	分岐ボックス一方向	5.0000	個	2,450	12,25
2B211220	ダクト レスウェイ 40×30	分岐ボックス二方向	5.0000	個	2,560	12,80
2B211230	ダクト レスウェイ 40×30	分岐ボックス三方向	5.0000	個	2,560	12,80
2B211240	ダクト レスウェイ 40×30	分岐ボックス四方向	5.0000	個	2,660	13,30
2B211250	ダクト レスウェイ 40×30	分岐ボックス四方出	5.0000	個	2,790	13,95
2B211260	ダクト レスウェイ 40×30	エルボ(蓋共)立面	5.0000	個	532	2,66
2B211270	ダクト レスウェイ 40×30	エルボ(蓋共)立面	5.0000	個	584	2,92
2B211280	ダクト レスウェイ 40×30	エルボ(蓋共)水平	5.0000	個	554	2,77
小計			109,645	合計	109,645	

[←][→]ボタンで、表の右部分の名称及び数量の列の切り替えを行いながら入力を行います。最大 20 列分入力可能です。(矢印ボタンの間の数字は列番号です。)

[列削除]ボタンをクリックすると、表示中の列を削除し、前詰めにします。

- ・名称: 名称を入力します(使用箇所等)。
- ・コード(引込コード): 配布単価コード、当該単価(6 頭コード)・当該複合単価(7 頭コード)を入力します。各列で共通で使用します。
※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
- ・数量: 数量を入力します。

5) [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。

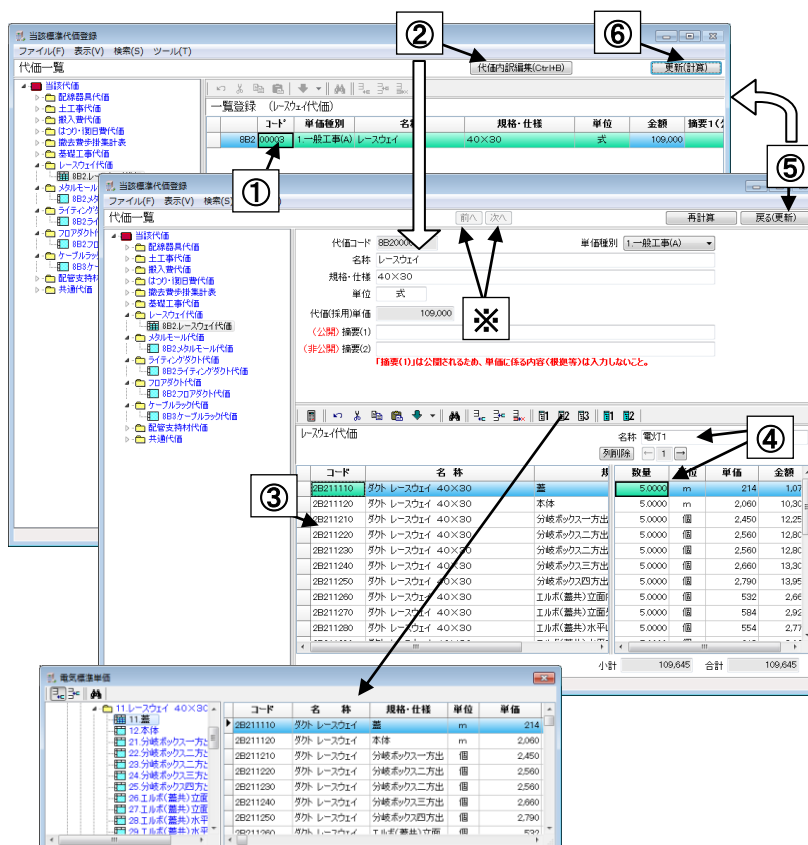
※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。手順 6)により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。

コード	名称	規	数量	単位	単価	金額
2B211110	ダクト レスウェイ 40×30	蓋	5.0000	m	214	1,07
2B211120	ダクト レスウェイ 40×30	本体	5.0000	m	2,060	10,30
2B211210	ダクト レスウェイ 40×30	分岐ボックス一方向	5.0000	個	2,450	12,25
2B211220	ダクト レスウェイ 40×30	分岐ボックス二方向	5.0000	個	2,560	12,80
2B211230	ダクト レスウェイ 40×30	分岐ボックス三方向	5.0000	個	2,560	12,80
2B211240	ダクト レスウェイ 40×30	分岐ボックス四方向	5.0000	個	2,660	13,30
2B211250	ダクト レスウェイ 40×30	分岐ボックス四方出	5.0000	個	2,790	13,95
2B211260	ダクト レスウェイ 40×30	エルボ(蓋共)立面	5.0000	個	532	2,66
2B211270	ダクト レスウェイ 40×30	エルボ(蓋共)立面	5.0000	個	584	2,92
2B211280	ダクト レスウェイ 40×30	エルボ(蓋共)水平	5.0000	個	554	2,77
小計			109,645	合計	109,645	

6) [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

コード	単価種別	名称	規格・仕様	単位	金額	摘要
8B210003	一般工事(A)	レスウェイ	40×30	式	109,000	

◆登録手順

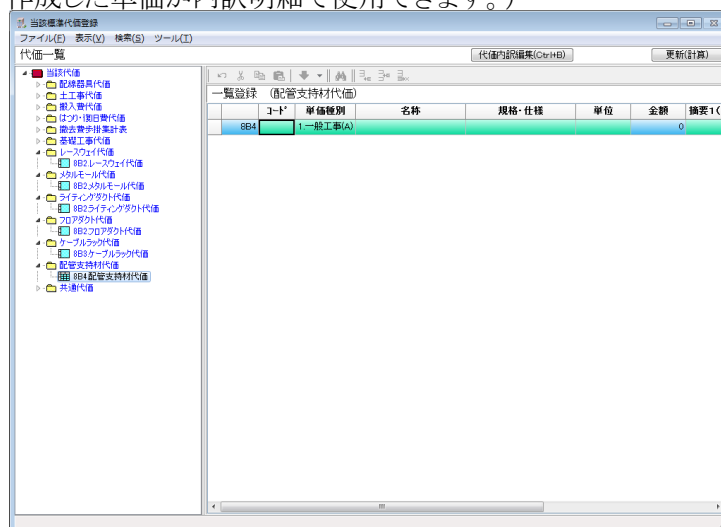


手順

- ① 標準代価の単価コード・単価種別・名称・規格・仕様・単位・摘要1・摘要2を入力して下さい。
 ※コードが10桁を超えるとき(又はプロパティ設定値超過時)、エラーメッセージが表示されます。
 ※単価コードは重複しないようにしてください。
 - ② [代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面が表示されます。
 - ③ コード(引込単価コード)を入力して下さい。
 配布単価コード、当該単価(6頭コード)・当該複合単価(7頭コード)のコード番号を入力して下さい。
 該当単価の名称、規格・仕様・単位が引き込まれます。
 ※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
 - ④ 名称(使用箇所等)及び数量を入力して下さい。
 [←][→]ボタンで、表の右部分の名称及び数量の列切り替えを行いながら入力を行います。最大20列分入力可能です。(矢印ボタンの間の数字は列番号です。)
 [列削除]ボタンをクリックすると、表示中の列を削除し、前詰めにします。
 - ⑤ [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。
【計算】
 [小計]=各列の金額(単価×数量)の計
 [金額]=[小計]の計
 ※内訳明細に引込み対象となる単価は、端数処理を施した[採用単価]になります。
 端数処理はシートプロパティで設定します。
- ※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。
 手順⑤により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。
- ⑥ [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

10 配管支持材代価の登録

- 1) 代価を登録するシートをダブルクリックすると、代価一覧登録画面が表示されます。(ここで作成した単価が内訳明細で使用できます。)



- 2) [単価コード]、[単価種別]、[名称]、[規格・仕様]、[単位]、[摘要 1]、[摘要 2]を入力します。
※一覧入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。

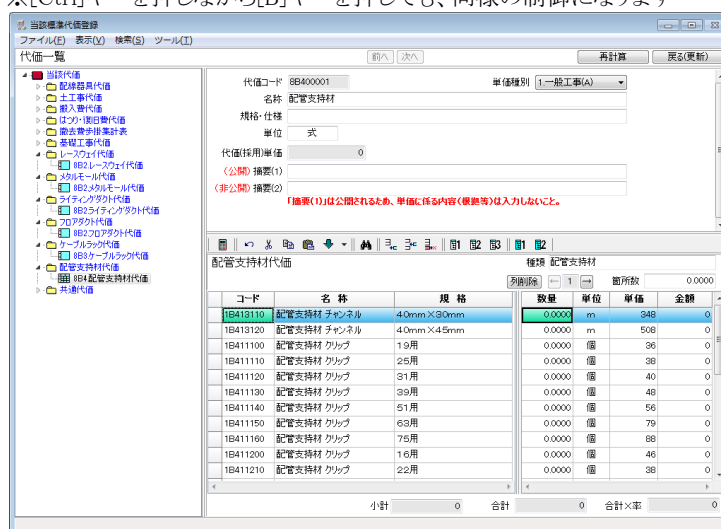
- ・**単価コード**: 8 頭を既定とし、桁数は 8 桁までを基本として重複しない番号を入力します。
- ・**単位**: 未入力時は単位選択画面が自動表示されます。再表示させる場合は、[F2]キーを押して下さい。任意入力も可能です。

【注意】

摘要1は初期設定では、数量公開書で印刷されるので、**単価根拠等非公開事項は入力しないようにしてください。**

摘要2(非公開事項を入力)は、数量公開書には印刷されません。

- 3) 作成した単価の代価内訳明細を入力します。
画面上部の[代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面になります。その際、初回入力時は、既定値の行が設定されます。
※[Ctrl]キーを押しながら[B]キーを押しても、同様の制御になります



4) 代価明細を入力して下さい。(積上明細の入力)

コード	名称	規格	数量	単位	単価	金額	
1B413110	配管支持材 チャンネル	40mm×30mm	1,000	m	348	348	
1B413120	配管支持材 チャンネル	40mm×45mm	1,000	m	508	508	
1B411100	配管支持材 クリップ	19用	1,000	個	36	36	
1B411110	配管支持材 クリップ	25用	1,000	個	38	38	
1B411120	配管支持材 クリップ	31用	1,000	個	40	40	
1B411130	配管支持材 クリップ	39用	1,000	個	48	48	
1B411140	配管支持材 クリップ	51用	1,000	個	56	56	
1B411150	配管支持材 クリップ	63用	1,000	個	79	79	
1B411160	配管支持材 クリップ	75用	1,000	個	88	88	
1B411200	配管支持材 クリップ	16用	1,000	個	46	46	
1B411210	配管支持材 クリップ	22用	1,000	個	38	38	
小計			2,805	合計	5,610	合計×率	5,890

[←][→]ボタンで、表の右部分の名称・箇所数及び数量の列の切り替えを行いながら入力を行います。最大 20 列分入力可能です。(矢印ボタンの間の数字は列番号です。)

[列削除]ボタンをクリックすると、表示中の列を削除し、前詰めにします。

- ・名称: 名称を入力します(使用箇所等)。
- ・コード(引込コード): 配布単価コード、当該単価(6 頭コード)・当該複合単価(7 頭コード)を入力します。各列で共通で使用します。
※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
- ・箇所数・数量: 数量を入力します。

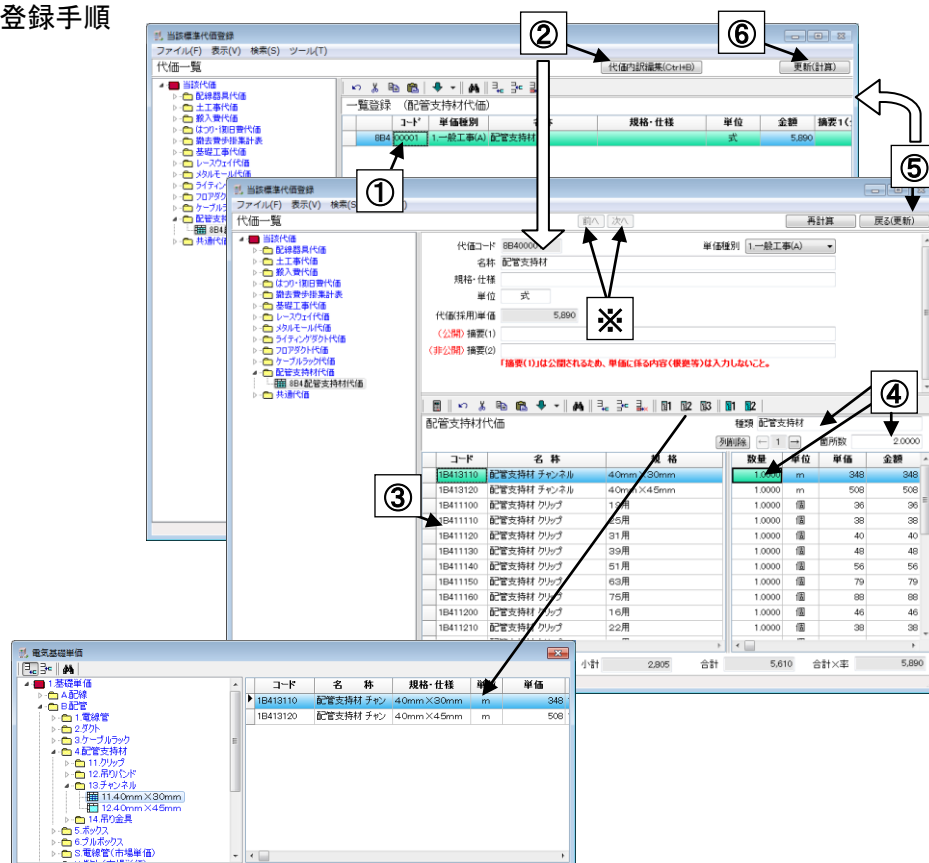
5) [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。

※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。手順 6)により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。

6) [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

コード	単価種別	名称	規格・仕様	単位	金額	積算1C
8B400001	1-一般工事(A)	配管支持材		式	5,890	

◆登録手順

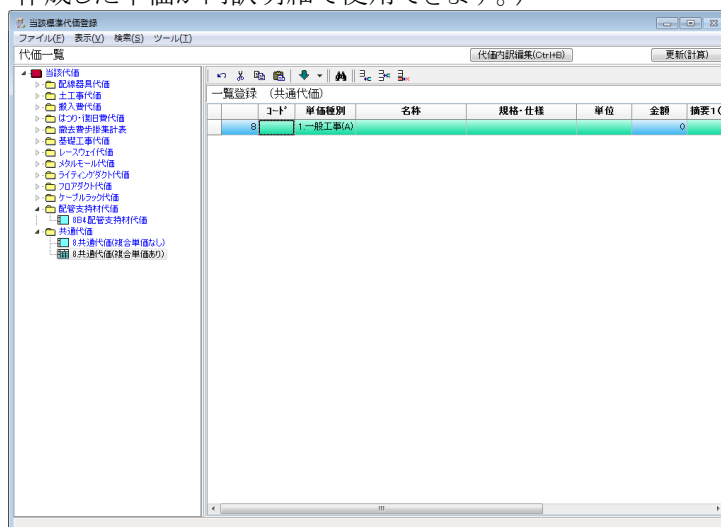


手順

- ① 標準代価の単価コード・単価種別・名称・規格・仕様・単位・摘要1・摘要2を入力して下さい。
 ※コードが 10 桁を超えるとき(又はプロパティ設定値超過時)、エラーメッセージが表示されます。
 ※単価コードは重複しないようにしてください。
 - ② [代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面が表示されます。
 - ③ コード(引込単価コード)を入力して下さい。
 配布単価コード、当該単価(6 頭コード)・当該複合単価(7 頭コード)のコード番号を入力して下さい。
 該当単価の名称、規格・仕様・単位が引き込まれます。
 ※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
 - ④ 名称(使用箇所等)・箇所数及び数量を入力して下さい。
 [←][→]ボタンで、表の右部分の名称及び数量の列切り替えを行いながら入力を行います。最大 20 列分入力可能です。(矢印ボタンの間の数字は列番号です。)
 [列削除]ボタンをクリックすると、表示中の列を削除し、前詰めにします。
 - ⑤ [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。
【計算】
 [小計]=各列の金額(単価×数量)の計
 [合計]=[小計]×箇所数
 [合計×率]=[合計]×その他率(自動設定)
 [金額]=[合計×率]の計
 ※内訳明細に引込み対象となる単価は、端数処理を施した[採用単価]になります。
 端数処理はシートプロパティで設定します。
- ※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。
 手順⑤により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。
- ⑥ [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

11 共通代価の登録

- 1) 代価を登録するシートをダブルクリックすると、代価一覧登録画面が表示されます。(ここで作成した単価が内訳明細で使用できます。)



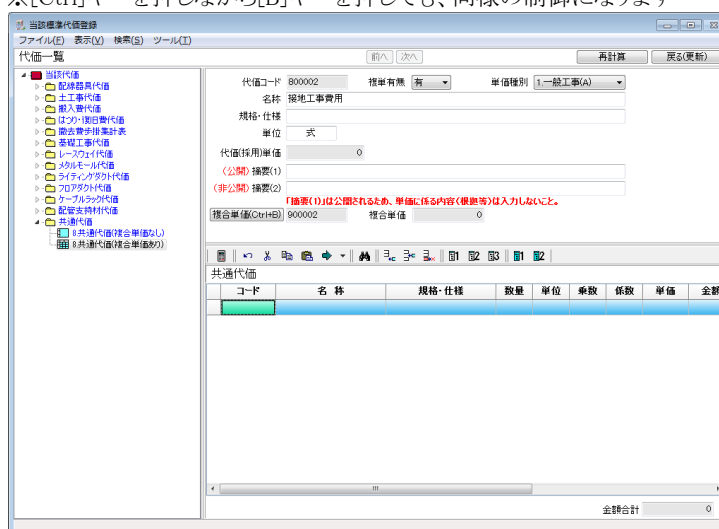
- 2) [単価コード]、[単価種別]、[名称]、[規格・仕様]、[単位]、[摘要 1]、[摘要 2]を入力します。
 ※一覧入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。
- ・**単価コード**: 8 頭を既定とし、桁数は 8 桁までを基本として重複しない番号を入力します。
 - ・**単価種別**: 共通費算出時、集計分類として単価に種別を割り付けます。
 - ・**単位**: 未入力時は単位選択画面が自動表示されます。再表示させる場合は、[F2]キーを押して下さい。任意入力も可能です。

【注意】

摘要1は初期設定では、数量公開書で印刷されるので、**単価根拠等非公開事項は入力しないようにしてください。**

摘要2(非公開事項を入力)は、数量公開書には印刷されません。

- 3) 作成した単価の代価内訳明細を入力します。
 画面上部の[代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面になります。
 ※[Ctrl]キーを押しながら[B]キーを押しても、同様の制御になります



4) 代価明細を入力して下さい。(積上明細の入力)

・**コード(引込コード)**: 配布単価コード、当該単価(6頭コード)・当該複合単価(7頭コード)を入力します。

※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。

・**数量、乗数、係数**: 数量及び各乗率等を入力します。

・**単位(任意単価入力時)**: 未入力時は単位選択画面が自動表示されます。再表示させる場合は、[F2]キーを押して下さい。任意入力も可能です。

5) [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。

※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。手順 5)により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。

代価一覧

代価コード: 800002 複合有無: [有] 単価種別: [1-一般工事(A)]

名称: 掘地工事費用

規格・仕様: []

単位: 式

代価採用単価: 45,538

(公開) 積算(1): []

(非公開) 積算(2): []

複合単価(ChrbH): 900002 複合単価: 0

共通代価

コード	名称	規格・仕様	数量	単位	乗数	係数	単価	金額
1KSA1020	掘地工事費	網眼式 500x500x15t	1,0000	箇所	1,0000	1,0000	38,115	38,115
1KSA3010	掘地埋設機工事費	金属製 測定共	1,0000	箇所	1,0000	1,0000	7,423	7,423

金額合計: 45,538

6) [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

代価一覧

代価コード: 800002 複合有無: [有] 単価種別: [1-一般工事(A)]

名称: 掘地工事費用

規格・仕様: []

単位: 式

代価採用単価: 45,538

(公開) 積算(1): []

(非公開) 積算(2): []

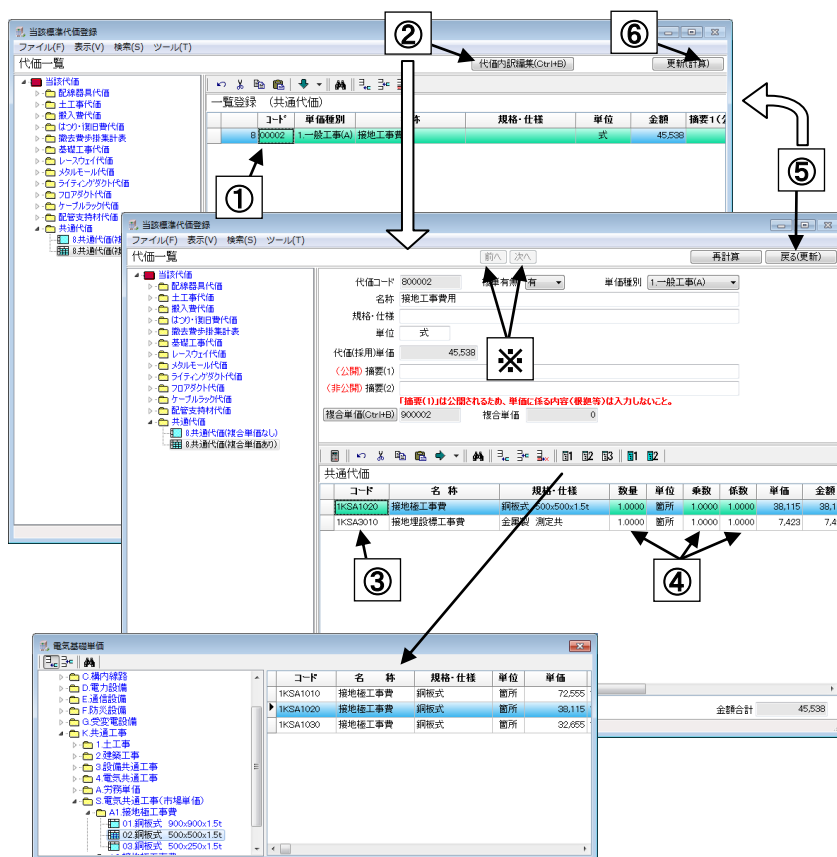
複合単価(ChrbH): 900002 複合単価: 0

共通代価

コード	名称	規格・仕様	数量	単位	乗数	係数	単価	金額
1KSA1020	掘地工事費	網眼式 500x500x15t	1,0000	箇所	1,0000	1,0000	38,115	38,115
1KSA3010	掘地埋設機工事費	金属製 測定共	1,0000	箇所	1,0000	1,0000	7,423	7,423

金額合計: 45,538

◆登録手順



手順

- ① 標準代価の単価コード・単価種別・名称・規格・仕様・単位・摘要1・摘要2を入力して下さい。
 ※コードが 10 桁を超えるとき(又はプロパティ設定値超過時)、エラーメッセージが表示されます。
 ※単価コードは重複しないようにしてください。
- ② [代価内訳編集 (Ctrl+B)] ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面が表示されます。
- ③ コード(引込単価コード)を入力して下さい。
 配布単価コード、当該単価(6 頭コード)・当該複合単価(7 頭コード)のコード番号を入力して下さい。
 該当単価の名称、規格・仕様、単位、摘要(1)(2)が引き込まれます。
 ※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
 ※共通代価は[コード]欄に計算コードを入力することにより計算することが可能です。入力方法の詳細は、<本書 P29>を参照して下さい。
- ④ 数量、乗率・係数を入力して下さい。
- ⑤ [再計算] ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)] ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。
【計算】

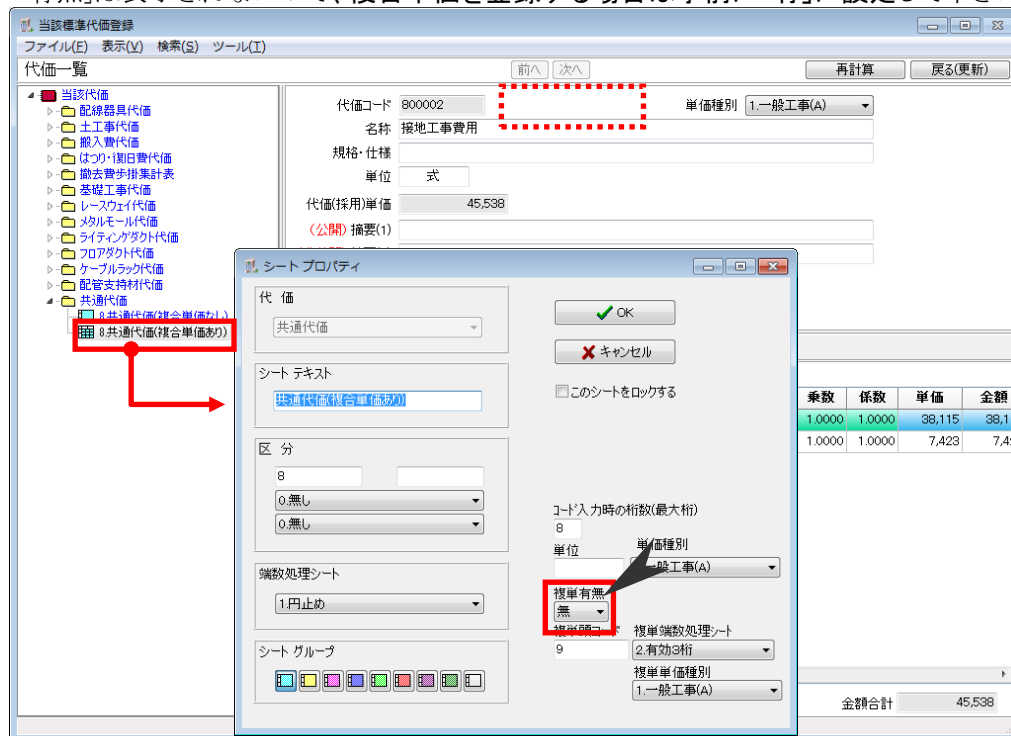
$$[\text{金額}] = [\text{数量}] \times [\text{乗数}] \times [\text{係数}] \times [\text{単価}]$$

$$[\text{代価(採用)単価}] = [\text{金額の合計}]$$
 ※内訳明細に引込み対象となる単価は、端数処理を施した[採用単価]になります。
 端数処理はシートプロパティで設定します。
- ※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。
 手順⑤により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。
- ⑥ [更新(計算)] ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

12 当該標準代価→複合単価の登録

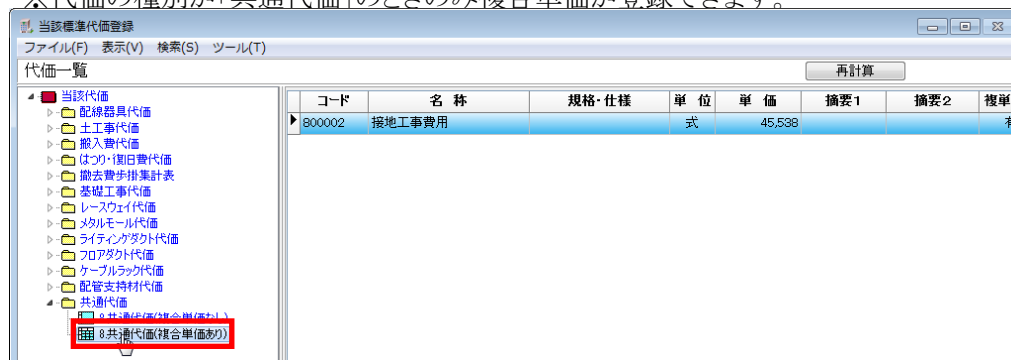
※ 代価の種別が「共通代価」のときのみ複合単価が登録できます。

- 1) シートプロパティの[複合単価]が「無」に設定されている場合は、当該単価登録画面の[複合単価]は表示されないため、複合単価を登録する場合は事前に「有」に設定して下さい。

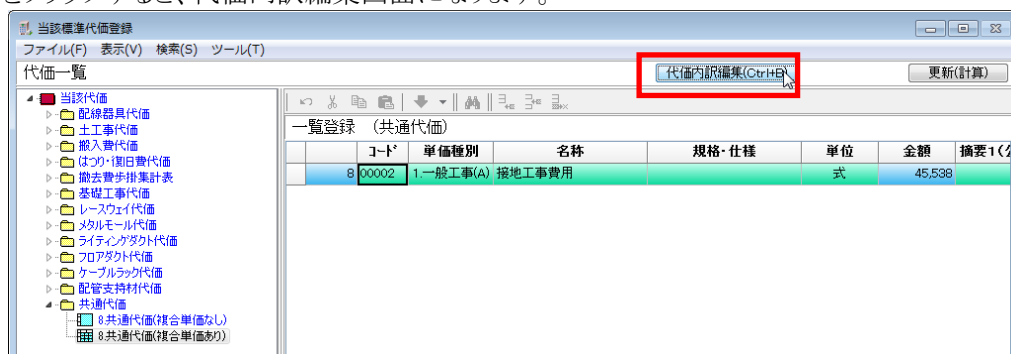


- 2) 代価の種別が「共通代価」のシートをダブルクリックして、代価一覧登録画面を開いて下さい。

※代価の種別が「共通代価」のときのみ複合単価が登録できます。



- 3) 複合単価を登録する代価コードの行を選択し、画面上部の[代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面になります。



4) [複単有無]が「有」になっていることを確認して下さい。

当該標準代価登録

ファイル(F) 表示(V) 検索(S) ツール(T)

代価一覧

代価コード 800002 複単有無 有 単価種別 1.一般工事(A)

名称 接地工事費用

規格・仕様

単位 式

代価(採用)単価 45,538

(公開) 摘要(1)

(非公開) 摘要(2)

【摘要(1)は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。】

複合単価(CtrHB) 900002 複合単価 0

再計算 戻る(更新)

共通代価

コード	名称	規格・仕様	数量	単位	乗数	係数	単価	金額
1KSA1020	接地極工事費	銅板式 500x500x1.5t	1.0000	箇所	1.0000	1.0000	38,115	38,115
1KSA3010	接地埋設標工事費	金属製 測定共	1.0000	箇所	1.0000	1.0000	7,423	7,423

金額合計 45,538

※代価内訳明細登録画面の[複単有無]が「無」になっている場合は、複合単価に関する項目は表示されません。[複単有無]を「無」から「有」に変更し、他の項目入力部に移動すると複合単価に関する項目が表示されます。

当該標準代価登録

ファイル(F) 表示(V) 検索(S) ツール(T)

代価一覧

代価コード 800002 複単有無 無 単価種別 1.一般工事(A)

名称 接地工事費用

規格・仕様

単位 式

代価(採用)単価 45,538

(公開) 摘要(1)

(非公開) 摘要(2)

【摘要(1)は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。】

複合単価(CtrHB) 900002 複合単価 0

再計算 戻る(更新)

共通代価

コード	名称	規格・仕様	数量	単位	乗数	係数	単価	金額
1KSA1020	接地極工事費	銅板式 500x500x1.5t	1.0000	箇所	1.0000	1.0000	38,115	38,115



当該標準代価登録

ファイル(F) 表示(V) 検索(S) ツール(T)

代価一覧

代価コード 800002 複単有無 有 単価種別 1.一般工事(A)

名称 接地工事費用

規格・仕様

単位 式

代価(採用)単価 45,538

(公開) 摘要(1)

(非公開) 摘要(2)

【摘要(1)は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。】

複合単価(CtrHB) 900002 複合単価 0

再計算 戻る(更新)

共通代価

コード	名称	規格・仕様	数量	単位	乗数	係数	単価	金額
1KSA1020	接地極工事費	銅板式 500x500x1.5t	1.0000	箇所	1.0000	1.0000	38,115	38,115

5) [複合単価(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、複単カード画面が表示されます。

コード	名称	規格・仕様	数量	単位	乗数	係数	単価	金額
1KSA1020	接地極工事費	銅板式 500x500x1.5t	1.0000	箇所	1.0000	1.0000	38,115	38,115
1KSA3010	接地埋設標工事費	金属製 測定共	1.0000	箇所	1.0000	1.0000	7,423	7,423

金額合計 45,538

6) 複単カード画面の各項目を設定して下さい。

[歩掛コード]ボタンをクリックすると、歩掛選択画面が表示されます。適用したい歩掛コードを選択(右下の表の行をダブルクリック)すると、歩掛が設定されます。また、配管の塗装費を設定する場合は[塗装費コード]ボタンをクリックすると補足単価(塗装費単価)選択画面が表示されます。適用したい塗装費コードを選択(右の表の行をダブルクリック)すると、塗装費が設定されます。

コード	名称	規格・仕様	単位	単価
351	雷保護設備			
351110	接地埋設標 (測定+埋設標)			
351111	試験用接続端子箱(1, 2個用)			
351112	試験用接続端子箱(3, 4個用)			
351113	試験用接続端子箱(5, 6個用)			

コード	名称	規格・仕様	単位	単価
3K407000	電気共通工事 塗	鉄部1㎡	m2	953
3K407040	電気共通工事 塗	104	m	722
3K407160	電気共通工事 塗	16	m	142
3K407190	電気共通工事 塗	19	m	122
3K407220	電気共通工事 塗	22	m	183
3K407250	電気共通工事 塗	25	m	163
3K407280	電気共通工事 塗	28	m	225
3K407310	電気共通工事 塗	31	m	204

- 7) 全ての項目が正しく設定されていることが確認できましたら、[再計算]ボタンをクリックして下さい。

複単カード

複合単価コード 900002 端数処理シート 2有効3桁
 複合単価 0 単価種別 1-一般工事(A)

歩掛コード	コード	名称	規格・仕様	単位	計算式
	351110	雷保護設備	接地埋設標 (測定+埋設標)	枚	01電気(配線)

コード	名称	単位	労務乗率	本数	乗率
1KAAA000	労務費(電工)	人	1.00	1,000	1,000
1KAG000	労務費(溶接工)	人			

歩掛(R1)	歩掛(R2)	歩掛(R3)	補給率	雑材料率	その他率
0.5230	0.0000	0.0000	1.0100	0.0300	0.1300

塗装費コード

- 8) [戻る]ボタンをクリックすると、複単カード画面が消え、当該単価登録画面に計算された複合単価が表示されます。

複単カード

複合単価コード 900002 端数処理シート 2有効3桁
 複合単価 57,300 単価種別 1-一般工事(A)



当該標準代価登録

代価一覧

代価コード 800002 複単有無 有 単価種別 1-一般工事(A)

名称 接地工事費用

規格・仕様

単位 式

代価(採用)単価 45,538

(公開) 摘要(1)

(非公開) 摘要(2)

複合単価(Ctrl+H) 900002 複合単価 57,300

「摘要(1)」は公開されるため、単価に係る内容(警告)は入力しないこと。

共通代価	コード	名称	規格・仕様	数量	単位	乗数	係数	単価	金額
	1KSA1020	接地極工事費	銅板式 500x500x1.5t	1,000	箇所	1,000	1,000	38,115	38,115
	1KSA3010	接地埋設標工事費	金属製 測定共	1,000	箇所	1,000	1,000	7,423	7,423

金額合計 45,538

9 共通費の入力

1 共通費の入力画面の表示

※共通費（共通仮設費、現場管理費、一般管理費等）算出の為の設定を行います。
 ※設計事務所版では、制限により、共通費の計算は行われません。

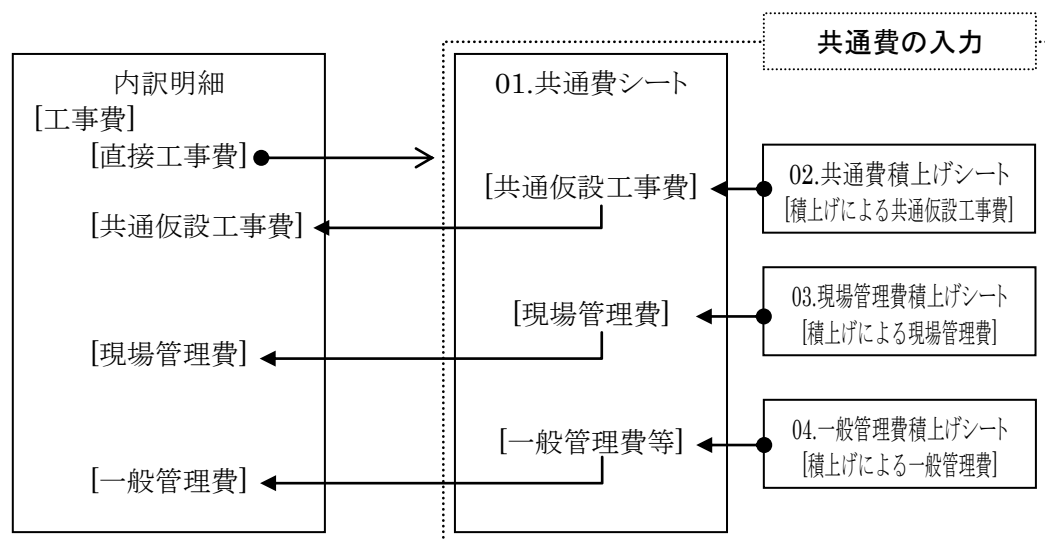
- 1) メインメニュー[6.内訳書の作成]→[1.共通費の入力]をダブルクリックすると、共通費入力画面が表示されます。

A	工事費	金額(共飯/積上)	金額(現場管理費)	金額(一般管理費等)	種別
00	共通費(共通仮設)工事費	0	0	0	
01	共通費	0	0	0	06H24年度 全体工事共通費
02	共通費(積上f)	0	0	0	07H24年度 共通仮設費積上げ
03	現場管理費	0	0	0	08H24年度 現場管理費積上げ
04	一般管理費	0	0	0	09H24年度 一般管理費積上げ

※ ここで計算された結果は、内訳書に即時には反映されません。
 内訳書入力画面にて再計算を行うことにより、計算結果が反映されます。

2 既定の設定(平成 24 年度以降積算基準に基づいた設定)

- ◇ 新規作成時、次のシート(計算及びデータを入力する箱)が、予め登録されています。
- ・[01. 共通費]: 直接工事費及び積上げによる各経費を元に、共通仮設工事費、現場管理費、一般管理費を算出するシート。
 - ※ このシートで算出された共通仮設工事費、現場管理費、一般管理費が、内訳書に反映されます。
 - ・[02. 共通仮設費(積上げ)]: [01. 共通費]で算出した共通仮設工事費に積上げの合計額を加算します。
 - ・[03. 現場管理費]: [01. 共通費]で算出した現場管理費に積上げの合計額を加算します。
 - ・[04. 一般管理費]: [01. 共通費]で算出した一般管理費等に積上げの合計額を加算します。



◇ 各シートのプロパティ設定

[01. 共通費] シートのプロパティ

- ※率フラグ : 現在、関係ありません。
- ※計算フラグ: 現在、関係ありません。
- ※端数処理については、<本書 P30>を参照して下さい。
- ※集計項目名(工事名): 画面表示及び印刷に反映されます。
- ※按分グループ: 「1」に設定します。

[02. 共通仮設費(積上げ)] シートのプロパティ

- ※率フラグ : 現在、関係ありません。
- ※計算フラグ: 現在、関係ありません。
- ※端数処理については、<本書 P30>を参照して下さい。
- ※集計項目名(工事名): 画面表示及び印刷に反映されます。
- ※按分グループ: 「2」に設定します。

[03. 現場仮設費] シートのプロパティ

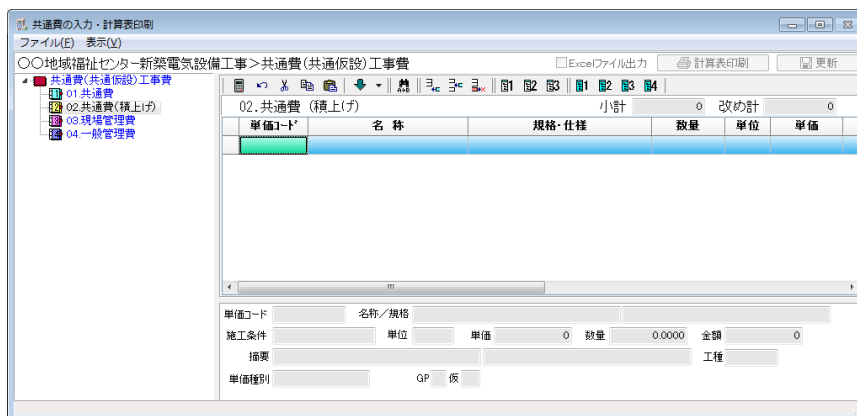
- ※率フラグ : 現在、関係ありません。
- ※計算フラグ: 現在、関係ありません。
- ※端数処理については、<本書 P30>を参照してください。
- ※集計項目名(工事名): 画面表示及び印刷に反映されます。
- ※按分グループ: 「3」に設定します。

[04. 一般仮設費] シートのプロパティ

- ※率フラグ : 現在、関係ありません。
- ※計算フラグ: 現在、関係ありません。
- ※端数処理については、<本書 P30>を参照してください。
- ※集計項目名(工事名): 画面表示及び印刷に反映されます。
- ※按分グループ: 「4」に設定します。

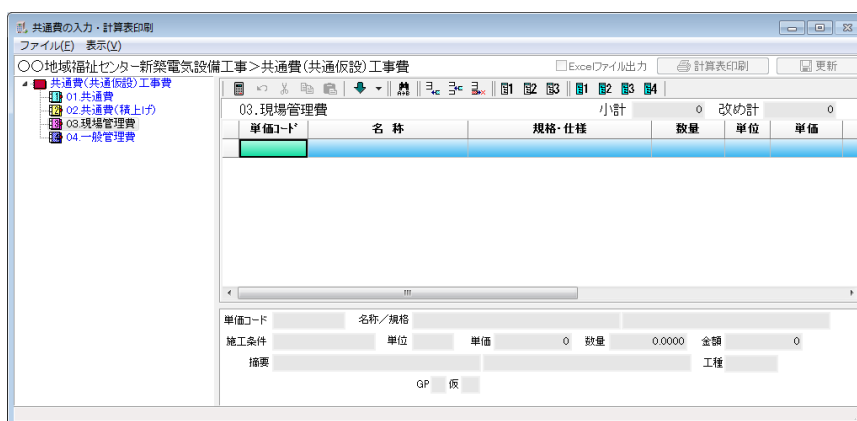
3 共通仮設工事費積上げによる明細の入力

- 1) [02. 共通仮設費 (積上げ)]のシートをダブルクリックすると、共通仮設費積上げ明細編集表示となります。
- 2) 積上げ明細を入力し、[更新]ボタンをクリックするとデータが保存されます。
 ※明細の入力方法の詳細については、<本書 P129 「内訳明細の編集」>を参照して下さい。
 ※明細入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。



4 現場・一般管理費積上げによる明細の入力

- 1) [03. 現場管理費] 又は [04. 一般管理費]のシートをダブルクリックすると、積上げ明細編集表示となります。
- 2) 積上げ明細を入力し、[更新]ボタンをクリックするとデータが保存されます。
 ※明細の入力方法の詳細については、<本書 P129 「内訳明細の編集」>を参照して下さい。
 ※明細入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。
 ※現場・一般管理費積上げ明細では単価種別の設定は行いません。
 ※配布単価または予め当該単価(6 頭コード)により明細を構成することを原則としますが、Tコードの入力により、任意に名称、規格、単位、単価の設定を行うこともできます。(ご担当者様協議のうえ処理方法をご検討下さい。)



※ 神戸市版環境では、共通仮設工事費積上げによる明細、現場・一般管理費積上げによる明細入力時の随時計算の際、各明細行の単価・金額が0円以下または100万円以上となる場合はセルの色が黄色になり、太文字になります。

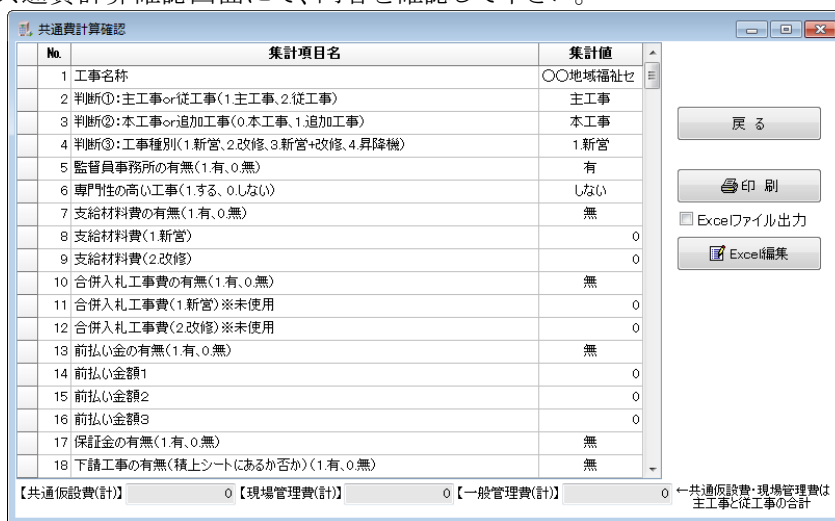
数量	単位	単価	金額
1.0000	箇所	0	0
-24.0000	式	340	-8,160
24.0000	式	580	13,920
1.0000	式	85,700	85,700
1.0000	式	12,900	12,900
100.0000	式	10,200	1,020,000
24.0000	式	1,240	29,760
24.0000	式	330	7,920
1.0000	人	12,000	12,000
1.0000	式	1,000,000	1,000,000

5 共通費計算の確認

- 1) 事前に、内訳書入力画面にて再計算を行って下さい。
- 2) [01.共通費]のシートをダブルクリックすると、共通費計算確認画面が表示されます。

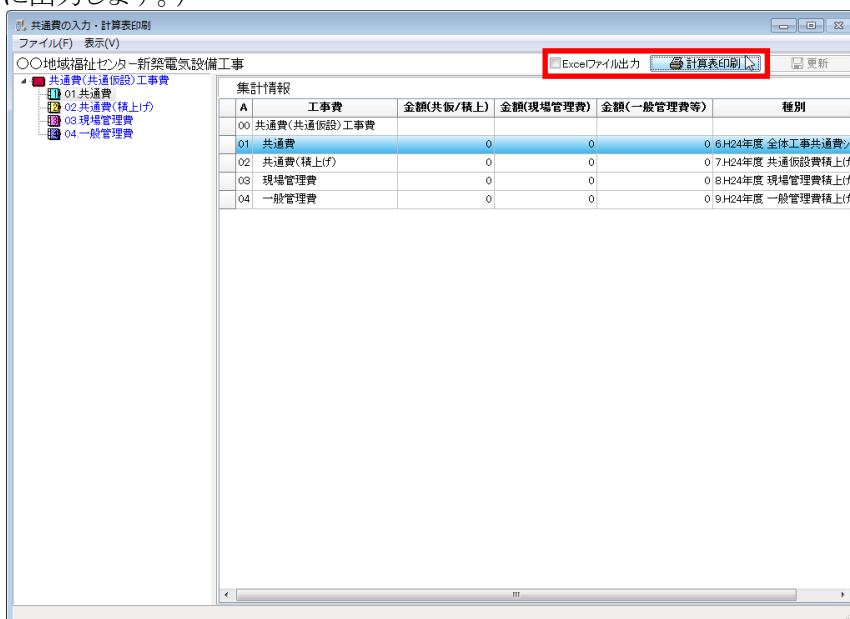


- 3) 共通費計算確認画面にて、内容を確認して下さい。



- [印刷]ボタンをクリックすると、共通費計算シートを印刷します。
([Excel ファイル出力]にチェックを入れると、共通費計算シートを指定した保存先へ Excel ファイルに出力します。)
- [Excel 編集]ボタンをクリックすると、共通費計算シートを Excel 画面にて表示します。

- 4) 画面右上の[計算表印刷]ボタンをクリックすると、共通費計算シートを印刷します。
([Excel ファイル出力]にチェックを入れると、共通費計算シートを指定した保存先へ Excel ファイルに出力します。)

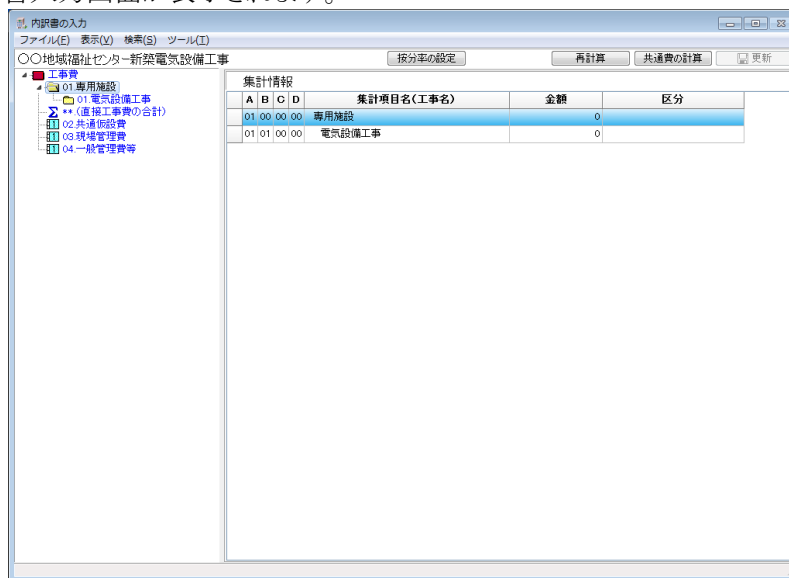


10

内訳書の入力・再計算

1 内訳書の入力・再計算画面の表示

- 1) メインメニュー[6.内訳書の作成]→[3.内訳書の入力・再計算]をダブルクリックすると、内訳書入力画面が表示されます。



2 フォルダー・シートの解説(平成24年度以降積算基準に基づいた設定)

- ◇ 新規作成時は、上図の画面イメージのように項目のフォルダーやシートが登録されていないので、各自で任意のフォルダーやシートを登録するか、本システムのインストールフォルダー(ADD21V2 フォルダー)内の「_内訳書パターン」フォルダー内に格納「電気パターン 1.zip」または「電気パターン 2.zip」からパターンコピーを行って登録します。なお、パターンコピーの手順は、<本書 P32>を参照して下さい。

ルートフォルダー: 工事項目 (工事全体額が集計されます)
階層の制限・端数処理の設定及びフォルダー・シートの新規作成時初期値の設定を行います。

フォルダー: 種目 (直下階層の集計を行う項目)・以下同様

シート: 科目・中科目 (直下が明細となる項目)・以下同様

特殊シート

従工事シート: 従工事項目 (従工事の直接工事費・共通仮設費・現場管理費一式を入力)
※工事概要の設定で、【工事】が[2.従工事]の時は既定で存在しません

特殊シート

直接工事費の合計(小計)シート: 直接工事費の合計(小計)が集計されます。

特殊シート

按分グループシート: 按分項目 (共通費・共用部の計算結果が反映されます)
※工事概要の設定で、【工事】が[2.従工事]の時は、「一般管理費等」按分グループシートは既定で存在しません。

※特殊シートは、画面右側一覧表示の[区分]欄に属性が表示されます。(属性の表示が無いものは、通常のフォルダー又は、シートです。) <下面面の矢指参照>

集計情報				集計項目名(工事名)	金額	区分
A	B	C	D			
00	00	00	00	工事費	0	
01	00	00	00	専用施設	0	
02	00	00	00	建築工事費	0	従工事 (1新宮)
03	00	00	00	機械設備工事費	0	従工事 (1新宮)
**	**	**	**	(直接工事費の合計)	0	小計
04	00	00	00	共通仮設費	0	共通仮設費按分 (按分GP1)
05	00	00	00	現場管理費	0	現場管理費按分 (按分GP1)
06	00	00	00	一般管理費等	0	一般管理費等按分 (按分GP1)

3 内訳集計項目(工事項目)の編集

1) 既定の設定されている項目を整理(当該工事の設計に変更)して下さい。

- ・集計項目の階層変更、集計項目の追加・移動・削除・・・ツリービューの操作により行います。
- ※フォルダー、シートの追加・移動・削除は、〈本書 P20 「ツリービューの操作について」〉を参照して下さい
- ※電気積算の内訳書ファイルの初期状態では、科目や中科目となるフォルダーやシートが登録されていないので、パターンコピー機能を利用することにより、登録作業を省力化できます(〈本書 P32～参照〉)。
- ・表示(印刷)名称の変更・・・該当するフォルダー、シートのプロパティを変更により行います。

◇ 各プロパティの設定

◎ ルートフォルダーのプロパティ

- ※集計項目名(工事名): 現在、特に影響しません。(「工事費」と設定して下さい)
- ※階層の最大値: 階層数を設定されている階層に制限します(例として、4に設定した場合は、4階層を超えるフォルダー・シート階層が作成できなくなります)。
- ※端数処理については、〈本書 P30〉を参照して下さい。

※[フォルダープロパティ初期値]・[シートプロパティ初期値]は、それぞれフォルダー及びシートを新規作成時の初期値を設定します。

◎ フォルダーのプロパティ

- ※集計項目名(工事名): 画面表示及び印刷に反映されます。
- ※フォルダーグループ: 現在、関係ありません。(メモ情報として使用ください)
- ※[このフォルダー下を印刷しない]にチェックを入れると、印刷時にこのフォルダー内の下層にあるフォルダーやシート情報は印刷されません。

◎ シートのプロパティ

- ※集計項目名(工事名): 画面表示及び印刷に反映されます。
- ※工事グループ: 現在、関係ありません。(メモ情報として使用ください)
- ※このシートに数量を付加する: 建築積算では使用しません。設備積算で同じ内容の工事を複数行う場合、科目・中科目の明細合計(端数処理後)に数量を乗じたものが科目・中科目の工事金額となります。(〈本書 P137 参照〉)

- ◎ 按分グループシートのプロパティ([一般管理費等]シートが不要な場合は、シートを削除して下さい。)

- ※**工事区分**: 按分グループシートの新規作成時に選択された区分を表示しています。(新規作成時以外には変更できません。変更が必要な場合は、按分グループシートの新規作成を行い、不要な按分グループシートは削除して下さい。)
- ※**按分率**: 按分率が表示されます。按分率の設定については、<本書 P133>を参照して下さい。
- ※**集計項目名(工事名)**: 画面表示及び印刷に反映されます。
- ※**按分グループ**: 共通費の入力で作成した [01. 共通費] シートに割り付けた按分番号「1」を設定して下さい。
- ※**工事グループ**: 現在、関係ありません。(メモ情報として使用下さい)

※ 按分グループシートについて

- ・按分グループシートは、内訳明細とは別に作成された合計金額又は、算出金額を、按分グループNo.により、内訳明細の項目内に引き込み、設定された工事内の直接工事費比率により按分し、工事額に計上させます。
※按分率の設定については、<本書 P133>を参照して下さい。
- ・按分グループシートは、5種類があり、按分対象となるデータは次の通りです。

1. 共用部工事費 …… [7.内訳書の作成]→[3.共用部工事の入力] で作成したシート
2. 共通仮設工事費 … [7.内訳書の作成]→[1.共通費の入力] で作成した共通費シート
※平成 11 年度基準は、[H11 年共通仮設積上げシート]を指定して下さい。
3. 現場管理費 …… [7.内訳書の作成]→[1.共通費の入力] で作成した共通費シート
※平成 11 年度基準は使用しません。
4. 一般管理費 …… [7.内訳書の作成]→[1.共通費の入力] で作成した共通費シート
※平成 11 年度基準は使用しません。

- ◎ 小計シートのプロパティ([直接工事費の合計]シート等に使用します。不要な場合は、シートを削除して下さい。)

- ※**項目名**: 画面表示及び印刷に反映されません。

※ 小計シートについて

- 小計シートまでの小計金額を計上します。

◆任意により追加する特殊シート

◎ 従工事シートのプロパティ

※**工事区分**:従工事シートの新規作成時に選択された区分を表示しています。(新規作成時以外には変更できません。変更が必要な場合は、従工事シートの新規作成を行い、不要な従工事シートは削除して下さい。)

※**集計項目名(工事名)**:画面表示及び印刷に反映されます。

※**工事グループ**:現在、関係ありません。(メモ情報として使用ください)

※**工事種**:設備積算では使用しません。工事概要の【工事種別】が「3.新営+改修」の時、該当する工種を選択します。「3.新営+改修」以外の時は自動設定により使用できません。

※ 従工事シートについて(平成 22 年度積算基準以降で使用)

建築工事、電気設備工事、機械設備工事、昇降機設備工事のうち複数の工事を、同一工事で一括発注する場合に、「主工事」となる内訳書で使用します。

【参考】

平成 14 年度積算基準では、「下請工事」シートを作成し、下請工事の直接工事金額を「下請工事」シートの明細に T 頭コード(任意単価)で入力していました。(平成 22 年度積算基準以降は使用しません。)

◎ 率計算に含めない費用シートのプロパティ

※**区分**:「1. 率計算に含めない費用」のみ選択可能です。

※**金額**:率計算に含めない費用の金額を入力して下さい。

※**項目名(工事名)**:画面表示及び印刷に反映されます。

※**グループ**:現在、関係ありません。「9」に設定して下さい

※率計算に含めない費用について

水道分担金など、各種負担金の金額を入力する際に使用します。(入力した金額は共通費計算には含めません。)

◎ 記事シートのプロパティ

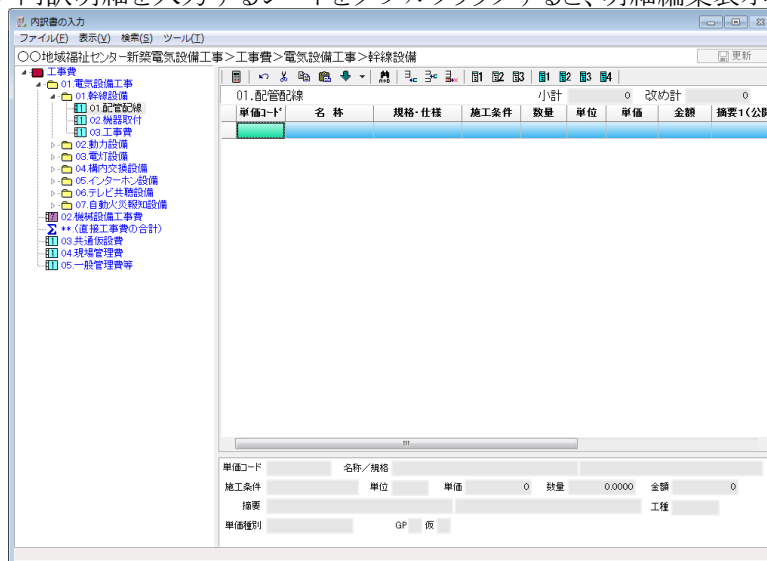
※**項目名**:画面表示及び印刷に反映されず。

※ 記事シートについて

内訳書の項目(科目・中科目)の間に記事行(注釈やメモなど)を挿入する際に使用します。

4 内訳明細の編集

1) 内訳明細を入力するシートをダブルクリックすると、明細編集表示となります。



2) [単価コード]、[数量]を入力して下さい。



[単価コード]は、登録済みの単価コード及び計算コード(「グループ合計」など)を入力して下さい。計算コードについては、<本書 P29>を参照して下さい。

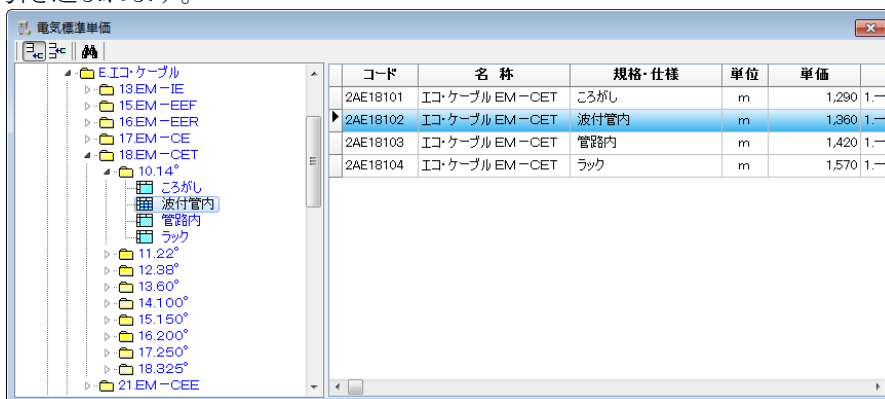
※明細入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。

※単価コードを入力しても名称・金額などが引き込まれない場合...

- ・[2.内訳書の仕様設定]→[1.使用単価ファイルの設定]が、正しく設定されていますか？
- ・配布単価の改定により、コード番号が変更又は、削除されていませんか？
- ・コード番号を間違えずに入力しましたか？

※単価コード選択画面より単価を引き込む。

1. ツールボタンの目的の単価ボタンをクリックすると、単価ウインドウが表示されます。(各単価ボタンに割り当てられている単価の種類については、ツールボタンの上にマウスカーソルの矢印をしばらく停止させた時に表示されるヒントテキストにより確認できます。)
2. 作業状況に応じて、行の追加  または行の挿入  ボタンを選択して下さい。
3. 単価の階層を選択して、引き込む単価の行をダブルクリックすると、内訳明細に単価が引き込まれます。



※ 神戸市版環境では、内訳明細入力時の随時計算の際、単価・金額が0円以下または100万円以上となる場合はセルの色が黄色になり、太文字になります(従工事シートを除く)。

数量	単位	単価	金額
1.0000	箇所	0	0
-24.0000	式	340	-8,160
24.0000	式	580	13,920
1.0000	式	85,700	85,700
1.0000	式	12,900	12,900
100.0000	式	10,200	1,020,000
24.0000	式	1,240	29,760
24.0000	式	330	7,920
1.0000	人	12,000	12,000
1.0000	式	1,000,000	1,000,000

3) 必要に応じて[GP] (計算コードのグループ番号)を入力します。

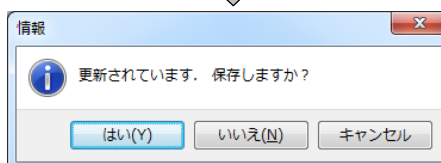
数量	単位	単価	金額	摘要1(公開)	摘要2(非公開)	工種	単価種別	専	GP	仮
21,000	m	430	9,030			1新営	1一般工事	0	1	

- ・工種：設備積算では、工事種別により1.新営・2.改修・3.昇降機が自動設定されます。
- ・単価種別：共通費算出時、集計分類として単価に種別を割り付けます。設備積算では単価データ自身に情報を持たせているため、ここでは変更できません。
※後述の「仮単価」の注釈の内容に注意して下さい。
- ・GP：率による計算を行うときに、計算対象となるグループを設定して下さい。
※[単価コード]欄に計算コードを入力することにより、率による計算することが可能です。入力方法の詳細は、〈本書 P29〉を参照して下さい。
- ・専：設備積算では使用不可。(現状、住宅建設課の建築積算時、公共住宅建築工事積算基準により共通費を計算する場合のみに設定します。)
- ・仮：仮単価(計算に含めない単価)扱いとなる行に、自動で「*」が表示されます。
※仮単価の行は共通費計算の単価種別毎の集計金額に対する各種率計算に反映されないの注意して下さい。

4) 繰り返し処理を行い、明細を入力して下さい。

単価コード	名称	規格・仕様	施工条件	数量	単位	単価	金額	摘要1(公開)
2AU13B13	エコケーブル(市場)	管路内	3管路内	21,000	m	430	9,030	
2AE18102	エコケーブル EM-	波付管内	2波付管内	44,000	m	1,360	59,840	
2AE18103	エコケーブル EM-	管路内	3管路内	5,000	m	1,420	7,100	
2AE18122	エコケーブル EM-	波付管内	2波付管内	44,000	m	2,570	113,080	
2AE18123	エコケーブル EM-	管路内	3管路内	3,000	m	2,690	8,070	
2BS13161	電線管(市場単価)	1んべい	1んべい	2,000	m	724	1,448	
2BS13163	電線管(市場単価)	露出塗無	3露出塗無	16,000	m	829	13,264	
2BS11311	電線管(市場単価)	1んべい	1んべい	2,000	m	1,380	2,760	
2BS11511	電線管(市場単価)	1んべい	1んべい	2,000	m	2,110	4,220	
2B114283	電線管 PE 28	露出塗無	3露出塗無	3,000	m	3,030	9,090	

- 5) 明細の入力が完了後、[更新]ボタンをクリックすると編集内容が保存されます。
なお、ツリービューの任意の項目をマウスでクリックした場合は、更新確認メッセージが表示されます。



- ・[はい(Y)] をクリックすると編集内容が保存されます。
- ・[いいえ(N)] をクリックすると、編集結果を破棄します。
- ・[キャンセル] をクリックすると、編集作業中の状態を継続します。

- 6) 積上げ計算され、集計情報表示に戻ります。(右側が集計項目画面)
 ※メインメニューの[システム(S)]→[環境設定(K)]→[基本設定(B)]<本書 P38 参照>により、
 【内訳書の計算方法】が「手動」に設定されている場合は都度積み上げ計算を行いません。
- 7) 繰り返し、次の工事の明細を入力します。(1)～6) を繰り返す。)
- 8) 従工事明細は、下記のように入力します。

単価コード	名称	規格・仕様	施工条件	数量	単位	単価	金額	摘要1(公開)		
02. 機械設備工事費							小計	2,148,000	改め計	2,148,000
@PM	機械設備工事直接		0条件なし	1.0000	式	2,148,000	2,148,000			
@KM	機械設備工事共通	(小計には含まない)	0条件なし	1.0000	式	86,000	86,000			
@JM	機械設備工事現場	(小計には含まない)	0条件なし	1.0000	式	470,000	470,000			

- ・コード: 従工事シートのプロパティ設定(工事区分)により、自動設定されます。
 - ・名称: 従工事シートのプロパティ設定(集計項目名(工事名))により、自動設定されます。
 ※但し、設定内容により想定外の文字列が設定される場合がありますので、
 その際は手作業にて修正して下さい。
 - ・単価: 従工事の[直接工事費]・[共通仮設費]・[現場管理費]をそれぞれ入力して下さい。
- 9) 明細の入力後、[再計算]または[共通費の計算]ボタンをクリックして再計算を行って下さい。

A	B	C	D	集計項目名(工事名)	金額	区分
01	03	00	00	電灯設備	2,297,500	
01	03	01	00	配管配線	543,000	
01	03	02	00	機器取付	1,754,500	
01	03	03	00	工事費	0	

- ・再計算: 配布単価・当該単価の再引き込み、共通費の計算を行います。
 - ・共通費の計算: 共通費を算出し、按分シートの設定(配置)に準じて計上します。
 ※再計算には、共通費の計算処理も含まれています。
- ※メインメニューの[システム(S)]→[環境設定(K)]→[基本設定(B)]<本書 P38 参照>により、【内訳書の計算方法】が「手動」に設定されている場合は、積み上げ計算が出来ていないので、[共通費の計算]ではなく[再計算]を行って下さい。

※ 印刷及び内訳書の確定(設計変更)前には、必ず一括再計算<本書 P138 参照>を実行して下さい。

5 内訳明細 直接工事費の合計行の追加

内訳明細の乙表を以下の様式で出力したい場合は、以下の手順で行って下さい。
 ([直接工事費]項目と[共通仮設費]項目の間に、(直接工事費の合計)行を出力。)

※平成21年1月1日以降の工事予定価格公表工事から(直接工事費の合計)行の出力が必要となり、それ以前に作成した「(直接工事費の合計)」行が無い内訳書は、手作業にて追加が必要です。

設備工事内訳明細 平成 年 月 日 頁

【〇〇地域福祉センター新築電気設備工事】 乙表

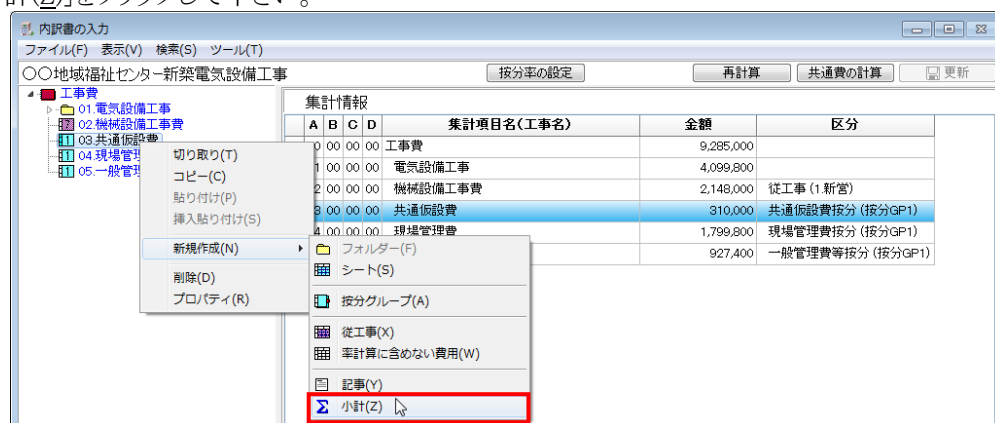
施設種別	工種	名 称	数量	単位	単 価	金額(円)	単価種別	GP	備 考
A01	電気設備工事		1.0000	式		4,099,800			
A02	機械設備工事費		1.0000	式		2,148,000			
		(直接工事費の合計)				(6,247,800)			← (直接工事費の合計)行
A03	共通仮設費		1.0000	式		310,000			
A04	現場管理費		1.0000	式		1,799,800			
A05	一般管理費等		1.0000	式		927,400			
		合 計				9,285,000			工事価格
		消費税相当額	1.0000	式		464,250			工事価格×消費税率
		工費合計	1.0000	式		9,749,250			

神戸市

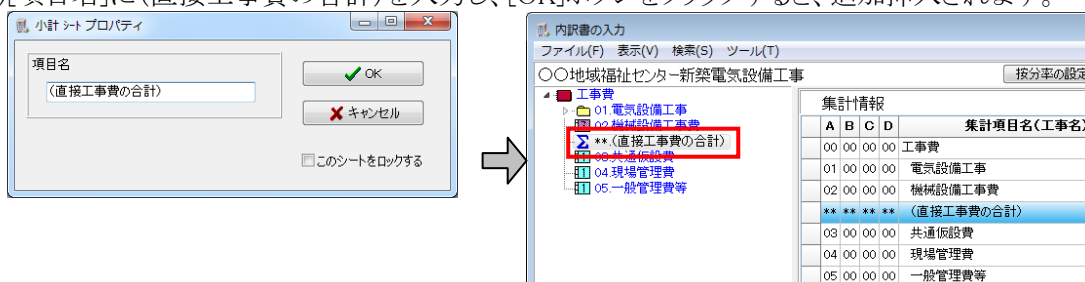
(直接工事費の合計)行は、内訳書の入力画面で「小計」シートを設定することで出力されます。

◆手順

- 1) メインメニュー[6.内訳書の作成]→[4.内訳書の入力・再計算]をダブルクリックし、内訳書入力画面を表示して下さい。
- 2) 画面左のツリービューの項目で、(直接工事費の合計)行を追加挿入したい場所にあるシート(通常は「共通仮設費」シート)が選択されている状態にし、右クリック→[新規作成(N)]→[小計(Z)]をクリックして下さい。



- 3) [項目名]に(直接工事費の合計)を入力し、[OK]ボタンをクリックすると、追加挿入されます。



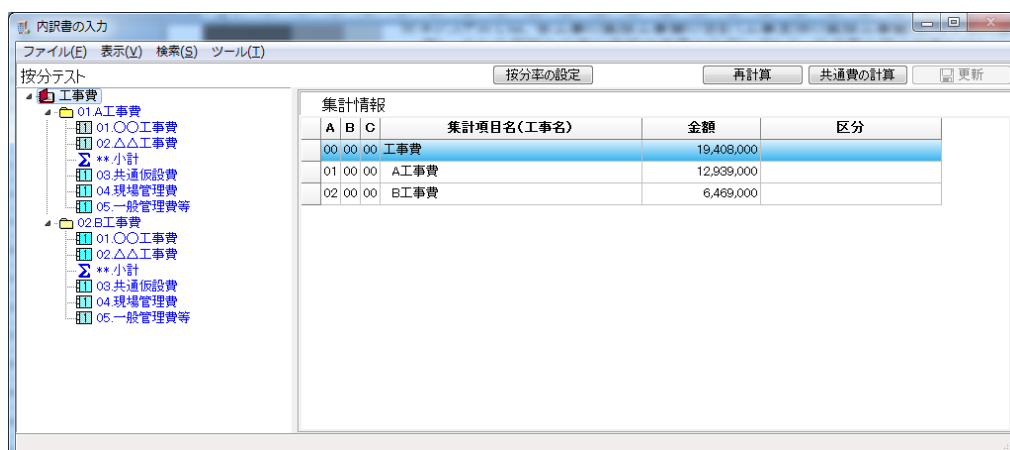
6 共通費の按分について

※本システムでは、各工事の直接工事費の合計(工事全体の直接工事費)に対する共通費を計算し、それを個別の工事の直接工事費の比率に応じて、共通費の按分計算を行うことが可能です。

◎本機能の手順は、内訳明細の入力まで一連の作業が完了した後、内訳書の一括再計算を行い、按分したい工事毎の直接工事費の合計金額を確定させた状態で行って下さい。

1. 共通費の按分を行う場合の内訳書入力例

下図のように、工事毎に「共通仮設費」・「現場管理費」・「一般管理費等」シートを作成し、再計算を行って下さい。

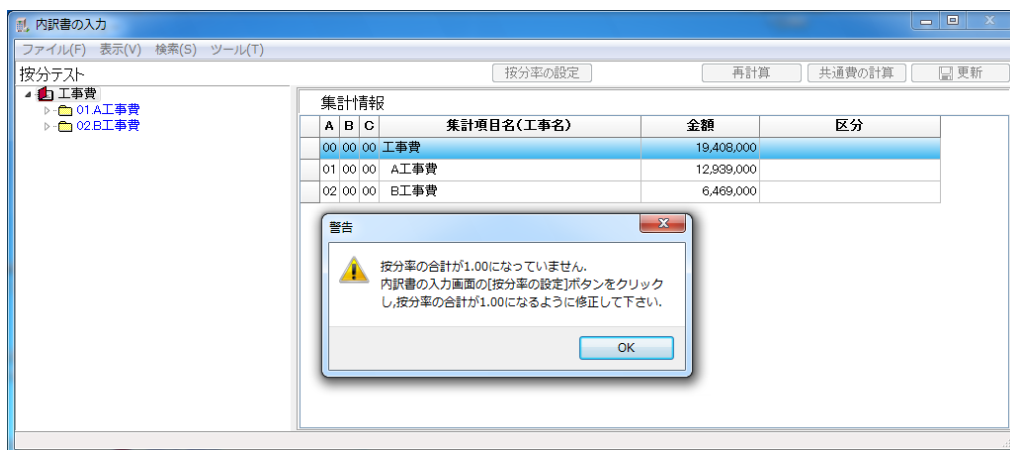


2. 按分率の確認・設定方法

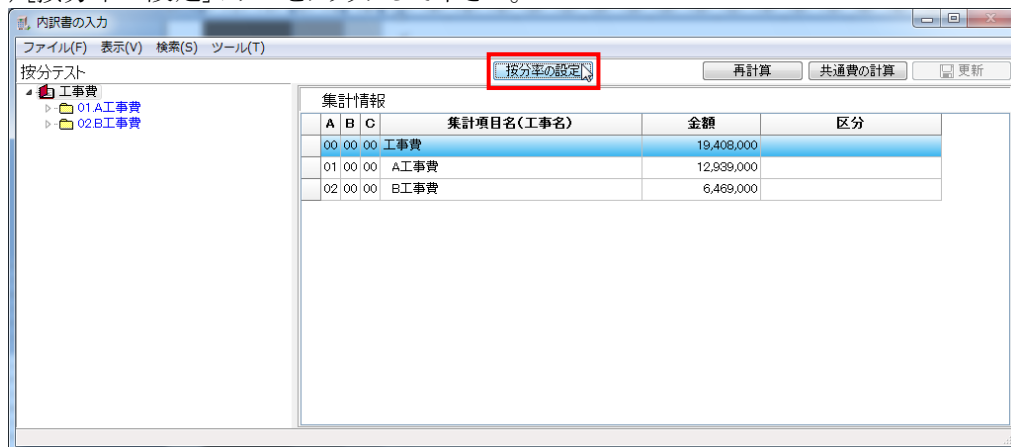
通常の設定では、個別の工事の工事費(直工、純工、工事原価)により按分率を自動計算(小数第3位切り捨て)し、共通費金額の按分処理を行います。

なお、下記の場合においては、次の手順により按分率を確認し、任意入力を行います。

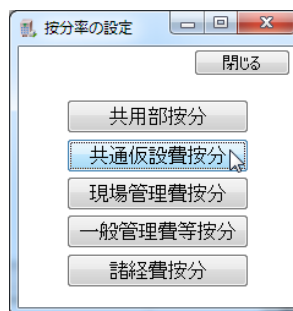
- ・按分率を任意入力したい場合。
- ・按分率の自動計算時の端数処理の結果、按分率の合計が1.00にならない場合。
(※以下の警告メッセージが表示されるので、按分率を任意入力する必要がある場合。)



1) [按分率の設定]ボタンをクリックして下さい。



2) 按分率の設定画面にて、目的のボタンをクリックして下さい。



3) 按分計算画面にて直工金額および按分率を確認して下さい。

按分率を任意入力する場合は、[任意]の列にチェックを入れ、[按分率]の列に任意の按分率を入力して下さい。

※任意入力する場合、[任意]の全ての行にチェックを入れて下さい。

※按分率の合計が必ず 1.00 になるようにして下さい。

集計項目名(工事名)	直工金額	按分金額	按分率	任意
A工事費	10,000,000	362,000	0.66	<input type="checkbox"/>
B工事費	5,000,000	181,000	0.33	<input type="checkbox"/>



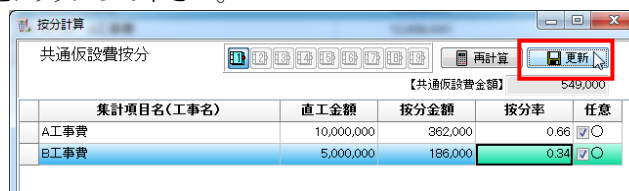
集計項目名(工事名)	直工金額	按分金額	按分率	任意
A工事費	10,000,000	362,000	0.66	<input checked="" type="checkbox"/>
B工事費	5,000,000	181,000	0.34	<input checked="" type="checkbox"/>

全行チェックを入れること

4) [再計算]ボタンをクリックして下さい(更新ボタンが有効になります)。

集計項目名(工事名)	直工金額	按分金額	按分率	任意
A工事費	10,000,000	362,000	0.66	<input checked="" type="checkbox"/>
B工事費	5,000,000	181,000	0.34	<input checked="" type="checkbox"/>

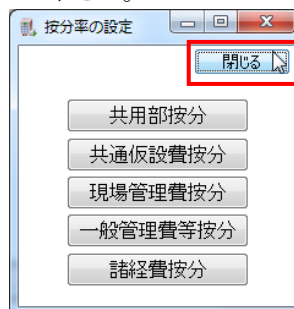
5) [更新]ボタンをクリックして下さい。



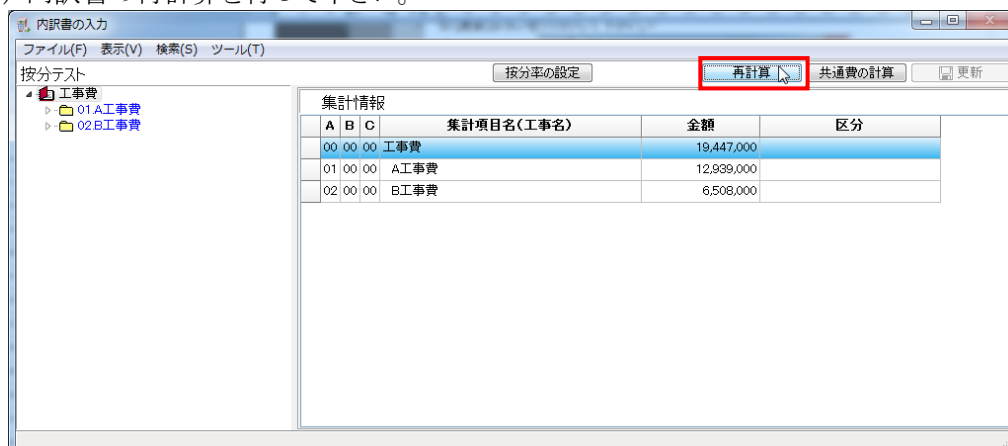
6) 按分計算画面の右上の [閉じる] (閉じる) ボタンをクリックし、按分計算画面を閉じて下さい。

7) 他の共通費項目についても、2)の手順から繰り返し行います。

8) 按分率の設定画面を閉じて下さい。



9) 内訳書の再計算を行って下さい。



※設計変更の場合は、直接工事費合計の変更に応じて按分率も変更されます。
それに伴い、原設計にて③の手順で設定した[任意]列のチェックは自動的に外れますので、必要に応じて再設定を行って下さい。

※任意入力した場合、直接工事費を再計算する度に、再入力する必要があります。

※工事毎に共通費を別々に算出したい場合は、それぞれの工事毎に、内訳書ファイルを作成して計算を行い、その計算結果に基づき任意で設計書資料を作成して下さい。

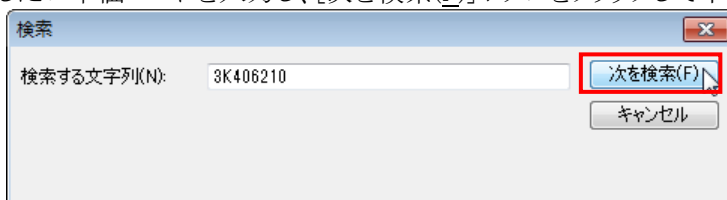
7 コード検索

※内訳明細の中で使用されている単価コードを検索します。

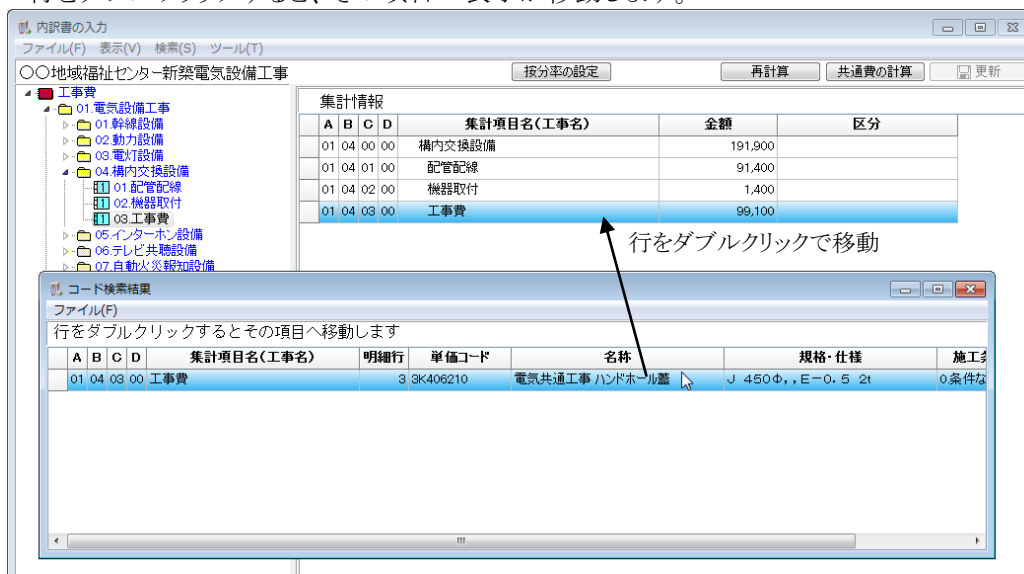
- 1) 集計情報が表示されている状態で、[検索(S)]→[コード検索(C)]をクリックして下さい。
※ 内訳明細が表示されている状態の時はメニューが使用不可になっています。



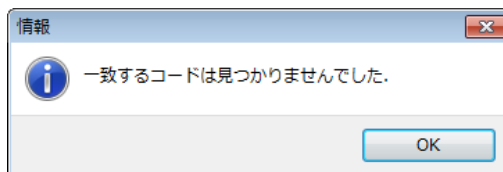
- 2) 検索したい単価コードを入力し、[次を検索(F)]ボタンをクリックして下さい。



- 3) 一致するコードが見つかった場合は、コード検索結果画面に一覧が表示されます。行をダブルクリックすると、その項目へ表示が移動します。



一致するコードが見つからなかった場合は、下図のメッセージが表示されます。



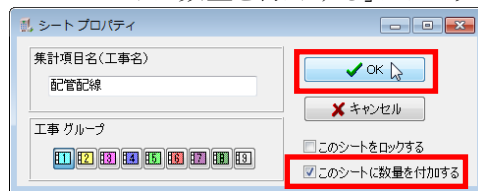
8 シートに数量を付加

※同じ内容の工事を複数行う場合に使用します。

- 1) 対象のシートを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックすると、シートプロパティ画面が表示されます。

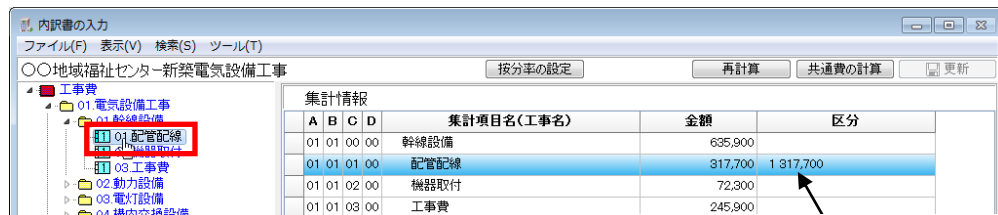


- 2) 「このシートに数量を付加する」にチェックを入れ、[OK]ボタンをクリックして閉じて下さい。



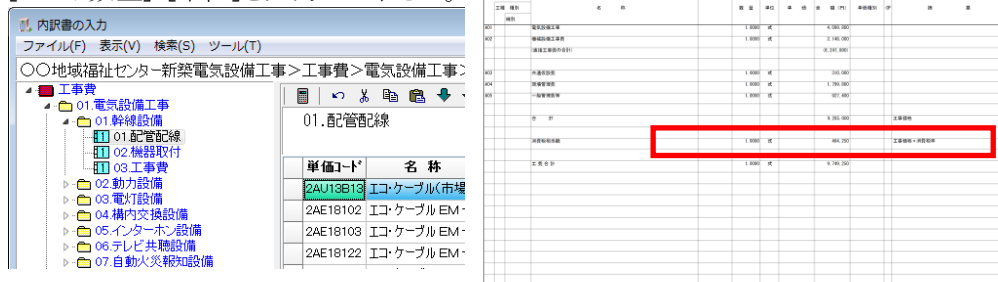
- 3) 対象のシートを選択し、ダブルクリックすると、明細編集表示となります。

※「区分」欄の表示及び、内訳明細入力部の上部に[シート数量]・[単位]欄が追加表示されます。

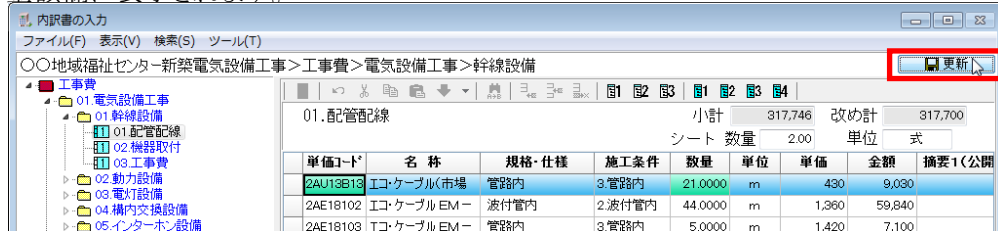


※シート数量の単位が未入力のため、このような表示になっている

- 4) [シート数量]・[単位]を入力して下さい。



- 5) 更新ボタンをクリックすると、明細の合計金額が金額欄に表示されます。

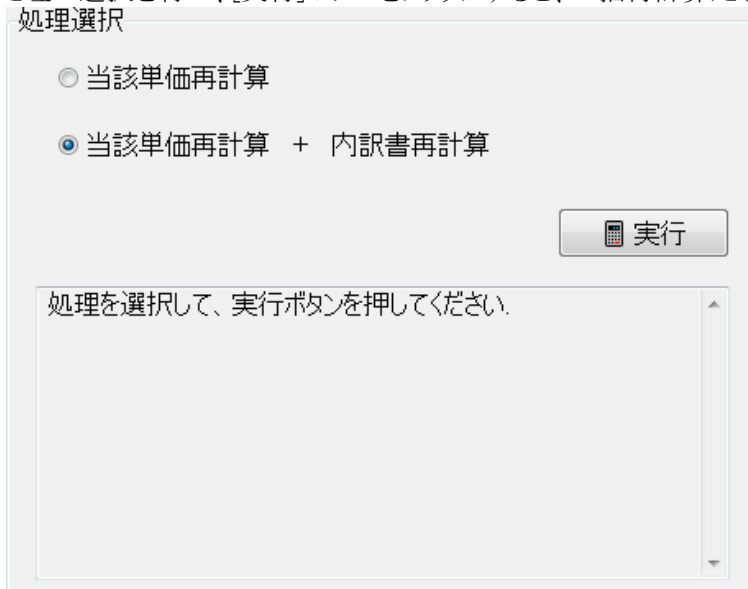


一括再計算

- 1) メインメニュー[7.一括再計算]→[1.一括再計算]をダブルクリックすると、一括再計算画面が表示されます。



- 2) 処理の選択を行い、[実行]ボタンをクリックすると、一括再計算処理を実行します。



- 当該単価再計算

当該単価(6 頭コード)、当該単価→複合単価(7 頭コード)、当該標準代価(8 頭コード)、当該標準代価→複合単価(9 頭コード)、までを一括再計算します。

- 当該単価再計算 + 内訳書再計算

上記に加え、内訳書及び共通費まで、全てを一括再計算します。

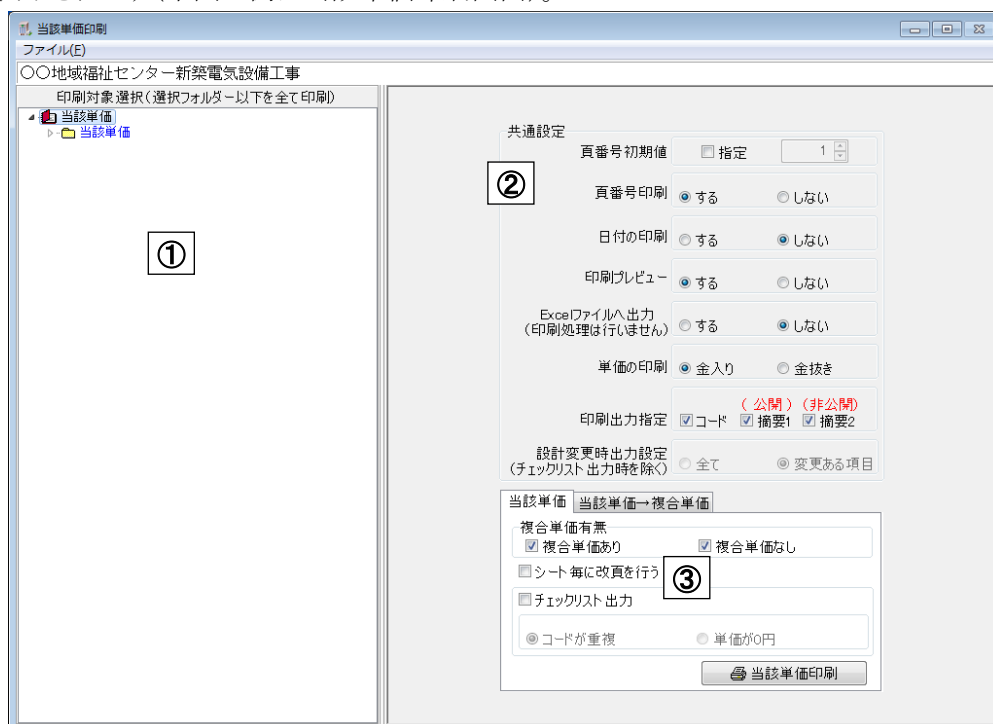
- ※ 神戸市環境で金抜き内訳書を読み込んでいる場合は、金入れ処理を行うことを促す警告文を表示します。

12

単価表・内訳明細の印刷

1 印刷画面における基本操作(各種印刷画面共通)

- 1) メインメニューの各印刷項目のメニューをダブルクリックすると、それに対応する印刷画面が表示されます(下図の例は当該単価印刷画面)。



- 2) 印刷設定を行って下さい。

- ① 印刷対象となるフォルダー又は、シートをツリービュー上で指定して下さい。

ルートフォルダーを選択すると、全ての項目及び明細が印刷対象となります(通常は、ルートフォルダーを指定します)。

ツリービューの任意のフォルダー又は、シートを選択すると、選択した場所及びその階層下の項目及び明細が印刷対象となります。

- ② [共通設定]を行って下さい。

- ・**頁番号初期値**: [指定]にチェック(☑)を入れると、出力する帳票に対して、ページ番号設定した番号より連番にて印刷します。(次項目の頁番号印刷設定が、「する」の場合に有効です。)
- ・**頁番号印刷**: ページ番号の出力をする場合は、「する」を選択して下さい。
- ・**日付の印刷**: 日付(コンピュータの時計の設定による)の出力をする場合は、「する」を選択します。
- ・**印刷プレビュー**: 印刷イメージを画面に表示する場合は、「する」を選択して下さい。(※「しない」の時、イメージ表示をせず、すぐに印刷実行されます。なお、Excel ファイルへ出力時は、印刷プレビュー処理は行いません。)
- ・**Excel ファイルへ出力**: 「する」を選択すると、印刷帳票と同じ様式を Excel ファイル形式にて出力します(次ページにて解説)。
- ・**単価の印刷(単価・金額の印刷)**: 金入りで印刷するか、金抜きで印刷するかを指定します。(※金抜きで印刷する場合、査定率、乗率、係数、単価・金額は空欄となり、摘要2は出力しません(非公開項目を出力しません))。
- ・**印刷出力設定**: チェックボックスにチェック(☑)が入っている項目を印刷します。(※チェックを外すと、その項目は空欄となります。)
- ・**設計変更時出力設定**: (設計変更時のみ有効となります。)全てを印刷対象とするか、設計変更にて追加変更された部分のみを印刷対象とするかを指定します。

- ③ 印刷画面毎(印刷帳票毎)の個別設定を行って下さい(個別設定は後述)。

- 3) 対応する帳票の[印刷](Excel 出力時は[出力]と表示)ボタンをクリックすると印刷処理を実行します。

2 印刷帳票の Excel 出力

※各印刷帳票毎に、Excel ファイル形式の保存が行えます。

帳票を出力後に任意編集したい場合や PDF 化などの用途にご活用下さい。

**重要！金入りで保存できますので、
データの取扱いは十分ご注意下さい。**

※ 計算式は設定されません。(単価*数量=金額 など)

◆出力手順

- 1) 各印刷設定画面のメニューをダブルクリックすると、印刷設定画面が表示されます。
(下図の例は、当該単価印刷画面)

共通設定

ページ番号初期値 指定

ページ番号印刷 する しない

日付の印刷 する しない

印刷プレビュー する しない

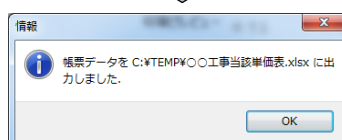
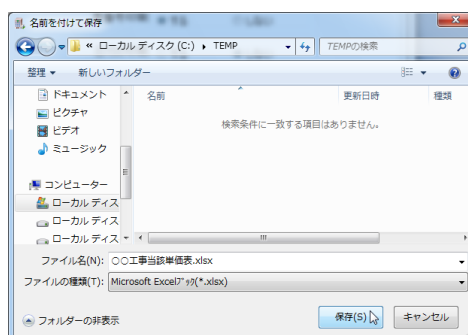
Excelファイルへ出力
(印刷処理は行いません) する しない

単価の印刷 金入り 金抜き

印刷出力指定 (公開) (非公開)
 コード 摘要1 摘要2

設計変更時出力設定
(チェックリスト出力時を除く) 全て 変更ある項目

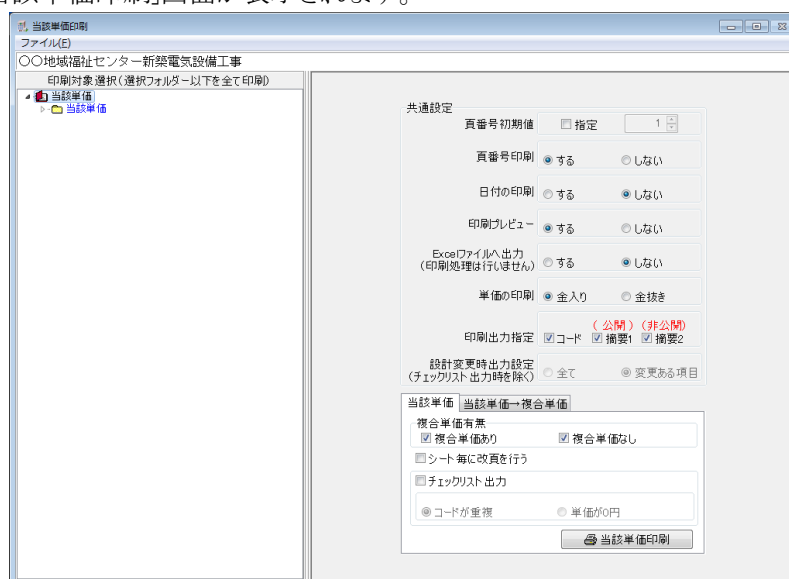
- 2) [Excel ファイルへ出力]を「する」にして下さい。(チェックボックスの場合は、チェック(☑)を入れて下さい。)
※ 帳票の種別により設定画面が若干異なりますが、いずれも「Excel ファイル出力」の設定メニューを選択して下さい。
- 3) [印刷]ボタンが[出力]ボタンに変わりますので、[出力]ボタンをクリックして下さい。
- 4) 「名前をつけて保存」ダイアログが表示されますので、保存先のフォルダー及びファイル名を設定し、[保存]ボタンをクリックすると、帳票ファイルが Excel 形式で出力されます。



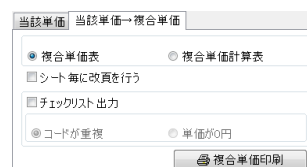
※Excel 出力したファイルは任意で編集が可能です。

3 当該単価表印刷

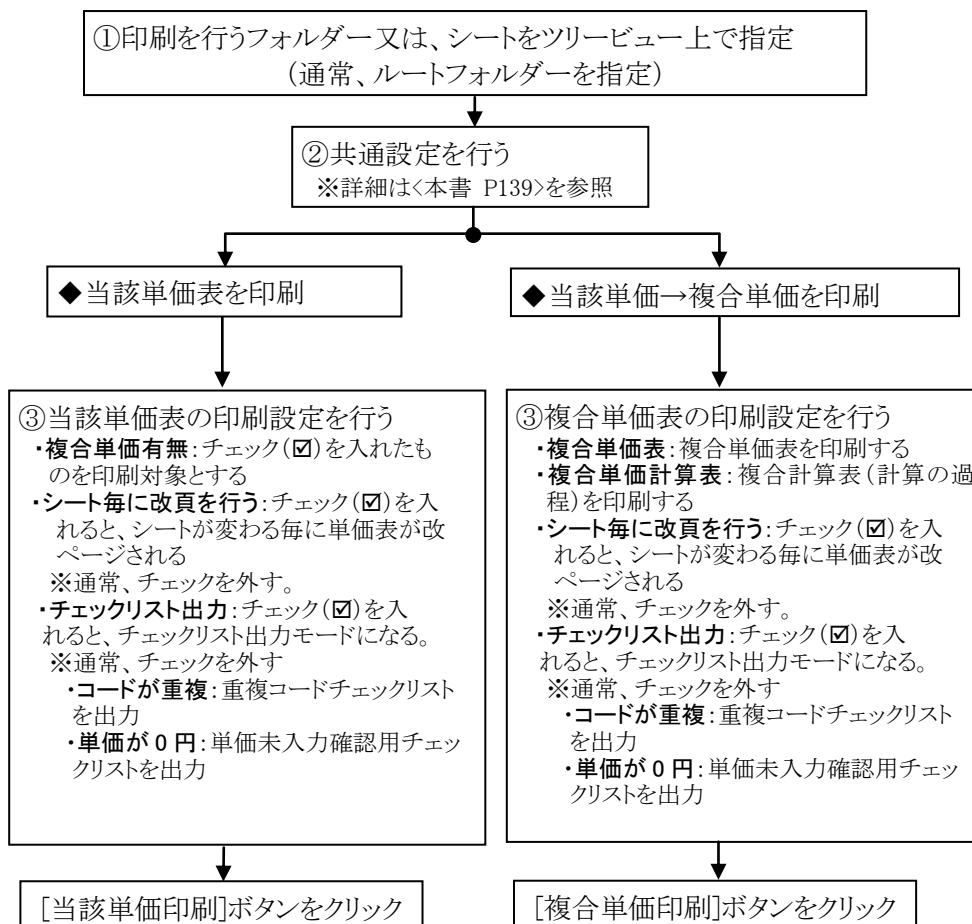
- 1) メインメニュー[3.当該工事単価作成]→[2.印刷]→[1.当該単価表印刷]をダブルクリックすると[当該単価印刷]画面が表示されます。



※[当該単価→複合単価]タブ表示

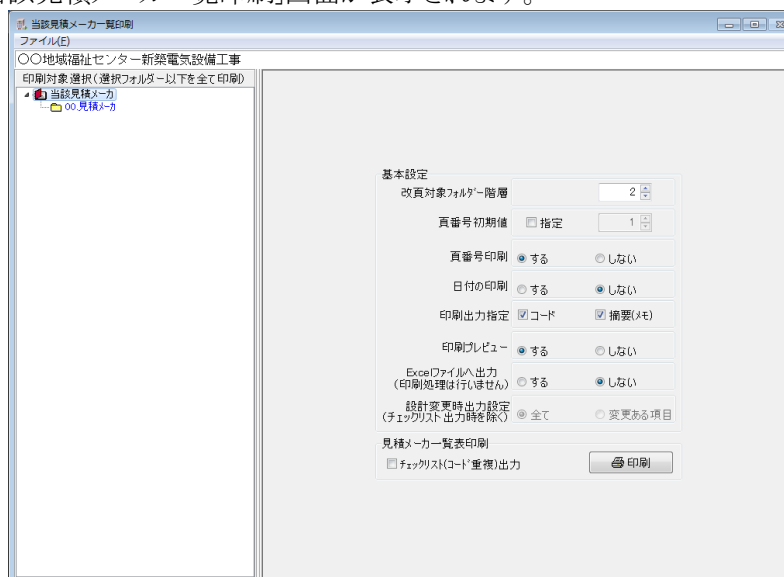


- 2) 印刷諸条件を設定し、[印刷]ボタンをクリックして下さい。



4 当該見積メーカー一覧表印刷

- 1) メインメニュー[3.当該工事単価作成]→[2.印刷]→[2.見積メーカー一覧表印刷]をダブルクリックすると[当該見積メーカー一覧印刷]画面が表示されます。



- 2) 印刷諸条件を設定し、[印刷]ボタンをクリックして下さい。

①印刷を行うフォルダ又は、シートをツリービュー上で指定
(通常、ルートフォルダを指定)

②共通設定を行う
※詳細は<本書 P139>を参照

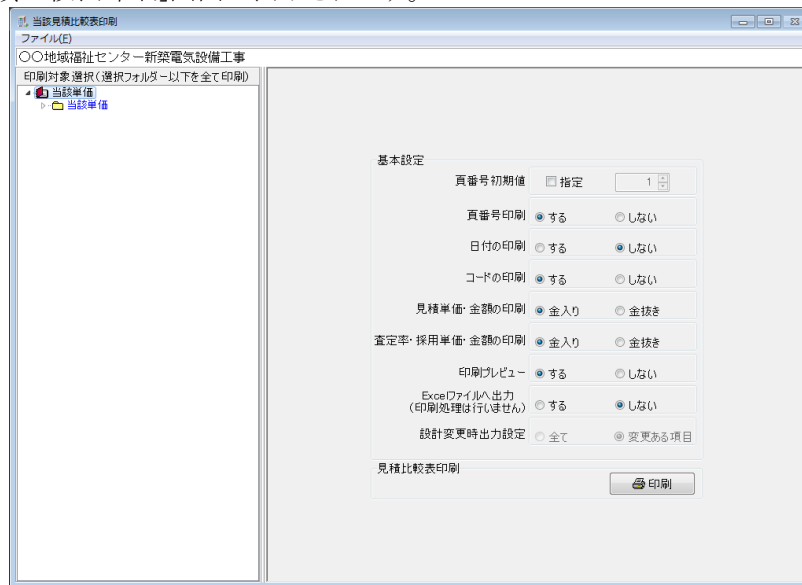
◆見積メーカー一覧表を印刷

③見積メーカー一覧表の印刷設定を行う
・チェックリスト出力: チェック(☑)を入れると、チェックリスト出力モードになる
※通常、チェックを外す
※重複コードチェックリストを出力

[印刷]ボタンをクリック

5 当該見積比較表印刷

- 1) メインメニュー[3.当該工事単価作成]→[2.印刷]→[3.見積比較表印刷]をダブルクリックすると[当該見積比較表印刷]画面が表示されます。



- 2) 印刷諸条件を設定し、[印刷]ボタンをクリックして下さい。

①印刷を行うフォルダー又は、シートをツリービュー上で指定
(通常は、見積比較による単価が入力されているフォルダーを指定)
※見積比較をしている単価シートと見積比較をしていない単価シートが
混在している場合は、見積比較をしていない単価についても出力され
ます。

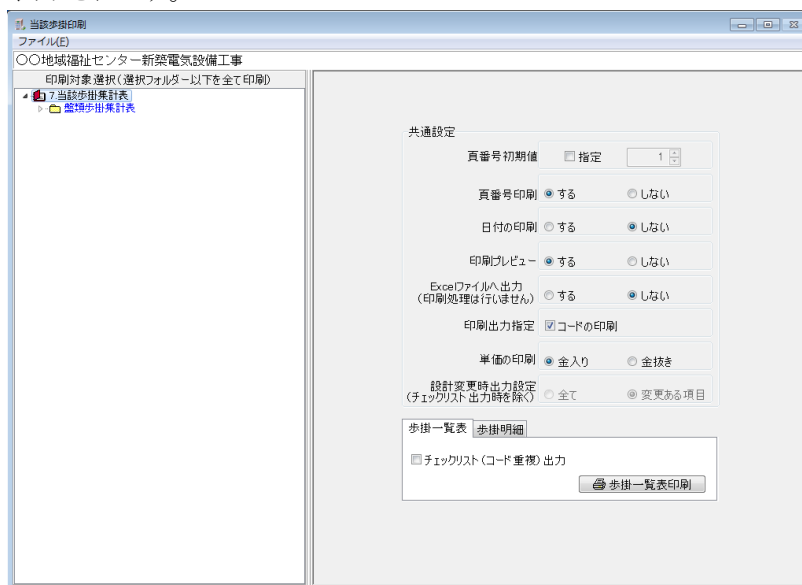
②共通設定を行う
※詳細は<本書 P139>を参照

◆見積比較表を印刷

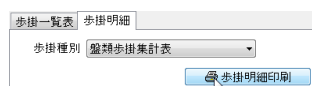
[印刷]ボタンをクリック

6 歩掛集計表印刷

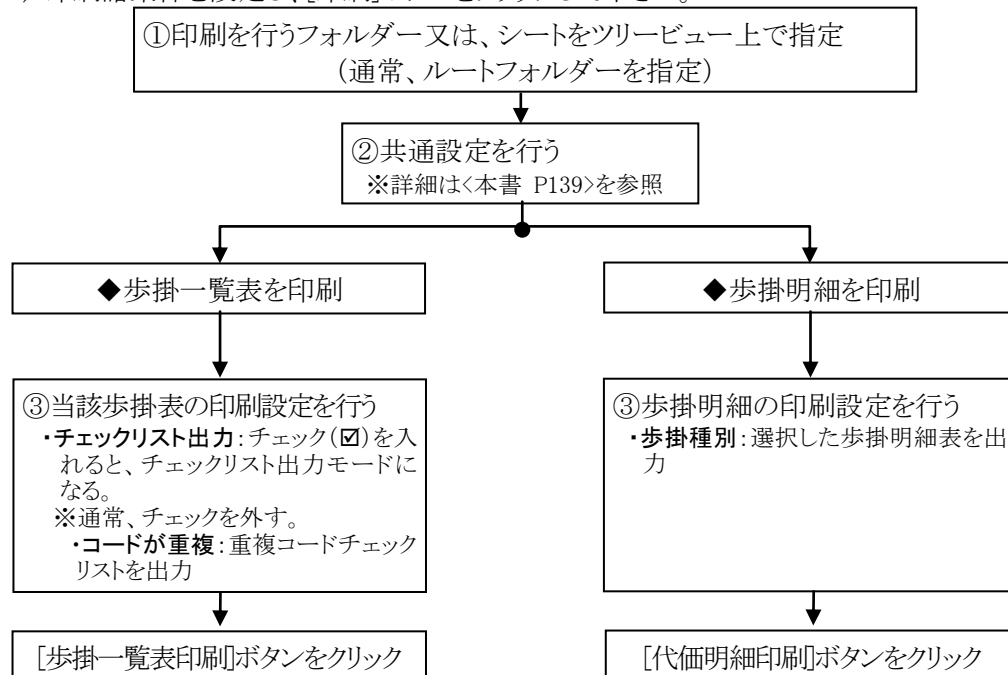
- 1) メインメニュー[4.歩掛集計表]→[2.歩掛集計表印刷]をダブルクリックすると[当該歩掛印刷]画面が表示されます。



※[歩掛明細]タブ表示

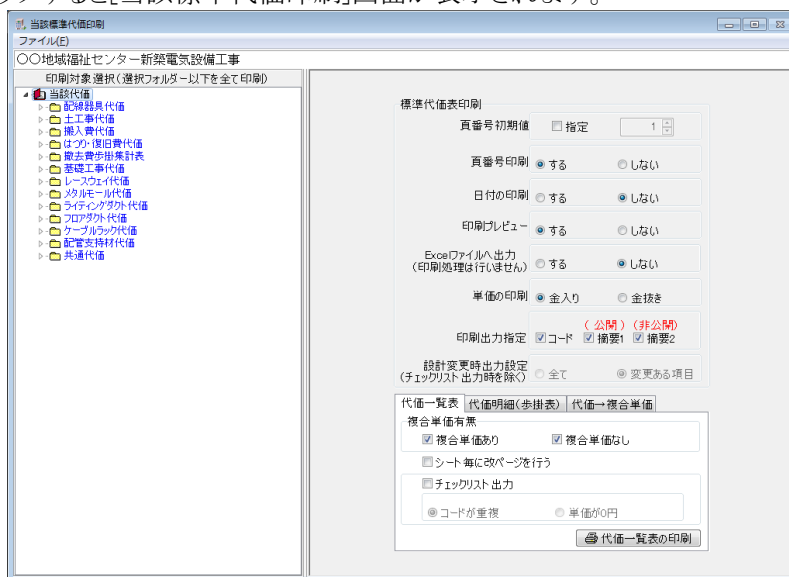


- 2) 印刷諸条件を設定し、[印刷]ボタンをクリックして下さい。



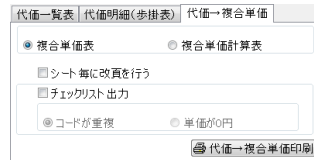
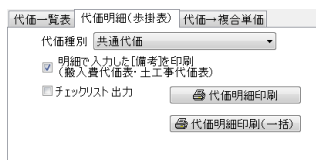
7 当該標準代価表印刷

1) メインメニュー[5.標準代価作成]→[2.印刷]→[1.標準代価・明細(歩掛表)印刷]をダブルクリックすると[当該標準代価印刷]画面が表示されます。

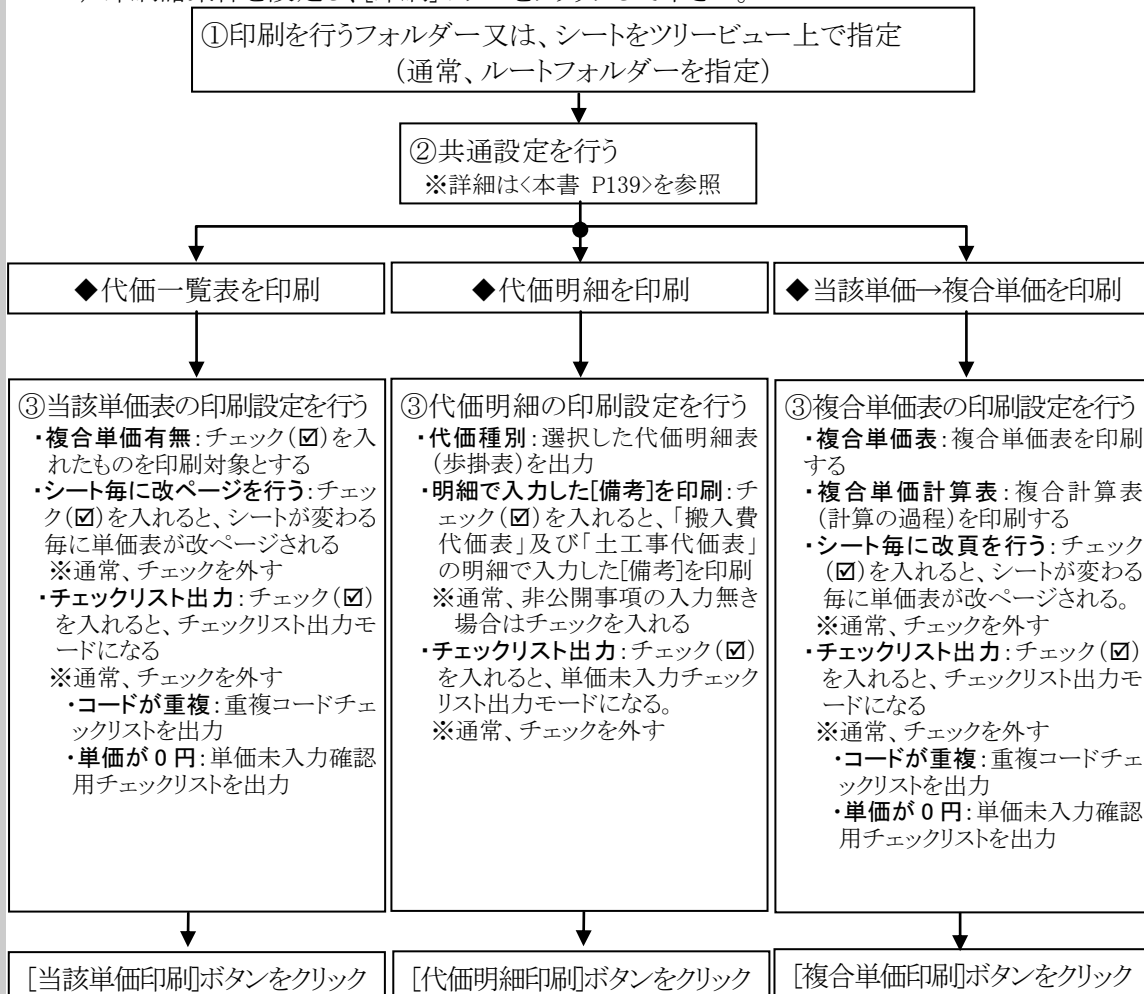


※[代価明細(歩掛表)]タブ表示

※[代価→複合単価]タブ表示



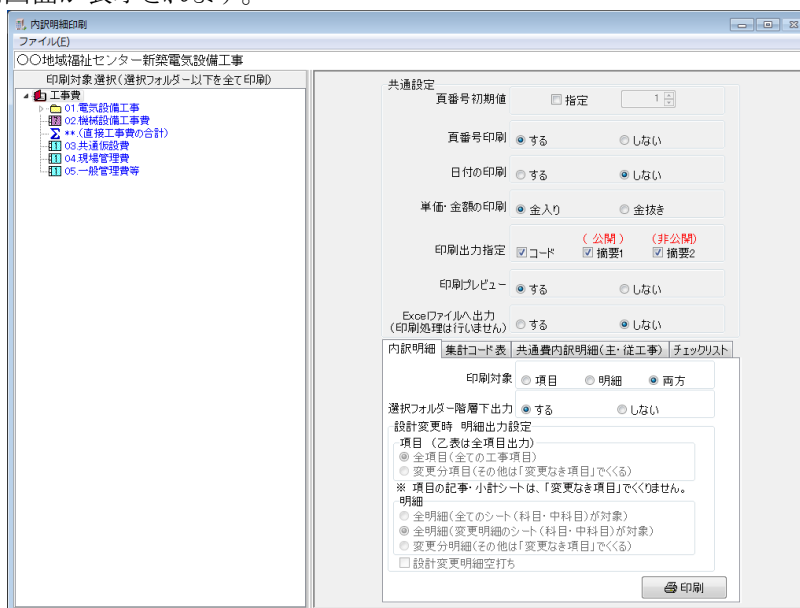
2) 印刷諸条件を設定し、[印刷]ボタンをクリックして下さい。



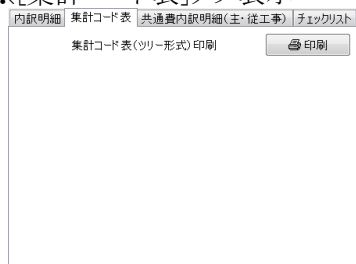
※設備積算時、複数の代価表を一括出力時は[代価明細印刷(一括)]ボタンをクリック。

8 内訳明細書の印刷

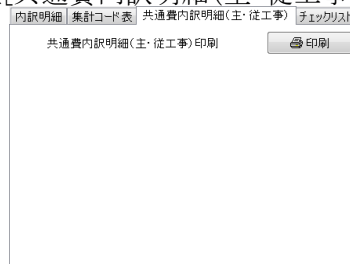
- 1) メインメニュー[8.内訳書の印刷]→[1.内訳明細の印刷]をダブルクリックすると、内訳明細印刷画面が表示されます。



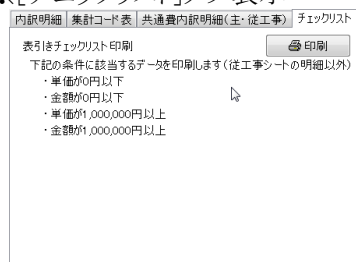
※[集計コード表]タブ表示



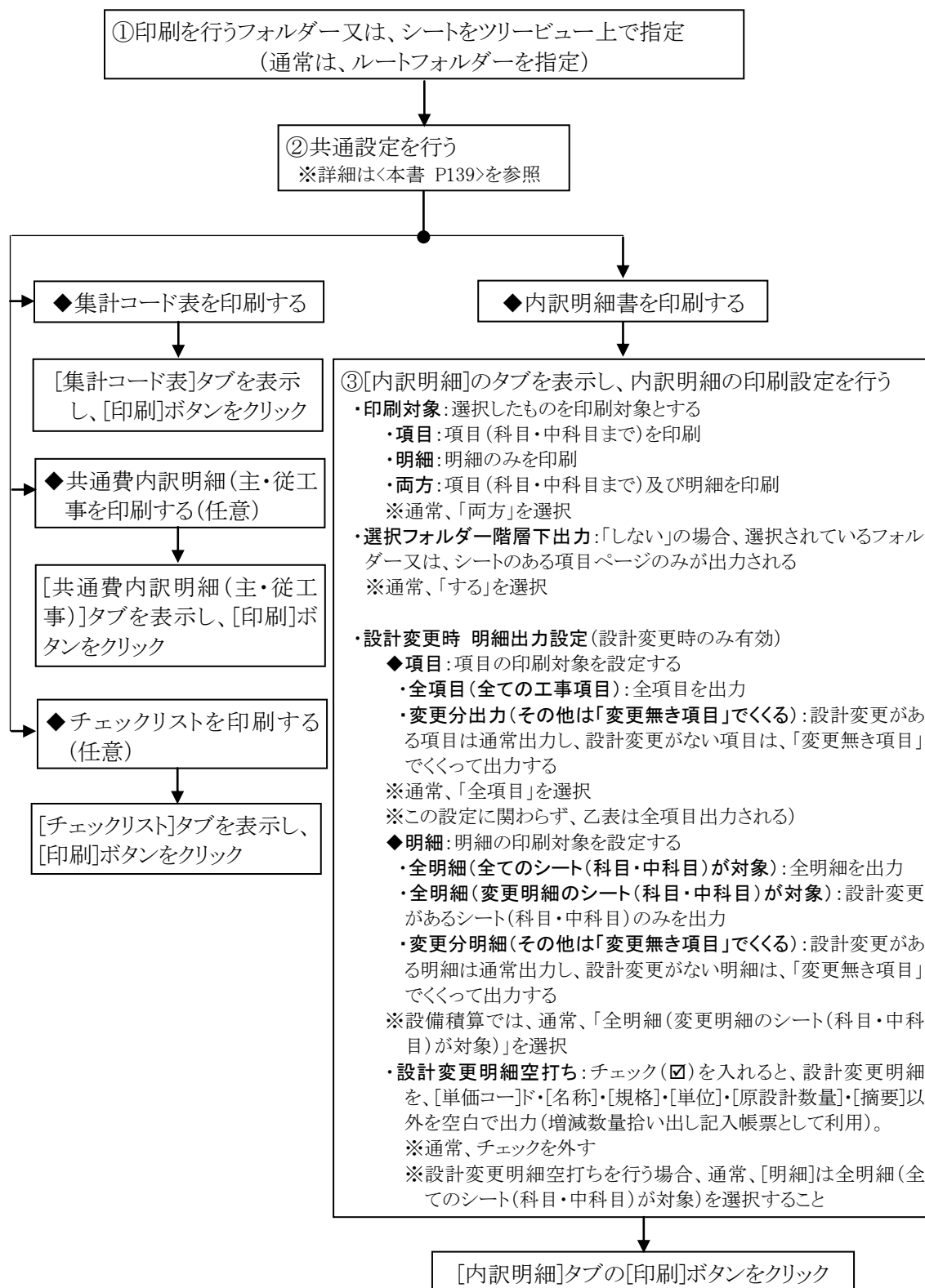
※[共通費内訳明細(主・従工事)]タブ表示



※[チェックリスト]タブ表示



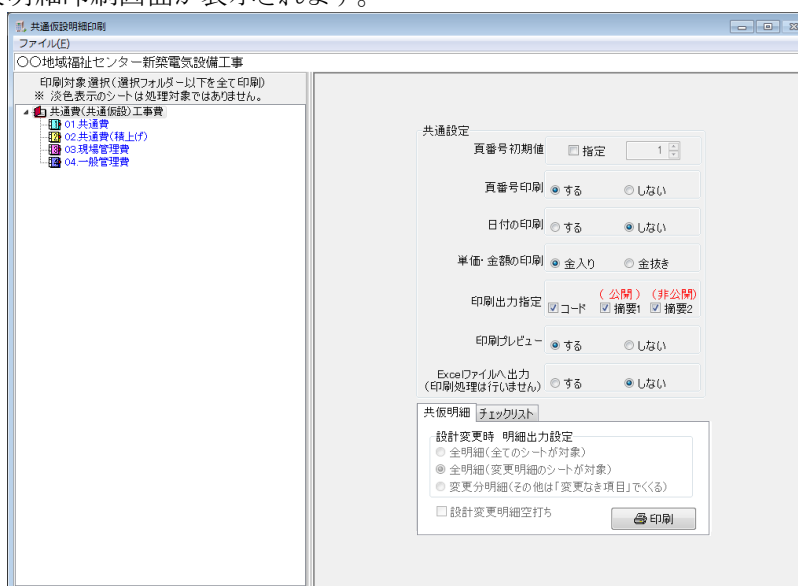
2) 印刷諸条件を設定し、[印刷]ボタンをクリックして下さい。



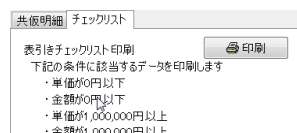
※ 原設計時、設計書(甲表)及び乙表を一括で金抜き印刷(Excel出力)を行う場合は、[甲表・乙表一括金抜き印刷(出力)]ボタンをクリックして下さい。(詳細は<本書 補足 7>を参照。)(設計変更時は[甲表・乙表一括金抜き印刷(出力)]ボタンは表示されません。)

9 共通仮設明細の印刷

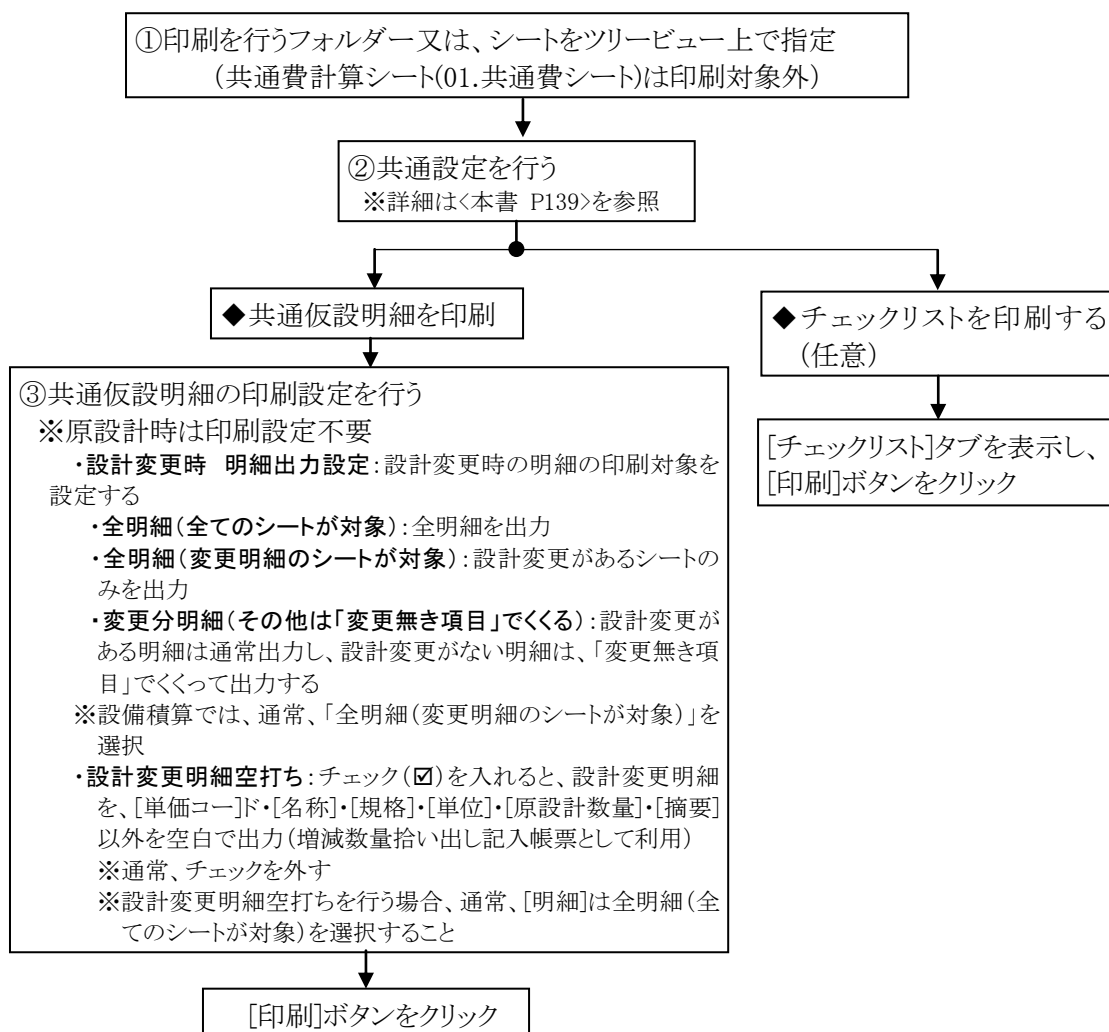
- 1) メインメニュー[9.内訳書の印刷]→[2.共通仮設明細の印刷]をダブルクリックすると、共通仮設明細印刷画面が表示されます。



※[チェックリスト]タブ表示

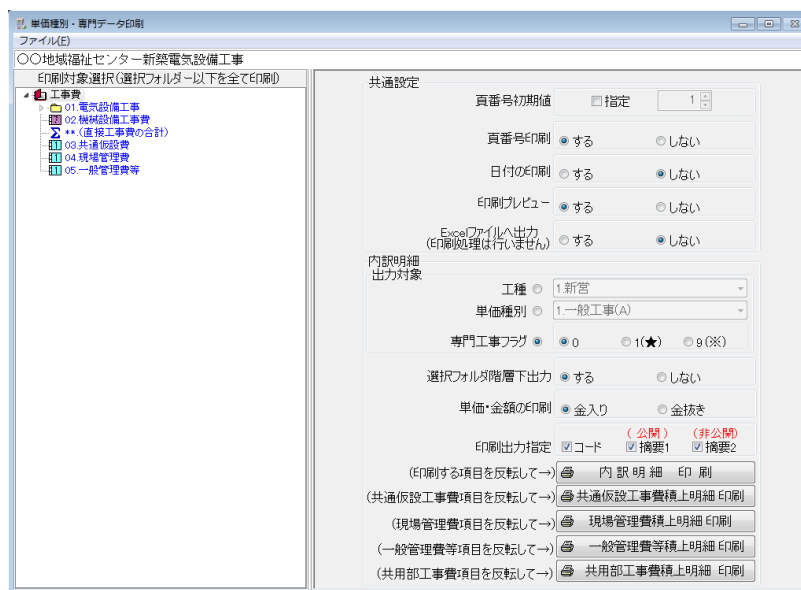


- 2) 印刷諸条件を設定し、[印刷]ボタンをクリックして下さい。



10 単価種別・専門データ印刷(オプション印刷)

- 1) メインメニュー[10.内訳オプション印刷]→[1.単価種別・専門データ印刷]をダブルクリックすると[単価種別・専門データ印刷]画面が表示されます。



- 2) 印刷諸条件を設定し、[印刷]ボタンをクリックして下さい。

①印刷を行うフォルダー又は、シートをツリービュー上で指定
 ※内訳明細出力時は、通常、ルートフォルダーを指定
 ※内訳明細以外は、それぞれの按分グループシート項目を指定

②共通設定を行う

※詳細はく本書 P139>を参照
 ※一部項目は、印刷ボタンの上にある

◆単価種別・専門データを印刷

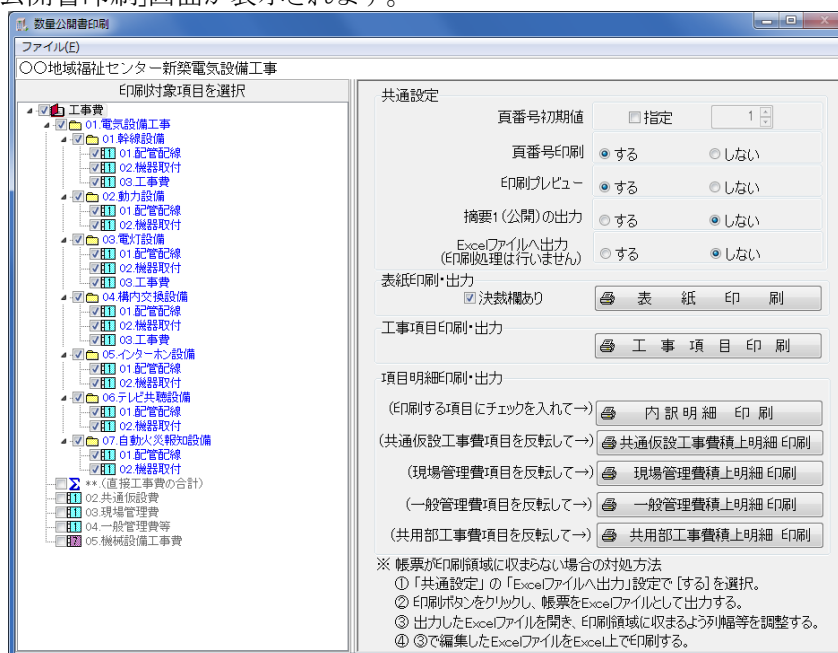
③単価種別・専門データの印刷設定を行う

- ・出力対象: 選択したものを印刷対象とする
- ・工種: (平成14年度積算基準以降で使用)内訳明細等で設定した工事種別(工種)について、右のリストで選択した工事種別(工種)を出力対象とする
 ※設備積算では「新営+改修」は無いため、工事種別は単一のものとなる
- ・単価種別: (平成14年度積算基準以降で使用)内訳明細等で設定した単価種別について、右の選択リストで選択した単価種別を出力対象とする
- ・専門工事フラグ: (現状、住宅建設課の建築積算で使用)内訳明細等で設定した専門工事フラグについて、右の選択肢で選択した専門工事フラグを出力対象とする

対象の[印刷]ボタンをクリック

11 数量公開書印刷(オプション印刷)

- 1) メインメニュー[10.内訳オプション印刷]→[2.数量公開書印刷]をダブルクリックすると[数量公開書印刷]画面が表示されます。



- 2) 印刷諸条件を設定し、[印刷]ボタンをクリックして下さい。

①印刷を行うフォルダー又は、シートをツリービューの各項目にチェック(☑)を入れて指定
 ※標準では、「仮設工事」の文字を含む項目はチェックが外れているが、任意でチェックを入れることで出力可能
 ※ツリービューの文字色が灰色の項目は印刷対象外

②共通設定を行う
 ※詳細はく本書 P139)を参照
 ※一部項目は、印刷ボタンの上にある

◆数量公開書を印刷

対象の[印刷]ボタンをクリック

- ※数量公開書では、単価の摘要欄は「摘要1」のみ出力が可能です。
 ※本機能により、標準的な内訳明細書を想定した様式で印刷物が出力されますが、項目のフォルダー階層数や項目文字列の長さの影響等によって、帳票が印刷領域に収まらない場合があります。その際は、下記の手順にて手作業で調整して下さい。
- ① 「共通設定」の「Excel ファイルへ出力」設定で「する」を選択。
 - ② 対象の[印刷]ボタンをクリックし、帳票を Excel ファイルとして出力する。
 - ③ 出力した Excel ファイルを開き、印刷領域に収まるように列幅などを調整する。(フォントのポイント数の変更や、ページ設定変更など、適宜変更して下さい。)
 - ④ ③で編集した Excel ファイルを Excel 上で印刷する。

8

設計変更書作成要領

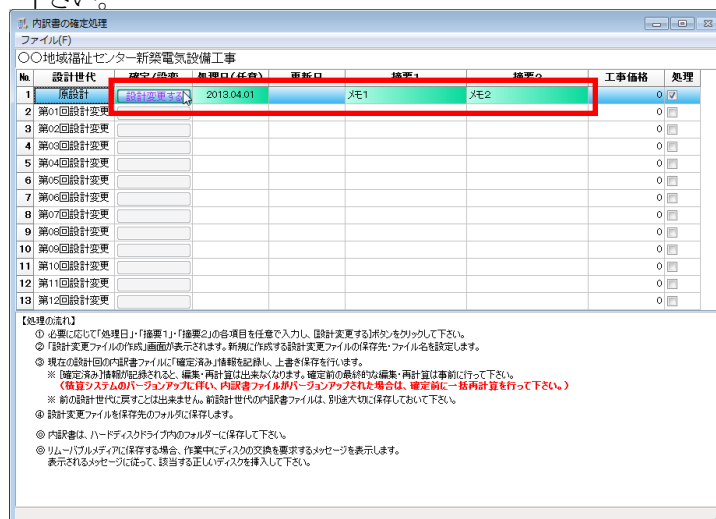
1

内訳書の確定処理～使用単価ファイルの設定

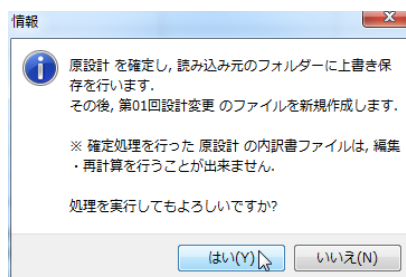
- ※ 設計変更を行うには、設計変更を行う工事(内訳)データを確定する必要があります。
(1回目の設計変更を行う場合は、原設計を確定します。2回目の設計変更を行う場合は、1回目の設計変更を確定します。このように設計変更を行う場合は、前設計を確定する作業が必要となります。)
なお、設計変更を行う毎に、設計世代(原設計・第01回設計変更・・・)毎の内訳書ファイルを作成します。
- ※ バージョンアップによる計算の差異等の不都合を予防するため、設計変更の実施の有無に関わらず、各設計の内容が確定次第、内訳書の確定処理を行うことを推奨いたします。
- ※ 設計事務所版の環境では、内訳書の確定処理を実行できません。

1 内訳明細書の確定処理

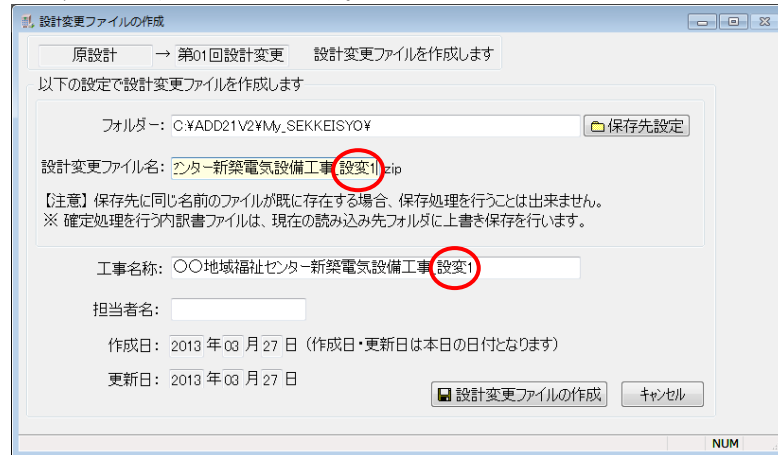
- 1) メインメニューの[1.内訳書の管理]→[4.内訳書の確定処理]→[1.内訳書の確定処理]をダブルクリックすると、内訳書の確定処理画面が表示されます。
- 2) 処理日(任意)、摘要1・2(任意)を入力後、該当する行の[設計変更する]ボタンをクリックして下さい。



- 3) 確認メッセージが表示されます。よろしければ、[はい(Y)]ボタンをクリックしてすると、設計変更ファイル作成画面が表示されます。([いいえ(N)]ボタンをクリックすると処理を中止します。)

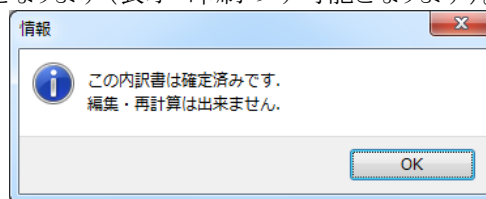


- 4) 保存先フォルダー、保存ファイル名(設計変更名)を入力し、[設計変更ファイルの作成]ボタンをクリックすると、内訳書の確定処理及び設計変更ファイル作成処理が実行されます。
 ([キャンセル]ボタンで処理を中止します。)
 ※ 初期値として、設定していた[ファイル名]・[工事名称]の末尾に「_設変n」が付加されますが、必要に応じて任意の文言に変更可能です。



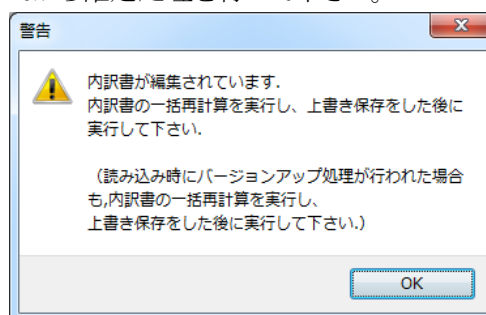
- 5) 処理が完了すると、設計変更ファイルの作成画面が自動的に終了し、メインメニューに戻ります。
 ※ このとき、処理対象の内訳書ファイルは、作成された設計変更内訳書ファイルに変更されます。
 (作成した設計変更内訳書ファイルを読み込んだ状態となります。)

- ※ 確定済の内訳書ファイルを読み込むと下記のメッセージが表示され、編集及び再計算は出来ない状態となります(表示・印刷のみ可能となります)。



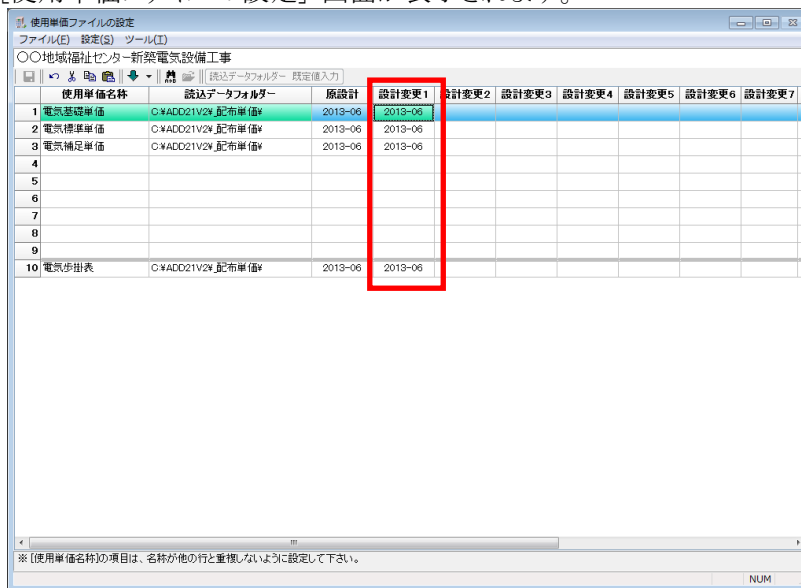
- ※ 誤って確定処理を行ってしまった場合や確定済の内訳書の再編集を行いたい場合など確定情報を解除したい時は、確定した内訳書ファイルを読み込み後、「名前を付けて保存」にて別ファイル名で保存処理を行って下さい。(別ファイル名にて保存した側の内訳書ファイルは確定情報が解除され、編集・再計算が可能となります。)

- ※ 内訳書を編集・再計算後、保存していない場合は下記のメッセージが表示され、内訳書の確定処理は実行できません。下記のメッセージの指示通り、必ず一括再計算を行い、上書き保存を行ってから確定処理を行って下さい。



2 設計変更時の使用単価ファイルの設定

- 1) メインメニュー[2.内訳書の仕様設定]→[1.使用単価ファイルの設定]をダブルクリックすると[使用単価ファイルの設定]画面が表示されます。

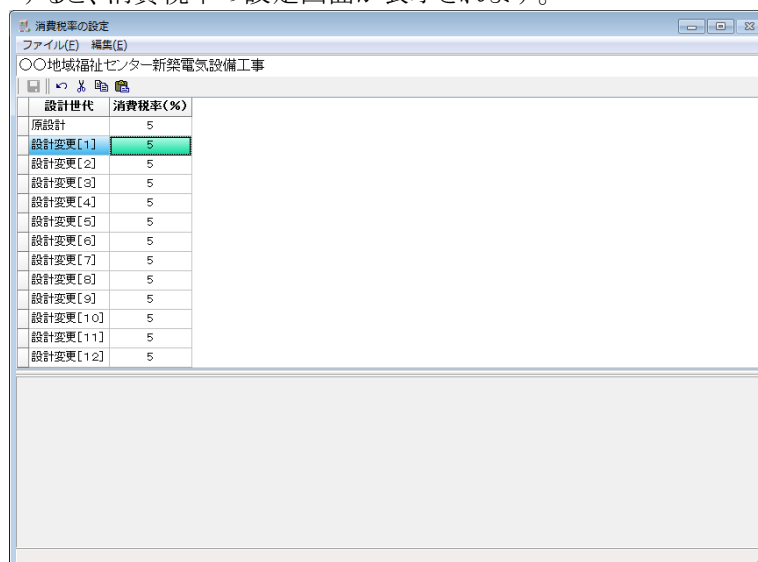


- 2) 設計変更の内訳書ファイルを作成時点にて、今回設計の欄に前設計(設計変更1の場合は原設計)時と同じ単価の年度(西暦)、月が自動設定されます。変更する場合は、該当設計回の列の使用する単価の年度(西暦)、月(1桁の月は0を補って下さい)を入力して下さい。

- 3) [保存]ボタン(または[ファイル(F)]→[保存(S)])をクリックして保存を行って下さい。

3 設計変更時の消費税率の設定

- 1) メインメニュー[2.内訳書の仕様設定]→[4.消費税率の設定]をダブルクリックすると、消費税率の設定画面が表示されます。



- 2) 設計変更時に消費税率が変更となる場合、その税率を設定して下さい。
 ※ 現設計世代よりも前の税率は原則変更しない仕様としていますが、やむをえず変更を行いたい場合は、<本書 P70>の「設計変更時の消費税率列ロック(変更不可)解除について」を参照し、変更を行って下さい。

- 3) [保存]ボタン(または[ファイル(F)]→[保存(S)])をクリックして保存を行って下さい。

2 請負金額の入力～落札率の算出

1 請負金額の入力及び落札率の算出方法の設定

- 1) メインメニュー[2.内訳書の仕様設定]→[2.設計書(甲表)入力・印刷]をダブルクリックすると、設計書(甲表)入力・印刷の画面が表示されます。

- 2) 請負金額(税抜き額)を入力し、落札率の算出方法を設定して下さい。

[落札率を自動計算する]にチェック(☑)が入っているときは、入力された請負金額にて落札率を算出します。落札率を任意設定する場合は、チェックを外して、落札率を%で入力して下さい。(落札率は「率に含めない費用」を含まない金額で算出します)

※第1回設計変更の内訳書ファイル作成時点における既定値は、チェックが入った状態となっています。

※第2回設計変更以降の内訳書ファイル作成時点では、落札率は手計算した値を入力による変更のみ可能となります(変更しない限り、前設計の落札率となります)。

3) [保存]ボタンをクリックし、データを保存して下さい。

設計書 (甲表) の入力・印刷

【作成日】平成 25 年 5 月 24 日 補修

【工事名】〇〇地域福祉センター新築電気設備工事

【工事場所】① 神戸市〇〇区〇〇町〇丁目〇〇

【変更内容】① 〇〇地域福祉センター (S道、2階建、250㎡) 新築に伴う電気設備工事一式。

【概要】① 工期 日付入力 平成 25 年 7 月 1 日から 平成 25 年 11 月 30 日まで
 ② 期間入力 日間 5.1 か月 (工期入力値より換算)
 ③ 担保期間 12 か月間 ※工期の月単位の換算は、その日数を30日/月で除し、小数点以下第2位を四捨五入して1位止めにします。

【消費税率の設定値】原設計 5% 前設計 5% 設計変更 5%

【会計項目】工事年度 平成 - 年度
 予算区分 01 一般予算
 会計 01 一般会計
 会計科目 0481 其他民生施設整備費 選択
 事業 01 施設設備
 節 15 工事請負費
 細節 01 工事請負費

【印刷項目設定】
 他部署合議
 補助事業
 甲表金抜き印刷 (Excel編集)
 Excelファイル出力

【設計変更時設定】
 前設計工事費 (税込) ¥ 11,422,950
 請負金額 (税込) ¥ 11,050,000
 落札率 96.7350 % 計算
 落札率を自動計算する
 ※ 率計算に含めない費用は除外して自動計算します

請負金額算出根拠表
 日付 頁番号
 プレビュー 請負金額算出根拠表印刷

甲表Excelファイル差し替え
 ※設計変更時、摘要の「①工期」・「②担保期間」の既定値は「既決通り」となります。変更のある場合は、「Excel編集」で新しい画面の値は反映されません。

保存 Excel編集 印刷 プレビュー

※第1回設計変更以降は、設計書(甲表)の「工期」及び「担保期間」は「既決通り」と印刷されます。変更を要する場合は Excel 編集にて変更して下さい。

2 【参考】請負金額算出根拠表の印刷

※ 現在、設備積算では本機能は使用しません。

※ 落札率を乗じない「新単価」フラグ指定のある単価(内訳明細の[新]の列に「1」を設定した単価コード)の一覧表及び、請負増減額の算出根拠式を示す帳票を出力します。

※設計変更の内訳書の入力及び請負金額を入力完了後に実行して下さい。

1) 印刷設定を行って下さい。

設計書 (甲表) の入力・印刷

【作成日】平成 25 年 5 月 24 日 補修

【工事名】〇〇地域福祉センター新築電気設備工事

【工事場所】① 神戸市〇〇区〇〇町〇丁目〇〇

【変更内容】① 〇〇地域福祉センター (S道、2階建、250㎡) 新築に伴う電気設備工事一式。

【概要】① 工期 日付入力 平成 25 年 7 月 1 日から 平成 25 年 11 月 30 日まで
 ② 期間入力 日間 5.1 か月 (工期入力値より換算)
 ③ 担保期間 12 か月間 ※工期の月単位の換算は、その日数を30日/月で除し、小数点以下第2位を四捨五入して1位止めにします。

【消費税率の設定値】原設計 5% 前設計 5% 設計変更 5%

【会計項目】工事年度 平成 - 年度
 予算区分 01 一般予算
 会計 01 一般会計
 会計科目 0481 其他民生施設整備費 選択
 事業 01 施設設備
 節 15 工事請負費
 細節 01 工事請負費

【印刷項目設定】
 他部署合議
 補助事業
 甲表金抜き印刷 (Excel編集)
 Excelファイル出力

【設計変更時設定】
 前設計工事費 (税込) ¥ 11,422,950
 請負金額 (税込) ¥ 11,050,000
 落札率 96.7350 % 計算
 落札率を自動計算する
 ※ 率計算に含めない費用は除外して自動計算します

請負金額算出根拠表
 日付 頁番号
 プレビュー 請負金額算出根拠表印刷

甲表Excelファイル差し替え
 ※設計変更時、摘要の「①工期」・「②担保期間」の既定値は「既決通り」となります。変更のある場合は、「Excel編集」で新しい画面の値は反映されません。

保存 Excel編集 印刷 プレビュー

- Excel ファイル出力: チェック (☑) を入れると、印刷帳票と同じ様式を Excel ファイル形式にて出力します。
 - 日付: チェック (☑) を入れると、日付 (コンピュータの時計の設定による) を出力します。
 - 頁番号: チェック (☑) を入れると、ページ番号を出力します。
 - プレビュー: チェック (☑) を入れると、印刷イメージを画面に表示します。(※チェックを入れない場合は、イメージ表示をせず、すぐに印刷実行されます。なお、Excel ファイルへ出力時は、印刷プレビュー処理は行いません。)
- ※ 請負金額算出根拠表は、金抜き印刷は行わない仕様となっています。金入りで出力されるため、取扱には十分ご注意ください。

2) [請負金額算出根拠表印刷]をクリックすると、請負金額算出根拠表印刷処理を開始します。

設計書(甲表)の入力・印刷

ファイル(E)
【作成日】
平成 25 年 5 月 24 日 補修 設計変更01回

【消費税率の設定値】
原設計 5% 前設計 5% 設計変更 5%

【工事名】
○○地域福祉センター新築電気設備工事

【工事場所】
① 神戸市○○区○○町○○丁目○○

【変更内容】
① ○○地域福祉センター(S.造、2階建、250㎡)新築に伴う電気設備工事一式。

【摘要】
① 工期 日付入力 平成 25 年 7 月 1 日から 平成 25 年 11 月 30 日まで
○ 期間入力 日間 5.1 か月(工期入力値より換算)
② 担保期間 12 ヶ月間
※工期の月単位の換算は、その日数を30日/月で割り、小数以下第2位を四捨五入して1位は0とする。

【印刷項目設定】
 他部署会議
 補助事業
 甲表金抜き印刷(Excel編集)
 Excelファイル出力

【設計変更時設定】
前設計工事費(税込) ¥ 11,422,850
請負金額(税込) ¥ 11,050,000
落札率 96.7350 % 計算
 落札率を自動計算する
※半計算に含めない費用は除外して自動計算します
請負金額算出根拠表
印刷出力指定 日付 百乗品

プレビュー **請負金額算出根拠表印刷**

甲表Excelファイル差し替え
※設計変更時、摘要の「①工期」・「②担保期間」の既定値は「既済通り」となります。変更のある場合は、「Excel編集」で値を上書き変更して下さい。画面の値は反映されません。

NUM

3

当該単価(6頭コート)・複合単価(7頭コート)登録・再計算【設計変更】

1 設計変更時の当該単価・複合単価登録

- 1) メインメニュー[3.当該工事単価作成]→[1.当該単価]→[1.当該単価登録]をダブルクリックすると[当該単価登録]画面が表示されます。
- 2) 該当する階層下に、設計変更単価登録用のシートを作成し、単価を登録して下さい。
 ※ここでの操作は、原設計時の単価作成方法と同様です。
 ※原設計(前設計)時に作成したフォルダー・シートの名称の変更・削除はできません。
 ※原設計(前設計)時に作成したシートに単価コードの追加登録は出来ません。別のシートを新規作成し、作成したシートに単価コードの追加を行う運用とします。

コード	名称	規格・仕様	単位	単価	摘要1	摘要2	複算有無	複算コード	複合単価	設計回
6820001	フロアगत	F-5(1ダクト)	m	700			有	7B20001	6.95	【原設計】
6820002	フロアगत	F-6(1ダクト)	m	770			有	7B20002	7.58	【原設計】
6820003	フロアगत	F-7(1ダクト)	m	1,120			有	7B20003	8.61	【原設計】
6D100001	ダクトライト	FHT24W×1	台	14,000			有	7D100001	18.90	【原設計】
6D100002	庭園灯	FDL27W×1	台	95,000			有	7D100002	71.10	【原設計】
6D100003	ミラーライト	FL20W×1	台	12,000			有	7D100003	15.20	【原設計】
6DH00001	引込開閉器盤	S-1	面	350,000			有	7DH00001	350,000	【原設計】
6DH00002	電灯盤	L-1	面	550,000			有	7DH00002	622,000	【原設計】
6DH00003	空調手元盤		面	100,000			有	7DH00003	125,000	【原設計】
6DH00004	端子盤		面	50,000			有	7DH00004	50,000	【原設計】
6DC10001	コンセント用ガードプレート			1,880			有	7DC10001	1.88	【改変1】
6DC10002	ケースブレーカー	機械室用		5,950			有	7DC10002	13.50	【改変1】

※上画面は、当該単価登録で、設計変更用単価シートとして「当該単価」フォルダー内に新しく「6DC」の固定コードの単価シートを作成し、単価を登録した状態です。
 単価の登録方法は原設計時と同じです(本書 P71 参照)。

- ※ 単価一覧表示部の右端(枠囲み部分)に、作成された原設計・変更回が表示されます。
- ※ 現在の設計変更よりも前の設計回に登録された単価の再編集や複合単価の歩掛りや塗装費の変更は出来ません。但し、フォルダー・シートのコピーは可能です。
- ※コード番号が重複しないように、ご注意ください。

2 設計変更時の見積単価変更処理

※ 現在の設計変更よりも前の設計回に登録された単価に対して設定します。

- 1) 見積単価変更処理を行う単価が登録されているシートを開き、該当する単価の行を選択して下さい。

コード	名称	規格・仕様	数量	単価	金額	採用単価	採用金額
6DH00001	引込開閉器盤	S-1	1.0000	350,000	350,000	350,000	350,000
6DH00002	電灯盤	L-1	1.0000	550,000	550,000	550,000	550,000
6DH00003	空調手元盤		1.0000	100,000	100,000	100,000	100,000

基礎単価コード: 6DH00001 複算有無: [有] 単価種別: 1.一般工事(A)

名称: 引込開閉器盤

規格・仕様: S-1

単位: 面 数量: 1.0000 率: 1.0000

単価: 350,000 1円止め

(公開) 摘要(1):
 (非公開) 摘要(2):

「摘要(1)」は公開されるため、単価に係る内容(概算等)は入力しないこと。

複合単価(Ctrl+B): 7DH00001 複合単価: 350,000

当初見積単価: 350,000 変更前見積: 0 変更後見積: 0

2) [変更前見積]・[変更後見積]に金額を入力して下さい。

コード	名称	規格・仕様	数量	単価	金額	採用単価	採用金額
6DH 00001	引込開閉器盤	S-1	1,000	350,000	350,000	350,000	350,000
6DH 00002	電灯盤	L-1	1,000	550,000	550,000	550,000	550,000
6DH 00003	空調手元盤		1,000	100,000	100,000	100,000	100,000

当初見積単価	350,000	変更前見積	378,000	変更後見積	399,000
--------	---------	-------	---------	-------	---------

※ 1シート内の複数の単価に対して変更見積金額を入力する場合は、表部分で右クリック→[変更見積一括編集]をクリックすると表示される変更見積一括編集画面での入力が便利です。変更見積一括編集画面で入力後、画面を閉じると変更見積金額が設定された状態となります。



単価コード	名称	規格・仕様	数量	単位	率	当初単価	変更前	変更後
6DH00001	引込開閉器盤	S-1	1,000	面	1,000	350,000	378,000	399,000
6DH00002	電灯盤	L-1	1,000	面	1,000	550,000	0	0
6DH00003	空調手元盤		1,000	面	1,000	100,000	0	0

- 3) [再計算]ボタンをクリックすると、[単価]に結果が反映されます。
(複合単価を登録している場合は、[複合単価]にも反映されます。)

コード	名称	規格・仕様	数量	単価	金額	採用単価	採用金額
6DH 00001	引込開閉器盤	S-1	1.0000	350,000	350,000	350,000	350,000
6DH 00002	電灯盤	L-1	1.0000	550,000	550,000	550,000	550,000
6DH 00003	空調手元盤		1.0000	100,000	100,000	100,000	100,000

基礎単価コード: 6DH00001 複単有無: 有 単価種別: 1.一般工事(A)

名称: 引込開閉器盤
規格・仕様: S-1
単位: 面 数量: 1.0000 率: 1.0000
単価: 350,000 1.円止め

複合単価(Ctr+H): 7DH00001 複合単価: 350,000
当初見積単価: 350,000 変更前見積: 378,000 変更後見積: 389,000



コード	名称	規格・仕様	数量	単価	金額	採用単価	採用金額
6DH 00001	引込開閉器盤	S-1	1.0000	369,444	369,444	350,000	350,000
6DH 00002	電灯盤	L-1	1.0000	550,000	550,000	550,000	550,000
6DH 00003	空調手元盤		1.0000	100,000	100,000	100,000	100,000

基礎単価コード: 6DH00001 複単有無: 有 単価種別: 1.一般工事(A)

名称: 引込開閉器盤
規格・仕様: S-1
単位: 面 数量: 1.0000 率: 1.0000
単価: 369,444 1.円止め

複合単価(Ctr+H): 7DH00001 複合単価: 0

当初見積単価: 350,000 変更前見積: 378,000 変更後見積: 389,000

※ 複合単価登録時は金額が表示されます

【計算】

当初見積単価をA、変更前見積をB1、変更後見積をB2、率(査定率)をKとすると、
変更後の単価 = $(B2 - B1) \times K \times \frac{A}{B1} + A \times K$
※上記下線部の $\frac{A}{B1}$ の値が1を超える場合は1として計算する。

- 3) [更新(計算)]ボタンをクリックするとデータに反映されます。

コード	名称	規格・仕様	数量	単価	金額	採用単価	採用金額
6DH 00001	引込開閉器盤	S-1	1.0000	369,444	369,444	350,000	350,000
6DH 00002	電灯盤	L-1	1.0000	550,000	550,000	550,000	550,000
6DH 00003	空調手元盤		1.0000	100,000	100,000	100,000	100,000

基礎単価コード: 6DH00001 複単有無: 有 単価種別: 1.一般工事(A)

名称: 引込開閉器盤
規格・仕様: S-1
単位: 面 数量: 1.0000 率: 1.0000
単価: 369,444 1.円止め

複合単価(Ctr+H): 7DH00001 複合単価: 0

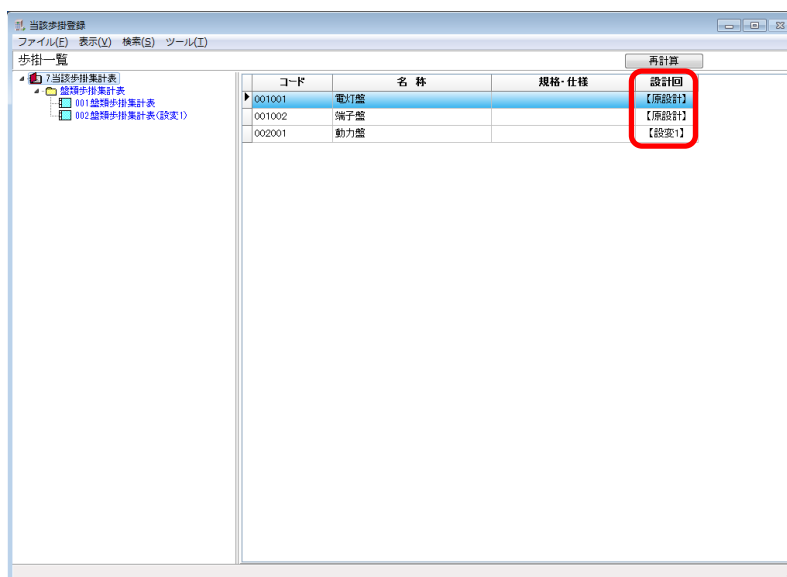
当初見積単価: 350,000 変更前見積: 378,000 変更後見積: 389,000

4

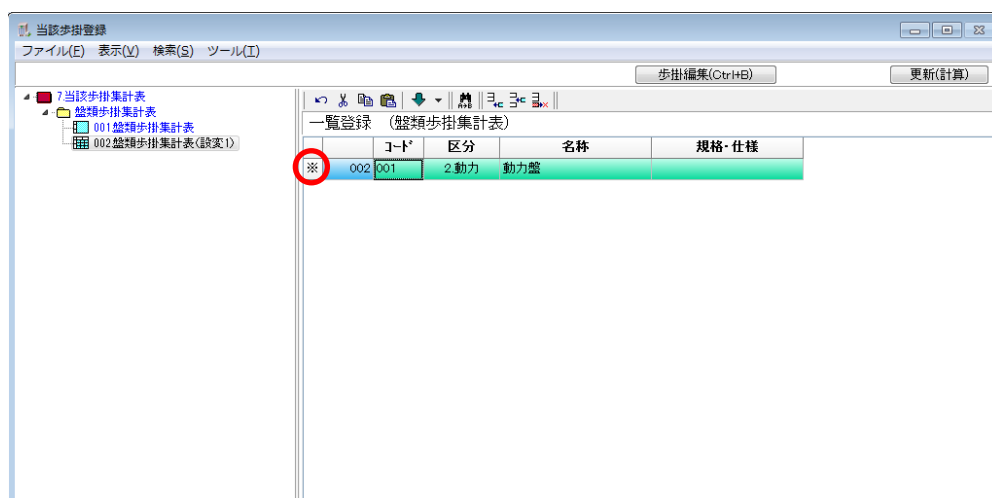
当該歩掛集計表登録・再計算【設計変更】

1 設計変更時の当該歩掛集計表登録

- 1) メインメニューの[4.歩掛集計表]→[1.歩掛集計表登録・再計算]をダブルクリックすると、当該歩掛登録画面が表示されます。
- 2) 該当する階層下に、設計変更歩掛登録用のシートを作成して下さい。
 ※ここでの操作は、原設計時の歩掛作成方法と同様です。
 ※原設計(前設計)時に作成したフォルダー・シートの名称の変更・削除はできません。
 ※原設計(前設計)時に作成したシートに単価コードの追加登録は出来ません。別のシートを新規作成し、作成したシートに単価コードの追加を行う運用とします。



- ※上画面は、標準代価登録で、設計変更用単価シートとして「盤類歩掛集計表」フォルダー内に新しく002の固定コードの歩掛シートを作成し、歩掛を登録した状態です。
- ※歩掛一覧表示部の右端(枠囲み部分)に、作成された原設計・変更回が表示されます。
- ※現在の設計変更よりも前の設計回に登録された歩掛は名称などの変更は出来ませんが、歩掛の明細は変更出来ます(次項の「歩掛の設変」を参照)。なお、フォルダー・シートのコピーは可能です。
- ※コード番号が重複しないように、ご注意ください。
- ※現設計で追加または代価の設変をした歩掛については、代価一覧登録表示の単価コードの左のグレーの固定表示部分に「※」が表示されます。



2 歩掛の設定

歩掛の設定とは、現在の設計変更よりも前の設計回に登録された盤類歩掛集計表の積み上げ明細情報を編集する機能です。

- 1) 現在の設計変更よりも前の設計回に登録済みの編集対象の盤類歩掛集計表の積み上げ明細情報を表示して下さい。

コード	名称	規格	歩掛	数量	交	電工
341201	電灯盤	MCB.ELB 1P30A	0.2210	0.0000	0.0000	
341202	電灯盤	MCB.ELB 1P60A	0.3120	0.0000	0.0000	
341203	電灯盤	MCB.ELB 2P30A	0.2740	0.0000	0.0000	
341204	電灯盤	MCB.ELB 2P60A	0.3900	0.0000	0.0000	
341205	電灯盤	MCB.ELB 2P100A	0.5360	0.0000	0.0000	
341206	電灯盤	MCB.ELB 2P225A(200)	0.7510	0.0000	0.0000	
341208	電灯盤	MCB.ELB 3P30A	0.3970	0.0000	0.0000	
341209	電灯盤	MCB.ELB 3P60A	0.5680	1.0000	0.5680	
341210	電灯盤	MCB.ELB 3P100A	0.7180	1.0000	1.0000	0.7180
341211	電灯盤	MCB.ELB 3P225A(200)	1.0500	0.0000	0.0000	
341212	電灯盤	MCB.ELB 3P400A(300)	1.2700	0.0000	0.0000	
341221	電灯盤	協約形1種サイズ 2P30A	0.2100	0.0000	0.0000	
343101	その他盤類	学校電灯放送端子盤	0.3100	0.0000	0.0000	
合計				1.2890	修正後	1.2890

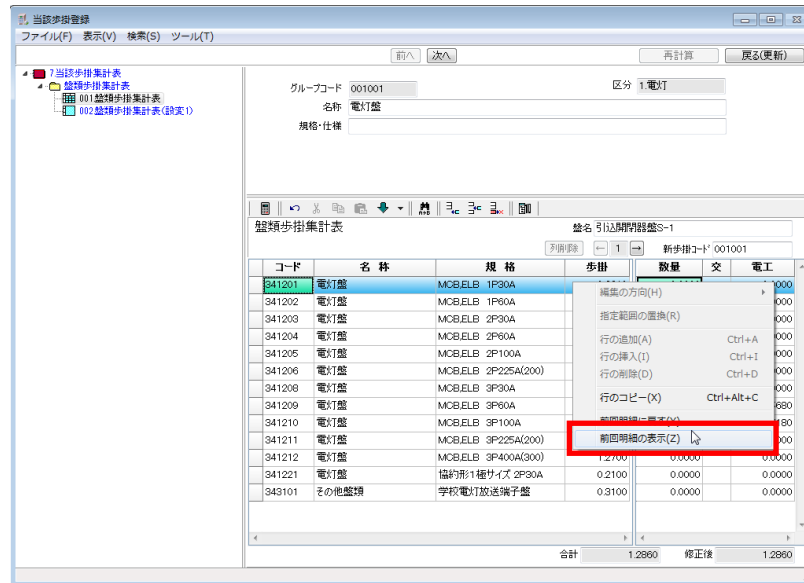
- 2) 表部分で右クリック→[代価の設定(Z)]をクリックすると、盤類歩掛集計表の積み上げ明細情報が編集可能な状態になります。編集方法は原設計の時と同じです。

コード	名称	規格	歩掛	数量	交	電工
341201	電灯盤	MCB.ELB 1P30A	0.2210	0.0000	0.0000	
341202	電灯盤	MCB.ELB 1P60A	0.3120	0.0000	0.0000	
341203	電灯盤	MCB.ELB 2P30A	0.2740	0.0000	0.0000	
341204	電灯盤	MCB.ELB 2P60A	0.3900	0.0000	0.0000	
341205	電灯盤	MCB.ELB 2P100A	0.5360	0.0000	0.0000	
341206	電灯盤	MCB.ELB 2P225A(200)	0.7510	0.0000	0.0000	
341208	電灯盤	MCB.ELB 3P30A	0.3970	0.0000	0.0000	
341209	電灯盤	MCB.ELB 3P60A	0.5680	1.0000	0.5680	
341210	電灯盤	MCB.ELB 3P100A	0.7180	1.0000	1.0000	0.7180
341211	電灯盤	MCB.ELB 3P225A(200)	1.0500	0.0000	0.0000	
341212	電灯盤	MCB.ELB 3P400A(300)	1.2700	0.0000	0.0000	
341221	電灯盤	協約形1種サイズ 2P30A	0.2100	0.0000	0.0000	
343101	その他盤類	学校電灯放送端子盤	0.3100	0.0000	0.0000	
合計				1.2890	修正後	1.2890



コード	名称	規格	歩掛	数量	交	電工
341201	電灯盤	MCB.ELB 1P30A	0.2210	0.0000	0.0000	
341202	電灯盤	MCB.ELB 1P60A	0.3120	0.0000	0.0000	
341203	電灯盤	MCB.ELB 2P30A	0.2740	0.0000	0.0000	
341204	電灯盤	MCB.ELB 2P60A	0.3900	0.0000	0.0000	
341205	電灯盤	MCB.ELB 2P100A	0.5360	0.0000	0.0000	
341206	電灯盤	MCB.ELB 2P225A(200)	0.7510	0.0000	0.0000	
341208	電灯盤	MCB.ELB 3P30A	0.3970	0.0000	0.0000	
341209	電灯盤	MCB.ELB 3P60A	0.5680	1.0000	0.5680	
341210	電灯盤	MCB.ELB 3P100A	0.7180	1.0000	1.0000	0.7180
341211	電灯盤	MCB.ELB 3P225A(200)	1.0500	0.0000	0.0000	
341212	電灯盤	MCB.ELB 3P400A(300)	1.2700	0.0000	0.0000	
341221	電灯盤	協約形1種サイズ 2P30A	0.2100	0.0000	0.0000	
343101	その他盤類	学校電灯放送端子盤	0.3100	0.0000	0.0000	
合計				1.2890	修正後	1.2890

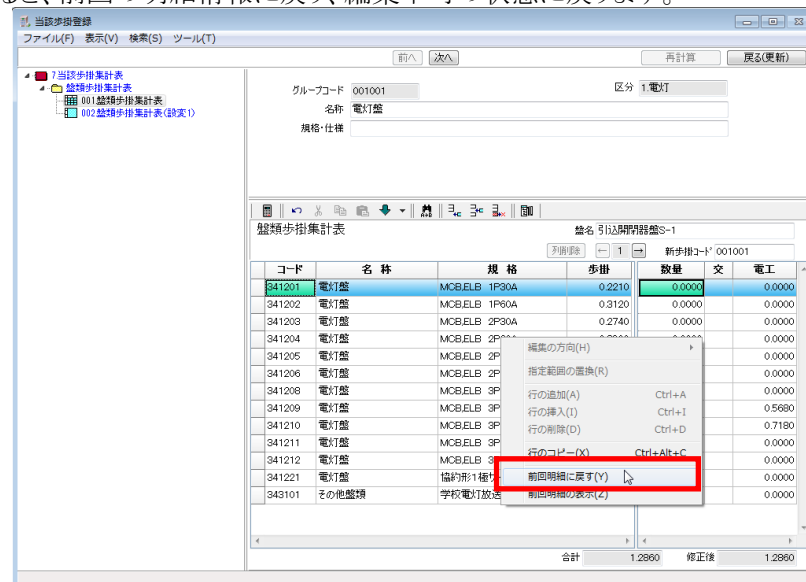
※ 前回の明細情報を表示したい場合は、表部分で右クリック→[前回明細の表示(Z)]をクリックすると、前回の明細情報が別画面で表示されます。



前回明細表示画面

コード	名称	規格	歩掛	数量	交	電工
341201	電灯盤	MCB.ELB 1P30A	0.2210	0.0000	0.0000	0.0000
341202	電灯盤	MCB.ELB 1P60A	0.3120	0.0000	0.0000	0.0000
341203	電灯盤	MCB.ELB 2P30A	0.2740	0.0000	0.0000	0.0000
341204	電灯盤	MCB.ELB 2P60A	0.3900	0.0000	0.0000	0.0000
341205	電灯盤	MCB.ELB 2P100A	0.5360	0.0000	0.0000	0.0000
341206	電灯盤	MCB.ELB 2P225A(200)	0.7510	0.0000	0.0000	0.0000
341208	電灯盤	MCB.ELB 3P30A	0.3970	0.0000	0.0000	0.0000
341209	電灯盤	MCB.ELB 3P60A	0.5680	1.0000	0.5680	0.0000

※ 前回の明細情報に戻りたい場合は、表部分で右クリック→[前回明細に戻す(Y)]をクリックすると、前回の明細情報に戻り、編集不可の状態に戻ります。



コード	名称	規格	歩掛	数量	交	電工
341201	電灯盤	MCB.ELB 1P30A	0.2210	0.0000	0.0000	0.0000
341202	電灯盤	MCB.ELB 1P60A	0.3120	0.0000	0.0000	0.0000
341203	電灯盤	MCB.ELB 2P30A	0.2740	0.0000	0.0000	0.0000
341204	電灯盤	MCB.ELB 2P60A	0.3900	0.0000	0.0000	0.0000
341205	電灯盤	MCB.ELB 2P100A	0.5360	0.0000	0.0000	0.0000
341206	電灯盤	MCB.ELB 2P225A(200)	0.7510	0.0000	0.0000	0.0000
341208	電灯盤	MCB.ELB 3P30A	0.3970	0.0000	0.0000	0.0000
341209	電灯盤	MCB.ELB 3P60A	0.5680	1.0000	0.5680	0.0000
341210	電灯盤	MCB.ELB 3P100A	0.7180	1.0000	0.7180	0.0000
341211	電灯盤	MCB.ELB 3P225A(200)	1.0500	0.0000	0.0000	0.0000
341212	電灯盤	MCB.ELB 3P400A(300)	1.2700	0.0000	0.0000	0.0000
341221	電灯盤	協約形1種サイズ 2P30A	0.2100	0.0000	0.0000	0.0000
343101	その他盤類	学校電灯放送端子盤	0.3100	0.0000	0.0000	0.0000
合計				1.2890	修正後	1.2890

5 標準代価(8 頭コート)・複合単価 (9 頭コート) 登録・再計算【設計変更】

1 設計変更時の標準代価登録

- 1) メインメニューの[5.標準代価作成]→[1.標準代価登録・再計算]をダブルクリックすると、当該標準代価登録画面が表示されます。
- 2) 該当する階層下に、設計変更単価登録用のシートを作成して下さい。
 ※ここでの操作は、原設計時の代価作成方法と同様です。
 ※原設計(前設計)時に作成したフォルダー・シートの名称の変更・削除はできません。
 ※原設計(前設計)時に作成したシートに単価コードの追加登録は出来ません。別のシートを新規作成し、作成したシートに単価コードの追加を行う運用とします。

コード	名称	規格・仕様	単位	単価	摘要1	摘要2	複単有無	複単コード	複合単価	設計回
BDA00001	組み合わせスイッチ	1P15A×3, 1P15ALED	個	4,470						【原設計】
BK100001	土工事(幹線)		式	83,900			無			【原設計】
BK300001	搬入費	受変電設備	式	10,300			無			【原設計】
BK300002	はつり工事		式	9,640			無			【原設計】
BK400001	撤去費(電灯設備)		式	6,240			無			【原設計】
BK400002	基礎工事		基	142,000			無			【原設計】
BE300003	レースウェイ	40×30	式	0			無			【原設計】
BE200001	マルチモール		式	5,030			無			【原設計】
BE200001	ライティングダクト(リアラコン)		式	0			無			【原設計】
BE230001	フロアダクト	FC-6(1ダクト)	式	0			無			【原設計】
BE300001	ケーブルラック		個	0			無			【原設計】
BE400001	配管支持材		式	0			無			【原設計】
B0000001	埋込型スイッチ	1P15A+1P15A(LN)	個	3,220			無			【原設計】
B000002	接地工事費用		式	45,538			有	900002	57,300	【原設計】
B100001	コンセント	2P15A(E付)×2 引掛型	個	640			有	9100001	2,360	【設変1】

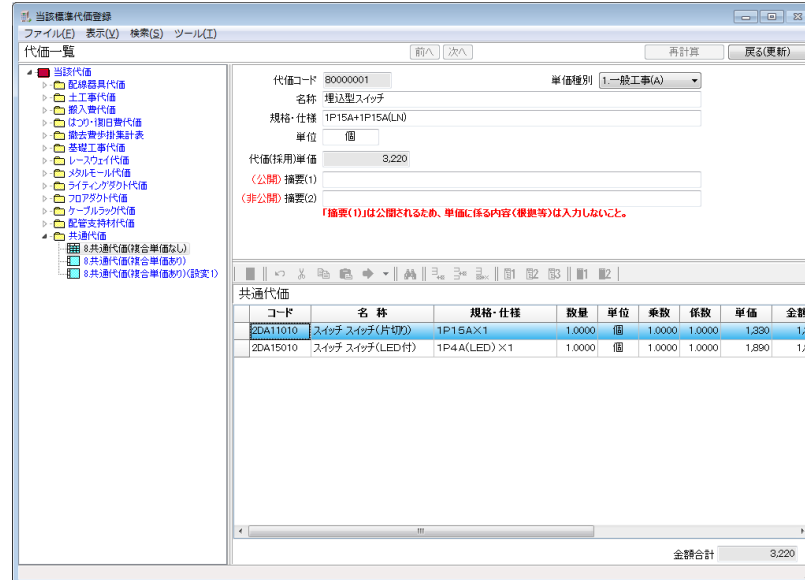
- ※ 上画面は、標準代価登録で、設計変更用単価シートとして「共通代価」フォルダー内に新しく「共通代価(複合単価あり)(設変 1)」の単価シートを作成し、単価を登録した状態です。
- ※ 単価一覧表示部の右端(枠囲み部分)に、作成された原設計・変更回が表示されます。
- ※ 現在の設計変更よりも前の設計回に登録された代価は名称などの変更は出来ませんが、代価の明細は変更出来ます(次項の「代価の設変」を参照)。なお、フォルダー・シートのコピーは可能です。
- ※ コード番号が重複しないように、ご注意ください。
- ※ 現設計で追加または代価の設変をした代価については、代価一覧登録表示の単価コードの左のグレーの固定表示部分に「※」が表示されます。

設計回	コード	単価種別	名称	規格・仕様	単位	金額	摘要1
※	8100001	1-一般工事(A)	コンセント	2P15A(E付)×2 引掛型	個	640	

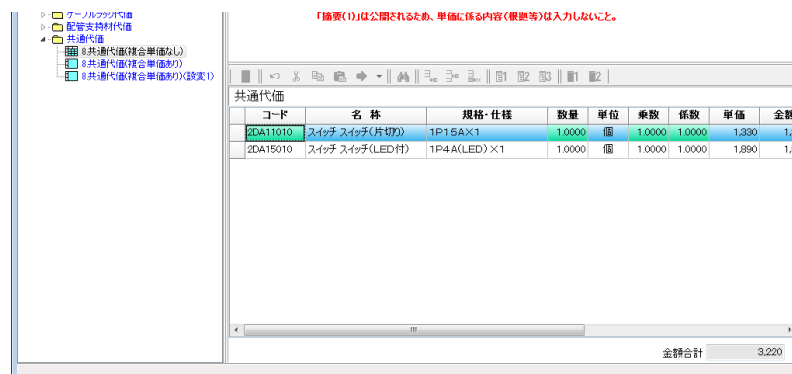
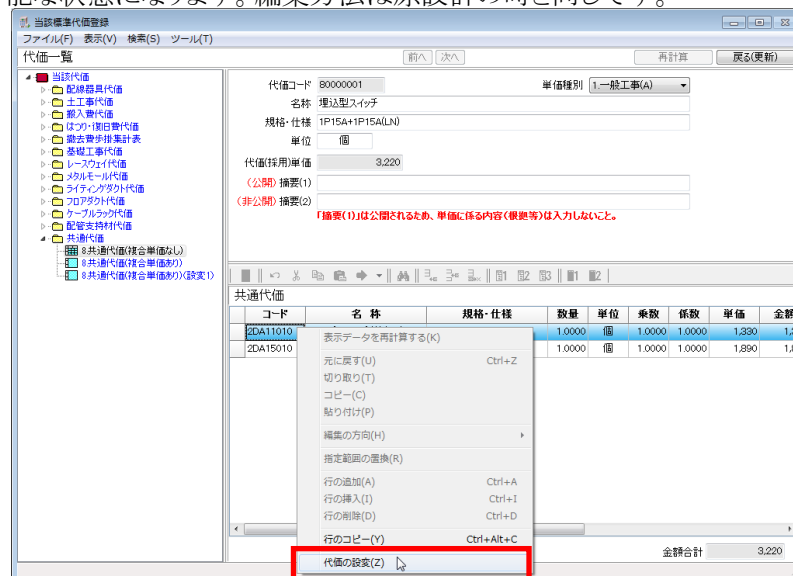
2 代価の設変

代価の設変とは、現在の設計変更よりも前の設計回に登録された代価の積み上げ明細情報を編集する機能です。本項では共通代価表で解説しますが、他の代価表も操作方法は同様です。

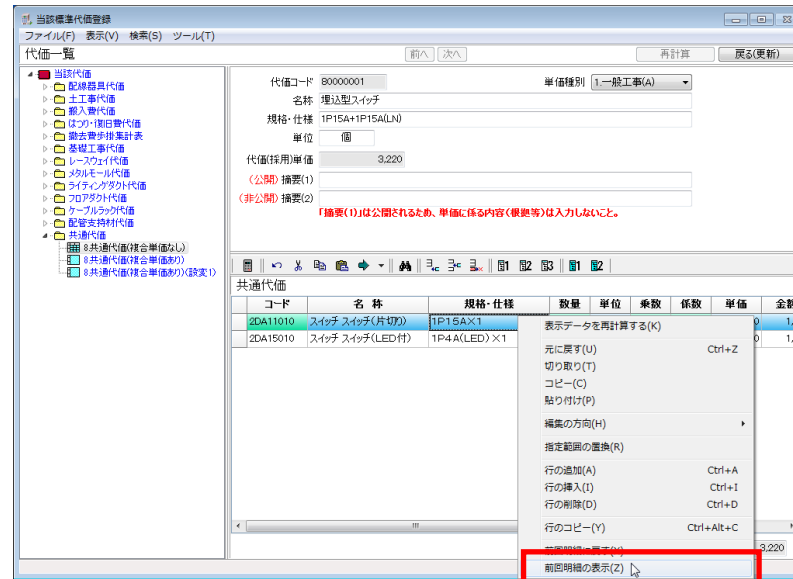
- 1) 現在の設計変更よりも前の設計回に登録済みの編集対象の代価の積み上げ明細情報を表示して下さい。



- 2) 表部分で右クリック→[代価の設変(Z)]をクリックすると、代価の積み上げ明細情報が編集可能な状態になります。編集方法は原設計の時と同じです。



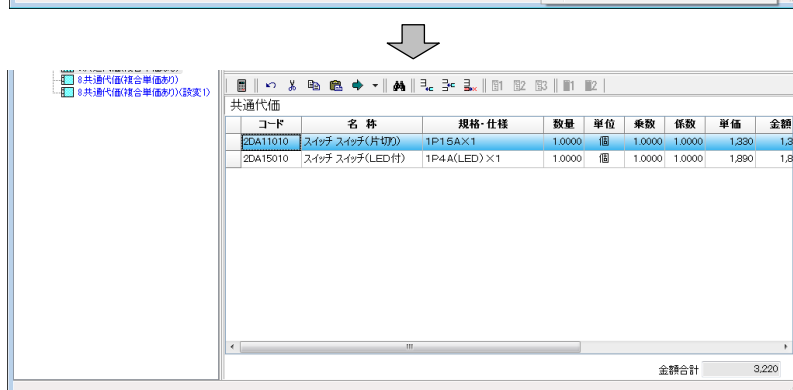
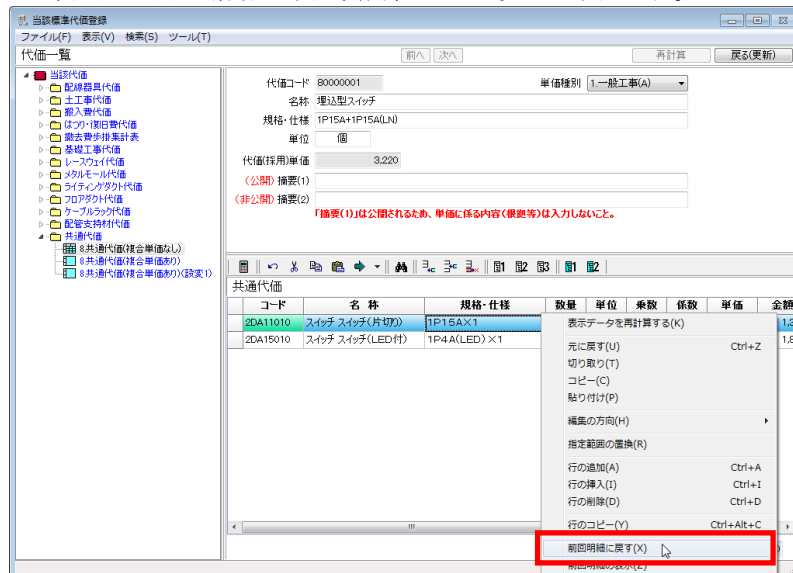
※ 前回の明細情報を表示したい場合は、表部分で右クリック→[前回明細の表示(Z)]をクリックすると、前回の明細情報が別画面で表示されます。



前回明細表示画面



※ 前回の明細情報に戻りたい場合は、表部分で右クリック→[前回明細に戻す(Y)]をクリックすると、前回の明細情報に戻り、編集不可の状態に戻ります。



6 共通費～内訳明細入力

1 設計変更時の共通費の入力

1) メインメニューの[6.内訳書の作成]→[1.共通費の入力]をダブルクリックすると、共通費の入力画面が表示されます。

※ここでの操作は、原設計時の共通費の入力と同様です。操作方法については、共通費の入力〈本書P121〉を参照して下さい。

2) 必要に応じて、[02. 共通仮設費(積上げ)]・[03. 現場仮設費]・[04. 一般仮設費]シートを開き、単価の追加及び数量の増減を行って下さい。

該当するシートをダブルクリックすると、積上げ明細編集表示となります。

原設計		増減		設計変更(1)	
単価	数量	単価	数量	単価	数量
217,350	2,000	0,000	0	217,350	2,000
43,470	2,000	86,940	2,000	43,470	2,000

・原設計時の単価:0
・設計変更にて追加された単価:1~12

※増減数量 又は、変更後数量に 該当数量を入力してください。

※ 神戸市版環境では、共通仮設工事費積上げによる明細、現場・一般管理費積上げによる明細入力時の随時計算の際、各明細行の設計変更後の単価・金額が0円以下または100万円以上となる場合はセルの色が黄色になり、太文字になります。

設計変更(1)			増減		設計変更(2)		
単価	数量	金額	数量	金額	単価	数量	金額
380	30,000	11,400	-30,000	-11,400	380	0,000	0
1,410	25,000	35,250	0,000	0	1,410	25,000	35,250
74,600	5,000	373,000	0,000	0	74,600	5,000	373,000
600	24,000	14,400	0,000	0	600	24,000	14,400
12,000	1,000	12,000	0,000	0	12,000	1,000	12,000
			0,000	0	0	0,000	0
			1,000	1,000,000	1,000,000	1,000	1,000,000

※【参考】設備積算では使用しない設計変更時の項目

※ 項目は、行の右末尾にあります。

増減	設計変更(1)		摘要1(公開・単価根拠は)	摘要2(非公開)	工種	単価種別	専 G 係 新 %	
数量	金額	単価	数量	金額				
0	0,000	0	217,350	2,000	434,700	1.新営	1.一般工事(A)	0 1 0
1	2,000	86,940	43,470	2,000	86,940	1.新営	1.一般工事(A)	0 1 0

※【新】：新単価フラグ(0:落札率を乗じる、1:乗じない)

- ・設計変更時に追加された単価の初期値は「0」(落札率を乗じる)となります。
- ・落札率を乗じない単価に設定した行がある場合の請負増減額の算出根拠の確認が必要な場合は、請負金額算出根拠表〈本書:P155 参照〉を出力の上確認します。

※【%】：単位が%の引き込み単価及び計算コードの「直接仮設工事費」の再計算の有無(1:する、0:しない)
・それ以外の単価は空白表示となります。

2 設計変更時の内訳明細入力

- 1) メインメニュー[5.内訳書の作成]→[4.内訳書入力・再計算]をダブルクリックし、内訳書の入力・再計算画面を表示して下さい。
※ ここでの操作は、原設計時と同様です。操作方法については、内訳書の入力・再計算（本書 P125～）を参照して下さい。
- 2) 必要に応じて、フォルダー及びシートを追加して下さい。
- 3) 必要に応じて、各項目（科目・中科目）シートを開き、単価の追加及び数量の増減を行って下さい。

該当する項目（科目・中科目）シートをダブルクリックすると、内訳明細編集画面になります。

原設計		増減		設計変更(1)	
単価	数量	単価	数量	単価	数量
0	3,000	0.0000	0	12,600	3,000
0	1,000	0.0000	0	101,000	1,000
0	1,000	0.0000	0	23,200	1,000
0	1,000	0.0000	0	83,900	1,000
1	1,000	1.0000	1,000	18,500	1,000

- ・原設計時の単価:0
- ・設計変更にて追加された単価:1~12

※増減数量 又は、変更後数量に 該当数量を入力してください。

- ※ [従工事]シートについては、[変更後単価]項目に設計変更後の金額を入力し、増減を行って下さい。
- ※ 神戸市版環境では、内訳明細入力時の随時計算の際、設計変更後の単価・金額が0円以下または100万円以上となる場合はセルの色が黄色になり、太文字になります（従工事シートを除く）。

設計変更(1)			増減		設計変更(2)		
単価	数量	金額	数量	金額	単価	数量	金額
380	30,000	11,400	-30,000	-11,400	380	0.0000	0
1,410	25,000	35,250	0.0000	0	1,410	25,000	35,250
74,600	5,000	373,000	0.0000	0	74,600	5,000	373,000
600	24,000	14,400	0.0000	0	600	24,000	14,400
12,000	1,000	12,000	0.0000	0	12,000	1,000	12,000
			0.0000	0	0	0.0000	0
			1,000	1,000,000	1,000,000	1,000	1,000,000

- ※【参考】設備積算では使用しない設計変更時の項目
- ※ 項目は、行の右末尾にあります。

増減		設計変更(1)		設計変更(2)		新		%	
数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	新	%
0	0.0000	0	12,600	3,000	37,800	0	0.0000	1	0
0	0.0000	0	101,000	1,000	101,000	0	0.0000	1	0
0	0.0000	0	23,200	1,000	23,200	0	0.0000	1	0
0	0.0000	0	83,900	1,000	83,900	0	0.0000	1	0
1	1,000	18,500	1,000	18,500	1,000	1,000	18,500	1	0

- ※【新】：新単価フラグ(0:落札率を乗じる、1:乗じない)
 - ・設計変更時に追加された単価の初期値は「0」(落札率を乗じる)となります。
 - ・落札率を乗じない単価に設定した行がある場合の請負増減額の算出根拠の確認が必要な場合は、請負金額算出根拠表(＜本書 P155 参照＞)を出力の上確認します。
- ※【%】：単位が%の引き込み単価及び計算コードの「直接仮設工事費」の再計算の有無(1:する、0:しない)
 - ・それ以外の単価は空白表示となります。

9

FAQ(よくある質問と回答)

1

本取扱説明書について

- Q1** 本取扱説明書は金入りで表示されていますが、設計事務所等にそのままの状態ですぐ貸し出しても問題無いか？
- A** 擬似単価を使用して計算し、非公開事項は省略していますので、設計事務所等にそのままの状態ですぐ貸し出しが可能です。なお、同じ設計事務所等に入力を委託する場合でも、積算システムを初めて利用される方が入力作業をされる場合もありますので、必ず貸し出して下さい。
- Q2** 本取扱説明書を複数部頂きたい(設計事務所等に貸し出し頂きたい)。
- A** 技術管理委員会事務局(設計事務所等の方は神戸市設計担当者)へ御相談下さい。

2

セットアップ・アンインストールについて

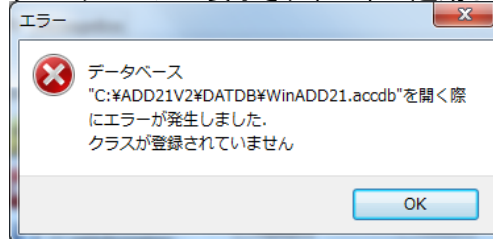
- Q3** 設計事務所等にセットアップ CD-ROM を貸し出すが枚数が不足している。各所属で複製してもよいのか？
- A** 作業方法により正常に複製が出来ない場合がありますので、必ず技術管理委員会事務局から配布されたものを使用して下さい。枚数が不足する場合は、技術管理委員会事務局にご相談下さい。
- Q4** セットアップ CD-ROM をドライブに挿入したが、積算システムインストールメニューが起動しない。
- A** リムーバブルメディア(CDドライブ含む)の自動再生機能が無効になっている場合、インストールメニューは自動的に表示されません。その場合は、エクスプローラーで CD ドライブを開き、「SETADD21.exe」をダブルクリックして実行して下さい。〈本書 P2 参照〉。
- Q5** セットアップ CD-ROM が正しく読み込めない。または、セットアップ中にデータが読み込めない旨のエラーメッセージが表示される。
- A** 信号面に汚れがある場合は傷の付きにくい柔らかい布等で拭き取って下さい。なお、大きな傷が付いたものは正常に使用できません。また、まれに正常にデータが記録できていないセットアップ CD-ROM が混在していた可能性もあります。その際は、技術管理委員会事務局にご相談下さい。
※セットアップ CD-ROM は、信号面に傷や指紋等の汚れを付けないよう丁寧に取り扱いして下さい。
- Q6** 本システムのバージョンアップ方法は？
- A** 新バージョンのセットアップ CD-ROM にて上書きインストールして下さい。
- Q7** バージョンアップや上書きインストールすると、既存の内訳書ファイルは消えないか？
- A** 消えません。そのままの状態が残ります。
- Q8** 削除の手順〈本書 P12 参照〉に従い、コントロールパネルの項目から本システムをアンインストール(削除)したのみの場合は、既存の内訳書ファイルは消えないか？
- A** 消えません。完全削除が必要な場合は、本システムのインストール先フォルダーを削除して下さい。〈本書 P13 参照〉。

Q9 神戸市認証版で運用するつもりだが、誤って「設計事務所版で運用」ボタンをクリックしてしまったため、設計事務所版となってしまった。上書きインストールしても変わらない。

A 削除の手順〈本書 P12 参照〉に従い、コントロールパネルの項目から本システムをアンインストール（削除）し、本システムを再インストールして下さい。

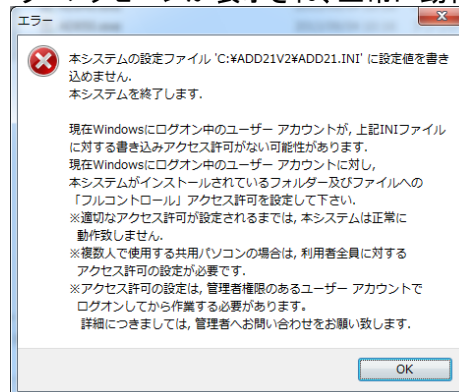
3 セットアップ後、正常起動しない場合について

Q10 下のようなエラーメッセージが表示され、正常に起動しない。



A Microsoft Access データベースエンジンのインストールを行って下さい〈本書 P10 参照〉。

Q11 下記のようなエラーメッセージが表示され、正常に動作しない。



A 本システムのインストール先フォルダーまたは本システムで使用するファイルに対して書き込み（更新）を行うアクセス権限がない可能性が考えられます。（統合管理システムによる影響や標準ユーザーに対するアクセス制限が設定されている可能性があります。）本システムのインストール先は、本システムを利用される（Windows 側の）ユーザーに対してフルコントロールのアクセス許可が必要です。詳細につきましては、システム管理者の方にお問い合わせ下さい。

Q12 64 ビット版の Windows 7 環境で動作しているのに、64 ビット版の Microsoft Office には対応していないのはなぜか？

A 本システム自体が 32 ビット版であるため、64 ビット版の Microsoft Office とはビット数の違いにより命令や動作の相互連携ができないためです。
※動作環境について〈本書 P1 参照〉

Q13 Microsoft Virtual PC・VMware・Apple Boot Camp 等の仮想マシン環境にインストールしてで実行したが、若干動作が不安定なように思われる。また、Macintosh 用マウスに右クリックボタンがないため、右クリック操作が出来ない。

A 動作確認を実施していないため、動作は保証しません。なお、現状、仮想マシン環境への対応予定はありません。

Q14 動作が不安定である。

A 何らかの原因で一時的に動作が不安定になっている可能性があります。一旦積算システムを終了後、コンピュータを再起動して動作確認をお願いします。なお、それでもなお不安定な場合は、本システムを上書きインストールして、動作確認をお願いします。

4 **本システムの操作に関する内容について**

Q15 複数人で別々の内訳書ファイルで入力したデータを1つの内訳書ファイルに併合することは可能か？

A 複数人で入力完了後、パターンコピー機能<本書 P32 参照>を使用し、代表となる内訳書ファイルにデータをパターンコピーして下さい。

Q16 既存の内訳書ファイルの内容を利用して、他の工事の内訳書を入力したい。

A 方法1:名前をつけて保存<本書 P42 参照>により別ファイル名で保存し、新たに作成されたファイルを変更して下さい。

方法2:パターンコピー機能<本書 P32 参照>を使用し、既存の内訳書ファイルの内容をパターンコピーして下さい。

Q17 本システムは設計数量拾い出し機能はあるか？

A ありません。別途 Excel や手作業にて数量拾い出し作業を行い、その結果を本システムに入力して下さい。

Q17 フォルダーまたはシートを新規作成すると、その階層の最下の位置に作成されたので、並びを修正したい。

A 「フォルダー、シートの移動」の手順により並びを修正して下さい<本書 P24 参照>。

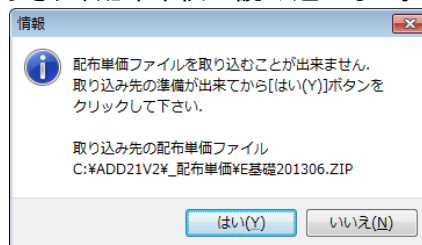
Q18 「端数処理」項目の設定値とその結果について知りたい。
※「2.有効3桁」・「3.有効3桁(0)」・「6.有効3桁(6)」の処理の違いは？

A 「端数処理について」<本書 P30 参照>を確認して下さい。

Q19 単価コードのルールや配布単価のファイル名について知りたい。

A 「単価コードについて」<本書 P28 参照>を確認して下さい。

Q20 下記のメッセージが表示され、配布単価が読み込めない。



A 使用単価ファイルの設定及び配布単価ファイルの読み込み先フォルダーを確認して下さい<本書 P58～参照>。

Q21 代価や内訳書で、「上行の〇%」・「あるグループの合計の〇%」というような計算をしたい。

A 「内訳明細・代価の計算コードについて」<本書 P29 参照>を確認して下さい。

- Q22** 印刷帳票のフッターに印字される部課名を変更したい。
- A** 「環境設定(基本設定)」<本書 P38 参照>にて変更して下さい。
- Q23** 本システムのインストール先・内訳書の保存先・使用単価の設定値で、「:」「¥」記号やフォルダー名などの文字列は何を意味しているか？(例 C:¥ADD21V2¥ 配布単価¥E 標準 201306.zip)
- A** 上記例の場合、「:」記号の前の“C”はドライブ名、「¥」記号はフォルダーの階層の区切りを意味します。なお、最後の「¥」記号の後はファイル名になります。つまり、Cドライブ内の“ADD21V2”フォルダー内の“_配布単価”フォルダーに格納されている“E標準201306.zip”というファイルという意味になります。このような表現を、フォルダーやファイルが存在する場所までの「パス文字列」と称されます。
- Q24** 設計書(甲表)の査印欄及びその他の項目を所属独自の様式に変更したい。
- A** Excel 編集にて変更して下さい(シートの保護を解除しないと操作できない部分もあります)。なお、計算式が設定されているセルは変更すると元に戻すことができませんので注意して下さい。
- Q25** (神戸市環境のみ)金抜きフラグ情報を消したい(不要なのに「金抜き内訳書です。…」と表示される)。
- A** 名前をつけて保存<本書 P42 参照>により同じファイル名で保存すると金抜きフラグ情報が解除されます。
※誤って金入れ処理が必要な内訳書ファイルに対して上記処理を行わないように注意して下さい。
- Q26** 確定処理済の内訳書を編集したい。
- A** 名前をつけて保存<本書 P42 参照>により別ファイル名で保存すると確定処理済情報が解除されます。別ファイル名で保存した側のファイルを編集して下さい。
※誤って同じファイル名で上書き保存を行わないように注意して下さい。
- Q27** 単価・代価登録画面や内訳明細の入力画面等、表形式の入力部で、同じ値で数量等を入力したい。
- A** 一覧入力時のツールバーのボタンまたはポップアップメニューのコピー(Ctrl+C)→貼り付け(Ctrl+V)で入力して下さい<本書 P27 参照>。
- Q28** 内訳書の項目及び明細が多い大規模な工事を作業する際、内訳明細の入力を終えた後に項目へ戻る際、動きが非常に遅い。
- A** その内訳書ファイルを作業時のみ、「環境設定(基本設定)」<本書 P38 参照>にて、一時的に【内訳書の計算方法】を[手動]に設定して下さい(作業後、[自動]に戻して下さい。)
- Q29** 内訳明細を変更後、内訳書の再計算を未実施の状態共通費の入力画面を開くと、表示される金額が正しくないように思われる。
- A** 内訳書の再計算を行わないと正しい金額が表示されません。

補足

1

補足事項

平成 22 年度積算基準改定に伴う積算システム変更点 (Ver.β 1.50 以降)

《変更概要》

平成 22 年 6 月に、神戸市建築・設備工事の積算基準が改定され、これに伴い本システムの更新を行う。

(建築工事、電気設備工事、機械設備工事、昇降機設備工事のうち複数の工事を、同一工事で一括発注する場合の共通費計算方法が変更された。)

【バージョン 2.10 以降に対応する積算基準について】(補足 1~補足 3 を併せて参照)

(1) 新規に内訳書を作成する。

この場合、全て平成 29 年度以降の積算基準を適用したものとなる。

※ バージョン 2.10 以降は平成 29 年度以降積算基準を適用したものとなる。

→【新規作成時におけるバージョン 2.10 以前との変更部分】(補 3-1 参照)

(2) β 1.46 以前(積算基準 H21 年以前版)に作成された内訳書ファイルを、従来通りのまま β 1.46 以前の基準で編集・計算する。 ※ (3) の作業をしない限り、基準更新はしない。(設計変更する場合は、確定処理された原設計の基準にて継続して適用される。)

→【H21 以前積算基準を継続適用する場合の表示追加】(補 1-4 参照)

(3) β 1.46 以前(積算基準 H21 年以前版)にて作成された内訳書ファイルを、平成 22~23 年度以降の積算基準に適用するため、更新する。

→【H22~23 年度積算基準へ更新する手順】(補 1-5 参照)

【新規作成時における β 1.46 以前との変更部分】

(1) 建築工事、電気設備工事、機械設備工事、昇降機設備工事のうち複数の工事を、同一工事で一括発注する場合における、各工事の呼称を下記の通りとする。

平成 21 年度積算基準以前 (β 1.46 以前)		平成 22 年度積算基準以降 (β 1.50 以降)
主体工事 (元請工事)	→	主工事 (主たる工事) ※発注時の工事種別
下請工事	→	従工事

これに伴い、工事概要の入力画面(「【工事】」項目)は下図の通り変更となる。

(入力手順は変更なし。)

β 1.50 以降にて、新規作成する場合の「2. 内訳書の仕様設定」>「3. 工事概要の入力・印刷」画面

※【工事】を「2. 従工事」に設定した場合は、共通費の「一般管理費等」の金額は計算されません。

平成 22 年度以降の積算基準では、「主工事」・「従工事」が表示される

(2) 従工事の入力方法の変更 (β 1.46 までの、下請け工事の入力に該当)

平成 22 年度以降積算基準では、従工事ごとの、「直接工事費」「共通仮設費」「現場管理費」をそれぞれ任意入力する。(従来の下請け工事費では、「直接工事費+経費」の入力のみ行っていた。)

～従工事の入力方法～

① 「内訳書の入力」画面にて、「従工事」シートを作成する。

左側に表示されるツリービューで、追加(挿入)したい場所を選択し、右クリック→「新規作成(N)」→「従工事(X)」をクリックして下さい。

平成 22 年度以降の積算基準では、「従工事」の金額は「従工事」シートで入力する。

A	B	C	D	集計項目名(工事名)	金額	区分
00	00	00	00	工事費	9,271,000	
01	00	00	00	電気設備工事	4,090,800	
02	00	00	00	機械設備工事費	2,148,000	従工事(1新営)
***	***	***	***	(直接工事費の合計)	6,238,800	小計
				フォルダー(F)	309,500	共通仮設費按分(按分GP1)
				シート(S)	1,796,900	現場管理費按分(按分GP1)
					925,800	一般管理費等按分(按分GP1)

② 「工事区分」・「集計項目名(工事名)」を設定し、「OK」ボタンをクリックして下さい。
※建築工事の「新営+改修」工事の場合は、「工種」も選択して下さい。

このシートをロックする

工事グループ

③ 追加した従工事シート(または右側の「集計情報」該当する行)をダブルクリックして下さい。

A	B	C	D	集計項目名(工事名)	金額	区分
00	00	00	00	工事費	9,271,000	
01	00	00	00	電気設備工事	4,090,800	
02	00	00	00	建築工事費	0	従工事(1新営)
03	00	00	00	機械設備工事費	2,148,000	従工事(1新営)
***	***	***	***	(直接工事費の合計)	6,238,800	小計
04	00	00	00	共通仮設費	309,500	共通仮設費按分(按分GP1)
05	00	00	00	現場管理費	1,796,900	現場管理費按分(按分GP1)
06	00	00	00	一般管理費等	925,800	一般管理費等按分(按分GP1)

④ 従工事の担当者から提示された「直接工事費」・「共通仮設費」・「現場管理費」を該当する行の「単価」欄に入力し、「更新」ボタンをクリックして下さい。

※上から、従工事の「直接工事費」・「共通仮設費」・「現場管理費」の行が自動設定されます（行の追加・挿入・削除は出来ない）。

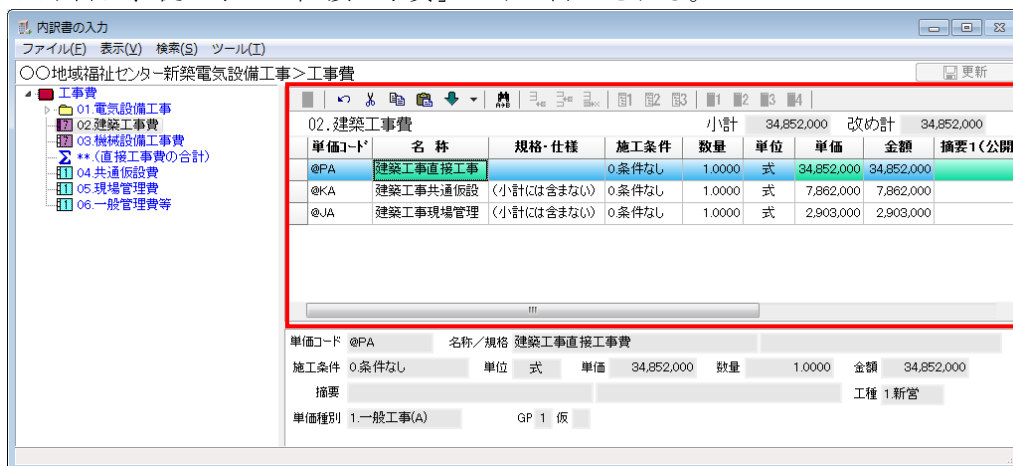
※「単価コード」・「規格・仕様」・「数量」・「単位」・「金額」は自動設定されるので編集出来ない。

※「名称」は前頁②のシートプロパティ「集計項目名（工事名）」に入力した設定値により自動設定されるが、任意の文字列に変更することも可能。

（シートプロパティの設定値により、想定外の文字列が自動設定される場合もある。）

※摘要1・摘要2は必要に応じて入力可能。

※小計は、従工事の「直接工事費」のみが計上される。



※設計変更時は、「単価」欄に設計変更金額を入力して下さい。



⑤ 「再計算」または「共通費の再計算」ボタンをクリックすると、従工事の内容を含む正しい計算結果が反映される。



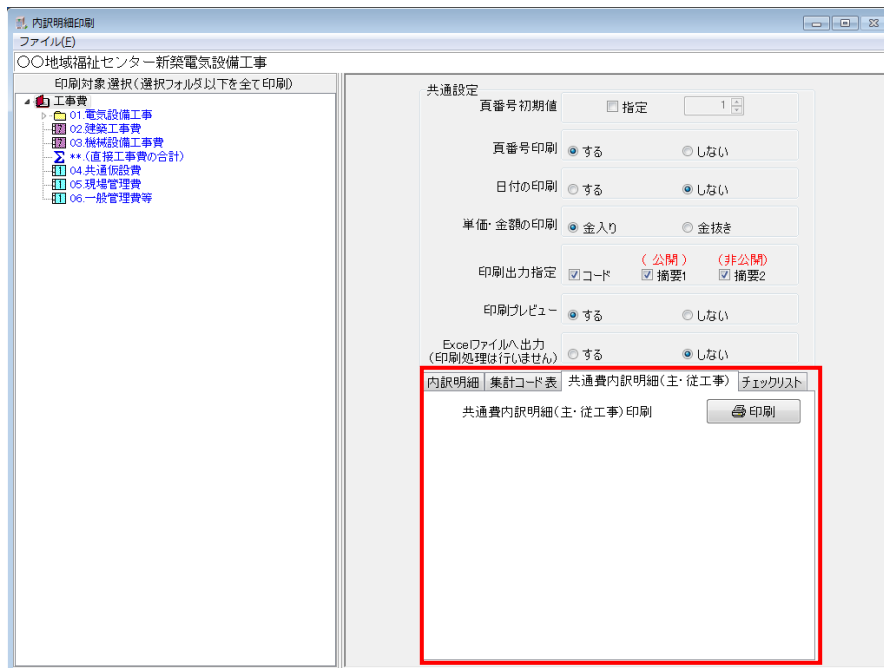
(3) 内訳書の印刷画面に共通費内訳明細（主・従工事）印刷機能を追加。

※平成 21 年度以前積算基準（β 1.46 以前）の内訳書では印刷ボタンは使用不可。

- ① 「共通費内訳明細（主・従工事）」タブを選択し、「印刷」ボタンをクリックすると、共通費内訳明細が出力されます。

[注意]

内訳書を再計算していない場合は正しい金額が出力されないため、事前に内訳書の再計算を行って下さい。

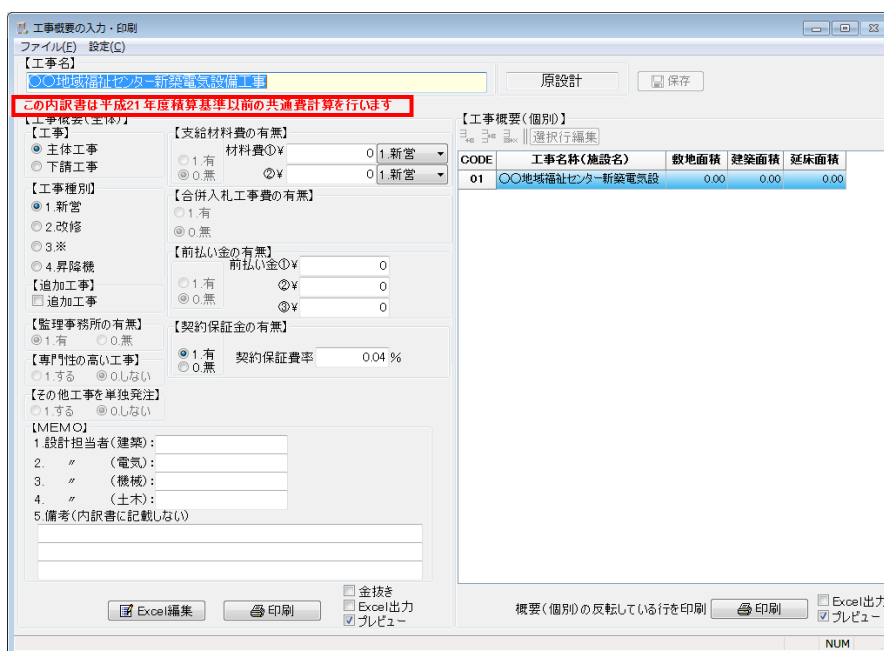


【H21 以前積算基準を継続適用する場合の表示追加】

バージョン更新による操作上の変更はなし。但し、下記について表示が追加される。(画面上の表示追加であり、印刷には影響しない。)

- ① 「2. 内訳書の仕様設定」 > 「3. 工事概要の入力・印刷」画面で、工事名称の下欄に“この内訳書は平成 21 年度積算基準以前の共通費計算を行います”と表示される。

※注意喚起のための表示。



- ② 「7. 内訳書の作成」 > 「4. 内訳書の入力・再計算」画面で、工事名称の左欄に“【平成21年度基準以前】”と表示される。

※注意喚起のための表示。印刷には反映しない。

A	B	C	D	集計項目名(工事名)	金額	区分
00	00	00	00	工事費	44,123,000	
01	00	00	00	電気設備工事	4,090,800	
02	00	00	00	建築工事費	34,852,000	従工事 (1 新営)
03	00	00	00	機械設備工事費	2,148,000	従工事 (1 新営)
**	**	**	**	(直接工事費の合計)	41,090,800	小計
04	00	00	00	共通仮設費	309,500	共通仮設費按分 (按分GP1)
05	00	00	00	現場管理費	1,796,900	現場管理費按分 (按分GP1)
06	00	00	00	一般管理費等	925,800	一般管理費等按分 (按分GP1)

【H22～23 年度積算基準へ更新する手順】

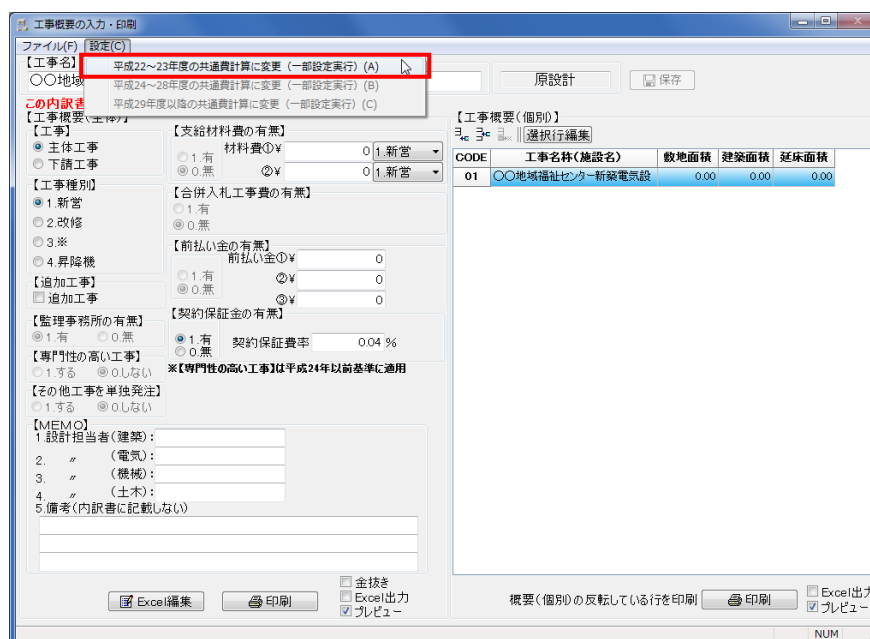
- β 1.46 以前で作成した、原設計確定前の内訳書ファイルのみ、変換が可能です。
- H22～23 年度積算基準よりも新しい積算基準への更新は、事前に H22～23 年度積算基準へ更新後に可能となります。
- 複数の工事種別を一括して発注しない場合（「下請工事」や「従工事」が無い場合）は、更新にかかわらず、数値に影響はありません（共通費計算の基準変更がないため）。但し、更新作業を行わない限り、前項【H21 以前積算基準を継続適用する場合の表示追加】①②の表示が出ることになります。

～更新の設定方法～

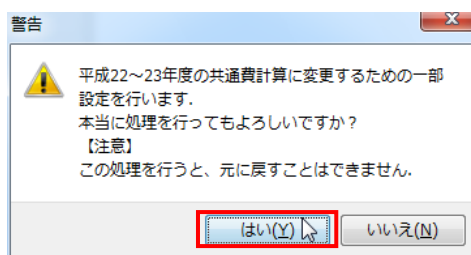
- ① 平成 21 年度以前の積算基準（β 1.46 以前）で作成している、更新したい対象の内訳書を読み込む。
「1. 内訳書の管理」 > 「1. 内訳書の新規作成・読み込み」 > 「2. 読み込み」をクリックし、【内訳書の読み込み】画面より、対象の内訳書を選定する。
- ② 「2. 内訳書の仕様設定」 > 「3. 工事概要の入力・印刷」をクリックし、画面を開く。
この画面では、工事名称の下欄に“この内訳書は平成 21 年度積算基準以前の共通費計算を行います”と表示される。

CODE	工事名称(施設名)	敷地面積	建築面積	延床面積
01	〇〇地域福祉センター新築電気設備工事	0.00	0.00	0.00

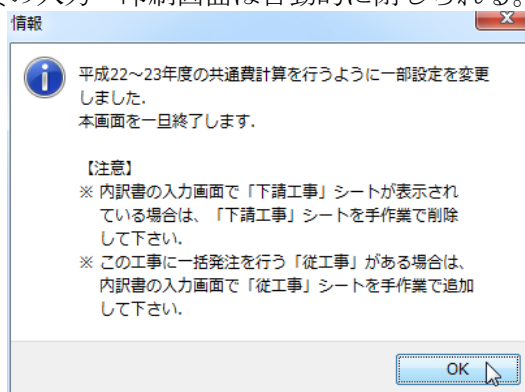
- ③ 画面左上にある、「設定」をクリックすると、「平成22～23年度の共通費計算に変更（一部設定実行）(A)」メニューが表示されるので、これをクリック。



- ④ 下図メッセージの「はい(Y)」ボタンをクリックすると、変換処理を行います。（中止する場合は、「いいえ(N)」ボタンをクリックして下さい。）

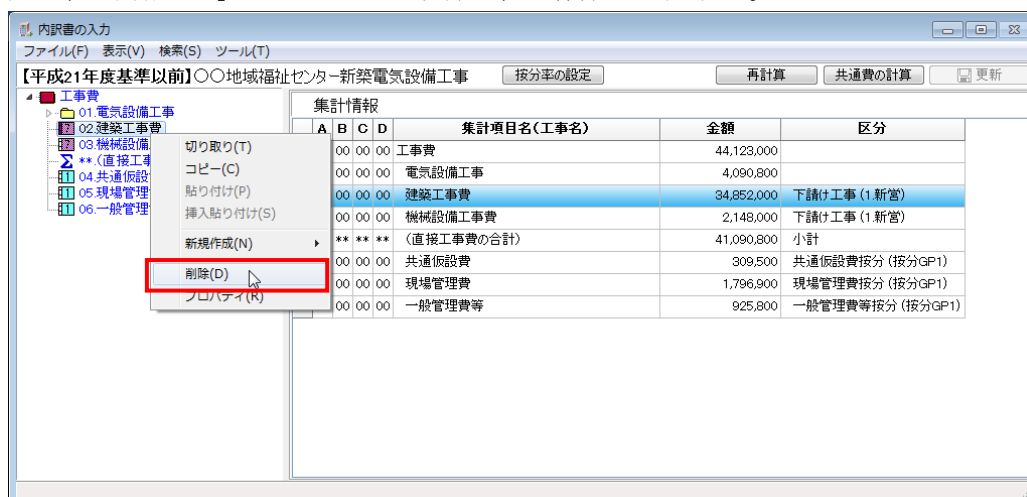


- ⑤ 下図メッセージが表示されたら、変換が完了し、一部の設定が変更されています。（工事概要の入力・印刷画面は自動的に閉じられる。）

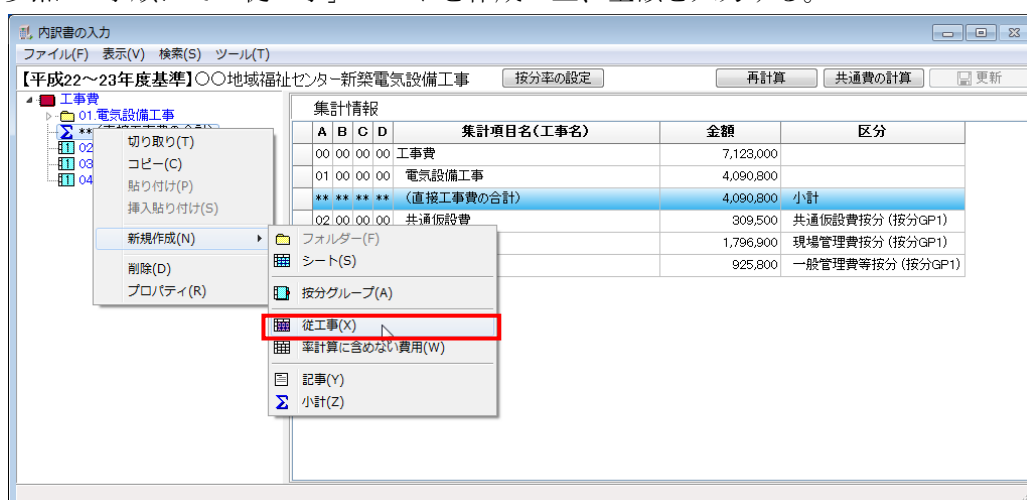


- ⑥ 以上で、内訳書ファイルの更新は終了しました。但し、⑤画面表示の【注意】にもあるように、「下請け工事」シートは「従工事」シートに自動では更新しません（従工事の「直接工事費」「共通仮設費」「現場管理費」の3種類の金額を任意入力する必要があるため）。この設定を行うため、引き続き以下⑦～⑨の作業を行ってください。

- ⑦「7. 内訳書の作成」 > 「4. 内訳書の入力・再計算」をクリックし、【内訳書の入力】画面で、「下請工事」シートがある場合は、手作業で削除する。



- ⑧従工事がある場合は、【新規作成時におけるβ 1.46 以前との変更部分】(2) <補 1-2 参照>の手順にて「従工事」シートを作成の上、金額を入力する。



- ⑨「再計算」または「共通費の再計算」ボタンをクリックすると、従工事の内容を含む正しい計算結果が反映される。



- ⑩以上で更新作業は終了しました。

平成 24 年度積算基準改定に伴う積算システム変更点 (Ver.β 1.60 以降)

《変更概要》

平成 24 年 6 月に、神戸市建築・設備工事の積算基準が改定され、これに伴い本システムの更新を行う。主として下記の内容が変更された。なお、詳細は積算基準を参照。

- ・ 共通仮設費率、現場管理費率を計算する際に、「工期」を反映した計算を行う。
(工期延長のみの設計変更でも、共通費計算の金額が変更となる場合がある。)
- ・ 共通仮設費率を算定する直接工事費には、発生材処分費を含まない。
- ・ 現場管理費率を算定する純工事費には、発生材処分費を含まない。
- ・ その他、共通費計算時の一部率計算の変更。

【バージョン 2.10 以降に対応する積算基準について】(補足 1~補足 3 を併せて参照)

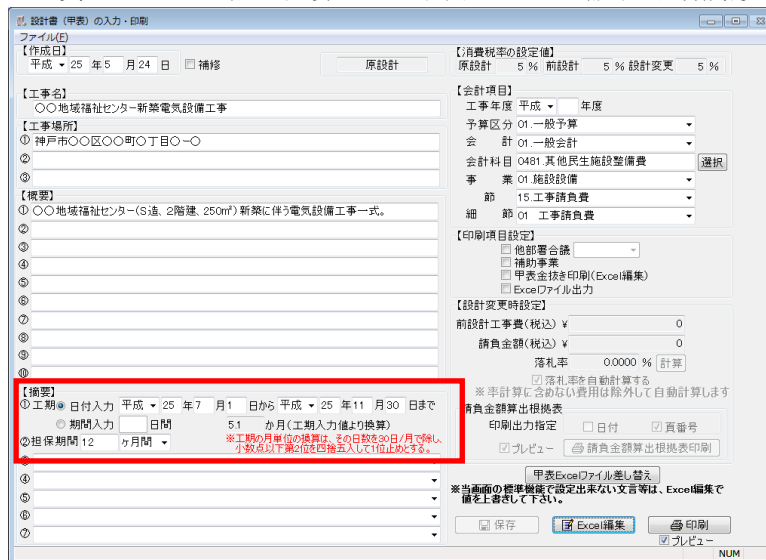
- (1) 新規に内訳書を作成する。
この場合、全て平成 29 年度以降の積算基準を適用したものとなる。
※ バージョン 2.10 以降は平成 29 年度以降積算基準を適用したものとなる。
- (2) β 1.56 以前 (積算基準 H23 年以前版) に作成された内訳書ファイルを、従来通りののまま β 1.56 以前の基準で編集・計算する。 ※ (3) の作業をしない限り、基準更新はしない。
(設計変更する場合は、確定処理された原設計の基準にて継続して適用される。)
→ 【H22~23 年度積算基準を継続適用する場合の表示追加】(補 2-2 参照)
- (3) β 1.56 以前 (積算基準 H23 年以前版) にて作成された内訳書ファイルを、平成 24~28 年度の積算基準に適用するため、更新する。
→ 【H24~28 年度積算基準へ更新する手順】(補 2-3 参照)

1 工期の設定

設計書 (甲表) の入力・印刷画面<本書 P63~>にて日付入力または期間 (日間) の入力を行う。自動計算により求められた「工期 (か月)」の値を共通費計算に反映する。日付入力する場合は、原則として想定される契約予定日の翌日および契約上の工期末日の日付を入力する。工期延長による設計変更時は、工期末日の日付または期間を再設定する。

【注意】

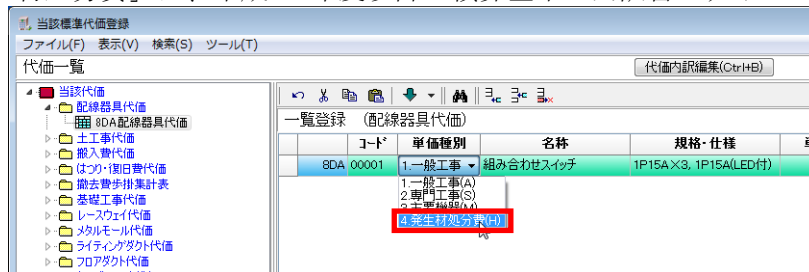
平成 24 年度以降積算基準を適用する内訳書ファイルにて工期が未入力の場合、内訳書及び共通費の入力や一括再計算処理が出来ません (設計事務所版を除く)。



2 発生材処分費の設定

当該単価→複合単価・標準代価及び標準代価→複合単価の入力時に指定する。

(「発生材処分費」は、平成 24 年度以降の積算基準の内訳書ファイルで表示される。)



【H22～23 年度積算基準を継続適用する場合の表示追加】

バージョン更新による操作上の変更はなし。但し、下記について表示が追加される。
(画面上の表示追加であり、印刷には影響しない。)

- ① 「2. 内訳書の仕様設定」 > 「3. 工事概要の入力・印刷」画面で、工事名称の下欄に
“この内訳書は平成 22～23 年度積算基準の共通費計算を行います” と表示される。

※注意喚起のための表示。

- ② 「7. 内訳書の作成」 > 「4. 内訳書の入力・再計算」画面で、工事名称の左欄に“【平成 22～23 年度基準】” と表示される。

※注意喚起のための表示。印刷には反映しない。

A	B	C	D	集計項目名(工事名)	金額	区分
00	00	00	00	工事費	9,271,000	
01	00	00	00	電気設備工事	4,090,800	
02	00	00	00	機械設備工事費	2,148,000	従工事(1新営)
**	**	**	**	(直接工事費の合計)	6,238,800	小計
03	00	00	00	共通仮設費	309,500	共通仮設費按分(按分GP1)
04	00	00	00	現場管理費	1,796,900	現場管理費按分(按分GP1)
05	00	00	00	一般管理費等	925,800	一般管理費等按分(按分GP1)

【H24～28 年度積算基準へ更新する手順】

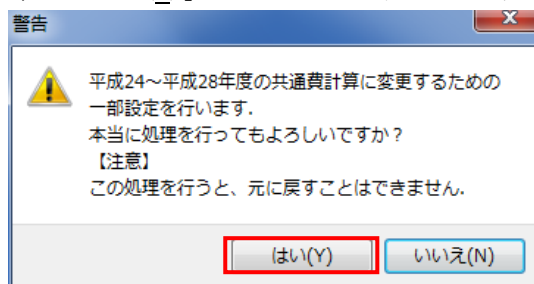
- β 1.56 以前で作成した、原設計確定前の内訳書ファイルのみ、変換が可能です。
- H21 以前積算基準の内訳書は、事前に平成 22～23 年度以前の積算基準に更新作業後に H24～28 年度積算基準へ更新可能となります。〈本書 補 1-5 参照〉。
- H24～28 年度積算基準よりも新しい積算基準への更新は、事前に H24～28 年度積算基準へ更新後に可能となります。

～更新の設定方法～

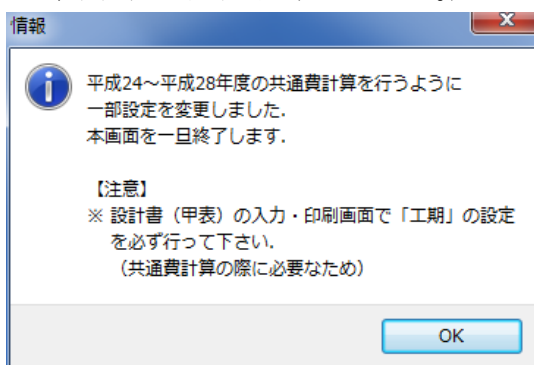
- ① 平成 22～23 年度以前の積算基準（β 1.56 以前）で作成している、更新したい対象の内訳書を読み込む。
「1. 内訳書の管理」 > 「1. 内訳書の新規作成・読み込み」 > 「2. 読み込み」をクリックし、【内訳書の読み込み】画面より、対象の内訳書を選定する。
- ② 「2. 内訳書の仕様設定」 > 「3. 工事概要の入力・印刷」をクリックし、画面を開く。
この画面では、工事名称の下欄に“この内訳書は平成 22～23 年度積算基準の共通費計算を行います”と表示される。

- ③ 画面左上にある、「設定」をクリックすると、「平成 24～28 年度の共通費計算に変更（一部設定実行）(B)」メニューが表示されるので、これをクリック。

- ④下図メッセージの「はい(Y)」ボタンをクリックすると、変換処理を行います。
(中止する場合は、「いいえ(N)」ボタンをクリックして下さい。)



- ⑤下図メッセージが表示されたら、変換が完了し、一部の設定が変更されています。
(工事概要の入力・印刷画面は自動的に閉じられる。)



- ⑥以上で、内訳書ファイルの更新は終了しました。
但し、共通費計算に必要な「工期 (か月)」の設定が必要なため、設計書 (甲表) の入力・印刷画面<本書 P63～>にて入力する。

3

平成 29 年度積算基準改定に伴う積算システム変更点 (Ver.2.10 以降)

《変更概要》

平成 29 年 4 月に一般管理費率の計算の変更により神戸市建築・設備工事の積算基準が改定されたことに伴い、本システムの更新を行う。

【バージョン 2.10 以降に対応する積算基準について】(補足 1～補足 3 を併せて参照)

(1) 新規に内訳書を作成する。

この場合、全て平成 29 年度以降の積算基準を適用したものとなる。

※ バージョン 2.10 以降は平成 29 年度以降積算基準を適用したものとなる。

(2) バージョン 2.07 以前 (積算基準 H28 年以前版) に作成された内訳書ファイルを、従来通りのままの基準で編集・計算する。 ※ (3) の作業をしない限り、基準更新はしない。

(設計変更する場合は、確定処理された原設計の基準にて継続して適用される。)

→ 【H24～28 年度積算基準を継続適用する場合の表示追加】(補 3-1 参照)

(3) バージョン 2.07 以前 (積算基準 H28 年以前版) にて作成された内訳書ファイルを、平成 29 年度以降の積算基準に適用するため、更新する。

→ 【H29 年度以降積算基準へ更新する手順】(補 3-2 参照)

【H24～28 年度積算基準を継続適用する場合の表示追加】

バージョン更新による操作上の変更はなし。但し、下記について表示が追加される。(画面上の表示追加であり、印刷には影響しない。)

③ 「2. 内訳書の仕様設定」 > 「3. 工事概要の入力・印刷」画面で、工事名称の下欄に“この内訳書は平成 24～28 年度積算基準の共通費計算を行います”と表示される。

※注意喚起のための表示。

工事概要の入力・印刷

ファイル(F) 設定(C)

【工事名】
〇〇地域福祉センター新築電気設備工事

原設計 [] 保存 []

【工事概要(個別)】
CODE 工事名称(施設名) 敷地面積 建築面積 延床面積
01 〇〇地域福祉センター新築電気設 0.00 0.00 0.00

【工事概要(全体)】
【支給材料費の有無】
① 有 材料費①¥ 0 1.新管
② 無 0 1.新管

【合併入札工事費の有無】
① 有
② 無

【前払い金の有無】
前払い金①¥ 0

【追加工事】
① 有 ② ¥ 0
② 無 ③ ¥ 0

【監理事務所の有無】
① 有 ② 無

【専門性の高い工事】
① する ② しない

【その他工事を単独発注】
① する ② しない

【MEMO】
1.設計担当者(建築):
2. " (電気):
3. " (機械):
4. " (土木):
5.備考(内訳書に記載しない)

Excel編集 [] 印刷 [] 全抜き [] Excel出力 [] プレビュー []

概要(個別)の反転している行を印刷 []

④ 「7. 内訳書の作成」 > 「4. 内訳書の入力・再計算」画面で、工事名称の左欄に“【平成 24～28 年度基準】”と表示される。

内訳書の入力

ファイル(F) 表示(V) 検索(S) ツール(T)

【平成24～28年度基準】 〇〇地域福祉センター新築電気設備工 [] 接分率の設定 [] 再計算 [] 共通費の計算 [] 更新 []

【工事費】
01 電気設備工事
** (直接工事費の合計)
02 共通仮設費
03 現場管理費
04 一般管理費等
05 機械設備工事費

集計情報

A	B	C	D	集計項目名(工事名)	金額	区分
00	00	00	00	工事費	10,131,000	
01	00	00	00	電気設備工事	5,212,100	
**	**	**	**	(直接工事費の合計)	5,212,100	小計
02	00	00	00	共通仮設費	268,000	共通仮設費按分(按分GP1)
03	00	00	00	現場管理費	1,475,800	現場管理費按分(按分GP1)
04	00	00	00	一般管理費等	1,007,100	一般管理費等按分(按分GP1)
05	00	00	00	機械設備工事費	2,148,000	従工事(1.新管)

【H29 年度積算基準へ更新する手順】

- バージョン 2.07 以前で作成した、原設計確定前の内訳書ファイルのみ、変換が可能です。
- H24～28 年度以前の積算基準の内訳書は、事前に平成 24～28 年度の積算基準に更新作業を行うことにより H29 年度積算基準へ更新可能となります。〈本書 補 2-3 参照〉。

～更新の設定方法～

- ④ 平成 24～28 年度の積算基準（バージョン 2.07 以前）で作成している、更新したい対象の内訳書を読み込む。
「1. 内訳書の管理」 > 「1. 内訳書の新規作成・読み込み」 > 「2. 読み込み」をクリックし、【内訳書の読み込み】画面より、対象の内訳書を選定する。
※共通費計算に必要な「工期（か月）」が未設定の場合は、内訳書の読み込み後、⑤の処理を行う前に設計書（甲表）の入力・印刷画面〈本書 P63～〉にて入力する。
- ⑤ 「2. 内訳書の仕様設定」 > 「3. 工事概要の入力・印刷」をクリックし、画面を開く。
この画面では、工事名称の下欄に“この内訳書は平成 24～28 年度積算基準の共通費計算を行います”と表示される。

工事概要の入力・印刷

ファイル(F) 設定(C)

【工事名】
○○地域福祉センター新築電気設備工事

原設計 [保存]

この内訳書は平成24～28年度積算基準の共通費計算を行います

【工事概要(全体)】

【工事】
 主工事
 従工事

【支給材料費の有無】
 材料費① ¥ 0 1.新営
 1.有
 0.無

【合併入札工事費の有無】
 1.有
 0.無

【前払い金の有無】
 前払い金① ¥ 0
 1.有
 0.無

【契約保証金の有無】
 1.有 契約保証費率 0.04 %
 0.無

【専門性の高い工事】
 1.する 0.しない
 ※【専門性の高い工事】は平成24年以前基準に適用

【その他工事を単独発注】
 1.する 0.しない

【MEMO】
 1.設計担当者(建築):
 2. " (電気):
 3. " (機械):
 4. " (土木):
 5.備考(内訳書に記載しない)

Excel編集 [印刷] 金抜き Excel出力 プレビュー

概要(個別)の反転している行を印刷 [印刷] Excel出力 プレビュー

CODE	工事名称(施設名)	敷地面積	建築面積	延床面積
01	○○地域福祉センター新築電気設	0.00	0.00	0.00

- ⑥ 画面左上にある、「設定」をクリックすると、「平成 29 年度以降の共通費計算に変更（一部設定実行）(C)」メニューが表示されるので、これをクリック。

工事概要の入力・印刷

ファイル(F) 設定(C)

【工事名】
平成22～23年度の共通費計算に変更(一部設定実行)(A)
○○地域 平成24～28年度の共通費計算に変更(一部設定実行)(B)

原設計 [保存]

この内訳書 平成29年度以降の共通費計算に変更(一部設定実行)(C)

【工事概要(全体)】

【工事】
 主工事
 従工事

【支給材料費の有無】
 材料費① ¥ 0 1.新営
 1.有
 0.無

【合併入札工事費の有無】
 1.有
 0.無

【前払い金の有無】
 前払い金① ¥ 0
 1.有
 0.無

【契約保証金の有無】
 1.有 契約保証費率 0.04 %
 0.無

【専門性の高い工事】
 1.する 0.しない
 ※【専門性の高い工事】は平成24年以前基準に適用

【その他工事を単独発注】
 1.する 0.しない

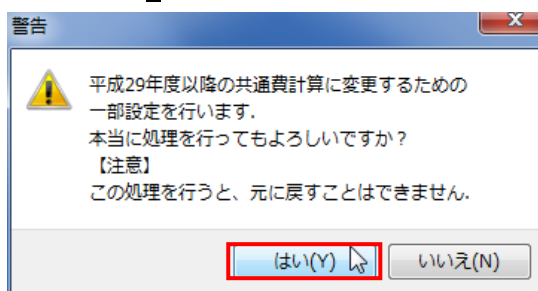
【MEMO】
 1.設計担当者(建築):
 2. " (電気):
 3. " (機械):
 4. " (土木):
 5.備考(内訳書に記載しない)

Excel編集 [印刷] 金抜き Excel出力 プレビュー

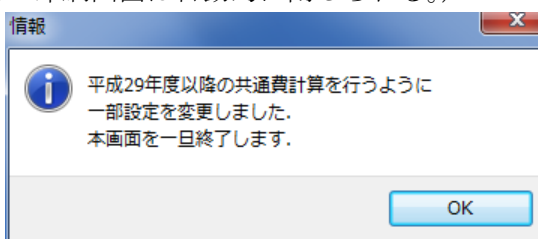
概要(個別)の反転している行を印刷 [印刷] Excel出力 プレビュー

CODE	工事名称(施設名)	敷地面積	建築面積	延床面積
01	○○地域福祉センター新築電気設	0.00	0.00	0.00

- ④下図メッセージの「はい(Y)」ボタンをクリックすると、変換処理を行います。
(中止する場合は、「いいえ(N)」ボタンをクリックして下さい。)



- ⑤下図メッセージが表示されたら、変換が完了し、一部の設定が変更されています。
(工事概要の入力・印刷画面は自動的に閉じられる。)



- ⑥以上で、内訳書ファイルの更新は終了しました。

4

見積比較に関する補足事項

※ 見積比較の入力手順は、当該単価（6 頭コード）・複合単価（7 頭コード）登録・再計算（本書 P71～）を参照。

複数の見積メーカーで見積比較を行う場合は、以降に述べる点に留意して入力作業を行って下さい。なお、入力例はあくまでも一例であり、積算業務の事情により適宜判断して入力作業を行って下さい。

1 資材毎に見積メーカーの組み合わせが異なる場合

（例）空気調和設備工事の見積を行う際、一般的な盤類を A 社・B 社・C 社に、電力計盤類を A 社・B 社・D 社に見積依頼をした場合。（C 社は電力計盤類の取り扱いが無く、D 社は一般的な盤類で使用する一部の部品の取り扱いが無いとする場合。）

【入力例】

見積グループ（見積メーカーの組み合わせ）毎に、シートを分けて入力して下さい。

コード	名称	規格・仕様	単位	単価	摘要1	摘要2	複率
6DH-H0001	動力盤	1M-1	面	546,600			
6DH-H0002	動力盤	2M-1	面	325,800			
6DH-H0003	動力盤	3M-1	面	907,200			
6DH-H0004	動力盤	3M-2	面	333,000			
6DH-H0005	動力盤	3M-3	面	1,009,800			
6DH-H0011	取引用集計器盤	WH-1-1	面	615,600			
6DH-H0012	取引用集計器盤	WH-1-2	面	2,556,000			
		WH-1-3	面	937,800			
		WH-2-1	面	1,005,000			
		WH-2-2	面				

※ 上記の例の場合、1 シートで見積比較を行う（4 社比較とする）場合、C 社と D 社で一部入力不可能な見積単価があるため、本項の 3（次ページ）の処理が発生します。

2 一部のメーカーで条件の異なる見積回答がある場合

（例 1）A 社・B 社は材工共（材料費と工事費がセット）の金額を提示し、C 社は材料費と工事費を別々に提示した場合。

（例 2）A 社・B 社は製品一式の金額を提示し、C 社は製品の主資材と副資材の金額を別々に提示した場合。

（例 3）A 社・B 社は製品の主資材と副資材の金額をそれぞれ 1 円以上の金額を提示し、C 社は製品の主資材では 1 円以上の金額を提示したが副資材ではサービスとして 0 円を提示した。

【入力例】

可能な限り、各社で条件が揃うように、適宜調整して入力して下さい。

・例 1 の場合 →

方法 1：C 社の見積を、材工共の金額となるように、材料費と工事費の金額を合計した金額を入力する。

方法 2：A 社と B 社に、材料費と工事費の金額を分けるよう、再見積をした上で入力する。

・例 2 の場合 →

方法 1：C 社の見積を、製品一式の金額となるように、主資材と副資材の金額を合計した金額を入力する。

方法 2：A 社と B 社に、主資材と副資材の金額を分けるよう、再見積した上で入力する。

・例 3 の場合 →

方法 1：A 社・B 社・C 社とも、主資材と副資材の金額を合計した金額を入力する。

方法 2：C 社の見積を、主資材と副資材の正味金額を再見積した上で入力する。

※ 例 3 で C 社の副資材の金額を 0 円を入力した場合、本項の 3（次ページ）の処理が発生します。

3 一部のメーカーの見積資材に金額を入力しない場合の処理

複数の見積メーカーで見積比較を行う際、1社または複数のメーカーで一部の資材の取扱いが無い等の理由で見積回答が得られず、金額を入力しない場合（または0円を入力する場合）は、本システムではその資材は他のメーカーの最下の単価が引用され、その行の「単価」欄の左の列に「*」が表示される仕様となっています。

（0円のままにしたり、見積比較対象から除外したりする処理は出来ません。）

【理由】

見積比較は、比較しようとする見積グループのすべての資材に対し各メーカーが見積回答しているのが一般的ですが、メーカーによっては取扱いが無い等の理由で必ずしもすべての資材に対し見積回答されない場合もあり、そのメーカーのその項目は「空欄」又は「0円」を入力することになります。

この見積グループを単価合計や金額合計によりそのまま見積比較すると、見積回答をしなかった資材を含むメーカーのほうが他のメーカーより安価となり、適正な見積比較とならない可能性があるため、この処理を行っています。

コード	名称	規格・仕様	数量	* 単価	金額	採用単価	採用金額
6DH 00011	取引用集合計器盤	WH-1-1	1.0000	1,026,000	1,026,000	615,600	615,600
6DH 00012	取引用集合計器盤	WH-1-2	1.0000	4,260,000	4,260,000	2,556,000	2,556,000
6DH 00013	取引用集合計器盤	WH-1-3	1.0000	1,563,000	1,563,000	937,800	937,800
6DH 00014	取引用集合計器盤	WH-2-1	1.0000	2,093,000	2,093,000	1,255,800	1,255,800
6DH 00015	取引用集合計器盤	WH-2-4	1.0000	2,756,000	2,756,000	1,653,600	1,653,600
6DH 00016	タイムスイッチ補助開閉器		1.0000	*		41,880	41,880

基礎単価コード 6DH00016 複単有無 有 単価種別 1.一般工事(A)
 名称 タイムスイッチ補助開閉器
 規格・仕様
 単位 個 数量 1.0000 率 0.6000
 単価 41,880 1円止め
 (公開) 摘要(1)
 (非公開) 摘要(2)
 「摘要(1)」は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。
 複合単価(GrHB) 7DH00016 複合単価 212,000

↓ 計算後

コード	名称	規格・仕様	数量	* 単価	金額	採用単価	採用金額
6DH 00011	取引用集合計器盤	WH-1-1	1.0000	1,026,000	1,026,000	615,600	615,600
6DH 00012	取引用集合計器盤	WH-1-2	1.0000	4,260,000	4,260,000	2,556,000	2,556,000
6DH 00013	取引用集合計器盤	WH-1-3	1.0000	1,563,000	1,563,000	937,800	937,800
6DH 00014	取引用集合計器盤	WH-2-1	1.0000	2,093,000	2,093,000	1,255,800	1,255,800
6DH 00015	取引用集合計器盤	WH-2-4	1.0000	2,756,000	2,756,000	1,653,600	1,653,600
6DH 00016	タイムスイッチ補助開閉器		1.0000	*	69,800	69,800	41,880

基礎単価コード 6DH00016 複単有無 有 単価種別 1.一般工事(A)
 名称 タイムスイッチ補助開閉器
 規格・仕様
 単位 個 数量 1.0000 率 0.6000
 単価 41,880 1円止め
 (公開) 摘要(1)
 (非公開) 摘要(2)
 「摘要(1)」は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。
 複合単価(GrHB) 7DH00016 複合単価 0

※見積比較表印刷時

他のメーカーの最下の単価が引用された単価の右上に「*」が表示されます。
また、採用されたメーカーの単価・金額は網掛けされます。

電気 電気取扱い見積比較

平成 年 月 日
1頁

見 積 比 較 表

階 層: 当該単価 > GDH 複合単価 (電力計盤類)

区分コード: GDH 採用単価決定方法: 1.金額合計

No.	CODE	名 称	規格・仕様	数量	単位	製 作 所 名						査定	採用決定	
						A社		B社		D社			B社	金額
						単価	金額	単価	金額	単価	金額			
1	GDH0011	取引用集合計器盤	単1-1	1.0000	面	1,420,000	1,420,000	1,026,000	1,026,000	1,116,000	1,116,000	0.60	615,600	615,600
2	GDH0012	取引用集合計器盤	単1-2	1.0000	面	4,260,000	4,260,000	4,260,000	4,260,000	4,637,000	4,637,000	0.60	2,556,000	2,556,000
3	GDH0013	取引用集合計器盤	単1-3	1.0000	面	1,950,000	1,950,000	1,563,000	1,563,000	1,702,000	1,702,000	0.60	937,800	937,800
4	GDH0014	取引用集合計器盤	単2-1	1.0000	面	2,350,000	2,350,000	2,093,000	2,093,000	2,278,000	2,278,000	0.60	1,255,800	1,255,800
5	GDH0015	取引用集合計器盤	単2-4	1.0000	面	3,770,000	3,770,000	2,756,000	2,756,000	3,001,000	3,001,000	0.60	1,653,600	1,653,600
6	GDH0016	タイムスイッチ補助開閉器		1.0000	個	69,800	69,800	69,800*	69,800*	70,100	70,100	0.60	41,880	41,880
計						13,819,800	13,819,800	11,767,800	11,767,800	12,804,100	12,804,100		7,060,680	7,060,680

神戸市

仮に見積提出のないメーカー（上記例ではB社）が採用となった場合は下記のような運用が必要です。

- 方法 1：この見積比較結果を採用し、見積提出の無い資材については見積単価が最下となったメーカーの見積を採用として扱う。
- 方法 2：見積提出の無い資材のみ、別のシートで見積グループを作成して見積比較を行う。（上記例の場合、6行目の資材を削除の上、別シートでA社とC社の組み合わせで6行目の資材の見積比較を行う。）

5 内訳書ファイルの変換(バージョン1形式からバージョン2形式へ)

1 内訳書ファイルの変換

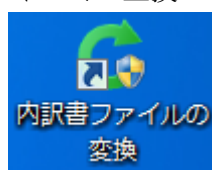
【注意】

Windows 8.1 以降の環境の場合は、正常に変換できない場合がありますので、Windows 7 環境が存在するうちに変換処理を行って下さい。

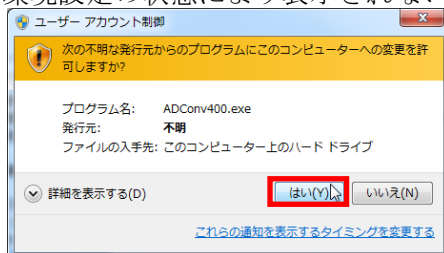
積算システムバージョン 1.XX 形式の内訳書ファイルは、バージョン 2 ではそのままの状態を開くことは出来ないため、変換プログラムにて変換を行います。

※ 配布単価のバージョン 1 形式のファイルは変換できません。配布単価のバージョン 2 形式のファイルは管理者から別途入手して下さい。

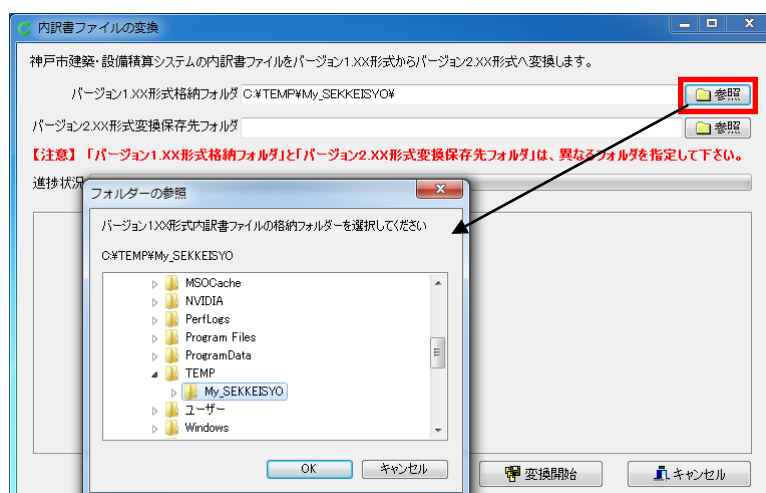
- 1) 積算システムを起動している場合は、終了して下さい。
- 2) バージョン 1.XX 形式の内訳書ファイルを、変換先とは異なる場所の任意のフォルダに予め格納しておいて下さい。
(本解説では、バージョン 1.XX 形式の内訳書ファイルは C ドライブ内の「TEMP」フォルダ内の「My_SEKKEISYO」フォルダ内に格納しているものとします。なお、CD-R 等に記録してあっても問題ありません。)
- 3) 「内訳書ファイルの変換」ショートカットアイコンをダブルクリックして下さい。
(ショートカットアイコンは、デスクトップまたはスタートメニュー→すべてのプログラム→神戸市建築・設備積算システム Ver.2 にあります。)
※Windows Vista 以降の動作環境の場合、「内訳書ファイルの変換プログラム」のショートカットアイコンに「互換モードの設定」が必要です。〈本書 P6〜〉を参照して下さい。



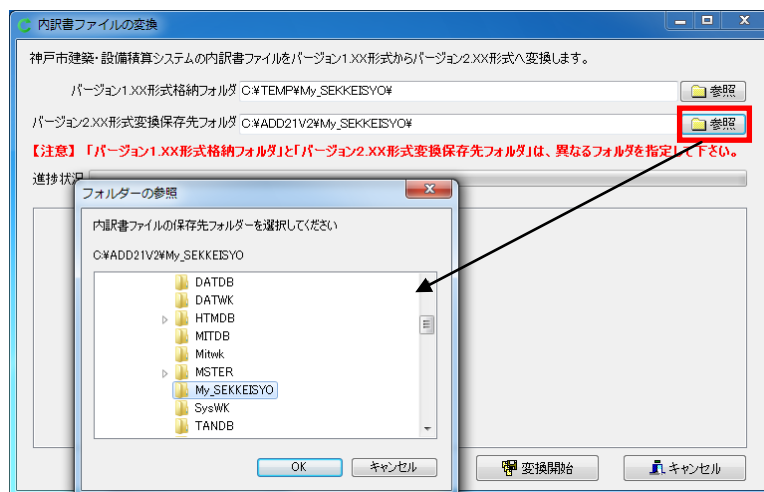
- 4) Windows Vista 以降の OS 環境の場合、互換性設定を行っているため、ユーザー アカウント制御画面が表示されますので、「はい(Y)」ボタンをクリックして下さい。
(環境設定の状態により表示されない場合もあります。)



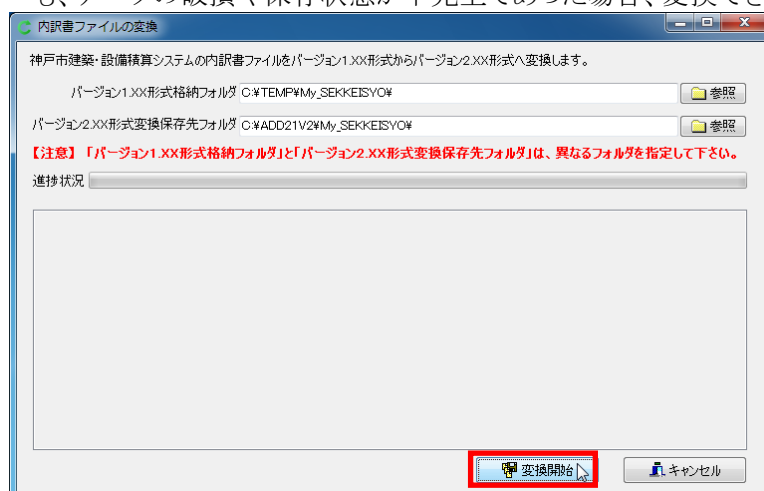
- 5) バージョン 1.XX 形式内訳書ファイルが格納されているフォルダを選択して下さい。
参照ボタンをクリックすると、フォルダの参照ボタンが表示されます。



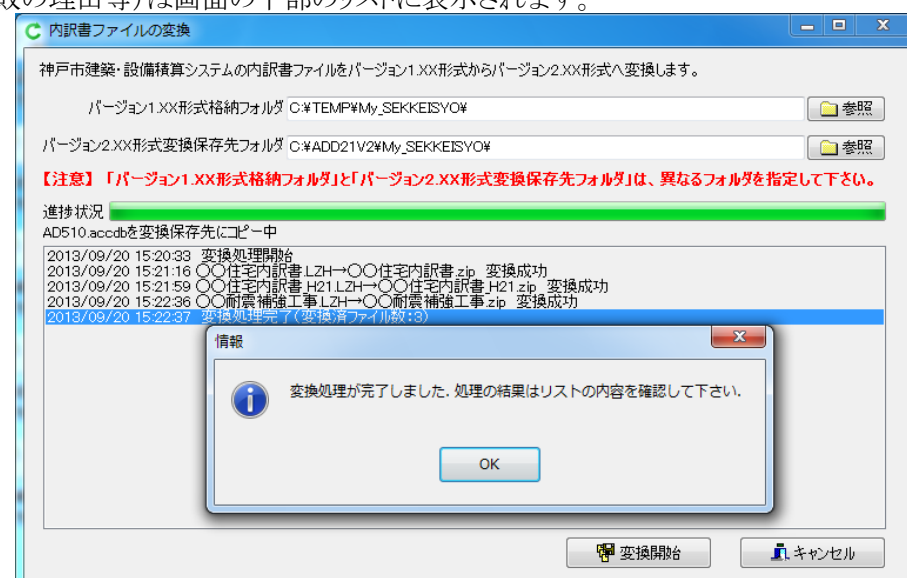
- 6) バージョン 2.XX 形式内訳書ファイル変換保存先フォルダを選択して下さい。
 (本解説では、バージョン 2.XX 形式変換保存先フォルダは、本システムの内訳書ファイルの保存先の既定値である C ドライブ内の「ADD21V2」フォルダ内の「My_SEKKEISYO」フォルダ内へ変換保存するものとします。)



- 7) [変換開始]ボタンをクリックすると、変換処理を開始します。
 進捗状況や変換結果が画面下部に表示されますので終了するまでしばらくお待ち下さい。
 ※ バージョン 1.XX 形式の内訳書ファイルが複数ある場合、一括変換できます。
 ※ バージョン 1.13 以前のデータは変換できません。また、それ以上のバージョンのデータでも、データの破損や保存状態が不完全であった場合、変換できない場合があります。



- 8) 変換処理が完了すると、メッセージが表示されます。変換処理結果の詳細(変換成功・変換失敗の理由等)は画面の下部のリストに表示されます。

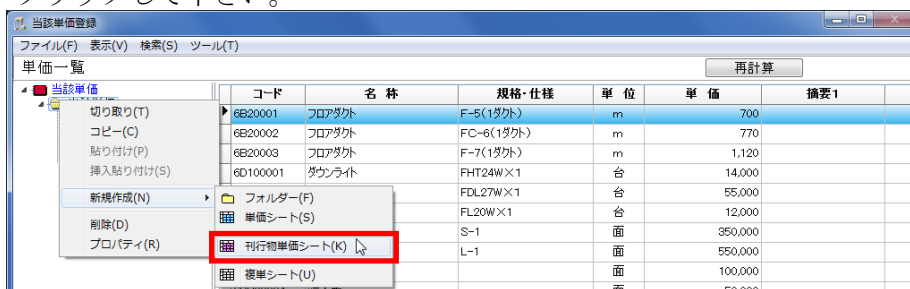


6 刊行物単価入力に関する補足事項(バージョン 2.01 以降)

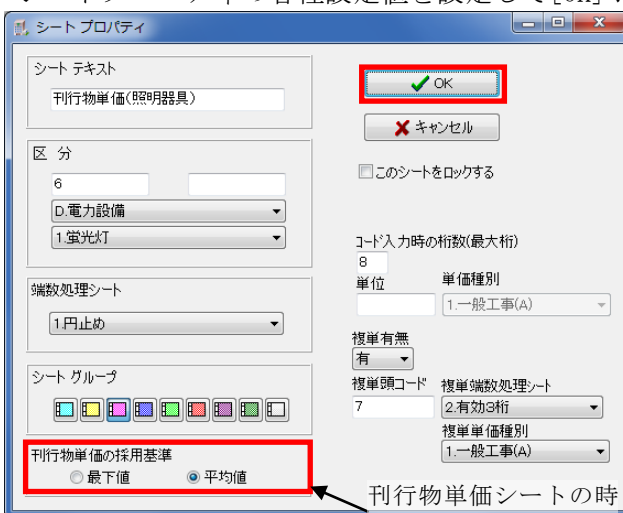
1 刊行物単価の登録について

当該単価登録の際、刊行物単価（建設物価・積算資料）の採用単価について、平均値または最下値を自動的に計算するようにする場合は、下記の手順で登録して下さい。

- 1) ツリービューで刊行物単価シートを登録したい場所を選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[刊行物単価シート(K)]をクリックして下さい。
※既存の刊行物単価シートの設定を変更する場合は、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。



- 2) シートプロパティの各種設定値を設定して[OK]ボタンをクリックして下さい。



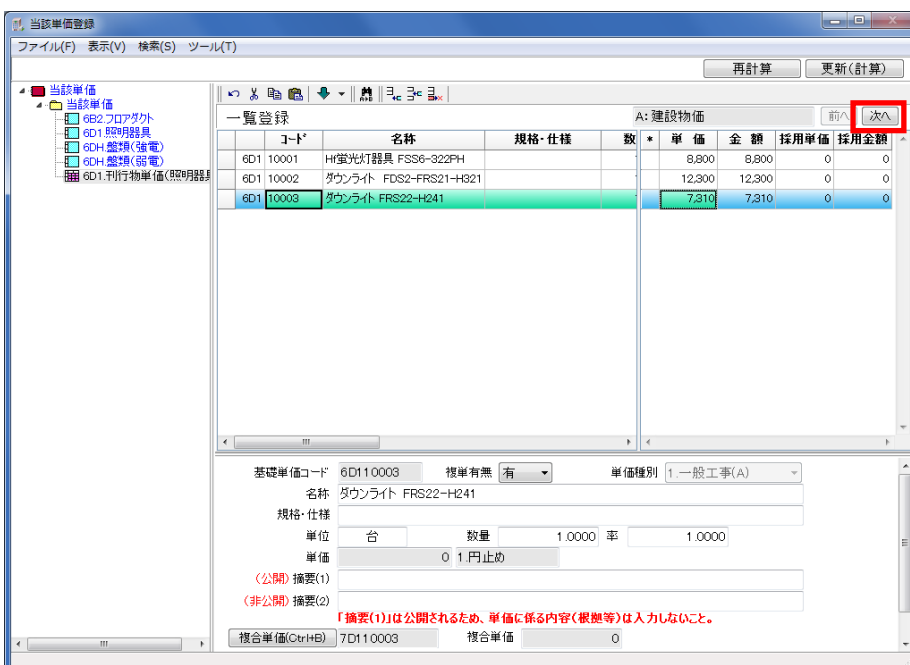
※区分: 通常の単価と同じく、単価コードの頭コードを「6」となるように設定する。

※刊行物単価の採用基準:

- ・最下値: 建設物価または積算資料の入力単価のうち、安い方を採用単価とする（採用基準が「単品比較」の時と同等の処理）。
- ・平均値: 建設物価と積算資料の入力単価の平均値を採用単価とする。

※バージョン 2.04 以降、端数処理シートの初期値は、ルートプロパティの設定には依存せず「1.円止め」となります。

- 3) [コード]・[名称]・[規格・仕様]・[単位]など各項目を入力の上、まず、「建設物価」の単価を入力して下さい。
「建設物価」の単価の入力が完了しましたら、[次へ]ボタンをクリックすると、積算資料単価入力表示となります。



4) 「積算資料」の単価を入力して下さい。

コード	名称	規格・仕様	数	* 単価	金額	採用単価	採用金額
6D1 10001	HI蛍光灯器具 FSS6-322PH			8,960	8,960	0	0
6D1 10002	ダウンライト FDS2-FRS21-H321			*	0	0	0
6D1 10003	ダウンライト FRS22-H241			7,560	7,560	0	0

※ 1 列目 (A) は「建設物価」、2 列目 (B) は「積算資料」の入力となります。刊行物の名称は変更できない仕様となっています。

5) 画面上部の[再計算]ボタンをクリックして下さい。

※ シートプロパティで設定した採用基準に基づき、採用単価を算出します。

※ 「建設物価」または「積算資料」のうちいずれかの単価しか入力していない場合は、他方の単価は入力した方の単価と同じものが設定され、その行の「単価」欄の左の列に「*」が表示される仕様となっています。(見積比較表の入力時の処理と同じ。)

【参考】

平均値の場合の採用単価・採用金額は下記のように計算します。

- ・「建設物価」入力単価×率=A
- ・「積算資料」入力単価×率=B
- ・採用単価=(A+B)/2
- ・採用金額=採用単価×数量

但し、「建設物価」のみ入力した場合は「建設物価」の入力単価、「積算資料」のみ入力した場合は「積算資料」の入力単価が採用単価となります。

6) 画面上部の[更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存されます。

コード	名称	規格・仕様	数	* 単価	金額	採用単価	採用金額
6D1 10001	HI蛍光灯器具 FSS6-322PH			8,960	8,960	8,880	8,880
6D1 10002	ダウンライト FDS2-FRS21-H321			*	12,300	12,300	12,300
6D1 10003	ダウンライト FRS22-H241			7,560	7,560	7,435	7,435

※建設物価と積算資料の掲載単価の比較を行わない場合は、従来通り、通常の単価シートにそれぞれの掲載単価を単独で登録する方法で登録することも可能です。

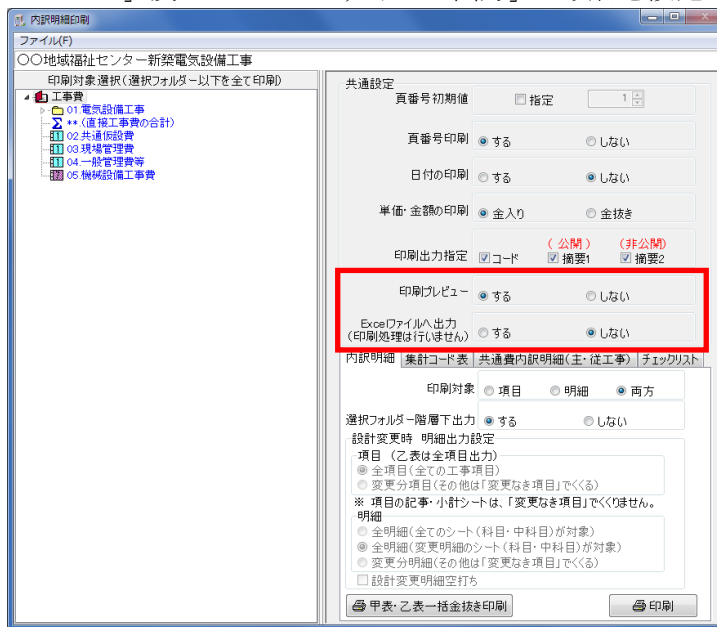
※平均値の場合、当該単価の印刷帳票の「生単価」欄は「—」で出力されます。

7 甲表・乙表一括金抜き印刷(出力)(バージョン 2.05 以降)

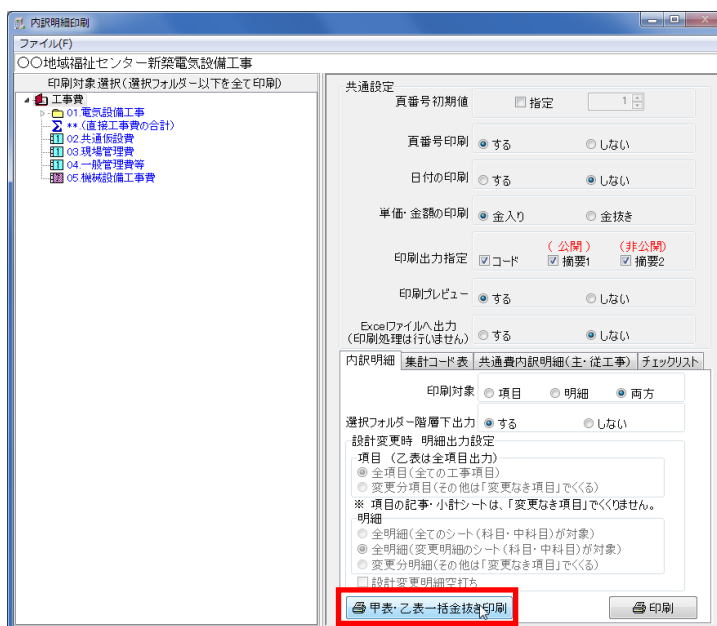
1 印刷または Excel ファイルへの出力手順

- ※ 基本的な設定方法及び操作方法は通常の印刷及び Excel 出力と同様です。
- ※ 設計変更時は[甲表・乙表一括金抜き印刷]ボタンは非表示になります。

- 1) メインメニュー[8.内訳書の印刷]→[1.内訳明細の印刷]をダブルクリックし、内訳明細印刷画面を表示して下さい。
- 2) 「印刷プレビュー」及び「Excel ファイルへ出力」の項目を設定して下さい。



- 3) [甲表・乙表一括金抜き印刷] (「Excel ファイルへ出力」を「する」に設定した場合は[甲表・乙表一括金抜き出力]と表示される) ボタンをクリックして下さい。

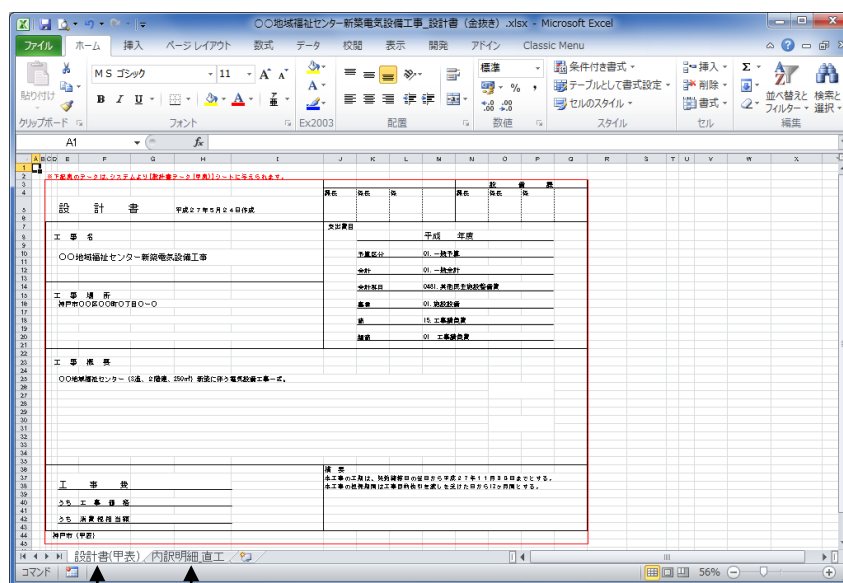
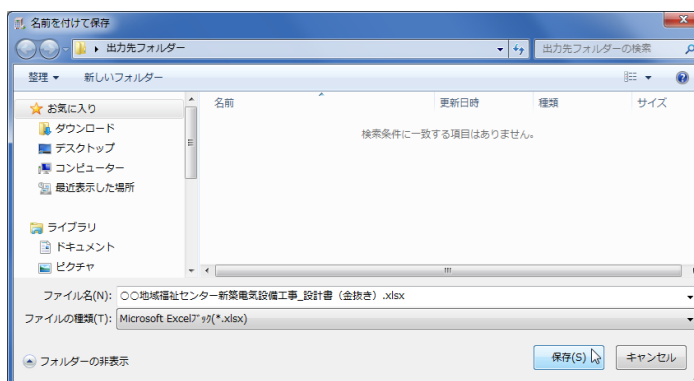


- 4) 「印刷プレビュー」を「する」に設定した場合は、甲表・乙表の順に印刷プレビュー画面が表示されますので、内容を確認してそれぞれ印刷を行って下さい。

「印刷プレビュー」を「しない」に設定した場合は、甲表・乙表の帳票が直接プリンターに出力されます。

「Excel ファイルへ出力」を「する」に設定した場合は、「名前をつけて保存」ダイアログが表示されますので、保存先のフォルダー及びファイル名を設定し、[保存]ボタンをクリックすると、甲表シートと乙表シートが1つのファイルにまとめられた Excel ファイルが出力されます。

※ ファイル名の初期値は「[工事名]_設計書(金抜き).xlsx」となりますが、任意のファイル名に変更することも可能です。

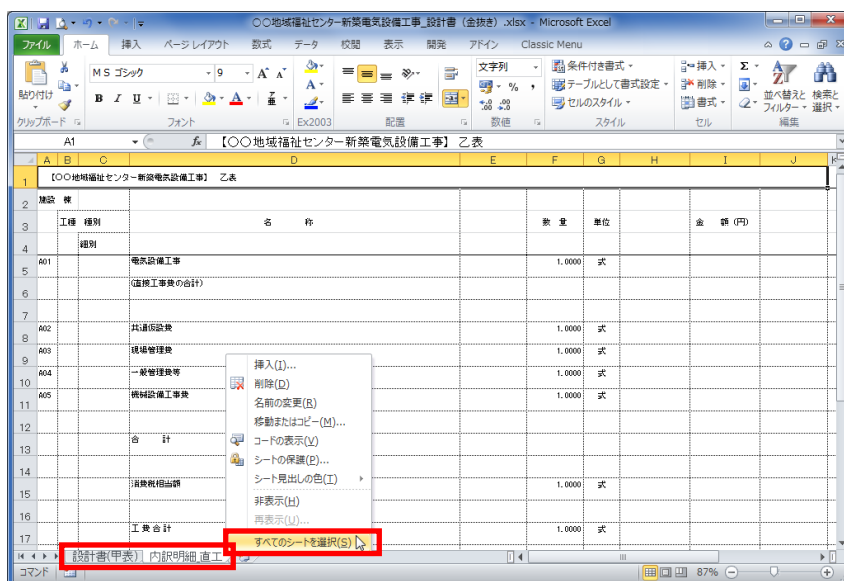


甲表 乙表

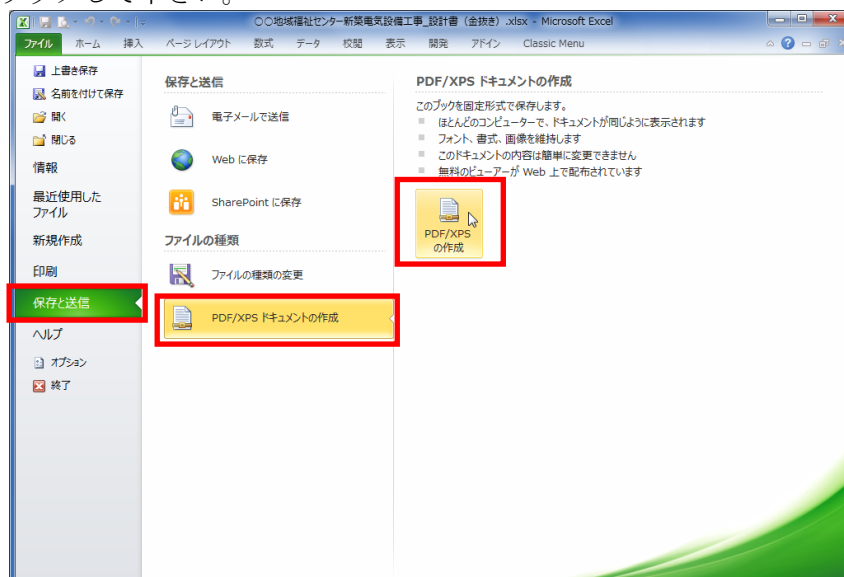
- 5) Excel 出力後、必要に応じて各項目を編集し、上書き保存して下さい。

※ 次ページの 6) 以降、甲表・乙表の帳票が 1 つのファイルにまとめて収録された PDF ファイルを作成する手順を解説します。

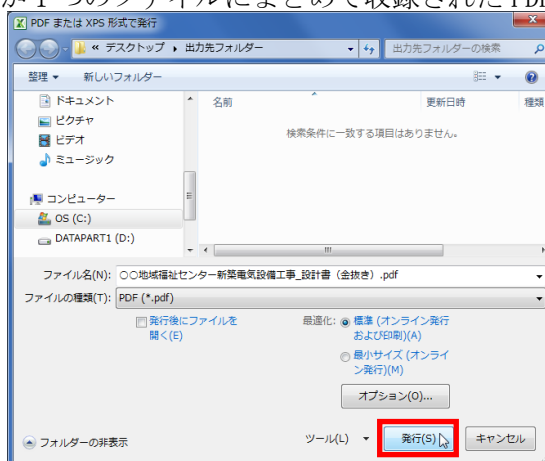
- 6) シートタブ上で右クリック→「すべてのシートを選択(S)」をクリックし、甲表・乙表両方のシートが選択されている状態にして下さい。



- 7) 「ファイル」→「保存と送信」→「PDF/XPS ドキュメントの作成」→「PDF/XPS の作成」をクリックして下さい。



- 8) PDF ファイルの出力先及びファイル名を選択する画面が表示されます。保存先のフォルダー及びファイル名を設定して[発行(S)]ボタンをクリックすると、甲表・乙表の帳票が1つのファイルにまとめて収録されたPDFファイルが出力されます。



契約保証金の計上に伴う積算システム変更点(バージョン 2.11 以降)

平成 30 年 6 月以降に積算する工事については、一般管理費等に「契約保証費」を原則計上するよう神戸市建築・設備工事の積算基準が改定されたことに伴い、本システムの更新を行う。

《計上条件》

- ◆ 平成 28 年度以前の積算基準を継続適用している内訳書ファイルの場合
⇒いかなる場合も契約保証金は計上されません。
- ◆ 平成 29 年度以降の積算基準を適用している内訳書ファイルの場合
使用単価ファイルの設定画面<本書 P58~参照>の「電気歩掛表」の年月の設定により、契約保証金の計上の可・不可が判断されます。

使用単価名称	設定データフォルダ	原設計	設計変更1	設計変更2	設計変更3	設計変更4	設計変更5	設計変更6
1 電気基礎単価	C:\ADD21V2\F 配布単価\F	2018-06						
2 電気標準単価	C:\ADD21V2\F 配布単価\F	2018-06						
3 電気補足単価	C:\ADD21V2\F 配布単価\F	2018-06						
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10 電気歩掛表	C:\ADD21V2\F 配布単価\F	2018-06						

- ・平成 30 年 6 月電気歩掛表 (2018-06) 以降 ⇒ 計上可能
- ・上記よりも古い年月の電気歩掛表 ⇒ 計上不可

※ 以前に作成した内訳書ファイルの内容を別工事で流用するため別名保存した内訳書ファイルで作業する場合は、前述の各状況が契約保証金の計上の可・不可の条件となるため確認すること。

《契約保証金の計上設定》

工事概要の入力・印刷画面<本書 P67~参照>を表示し、【契約保証金の有無】を設定して下さい

【契約保証金の有無】

1.有 契約保証費率 0.04 %

0.無

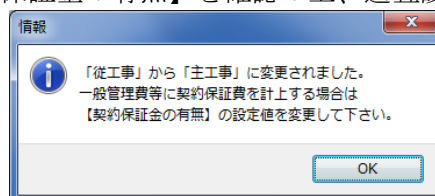
※【専門性の高い工事】は平成24年以前基準に適用

※ 前述の《計上条件》を満たさない場合は、【契約保証金の有無】の設定値にかかわらず計上されません。

※ 原設計作業時のみ変更可能（設計変更時は項目がロックされます）。

※ 【工事】が「従工事」の場合は変更不可。
（強制的に「無」に設定され、「契約保証费率」は「0.00」になります）。

※ 【工事】を「従工事」から「主工事」に変更した場合は下記のメッセージが表示されますので、【契約保証金の有無】を確認の上、適宜設定して下さい。



※ 内訳書の新規作成時及び旧バージョンからのバージョンアップ時は、【契約保証金の有無】は「有」となり、契約保証费率は0.04が初期値として設定されます。

※ 「設計書記載の工事費が1,000万円未満の場合」または「工期が30日以内の場合」等、一般管理費等に「契約保証費」を計上しない時は、契約保証费率を「無」に手動にて設定して下さい。
（これらの条件は自動的に判断されません。）

※ 設定変更後、一括再計算を実行することにより金額が反映されます。

神戸市建築・設備単価作成システム Ver.2

<取扱説明書>

電気設備編

平成25年 3月作成

平成26年 1月改訂1

平成26年10月改訂2

平成27年 3月改訂3

平成27年 8月改訂4

神戸市住宅都市局 建築技術部

設 備 課

§ 1. 神戸市建築・設備単価作成システムのセットアップ 1

1. セットアップのご注意	1
2. セットアップの手順	1
3. 削除の手順	8

§ 2. 電気設備単価マスタ作成作業の概要 10

1. ツリービュー表示・画面表示について	10
2. 作成する配布単価の種類及び単価コードについて	10
3. 一覧入力時のツールボタン	11
4. 端数処理について	12
5. コードの検索機能	12
6. 最新の情報に更新（[表示(V)]メニュー）	12
7. フォルダーのコピー（[ツール(T)]メニュー）	13
8. 作業手順概要	14
9. 単価マスタの構造概要	16

§ 3. 神戸市建築・設備単価作成システムへのログイン 17

1. ログイン時の[ユーザーID]と[パスワード]について	17
2. ログインの手順	17

§ 4. 作業単価マスタの設定 19

1. 作業単価マスタ選択	19
（1）単価マスタ選択画面の表示	19
（2）新規単価マスタの作成	20
（3）単価マスタの選択	21
（4）単価マスタ用引き込み単価の設定（未使用機能）	22

§ 5. 基礎単価 23

A. 基礎単価登録	23
1. 基礎単価登録画面の表示	23
2. 新規基礎単価の登録・削除及びフォルダー・シートプロパティの設定	24
（1）フォルダーの新規作成	24
（2）単価シートの新規作成（新たな単価シートを作成）	25
（3）単価シートの新規作成（既存の単価シートの情報を流用する場合）	26
（4）フォルダー・シートプロパティの設定	27

(5) フォルダー・シートの削除	28
3. 単価コードの検索	29
4. 基礎単価の各種項目の編集	30
5. 基礎単価登録画面 その他の機能について	34
(1) ルートプロパティ	34
(2) フォルダーのコピー ([ツール(T)]メニュー)	35
(3) 最新の情報に更新 ([表示(V)]メニュー)	36
(4) フォルダープロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)	37
(5) シートプロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)	38
(6) マスタデータ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)	39
(7) 単価更新フラグ編集 (ツリービューの右クリックメニュー)	40
B. 基礎単価再計算	41
C. 基礎単価表印刷	42
D. 刊行物データ引き込み単価表印刷	47

§ 6. 見積比較表作成

50

A. 見積メーカー登録	50
1. 見積メーカー登録画面の表示	50
2. 新規見積メーカーの登録・削除及びフォルダー・シートプロパティの設定	51
(1) フォルダーの新規作成	51
(2) メーカーシートの新規作成 (新たなメーカーシートを作成)	52
(3) メーカーシートの新規作成 (既存のメーカーシートの情報を流用する場合)	53
(4) フォルダー・シートプロパティの設定	54
(5) フォルダー・シートの削除	55
3. メーカーコードの検索	56
4. 見積メーカー情報の各種項目の編集	57
5. 見積メーカー登録画面 その他の機能について	58
(1) ルートプロパティ	58
(2) 最新の情報に更新 ([表示(V)]メニュー)	58
(3) フォルダープロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)	59
(4) シートプロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)	60
(5) マスタデータ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)	61
B. 見積メーカー再計算	62

C. 見積比較表入力（見積グループ登録）	63
1. 見積グループ登録画面の表示	63
2. 新規見積グループの登録・削除及びフォルダー・シートプロパティの設定	64
(1) フォルダーの新規作成	64
(2) 見積グループシートの新規作成（新たなグループシートを作成）	65
(3) フォルダー・シートプロパティの設定	66
(4) フォルダー・シートの削除	67
3. 見積グループコードの検索	68
4. 見積グループ情報の各種項目の編集	69
5. 見積グループ登録画面 その他の機能について	71
(1) ルートプロパティ	71
(2) 最新の情報に更新（[表示(V)]メニュー）	71
(3) フォルダープロパティ一括編集（ツリービューの右クリックメニュー）	72
(4) シートプロパティ一括編集（ツリービューの右クリックメニュー）	73
D. 見積比較表再計算	74
E. 見積メーカー一覧表印刷	75
(1) 見積メーカー一覧印刷画面の表示	75
(2) 見積メーカー一覧表印刷（タックシール印刷）	76
F. 見積グループ（資材）一覧表・見積比較表印刷	80
(1) 見積資材・比較表印刷画面の表示	80
(2) 見積資材一覧表・見積比較表印刷	81
G. 見積依頼データ入出力方法	84
(1) 見積依頼データ入出力画面の表示	84
(2) 見積依頼雛形ファイルの編集	85
(3) 見積依頼データの出力（エクスポート）	86
(4) 見積依頼データの取り込み（インポート）	89

§ 7. 刊行物マスタ

92

A. データ移行	92
B. 刊行物マスタ更新（基礎単価を更新）	95

§ 8. 歩掛マスタ

96

A. 歩掛マスタ登録	96
1. 歩掛マスタ登録画面の表示	96

2. 新規歩掛の登録・削除及びフォルダー・シートプロパティの設定	97
(1) フォルダーの新規作成	97
(2) 歩掛シートの新規作成 (新たな歩掛シートを作成)	98
(3) 歩掛シートの新規作成 (既存の歩掛シートの情報を流用する場合)	99
(4) フォルダー・シートプロパティの設定	100
(5) フォルダー・シートの削除	101
3. 歩掛コードの検索	102
4. 歩掛の各種項目の編集	103
5. 歩掛マスタ登録画面 その他の機能について	105
(1) ルートプロパティ	105
(2) フォルダーのコピー ([ツール(T)]メニュー)	106
(3) 最新の情報に更新 ([表示(V)]メニュー)	107
B. 歩掛マスタ再計算	108
C. 歩掛マスタ印刷	109

§ 9. 補足単価

113

A. 補足単価登録	113
B. 補足単価再計算	114
C. 補足単価表印刷	115

§ 10. 標準単価マスタ

116

A. 標準単価登録	116
1. 標準単価登録画面の表示	116
2. 新規標準単価の登録・削除及びフォルダー・シートプロパティの設定	117
(1) フォルダーの新規作成	117
(2) 単価シートの新規作成 (新たな単価シートを作成)	118
(3) 単価シートの新規作成 (既存の単価シートの情報を流用する場合)	119
(4) フォルダー・シートプロパティの設定	120
(5) フォルダー・シートの削除	121
3. 単価コードの検索	122
4. 標準単価の各種項目の編集	123
5. 標準単価登録画面 その他の機能について	132
(1) ルートプロパティ	132
(2) フォルダーのコピー ([ツール(T)]メニュー)	133
(3) 最新の情報に更新 ([表示(V)]メニュー)	134

§ 1. 神戸市建築・設備単価作成システムのセットアップ

1. セットアップのご注意

※セットアップ中にコンピューターウイルス対策ソフトが原因でエラーが発生する場合は、セットアップを実行する前にコンピューターウイルス対策ソフトを終了または常駐保護を一時的に無効にしてから実行して下さい。(セキュリティ保護のため、セットアップ終了後は常駐保護を有効にすることを忘れないで下さい。)

※本システムのセットアップを始める前に実行中のすべてのアプリケーションを終了して下さい。

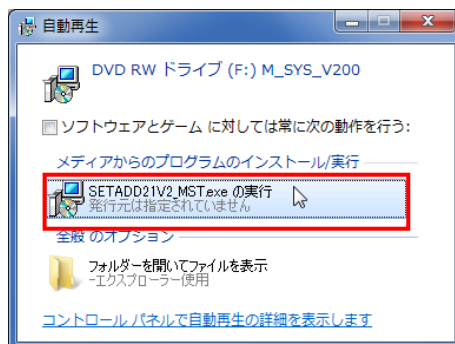
2. セットアップの手順

本システムをセットアップするには以下の操作を行います。

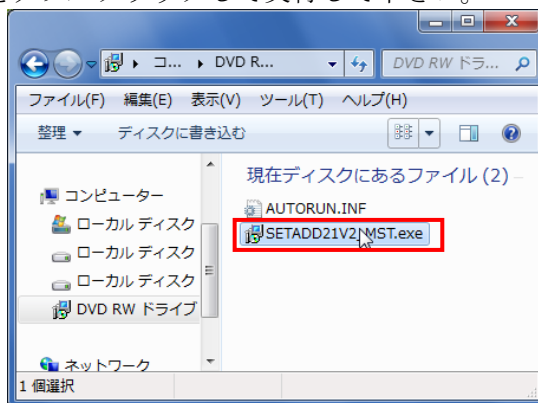
※予め神戸市建築・設備積算システムが神戸市認証版でインストールされている状態で、本システムを追加インストールして下さい。神戸市建築・設備積算システムが神戸市認証版でインストールされていない場合、本システムは動作しません。

①本システムの追加インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入すると、セットアップメニューが自動起動します。

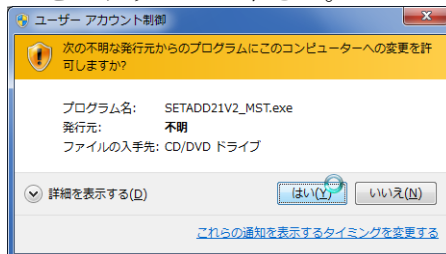
※下図のような画面が表示された場合は、「SETADD21V2_MST.exe の実行」をクリックして下さい。



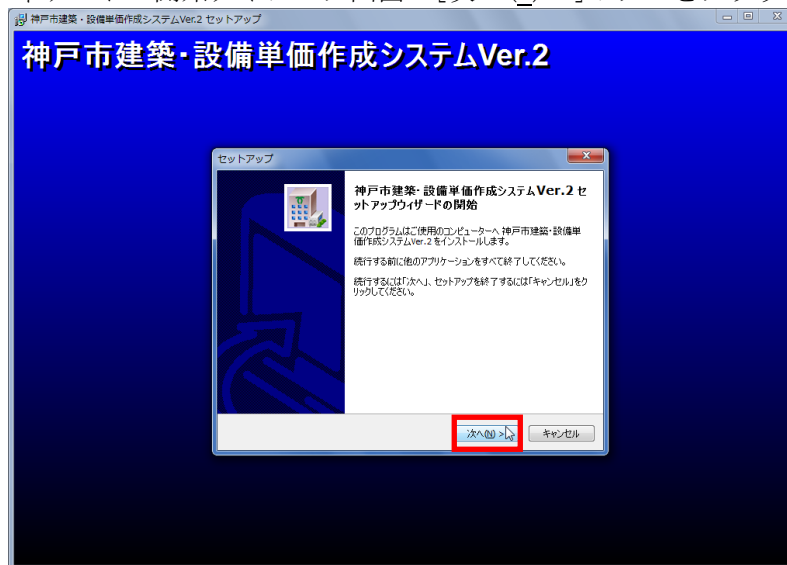
※ リムーバブルメディア (CD ドライブ含む) の自動再生機能が無効になっている場合、インストールメニューは自動的に表示されません。その場合は、エクスプローラーで CD ドライブを開き、「SETADD21V2_MST.exe」をダブルクリックして実行して下さい。



②OS が Windows Vista 以降の動作環境の場合、ユーザーアカウント制御画面が表示される場合がありますので、[はい(Y)] ボタンをクリックして下さい。



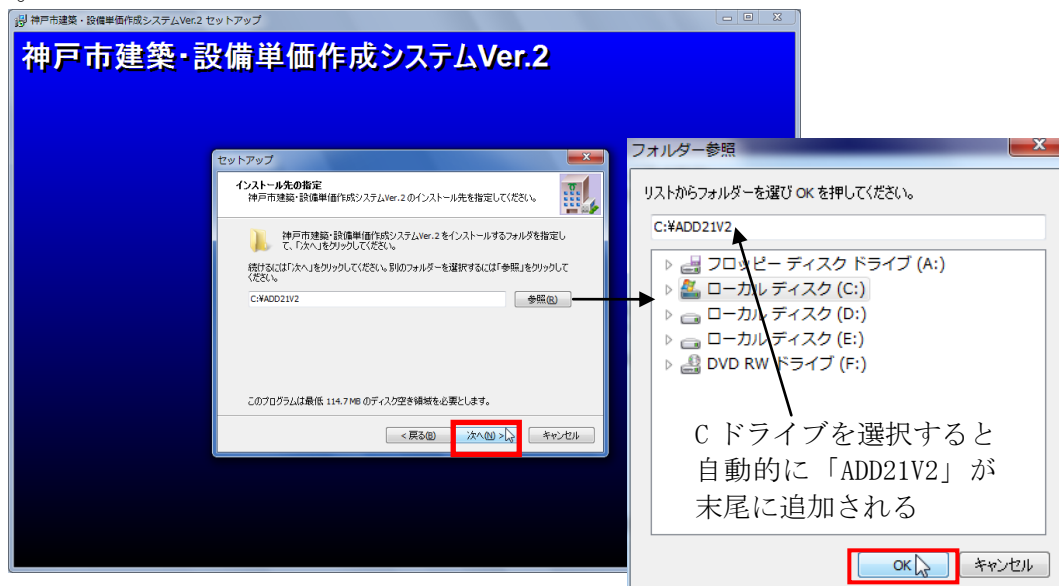
③セットアップウィザードの開始ダイアログ画面の[次へ(N) >]ボタンをクリックして下さい。



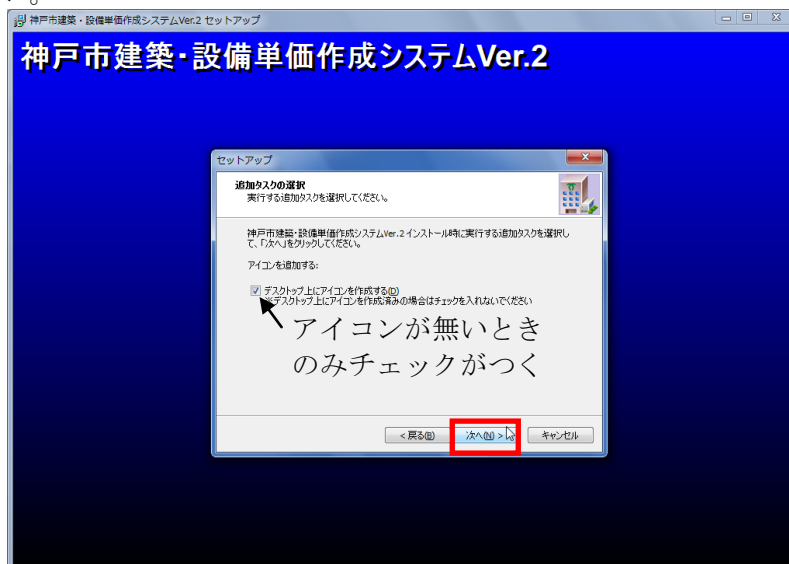
④[インストール先の指定]ダイアログ画面が表示されます。

インストール先フォルダーを設定し、[次へ(N) >]ボタンをクリックして下さい。
本製品は、既定の設定では主に以下のフォルダーに本製品に必要なファイルがコピーされます。
C:¥ADD21V2¥ (C:¥ は 通常、Windows がセットアップされているドライブです。)
なお、本製品は、既定のフォルダーにセットアップすることをお勧めします。

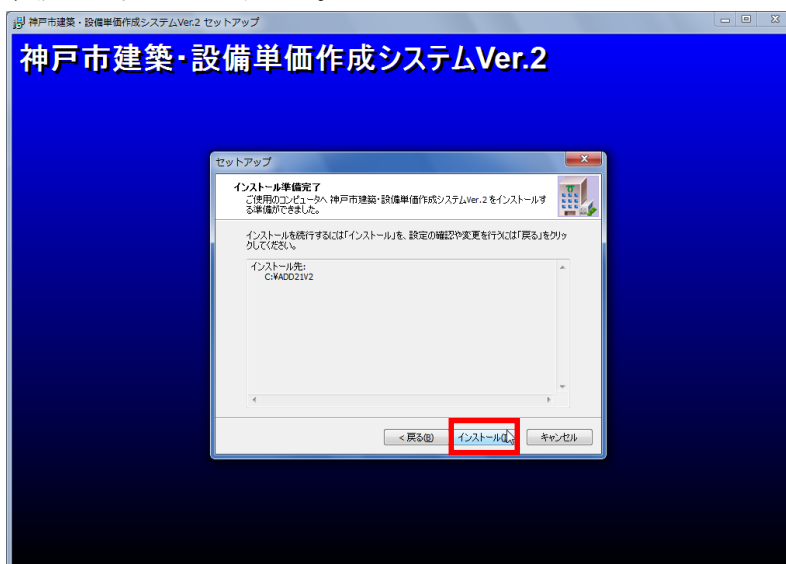
(権限による制限やディスクの空き容量の都合などにより、他のフォルダーに設定する場合は、[参照(R)]ボタンをクリックし、インストール先を任意の場所に変更して下さい。フォルダー参照画面で設定する場合、ドライブやフォルダー選ぶと自動的に末尾に「ADD21V2」が追加される仕様となっていますので、注意して下さい。)



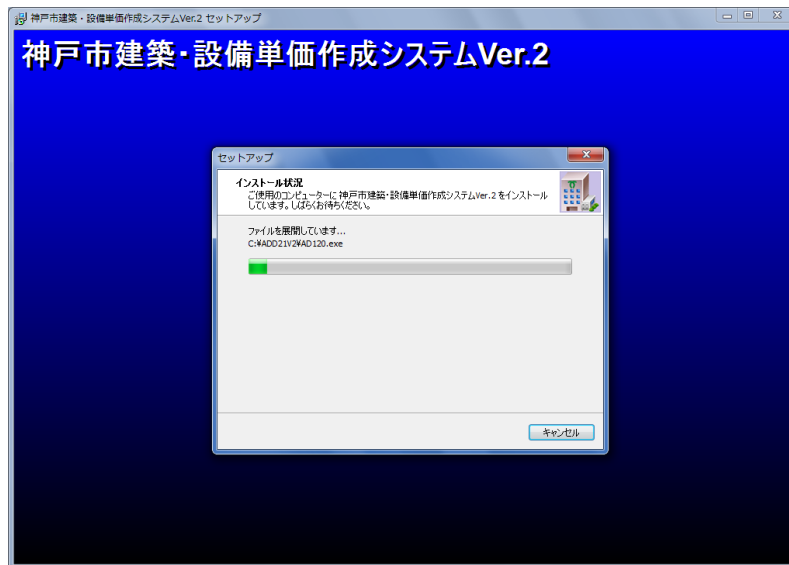
- ⑤ [追加タスクの選択] ダイアログ画面で、デスクトップにアイコンを作成するかどうかを選択し、[次へ(N)>] ボタンをクリックして下さい。
- ※ 「デスクトップ上にアイコンを作成する(D)」にチェックを入れるとデスクトップ上に本システムのショートカットアイコンが作成されます。
 - ※ デスクトップ上に本システムのショートカットアイコンが無い時は自動的にチェックが入ります。
 - ※ デスクトップ上に既に本システムのショートカットアイコンがある時にチェックを入れると、環境によっては本システムのショートカットアイコンが複数登録される場合がありますのでご注意ください。



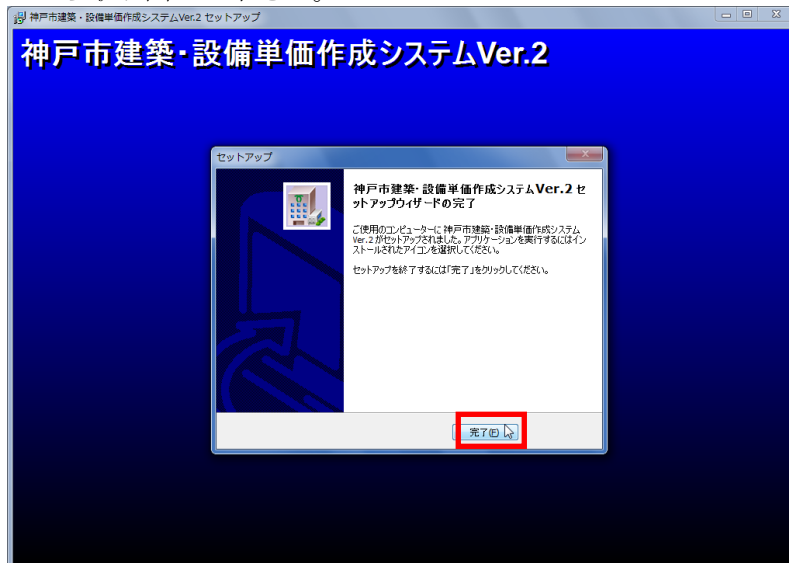
- ⑥ インストール準備完了ダイアログ画面でインストールの条件を画面で確認し、[インストール(I)] ボタンをクリックして下さい。設定変更が必要な場合は[戻る(B)] ボタンをクリックして前の手順に戻り、設定を変更して下さい。



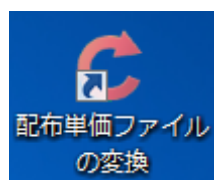
⑦セットアップが開始されます。セットアップの完了までしばらくお待ち下さい。



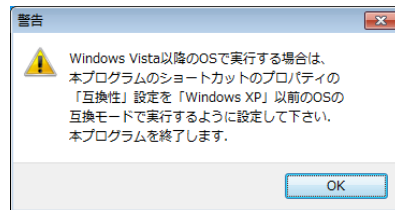
⑧[セットアップの完了]ダイアログ画面が表示されたら、セットアップは完了です。
[完了(F)]ボタンをクリックし、セットアップウィザード画面が閉じた後、本製品の CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出して下さい。



⑨デスクトップ上に次のショートカットアイコンが作成されています。
配布単価ファイルの変換プログラム(バージョン1形式からバージョン2形式への変換)の起動は、この「配布単価ファイルの変換」のショートカットアイコンをダブルクリックして下さい。
なお、Windows Vista 以降の動作環境の場合、「配布単価ファイルの変換」のショートカットアイコンに「互換モードの設定」が必要です。「互換性の設定」がまだの場合は、次の手順⑩へ進んで下さい。過去のセットアップ時に互換モードの設定を済ませている場合は、セットアップ作業はこれで終了です。



※ Windows Vista 以降の動作環境で、配布単価ファイルファイルの変換プログラムのショートカットアイコンに「互換モードの設定」をしていない場合、起動時に下記のメッセージが表示されて起動しません。その場合は、次の手順で互換モードの設定を行って下さい。

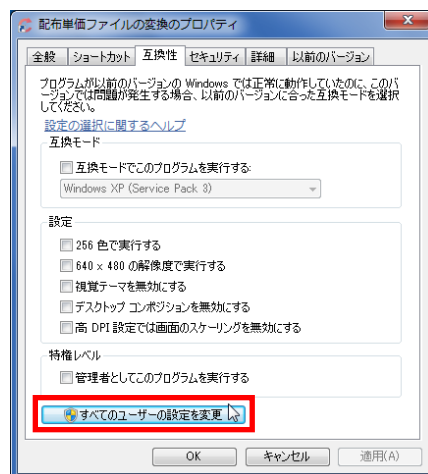


⑩ 「配布単価ファイルの変換」ショートカットを右クリックし、「プロパティ(R)」をクリックして下さい。

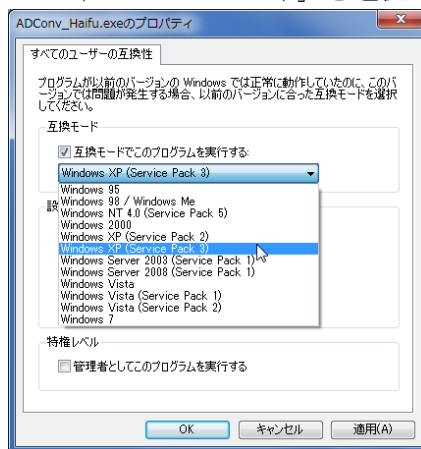


⑪ 「互換性」タブを選択し、「すべてのユーザーの設定を変更」ボタンをクリックして下さい。

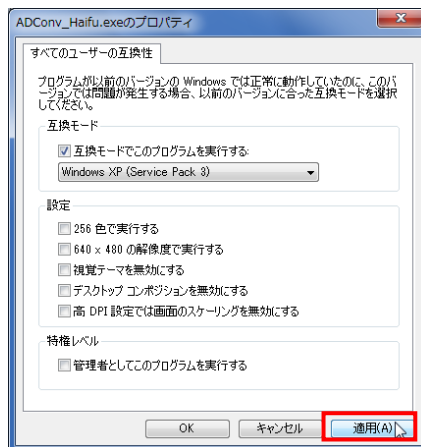
※ 管理者権限が無い場合は「すべてのユーザーの設定を変更」ボタンが無効になっている場合があります。その場合は、この「互換性」タブ上の互換モードの部分⑩以降の手順で設定して下さい。



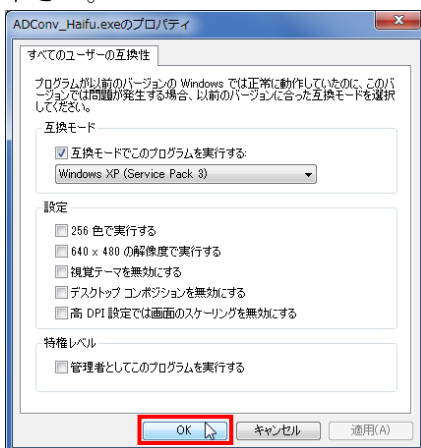
- ⑫ 「互換モードでこのプログラムを実行する」にチェックを入れ、「Windows XP」等を選択して下さい。（Windows 7上で実行している場合は「Windows XP (Service Pack 3)」・Windows Vista上で実行している場合は「Windows XP (Service Pack 2)」を選択して下さい。）



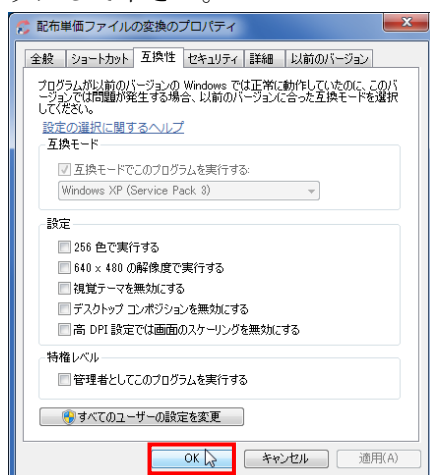
- ⑬ 前の手順⑫で設定した内容を確認し、「適用(A)」ボタンをクリックして下さい。



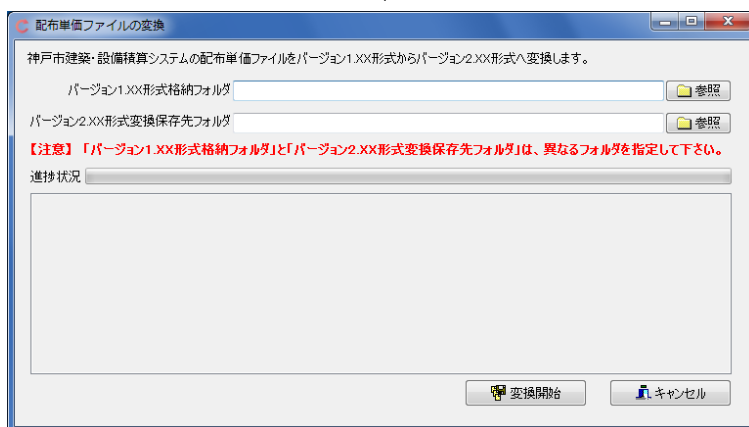
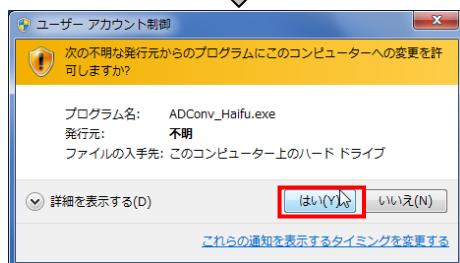
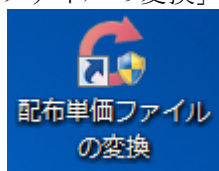
- ⑭ 「OK」ボタンをクリックして下さい。



⑮ 「OK」 ボタンをクリックして下さい。



⑯ 互換モードの設定が完了すると、ショートカットアイコンに盾のマークが付加されます（動作環境によっては付加されない場合もあります）。ショートカットアイコンをダブルクリックしてプログラムを起動すると、ユーザーアカウント制御画面が毎回表示されます。「はい(Y)」ボタンをクリックすると、「内訳書ファイルの変換」プログラムが起動します。

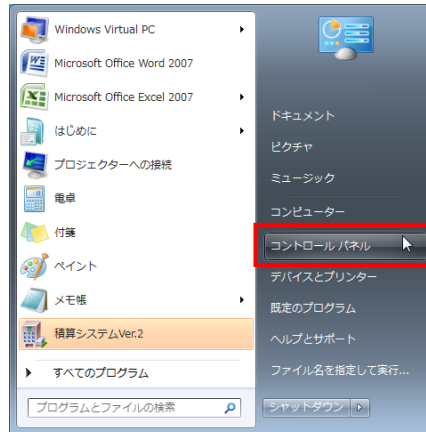


3. 削除の手順

本システムをセットアップ後、お使いのシステムから削除するには、以下の操作を行います。

①実行中のアプリケーションを全て終了して下さい。

②[スタート]メニューから、[コントロール パネル(C)] をクリックして下さい。

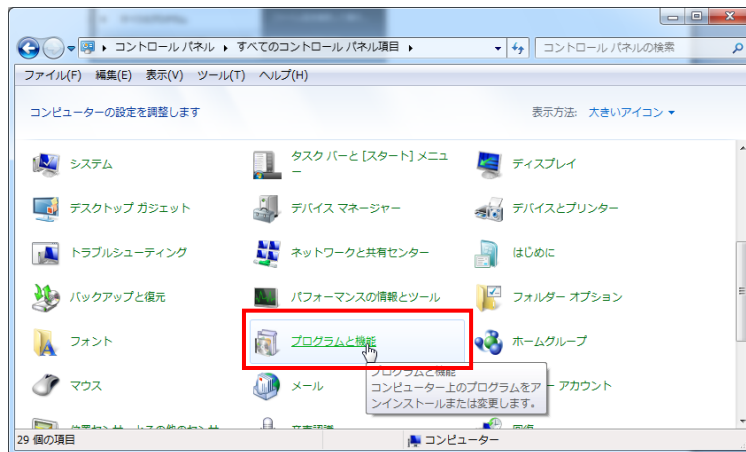


※Windows のバージョン及び設定により、表示方法が異なります。

③コントロールパネルの「プログラム」→「プログラムのアンインストール」または「プログラムと機能」をクリックして下さい。



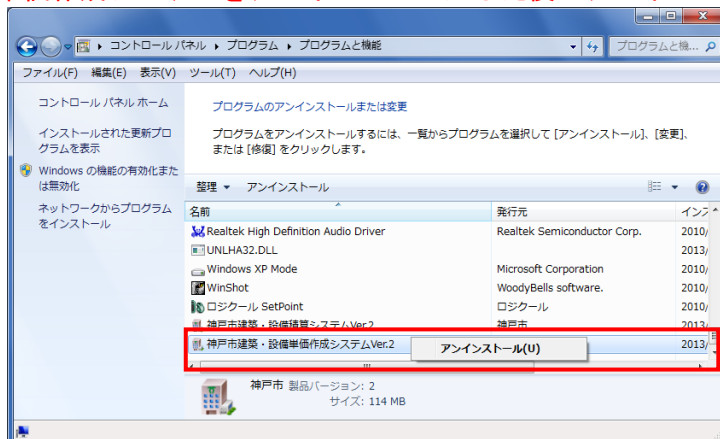
または



※Windows のバージョン及び設定により、表示方法が異なります。

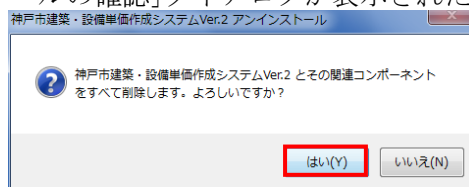
- ④一覧から「神戸市建築・設備単価作成システム Ver. 2」をクリックして選択し、右クリック→[アンインストール(U)]をクリックして下さい。

※誤って「神戸市建築・設備積算システム Ver. 2」をアンインストールしないで下さい。積算システムは単価作成システムをアンインストールした後でアンインストールして下さい。

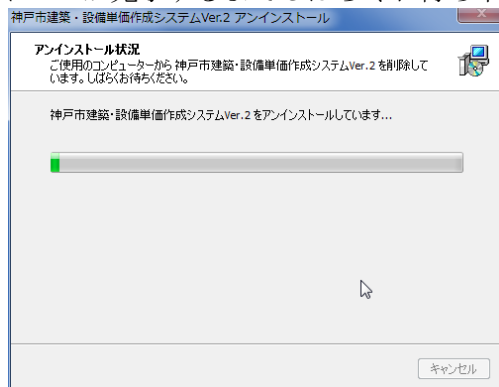


※Windows のバージョンにより、表示方法が異なります。

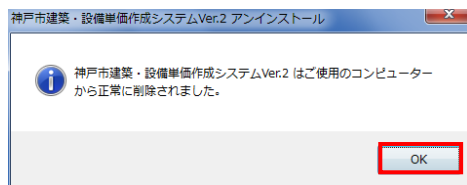
- ⑤[アンインストールの確認]ダイアログが表示されたら、[はい(Y)]ボタンをクリックして下さい。



- ⑥アンインストールが完了するまでしばらくお待ち下さい。



- ⑦アンインストール処理の完了メッセージが表示されましたら、[OK]ボタンをクリックして下さい。



※アンインストールを行っても、下記のフォルダー及びその中に保存されているファイルは残ります。

- ・「MSTER」フォルダー
- ・上記以外で、インストール先の ADD21V2 フォルダー内に保存されているファイルのうち、セットアッププログラム以外が作成したファイル（本システム利用者が作成したファイル等）それらのフォルダーやファイルについても不要な場合は、手作業で削除して下さい。

§ 2. 電気設備単価マスタ作成作業の概要

1. ツリービュー表示・画面表示について

神戸市・設備単価作成システムでは、メインメニュー及び各種マスタ作成処理などにおいて、階層に管理できるものは、全てツリービュー方式を採用しています。



神戸市建築・設備単価作成システムでは1シート・1単価コードとなっています。

(神戸市建築・設備積算システムでは、1シートに複数の単価コードを格納可能です。)

それ以外の概念や操作方法は、神戸市建築・設備積算システムと基本的に同じです。従いまして、下記の操作方法につきましては、神戸市建築・設備積算システム Ver. 2 <電気設備工事編> 取扱説明書の該当箇所を参照して下さい。

- ・フォルダー・シートの新規作成
- ・フォルダー・シートの複写 (コピー)
- ・フォルダー・シートのプロパティ設定 (各マスタ個別の設定内容は本書の各項で解説します)
- ・フォルダー・シートの移動
- ・フォルダー・シートの削除

【注意】

各マスタのコードは重複しないように設定して下さい。

2. 作成する配布単価の種類及び単価コードについて

神戸市建築・設備積算システムにおいて電気設備積算で使用する配布単価には以下のものがあります。

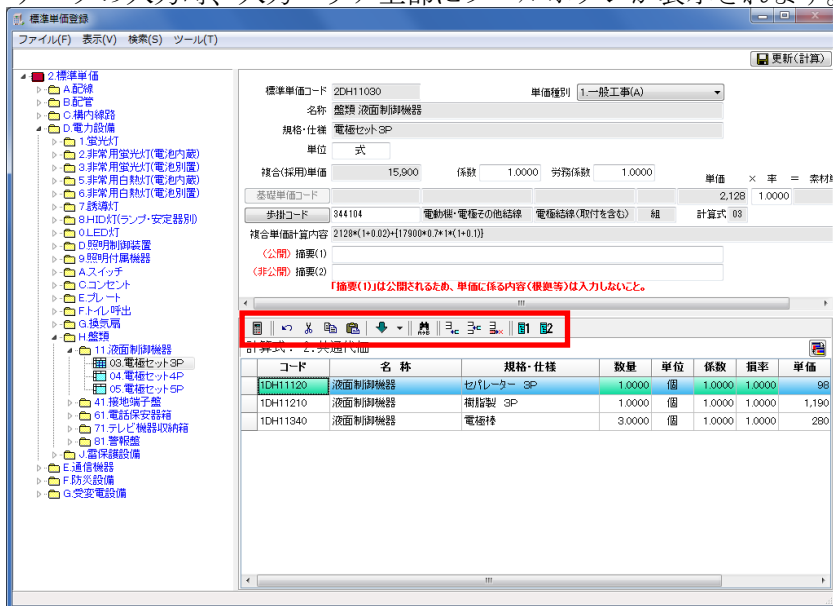
- ・基礎単価 (1 頭コード) (配布単価名 E 基礎 20XXXX. zip)
- ・標準単価 (2 頭コード) (配布単価名 E 標準 20XXXX. zip)
- ・補足単価 (3 頭コード) (配布単価名 E 補足 20XXXX. zip)
- ・住宅整備課単価 (J 頭コード) (配布単価名 E 住整 20XXXX. zip)
- ・歩掛 (種別毎に異なる頭コード) (配布単価名 E 歩掛 20XXXX. zip)

上記の 20XXXX は西暦年・月を示します。

(例) 平成 25 年 (2013 年) 6 月建築標準単価の場合⇒E 標準 201306. zip

3. 一覧入力時のツールボタン

※ データの入力時、入力エリア上部にツールボタンが表示されます。



◆ 表示されるボタンと機能

ツールボタン	機能説明
	表示データの編集結果を保存します。
	表示データを再計算します。
	編集内容を元に戻します。 ※削除した行の復活はできません。
	セルの値を切り取りします。
	セルの値をコピーします。
	選択しているセルに値を貼り付けします。
	[Enter]キー入力後のカーソルの移動方向を指定します。
	置換ウィンドウを表示し、選択領域の置換作業を行います。
	最終行に、行を追加します。
	カーソル行の上に、行を挿入します。
	選択行の削除を行います。 ※削除した行の復活はできません。
	単価選択画面を表示します(基礎単価選択・補足単価選択)

※ [右クリック]により、次のポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューの選択を行っても、同様に処理されます。

	表示データを再計算する(K)
	元に戻す(U)
	切り取り(T)
	コピー(C)
	貼り付け(P)
	編集の方向(H) ▶
	指定範囲の置換(R)
	行の追加(A) Ctrl+A
	行の挿入(I) Ctrl+I
	行の削除(D) Ctrl+D
	基礎単価ウィンド(X)
	補足単価ウィンド(Y)
	入力モード(Z) F2

4. 端数処理について

端数処理の概念及び処理方法は神戸市建築・設備積算システムと同じです。詳細内容は神戸市建築・設備積算システム Ver. 2〈電気設備工事編〉取扱説明書の該当箇所を参照して下さい。

なお、各マスタの端数処理は、ルートプロパティの設定で設定します。

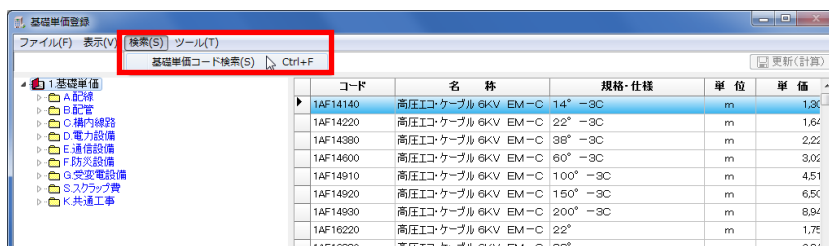
5. コードの検索機能

※操作方法は各マスタにおいて共通です。

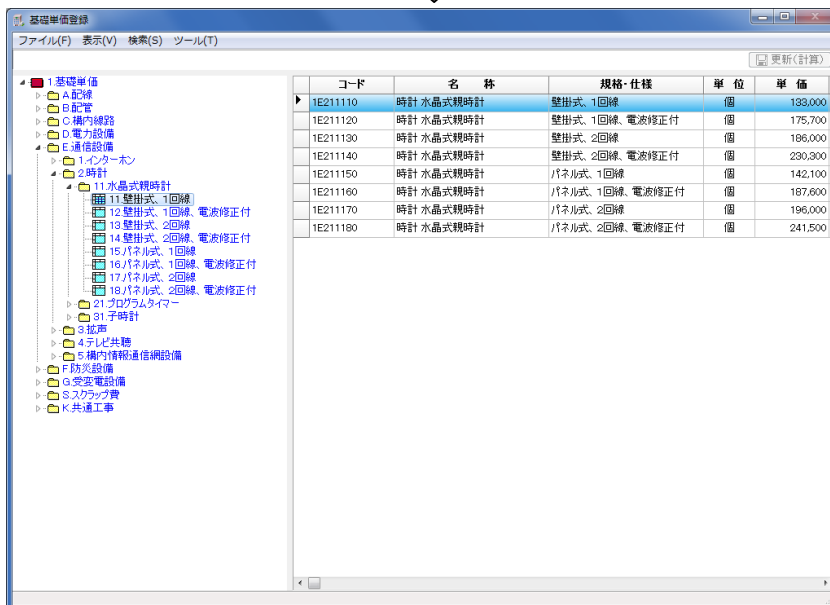
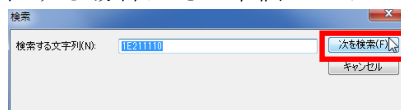
※本項では、基礎単価マスタ登録画面で解説します。

①[検索(S)]→[基礎単価コード検索(Ctrl+F)]をクリックして下さい。

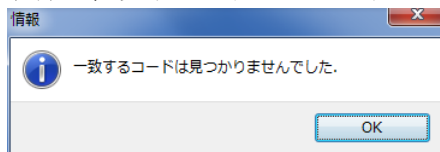
※「基礎単価コード検索」の部分は各マスタ登録画面において、「コード検索」・「補足単価コード検索」・「標準単価コード検索」等のような表記となります。



②検索したい単価コードを入力し、[次を検索(F)]ボタンをクリックして下さい。単価マスタに単価コードが存在する場合はその単価コードの単価シートに移動します。



見つからなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



6. 最新の情報に更新 ([表示(V)]メニュー)

各マスタデータベースの内容を再読込します（特に使用することはありません）。

※本項では、基礎単価マスタ登録画面で解説します。

①[表示(V)]→[最新の情報に更新(R)]をクリックして下さい。

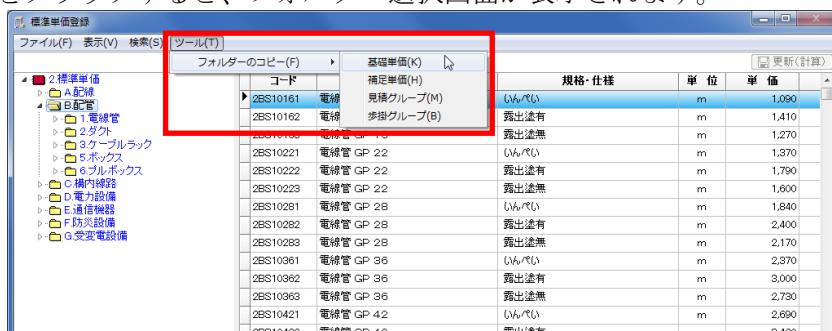


7. フォルダーのコピー ([ツール(T)]メニュー)

他の単価マスタのフォルダー階層構造（そのフォルダー階層下に含まれるフォルダーを全て）をコピーする機能です（フォルダー階層の中の単価シートはコピーされません）。

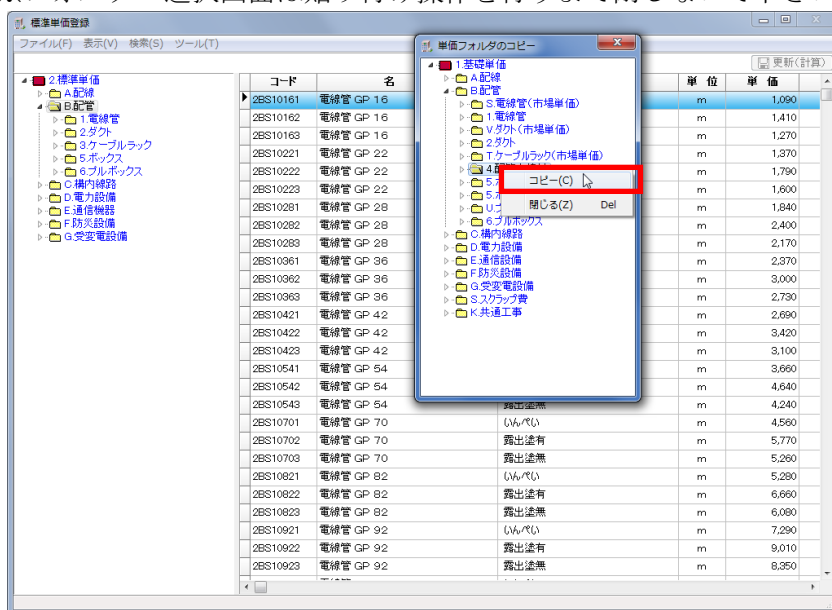
※本項では、基礎単価マスタ登録画面で解説します。

- ① [ツール(T)] → 「フォルダーのコピー(F)」 → [フォルダー階層をコピーしたい単価マスタ名] をクリックすると、フォルダー選択画面が表示されます。

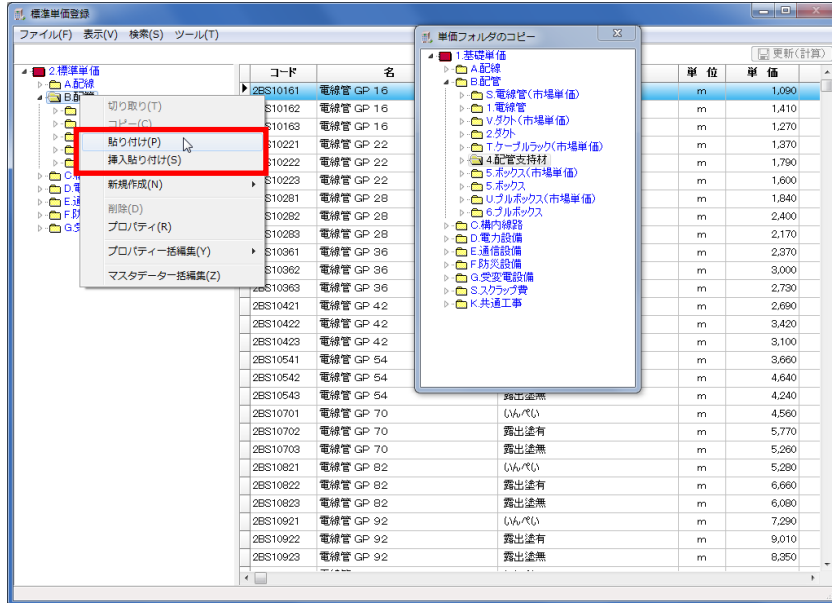


- ② コピーしたいフォルダーを選択し、右クリック → [コピー(C)] をクリックして下さい。
（コピーしたフォルダー情報が記憶されます）

※フォルダー選択画面は貼り付け操作を行うまで閉じないで下さい。

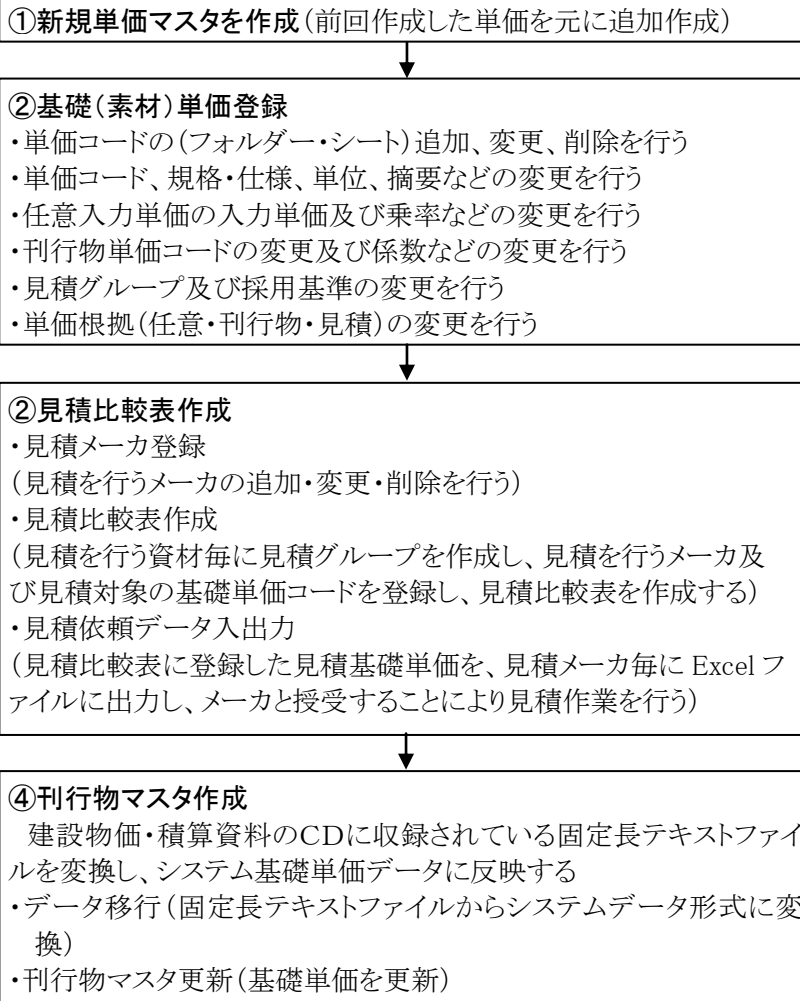


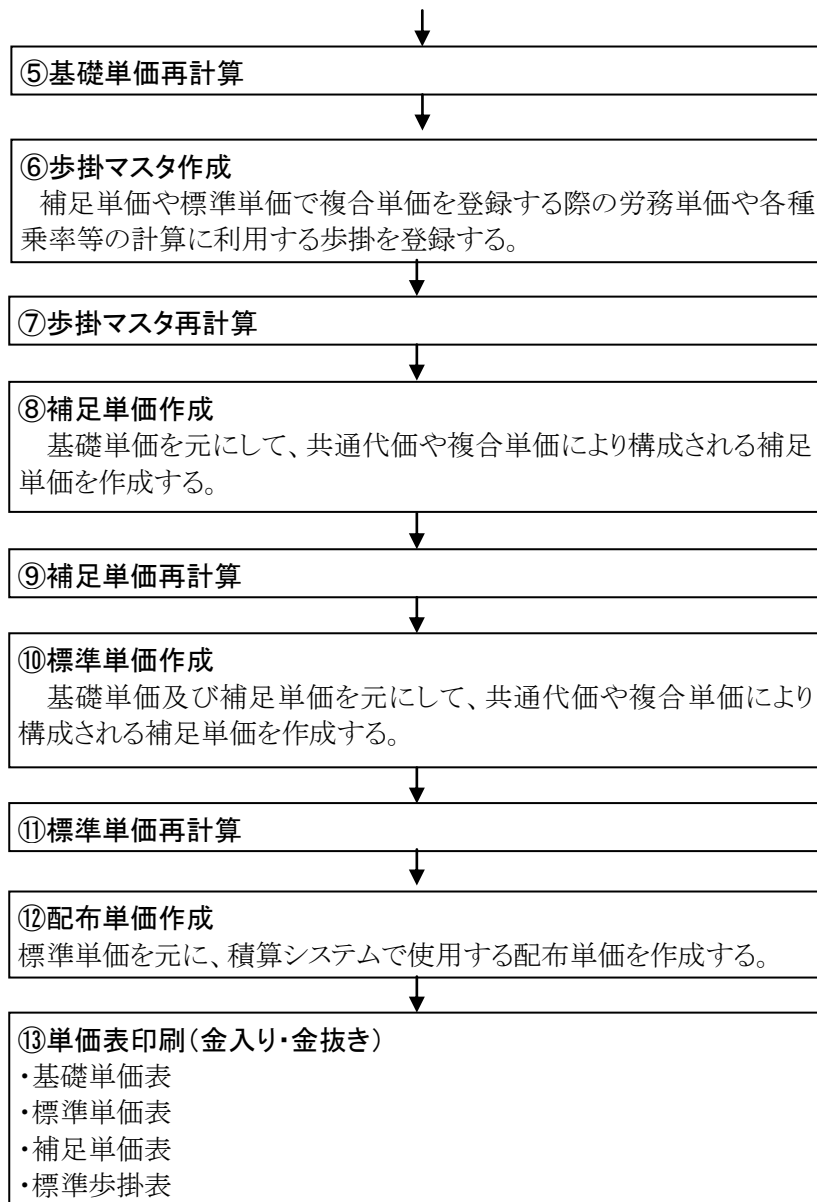
- ③貼り付けを行いたいフォルダー階層を選択し、右クリック→[貼り付け(P)]または[挿入貼り付け(S)]をクリックすると、フォルダー階層の貼り付けが行われます。



8. 作業手順概要

各マスタのデータは、下記の手順で作業を実施して下さい。

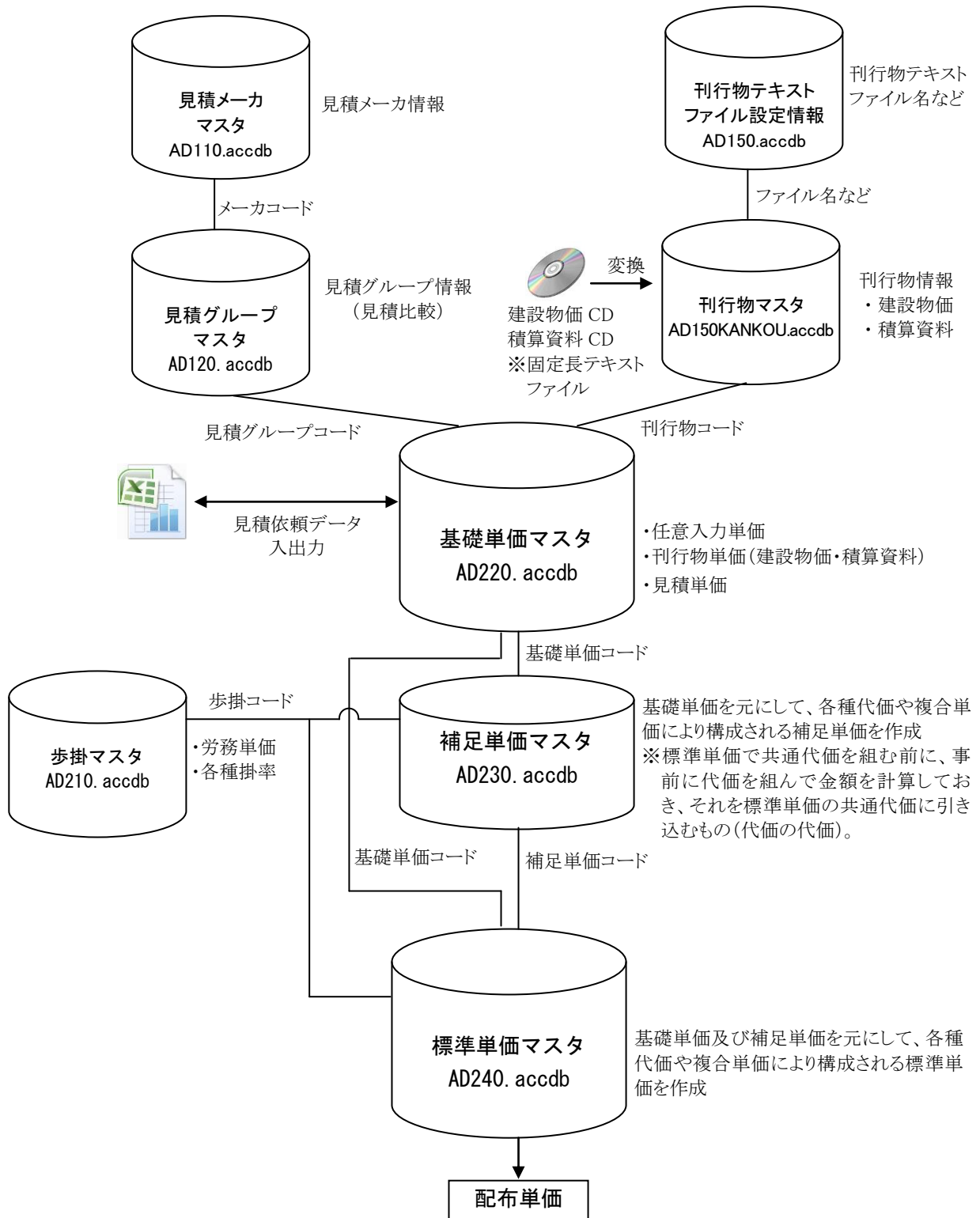




※前工程での変更を要する場合は、必要に応じて前工程に遡って作業を行って下さい。なお、前工程に遡って変更を行った場合は、必ずその段階の工程から順に再計算を行って下さい。

6. 単価マスタの構造概要

単価マスタは以下のような構造となっています。



§ 3. 神戸市建築・設備単価作成システムへのログイン

1. ログイン時の[ユーザーID]と[パスワード]について

神戸市建築・設備単価作成システムは、あらかじめ登録されたユーザー(使用者)しか、起動させることができません。また、起動にはパスワードが必要です。

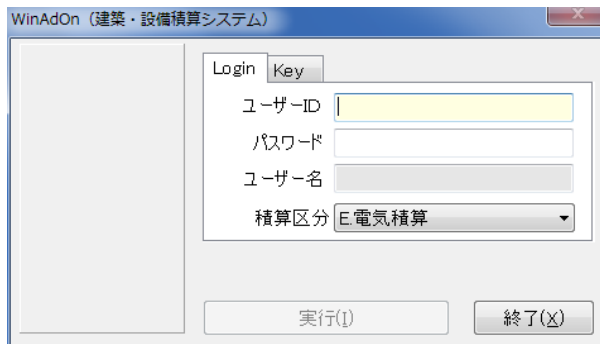
2. ログインの手順

基本的に神戸市建築・設備積算システムと同じ手順でログインして下さい。単価作成システム用のユーザーID・パスワードを入力し、認証されると、メインメニューに単価作成システム用の項目が追加表示されます。

①神戸市建築・設備積算システム Ver. 2 のショートカットアイコンをダブルクリックして下さい。



②ログインのための、ウィンドウが起動します。



※神戸市建築・設備積算システムの既定(C:\¥ADD21V2¥DATDB¥)以外のフォルダーにセットアップした場合や、インストール先のドライブやフォルダーが異なる場合、または、新たに LOGIN Key ファイルフォルダーを設定する場合には、LOGIN Key ファイルの保存先フォルダーを設定する必要があります。

なお一度設定をするとシステム設定ファイルに記憶されますので、再度設定する必要はありません。(設定が不要な場合は⑥へ)

③ログインウィンドウの[Key]タブをクリックして下さい。

現在設定されている LOGIN Key ファイル の保存先が表示されます。



④[参照(B)]をクリックして下さい。

- ⑤フォルダー参照画面が表示されます。LOGIN Key ファイルの保存先のフォルダーを指定し、[OK] ボタンをクリックして下さい。



- ⑥ログインウィンドウの[Login]タブをクリックし、単価作成用の[ユーザーID]と[パスワード]を入力して下さい。

※[ユーザーID]は、「 」・[パスワード]は、「 」です。

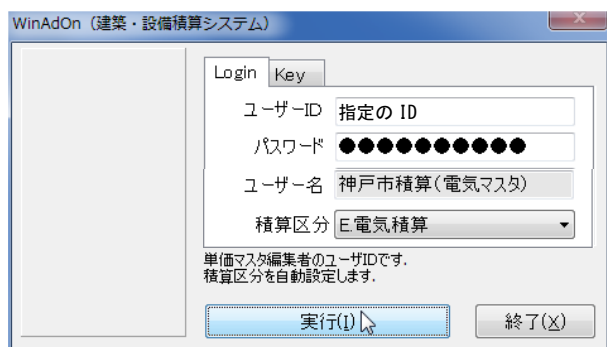
[Enter]キーにより、ログインの認証が行われます。

ユーザーが認証されると、[ユーザー名]に、設定ユーザー名が表示されます。

なお、[積算区分]は[ユーザーID]で単価マスタ編集利用者と判断されるので選択できません。



- ⑦ログインウィンドウの[実行(I)]ボタンをクリックするとメインメニューが表示されます。

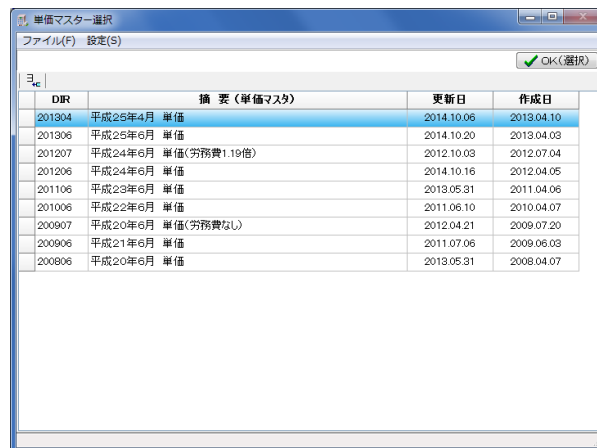
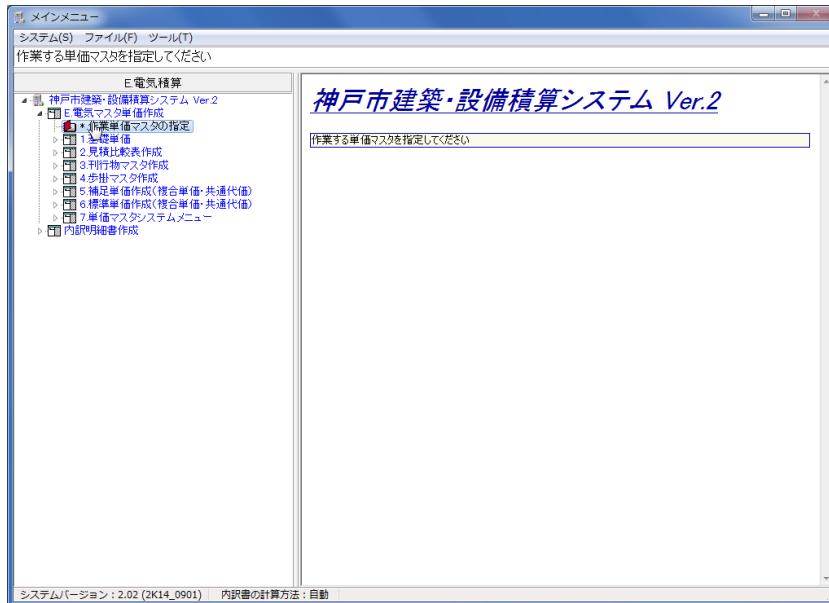


§ 4. 作業単価マスタの設定

1. 作業単価マスタ選択

(1) 単価マスタ選択画面の表示

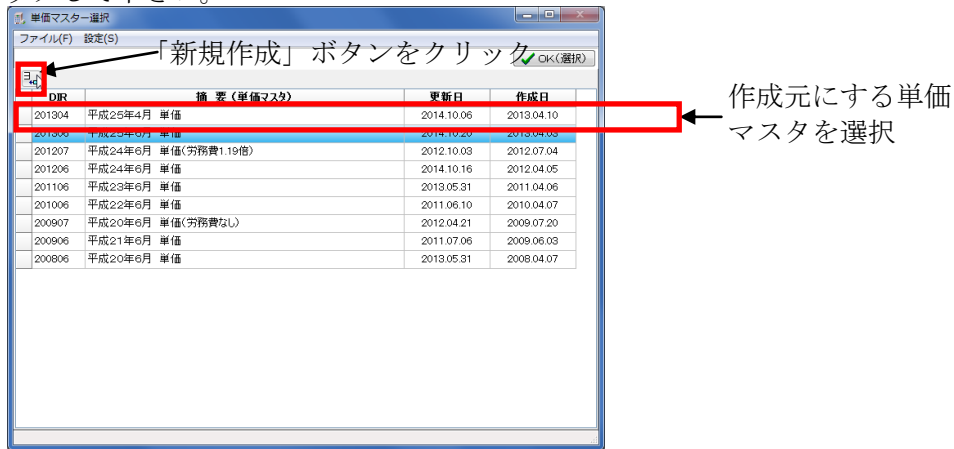
- ①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[作業単価マスタの指定] (既に単価マスタを選択している場合は「平成〇年〇月単価」(摘要に設定している内容)と表示されています)をダブルクリックすると、単価マスタ選択画面が表示されます。



DIR	摘要(単価マスタ)	更新日	作成日
201304	平成25年4月 単価	2014.10.06	2013.04.10
201306	平成25年6月 単価	2014.10.20	2013.04.03
201207	平成24年6月 単価(労務費1.19倍)	2012.10.03	2012.07.04
201206	平成24年6月 単価	2014.10.16	2012.04.05
201106	平成23年6月 単価	2013.05.31	2011.04.06
201006	平成22年6月 単価	2011.06.10	2010.04.07
200907	平成20年6月 単価(労務費なし)	2012.04.21	2009.07.20
200906	平成21年6月 単価	2011.07.06	2009.06.03
200806	平成20年6月 単価	2013.05.31	2008.04.07

(2) 新規単価マスタの作成

- ①単価マスタ選択画面で、作成元にする単価マスタの行を選択してから、新規作成ボタンをクリックして下さい。



- ②各種項目を設定し、[OK]ボタンをクリックすると、作成元の単価を元として新規単価マスタが作成されます。

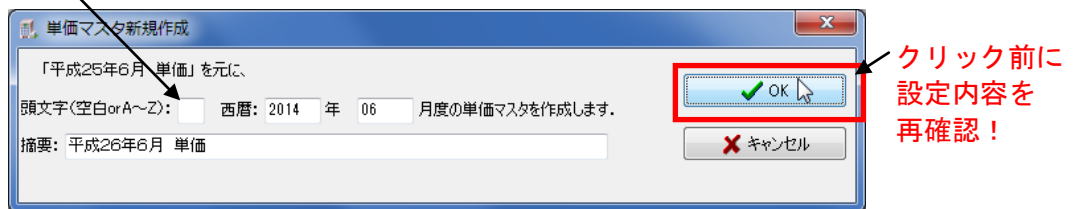
【注意】 一度作成すると設定内容は変更できないため、慎重に行ってください。

「頭文字」の入力は任意（空白でも可能）。

※住宅整備課単価作成時は“J”を入力。

※単価の試作等で同年月のものを複数作成する場合にA~Zの任意の文字を入力。

※既存のものと重複しないように注意して下さい。

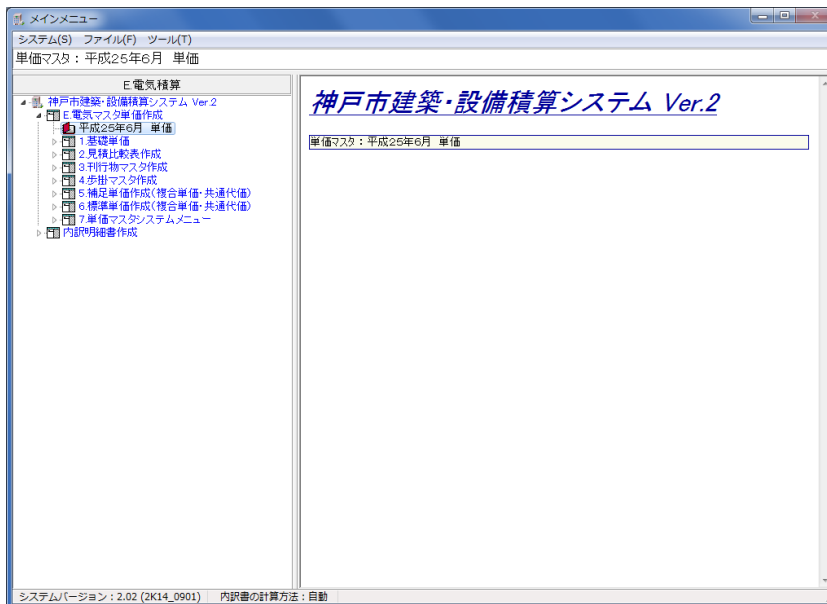


(3) 単価マスタの選択

- ①単価マスタ選択画面の該当する行を選択し、[OK]ボタンを[クリック]して下さい。
または、該当する行を[ダブルクリック]して下さい。

DIR	摘要 (単価マスタ)	更新日	作成日
201304	平成25年4月 単価	2014.10.06	2013.04.10
201306	平成25年6月 単価	2014.10.20	2013.04.03
201207	平成24年6月 単価(労務費1.19倍)	2012.10.03	2012.07.04
201206	平成24年6月 単価	2014.10.16	2012.04.05
201106	平成23年6月 単価	2013.05.31	2011.04.06
201006	平成22年6月 単価	2011.06.10	2010.04.07
200907	平成20年6月 単価(労務費なし)	2012.04.21	2009.07.20
200906	平成21年6月 単価	2011.07.06	2009.06.03
200806	平成20年6月 単価	2013.05.31	2008.04.07

- ②選択した行の単価マスタが読み込まれていることを確認して下さい。



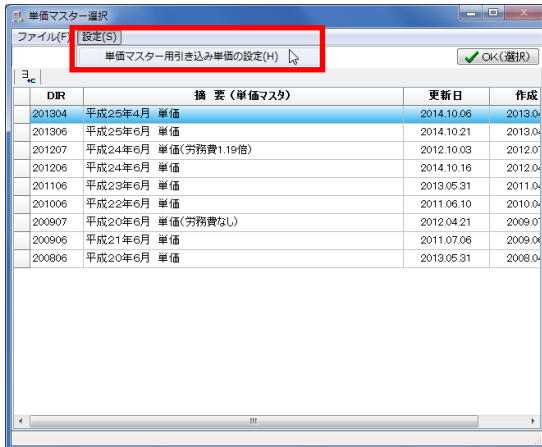
(4) 単価マスタ用引き込み単価の設定 (未使用機能)

※電気単価マスタ作成時はこの機能は使用しないで下さい。

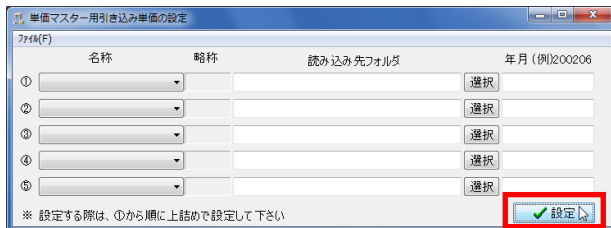
※以前、建築の単価マスタ作成の際に労務単価を単独で作成していた時に本画面で設定した単価を標準単価作成時にコードを入力して引込みをしていました。

※この機能で設定を行った場合、基礎単価と引き込み単価双方に同じ単価コードの単価が存在する場合は、引き込み単価の方の単価が優先されて計算されますのでご注意下さい。

①[設定(S)]→[単価マスタ用引き込み単価の設定(H)]をクリックして下さい。

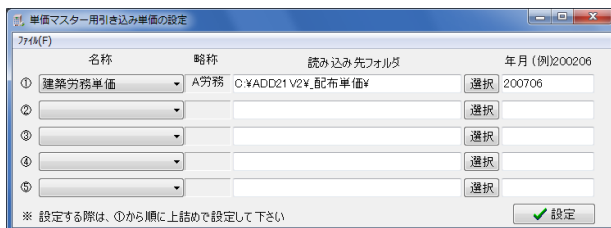


②この画面の設定項目は全て空白の状態です[設定]ボタンをクリックして下さい。



[参考] (電気単価マスタ作成時は設定しないで下さい。)

平成 19 年 (2007 年) 6 月 労務単価 (R コード) を補足単価・代価で引き込む場合の設定です。

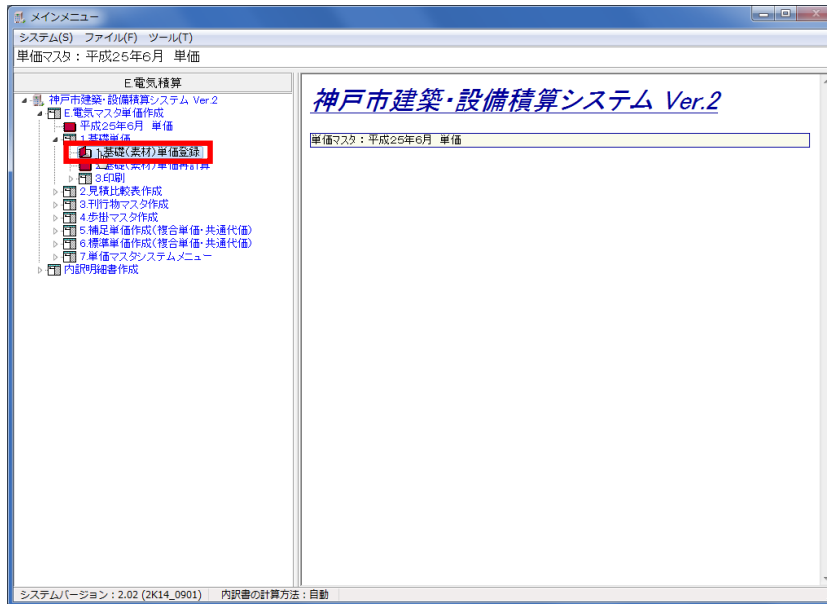


§ 5. 基礎単価

A. 基礎単価登録

1. 基礎単価登録画面の表示

①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[1. 基礎単価]→[1. 基礎（素材）単価登録]をダブルクリックすると、基礎単価登録画面が表示されます。

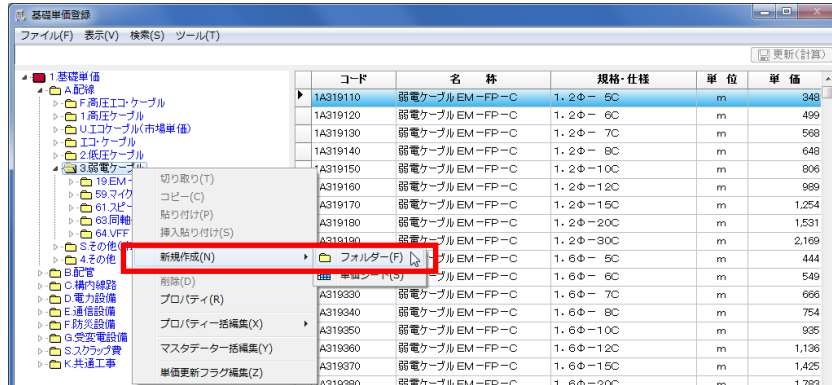


コード	名称	規格・仕様	単位	単価
1AF14140	高圧エコーケーブル 6KV EM-C	14° -3C	m	1.28
1AF14220	高圧エコーケーブル 6KV EM-C	22° -3C	m	1.64
1AF14380	高圧エコーケーブル 6KV EM-C	38° -3C	m	2.22
1AF14600	高圧エコーケーブル 6KV EM-C	60° -3C	m	3.02
1AF14910	高圧エコーケーブル 6KV EM-C	100° -3C	m	4.51
1AF14920	高圧エコーケーブル 6KV EM-C	150° -3C	m	6.52
1AF14930	高圧エコーケーブル 6KV EM-C	200° -3C	m	8.94
1AF16220	高圧エコーケーブル 6KV EM-C	22°	m	1.72
1AF16380	高圧エコーケーブル 6KV EM-C	38°	m	2.34
1AF16600	高圧エコーケーブル 6KV EM-C	60°	m	3.12
1AF16910	高圧エコーケーブル 6KV EM-C	100°	m	4.54
1AF16920	高圧エコーケーブル 6KV EM-C	150°	m	6.38
1AF16930	高圧エコーケーブル 6KV EM-C	200°	m	7.92
1AF17120	高圧エコーケーブル 端末処理材	屋外耐塩差込型 JCAAC3101	個	100.21
1AF17130	高圧エコーケーブル 端末処理材	屋外耐塩差込型 JCAAC3101	個	100.72
1AF17140	高圧エコーケーブル 端末処理材	屋外耐塩差込型 JCAAC3101	個	100.72
1AF17150	高圧エコーケーブル 端末処理材	屋外耐塩差込型 JCAAC3101	個	102.02
1AF17220	高圧エコーケーブル 端末処理材	屋内ダムスリコソコ型	個	16.00
1AF17230	高圧エコーケーブル 端末処理材	屋内ダムスリコソコ型	個	17.71
1AF17240	高圧エコーケーブル 端末処理材	屋内ダムスリコソコ型	個	20.24
1AF17250	高圧エコーケーブル 端末処理材	屋内ダムスリコソコ型	個	20.40
1AF19120	高圧エコーケーブル 端末処理材	屋外耐塩差込型 JCAAC3101	個	100.21
1AF19130	高圧エコーケーブル 端末処理材	屋外耐塩差込型 JCAAC3101	個	100.72
1AF19140	高圧エコーケーブル 端末処理材	屋外耐塩差込型 JCAAC3101	個	100.72
1AF19150	高圧エコーケーブル 端末処理材	屋外耐塩差込型 JCAAC3101	個	102.02
1AF19220	高圧エコーケーブル 端末処理材	屋内ダムスリコソコ型	個	16.00
1AF19230	高圧エコーケーブル 端末処理材	屋内ダムスリコソコ型	個	17.71

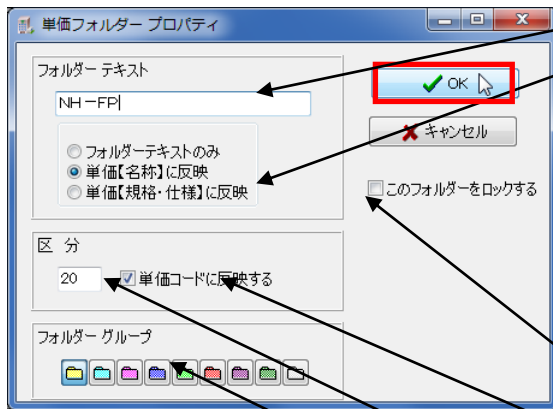
2. 新規基礎単価の登録・削除及びフォルダー・シートプロパティの設定

(1) フォルダーの新規作成

- ①フォルダーを追加したいフォルダーを選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[フォルダー(F)]をクリックして下さい。



- ②各種項目を設定して下さい。設定が完了したら、「OK」ボタンをクリックして下さい。



入力した文字列をツリービューに表示する。

- ・フォルダーテキストのみ
フォルダーテキストのみに反映する。
- ・単価【名称】に反映
シートのプロパティで連動するように設定した場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【名称】にも反映する。
- ・単価【規格・仕様】に反映
シートのプロパティで連動するように設定した場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【規格・仕様】にも反映する。

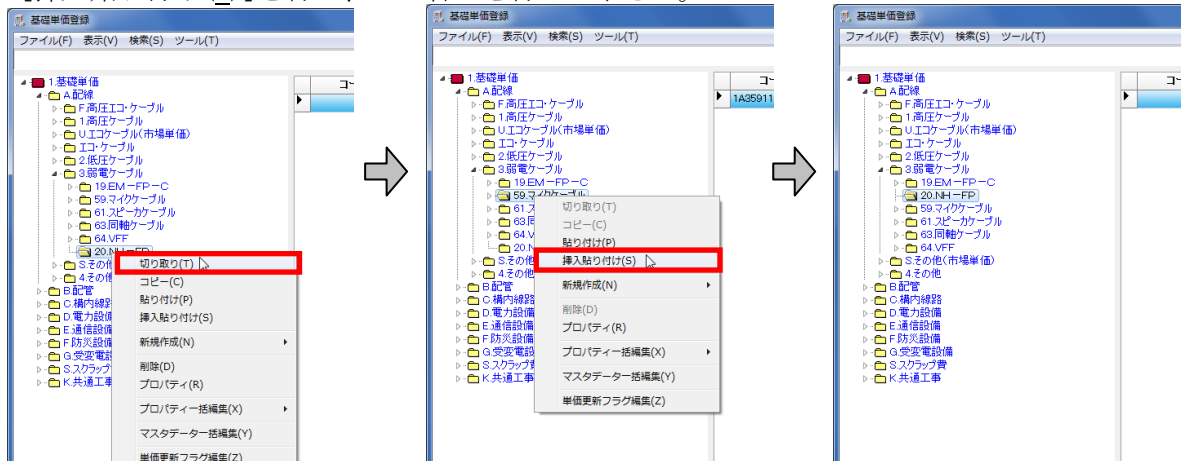
フォルダーの切り取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の単価コードに反映する場合はチェックを入れる。

フォルダーテキストの前に付くコードを設定する。

フォルダーの表示色を選択。

新規作成時は必ず階層中の並びの一番下に作成されますので、順番を並び替える必要があれば、右クリック→[切り取り(T)]→挿入後に一つ下にしたいフォルダーを選択→右クリック→[挿入貼り付け(S)]を行い、並び替えを行って下さい。

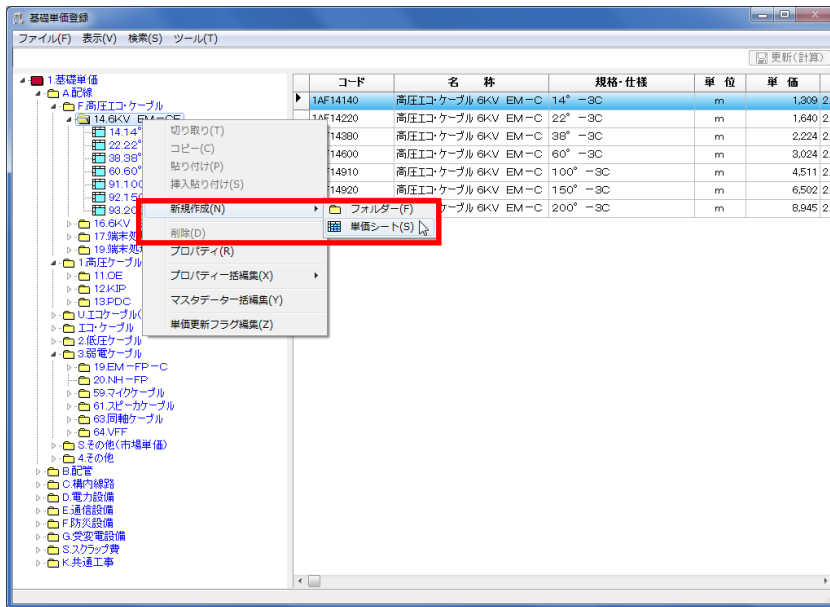


(2) 単価シートの新規作成 (新たな単価シートを作成)

①新規作成したい場所のフォルダー又はシートを選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[単価シート(S)]をクリックして下さい。

※右クリック時にフォルダーを選択している場合、そのフォルダー階層の一番下に新規単価シートが作成されます。

※右クリック時に単価シートを選択している場合、その単価シートの一つ前の並びに新規単価シートが作成されます。



②各種項目を設定して下さい。設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして下さい。

シートの切り取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

入力した文字列をツリービューに表示する。

「施工条件の付加」はチェックを入れない。(基礎単価は施工条件を選択できないため)

任意コードを単価コードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

シートテキストの前に付くコードを設定する。

施工条件コードを単価コードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。施工条件を選択。※基礎単価は「0.条件なし」のみ。

フォルダテキスト・シートテキストの値を、親の階層から順に、名称または規格・仕様に自動的に設定する。

採用単価の根拠を最安値に基づいてシステムで自動判断したい場合はチェックを入れる。

標準単価(複合単価)の印刷時、市場単価の基礎単価を“-”表示で印刷する場合にチェックを入れる。

- シートテキストのみ
シートテキストのみに反映する。
- 単価【名称】に反映
名称、規格・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【名称】にも反映する。
- 単価【規格・仕様】に反映
名称、規格・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【規格・仕様】にも反映する。

③単価の各種項目を編集して下さい (P30～参照)。

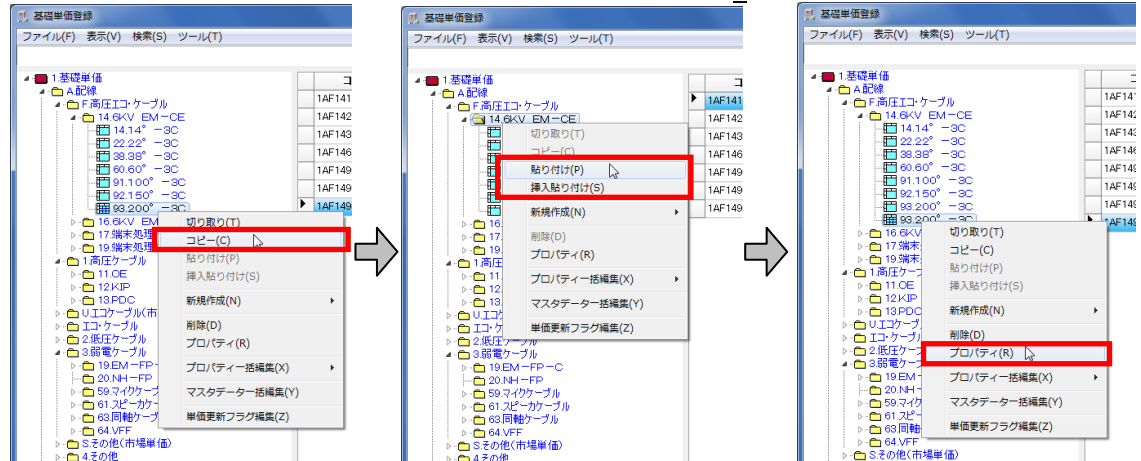
(3) 単価シートの新規作成 (既存の単価シートの情報を流用する場合)

①情報を流用したいシートを選択し、右クリック→[コピー(C)]→新規作成したい場所のフォルダーを選択し、[貼り付け(P)]をクリックして下さい。

※既存の単価シートの中に新規単価シートを挿入したい場合は、右クリック→[コピー(C)]→挿入後に下にしたいシートを選択→右クリック[挿入貼り付け(S)]をクリックして下さい。

このままでは単価コードが重複するため、シートプロパティを変更します。

②追加した単価シートを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。



③任意コードを変更し、各種項目を設定して下さい。

(任意コードは、必ず、重複しないコードを設定して下さい。)

設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして下さい。

入力した文字列をツリービューに表示する。

「施工条件の付加」はチェックを入れない。(基礎単価は施工条件を選択できないため)

任意コードを単価コードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

シートテキストの前に付くコードを設定する。

施工条件コードを単価コードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。施工条件を選択。※基礎単価は「0.条件なし」のみ。

シートテキストのみ
シートテキストのみに反映する。

単価【名称】に反映
名称、規格・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【名称】にも反映する。

単価【規格・仕様】に反映
名称、規格・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【規格・仕様】にも反映する。

シートのカット取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

フォルダテキスト・シートテキストの値を、親の階層から順に、名称または規格・仕様に自動的に設定する。

採用単価の根拠を最安値に基づいてシステムで自動判断したい場合はチェックを入れる。

標準単価(複合単価)の印刷時、市場単価の基礎単価を“-”表示で印刷する場合にチェックを入れる。

OK

キャンセル

このシートをロックする

名称、規格・仕様の連動

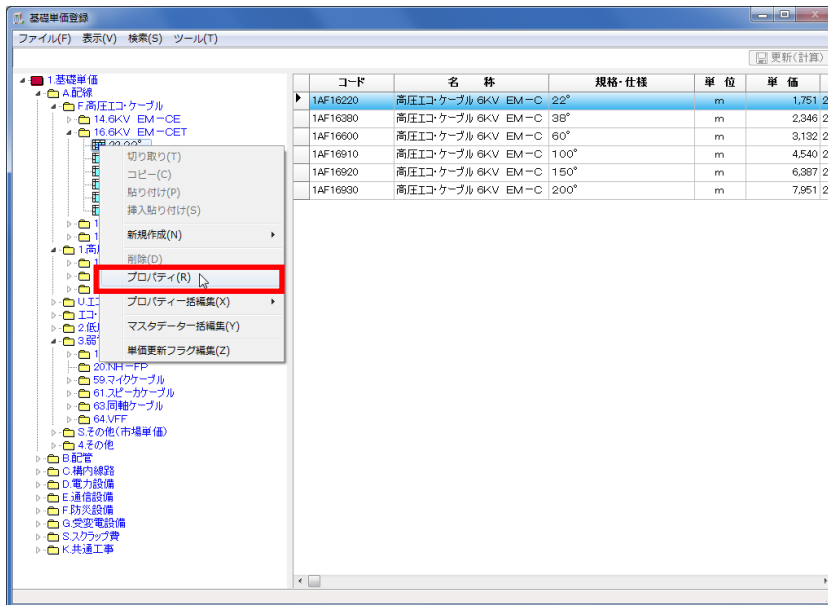
採用単価の自動比較計算

市場単価

④単価の各種項目を編集して下さい (P30~参照)。

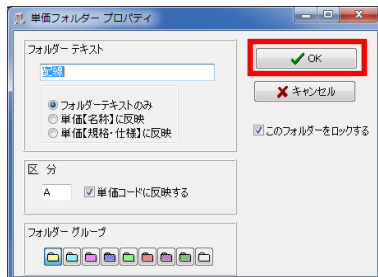
(4) フォルダー・シートプロパティの設定

- ①プロパティを設定したいフォルダー又はシートを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。

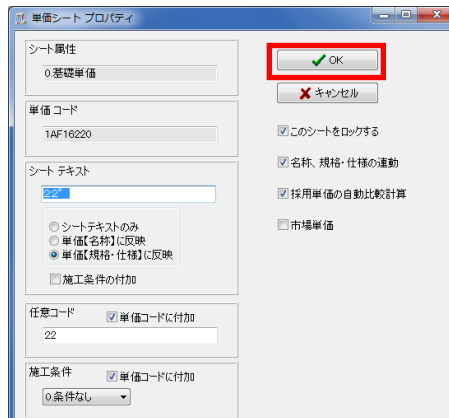


- ②フォルダープロパティ・シートプロパティを設定し、[OK]ボタンをクリックして下さい。
 ※注意点は、本項の「(1) フォルダーの新規作成 (P24)」・「(2) 単価シートの新規作成 (P25)」を参照して下さい。

フォルダープロパティ



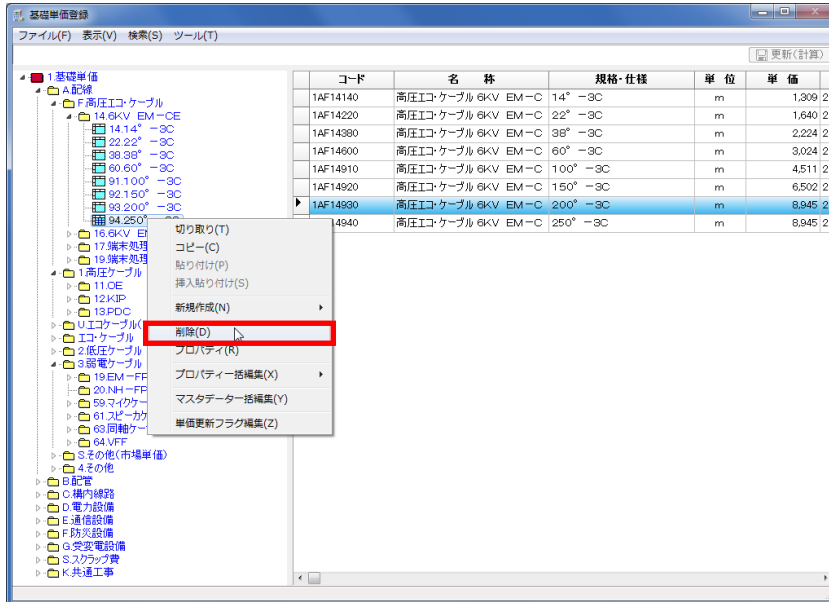
シートプロパティ



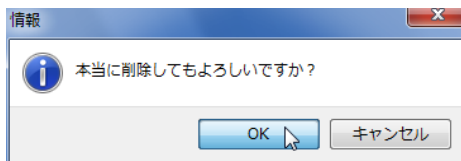
(5) フォルダー・シートの削除

※削除を行うと、元に戻すことはできません。また、補足単価や標準単価（複合単価）に使用している場合は、基礎単価に関する情報が消えますので慎重に行ってください。

①削除したいフォルダー・シートを選択し、右クリック→[削除(D)]をクリックして下さい。

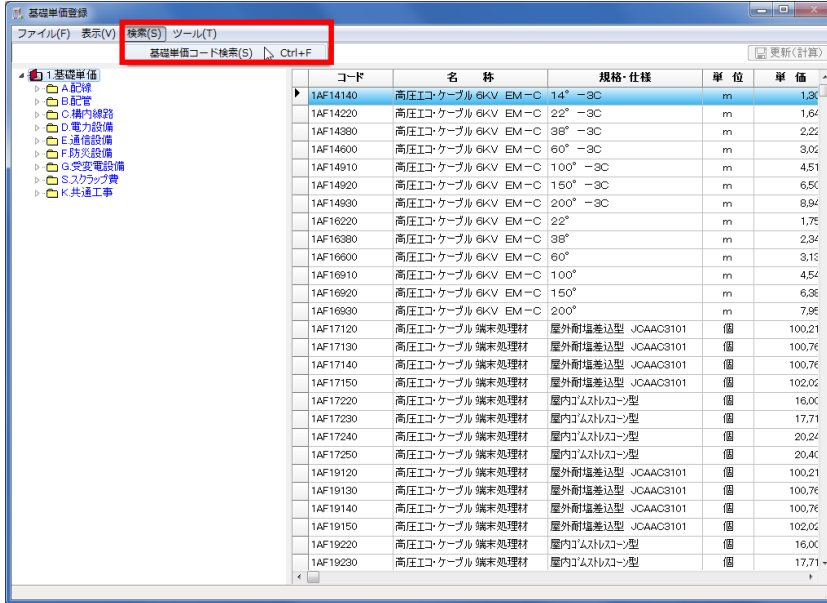


②[OK]ボタンをクリックすると、削除処理が行われます。[キャンセル]ボタンをクリックすると中止します。

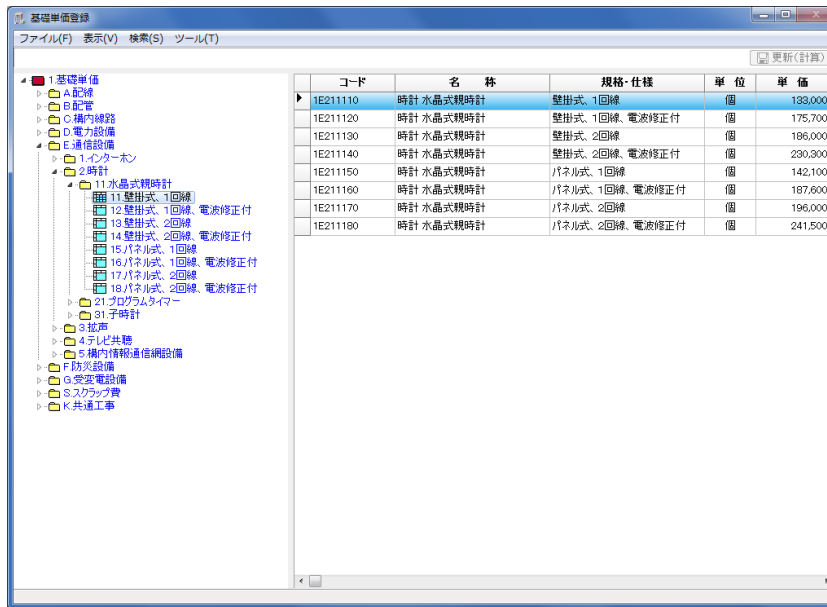
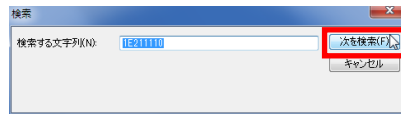


3. 単価コードの検索

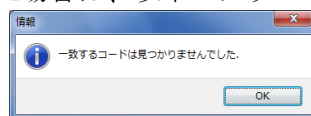
① [検索(S)] → [基礎単価コード検索(Ctrl+F)] をクリックして下さい。



② 検索したい単価コードを入力し、[次を検索(F)] ボタンをクリックして下さい。単価マスターに単価コードが存在する場合はその単価コードの単価シートに移動します。



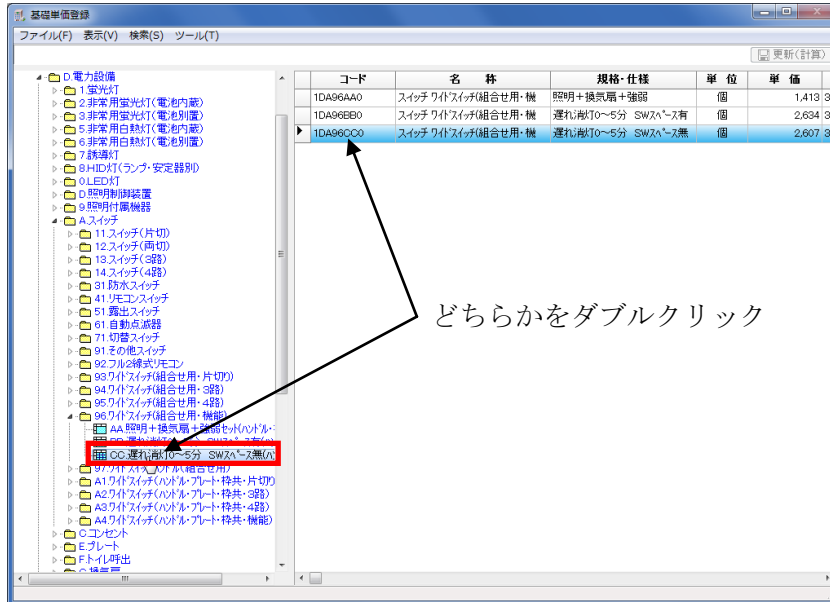
見つからなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



4. 基礎単価の各種項目の編集

①編集を行いたい単価シートを選択し、ダブルクリックすると、画面右側の単価リスト表示部が基礎単価編集表示に切り替わります。

(単価リスト表示部の、編集を行いたい行をダブルクリックしても同様の処理となります)

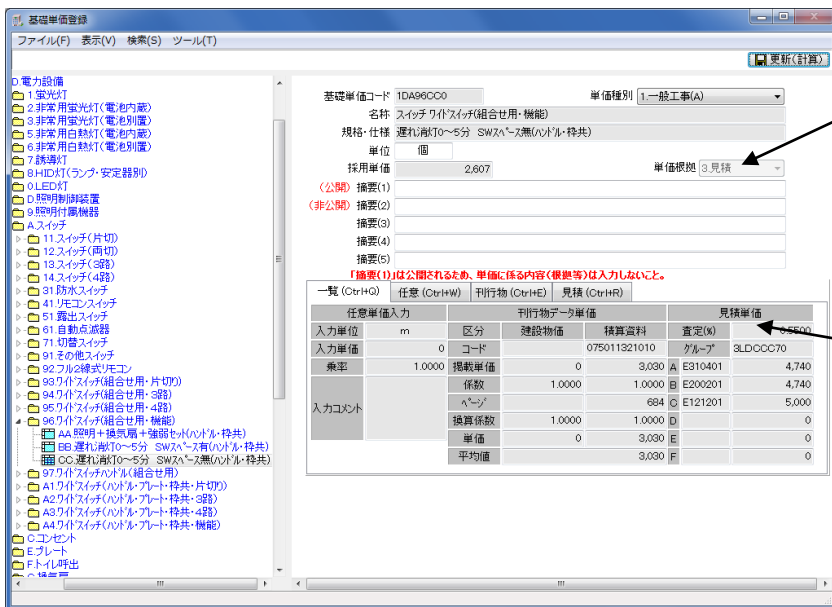


②各種項目を設定し、[更新(計算)]ボタンをクリックして下さい。



※2015年度(平成27年度)以降、単価根拠が「2.刊行物」の場合は、ルートプロパティの[端数処理シート]の設定に関わらず、強制的に「1.円止め」の端数処理になります。

◆基本項目及び「一覧」表示
単価の基本情報を入力・設定します。



「1.任意」・「2.刊行物」・「3.見積」のうち、どの単価を採用するかを設定する
※シートプロパティの「採用単価の自動比較計算」にチェックが入っている時は使用不可)

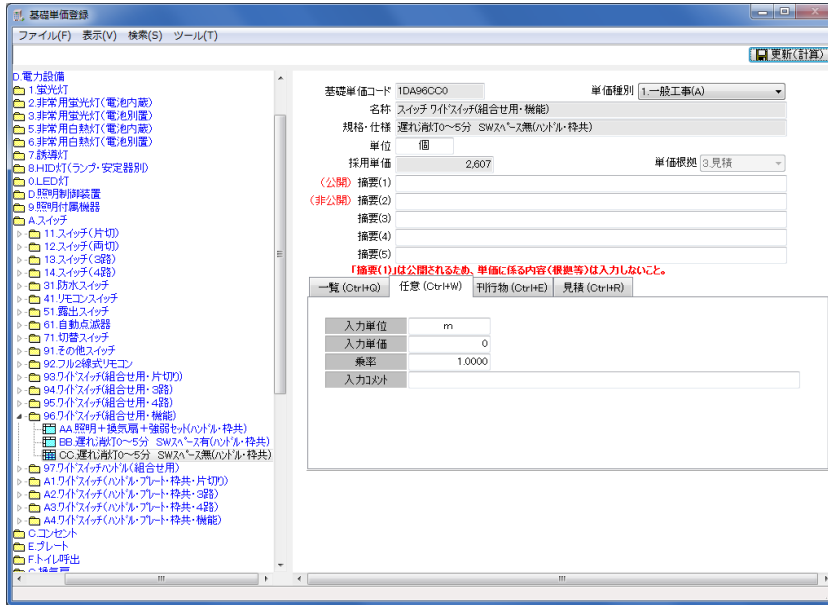
一覧表示は参照表示のみです。タブシートを切り替えて、それぞれの項目で入力して下さい。

摘要(1)～(5)について
 摘要(1)：公開項目(単価表に掲載)
 摘要(2)：守秘項目(単価表に掲載しない(印刷設定により掲載も可))
 摘要(3)～(5)メモで使用(単価表に掲載しない(印刷設定により掲載も可))

◆ 「任意」表示

刊行物コードが無い単価（刊行物コードを入力しても情報を引き込まれない単価）や、見積依頼を行わない単価について、任意の値を手入力します。

※建設物価・積算資料・コスト情報等の刊行物単価を手入力する際は、平均値または安い方の単価を入力し、入力コメントに刊行物名・ページ番号などを入力します。



◆ 「刊行物」表示

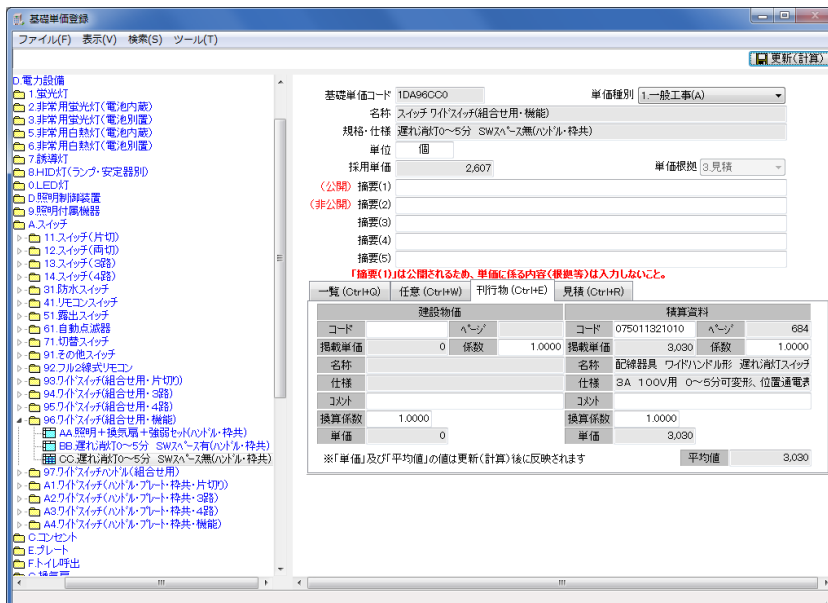
刊行物単価コード（建設物価・積算資料）があるものについて、そのコードを入力します。

採用単価はそれぞれ、[単価]×[係数]×[換算係数]にて計算を行います。

ルートプロパティの設定（P34 参照）が「最下値」の場合は[建設物価]または[積算資料]のうち、安い方が採用され、「平均値」の場合はそれぞれの単価（[掲載単価]×[係数]×[換算係数]）の平均値が採用されます。

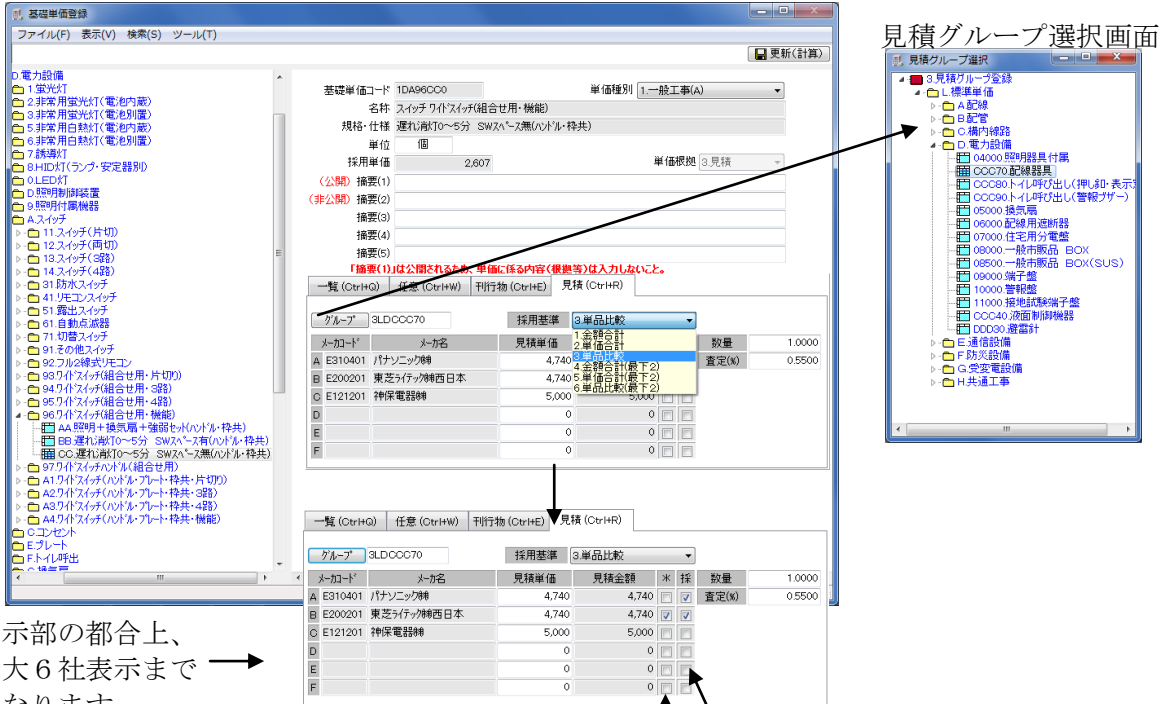
※刊行物単価コードを入力しているにもかかわらず、刊行物マスタから情報を引き込まれないものは、その刊行物単価コードが刊行物マスタに無いものです。

（[建設物価]・[積算資料]固定長テキストファイルの情報更新により、コードが廃止されたり変更されたりした場合も同様の現象が発生します。）



◆ 「見積」表示

見積比較に関する情報を設定します（見積グループ登録画面の設定と連動）。



表示部の都合上、
最大6社表示まで
となります。
7社以上は、
見積グループ登録
画面で登録・確認
して下さい。

採用メーカーにチェックが入る
[※]…メーカーの見積単価が0円フラグ
(見積金額は最安値が表示されます)

見積グループ登録画面



採用基準について

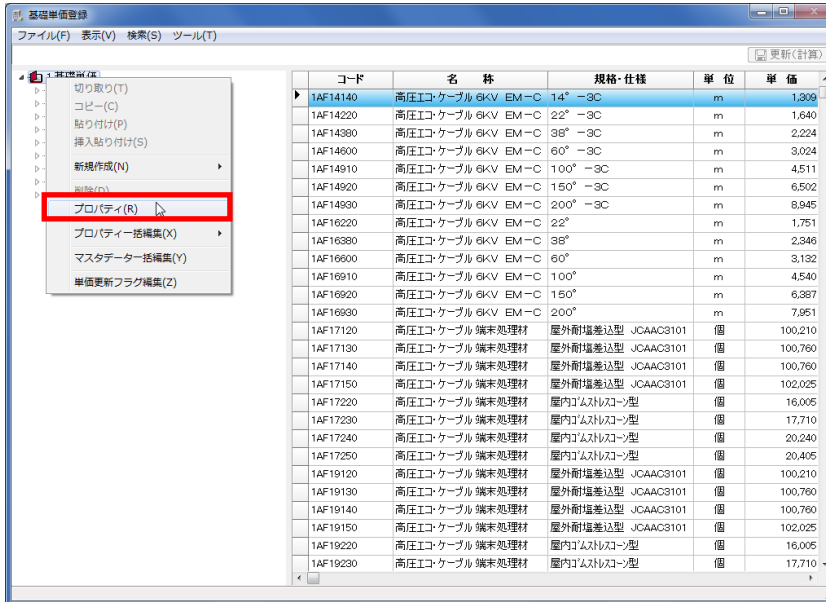
- ・金額合計：見積グループ内で、単価×数量により金額を求め、その金額の合計が最安値となるメーカーを採用する。
- ・単価合計：見積グループ内で単価の合計が最安値となるメーカーを採用する。
- ・単品比較：見積単価（行毎）で最安値となるメーカーの単価を採用する（いい所取り）。
- ・金額合計（最下2）：見積グループ内での金額合計の計算結果、2番目に安い金額合計となるメーカーを採用する
- ・単価合計（最下2）：見積グループ内での単価合計の計算結果、2番目に安い単価合計となるメーカーを採用する
- ・単品比較（最下2）：見積単価（行毎）で2番目に安いメーカーの単価を採用する（2番目のいい所取り）。

5. 基礎単価登録画面 その他の機能について

(1) ルートプロパティ

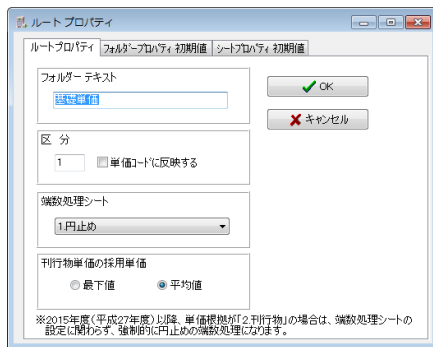
基礎単価マスタの基本設定を行います。

- ① ツリービューの一番上にある赤色のフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。

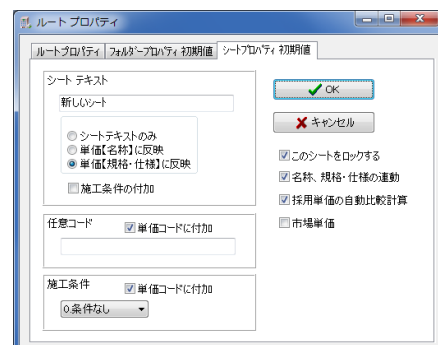
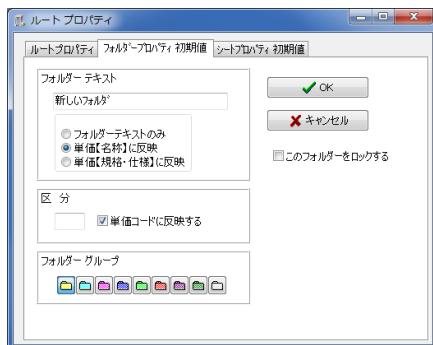


- ② 各種項目を設定の上、[OK] ボタンをクリックして下さい。

- ◆ ルートプロパティ (ルートフォルダーのプロパティ及び端数処理方法及び刊行物単価の採用単価の計算の設定を行う)



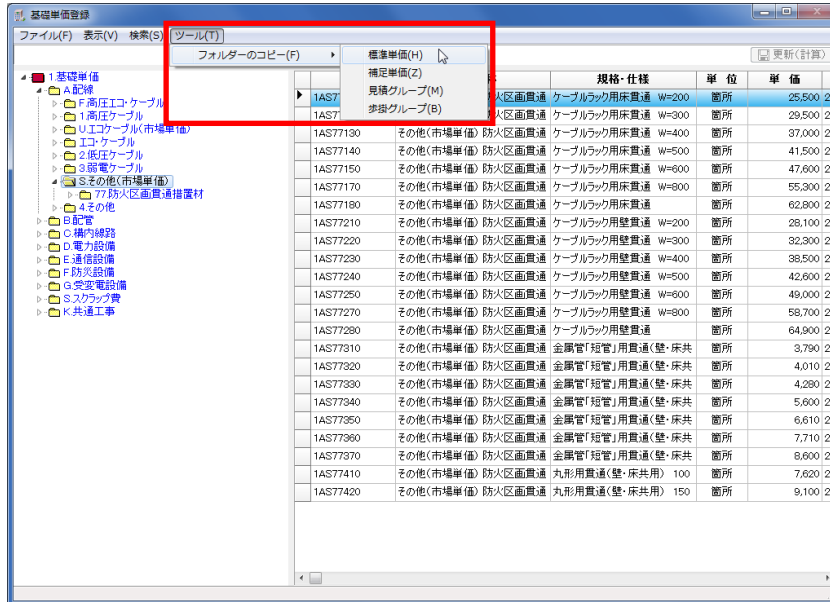
- ◆ フォルダープロパティ (新規作成時) 初期値
- ◆ シートプロパティ (新規作成時) 初期値



(2) フォルダのコピー ([ツール(T)]メニュー)

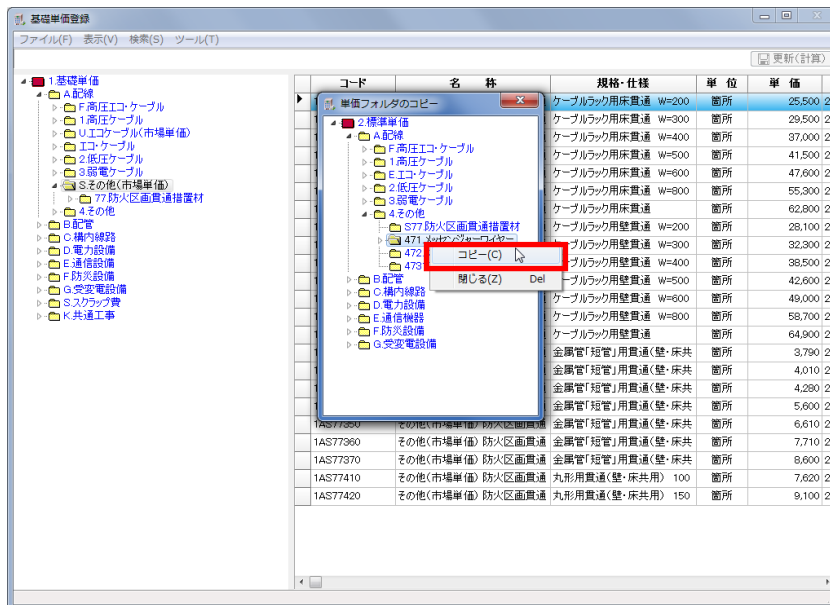
他の単価マスタのフォルダ階層構造 (そのフォルダ階層下に含まれるフォルダを全て) をコピーする機能です (フォルダ階層の中の単価シートはコピーされません)。

- ① [ツール(T)] → 「フォルダのコピー(F)」 → [フォルダ階層をコピーしたい単価マスタ名] をクリックすると、フォルダ選択画面が表示されます。

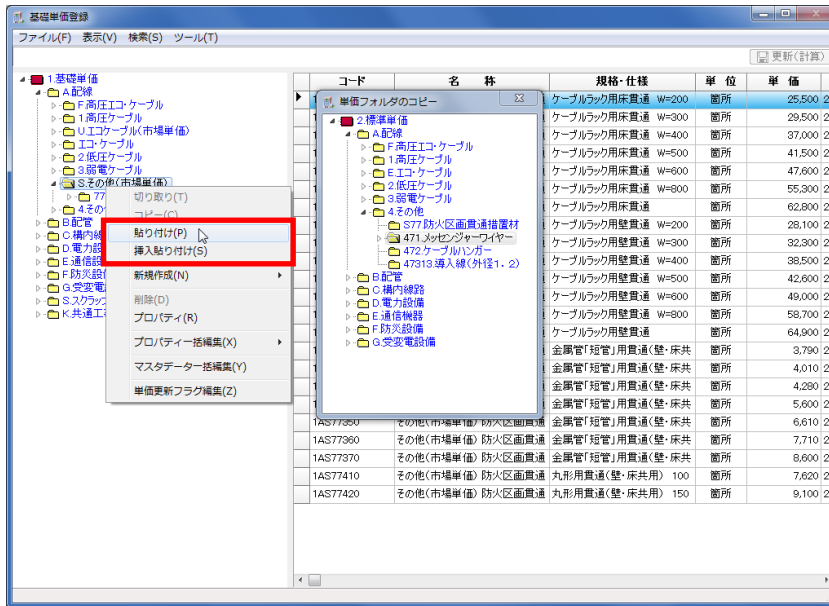


- ② コピーしたいフォルダを選択し、右クリック → [コピー(C)] をクリックして下さい。
(コピーしたフォルダ情報が記憶されます)

※フォルダ選択画面は貼り付け操作を行うまで閉じないで下さい。



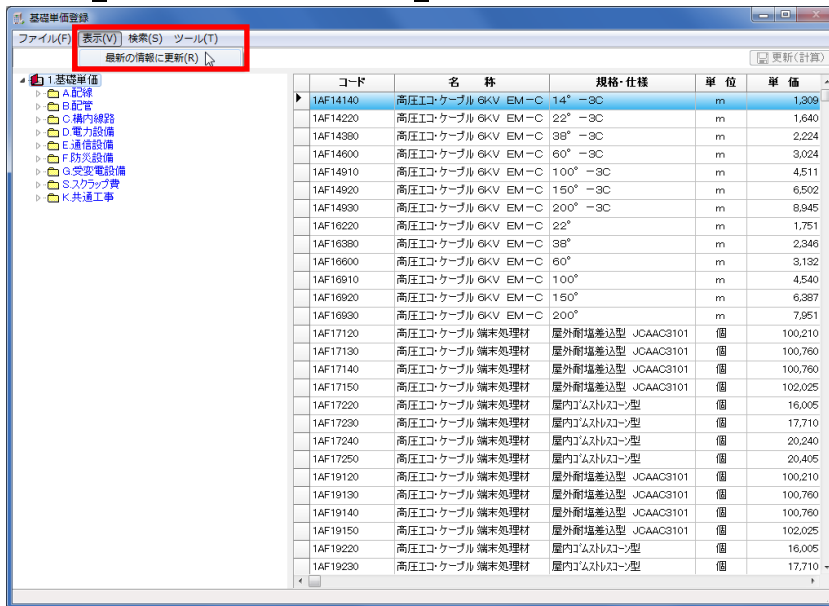
- ③貼り付けを行いたいフォルダー階層を選択し、右クリック→[貼り付け(P)]または[挿入貼り付け(S)]をクリックすると、フォルダー階層の貼り付けが行われます。



(3) 最新の情報に更新 ([表示(V)]メニュー)

マスターデータベースの内容を再読み込みします (特に使用することはありません)。

- ①[表示(V)]→[最新の情報に更新(R)]をクリックして下さい。

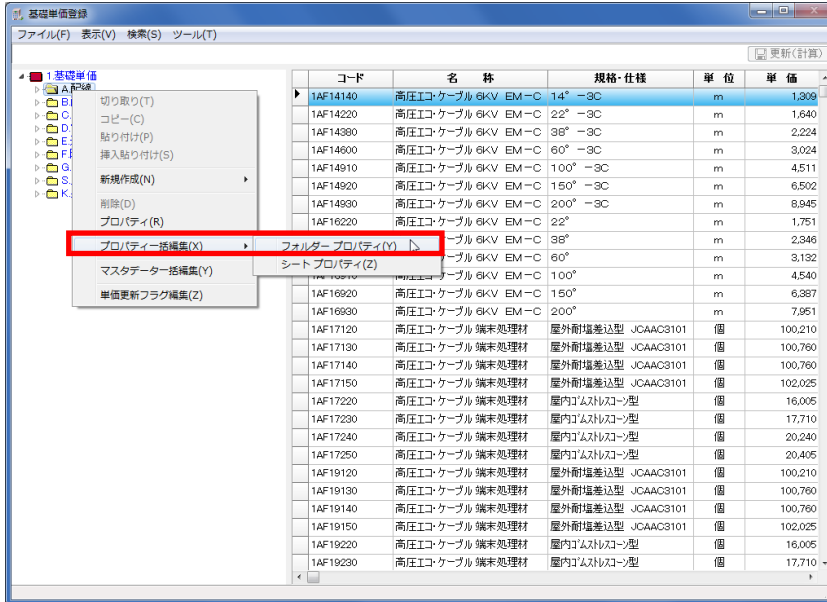


(4) フォルダープロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)

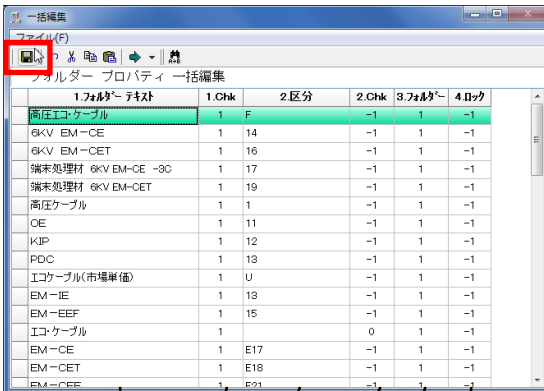
選択したフォルダーの配下にあるフォルダーのプロパティを一括編集します。

※大量のフォルダーが含まれるフォルダーを一度に処理しようとすると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

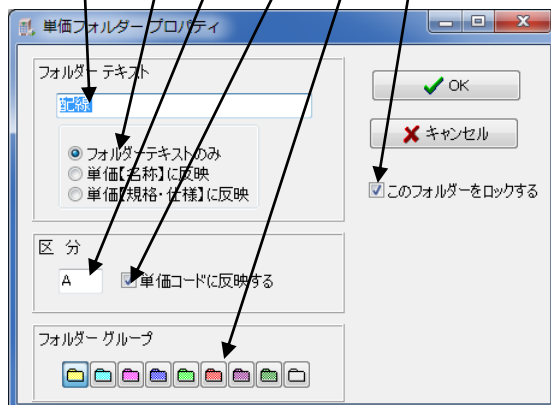
①一括編集したいフォルダーを配下に含むフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ一括編集(X)]→[フォルダープロパティ(Y)]をクリックして下さい。



②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。



対応項目

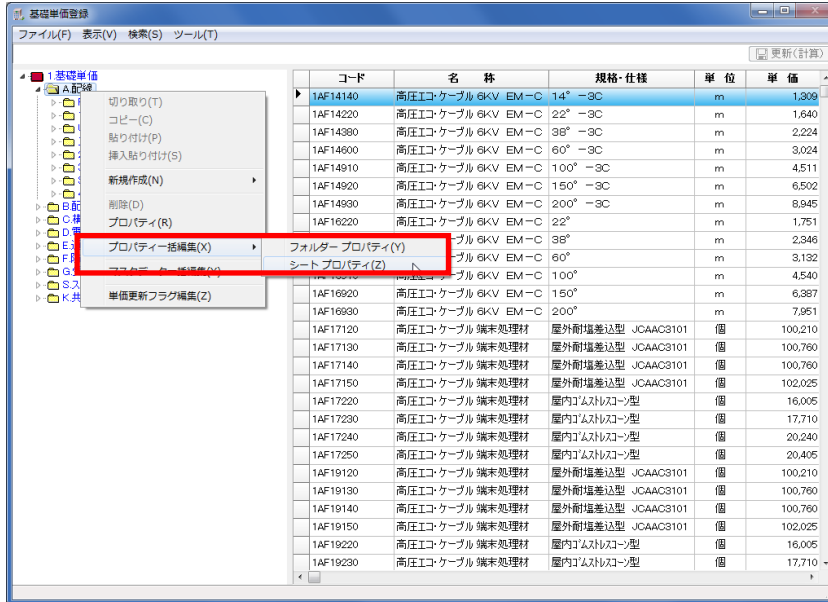


(5) シートプロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)

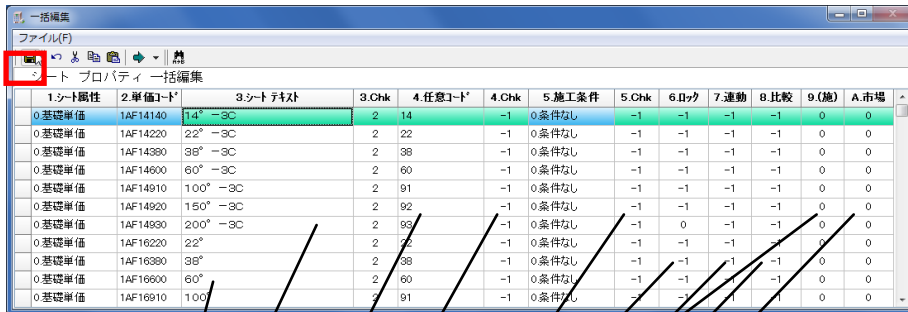
選択したフォルダーの配下にあるシートのプロパティを一括編集します。

※大量のシートが含まれるフォルダーを一度に処理しようとするると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

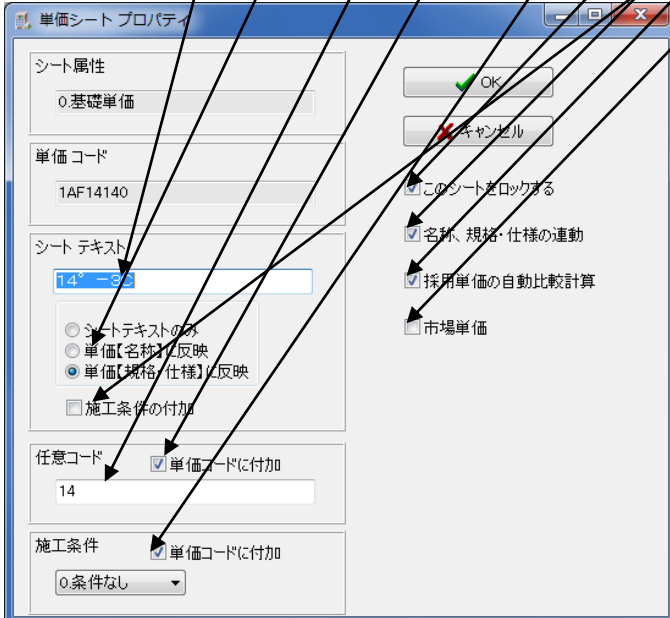
- ①一括編集したいシートを配下を含むフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ一括編集(X)]→[シートプロパティ(Z)]をクリックして下さい。



- ②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。



対応項目

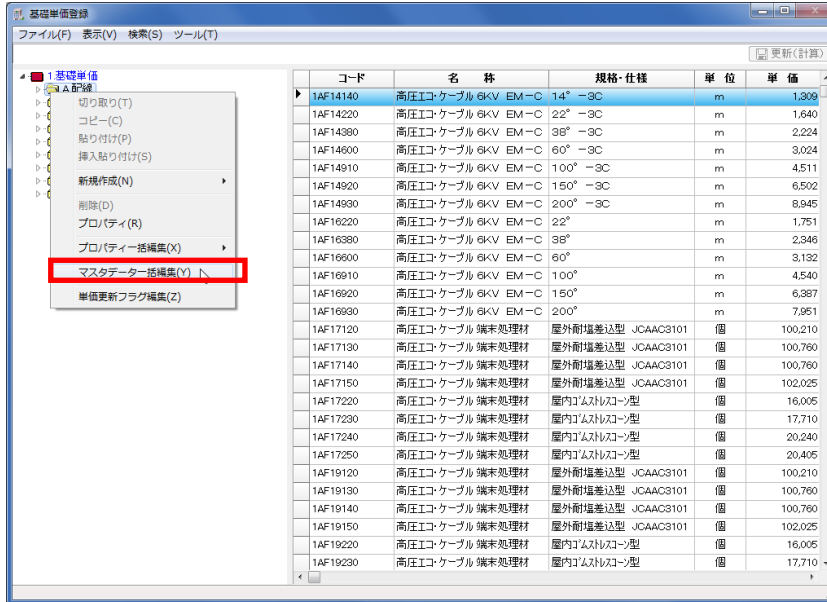


(6) マスタデータ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)

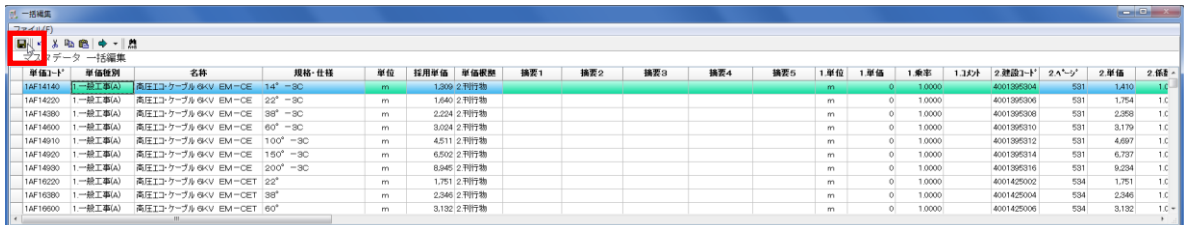
選択したフォルダーの配下にある単価を一括編集します。

※大量のシートが含まれるフォルダーを一度に処理しようとするると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

①一括編集したいシートを配下を含むフォルダーを選択し、右クリック→[マスタデータ一括編集(Y)]をクリックして下さい。



②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。



※マスタデータ一括編集で編集後、正確な計算結果を反映させるために、基礎単価の再計算を行って下さい (P41 参照)。

(7) 単価更新フラグ編集 (ツリービューの右クリックメニュー)

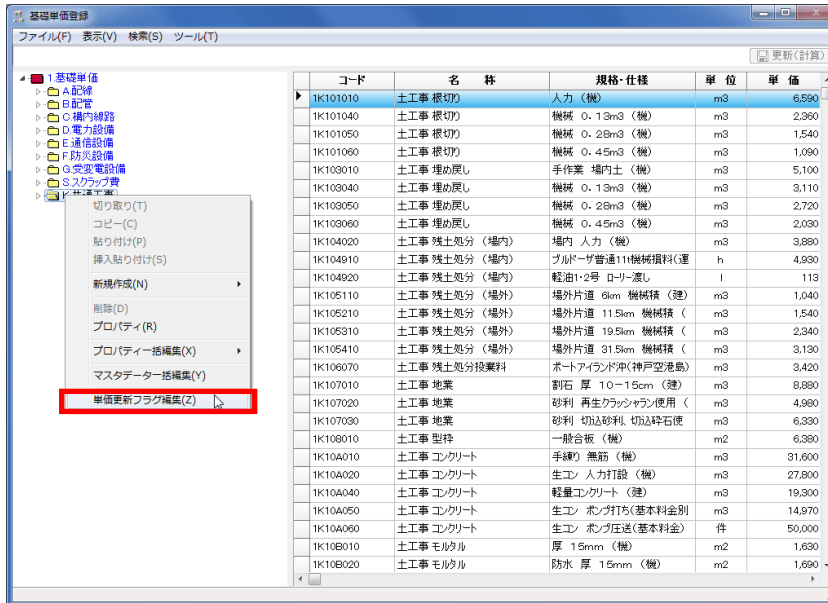
任意単価を更新したか (刊行物・見積単価などが更新されているか) フラグを編集したり確認したりする為の機能です。

※使用しなくても計算結果に支障ありません。

※単価マスタ新規作成時、全ての更新フラグが「0」(更新されていない)の状態になります。

※大量のシートが含まれるフォルダーを一度に処理しようとするると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

①単価更新フラグを編集したいシートを配下を含むフォルダーを選択し、右クリック→[単価更新フラグ編集(Z)]をクリックして下さい。



②表示内容を画面で確認して下さい。

任意入力単価は、更新した単価については、作業者が更新フラグをたてて (-1 に変更して)、[保存] ボタンをクリックして保存して下さい。

フラグ OFF (0) : 単価が更新されていない。

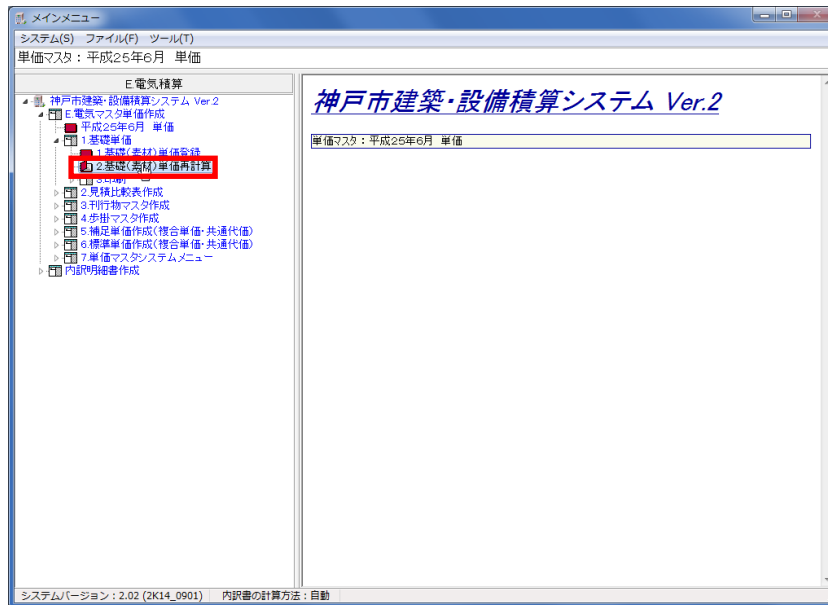
フラグ ON (-1) : 単価が更新されている。



表示切り替えボタン
(条件により絞り込み表示を行う)

B. 基礎単価再計算

- ①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[1. 基礎単価]→[2. 基礎（素材）単価再計算]をダブルクリックすると、基礎単価再計算画面が表示されます。

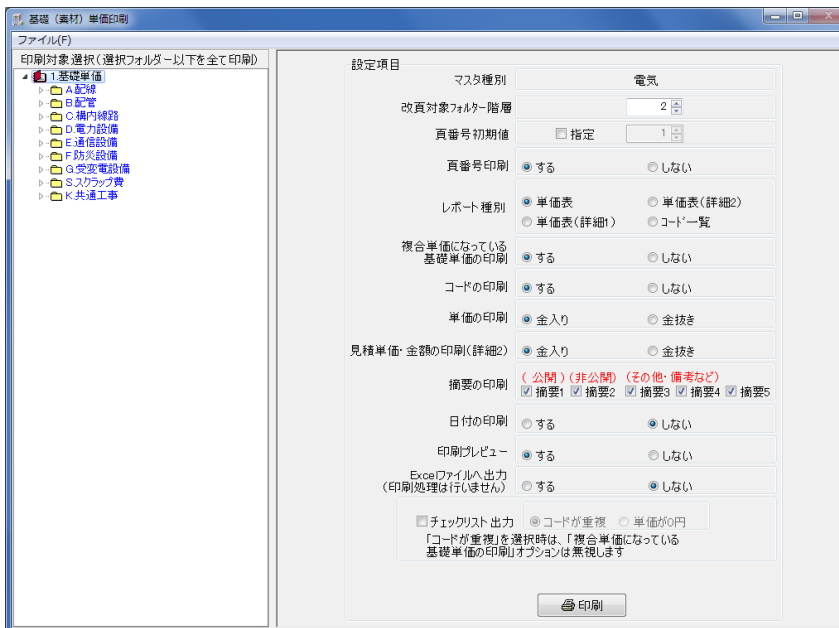
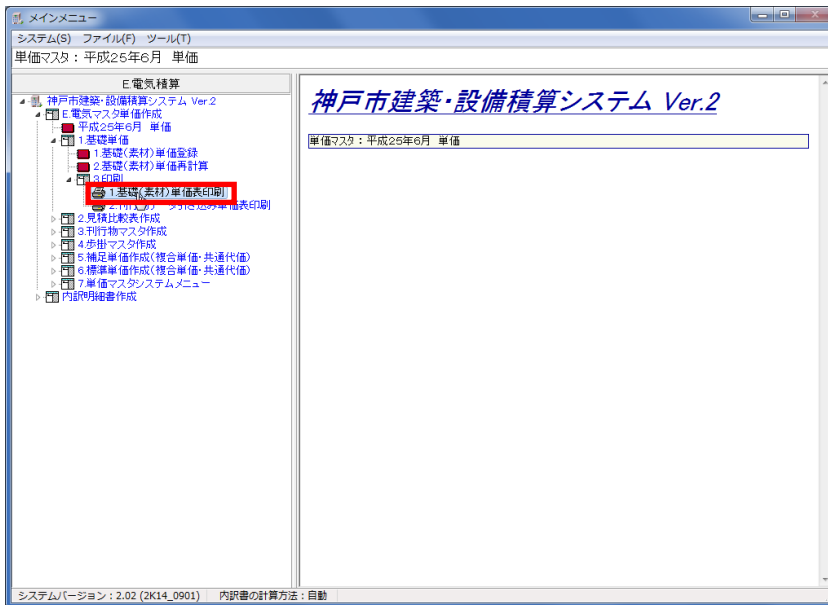


- ②[OK]ボタンをクリックすると、基礎単価情報の再計算を開始します。
※再計算には時間がかかります。再計算が終わるまでお待ち下さい。



C. 基礎単価表印刷

- ①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[1. 基礎単価]→[3. 印刷]→[1. 基礎（素材）単価印刷]をダブルクリックすると、基礎単価印刷画面が表示されます。



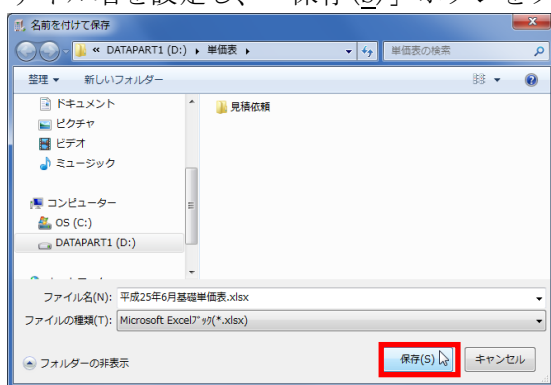
②各種項目を設定し、[印刷]（「Excel ファイルへ出力」を「する」にしている場合は[出力]）ボタンをクリックして下さい

改ページを行うフォルダー階層番号を設定
 ページ番号の開始番号を変更する場合の設定
 ページ番号を印刷するか
 出力したい帳票様式を選択
 複合単価になっている基礎単価を印刷するか
 コードの印刷をするか
 「金入り」「金抜き」の設定
 チェックを入れたものを摘要欄に出力する
 日付の印刷をするかしないか
 印刷プレビューをするかしないか (Excel 出力時は無効)
 帳票を Excel 出力するかしないか
 チェックリストを出力する場合の設定

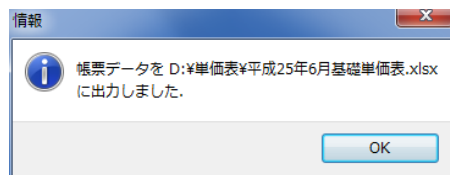
※ルートフォルダー以外を選択すると、部分出力が可能です。
 ※思い通りの出力結果になるように、設定項目を適宜変更して下さい。

③「印刷プレビュー」を「する」にした場合は、Excel の画面で印刷プレビュー画面が表示されます。Excel の印刷プレビューからの印刷操作方法で印刷を行って下さい。

「Excel 出力」を「する」に設定した場合は、以下の画面が表示されます。
 保存先及びファイル名を設定し、「保存(S)」ボタンをクリックして下さい。



帳票の Excel 出力が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



※Excel で開く際は、上図のメッセージを閉じてから開いて下さい。

基礎単価表（詳細1）

電気 平成25年6月 単価

基礎単価表

平成 年 月 日
1頁

A. 配線>4. その他

種別	単価コード	名称・仕様	単位	単価	種別	根拠	建設単価コード	資料単価コード	摘要
巻付クリップ（直線用）	1A476110	その他 巻付クリップ（直線用） 8'	個	305	1.一般工事(A)	2.刊行物	4609015028	077022103008	
巻付クリップ（直線用）	1A476120	その他 巻付クリップ（直線用） 14'	個	360	1.一般工事(A)	2.刊行物	4609015034	077022103014	
巻付クリップ（直線用）	1A476130	その他 巻付クリップ（直線用） 22'	個	455	1.一般工事(A)	2.刊行物	4609015038	077022103022	
巻付クリップ（直線用）	1A476140	その他 巻付クリップ（直線用） 30'	個	525	1.一般工事(A)	2.刊行物	4609015040	077022103030	
巻付クリップ（直線用）	1A476150	その他 巻付クリップ（直線用） 38'	個	615	1.一般工事(A)	2.刊行物	4609015042	077022103038	
巻付クリップ（直線用）	1A476160	その他 巻付クリップ（直線用） 45'	個	740	1.一般工事(A)	2.刊行物	4609015044	077022103045	
巻付クリップ（直線用）	1A476170	その他 巻付クリップ（直線用） 55'	個	870	1.一般工事(A)	2.刊行物	4609015046	077022103055	
巻付クリップ（直線用）	1A476180	その他 巻付クリップ（直線用） 70'	個	1,100	1.一般工事(A)	2.刊行物	4609015048	077022103070	
巻付クリップ（直線用）	1A476190	その他 巻付クリップ（直線用） 90'	個	1,345	1.一般工事(A)	2.刊行物	4609015050	077022103090	
巻付クリップ（直線用）	1A476200	その他 巻付クリップ（直線用） 135'	個	1,810	1.一般工事(A)	2.刊行物	4609015052	077022103135	

神戸市

基礎単価表（詳細2）

電気 平成25年6月 単価

基礎単価表

平成 年 月 日
1頁

A. 配線>4. その他

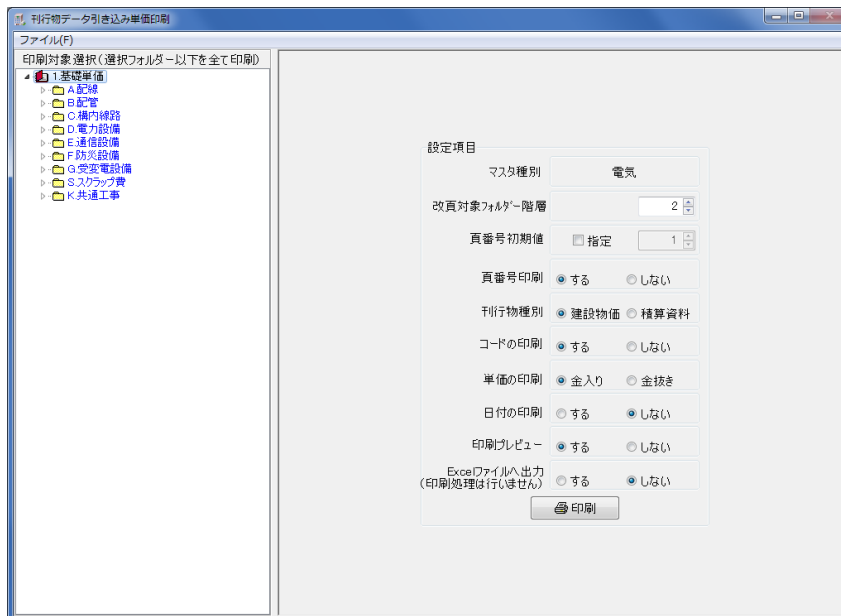
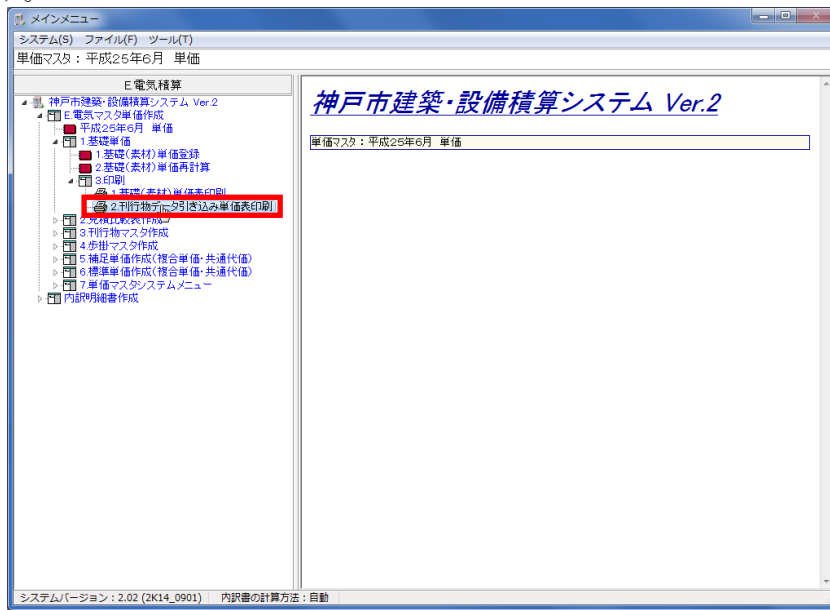
基本内容		任意入力単価		刊行物単価		見積プルアップコード		メーカ見積単価	
単価コード	名称	単位	単価	コード	名称	コード	名称	見積単価	見積金額*
1A476110	その他 巻付クリップ（直線用） 規格：8' 単位：個 単価：305 単価種別：1. 般工事(A) 単価根拠：2. 刊行物	0	1.0000	4609015028	077022103008	077022103008	数量： 係数： 採用基準： A社： B社： C社： D社： E社： F社：		
[建設物価]		[積算資料]		[積算資料]		[積算資料]			
名称：その他 巻付クリップ		名称：巻付クリップ		名称：巻付クリップ		名称：巻付クリップ			
規格：8'		規格：8mm2 直線用 束縛電気		規格：8mm2 直線用 束縛電気		規格：8mm2 直線用 束縛電気			
ページ：614		ページ：614		ページ：711		ページ：711			
掲載単価：305.00		掲載単価：305.00		掲載単価：316.00		掲載単価：316.00			
係数：1.0000		係数：1.0000		係数：1.0000		係数：1.0000			
換算係数：1.0000		換算係数：1.0000		換算係数：1.0000		換算係数：1.0000			
コメント：		コメント：		コメント：		コメント：			
単価：305.00		単価：305.00		単価：316.00		単価：316.00			
平均値：0.00		平均値：0.00		平均値：0.00		平均値：0.00			
1A476120	その他 巻付クリップ（直線用） 規格：14' 単位：個 単価：360 単価種別：1. 般工事(A) 単価根拠：2. 刊行物	0	1.0000	4609015034	077022103014	077022103014	数量： 係数： 採用基準： A社： B社： C社： D社： E社： F社：		
[建設物価]		[積算資料]		[積算資料]		[積算資料]			
名称：その他 巻付クリップ		名称：巻付クリップ		名称：巻付クリップ		名称：巻付クリップ			
規格：14'		規格：14mm2 直線用 束縛電気		規格：14mm2 直線用 束縛電気		規格：14mm2 直線用 束縛電気			
ページ：614		ページ：614		ページ：711		ページ：711			
掲載単価：360.00		掲載単価：360.00		掲載単価：370.00		掲載単価：370.00			
係数：1.0000		係数：1.0000		係数：1.0000		係数：1.0000			
換算係数：1.0000		換算係数：1.0000		換算係数：1.0000		換算係数：1.0000			
コメント：		コメント：		コメント：		コメント：			
単価：360.00		単価：360.00		単価：370.00		単価：370.00			
平均値：0.00		平均値：0.00		平均値：0.00		平均値：0.00			
1A476130	その他 巻付クリップ（直線用） 規格：22' 単位：個 単価：455 単価種別：1. 般工事(A) 単価根拠：2. 刊行物	0	1.0000	4609015038	077022103022	077022103022	数量： 係数： 採用基準： A社： B社： C社： D社： E社： F社：		
[建設物価]		[積算資料]		[積算資料]		[積算資料]			
名称：その他 巻付クリップ		名称：巻付クリップ		名称：巻付クリップ		名称：巻付クリップ			
規格：22'		規格：22mm2 直線用 束縛電気		規格：22mm2 直線用 束縛電気		規格：22mm2 直線用 束縛電気			
ページ：614		ページ：614		ページ：711		ページ：711			
掲載単価：455.00		掲載単価：455.00		掲載単価：469.00		掲載単価：469.00			
係数：1.0000		係数：1.0000		係数：1.0000		係数：1.0000			
換算係数：1.0000		換算係数：1.0000		換算係数：1.0000		換算係数：1.0000			
コメント：		コメント：		コメント：		コメント：			
単価：455.00		単価：455.00		単価：469.00		単価：469.00			
平均値：0.00		平均値：0.00		平均値：0.00		平均値：0.00			
1A476140	その他 巻付クリップ（直線用） 規格：30' 単位：個 単価：525 単価種別：1. 般工事(A) 単価根拠：2. 刊行物	0	1.0000	4609015040	077022103030	077022103030	数量： 係数： 採用基準： A社： B社： C社： D社： E社： F社：		
[建設物価]		[積算資料]		[積算資料]		[積算資料]			
名称：その他 巻付クリップ		名称：巻付クリップ		名称：巻付クリップ		名称：巻付クリップ			
規格：30'		規格：30mm2 直線用 束縛電気		規格：30mm2 直線用 束縛電気		規格：30mm2 直線用 束縛電気			
ページ：614		ページ：614		ページ：711		ページ：711			
掲載単価：525.00		掲載単価：525.00		掲載単価：539.00		掲載単価：539.00			
係数：1.0000		係数：1.0000		係数：1.0000		係数：1.0000			
換算係数：1.0000		換算係数：1.0000		換算係数：1.0000		換算係数：1.0000			
コメント：		コメント：		コメント：		コメント：			
単価：525.00		単価：525.00		単価：539.00		単価：539.00			
平均値：0.00		平均値：0.00		平均値：0.00		平均値：0.00			

神戸市

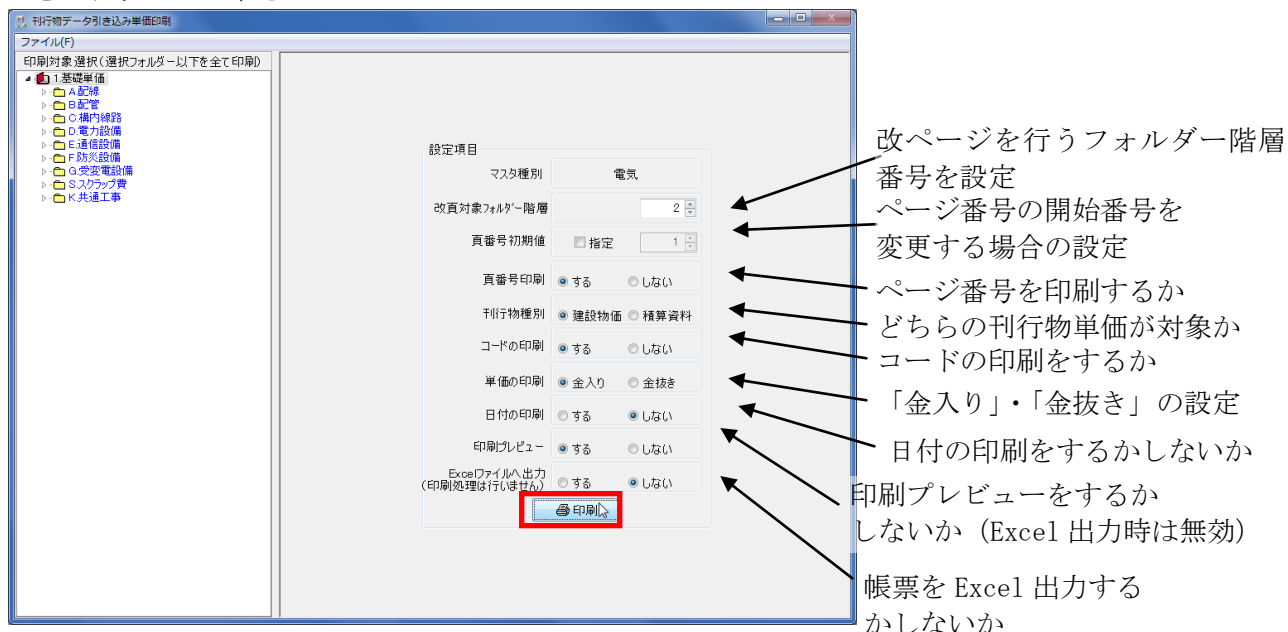
D. 刊行物データ引き込み単価表印刷

※建設物価コードまたは積算資料コードを入力し、刊行物単価マスターデータを引き込んでいる基礎単価データの確認用帳票を印刷します。

- ①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[1. 基礎単価]→[3. 印刷]→[2. 刊行物データ引き込み単価表印刷]をダブルクリックすると、刊行物データ引き込み単価表印刷画面が表示されます。



②各種項目を設定し、[印刷]（「Excel ファイルへ出力」を「する」にしている場合は[出力]）ボタンをクリックして下さい

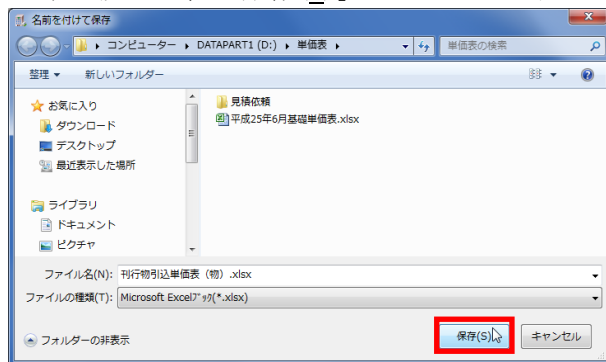


※ルートフォルダー以外を選択すると、部分出力が可能です。

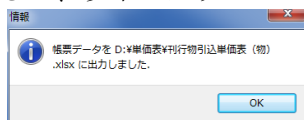
※思い通りの出力結果になるように、設定項目を適宜変更して下さい。

③「印刷プレビュー」を「する」にした場合は、Excel の画面で印刷プレビュー画面が表示されます。Excel の印刷プレビューからの印刷操作方法で印刷を行って下さい。

「Excel 出力」を「する」に設定した場合は、以下の画面が表示されます。保存先及びファイル名を設定し、「保存(S)」ボタンをクリックして下さい。



帳票の Excel 出力が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



※Excel で開く際は、上図のメッセージを閉じてから開いて下さい。

帳票イメージ

建設物価

電気 平成25年6月 単価

建設物価調査会引き込み単価一覧

平成 年 月 日
1頁

A. 配線>F. 高圧エコ・ケーブル

種別	神戸市単価コード	神戸市名称・仕様	単位	神戸市単価	建設物価単価コード	建設物価名称・仕様	ページ	建設物価単価	係数	換算係数	コメント
6KV EM-CE	1AF14140	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CE 14' -3C	m	1,410	4001395304	6kV CE/F ケーブル 14mm2 3φ	531	1,410.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CE	1AF14220	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CE 22' -3C	m	1,754	4001395306	6kV CE/F ケーブル 22mm2 3φ	531	1,754.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CE	1AF14380	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CE 38' -3C	m	2,358	4001395308	6kV CE/F ケーブル 38mm2 3φ	531	2,358.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CE	1AF14600	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CE 60' -3C	m	3,179	4001395310	6kV CE/F ケーブル 60mm2 3φ	531	3,179.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CE	1AF14910	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CE 100' -3C	m	4,697	4001395312	6kV CE/F ケーブル 100mm2 3φ	531	4,697.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CE	1AF14920	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CE 150' -3C	m	6,737	4001395314	6kV CE/F ケーブル 150mm2 3φ	531	6,737.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CE	1AF14930	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CE 200' -3C	m	9,234	4001395316	6kV CE/F ケーブル 200mm2 3φ	531	9,234.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CET	1AF16220	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CET 22'	m	1,751	4001425002	CET/F (EM-CET) 電線 6kV 22mm2	534	1,751.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CET	1AF16380	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CET 38'	m	2,346	4001425004	CET/F (EM-CET) 電線 6kV 38mm2	534	2,346.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CET	1AF16600	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CET 60'	m	3,132	4001425006	CET/F (EM-CET) 電線 6kV 60mm2	534	3,132.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CET	1AF16910	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CET 100'	m	4,540	4001425008	CET/F (EM-CET) 電線 6kV 100mm2	534	4,540.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CET	1AF16920	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CET 150'	m	6,387	4001425010	CET/F (EM-CET) 電線 6kV 150mm2	534	6,387.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CET	1AF16930	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CET 200'	m	7,951	4001425012	CET/F (EM-CET) 電線 6kV 200mm2	534	7,951.00	1.0000	1.0000	

神戸市

積算資料

電気 平成25年6月 単価

積算資料引き込み単価一覧

平成 年 月 日
1頁

A. 配線>F. 高圧エコ・ケーブル

種別	神戸市単価コード	神戸市名称・仕様	単位	神戸市単価	積算資料単価コード	積算資料名称・仕様	ページ	積算資料単価	係数	換算係数	コメント
6KV EM-CE	1AF14140	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CE 14' -3C	m	1,309	071550100020	6600V CE/F (EM-CE) 3φ 14mm2	617	1,309.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CE	1AF14220	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CE 22' -3C	m	1,640	071550100030	6600V CE/F (EM-CE) 3φ 22mm2	617	1,640.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CE	1AF14380	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CE 38' -3C	m	2,224	071550100040	6600V CE/F (EM-CE) 3φ 38mm2	617	2,224.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CE	1AF14600	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CE 60' -3C	m	3,024	071550100050	6600V CE/F (EM-CE) 3φ 60mm2	617	3,024.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CE	1AF14910	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CE 100' -3C	m	4,511	071550100060	6600V CE/F (EM-CE) 3φ 100mm2	617	4,511.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CE	1AF14920	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CE 150' -3C	m	6,502	071550100070	6600V CE/F (EM-CE) 3φ 150mm2	617	6,502.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CE	1AF14930	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CE 200' -3C	m	8,945	071550100080	6600V CE/F (EM-CE) 3φ 200mm2	617	8,945.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CET	1AF16220	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CET 22'	m	1,907	071590200010	CET/F (EM-CET) 6600V 22mm2	620	1,907.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CET	1AF16380	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CET 38'	m	2,562	071590200020	CET/F (EM-CET) 6600V 38mm2	620	2,562.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CET	1AF16600	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CET 60'	m	3,429	071590200030	CET/F (EM-CET) 6600V 60mm2	620	3,429.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CET	1AF16910	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CET 100'	m	4,980	071590200040	CET/F (EM-CET) 6600V 100mm2	620	4,980.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CET	1AF16920	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CET 150'	m	7,015	071590200050	CET/F (EM-CET) 6600V 150mm2	620	7,015.00	1.0000	1.0000	
6KV EM-CET	1AF16930	高圧エコ・ケーブル 6KV EM-CET 200'	m	8,747	071590200060	CET/F (EM-CET) 6600V 200mm2	620	8,747.00	1.0000	1.0000	

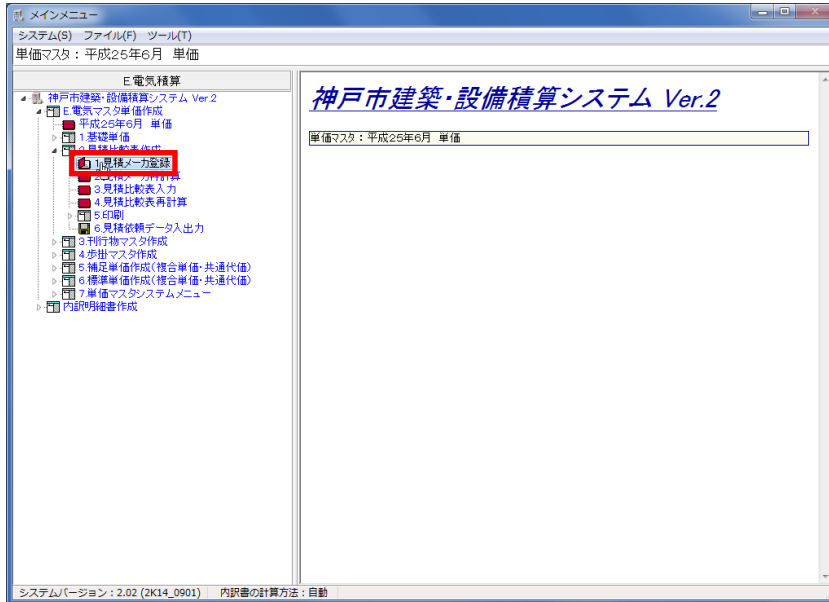
神戸市

§ 6. 見積比較表作成

A. 見積メーカー登録

1. 見積メーカー登録画面の表示

- ①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[1. 基礎単価]→[2. 見積比較表作成] →[1. 見積メーカー登録]をダブルクリックすると、見積メーカー登録画面が表示されます。

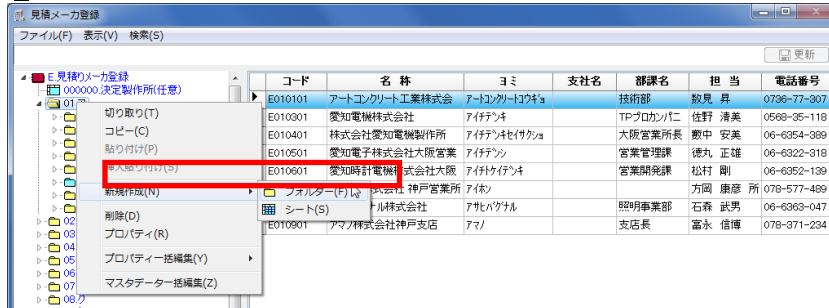


コード	名称	コメ	支社名	課課名	担当	電話番号
E000000	決定製作所(任意)	クッチ(セイヤク)コン				
E010101	アートコンクリート工業株式会社	アートコンクリート工		技術部	飯見 昇	0736-77-30
E010301	愛知電機株式会社	アイチデンキ		TP-プロカンパニ	佐野 清美	0568-35-11
E010401	株式会社愛知電機製作所	アイチデンキセイヤク		大阪営業所長	豊中 安美	06-6354-38
E010501	愛知電子株式会社大阪営業	アイチデンキ		営業管理課	徳丸 正雄	06-6322-31
E010601	愛知時計電機株式会社大阪	アイチデンキ		営業開発課	松村 剛	06-6352-10
E010701	アイホン株式会社 神戸営業所	アイホン			方岡 康彦 所	078-577-48
E010801	朝日パワール株式会社	アサヒパワール		照明事業部	石森 武男	06-6363-06
E010901	アマノ株式会社神戸支店	アマノ		支店長	富永 信博	078-371-22
E020101	イー・エム・シー株式会社	イー・エム・シー		営業部	岡村 慎一	06-6886-70
E020201	和泉電気株式会社 大阪営業	イズミデンキ		HMI推進部	小嶋 良太	06-6867-48
E020301	一光電機株式会社	イチワデンキ		神戸営業所	池田 博行	078-913-04
E020401	株式会社国産電機製作所	イクハチデンキ		企画部	岡崎 次良	06-6532-22
E020501	株式会社井上製作所	イノウエデンキ		営業本部大阪	古川 良靖	06-6353-22
E020601	岩崎通信機株式会社西日本	イワサキデンキ		情報通信第二	村上 孝	06-6252-10
E020701	岩崎電気株式会社神戸営業	イワサキデンキ		営業	川崎 桂三	078-575-51
E020801	株式会社インテック神戸営業	インテック		営業部	大澤 広和	078-360-60
E030101	濃新電機株式会社大阪営業	ノシデンキ		営業	岡 哲治	06-6885-38
E040101	エナジーサポート株式会社	エナジーサポート		大阪営業所	梅村 康之	06-6534-00
E040201	株式会社遠藤照明 神戸営業	エドフウメイ			窪田 直樹	078-671-04
E0401	NECコンピュータ株式会社	エヌシーコンピュータ	神戸支店		寺元	078-251-22
E050101	株式会社大岩電機製作所	オオイサデンキ		営業課	八木 敬彦	06-6541-61
E050201	大垣電機株式会社	オオカキデンキ		営業部営業課	平井 真樹	0584-34-11
E050202	大垣電機株式会社	オオカキデンキ		設計課	近藤 清秀	0584-34-11
E050301	大阪電機株式会社	オオサカデンキ		営業部営業課	高木 久夫	06-6472-10
E050401	大阪ヒューズ株式会社	オオサカヒューズ		産業営業部	十和 昌典	06-6241-10
E050501	大阪避雷針工業株式会社	オオサカ避雷針工業	神戸営業所	営業部	長田	078-652-38
E050601	大崎電気工業株式会社大阪	オオサカデンキ		大阪営業所	富田 敏夫	06-6373-22

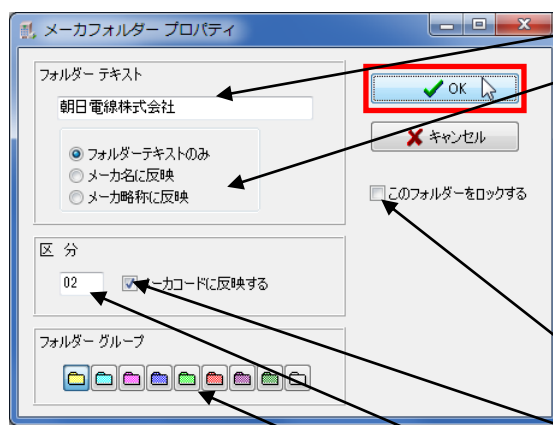
2. 新規見積メーカーの登録・削除及びフォルダー・シートプロパティの設定

(1) フォルダーの新規作成

- ①フォルダーを追加したいフォルダーを選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[フォルダー(F)]をクリックして下さい。



- ②各種項目を設定して下さい。設定が完了したら、「OK」ボタンをクリックして下さい。



入力した文字列をツリービューに表示する。

・フォルダーテキストのみ

フォルダーテキストのみに反映する。

・単価【名称】に反映

シートのプロパティで連動するように設定した場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【名称】にも反映する。

・単価【規格・仕様】に反映

シートのプロパティで連動するように設定した場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【規格・仕様】にも反映する。

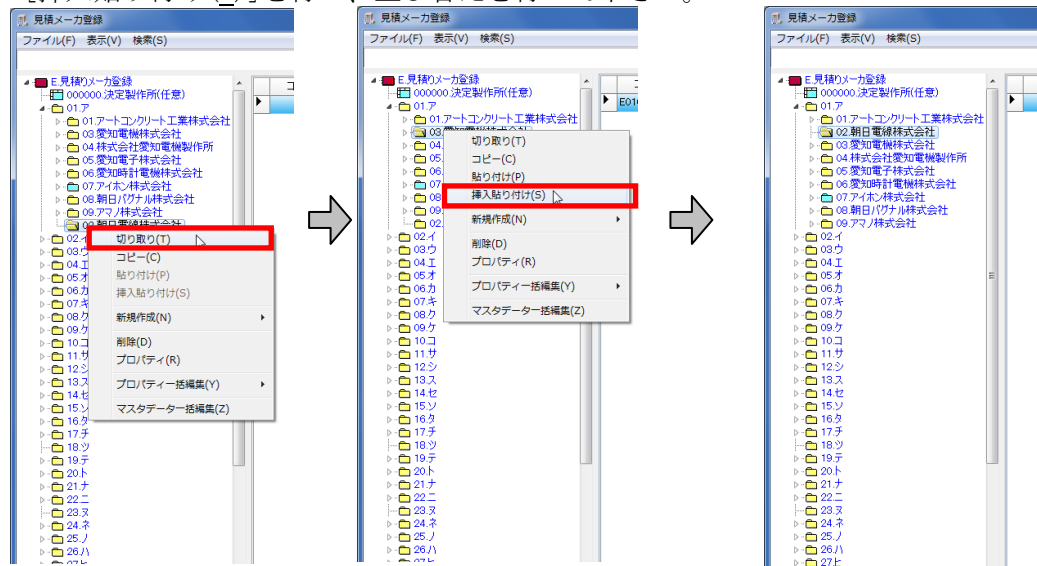
フォルダーの切り取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の単価コードに反映する場合はチェックを入れる。

フォルダーテキストの前に付くコードを設定する。

フォルダーの表示色を選択。

- ③新規作成時は必ず階層中の並びの一番下に作成されるので、順番を並び替える必要があれば、右クリック→[切り取り(I)]→挿入後に一つ下にしたいフォルダーを選択→右クリック→[挿入貼り付け(S)]を行い、並び替えを行って下さい。

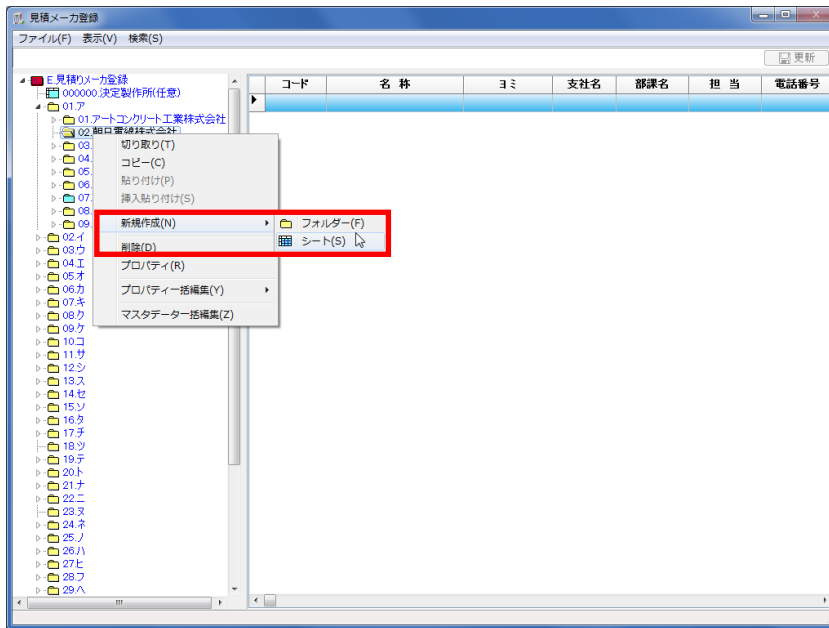


(2) メーカーシートの新規作成 (新たなメーカーシートを作成)

①新規作成したい場所のフォルダー又はシートを選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[シート(S)]をクリックして下さい。

※右クリック時にフォルダーを選択している場合、そのフォルダー階層の一番下に新規シートが作成されます。

※右クリック時に単価シートを選択している場合、そのシートの一つ前の並びに新規シートが作成されます。



②各種項目を設定して下さい。設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして下さい。

入力した文字列をツリービューに表示する。

任意コードをメーカーコードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

シートテキストの前に付くコードを設定する。

任意の色のシートを選択

シートの切り取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

フォルダテキスト・シートテキストの値を、親の階層から順に、名称または規格・仕様に自動的に設定する。

- シートテキストのみ
シートテキストのみに反映する。
- メーカー名に反映
名称、略称の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録されたメーカーの【メーカー名】にも反映する。
- メーカー略称に反映
名称、略称の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録されたメーカーの【略称】にも反映する。

③見積メーカーの各種項目を編集して下さい (P57~参照)。

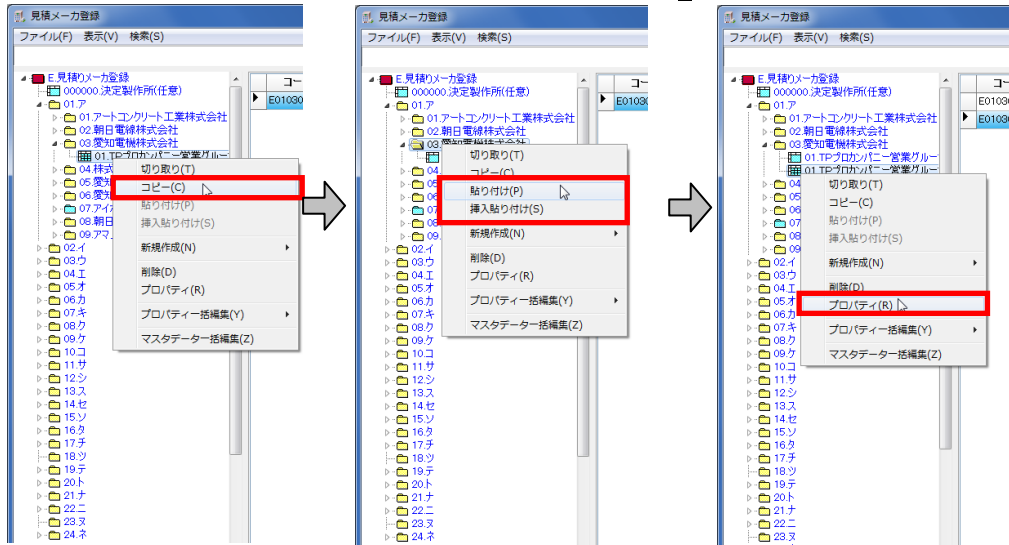
(3) メーカーシートの新規作成 (既存のメーカーシートの情報を流用する場合)

①情報を流用したいシートを選択し、右クリック→[コピー(C)]→新規作成したい場所のフォルダーを選択し、[貼り付け(P)]をクリックして下さい。

※既存の単価シートの中に新規単価シートを挿入したい場合は、右クリック→[コピー(C)]→挿入後に下にしたいシートを選択→右クリック[挿入貼り付け(S)]をクリックして下さい。

このままでは単価コードが重複するため、シートプロパティを変更します。

②追加したシートを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。



③任意コードを変更し、各項目設定して下さい。

(任意コードは、必ず、重複しないコードを設定して下さい。)

設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして下さい。

入力した文字列をツリービューに表示する。

任意コードをメーカーコードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

シートテキストの前に付くコードを設定する。

任意の色のシートを選択

シートの切り取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

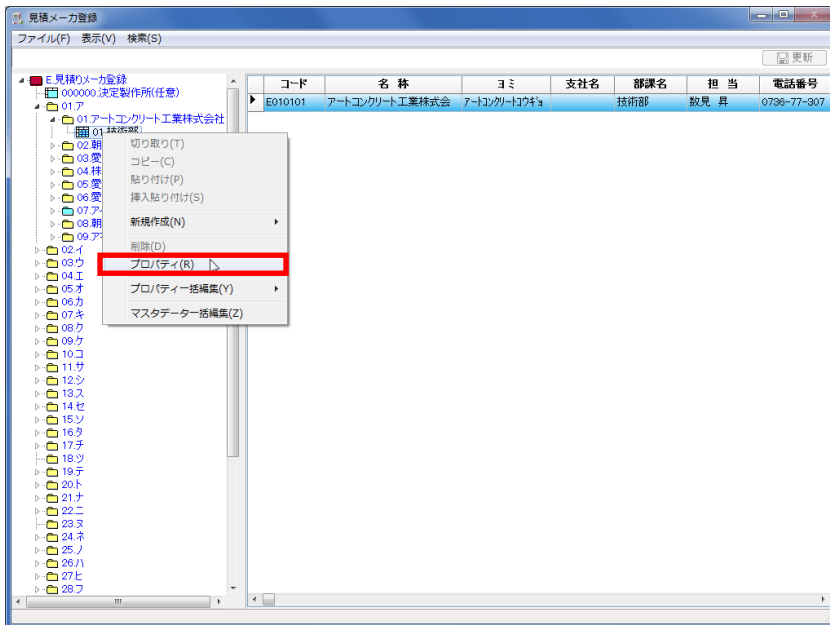
フォルダテキスト・シートテキストの値を、親の階層から順に、名称または規格・仕様により自動的に設定する。

- ・シートテキストのみ
シートテキストのみに反映する。
- ・メーカー名に反映
名称、略称の連動にチェックを入れた場合、このフォルダ以下に含まれるシートで登録されたメーカーの【メーカー名】にも反映する。
- ・メーカー略称に反映
名称、略称の連動にチェックを入れた場合、このフォルダ以下に含まれるシートで登録されたメーカーの【略称】にも反映する。

④見積メーカーの各種項目を編集して下さい (P57~参照)。

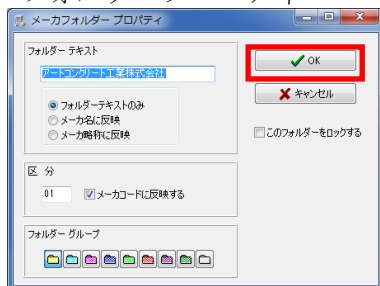
(4) フォルダー・シートプロパティの設定

- ①プロパティを設定したいフォルダー又はシートを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。

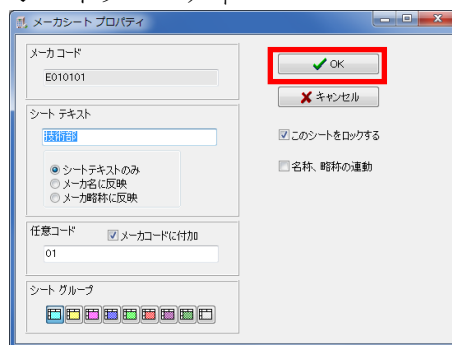


- ②フォルダープロパティ・シートプロパティを設定し、[OK]ボタンをクリックして下さい。
※注意点は、本項の「(1) フォルダーの新規作成 (P51)」・「(2) メーカシートの新規作成 (P52)」を参照して下さい。

フォルダープロパティ



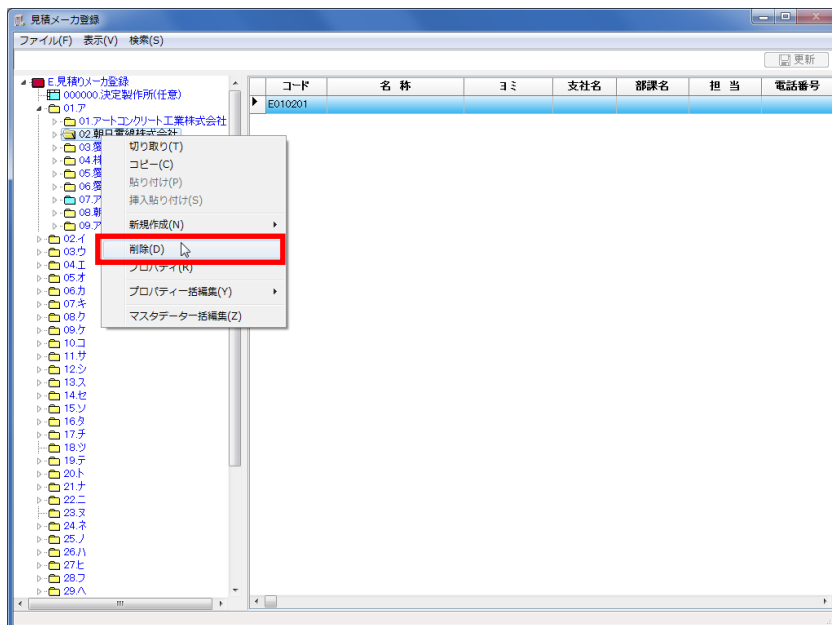
シートプロパティ



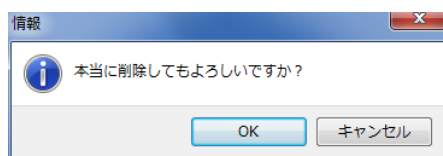
(5) フォルダー・シートの削除

※削除を行うと、元に戻すことはできません。また、見積グループに使用している場合はメーカー情報だけでなく、そのメーカーに関する見積情報も消えますので慎重に行ってください。

①削除したいフォルダー・シートを選択し、右クリック→[削除(D)]をクリックして下さい。

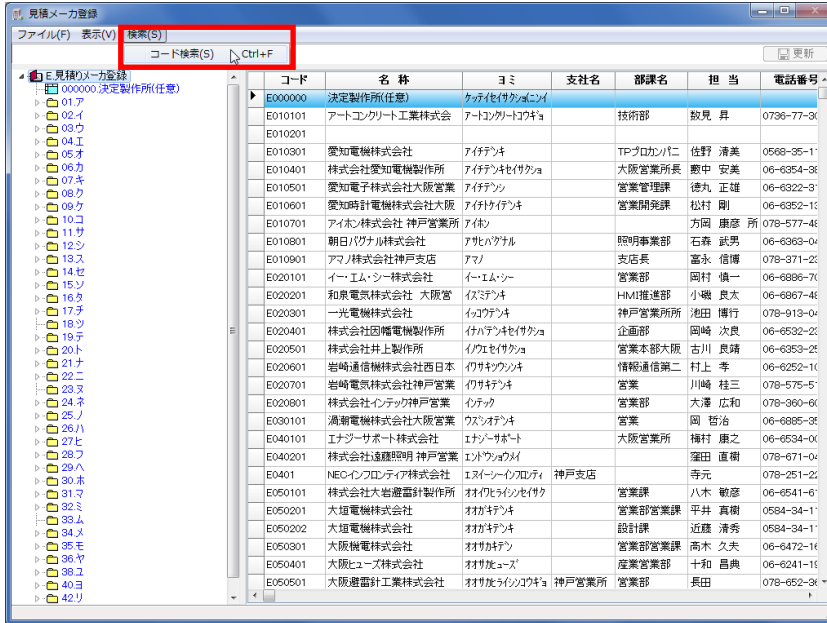


②[OK]ボタンをクリックすると、削除処理が行われます。[キャンセル]ボタンをクリックすると中止します。

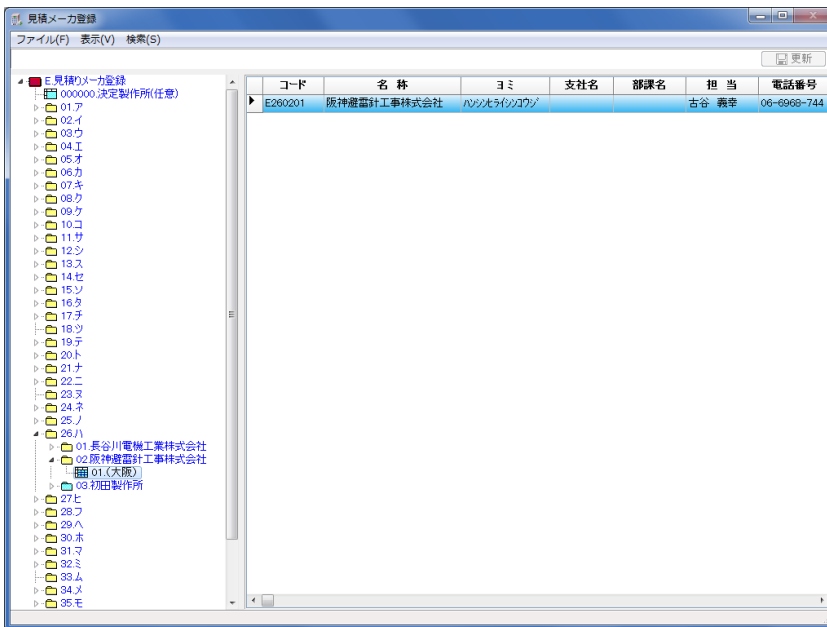


3. メーカーコードの検索

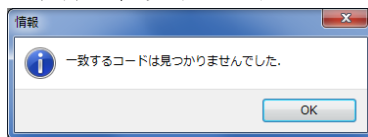
① [検索(S)] → [コード検索(Ctrl+F)] をクリックして下さい。



② 検索したいメーカーコードを入力し、[次を検索(F)] ボタンをクリックして下さい。見積メーカーマスタにコードが存在する場合はそのコードのシートに移動します。



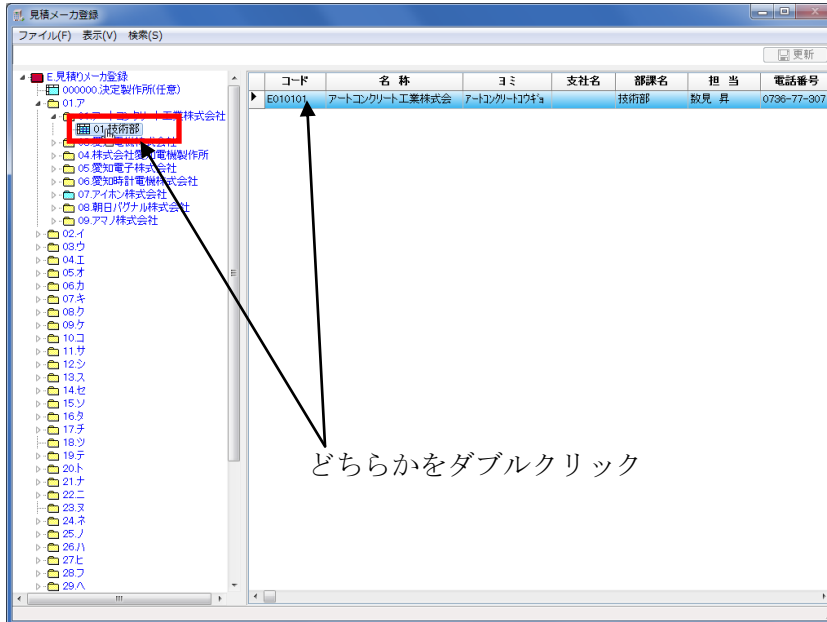
見つからなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



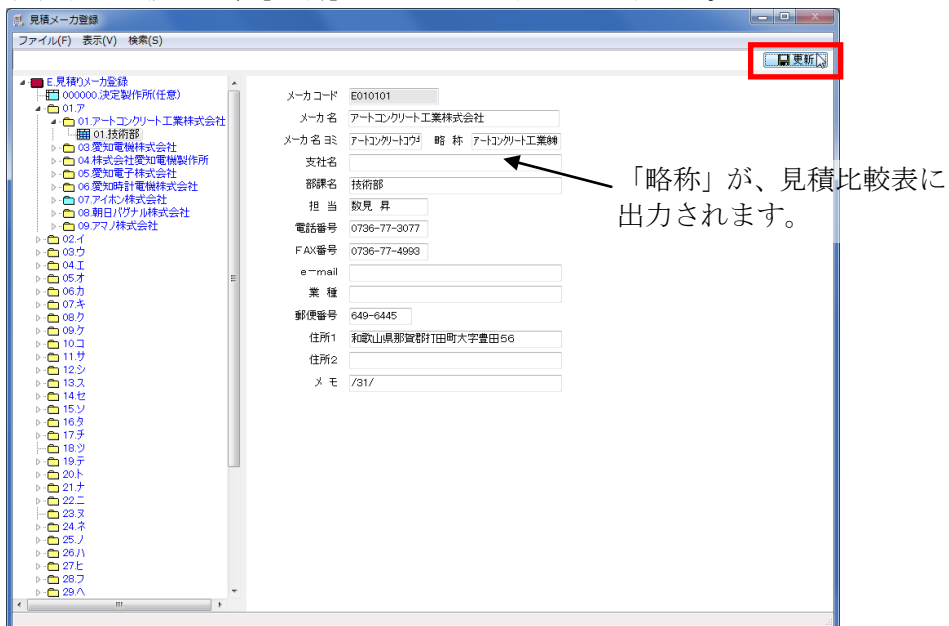
4. 見積メーカ情報の各種項目の編集

①編集を行いたいメーカシートを選択し、ダブルクリックすると、画面右側のメーカリスト表示部がメーカ情報編集表示に切り替わります。

(メーカリスト表示部の編集を行いたい行をダブルクリックしても同様の処理となります)



②各種項目を設定し、[更新]ボタンをクリックして下さい。

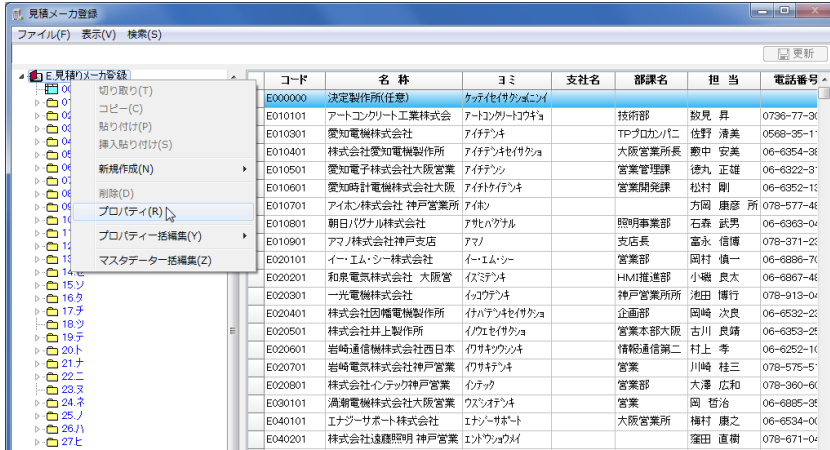


5. 見積メーカ登録画面 その他の機能について

(1) ルートプロパティ

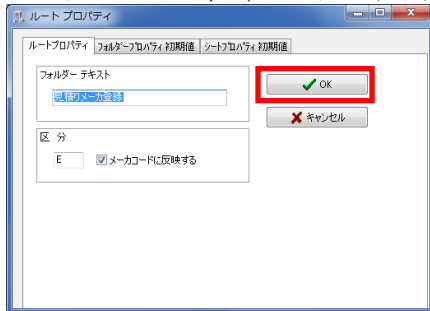
見積メーカマスタの基本設定を行います。

- ① ツリービューの一番上にある赤色のフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。

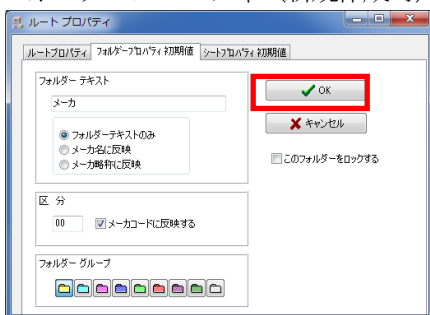


- ② 各種項目を設定の上、[OK]ボタンをクリックして下さい。

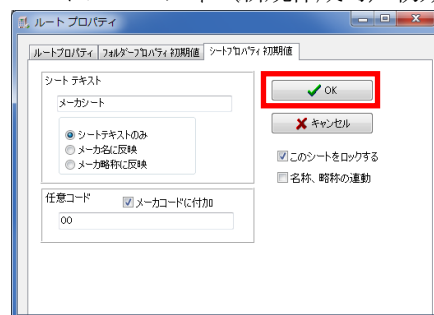
◆ルートプロパティ (ルートフォルダーのプロパティの設定を行う)



◆フォルダープロパティ (新規作成時) 初期値



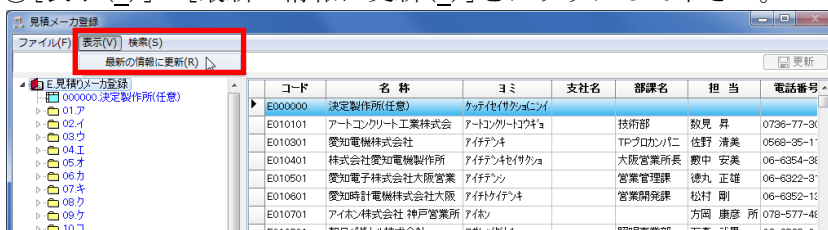
◆シートプロパティ (新規作成時) 初期値



(2) 最新の情報に更新 ([表示(V)]メニュー)

マスターデータベースの内容を再読み込みします (特に使用することはありません)。

- ① [表示(V)]→[最新の情報に更新(R)]をクリックして下さい。

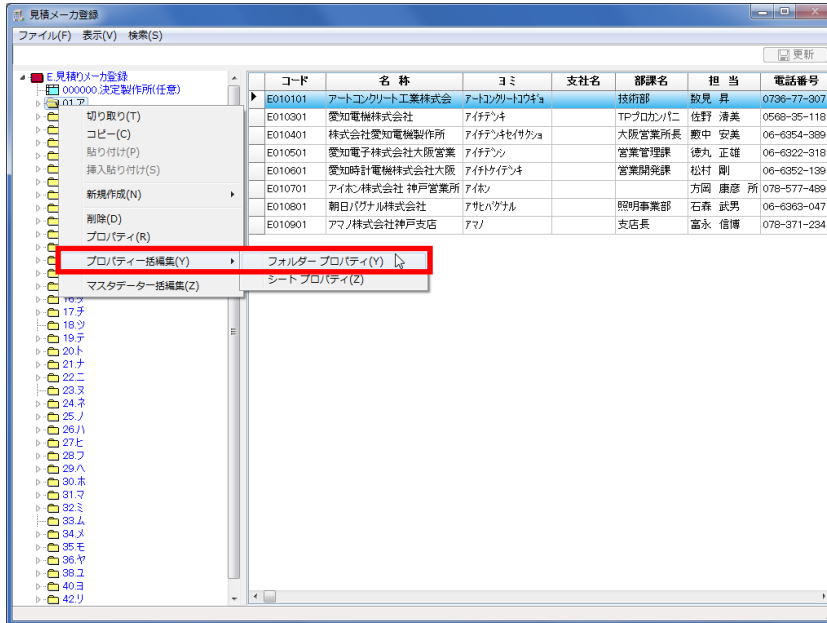


(3) フォルダープロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)

選択したフォルダーの配下にあるフォルダーのプロパティを一括編集します。

※大量のフォルダーが含まれるフォルダーを一度に処理しようとすると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

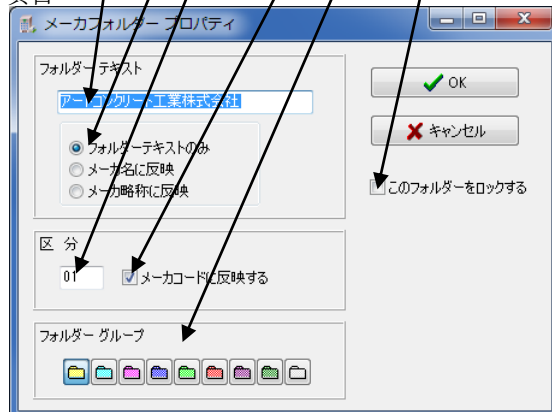
①一括編集したいフォルダーを配下に含むフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ一括編集(Y)]→[フォルダープロパティ(Y)]をクリックして下さい。



②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。



対応項目

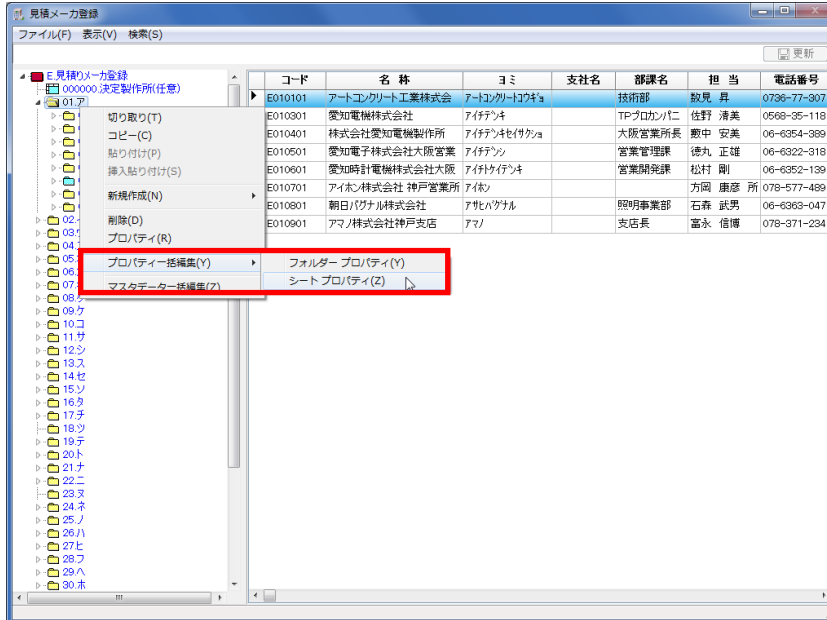


(4) シートプロパティ一括編集（ツリービューの右クリックメニュー）

選択したフォルダーの配下にあるシートのプロパティを一括編集します。

※大量のシートが含まれるフォルダーを一度に処理しようとするると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

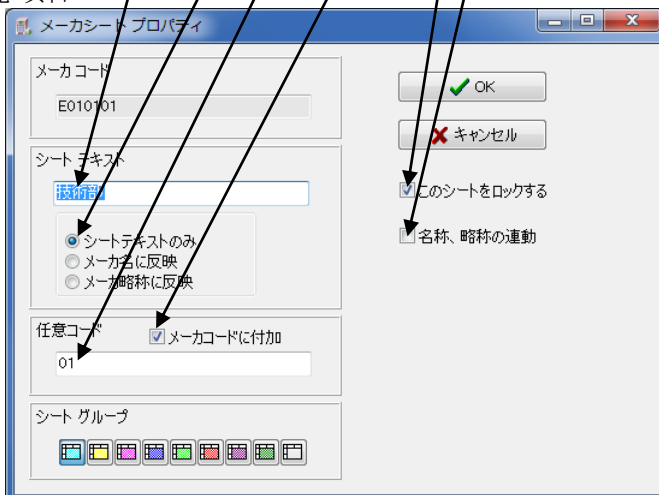
- ①一括編集したいシートを配下を含むフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ一括編集(X)]→[シートプロパティ(Z)]をクリックして下さい。



- ②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。



対応項目

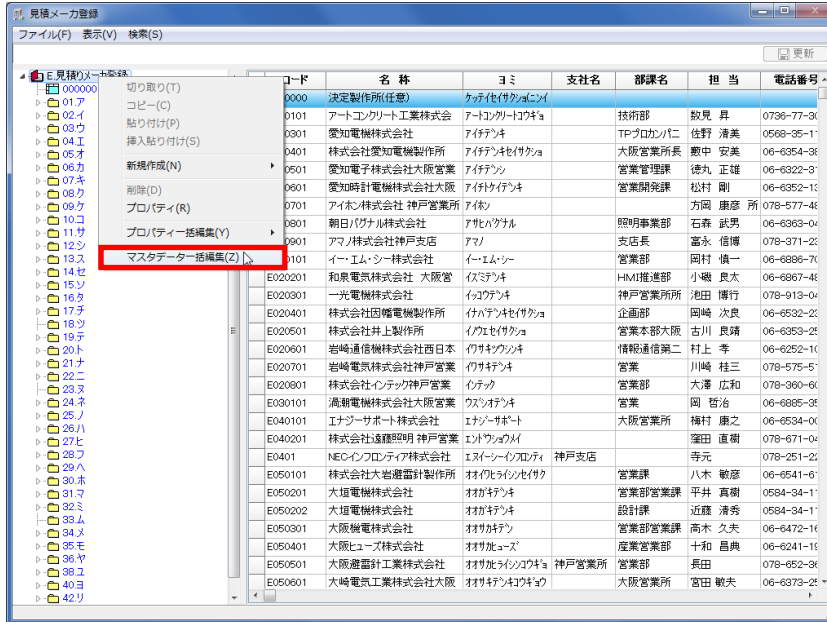


(5) マスタデータ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)

選択したフォルダーの配下にある単価を一括編集します。

※大量のシートが含まれるフォルダーを一度に処理しようとすると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

- ①一括編集したいシートを配下を含むフォルダーを選択し、右クリック→[マスタデータ一括編集(Y)]をクリックして下さい。

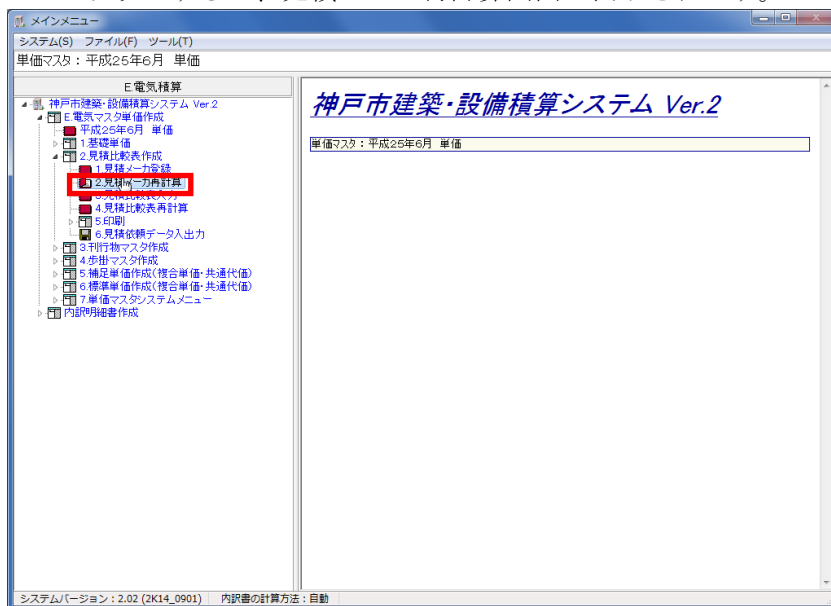


- ②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。



B. 見積メーカー再計算

- ①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[2. 見積比較表作成]→[2. 見積メーカー再計算]をダブルクリックすると、見積メーカー再計算画面が表示されます。



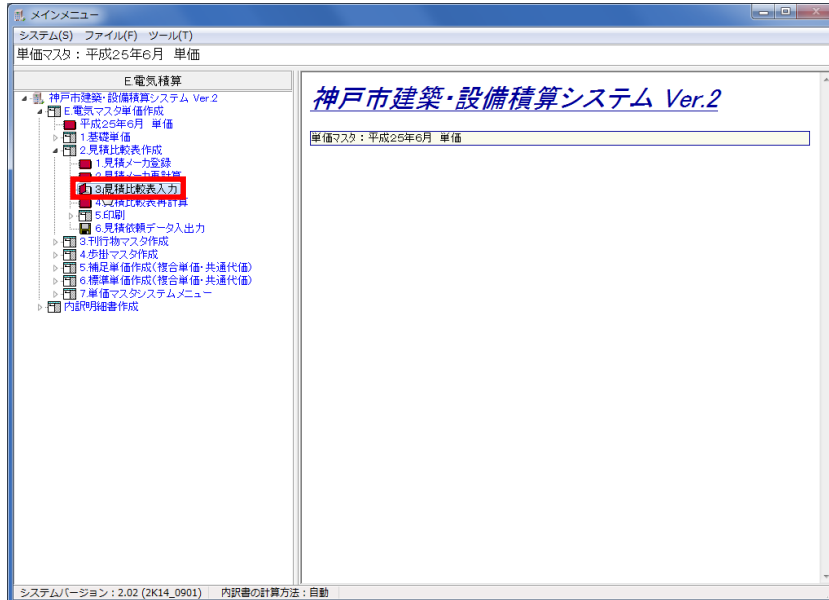
- ②[OK]ボタンをクリックすると、見積メーカー情報の再計算を開始します。



C. 見積比較表入力（見積グループ登録）

1. 見積グループ登録画面の表示

- ①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→ [2. 見積比較表作成] →[3. 見積比較表入力]をダブルクリックすると、見積グループ登録画面が表示されます。



コード	グループ名称	A社	B社	C社
3LA01000	電線	日立電線静岡西支	住電日立ケーブル株	三菱電線工業株開
3LA02000	配線	カナレ電気株	日立電線静岡西支	三菱電線工業株開
3LAEEE30	エコーケーブル EM+HP	三菱電線工業株開	日立電線静岡西支	住電日立ケーブル株 古河
3LAEEE50	エコーケーブル EM+TIEF(FAX)	轉カクワ開西支店	古河電気工業株開	住電日立ケーブル株
3LAEEE60	エコーケーブル EM+ボタノ電話用ケーブル	日立電線静岡西支	古河電気工業株開	住電日立ケーブル株
3LAEEE70	エコーケーブル EM+構内用ケーブル	三菱電線工業株開	日立電線静岡西支	住電日立ケーブル株
3LAEEE90	エコーケーブル EM+CCP-P	三菱電線工業株開	日立電線静岡西支	住電日立ケーブル株
3LAEEE80	エコーケーブル EM+同軸ケーブル	三菱電線工業株開	日立電線静岡西支	住電日立ケーブル株
3LAEEED0	端末処理材 6KV EM-CET	三菱電線工業株開	日立電線静岡西支	住電日立ケーブル株
3LAEEEC0	エコーケーブル EM+FCPEE+FCPEES	三菱電線工業株開	日立電線静岡西支	轉カクワ開西支店
3LAEEEF0	エコーケーブル EM+MEES	三菱電線工業株開	日立電線静岡西支	住電日立ケーブル株
3LAEEEG0	エコーケーブル EM+KPEE+KPEES	轉カクワ開西支店	古河電気工業株開	住電日立ケーブル株
3LAEEEH0	エコーケーブル EM+UTP	轉カクワ開西支店	日立電線静岡西支	古河電気工業株開
3LA03000	ケーブルハンガー	轉電研社	日動電工株	
3LB04000	金属ダクト	南電機株	カナフジ株	ネグロス電工株神戸
3LB06000	塗代カバー	日動電工株	パナソニック株	未来工業株
3LB0M000	ダクトモール	パナソニック株		
3LBAAA30	吊りバンド	ネグロス電工株神戸	パナソニック株	南電機株
3LBAAA70	ライディングダクト	パナソニック株	東芝ライテック株西日本	大光電機株
3LDCDD90	地中管路埋設表示	古河電気工業株開	轉カキ工	大東電材株
3LD04000	照明器具付属	パナソニック株	東芝ライテック株西日本	三菱電機住環境シス
3LD0CC70	配線器具	パナソニック株	東芝ライテック株西日本	神保電器株
3LD0CC80	トイレ呼び出し(押し印+表示窓)	アイホン株神戸支店	轉カキ工大坂支店	
3LD0CC90	トイレ呼び出し(警報サイヤ)	パナソニック株	竹中エンビアック株	

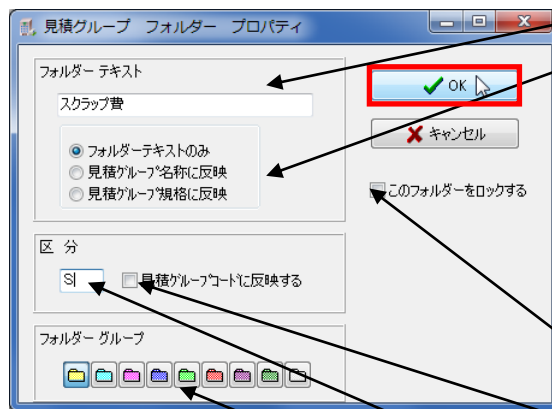
2. 新規見積グループの登録・削除及びフォルダー・シートプロパティの設定

(1) フォルダーの新規作成

- ①フォルダーを追加したいフォルダーを選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[フォルダー(F)]をクリックして下さい。



- ②各種項目を設定して下さい。設定が完了したら、「OK」ボタンをクリックして下さい。



入力した文字列をツリービューに表示する。

- ・フォルダーテキストのみ

フォルダーテキストのみに反映する。

- ・単価【名称】に反映

シートのプロパティで連動するように設定した場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【名称】にも反映する。

- ・単価【規格・仕様】に反映

シートのプロパティで連動するように設定した場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【規格・仕様】にも反映する。

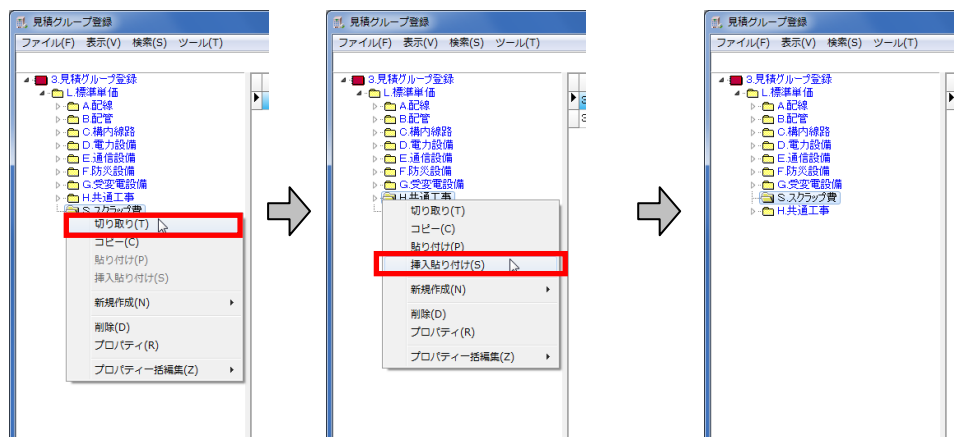
フォルダーの切り取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の単価コードに反映する場合はチェックを入れる。

フォルダーテキストの前に付くコードを設定する。

フォルダーの表示色を選択。

- ③新規作成時は必ず階層中の並びの一番下に作成されるので、順番を並び替える必要があれば右クリック→[切り取り(T)]→挿入後に一つ下にしたいフォルダーを選択→右クリック→[挿入貼り付け(S)]を行い、並び替えを行って下さい。



(2) 見積グループシートの新規作成 (新たなグループシートを作成)

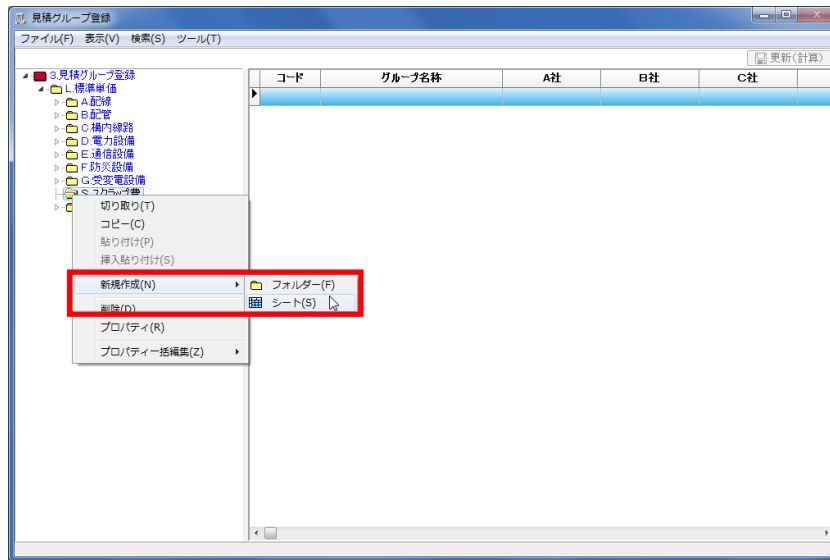
【注意】

既存のグループシートの情報を流用して作成する方法 (シートのコピー→貼り付け) は絶対に行わないで下さい。複数の見積グループに同じ基礎単価コードが登録されている状態で保存して見積グループ登録画面を終了してしまった場合、見積比較情報が意図せぬ見積グループに割り当てされてしまうという不都合が発生します。

① 新規作成したい場所のフォルダー又はシートを選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[シート(S)]をクリックして下さい。

※右クリック時にフォルダーを選択している場合、そのフォルダー階層の一番下に新規シートが作成されます。

※右クリック時に単価シートを選択している場合、そのシートの一つ前の並びに新規シートが作成されます。



② 各種項目を設定して下さい。設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして下さい。

入力した文字列をツリービューに表示する。

シートテキスト

電線

任意コード

任意コードをメーカーコードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

シートテキストの前に付くコードを設定する。

シートの切り取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

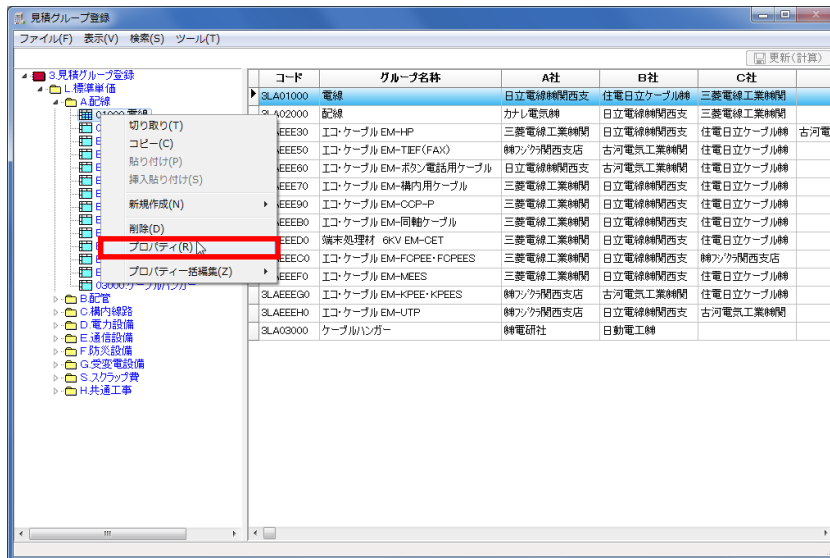
フォルダテキスト・シートテキストの値を、親の階層から順に、名称または規格・仕様に自動的に設定する。

- ・シートテキストのみ
シートテキストのみに反映する。
- ・見積グループ名称に反映
名称、規格の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された見積グループの【名称】にも反映する。
- ・見積グループ規格に反映
名称、規格の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された見積グループの【規格】にも反映する。

③ 見積グループの各種項目を編集して下さい (P69~参照)。

(3) フォルダー・シートプロパティの設定

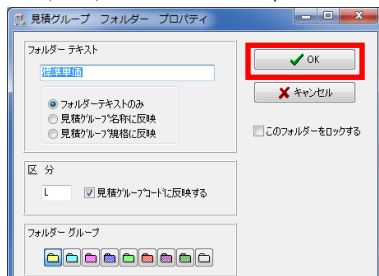
- ①プロパティを設定したいフォルダー又はシートを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。



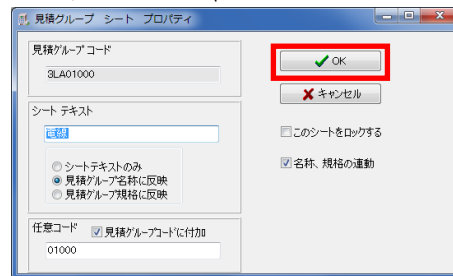
- ②フォルダープロパティ・シートプロパティを設定し、[OK]ボタンをクリックして下さい。

※注意点は、本項の「(1) フォルダーの新規作成 (P64)」・「(2) 見積グループシートの新規作成 (P65)」を参照して下さい。

フォルダープロパティ



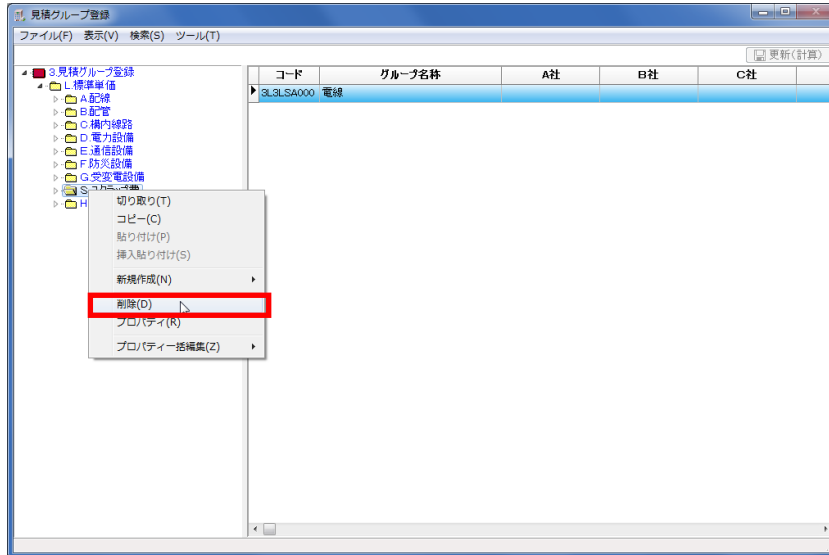
シートプロパティ



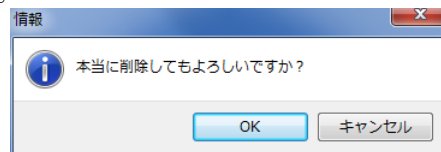
(4) フォルダー・シートの削除

※削除を行うと、元に戻すことはできません。また、基礎単価の見積に関する情報も消えますので慎重に行ってください。

①削除したいフォルダー・シートを選択し、右クリック→[削除(D)]をクリックして下さい。

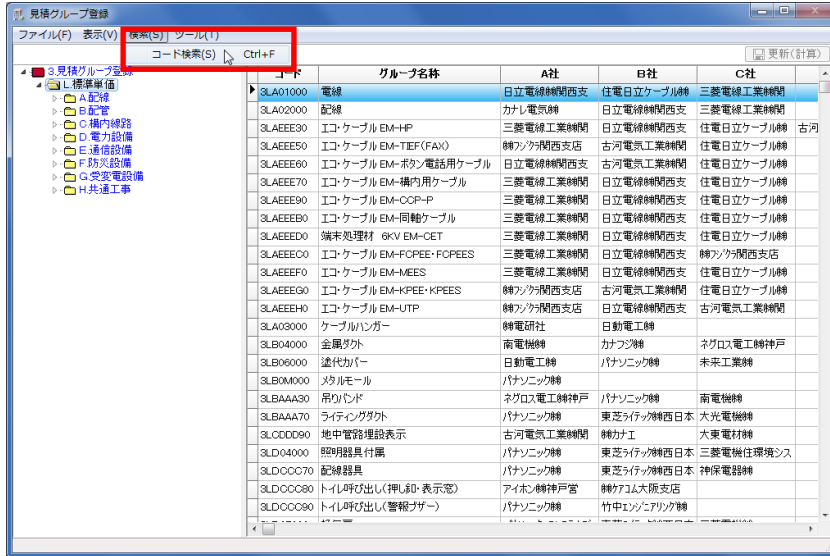


②[OK]ボタンをクリックすると、削除処理が行われます。[キャンセル]ボタンをクリックすると中止します。

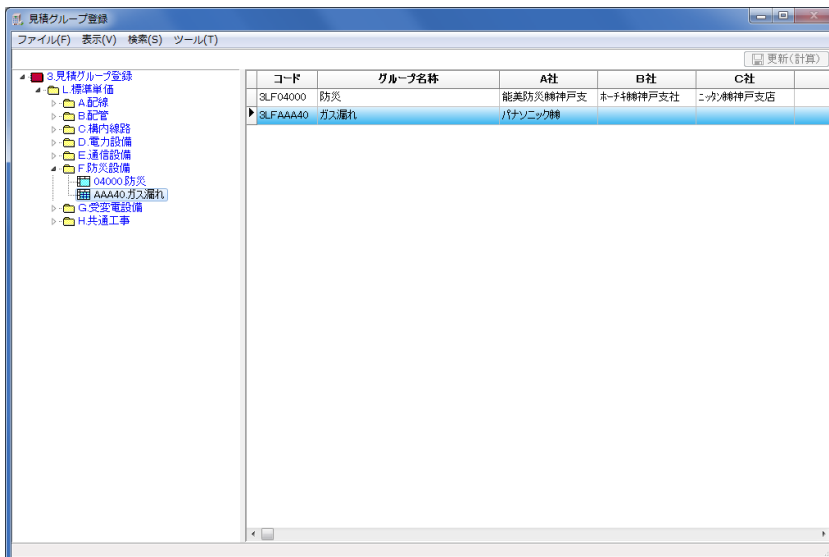
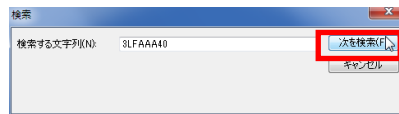


3. 見積グループコードの検索

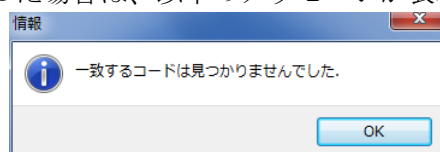
①[検索(S)]→[コード検索(Ctrl+F)]をクリックして下さい。



②検索したい見積グループコードを入力し、[次を検索(F)]ボタンをクリックして下さい。見積グループマスタにコードが存在する場合はそのコードのグループシートに移動します。



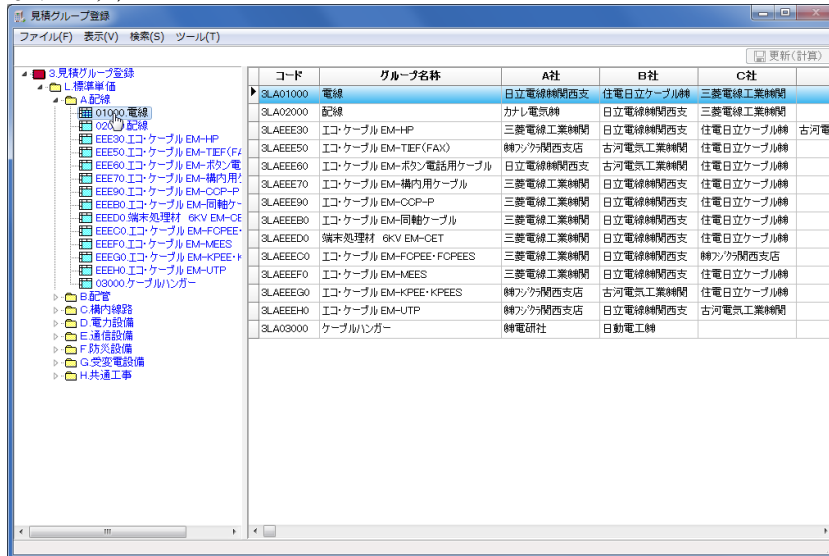
見つからなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



4. 見積グループ情報の各種項目の編集

①編集を行いたい見積グループシートを選択し、ダブルクリックすると、画面右側のグループリスト表示部がグループ情報編集表示に切り替わります。

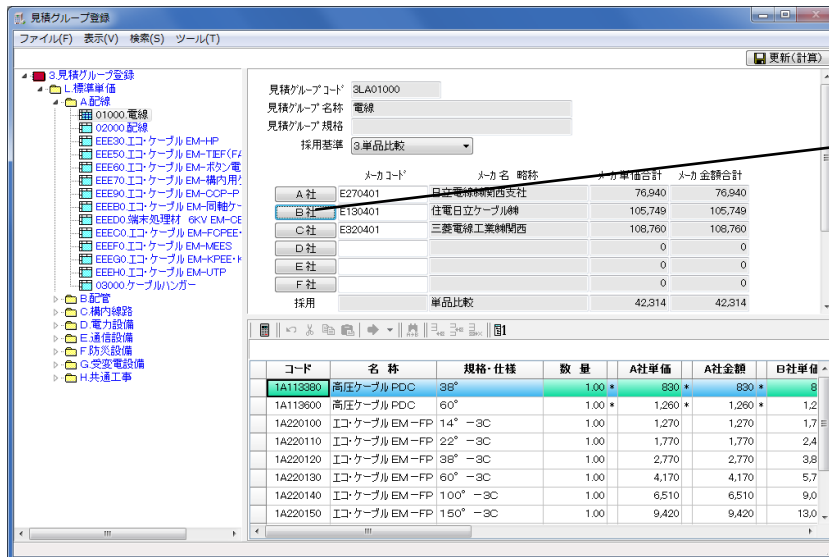
(見積グループリスト表示部の、編集を行いたい行をダブルクリックしても同様の処理となります)



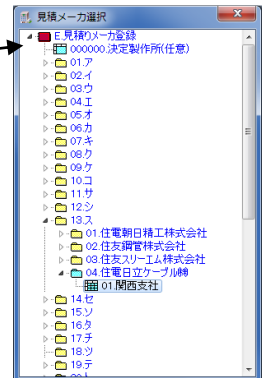
②見積メカを設定して下さい。

[A社]・[B社]…と表示されたボタンをクリックすると、見積メカ選択画面が表示されますので、登録されている見積メカをダブルクリックして選択するとメカ情報が設定されます。(メカコードを直接入力しても設定可能です。)

※ルートプロパティの設定により、最大12社まで設定可能です。



見積メカ選択画面
(ダブルクリックで選択)



③現在表示中の見積グループで見積を行う基礎単価を選択し、下部のリストに登録して下さい。

基礎単価コードは、基礎単価選択画面での選択でも基礎単価コードを直接手入力でも設定可能です。

また、右端の方にある見積数量・査定率も入力して下さい。

※見積メーカー各社の見積単価も本画面で入力することも可能です。

【注意】

他の見積グループに割り当てている基礎単価を誤って登録しないで下さい（基礎単価は、複数の見積グループに登録しないで下さい）。意図せぬ見積グループで見積比較を行ってしまうという不都合が生じます。

基礎単価選択画面
(ダブルクリックで選択)

The screenshot shows the '基礎単価選択' (Basic Unit Price Selection) dialog box. The dialog has a tree view on the left showing a hierarchy of cable types (e.g., 01000 電線, 02000 配線, etc.). The main area shows a table of selected items with their specifications and unit prices for different companies (A社, B社, C社, D社, E社, F社). A red box highlights the '更新(計算)' button.

コード	名称	規格・仕様	数量	A社単価	A社金額	日社単価
1A113380	高压ケーブル PDC	38°	1.00	830	830	8
1A113600	高压ケーブル PDC	60°	1.00	1,260	1,260	1.2
1A220100	エコケーブル EM-FP	14° -3C	1.00	1,270	1,270	1.7
1A220110	エコケーブル EM-FP	22° -3C	1.00	1,770	1,770	2.4
1A220120	エコケーブル EM-FP	38° -3C	1.00	2,770	2,770	3.8
1A220130	エコケーブル EM-FP	60° -3C	1.00	4,170	4,170	5.7
1A220140	エコケーブル EM-FP	100° -3C	1.00	6,510	6,510	9.0
1A220150	エコケーブル EM-FP	150° -3C	1.00	9,420	9,420	13.0

④入力が完了しましたら、[更新 (計算)] ボタンをクリックし、値を保存して下さい。

The screenshot shows the '見積グループ登録' (Estimate Group Registration) screen. The '更新(計算)' button is highlighted with a red box. The screen displays the same table of unit prices as the previous screenshot, but with updated values for the 'A社金額' and '日社金額' columns.

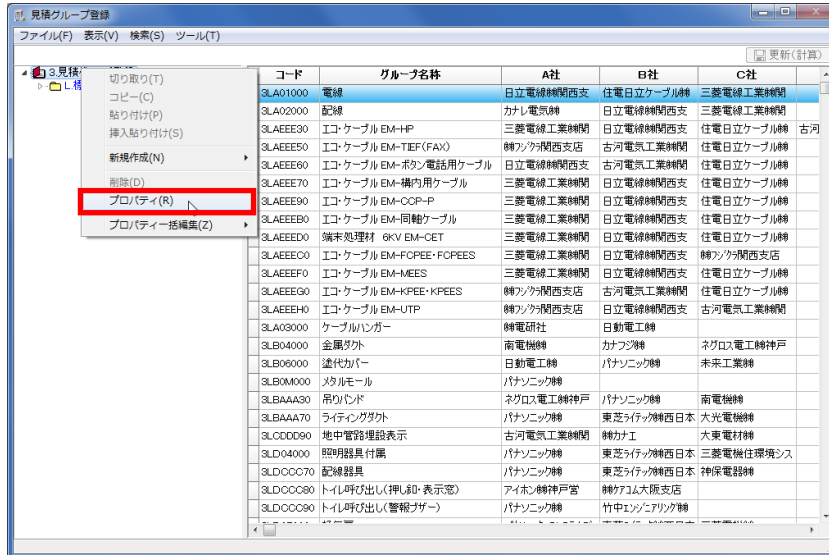
コード	名称	規格・仕様	数量	A社単価	A社金額	日社単価
1A113380	高压ケーブル PDC	38°	1.00	830	830	8
1A113600	高压ケーブル PDC	60°	1.00	1,260	1,260	1.2
1A220100	エコケーブル EM-FP	14° -3C	1.00	1,270	1,270	1.7
1A220110	エコケーブル EM-FP	22° -3C	1.00	1,770	1,770	2.4
1A220120	エコケーブル EM-FP	38° -3C	1.00	2,770	2,770	3.8
1A220130	エコケーブル EM-FP	60° -3C	1.00	4,170	4,170	5.7
1A220140	エコケーブル EM-FP	100° -3C	1.00	6,510	6,510	9.0
1A220150	エコケーブル EM-FP	150° -3C	1.00	9,420	9,420	13.0

5. 見積グループ登録画面 その他の機能について

(1) ルートプロパティ

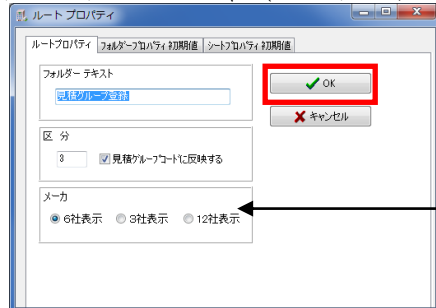
見積グループマスタの基本設定を行います。

- ① ツリービューの一番上にある赤色のフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。



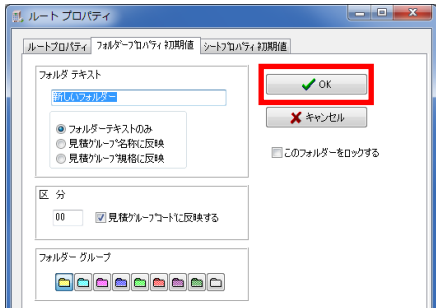
- ② 各種項目を設定の上、[OK] ボタンをクリックして下さい。

◆ ルートプロパティ (ルートフォルダーのプロパティの設定を行う)

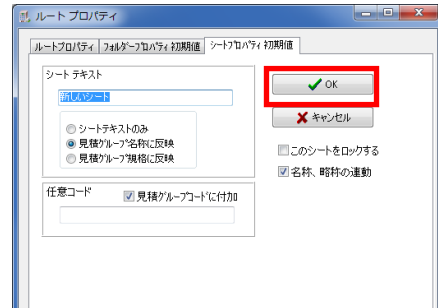


見積メーカーの最大数は、マスタ全体での設定となります (見積グループ毎の設定は出来ません)。

◆ フォルダプロパティ (新規作成時) 初期値

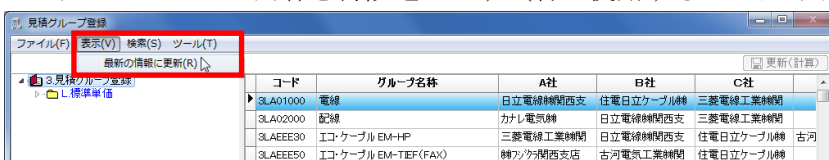


◆ シートプロパティ (新規作成時) 初期値



(2) 最新の情報に更新 ([表示(V)]メニュー)

マスタデータベースの内容を再読み込みします (特に使用することはありません)。

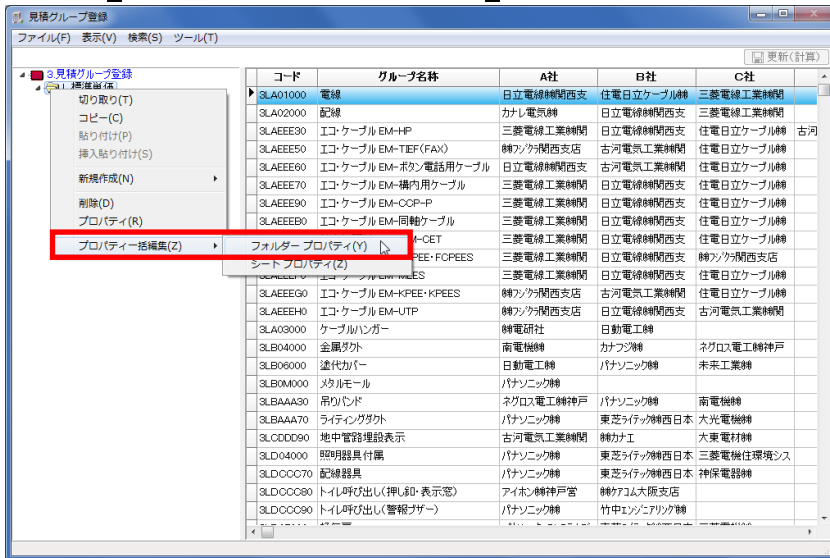


(3) フォルダープロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)

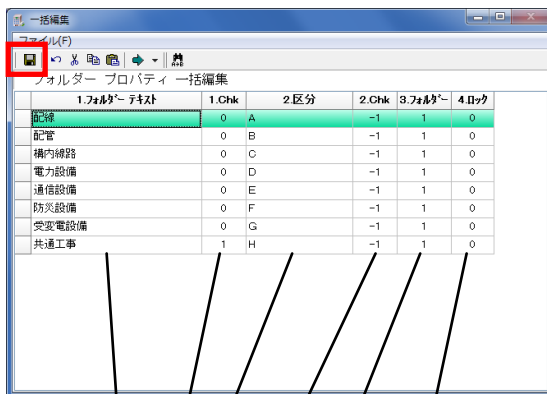
選択したフォルダーの配下にあるフォルダーのプロパティを一括編集します。

※大量のフォルダーが含まれるフォルダーを一度に処理しようとすると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

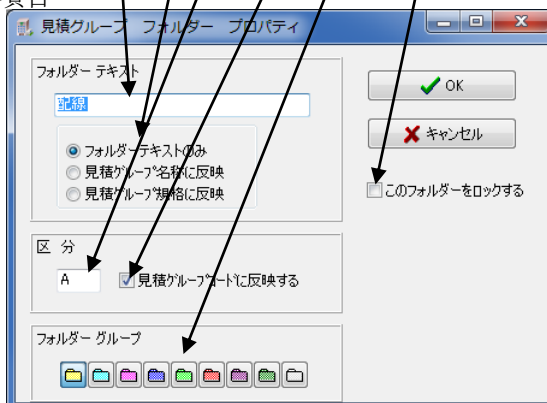
- ①一括編集したいフォルダーを配下に含むフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ一括編集(Y)]→[フォルダープロパティ(Y)]をクリックして下さい。



- ②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。



対応項目

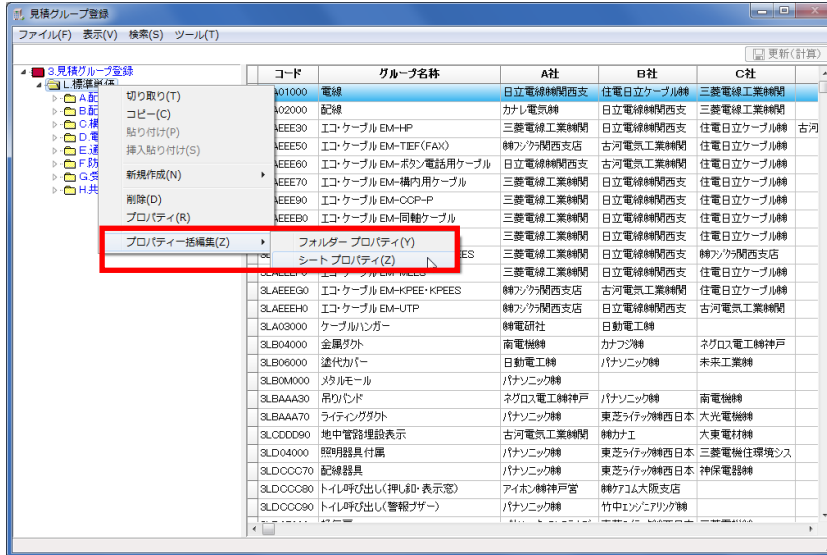


(4) シートプロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)

選択したフォルダーの配下にあるシートのプロパティを一括編集します。

※大量のシートが含まれるフォルダーを一度に処理しようとするると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

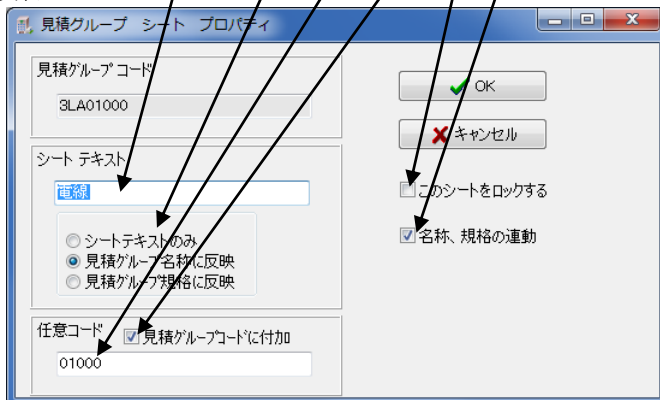
- ①一括編集したいシートを配下を含むフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ一括編集(X)]→[シートプロパティ(Z)]をクリックして下さい。



- ②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。

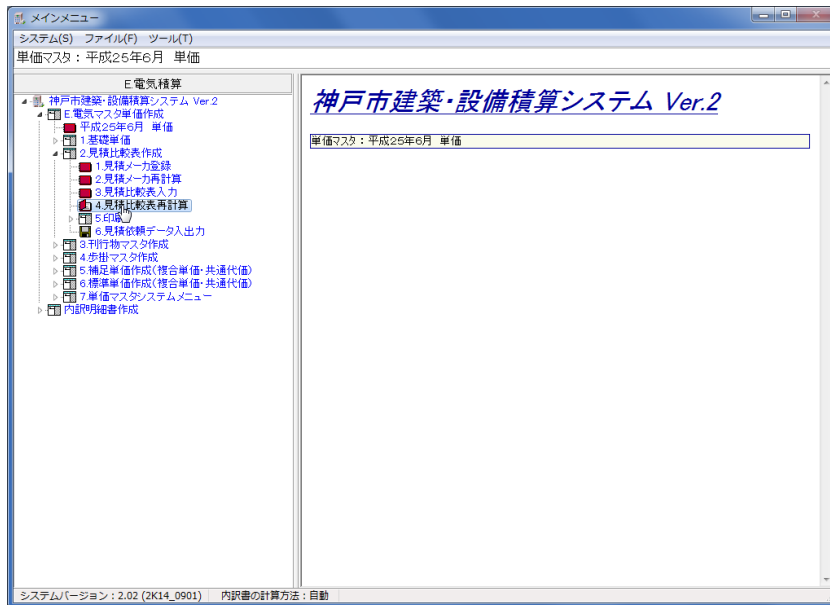


対応項目



D. 見積比較表再計算

- ①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[2. 見積比較表作成]→[4. 見積メーカー再計算]をダブルクリックすると、見積比較表再計算画面が表示されます。



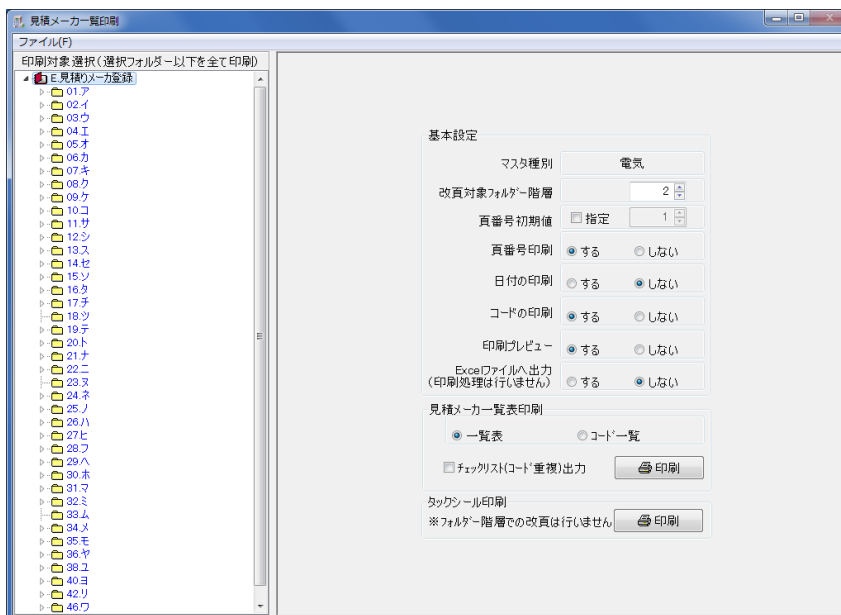
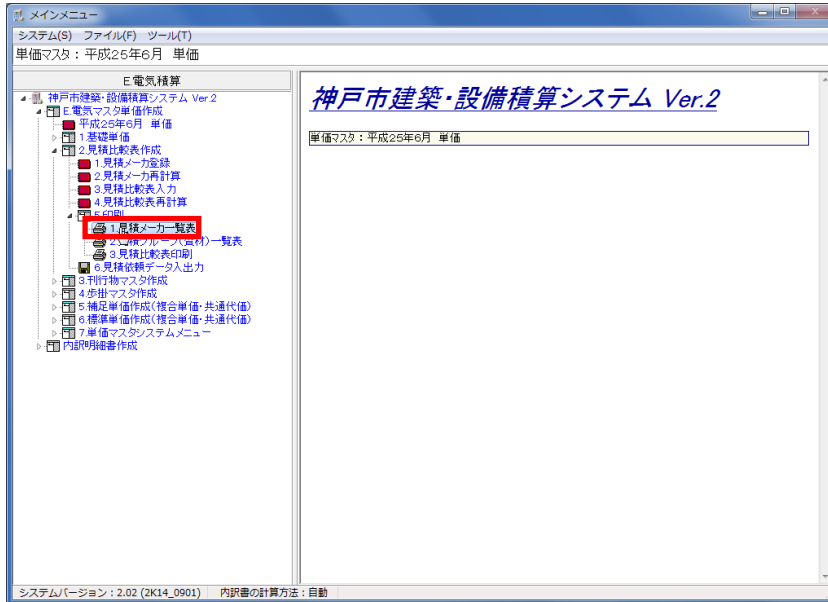
- ②[OK]ボタンをクリックすると、見積比較表（見積グループ）情報の再計算を開始します。



E. 見積メーカー一覧表印刷

(1) 見積メーカー一覧印刷画面の表示

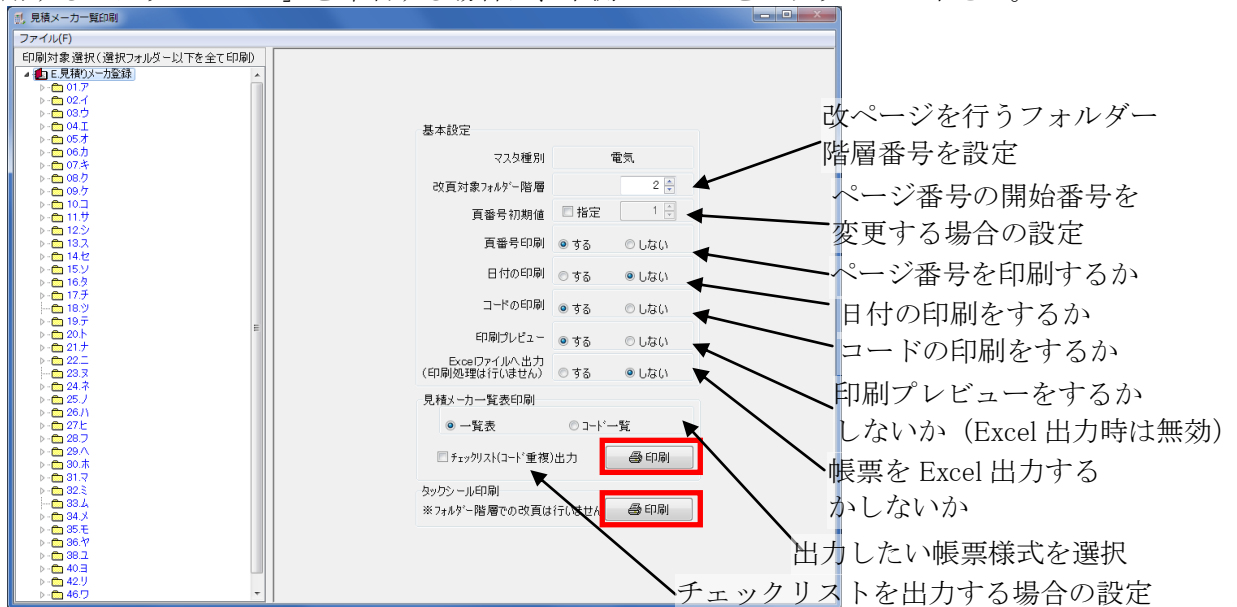
- ①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[2. 見積比較表作成]→[5. 印刷]→[1. 見積メーカー一覧表]をダブルクリックすると、見積メーカー一覧印刷画面が表示されます。



(2) 見積メーカー一覧表印刷（タックシール印刷）

①各種項目を設定し、[印刷]（「Excel ファイルへ出力」を「する」にしている場合は[出力]）ボタンをクリックして下さい。

※「見積メーカー一覧表」関連を印刷する場合は、上側のボタンを、業者見積の際に郵送時等に使用する「タックシール」を印刷する場合は、下側のボタンをクリックして下さい。



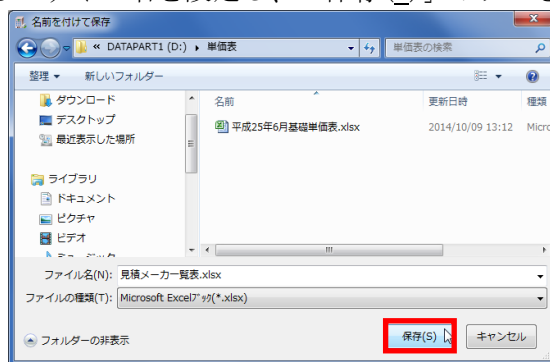
※ルートフォルダ以外を選択すると、部分出力が可能です。

※思い通りの出力結果になるように、設定項目を適宜変更して下さい。

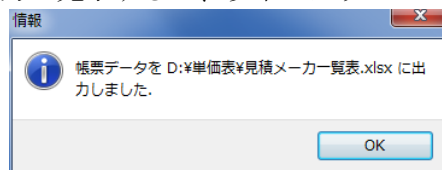
②「印刷プレビュー」を「する」にした場合は、Excel の画面で印刷プレビュー画面が表示されます。Excel の印刷プレビューからの印刷操作方法で印刷を行って下さい。

「Excel 出力」を「する」に設定した場合は、以下の画面が表示されます。

保存先及びファイル名を設定し、「保存(S)」ボタンをクリックして下さい。



帳票の Excel 出力が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



※Excel で開く際は、上図のメッセージを閉じてから開いて下さい。

※見積を依頼していないメーカーのフォルダ以下にある見積メーカーなど、不要なものがありましたら Excel で開いて削除の上、保存・印刷して下さい。

※タックシールは、市販品の A4 ラベル用紙 12 面シート（エーワン 28362・28382 及び相当品）

に対応しています。(通常の A4 用紙に印刷の上、カットしてのり付けしていただいても可。)

帳票イメージ

見積メーカー一覧表 (見積メーカーリスト)

電気 平成25年6月 単価

見積メーカーリスト

平成 年 月 日
2頁

01.ア

種 別	CODE	メーカー名/ヨミ	支社名/部署名	TEL/FAX	住 所	担当/略称	摘 要
アートコンクリート工業株式会社	E010101	アートコンクリート工業株式会社 アートコンクリート技術部		0736-77-3077 0736-77-4993	649-6445 和歌山県那賀郡打田町大字豊田5-6	数見 昇 アートコンクリート工業株	/31/
愛知電機株式会社	E010301	愛知電機株式会社 T P プロカンパニー営業グループ		0568-35-1181 0568-35-1254	486-8666 愛知県春日井市愛知町1番地	佐野 清典 愛知電機株	/6/8/
株式会社愛知電機製作所	E010401	株式会社愛知電機製作所 大阪営業所 大阪営業所長		06-6354-3890 06-6354-0590	530-0044 大阪市北区東天満2丁目9番4号 千代田ビル東館6F	藤中 安美 株愛知電機製作所	/8/9/13/
愛知電子株式会社	E010501	愛知電子株式会社大阪営業部 営業管理課		06-6322-3181 06-6322-0300	533-0031 大阪市東淀川区西淡路1丁目1番32号	徳丸 正雄 愛知電子株	/23/
愛知時計電機株式会社	E010601	愛知時計電機株式会社大阪支店 営業開発課		06-6352-1392 06-6357-8842	530-0044 大阪市北区東天満2丁目6番2号	松村 剛 愛知時計電機株	/25/
アイホン株式会社	E010701	アイホン株式会社 神戸営業所 支店長		078-577-4891 078-577-4001	652-0802 神戸市兵庫区水本通4丁目1番25号	方岡 康彦 所長 アイホン株神戸営業	/20/25/
朝日バグナル株式会社	E010801	朝日バグナル株式会社 照明事業部		06-6363-0478 06-6363-0470	530-0054 大阪市北区南森町1丁目4番1号	石森 武男 朝日バグナル株	/19/
アマノ株式会社	E010901	アマノ株式会社神戸支店 支店長		078-371-2345 078-366-2180	650-0017 神戸市中央区楠町3丁目3番3号	富永 信博 アノ株神戸支店	/27/

神戸市

見積メーカーコードマスターコード一覧表

電気 平成25年6月 単価

見積メーカーマスターコード一覧表

平成 年 月 日
1頁

階 層	コード	メーカー名	支社名	部署名
E. 見積りメーカー登録				
└ 000000. 決定製作所(任意)	E000000	決定製作所(任意)		
└ 01.ア				
└└ 01. アートコンクリート工業株式会社				
└└└ 01. 技術部	E010101	アートコンクリート工業株式会社		技術部
└└ 03. 愛知電機株式会社				
└└└ 01. T P プロカンパニー営業グループ	E010301	愛知電機株式会社		T P プロカンパニー営業グループ
└└ 04. 株式会社愛知電機製作所				
└└└ 01. 大阪営業所	E010401	株式会社愛知電機製作所 大阪営業所		大阪営業所長
└└ 05. 愛知電子株式会社				
└└└ 01. 大阪営業部	E010501	愛知電子株式会社大阪営業部		営業管理課
└└ 06. 愛知時計電機株式会社				
└└└ 01. 大阪支店	E010601	愛知時計電機株式会社大阪支店		営業開発課
└└ 07. アイホン株式会社				
└└└ 01. 神戸営業所	E010701	アイホン株式会社 神戸営業所		
└└ 08. 朝日バグナル株式会社				
└└└ 01. 照明事業部	E010801	朝日バグナル株式会社		照明事業部
└└ 09. アマノ株式会社				
└└└ 01. 神戸支店	E010901	アマノ株式会社神戸支店		支店長
└ 02.イ				
└└ 01. イー・エム・シー株式会社				
└└└ 01. 営業部	E020101	イー・エム・シー株式会社		営業部
└└ 02. 和泉電気株式会社				
└└└ 01. 大阪営業所 H M I 推進部 テクニカルサポートグループ	E020201	和泉電気株式会社 大阪営業所		H M I 推進部 テクニカルサポートグループ
└└ 03. 一光電機株式会社				
└└└ 01. 神戸営業所	E020301	一光電機株式会社		神戸営業所所長
└└ 04. 株式会社因幡電機製作所				
└└└ 01. 企画部	E020401	株式会社因幡電機製作所		企画部
└└ 05. 株式会社井上製作所				
└└└ 01. 営業本部大阪支店	E020501	株式会社井上製作所		営業本部大阪支店
└└ 06. 岩崎通信機株式会社				
└└└ 01. 西日本支社情報通信第二営業	E020601	岩崎通信機株式会社西日本支社		情報通信第二営業
└└ 07. 岩崎電気株式会社				
└└└ 01. 神戸営業所	E020701	岩崎電気株式会社神戸営業所		営業
└└ 08. 株式会社インテック				
└└└ 01. 神戸営業所	E020801	株式会社インテック神戸営業所		営業部
└ 03.ウ				
└└ 01. 渦潮電機株式会社				
└└└ 01. 大阪営業所	E030101	渦潮電機株式会社大阪営業所		営業
└ 04.エ				
└└ 01. エナジーサポート株式会社				
└└└ 01. 大阪営業所	E040101	エナジーサポート株式会社		大阪営業所
└└ 02. 株式会社遠藤照明				
└└└ 01. 神戸営業所	E040201	株式会社遠藤照明 神戸営業所		

神戸市

タックシール印刷

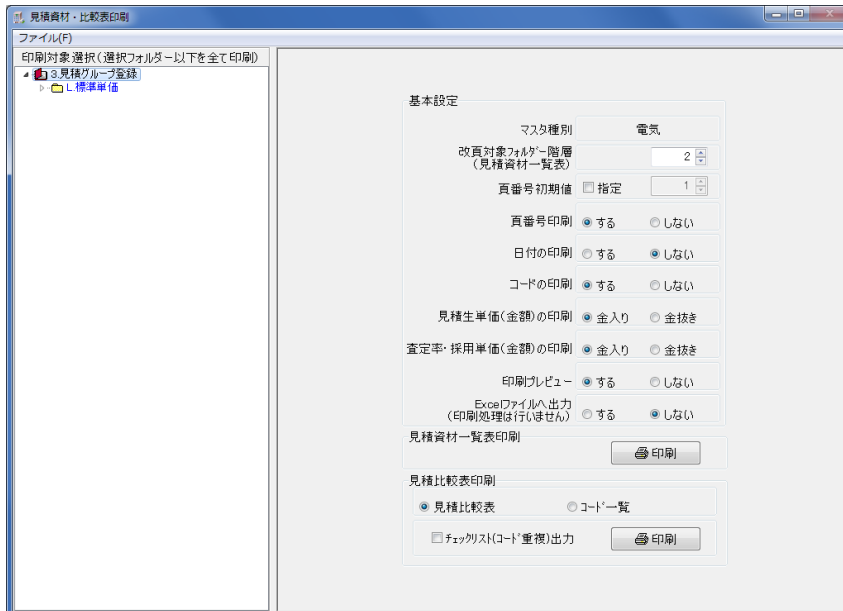
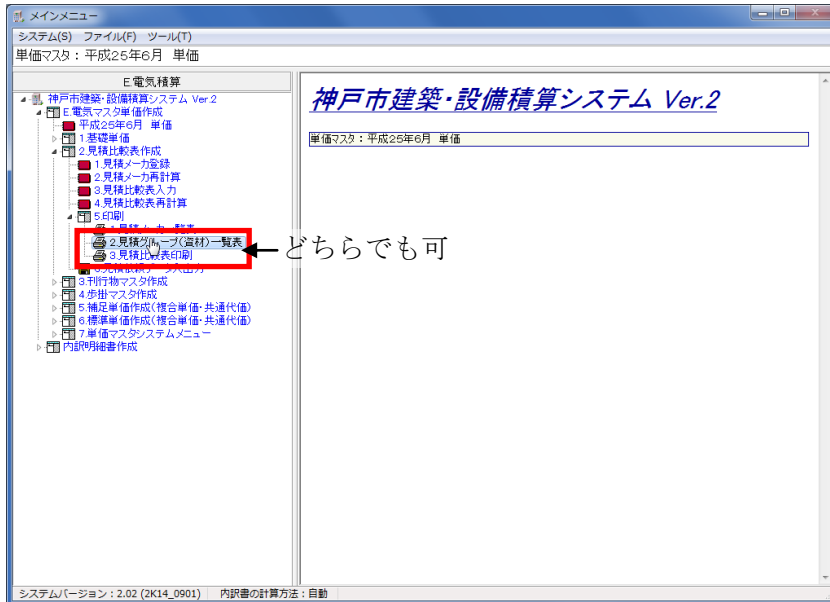
	〒649-6445 和歌山県那賀郡打田町大字豊田56	
決定製作所(任意) 御中	アートコンクリート工業株式会社 技術部 数見 昇 様	
	E000000	E010101
〒486-8666 愛知県春日井市愛知町1番地	〒530-0044 大阪市北区東天満2丁目9番4号 千代田ビル東館6F	
愛知電機株式会社 TPプロカンパニー営業グループ 佐野 清美 様	株式会社愛知電機製作所 大阪営業所 大阪営業所長 藪中 安美 様	
	E010301	E010401
〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路1丁目1番32号	〒530-0044 大阪市北区東天満2丁目6番2号	
愛知電子株式会社大阪営業部 営業管理課 徳丸 正雄 様	愛知時計電機株式会社大阪支店 営業開発課 松村 剛 様	
	E010501	E010601
〒652-0802 神戸市兵庫区水木通4丁目1番25号	〒530-0054 大阪市北区南森町1丁目4番1号	
アイホン株式会社 神戸営業所 方岡 康彦 所長 様	朝日バグナル株式会社 照明事業部 石森 武男 様	
	E010701	E010801
〒650-0017 神戸市中央区楠町3丁目3番3号	〒532-0011 大阪市淀川区西中島4丁目3番5号10F	
アマノ株式会社神戸支店 支店長 富永 信博 様	イー・エム・シー株式会社 営業部 岡村 慎一 様	
	E010901	E020101
〒561-0872 豊中市寺内2丁目4番1号緑地駅ビル6F	〒673-0873 明石市大蔵中町10-4	
和泉電気株式会社 大阪営業所 HMI推進部 テクニカルサポートグループ 小磯 良太 様	一光電機株式会社 神戸営業所所長 池田 博行 様	
	E020201	E020301

F. 見積グループ（資材）一覧表・見積比較表印刷

(1) 見積資材・比較表印刷画面の表示

①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[2. 見積比較表作成]→[5. 印刷]→[2. 見積グループ（資材）一覧表]または[3. 見積比較表]をダブルクリックすると、見積メーカー一覧印刷画面が表示されます。

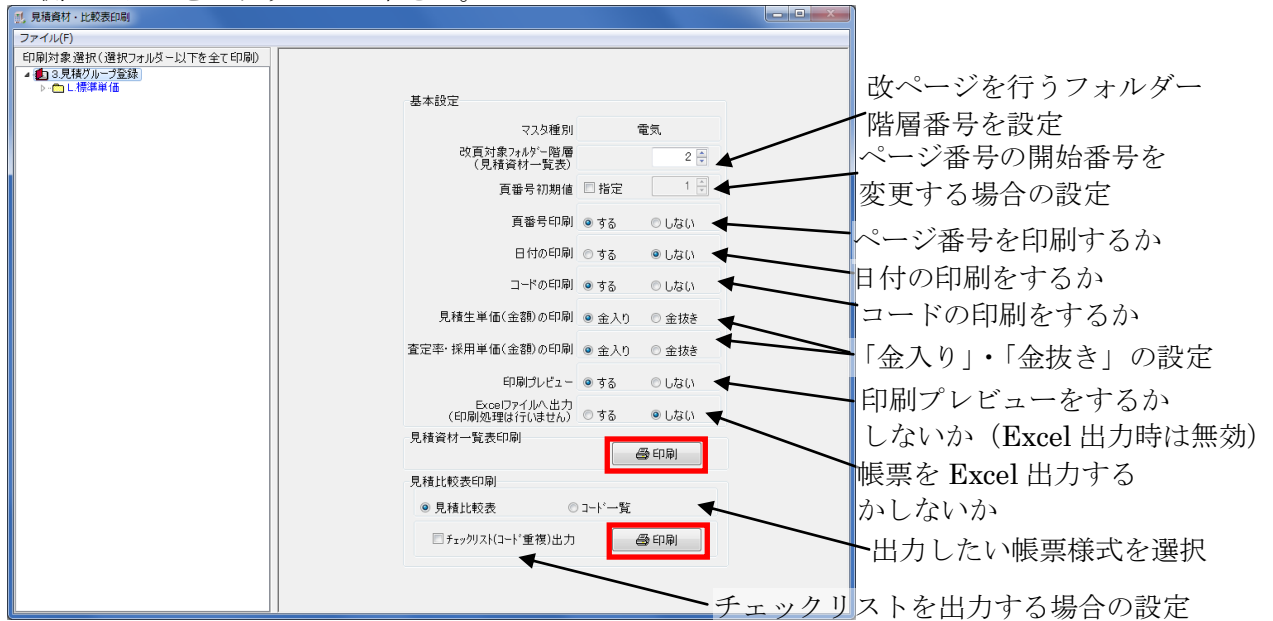
(どちらのメニューをダブルクリックしていただいても同じ画面が表示されます。)



(2) 見積資材一覧表・見積比較表印刷

①各種項目を設定し、[印刷]（「Excel ファイルへ出力」を「する」にしている場合は[出力]）ボタンをクリックして下さい。

※「見積資材一覧表」を印刷する場合は上側のボタンを、「見積比較表」を印刷する場合は下側のボタンをクリックして下さい。

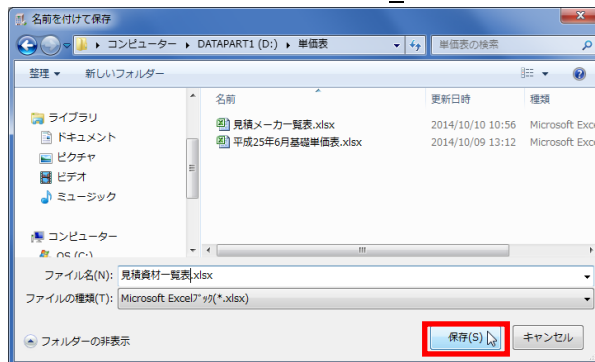


※ルートフォルダー以外を選択すると、部分出力が可能です。

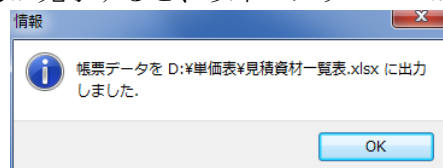
※思い通りの出力結果になるように、設定項目を適宜変更して下さい。

②「印刷プレビュー」を「する」にした場合は、Excel の画面で印刷プレビュー画面が表示されます。Excel の印刷プレビューからの印刷操作方法で印刷を行って下さい。

「Excel 出力」を「する」に設定した場合は、以下の画面が表示されます。
保存先及びファイル名を設定し、「保存(S)」ボタンをクリックして下さい。



帳票の Excel 出力が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



※Excel で開く際は、上図のメッセージを閉じてから開いて下さい。

帳票イメージ

見積資材一覧表

電気 平成25年6月 単価

見積資材一覧表

平成 年 月 日
1頁

L.標準単価>A.配線

種 別	CODE	名 称 規格・仕様	設定メーカ コード・名称						
			A社	B社	C社	D社	E社	F社	
	3LA01000	電線	E270401 日立電線㈱関西支社	E130401 住電日立ケーブル㈱	E320401 三菱電線工業㈱関西				
	3LA02000	配線	E060701 カナレ電気㈱	E270401 日立電線㈱関西支社	E320401 三菱電線工業㈱関西				
	3LAEEE30	エコ・ケーブル EM-HP	E320401 三菱電線工業㈱関西	E270401 日立電線㈱関西支社	E130401 住電日立ケーブル㈱	E280701 古河電気工業㈱関西			
	3LAEEE50	エコ・ケーブル EM-TIEF (FAX)	E280201 ㈱フジワ関西支店	E280701 古河電気工業㈱関西	E130401 住電日立ケーブル㈱				
	3LAEEE60	エコ・ケーブル EM-ボタン電話用ケーブル	E270401 日立電線㈱関西支社	E280701 古河電気工業㈱関西	E130401 住電日立ケーブル㈱				
	3LAEEE70	エコ・ケーブル EM-構内用ケーブル	E320401 三菱電線工業㈱関西	E270401 日立電線㈱関西支社	E130401 住電日立ケーブル㈱				
	3LAEEE90	エコ・ケーブル EM-CCP-P	E320401 三菱電線工業㈱関西	E270401 日立電線㈱関西支社	E130401 住電日立ケーブル㈱				
	3LAEEEB0	エコ・ケーブル EM-同軸ケーブル	E320401 三菱電線工業㈱関西	E270401 日立電線㈱関西支社	E130401 住電日立ケーブル㈱				
	3LAEEED0	端末処理材 6KV EM-GET	E320401 三菱電線工業㈱関西	E270401 日立電線㈱関西支社	E130401 住電日立ケーブル㈱				
	3LAEEEC0	エコ・ケーブル EM-FPEE・FOPEES	E320401 三菱電線工業㈱関西	E270401 日立電線㈱関西支社	E280201 ㈱フジワ関西支店				
	3LAEEEF0	エコ・ケーブル EM-MEES	E320401 三菱電線工業㈱関西	E270401 日立電線㈱関西支社	E130401 住電日立ケーブル㈱				
	3LAEEEG0	エコ・ケーブル EM-KPEE・KPEES	E280201 ㈱フジワ関西支店	E280701 古河電気工業㈱関西	E130401 住電日立ケーブル㈱				
	3LAEEEH0	エコ・ケーブル EM-UTP	E280201 ㈱フジワ関西支店	E270401 日立電線㈱関西支社	E280701 古河電気工業㈱関西				
	3LA03000	ケーブルハンガー	E190901 ㈱電研社	E220901 日動電工㈱					

神戸市

見積比較表

電気 平成25年6月 単価

見積比較表

平成 年 月 日
1頁

見積メーカコード: 3LA01000

名 称: 電線

採用見積決定方法: 3.単品比較

規格・仕様:

No.	CODE	名 称	規格・仕様	数量	単位	製 作 所 名						採用決定		
						日立電線㈱関西支社		住電日立ケーブル㈱		三菱電線工業㈱関西		査定	単品比較	金額
						単価	金額	単価	金額	単価	金額			
1	1A113380	高圧ケーブル PDC	3φ*	1.0000	m	830*	830*	830*	830*	830	0.5500	456	456	
2	1A113600	高圧ケーブル PDC	6φ*	1.0000	m	1,260*	1,260*	1,260*	1,260*	1,260	0.5500	693	693	
3	1A220100	エコ・ケーブル EM-FPT	14' -3C	1.0000	m	1,270	1,270	1,775	1,775	1,810	0.5500	698	698	
4	1A220110	エコ・ケーブル EM-FPT	2.2' -3C	1.0000	m	1,770	1,770	2,470	2,470	2,520	0.5500	973	973	
5	1A220120	エコ・ケーブル EM-FPT	3.8' -3C	1.0000	m	2,770	2,770	3,845	3,845	3,840	0.5500	1,523	1,523	
6	1A220130	エコ・ケーブル EM-FPT	6.0' -3C	1.0000	m	4,170	4,170	5,787	5,787	6,020	0.5500	2,293	2,293	
7	1A220140	エコ・ケーブル EM-FPT	10.0' -3C	1.0000	m	6,510	6,510	9,017	9,017	9,280	0.5500	3,580	3,580	
8	1A220150	エコ・ケーブル EM-FPT	15.0' -3C	1.0000	m	9,420	9,420	13,037	13,037	14,300	0.5500	5,181	5,181	
9	1A220160	エコ・ケーブル EM-FPT	20.0' -3C	1.0000	m	12,500	12,500	17,296	17,296	18,000	0.5500	6,875	6,875	
10	1A220170	エコ・ケーブル EM-FPT	25.0' -3C	1.0000	m	15,720	15,720	21,746	21,746	23,000	0.5500	8,646	8,646	
11	1A220180	エコ・ケーブル EM-FPT	32.5' -3C	1.0000	m	20,720	20,720	28,686	28,686	27,900	0.5500	11,396	11,396	
計						76,940	76,940	105,749	105,749	108,760		42,314	42,314	

神戸市

※1社用・3社まで用・6社まで用の各様式があります(上の例は3社まで用)。

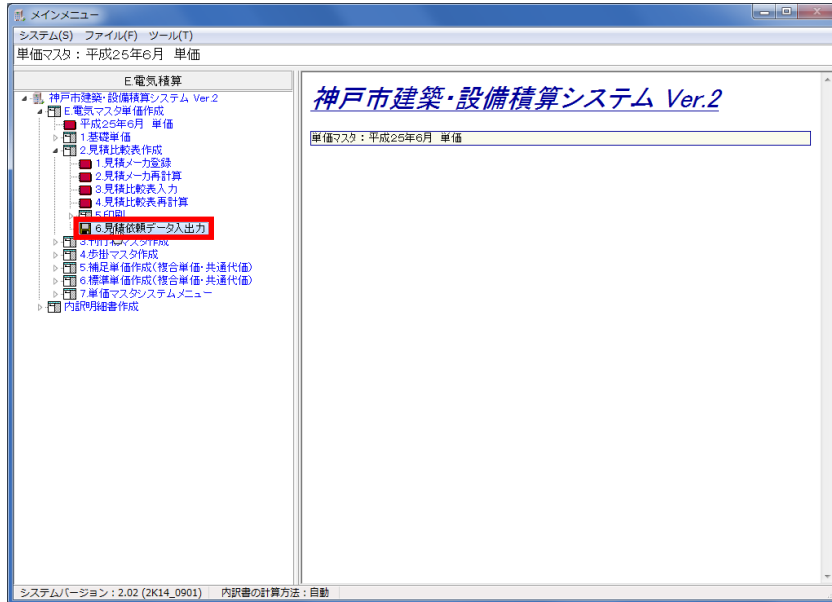
※見積メーカが6社を超える場合は、6社まで用の様式で出力の上、7社目以降が次のページにまたがって出力されます。

※色の付いている単価が採用単価です。「*」表示は、見積単価が0円であったもので、その基礎単価コード中で最安値の見積単価が表示されます。

G. 見積依頼データ入出力方法

(1) 見積依頼データ入出力画面の表示

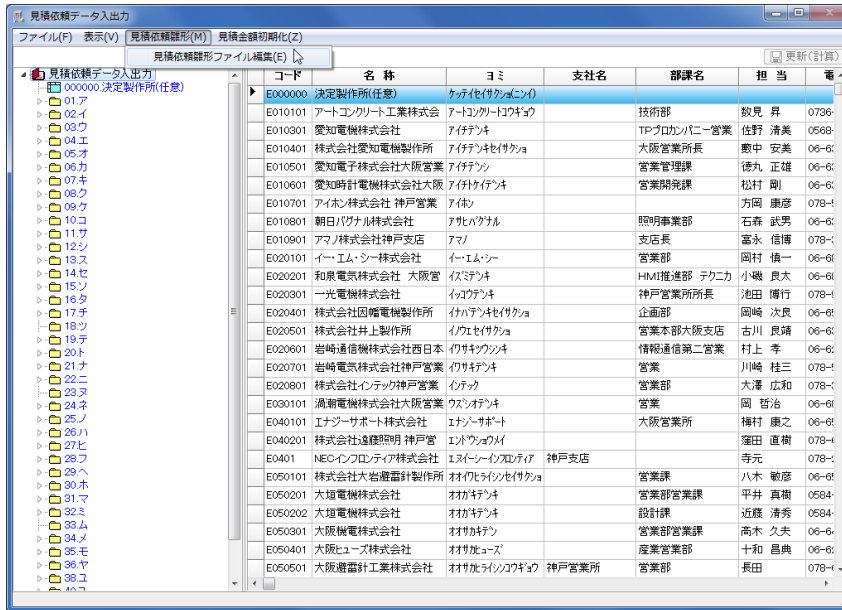
- ①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[2. 見積比較表作成]→[6. 見積依頼データ入出力]をダブルクリックすると、見積依頼データ入出力画面が表示されます。



コード	名称	ヨミ	支社名	部署名	担当	電
E000000	決定製作所(任意)	ケチセ(ケチセコン)				
E010101	アートコンクリート工業株式会社	アートコンクリート工業		技術部	数見 昇	0736-
E010301	愛知電機株式会社	アイチデンキ		TPプロカバ二ー営業	佐野 清美	0568-
E010401	株式会社愛知電機製作所	アイチデンキセイクジョ		大阪営業所長	藤中 安美	06-6-
E010501	愛知電子株式会社大阪営業	アイチデンキ		営業管理課	徳丸 正雄	06-6-
E010601	愛知時計電機株式会社大阪	アイチケイデンキ		営業開発課	松村 剛	06-6-
E010701	アイホン株式会社 神戸営業	アイホン			方岡 康彦	078-1-
E010801	朝日バグナル株式会社	アサヒバグナル		照明事業部	石森 武男	06-6-
E010901	アマノ株式会社神戸支店	アマノ		支店長	富永 信博	078-1-
E020101	イー・エム・シー株式会社	イー・エム・シー		営業部	岡村 慎一	06-6-
E020201	和泉電機株式会社 大阪営業	イズミデンキ		HMI推進部 デリコ	小嶋 良太	06-6-
E020301	一光電機株式会社	イチクワデンキ		神戸営業所所長	池田 博行	078-1-
E020401	株式会社国産電機製作所	クニクニデンキセイクジョ		企画部	岡崎 次良	06-6-
E020501	株式会社上製製作所	ウエサエイクジョ		営業本部大阪支店	古川 良晴	06-6-
E020601	岩崎通信機株式会社西日本	イワサキデンキ		情報通信第二営業	村上 幸	06-6-
E020701	岩崎電機株式会社神戸営業	イワサキデンキ		営業	川崎 桂三	078-1-
E020801	株式会社心テック神戸営業	ココテック		営業部	大澤 広和	078-1-
E030101	湧新電機株式会社大阪営業	ウシノデンキ		営業	岡 哲治	06-6-
E040101	エナジーサポート株式会社	エナジーサポート		大阪営業所	梅村 康之	06-6-
E040201	株式会社遠藤照明 神戸営業	エドフョウメイ			窪田 直樹	078-1-
E0401	NECインフロンティア株式会社	エヌシーインフロンティア	神戸支店		寺元	078-1-
E050101	株式会社大岩電機製作所	オオイワデンキセイクジョ		営業課	八木 敏彦	06-6-
E050201	大垣電機株式会社	オオカキデンキ		営業部営業課	平井 真樹	0584-
E050202	大垣電機株式会社	オオカキデンキ		設計課	近藤 清秀	0584-
E050301	大阪電機株式会社	オオサカデンキ		営業部営業課	高木 久夫	06-6-
E050401	大阪ヒューズ株式会社	オオサカヒューズ		産産営業部	十和 昌典	06-6-
E050501	大阪電機工業株式会社	オオサカデンキコウギョ	神戸営業所	営業部	長田	078-1-

(2) 見積依頼雛形ファイルの編集

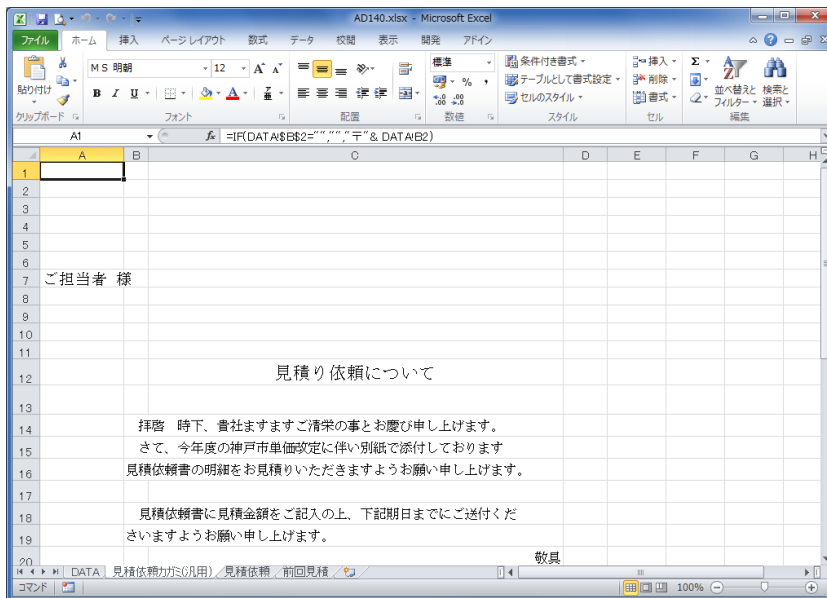
① [見積依頼雛型(M)] → 「見積依頼雛形ファイル編集(E)」をクリックして下さい。



② 起動した Excel 画面で、見積依頼雛形ファイルを編集して下さい。

※編集時は見積依頼データ入出力画面を操作できません。

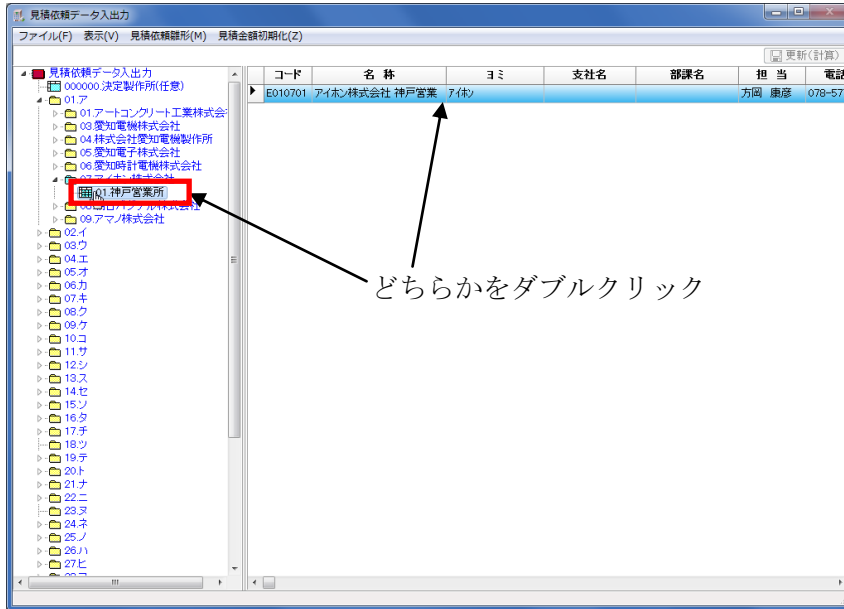
※[DATA]シートの値を参照する数式が入力されているセルがありますので、誤って変更をしないように注意して下さい。



(3) 見積依頼データの出力（エクスポート）

①出力を行いたい見積グループのシートを選択し、ダブルクリックすると、画面右側の見積グループ一覧リスト表示部が見積依頼データ入出力表示に切り替わります。

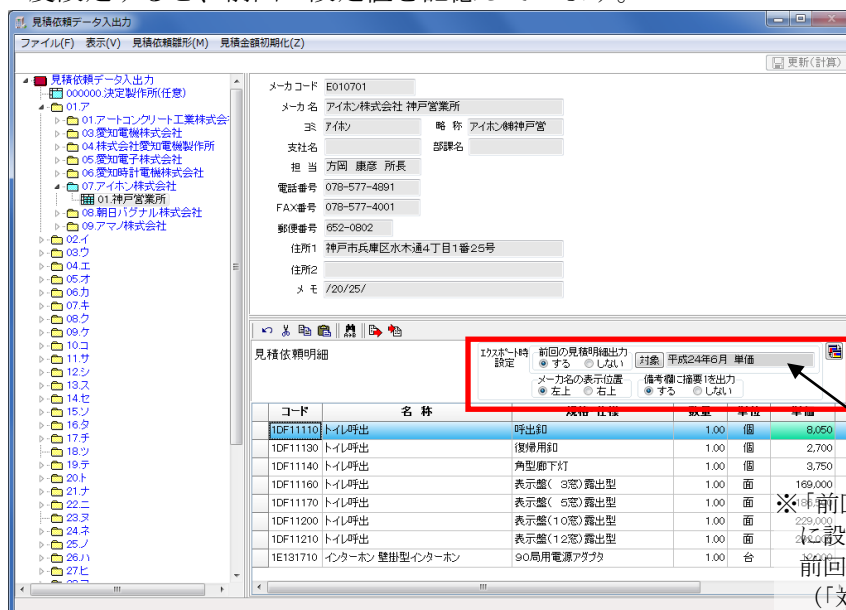
(見積グループ一覧リスト表示部の、編集を行いたい行をダブルクリックしても同様の処理となります)



②エクスポート時設定の各種項目を設定して下さい。

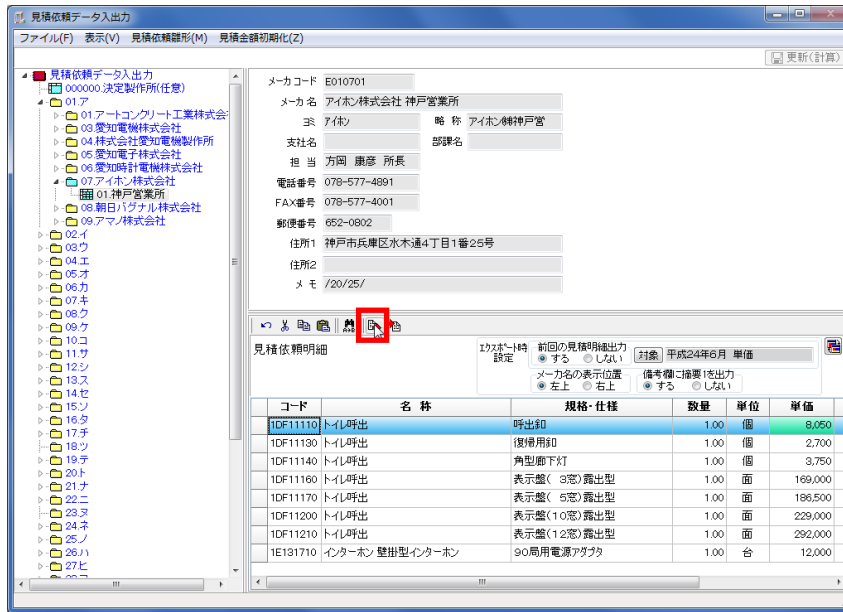
- ・「前回の見積明細出力」を「する」に設定した場合、「前回見積」シートに前回見積結果を出力します。
- ・「メーカー名の表示位置」は、印刷時のメーカー名の表示位置を設定します。
- ・「備考欄に摘要1を出力する」を「する」に設定した場合、摘要1に入力されている内容が備考欄に出力されます。

※一度設定すると、前回の設定値を記憶しています。

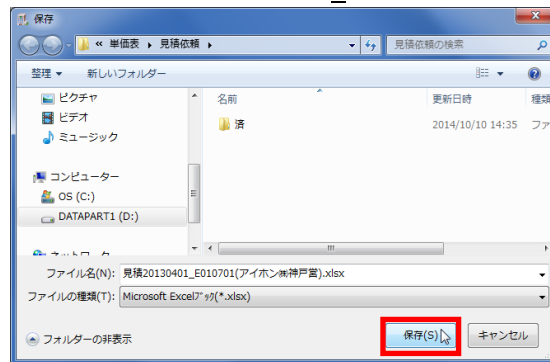


※「前回の見積明細出力」を「する」に設定した時に出力対象とする
前回単価を表示する項目
(「対象」ボタンで選択する)

③ 「エクスポート」 ボタンをクリックして下さい。

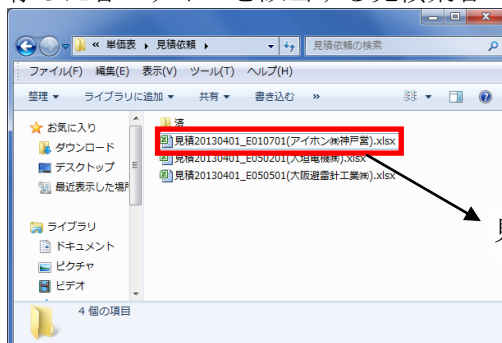


④ 保存先、ファイル名を設定し、「保存(S)」ボタンをクリックして下さい。



※リムーバブルメディア等にデータをコピーする際は、必ず一旦ハードディスク上に保存してからリムーバブルメディア等にコピーして下さい。

⑤ ④で保存した各ファイルを該当する見積業者へ渡し、見積単価の入力を依頼して下さい。



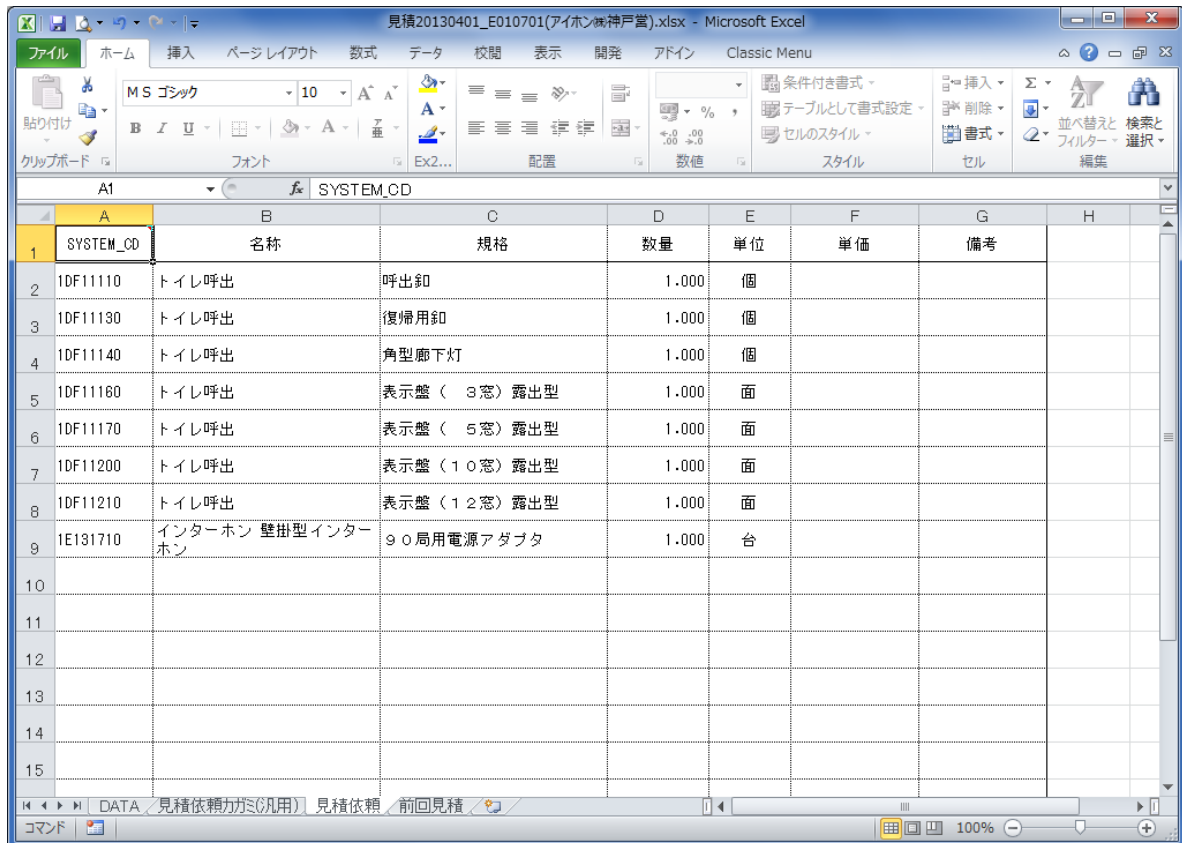
見積業者へ渡して見積単価を入力してもらう

※保存先のフォルダーは、前回保存したフォルダーを記憶しています。

(初回は昨年度保存したフォルダーを記憶していますので、変更が必要な場合は変更して下さい。)

※ファイル名の規定値は、「見積[本日の日付]_[グループコード(グループ名)].xlsx」となります。

見積依頼 Excel データ



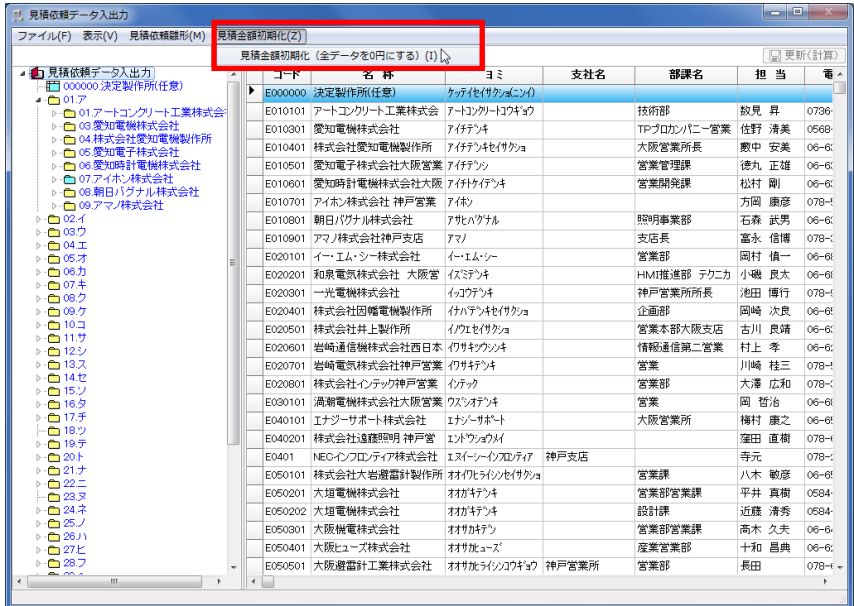
	A	B	C	D	E	F	G	H
	SYSTEM_CD	名称	規格	数量	単位	単価	備考	
1								
2	1DF11110	トイレ呼出	呼出釦	1.000	個			
3	1DF11130	トイレ呼出	復帰用釦	1.000	個			
4	1DF11140	トイレ呼出	角型廊下灯	1.000	個			
5	1DF11160	トイレ呼出	表示盤(3窓)露出型	1.000	面			
6	1DF11170	トイレ呼出	表示盤(5窓)露出型	1.000	面			
7	1DF11200	トイレ呼出	表示盤(10窓)露出型	1.000	面			
8	1DF11210	トイレ呼出	表示盤(12窓)露出型	1.000	面			
9	1E131710	インターホン 壁掛型インターホン	90局用電源アダプタ	1.000	台			
10								
11								
12								
13								
14								
15								

※Excelにて行を追加・削除したり、SYSTEM_CD(基礎単価コード)欄を変更したりしないで下さい。

(4) 見積依頼データの取り込み (インポート)

①今年度の見積依頼データ 1社目を取り込む前に、一回だけ「見積金額初期化(Z)」→「見積金額初期化 (全データを0円にする)」をクリックして下さい。

※忘れた場合、昨年度の見積単価が残るので注意が必要です。

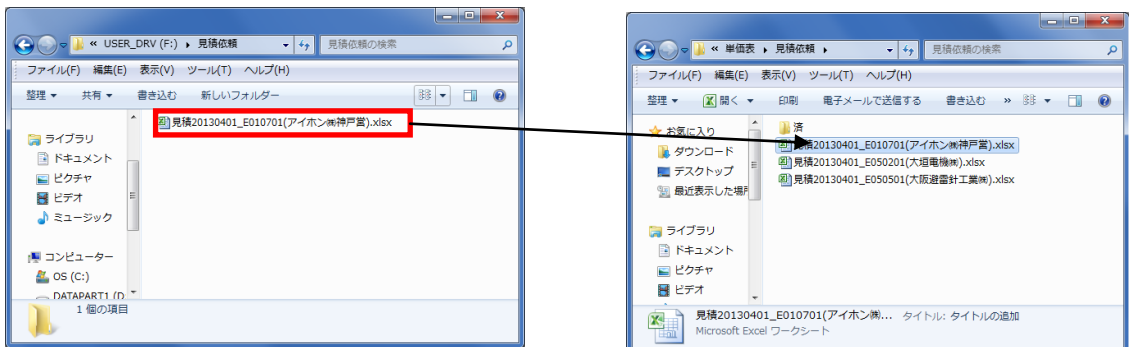


②見積結果がデータ入力されていないメーカ (見積書を書面で提出された場合等) は、見積依頼データをエクスポートした Excel ファイルに見積結果を予め入力しておいて下さい。

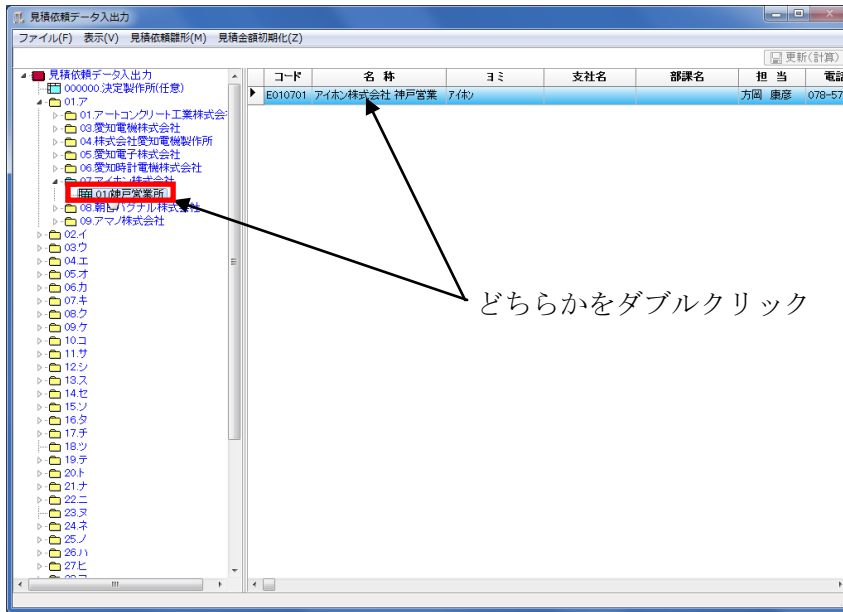
※見積依頼データ入出力画面の「単価」欄に直接入力して保存することも可能ですが、Excel ファイルで入力する方が、作業が容易かと思われます。



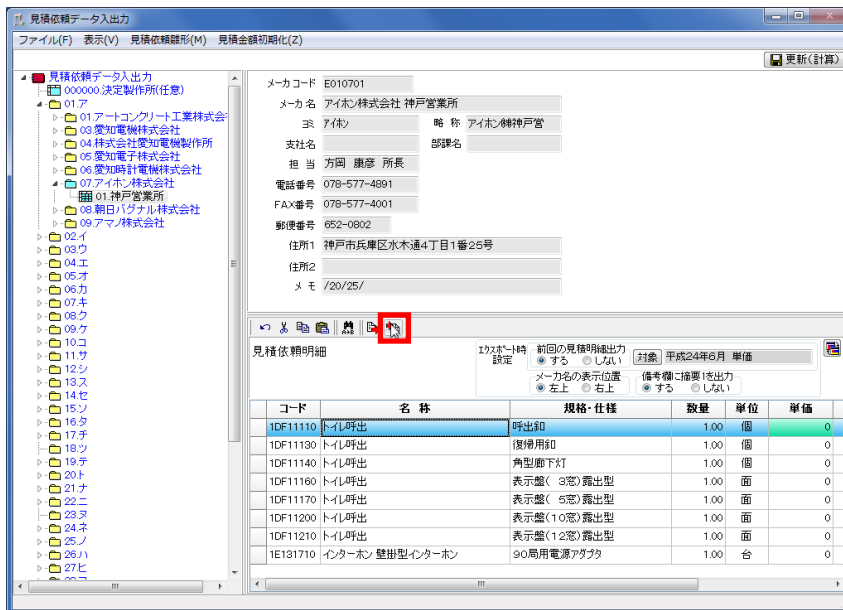
③見積依頼単価情報が保存された Excel データがリムーバブルメディア等にある場合は、予めハードディスクの所定のフォルダーにコピーして下さい (エクスポートしたファイル (P87 参照) に上書きコピーして下さい)。



④取り込みを行うグループを選択し、ダブルクリックして下さい。

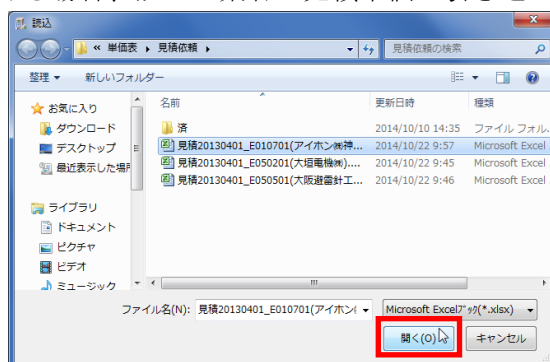


⑤[インポート]ボタンをクリックして下さい。



⑥取り込む見積依頼データを選択し、「開く(O)」ボタンをクリックして下さい。

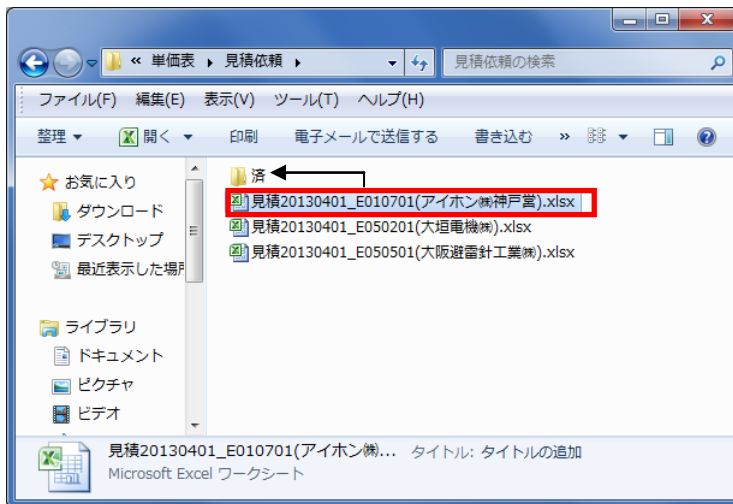
※誤って意図しない業者を選択すると、見積りを依頼した基礎単価コードと同じ単価コードのものがある場合、誤った業者の見積単価が引き込まれますので注意して下さい。



⑦今年度の見積単価が引き込まれたことを確認し、「更新（計算）」ボタンをクリックして下さい。



⑧取り込み漏れを防ぐため、取り込み済みのデータは、「済」フォルダーに移動して下さい。



⑨全てのメーカーの見積依頼データを取り込むまで、③の手順から繰り返して下さい。

⑩基礎単価を再計算して下さい (P41 参照)。

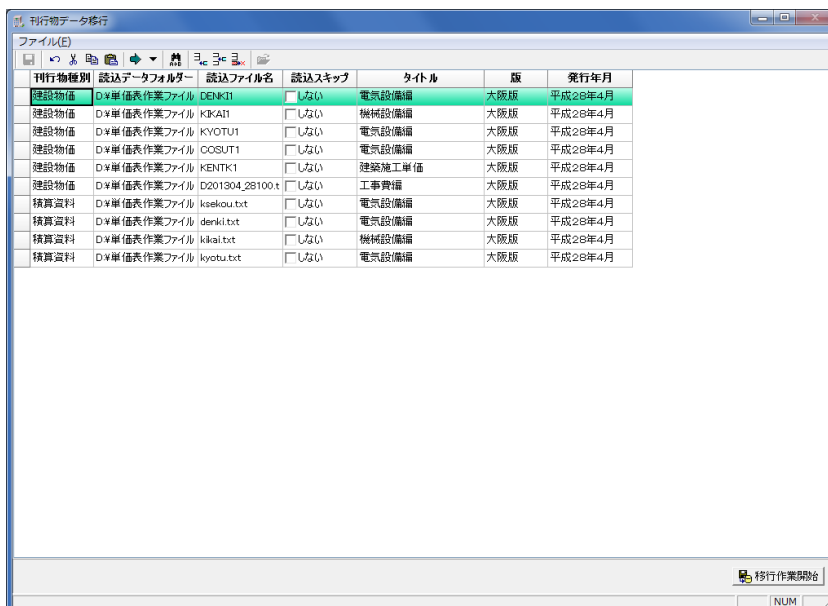
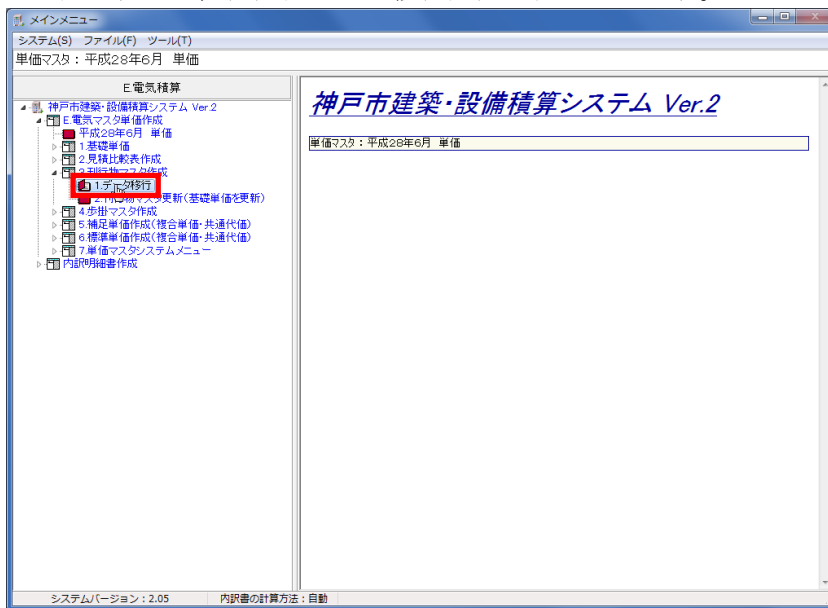
§ 7. 刊行物マスタ

A. データ移行

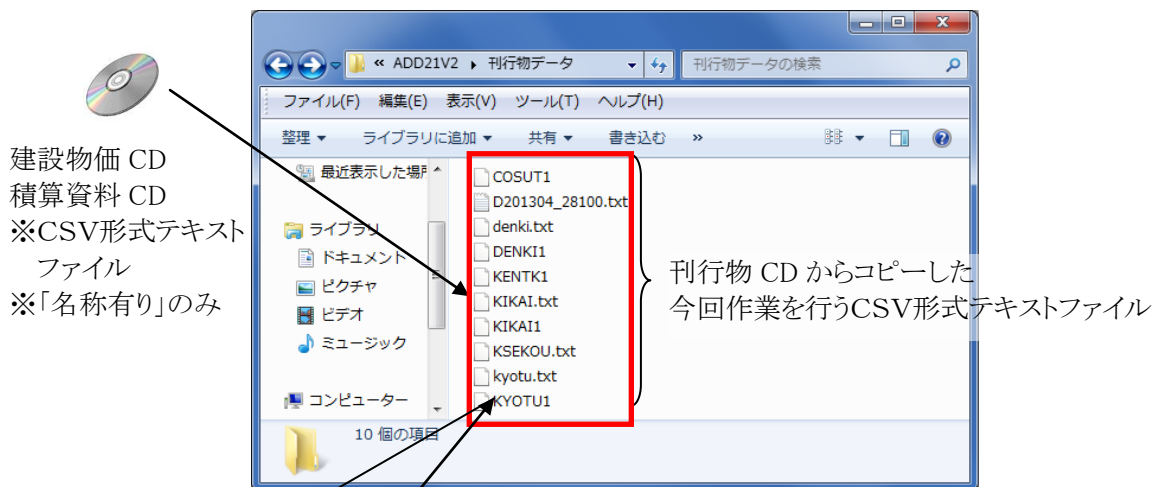
※刊行物データ（「建設物価」及び「積算資料」）CSV形式テキストファイル（名称有りのみ）を当システムに読み込みできる形式に変換処理を行います。

（ファイルレイアウト変更前の平成27年（2015年）9月単価作成分までは、固定長テキストファイル（名称有り・無し）にて変換処理をしていましたが、平成27年（2015年）10月単価以降はCSV形式テキストファイル（名称有りのみ）にて変換処理する仕様に変更となりました。）

①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[3. 刊行物マスタ作成]→[1. データ移行]をダブルクリックすると、刊行物データ移行画面が表示されます。

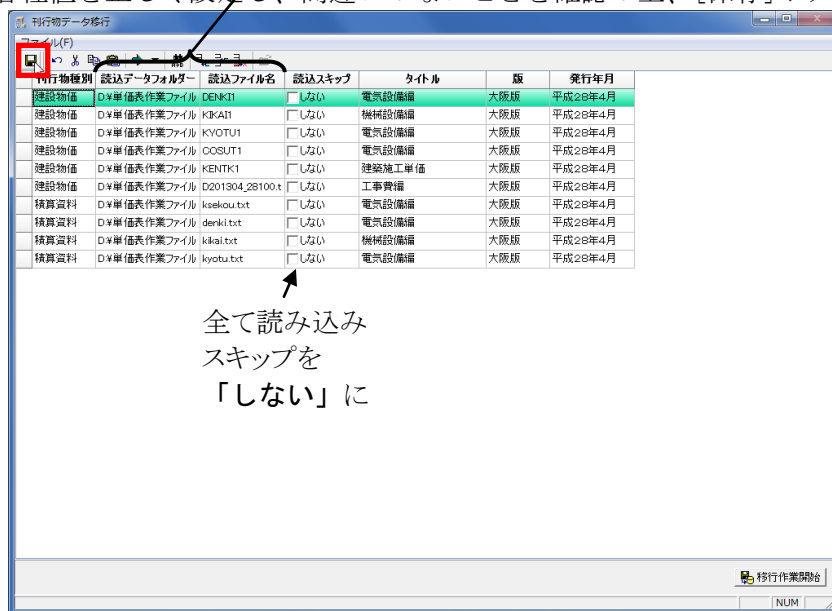


②刊行物データ CD から、読込データフォルダーにコピーして下さい。



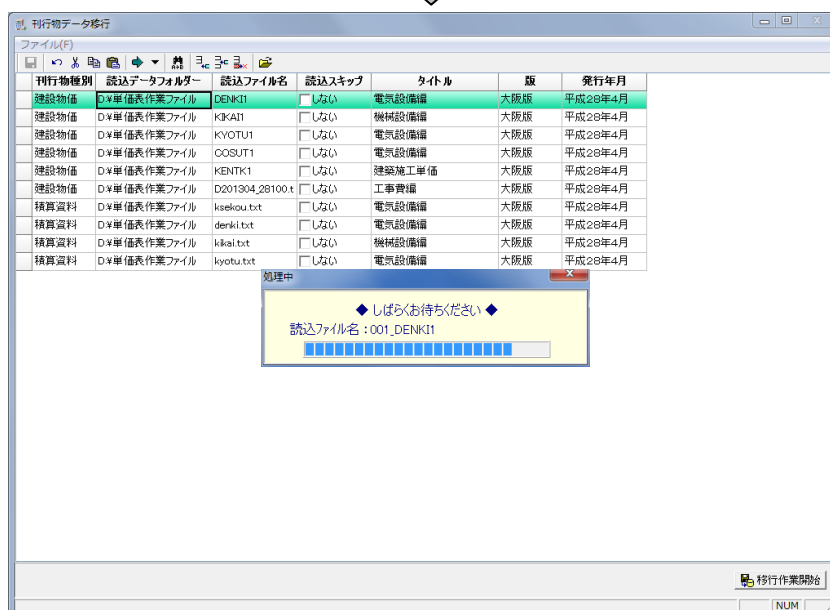
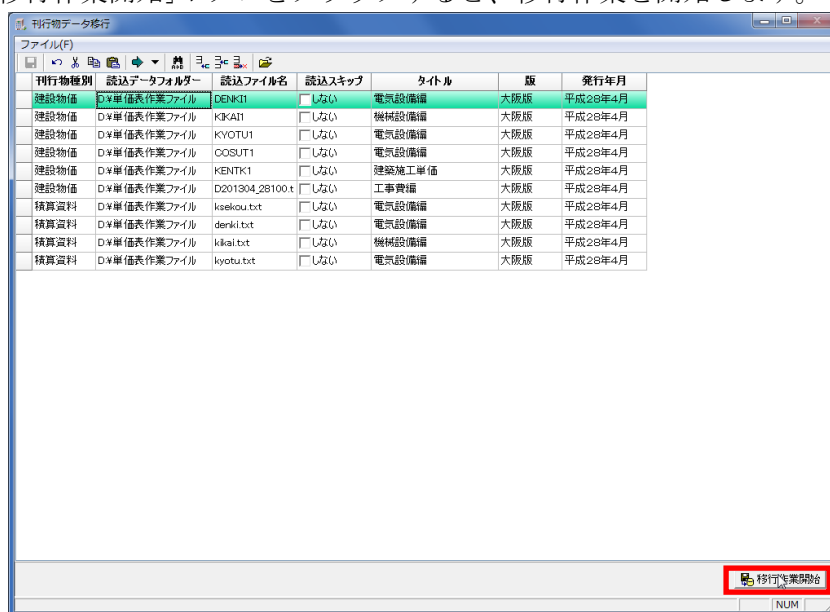
このフォルダーに保存
してあるCSV形式
テキストファイルを
刊行物マスタに移行する

③各種値を正しく設定し、間違いのないことを確認の上、[保存]ボタンをクリックして下さい。



※ファイル数の増減やファイル名が変更されることがありますので、変更があった際はその都度適切な値を設定して下さい。

④[移行作業開始]ボタンをクリックすると、移行作業を開始します。

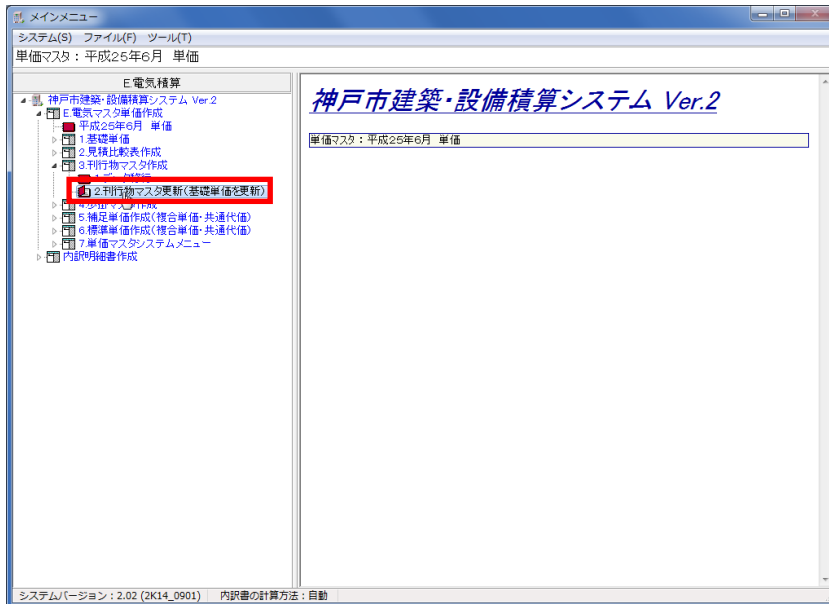


⑤移行作業が完了すると、刊行物データ移行画面が自動的に閉じ、メインメニューが表示されます。

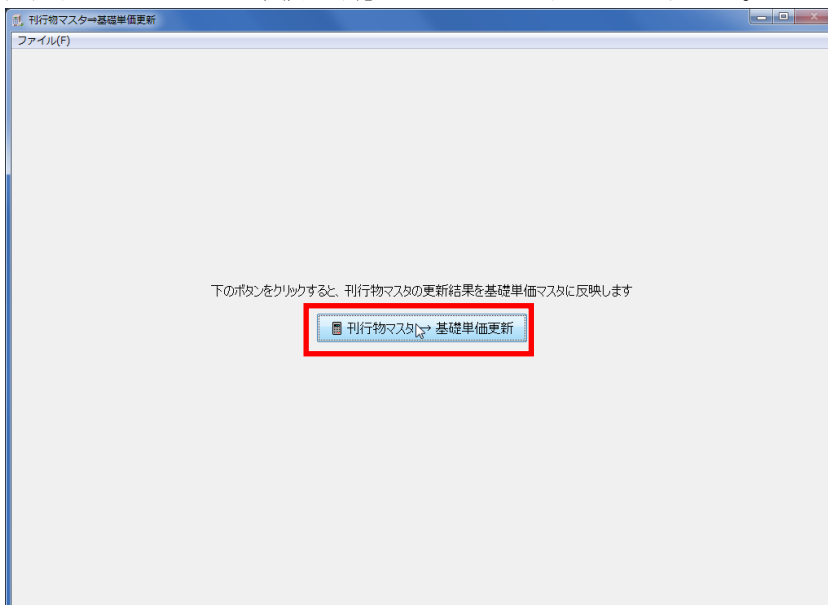
B. 刊行物マスタ更新（基礎単価を更新）

※刊行物マスタの刊行物単価コードが入力されている基礎単価に対して、更新処理を行います。

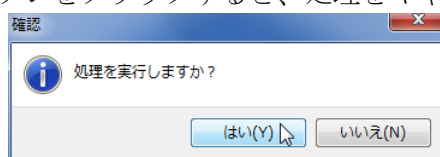
- ①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[3. 刊行物マスタ作成]→[2. 刊行物マスタ更新（基礎単価を更新）]をダブルクリックすると、刊行物マスタ→基礎単価更新画面が表示されます。



- ②[刊行物マスタ→基礎単価更新]ボタンをクリックして下さい。



- ③[はい(Y)]ボタンをクリックすると、基礎単価マスタに値が反映されます。
[いいえ(N)]ボタンをクリックすると、処理をキャンセルします。



- ④作業が完了すると、刊行物データ移行画面が自動的に閉じ、メインメニューが表示されます。

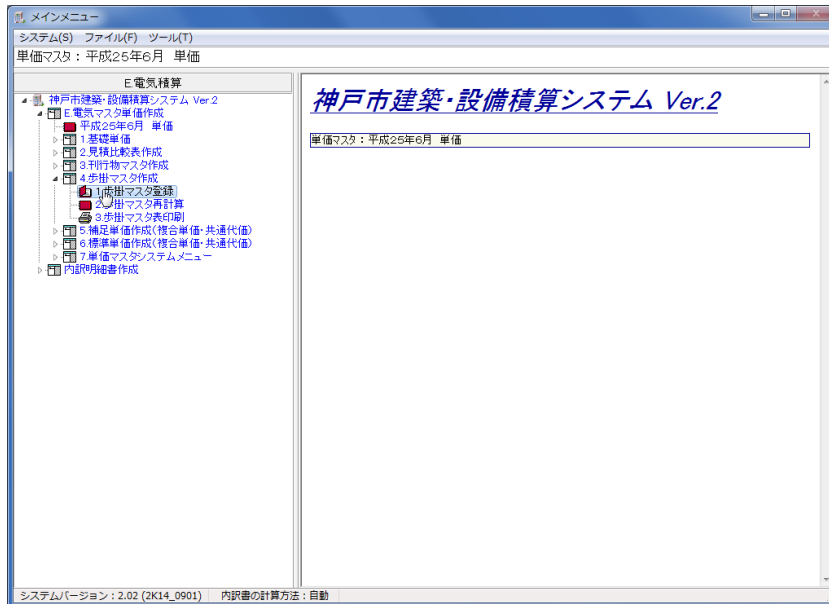
- ⑤基礎単価を再計算して下さい（P41 参照）。

§ 8. 歩掛マスタ

A. 歩掛マスタ登録

1. 歩掛マスタ登録画面の表示

①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[4. 歩掛マスタ作成]→[1. 歩掛マスタ登録]をダブルクリックすると、歩掛マスタ登録画面が表示されます。



コード	名称	規格	歩掛計算式	労務単価	労務単価名帳1
111	6kV EM-CE, CV (1C)		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
111	6kV EM-CE, CV (3C)		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
112	端末処理(1C)		03 電気(その他)	1KAAA000	労務費(電工)
112	端末処理(3C)		03 電気(その他)	1KAAA000	労務費(電工)
112	端末処理(衝場3C)		03 電気(その他)	1KAAA000	労務費(電工)
113	6,600V EM-FP-C,		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
113	6,600V EM-FP-C,		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
121	EM-E, IV		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
122	EM-EEF, VVF 2芯(管)		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
123	EM-EEF, VVF 3芯(管)		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
124	EM-EEF, VVF 4芯(管)		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
125	EM-CE, CV(1C)		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
125	EM-CE, CV(2C)		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
125	EM-CE, CV(3C)		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
125	EM-CE, CV(4C)		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
126	EM-FP-C, NH-FP-C,		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
126	EM-FP-C, NH-FP-C,		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
126	EM-FP-C, NH-FP-C,		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
126	EM-FP-C, NH-FP-C,		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
131	EM-CEE, EM-CEE-S,		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
131	EM-CEE, EM-CEE-S,		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
131	EM-CEE, EM-CEE-S,		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
131	EM-CEE, EM-CEE-S,		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
132	EM-TIEF, EM-TIEE, TIEF,		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
133	EM-TIEF, EM-TIEE, TIEF,		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)
134	EM-EBT, EM-BTEE,		01 電気(配線)	1KAAA000	労務費(電工)

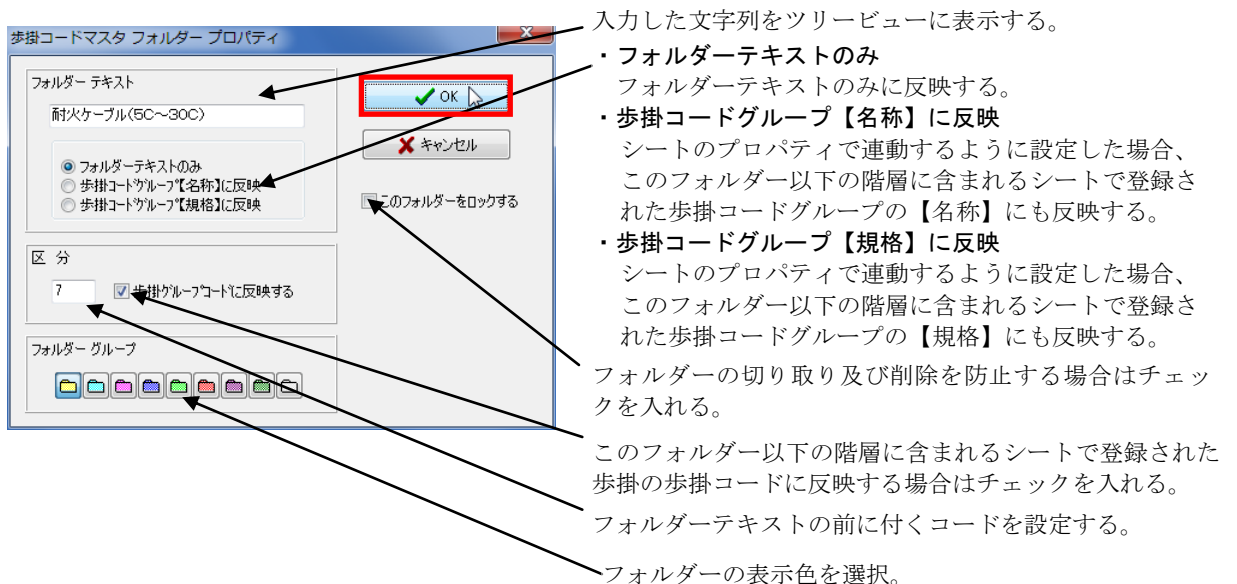
2. 新規歩掛の登録・削除及びフォルダー・シートプロパティの設定

(1) フォルダーの新規作成

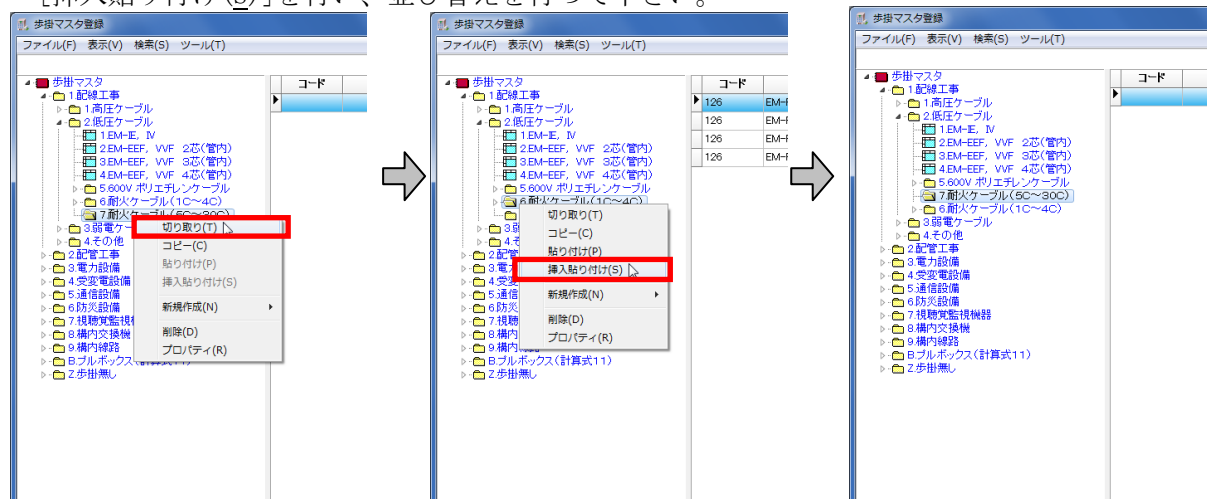
- ① フォルダーを追加したいフォルダーを選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[フォルダー(F)]をクリックして下さい。



- ② 各種項目を設定して下さい。設定が完了したら、「OK」ボタンをクリックして下さい。



規作成時は必ず階層中の並びの一番下に作成されますので、順番を並び替える必要があれば、右クリック→[切り取り(T)]→挿入後に一つ下にしたいフォルダーを選択→右クリック→[挿入貼り付け(S)]を行い、並び替えを行って下さい。

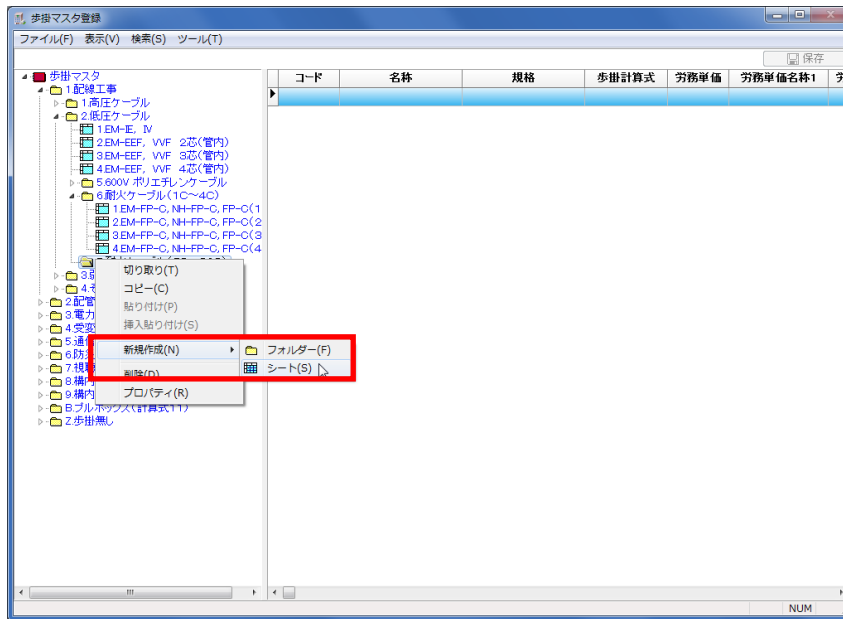


(2) 歩掛シートの新規作成 (新たな歩掛シートを作成)

①新規作成したい場所のフォルダー又はシートを選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[シート(S)]をクリックして下さい。

※右クリック時にフォルダーを選択している場合、そのフォルダー階層の一番下に新規歩掛シートが作成されます。

※右クリック時に歩掛シートを選択している場合、その歩掛シートの一つ前の並びに新規歩掛シートが作成されます。



②各種項目を設定して下さい。設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして下さい。

入力した文字列をツリービューに表示する。

任意コードを歩掛グループコードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

シートテキストの前に付くコードを設定する。

シートテキストのみの場合、このシートをロックする

名称、規格の連動

・シートテキストのみ
シートテキストのみに反映する。

・歩掛コードグループ【名称】に反映
名称、規格・仕様・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された歩掛コードグループの【名称】にも反映する。

・歩掛コードグループ【規格・仕様】に反映
名称、規格・仕様・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された歩掛コードグループの【規格・仕様】にも反映する。

③歩掛の各種項目を編集して下さい (P103～参照)。

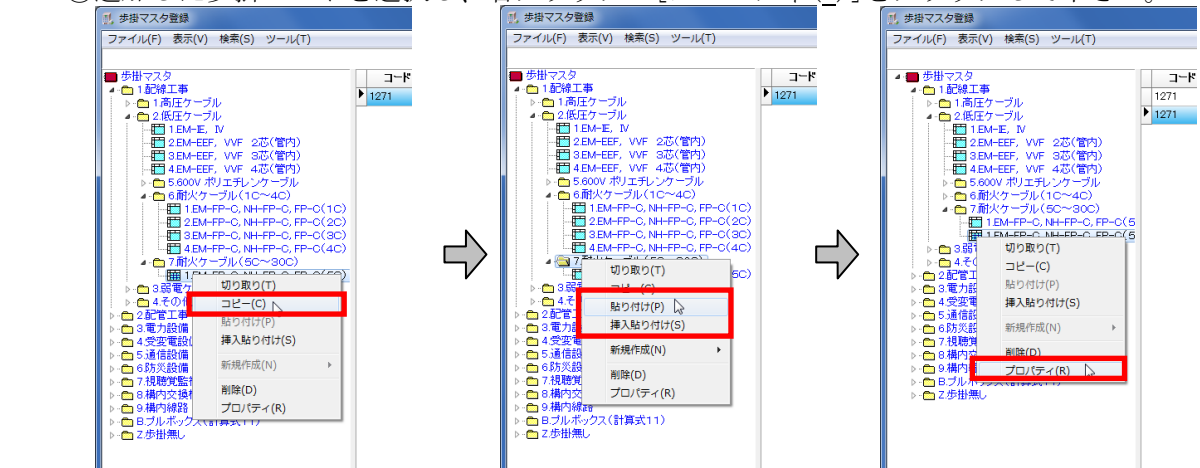
(3) 歩掛シートの新規作成 (既存の歩掛シートの情報を流用する場合)

①情報を流用したいシートを選択し、右クリック→[コピー(C)]→新規作成したい場所のフォルダーを選択し、[貼り付け(P)]をクリックして下さい。

※既存のシートの中に新規シートを挿入したい場合は、右クリック→[コピー(C)]→挿入後に下にしたいシートを選択→右クリック[挿入貼り付け(S)]をクリックして下さい。

このままでは歩掛コードが重複するため、シートプロパティを変更します。

②追加した歩掛シートを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。



③任意コードを変更し、各種項目を設定して下さい。

(任意コードは、必ず、重複しないコードを設定して下さい。)

設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして下さい。

入力した文字列をツリービューに表示する。

任意コードを歩掛グループコードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

シートテキストの前に付くコードを設定する。

シートの切り取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

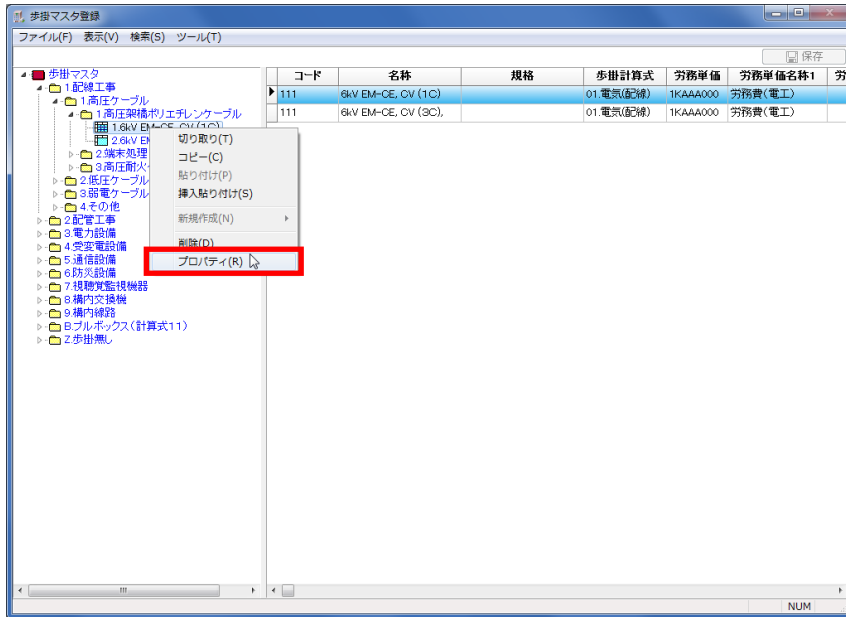
フォルダテキスト・シートテキストの値を、親の階層から順に、名称または規格に自動的に設定する。

- ・ **シートテキストのみ**
シートテキストのみに反映する。
- ・ **歩掛コードグループ【名称】に反映**
名称、規格・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された歩掛コードグループの【名称】にも反映する。
- ・ **歩掛コードグループ【規格・仕様】に反映**
名称、規格・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された歩掛コードグループの【規格・仕様】にも反映する。

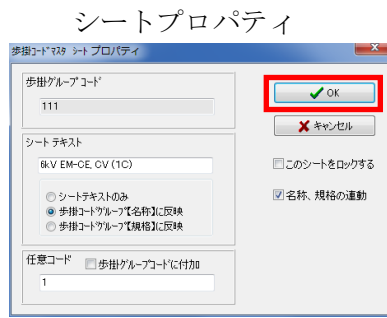
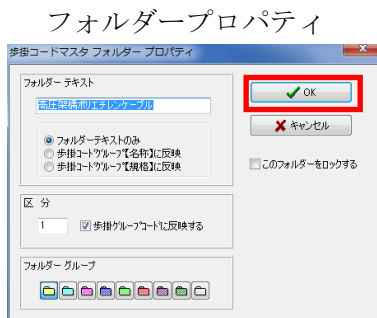
④歩掛の各種項目を編集して下さい (P103～参照)。

(4) フォルダー・シートプロパティの設定

- ①プロパティを設定したいフォルダー又はシートを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。



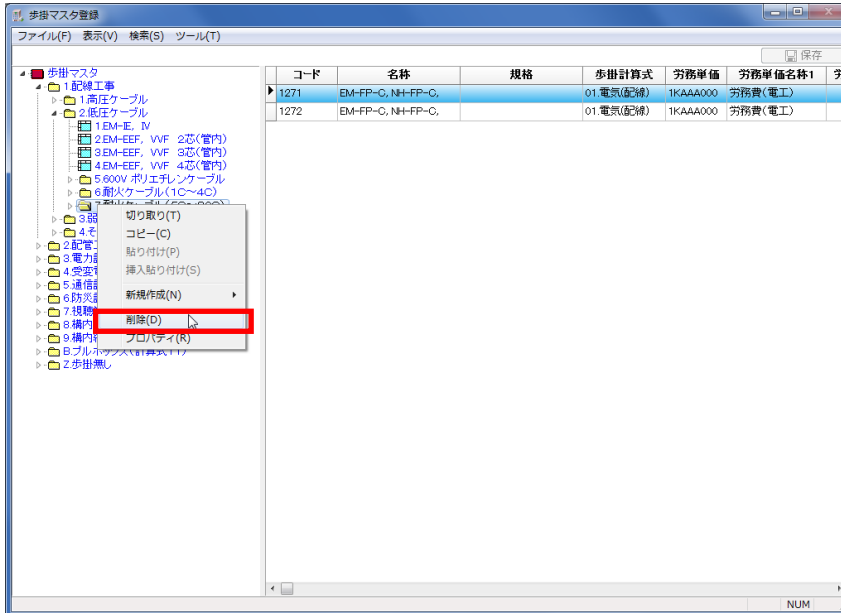
- ②フォルダープロパティ・シートプロパティを設定し、[OK]ボタンをクリックして下さい。
 ※注意点は、本項の「(1) フォルダーの新規作成 (P97)」・「(2) 歩掛シートの新規作成 (P98)」を参照して下さい。



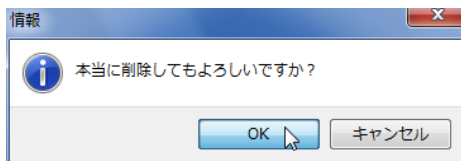
(5) フォルダー・シートの削除

※削除を行うと、元に戻すことはできません。また、補足単価や標準単価（複合単価）に使用している場合は、基礎単価に関する情報が消えますので慎重に行ってください。

①削除したいフォルダー・シートを選択し、右クリック→[削除(D)]をクリックして下さい。

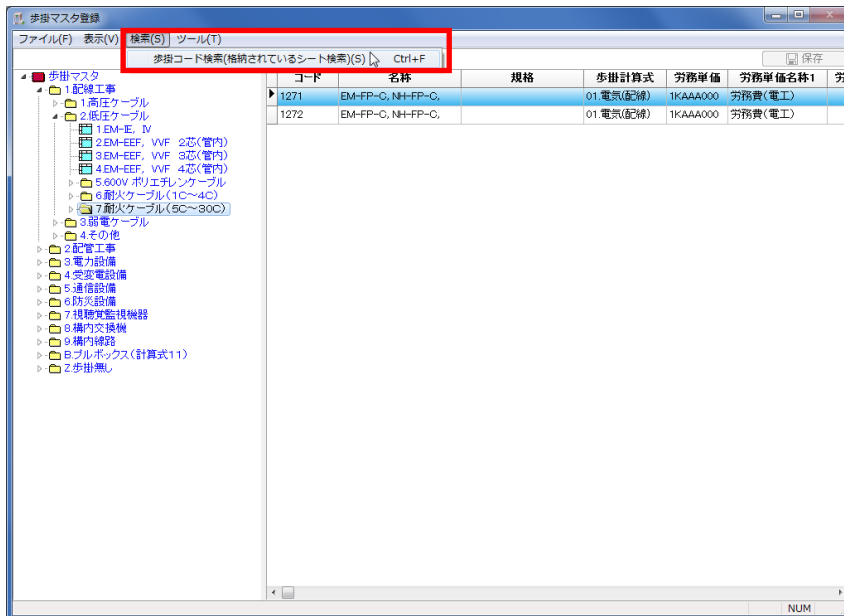


②[OK]ボタンをクリックすると、削除処理が行われます。[キャンセル]ボタンをクリックすると中止します。

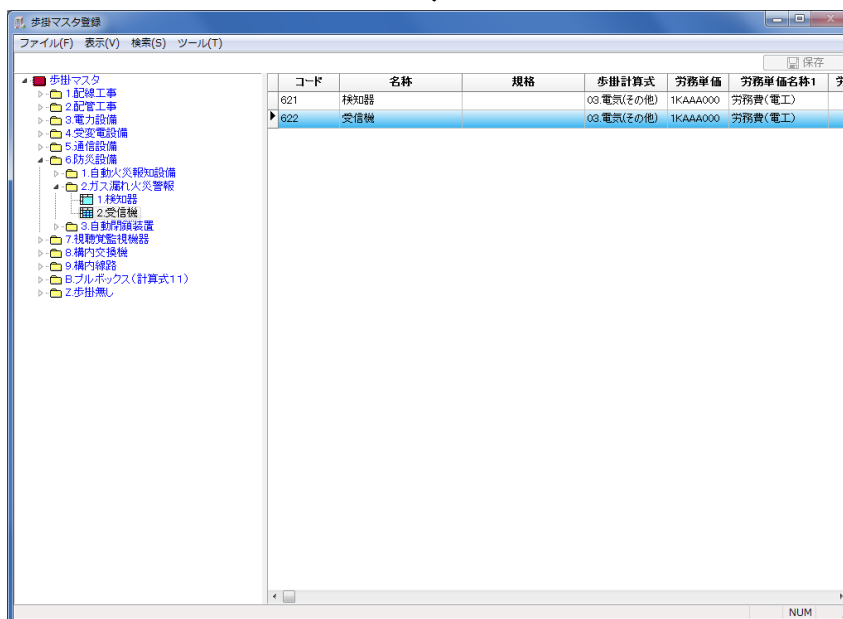
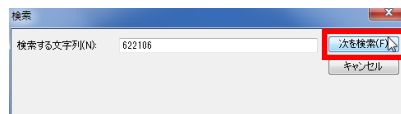


3. 歩掛コードの検索

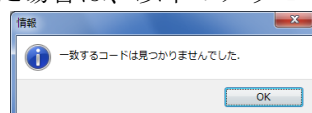
- ① [検索(S)] → [歩掛コード検索 (格納されているシートを検索) (Ctrl+F)] をクリックして下さい。



- ② 検索したい単価コードを入力し、[次を検索(F)] ボタンをクリックして下さい。歩掛マスタに歩掛コードが存在する場合はその歩掛コードを格納されている歩掛シートに移動します。



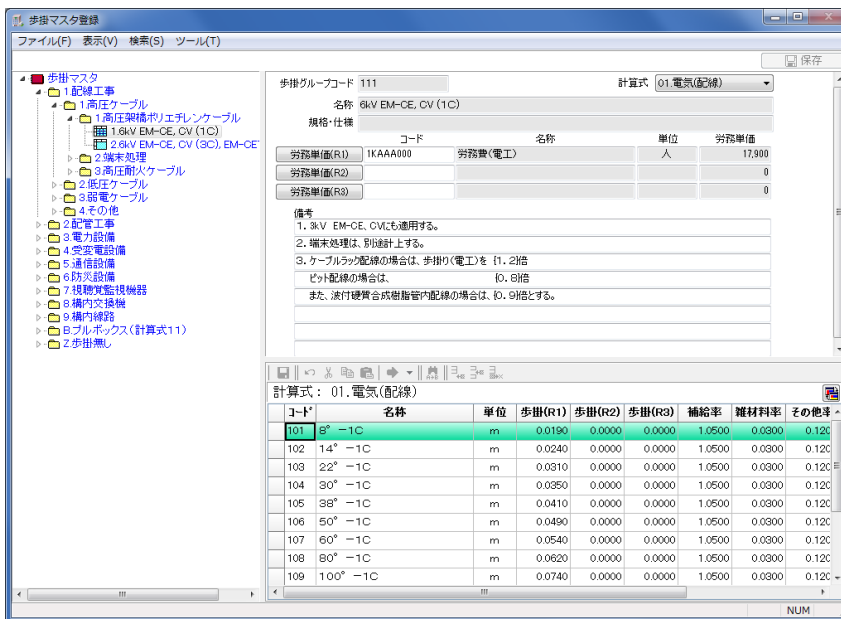
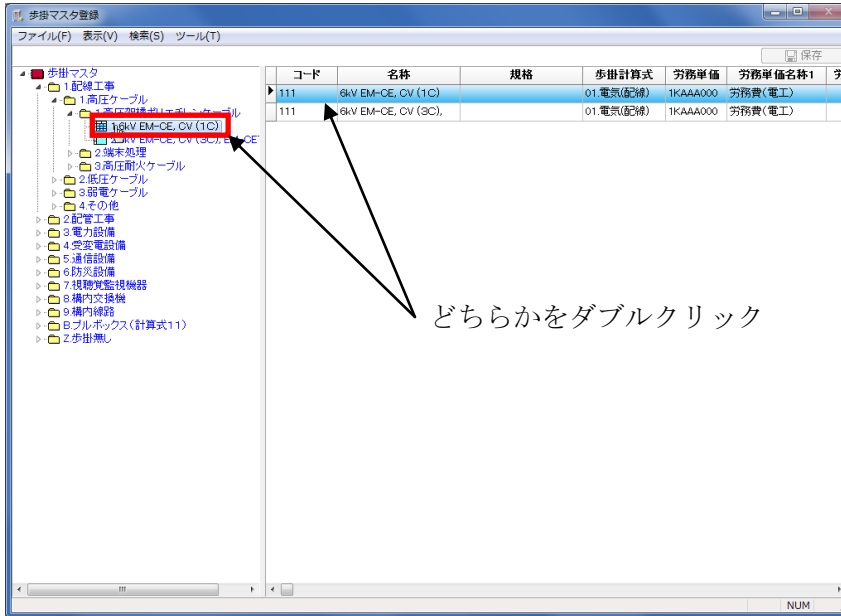
見つからなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



4. 歩掛の各種項目の編集

①編集を行いたい歩掛シートを選択し、ダブルクリックすると、画面右側の歩掛グループリスト表示部が歩掛編集表示に切り替わります。

(歩掛グループリスト表示部の、編集を行いたい行をダブルクリックしても同様の処理となります)



②各種項目を設定し、[更新（計算）]ボタンをクリックして下さい。

The screenshot displays the '歩掛マスタ登録' (Step Rate Master Registration) window. The main window is titled '歩掛マスタ登録' and contains a tree view on the left, a central panel with a '更新' (Update) button highlighted in red, and a table of items at the bottom. The central panel shows the '歩掛グループコード' (Step Rate Group Code) as '111' and the '計算式' (Calculation Formula) as '01.電気(配線)'. The table below shows the following data:

コード	名称	単位	歩
101	8° -1C	m	
102	14° -1C	m	
103	22° -1C	m	
104	30° -1C	m	
105	38° -1C	m	0.0410
106	50° -1C	m	0.0490
107	60° -1C	m	0.0540
108	80° -1C	m	0.0620
109	100° -1C	m	0.0740

The '労働単価選択' (Labor Unit Selection) dialog box is open, showing a list of labor codes and their corresponding unit prices. The dialog box has a table with the following data:

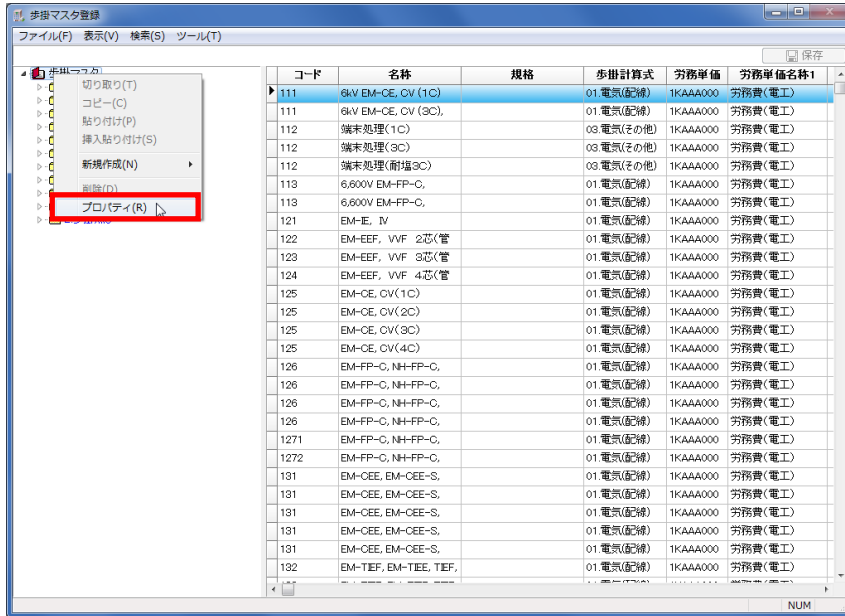
コード	名称	規格・仕様	単位	単価
1KAAA000	労務費(電工)	電工	人	17,900

5. 歩掛マスタ登録画面 その他の機能について

(1) ルートプロパティ

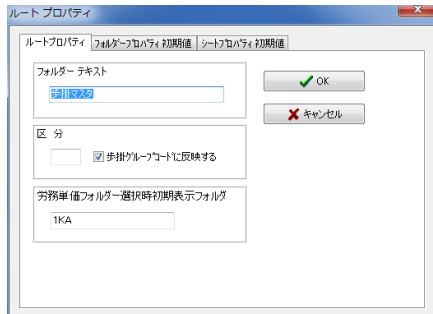
歩掛マスタの基本設定を行います。

- ① ツリービューの一番上にある赤色のフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。

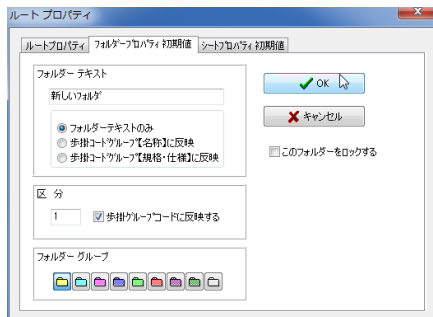


- ② 各種項目を設定の上、[OK]ボタンをクリックして下さい。

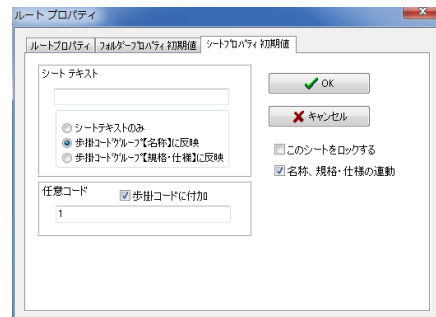
◆ ルートプロパティ (ルートフォルダーのプロパティ及び労務単価の表示設定を行う)



◆ フォルダプロパティ (新規作成時) 初期値



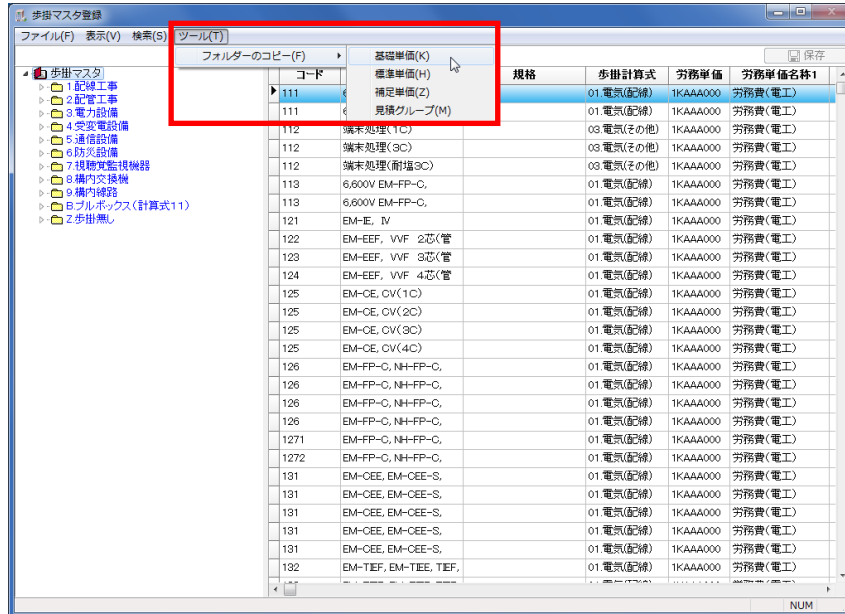
◆ シートプロパティ (新規作成時) 初期値



(2) フォルダのコピー ([ツール(T)]メニュー)

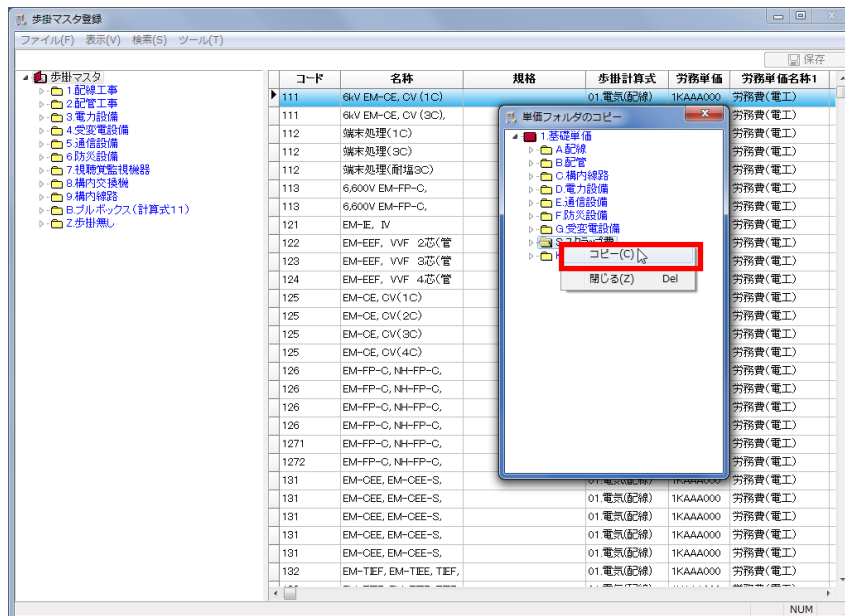
他の単価マスタのフォルダ階層構造 (そのフォルダ階層下に含まれるフォルダを全て) をコピーする機能です (フォルダ階層の中のシートはコピーされません)。

- ① [ツール(T)] → 「フォルダのコピー(F)」 → [フォルダ階層をコピーしたい単価マスタ名] をクリックすると、フォルダ選択画面が表示されます。

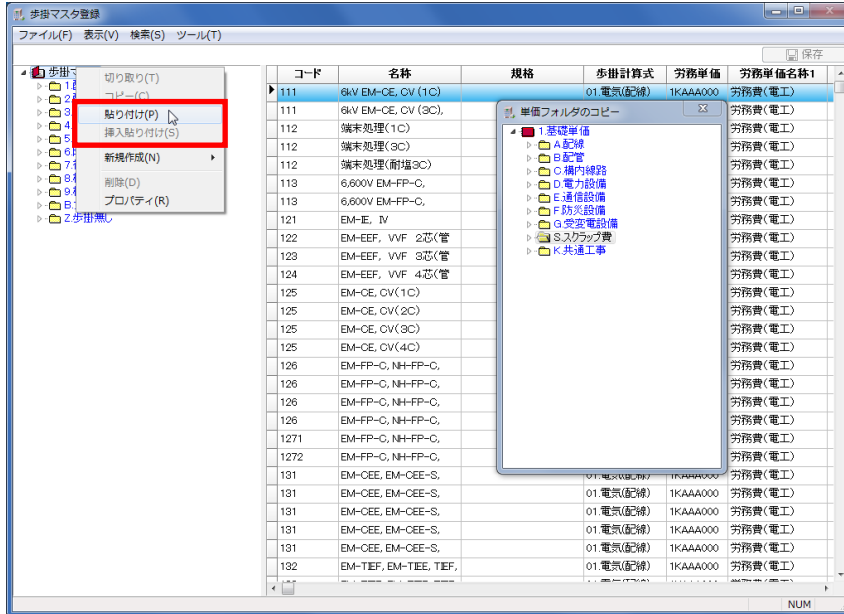


- ② コピーしたいフォルダを選択し、右クリック → [コピー(C)] をクリックして下さい。
(コピーしたフォルダ情報が記憶されます)

※フォルダ選択画面は貼り付け操作を行うまで閉じないで下さい。



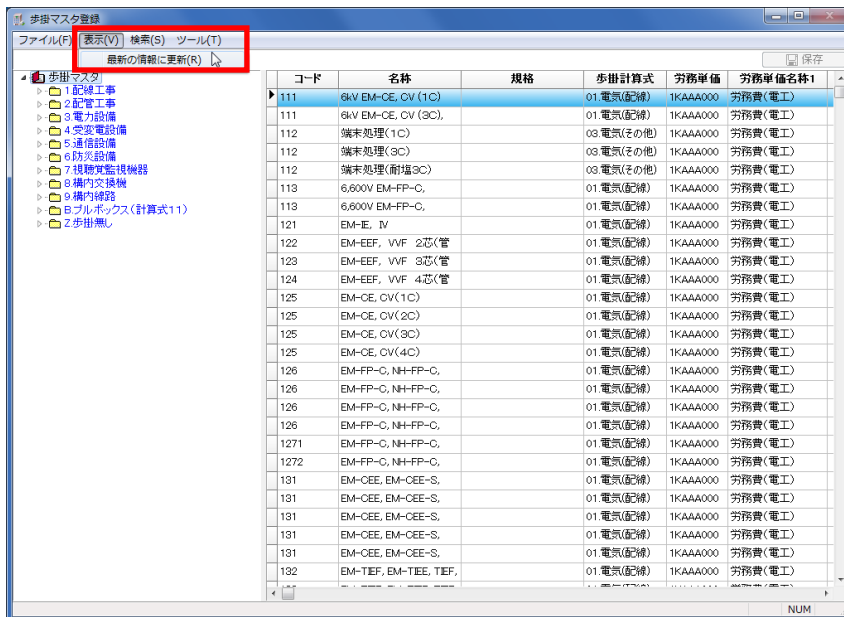
- ③貼り付けを行いたいフォルダー階層を選択し、右クリック→[貼り付け(P)]または[挿入貼り付け(S)]をクリックすると、フォルダー階層の貼り付けが行われます。



(3) 最新の情報に更新 ([表示(V)]メニュー)

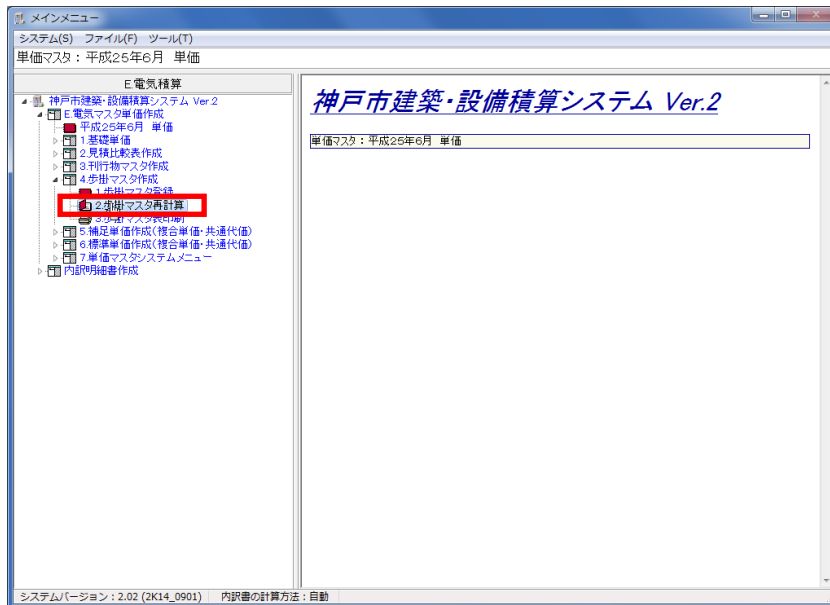
マスターデータベースの内容を再読み込みします (特に使用することはありません)。

- ①[表示(V)]→[最新の情報に更新(R)]をクリックして下さい。

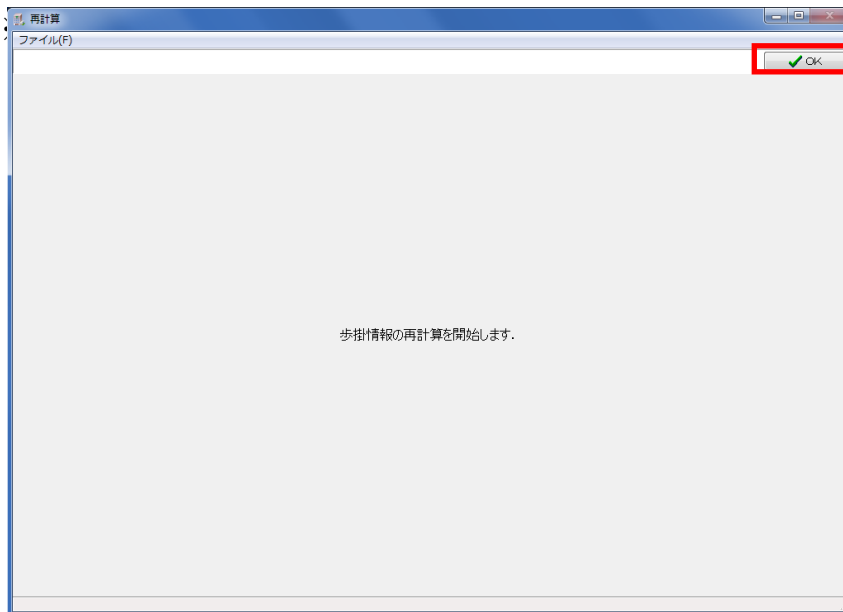


B. 歩掛マスタ再計算

①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[4. 歩掛マスタ作成]→[2. 歩掛マスタ再計算]をダブルクリックすると、歩掛マスタ再計算画面が表示されます。

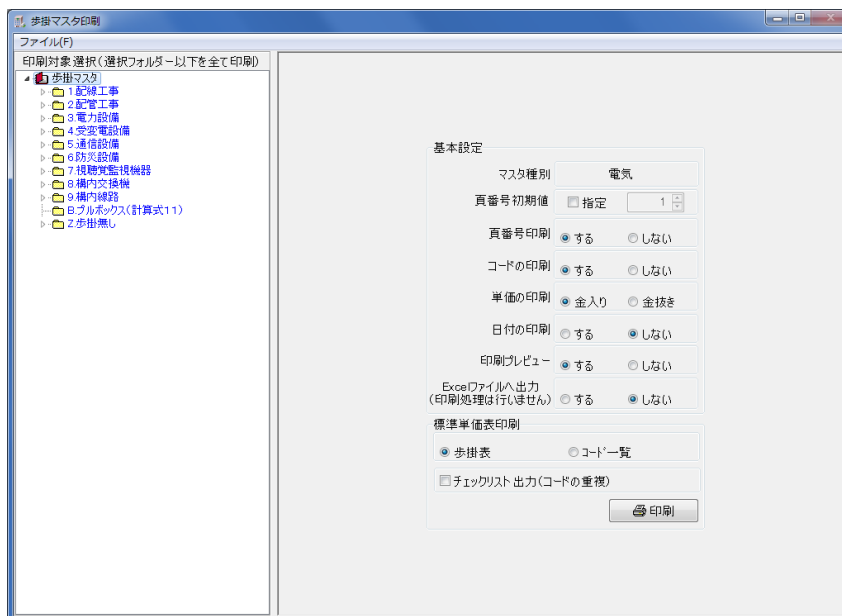
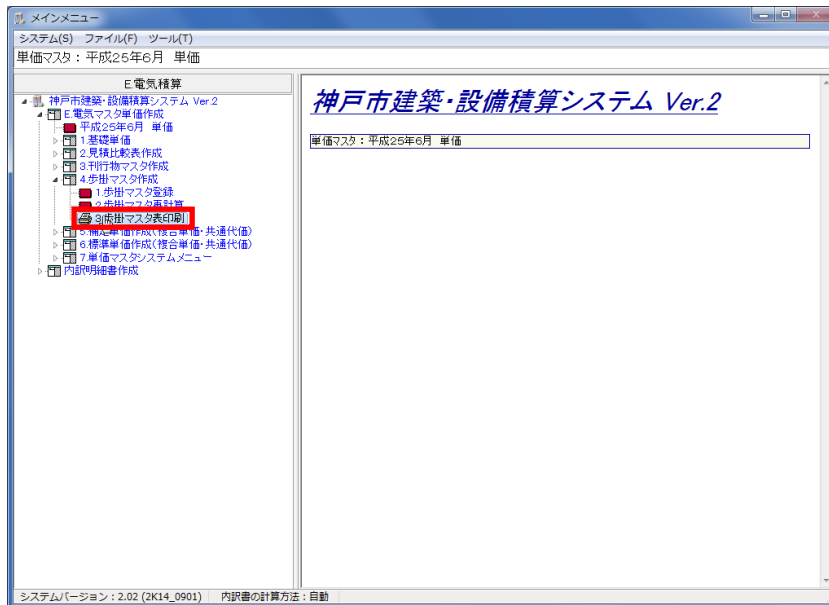


②[OK]ボタンをクリックすると、歩掛情報の再計算を開始します。



C. 歩掛マスタ印刷

- ①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[4. 歩掛マスタ作成]→[3. 歩掛マスタ印刷]をダブルクリックすると、歩掛マスタ印刷画面が表示されます。



②各種項目を設定し、[印刷]（「Excel ファイルへ出力」を「する」にしている場合は[出力]）ボタンをクリックして下さい

基本設定

- マスダ種別: 電気
- 頁番号初期値: 指定
- 頁番号印刷: する しない
- コードの印刷: する しない
- 単価の印刷: 金入り 金抜き
- 日付の印刷: する しない
- 印刷プレビュー: する しない
- Excelファイルへ出力 (印刷処理は行いません): する しない
- 標準単価表印刷: 歩掛表 コード一覧
- チェックリスト出力(コードの重複)

印刷

ページ番号の開始番号を変更する場合の設定

ページ番号を印刷するか

コードの印刷をするか

「金入り」・「金抜き」の設定

日付の印刷をするかしないか

印刷プレビューをするかしないか (Excel 出力時は無効)

帳票を Excel 出力するかしないか

出力したい帳票様式を選択

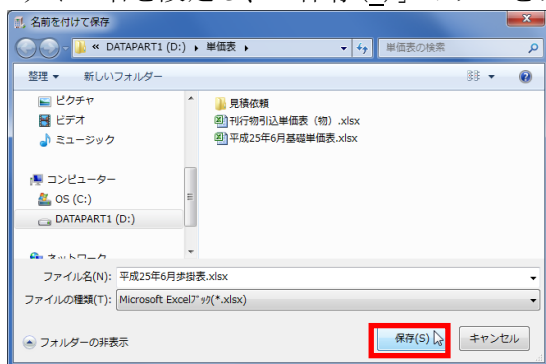
チェックリストを出力する場合の設定

※ルートフォルダー以外を選択すると、部分出力が可能です。

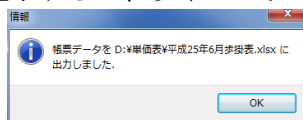
※思い通りの出力結果になるように、設定項目を適宜変更して下さい。

③「印刷プレビュー」を「する」にした場合は、Excel の画面で印刷プレビュー画面が表示されます。Excel の印刷プレビューからの印刷操作方法で印刷を行って下さい。

「Excel 出力」を「する」に設定した場合は、以下の画面が表示されます。保存先及びファイル名を設定し、「保存(S)」ボタンをクリックして下さい。



帳票の Excel 出力が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



※Excel で開く際は、上図のメッセージを閉じてから開いて下さい。

帳票イメージ 標準歩掛表

電気 平成25年6月 単価

標準歩掛表

平成 年 月 日
1頁

フォルダ : 1.配線工事 > 1.高圧ケーブル > 1.高圧架橋ポリエチレンケーブル

歩掛グループコード : 111

名称 : 6kV EM-CE, CV (1C)

規格 :

計算式 : 01.電気(配線)

コード	名称	単位	単価
1KAAA000	労務費(電気)	人	17,900
労務単価(R1)			
労務単価(R2)			
労務単価(R3)			

1ページ

歩掛コード	名称	単位	歩掛(R1)	歩掛(R2)	歩掛(R3)	補給率	雑材料率	その他率	摘要
111101	8°-1C	m	0.0190	0.0000	0.0000	1.0500	0.0300	0.1200	
111102	14°-1C	m	0.0240	0.0000	0.0000	1.0500	0.0300	0.1200	
111103	22°-1C	m	0.0310	0.0000	0.0000	1.0500	0.0300	0.1200	
111104	30°-1C	m	0.0350	0.0000	0.0000	1.0500	0.0300	0.1200	
111105	38°-1C	m	0.0410	0.0000	0.0000	1.0500	0.0300	0.1200	
111106	50°-1C	m	0.0490	0.0000	0.0000	1.0500	0.0300	0.1200	
111107	60°-1C	m	0.0540	0.0000	0.0000	1.0500	0.0300	0.1200	
111108	80°-1C	m	0.0620	0.0000	0.0000	1.0500	0.0300	0.1200	
111109	100°-1C	m	0.0740	0.0000	0.0000	1.0500	0.0300	0.1200	
111110	125°-1C	m	0.0830	0.0000	0.0000	1.0500	0.0300	0.1200	
111111	150°-1C	m	0.0910	0.0000	0.0000	1.0500	0.0300	0.1200	
111112	200°-1C	m	0.1120	0.0000	0.0000	1.0500	0.0300	0.1200	
111113	250°-1C	m	0.1290	0.0000	0.0000	1.0500	0.0300	0.1200	
111114	325°-1C	m	0.1640	0.0000	0.0000	1.0500	0.0300	0.1200	
摘要 : 1. 3kV EM-CE, CVにも適用する。 2. 端末処理は、別途計上する。 3. ケーブルラック配線の場合は、歩掛り(電気)を{1.2}倍 ピット配線の場合は、{0.8}倍 また、波付硬質合成樹脂管内配線の場合は、{0.9}倍とする。									

神戸市

歩掛コード一覧表

電気 平成25年6月 単価

歩掛マスタ グループコード一覧表

平成 年 月 日
1頁

階層	グループコード	名称	規格	計算式
歩掛マスタ				
1.配線工事				
1.高圧ケーブル				
1.高圧架橋ポリエチレンケーブル				
1.6kV EM-CE, CV (1C)	111	6kV EM-CE, CV (1C)		01.電気(配線)
2.6kV EM-CE, CV (3C), EM-CET, CVT	111	6kV EM-CE, CV (3C), EM-CET, CVT		01.電気(配線)
2.端末処理				
1.端末処理 (1C)	112	端末処理 (1C)		03.電気(その他)
2.端末処理 (3C)	112	端末処理 (3C)		03.電気(その他)
3.端末処理 (耐塩3C)	112	端末処理 (耐塩3C)		03.電気(その他)
3.高圧耐火ケーブル				
1.6,600V EM-FP-C, NH-FP-C, FP-C (1C)	113	6,600V EM-FP-C, NH-FP-C, FP-C (1C)		01.電気(配線)
2.6,600V EM-FP-C, NH-FP-C, FP-C (3C)	113	6,600V EM-FP-C, NH-FP-C, FP-C (3C)		01.電気(配線)
2.低圧ケーブル				
1.EM-IE, IV	121	EM-IE, IV		01.電気(配線)
2.EM-EEF, VVF 2芯(管内)	122	EM-EEF, VVF 2芯(管内)		01.電気(配線)
3.EM-EEF, VVF 3芯(管内)	123	EM-EEF, VVF 3芯(管内)		01.電気(配線)
4.EM-EEF, VVF 4芯(管内)	124	EM-EEF, VVF 4芯(管内)		01.電気(配線)
5.600Vポリエチレンケーブル				
1.EM-CE, CV (1C)	125	EM-CE, CV (1C)		01.電気(配線)
2.EM-CE, CV (2C)	125	EM-CE, CV (2C)		01.電気(配線)
3.EM-CE, CV (3C)	125	EM-CE, CV (3C)		01.電気(配線)
4.EM-CE, CV (4C)	125	EM-CE, CV (4C)		01.電気(配線)
6.耐火ケーブル(1C~4C)				
1.EM-FP-C, NH-FP-C, FP-C (1C)	126	EM-FP-C, NH-FP-C, FP-C (1C)		01.電気(配線)
2.EM-FP-C, NH-FP-C, FP-C (2C)	126	EM-FP-C, NH-FP-C, FP-C (2C)		01.電気(配線)
3.EM-FP-C, NH-FP-C, FP-C (3C)	126	EM-FP-C, NH-FP-C, FP-C (3C)		01.電気(配線)
4.EM-FP-C, NH-FP-C, FP-C (4C)	126	EM-FP-C, NH-FP-C, FP-C (4C)		01.電気(配線)
3.弱電ケーブル				
1.制御ケーブル				
1.EM-CEE, EM-CEE-S, CVV, CVV-S	131	EM-CEE, EM-CEE-S, CVV, CVV-S		01.電気(配線)
2.EM-CEE, EM-CEE-S, CVV, CVV-S	131	EM-CEE, EM-CEE-S, CVV, CVV-S		01.電気(配線)
3.EM-CEE, EM-CEE-S, CVV, CVV-S	131	EM-CEE, EM-CEE-S, CVV, CVV-S		01.電気(配線)
4.EM-CEE, EM-CEE-S, CVV, CVV-S	131	EM-CEE, EM-CEE-S, CVV, CVV-S		01.電気(配線)
5.EM-CEE, EM-CEE-S, CVV, CVV-S	131	EM-CEE, EM-CEE-S, CVV, CVV-S		01.電気(配線)
2.屋内通信線				
2.EM-TIEF, EM-TIEE, TIEF, TIEV	132	EM-TIEF, EM-TIEE, TIEF, TIEV		01.電気(配線)
3.屋内通信線(平行)				
3.EM-TIEF, EM-TIEE, TIEF, TIEV(平行)	133	EM-TIEF, EM-TIEE, TIEF, TIEV(平行)		01.電気(配線)
4.ボタン電話ケーブル				
4.EM-EBT, EM-BTIEE, EBT, BTIEV	134	EM-EBT, EM-BTIEE, EBT, BTIEV		01.電気(配線)
5.耐熱ケーブル・警報用ケーブル				
1.EM-HP, NH-HP, HP, EM-AE, AE	135	EM-HP, NH-HP, HP, EM-AE, AE		01.電気(配線)
2.EM-HP, NH-HP, HP, EM-AE, AE	135	EM-HP, NH-HP, HP, EM-AE, AE		01.電気(配線)

神戸市

歩掛マスタチェックリスト

電気 平成25年6月 単価

歩掛コードが重複

平成 年 月 日
1頁

フォルダ	歩掛グループコード	歩掛グループ名称	歩掛グループ規格	No.	歩掛コード	名称	単位
1. 配線工事 > 1. 高圧ケーブル > 1. 高圧架橋ポリエチレンケーブル	111	6kV EM-CE, CV (1C)		101	111101	8° - 1C ~m	
1. 配線工事 > 1. 高圧ケーブル > 1. 高圧架橋ポリエチレンケーブル	111	6kV EM-CE, CV (3C), EM-CET, CVT		101	111101	8° - 3C (CET, CVT) ~m	

神戸市

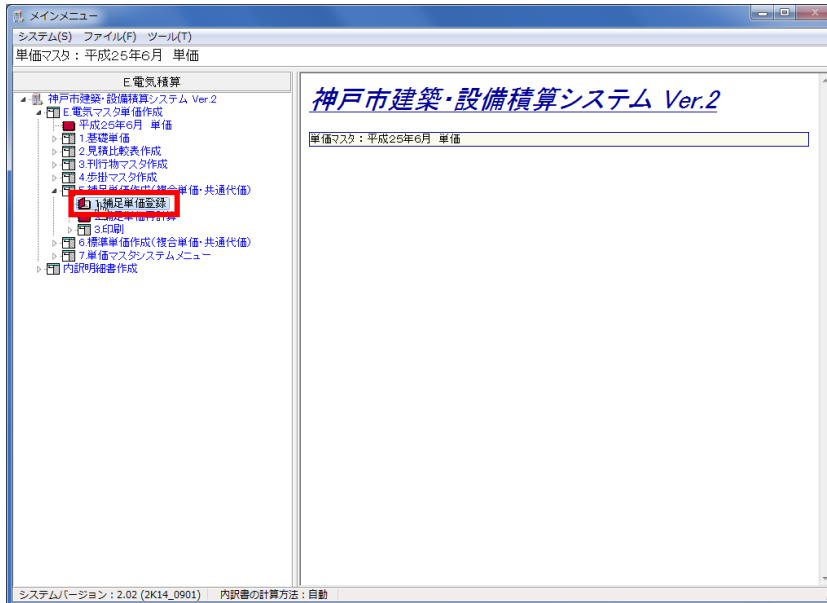
§ 9. 補足単価

- ※「補足単価マスタ」関連画面の操作方法は、「標準単価マスタ」関連画面の操作方法と同じです。
 ※「補足単価マスタ」で登録したコードは、標準単価マスタの共通代価表の積み上げ明細で使用可能です（代価の代価を作成できます）。

A. 補足単価登録

1. 補足単価登録画面の表示

- ①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[5. 補足単価作成（複合単価・共通代価）]→[1. 補足単価登録]をダブルクリックすると、補足単価登録画面が表示されます。

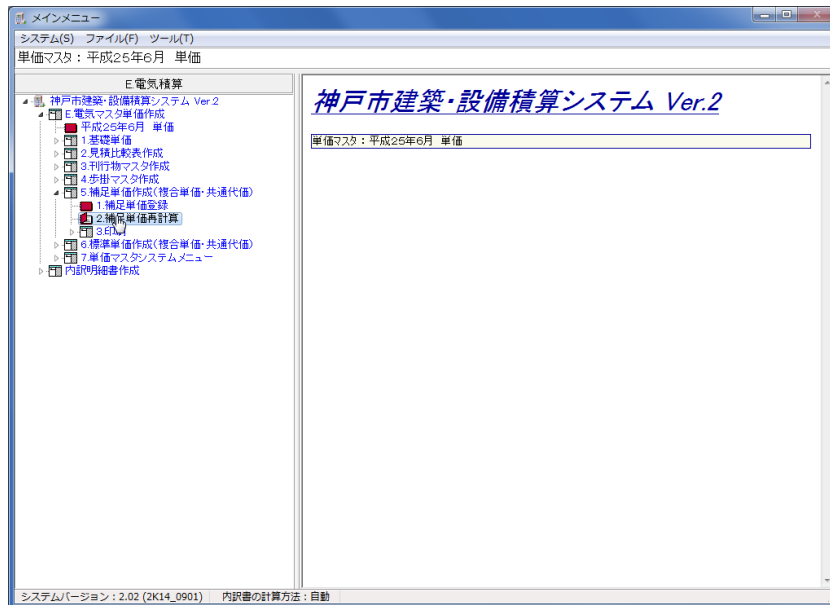


コード	名称	規格・仕様	単位	単価
3K101010	土工事 根切	人力 (機)	m3	6,590
3K101040	土工事 根切	機械0. 13m3 (機)	m3	2,960
3K101050	土工事 根切	機械0. 28m3 (機)	m3	1,540
3K101060	土工事 根切	機械0. 45m3 (機)	m3	1,090
3K103010	土工事 埋め戻し	手作業 場内土 (機)	m3	5,100
3K103040	土工事 埋め戻し	機械0. 13m3 (機)	m3	3,110
3K103050	土工事 埋め戻し	機械0. 28m3 (機)	m3	2,720
3K103060	土工事 埋め戻し	機械0. 45m3 (機)	m3	2,030
3K104010	土工事 残土処分 (場内)	場内 機械	m3	876
3K104020	土工事 残土処分 (場内)	場内 人力 (機)	m3	3,880
3K105110	土工事 残土処分 (場外)	場外片道 6Kmまで 機械積 (建)	m3	1,040
3K105210	土工事 残土処分 (場外)	場外片道 11.5Kmまで 機械積 (建)	m3	1,540
3K105310	土工事 残土処分 (場外)	場外片道 19.5Kmまで 機械積 (建)	m3	2,340
3K105410	土工事 残土処分 (場外)	場外片道 31.5Kmまで 機械積 (建)	m3	3,130
3K106070	土工事 残土処分投棄料	ポトアランド沖(神戸空港島)へ (m3	3,420
3K107010	土工事 地業	割石 厚 10~15cm (建)	m3	8,880
3K107020	土工事 地業	砂利 再生クラッシュラン(使用 (機)	m3	4,980
3K107030	土工事 地業	砂利 切込砂利、切込砕石 (機)	m3	6,330
3K108010	土工事 型枠	一般合板 (機)	m2	6,380
3K104010	土工事 コンクリート	手練り 無筋 (機)	m3	31,600
3K104020	土工事 コンクリート	生コン 人力打設 (機)	m3	27,800
3K104040	土工事 コンクリート	軽量コンクリート (建)	m3	19,300
3K104050	土工事 コンクリート	生コン ホンア打ち(基本料金別途加算)	m3	14,900
3K104060	土工事 コンクリート	生コン ホンア圧送(基本料金) (建)	件	50,000
3K108010	土工事 モルタル	厚 15mm (機)	m2	1,630
3K108020	土工事 モルタル	防水 厚 15mm (機)	m2	1,690
3K201010	建設工事 天井点検口	天井取め口 アルミ製 450×450 (箇所	4,270

以降の解説は、次項の「§ 10. 標準単価」の「A. 標準単価登録」を参照し、「標準単価」を「補足単価」に読み替えて下さい (P116~参照)。

B. 補足単価再計算

- ①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[5. 補足単価]→[2. 補足単価再計算]をダブルクリックすると、補足単価再計算画面が表示されます。



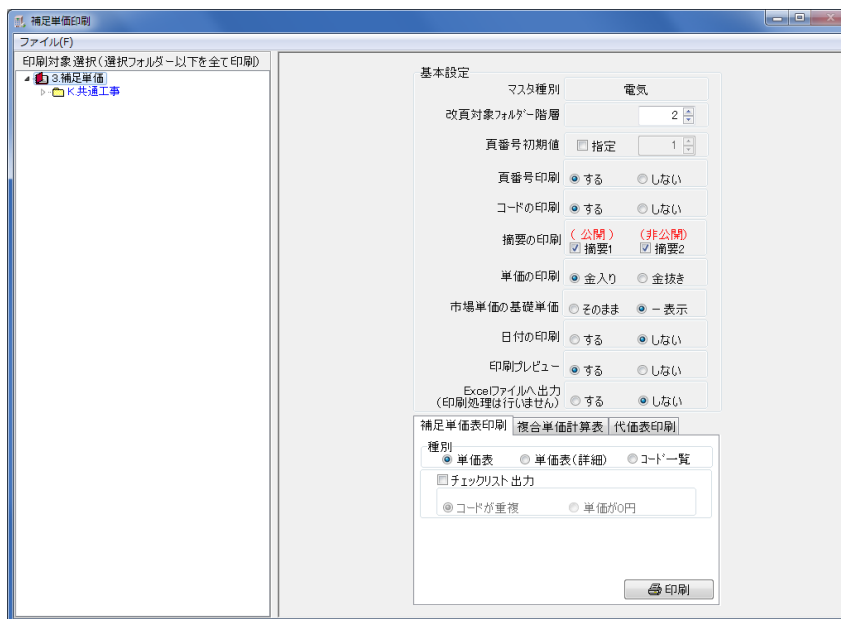
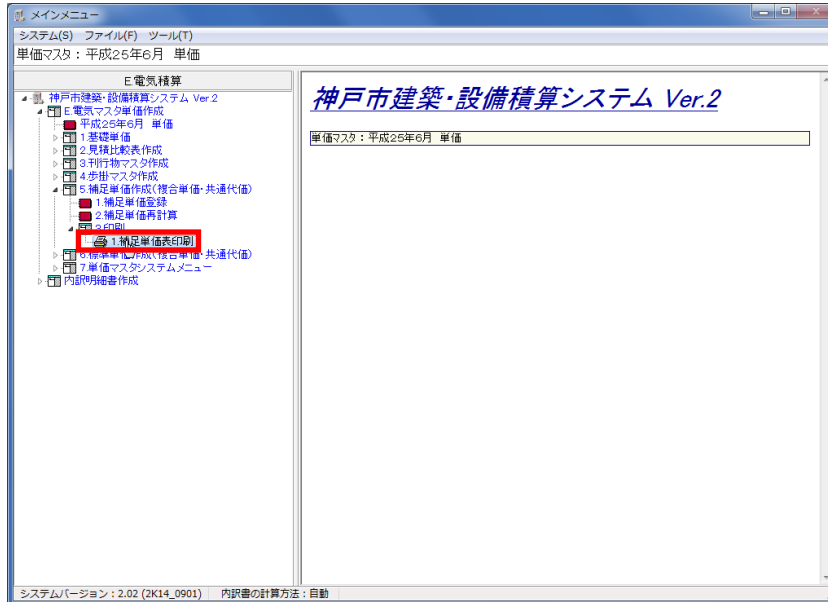
- ②[OK]ボタンをクリックすると、補足単価情報の再計算を開始します。
※再計算には時間がかかります。再計算が終わるまでお待ち下さい。



C. 補足単価表印刷

(1) 補足単価印刷画面の表示

- ①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[5. 補足単価]→[3. 印刷]→[1. 補足単価表印刷]をダブルクリックすると、補足単価印刷画面が表示されます。



以降の解説は、次項の「§ 10. 標準単価」の「C. 標準単価表印刷」を参照し、標準単価を補足単価に読み替えて下さい (P139～参照)。

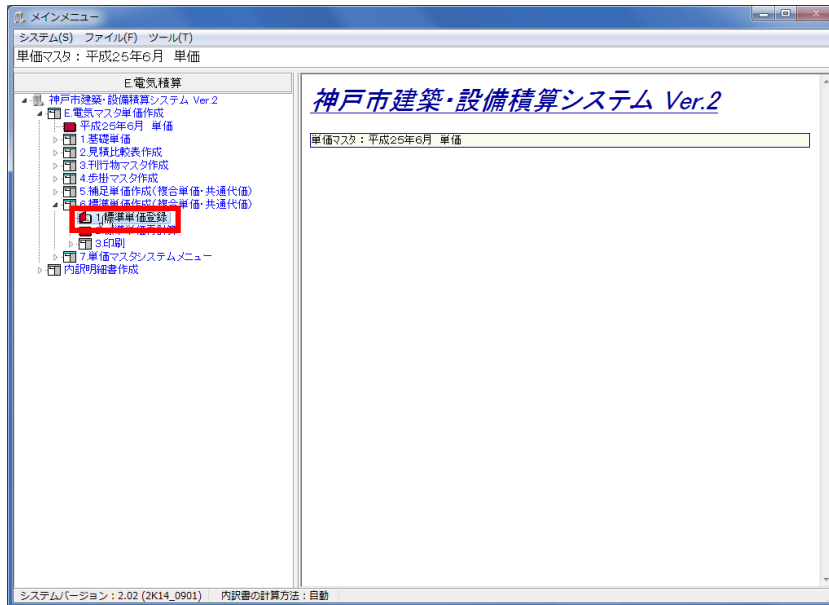
§ 10. 標準単価

※「標準単価マスタ」関連画面の操作方法は、「補足単価マスタ」関連画面の操作方法と同じです。

A. 標準単価登録

1. 標準単価登録画面の表示

- ①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[6. 標準単価作成（複合単価・共通代価）]→[1. 標準単価登録]をダブルクリックすると、標準単価登録画面が表示されます。

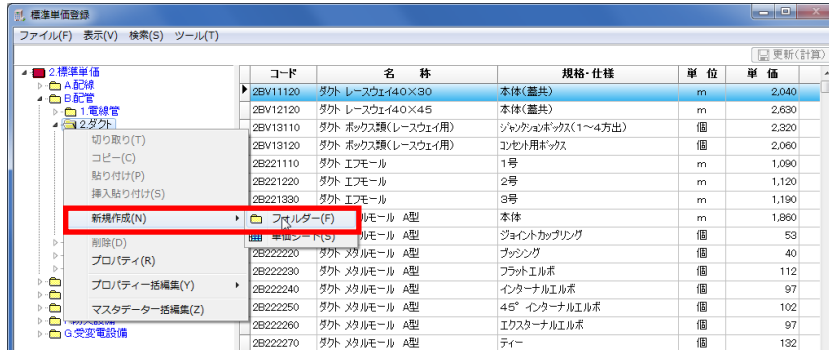


コード	名 称	規格・仕様	単 位	単 価
2AF14141	6KV EM-CE 14° -9C	こるがし	m	2,050
2AF14142	6KV EM-CE 14° -9C	渡付管内	m	2,130
2AF14143	6KV EM-CE 14° -9C	管路内	m	2,210
2AF14144	6KV EM-CE 14° -9C	ラック	m	2,270
2AF14221	6KV EM-CE 22° -9C	こるがし	m	2,600
2AF14222	6KV EM-CE 22° -9C	渡付管内	m	2,710
2AF14223	6KV EM-CE 22° -9C	管路内	m	2,810
2AF14224	6KV EM-CE 22° -9C	ラック	m	3,020
2AF14381	6KV EM-CE 38° -9C	こるがし	m	3,490
2AF14382	6KV EM-CE 38° -9C	渡付管内	m	3,630
2AF14383	6KV EM-CE 38° -9C	管路内	m	3,760
2AF14384	6KV EM-CE 38° -9C	ラック	m	4,040
2AF14601	6KV EM-CE 60° -9C	こるがし	m	4,710
2AF14602	6KV EM-CE 60° -9C	渡付管内	m	4,890
2AF14603	6KV EM-CE 60° -9C	管路内	m	5,070
2AF14604	6KV EM-CE 60° -9C	ラック	m	5,430
2AF14911	6KV EM-CE 100° -9C	こるがし	m	6,860
2AF14912	6KV EM-CE 100° -9C	渡付管内	m	7,110
2AF14913	6KV EM-CE 100° -9C	管路内	m	7,360
2AF14914	6KV EM-CE 100° -9C	ラック	m	7,890
2AF14921	6KV EM-CE 150° -9C	こるがし	m	9,450
2AF14922	6KV EM-CE 150° -9C	渡付管内	m	9,750
2AF14923	6KV EM-CE 150° -9C	管路内	m	10,000
2AF14924	6KV EM-CE 150° -9C	ラック	m	10,600
2AF14931	6KV EM-CE 200° -9C	こるがし	m	12,600
2AF14932	6KV EM-CE 200° -9C	渡付管内	m	13,000
2AF14933	6KV EM-CE 200° -9C	管路内	m	13,400

2. 新規標準単価の登録・削除及びフォルダー・シートプロパティの設定

(1) フォルダーの新規作成

- ① フォルダーを追加したいフォルダーを選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[フォルダー(F)]をクリックして下さい。



- ② 各種項目を設定して下さい。設定が完了したら、「OK」ボタンをクリックして下さい。

入力した文字列をツリービューに表示する。

- ・フォルダーテキストのみ
フォルダーテキストのみに反映する。
- ・単価【名称】に反映
シートのプロパティで連動するように設定した場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【名称】にも反映する。
- ・単価【規格・仕様】に反映
シートのプロパティで連動するように設定した場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【規格・仕様】にも反映する。

このフォルダーをロックする

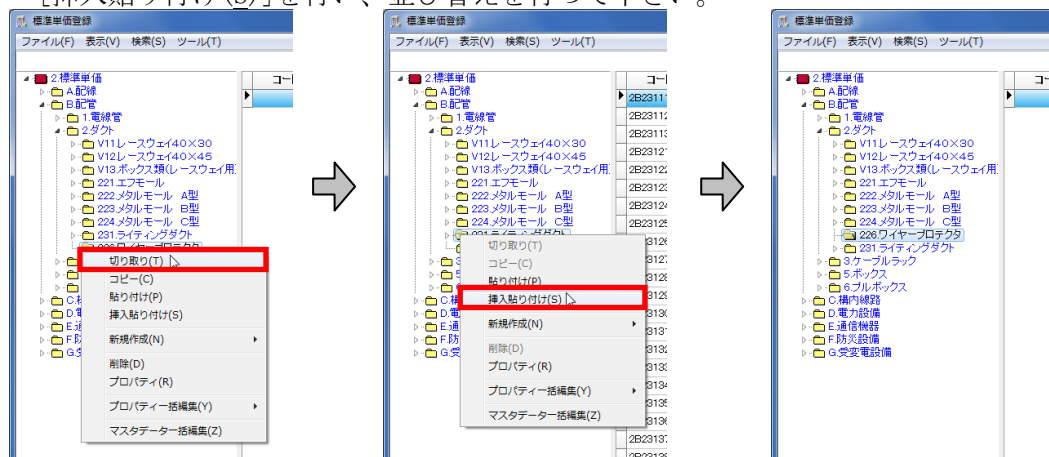
単価表印刷時の出力項目設定
(印刷指定項目「改頁フォルダ」に対して)
素材単価欄の出力
● する ○ しない

単価種別欄の出力
● する ○ しない

このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の単価コードに反映する場合はチェックを入れる。フォルダーテキストの前に付くコードを設定する。

フォルダーの表示色を選択。

- ③ 新規作成時は必ず階層中の並びの一番下に作成されるので、順番を並び替える必要があれば、右クリック→[切り取り(T)]→挿入後に一つ下にしたいフォルダーを選択→右クリック→[挿入貼り付け(S)]を行い、並び替えを行って下さい。

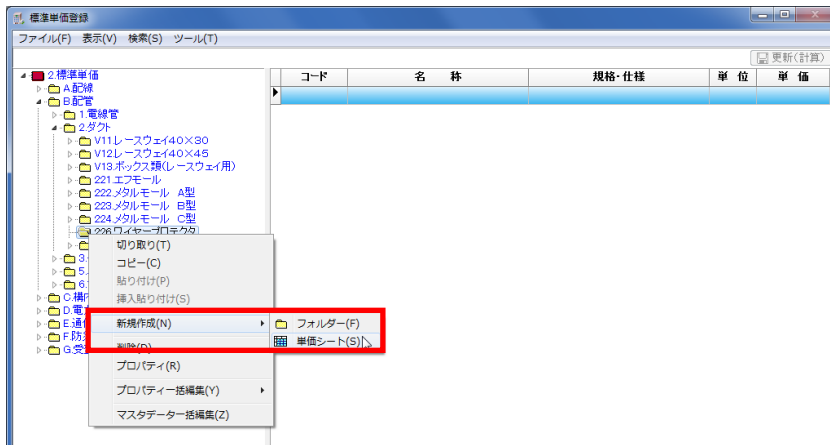


(2) シートの新規作成 (新たなシートを作成)

①新規作成したい場所のフォルダー又はシートを選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[単価シート(S)]をクリックして下さい。

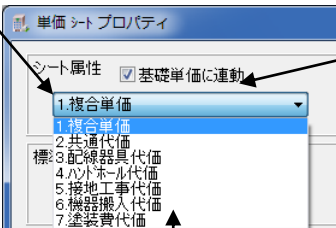
※右クリック時にフォルダーを選択している場合、そのフォルダー階層の一番下に新規シートが作成されます。

※右クリック時にシートを選択している場合、そのシートの一つ前の並びに新規シートが作成されます。



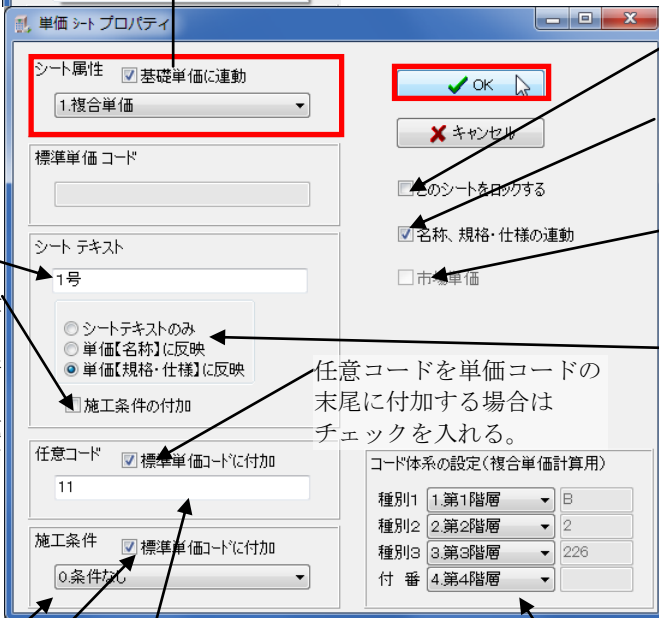
②各種項目を設定して下さい。設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして下さい。

複合単価または各種代価を選択する。
(新規作成後は変更不可)



シート属性を「1. 複合単価」に設定時、標準単価コード(2)の上1桁を基礎単価コード(1)に置き換えたものを基礎単価の項目に自動設定する場合はチェックを入れる。

入力した文字列をツリービューに表示する。



シートの切り取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

フォルダテキスト・シートテキストの値を、親の階層から順に、名称または規格・仕様に自動的に設定する。

シート属性が「1. 複合単価」で基礎単価に連動するようにしている場合、市場単価の基礎単価を“-”表示で印刷するチェックが入っている場合、チェックが入る (参照のみ)。

名称、規格・仕様の連動をする場合、施工条件が「0. 条件なし」以外の場合の施工条件の文字列を名称、規格・仕様の文字列の後ろに付加する場合はチェックを入れる。

任意コードを単価コードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

- ・シートテキストのみ
シートテキストのみに反映する。
- ・単価【名称】に反映
名称、規格・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【名称】にも反映する。
- ・単価【規格・仕様】に反映
名称、規格・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【規格・仕様】にも反映する。

シートテキストの前に付くコードを設定する。

施工条件コードを単価コードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

施工条件を選択。
※単価コード体系に依存。

単価コードのコード体系に関するフォルダー・シート階層を指定する。
※単価コード体系に依存。

③単価の各項目を編集して下さい (P123~参照)。

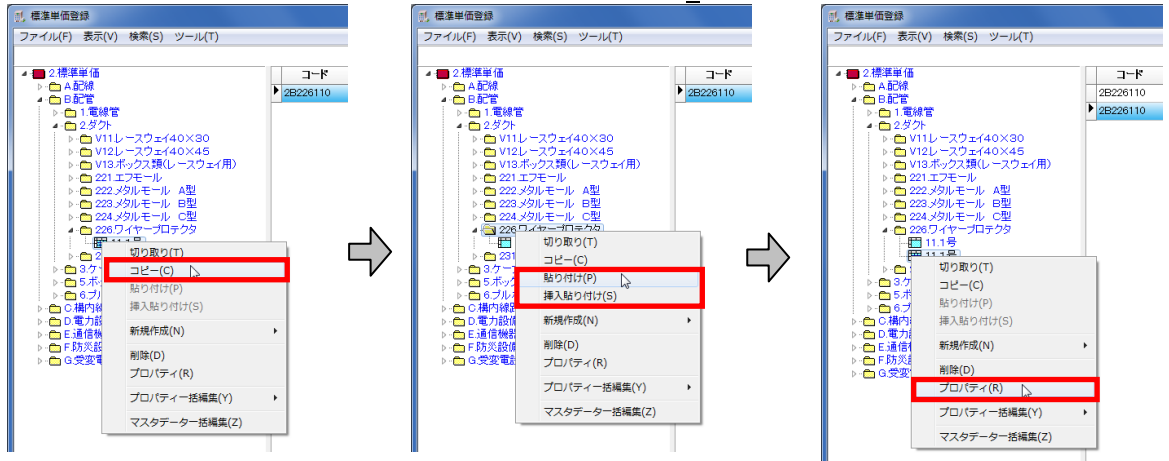
(3) シートの新規作成 (既存のシートの情報を流用する場合)

※複合単価や代価明細を含む全ての情報がコピーされます。

①情報を流用したいはシートを選択し、右クリック→[コピー(C)]→新規作成したい場所のフォルダーを選択し、[貼り付け(P)]をクリックして下さい。

※既存のシートの中に新規シートを挿入したい場合は、右クリック→[コピー(C)]→挿入後に下にしたいシートを選択→右クリック[挿入貼り付け(S)]をクリックして下さい。
このままでは単価コードが重複するため、シートプロパティを変更します。

②追加したシートを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。



③任意コードを変更し、各種項目を設定して下さい。

(任意コードは、必ず、重複しないコードを設定して下さい。)

設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして下さい。

使用不可 (既存情報)

入力した文字列をツリービューに表示する。

名称、規格・仕様の連動をする場合、施工条件が「0.条件なし」以外の場合の施工条件の文字列を名称、規格・仕様の文字列の後ろに付加する場合はチェックを入れる。

施工条件を選択。
※単価コード体系に依存。

任意コードを単価コードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

シートテキストの前に付くコードを設定する。

施工条件コードを単価コードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

シートの切り取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

フォルダテキスト・シートテキストの値を、親の階層から順に、名称または規格・仕様に自動的に設定する。

シート属性が「1.複合単価」で基礎単価に連動するようにしている場合、市場単価の基礎単価を“-”表示で印刷するチェックが入っている場合、チェックが入る (参照のみ)。

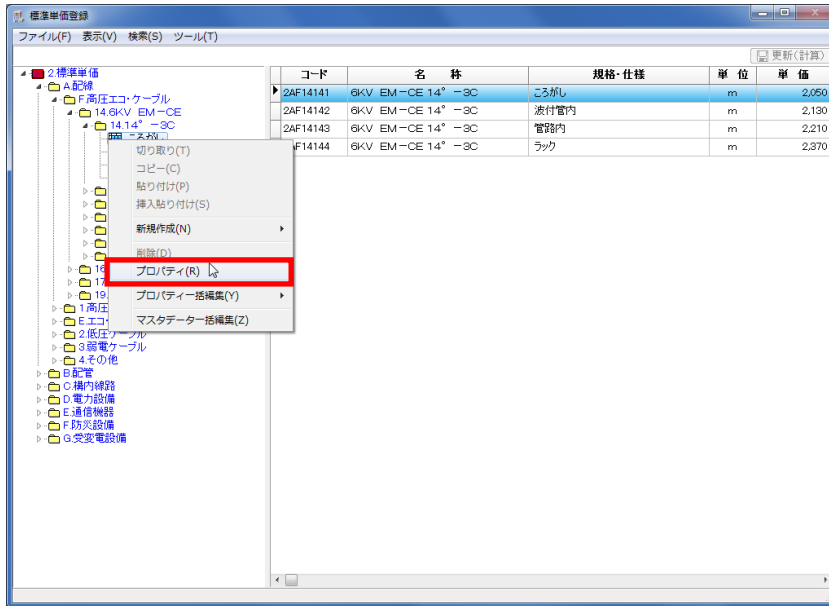
- シートテキストのみ
シートテキストのみに反映する。
- 単価【名称】に反映
名称、規格・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダ以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【名称】にも反映する。
- 単価【規格・仕様】に反映
名称、規格・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダ以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【規格・仕様】にも反映する。

単価コードのコード体系に関するフォルダ・シート階層を指定する。
※単価コード体系に依存。

④単価の各種項目を編集して下さい (P123~参照)。

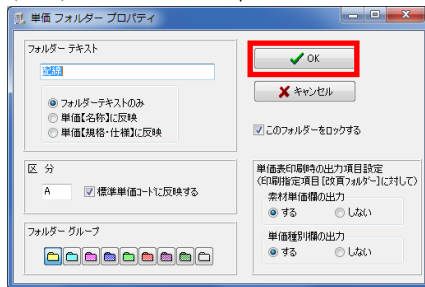
(4) フォルダー・シートプロパティの設定

- ①プロパティを設定したいフォルダー又はシートを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。

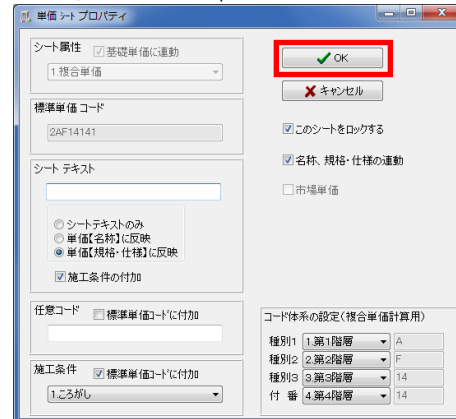


- ②フォルダープロパティ・シートプロパティを設定し、[OK]ボタンをクリックして下さい。
 ※注意点は、本項の「(1) フォルダーの新規作成 (P117)」・「(2) シートの新規作成 (P118)」を参照して下さい。

フォルダープロパティ



シートプロパティ

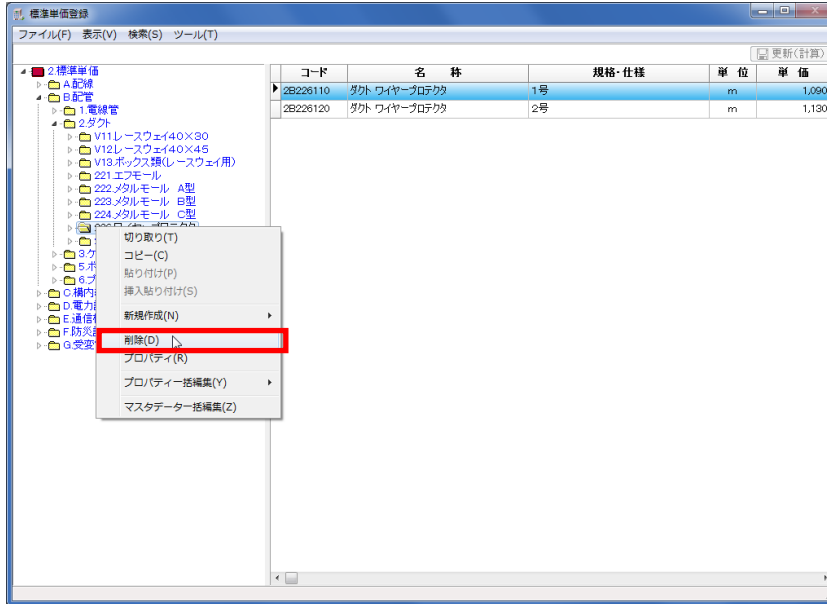


(5) フォルダー・シートの削除

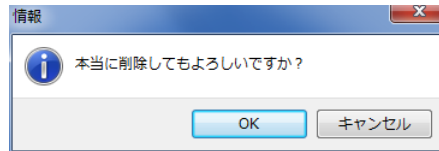
※削除を行うと、元に戻すことはできませんので慎重に行ってください。

※補足単価で削除処理を行った場合、標準単価の共通代価表で補足単価のコードを引き込んでいる場合は、補足単価の情報が消えますので注意して下さい。

①削除したいフォルダー・シートを選択し、右クリック→[削除(D)]をクリックして下さい。

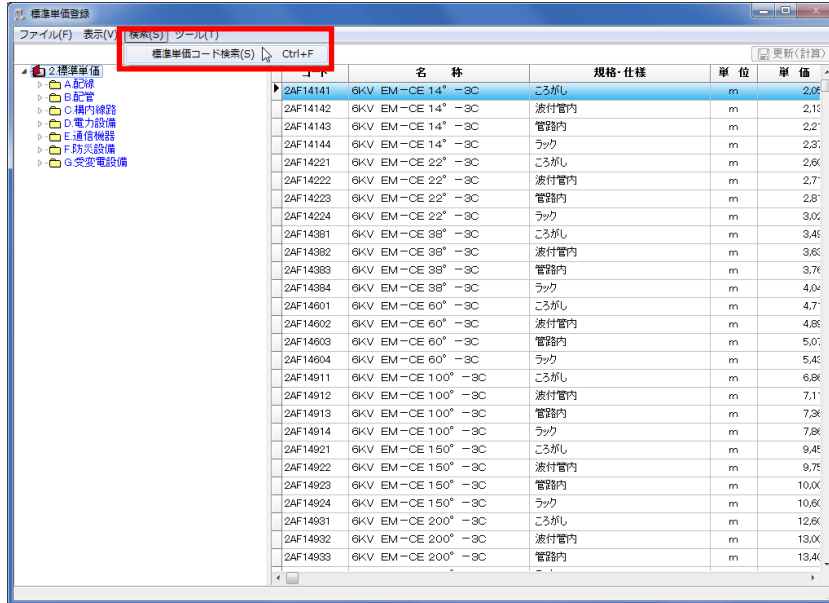


②[OK] ボタンをクリックすると、削除処理が行われます。[キャンセル] ボタンをクリックすると中止します。

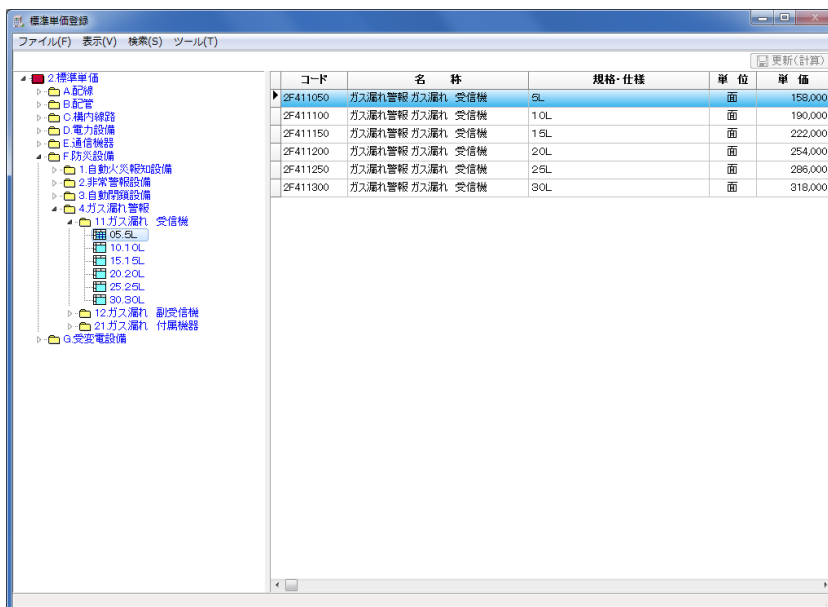
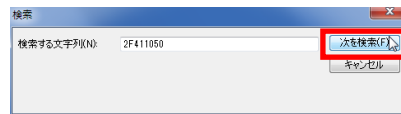


3. 単価コードの検索

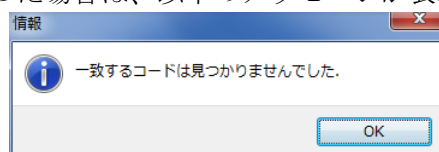
① [検索(S)] → [標準単価コード検索(Ctrl+F)] をクリックして下さい。



② 検索したい単価コードを入力し、[次を検索(F)] ボタンをクリックして下さい。単価マスタに単価コードが存在する場合はその単価コードのシートに移動します。



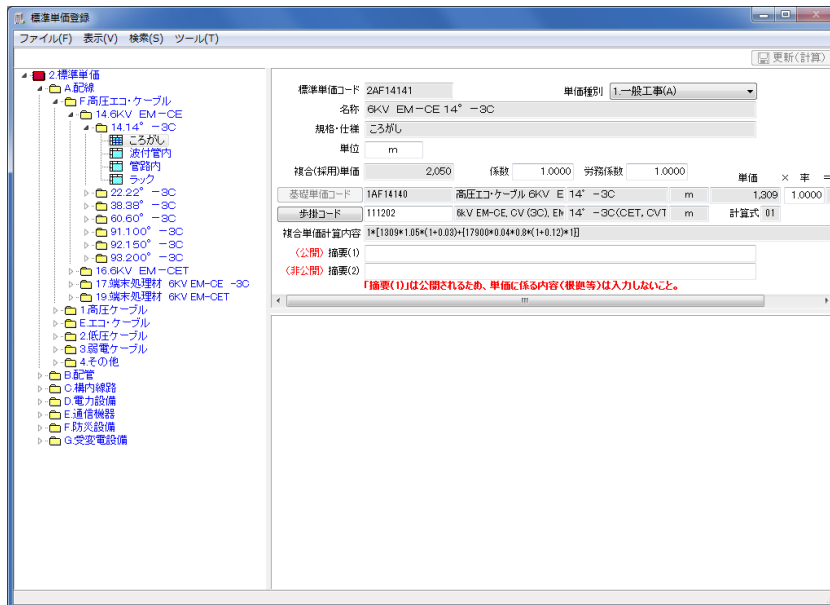
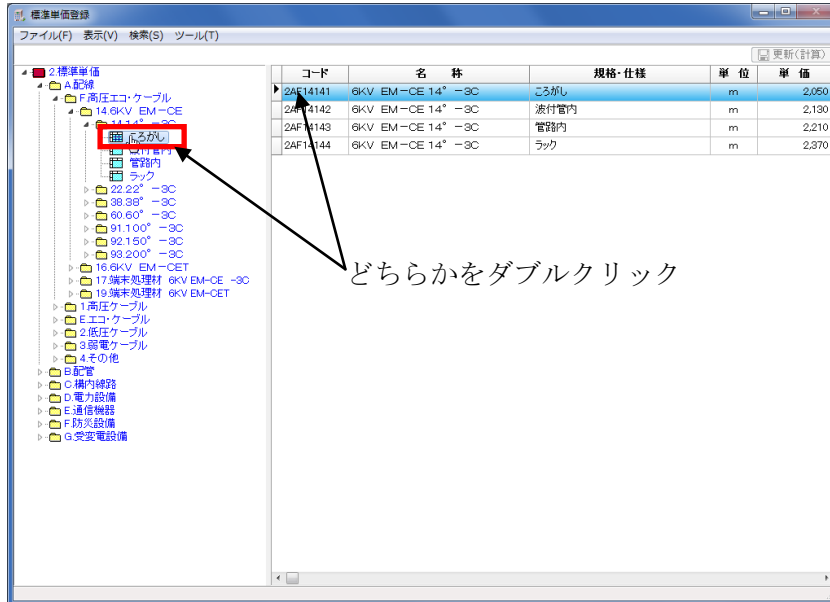
見つからなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



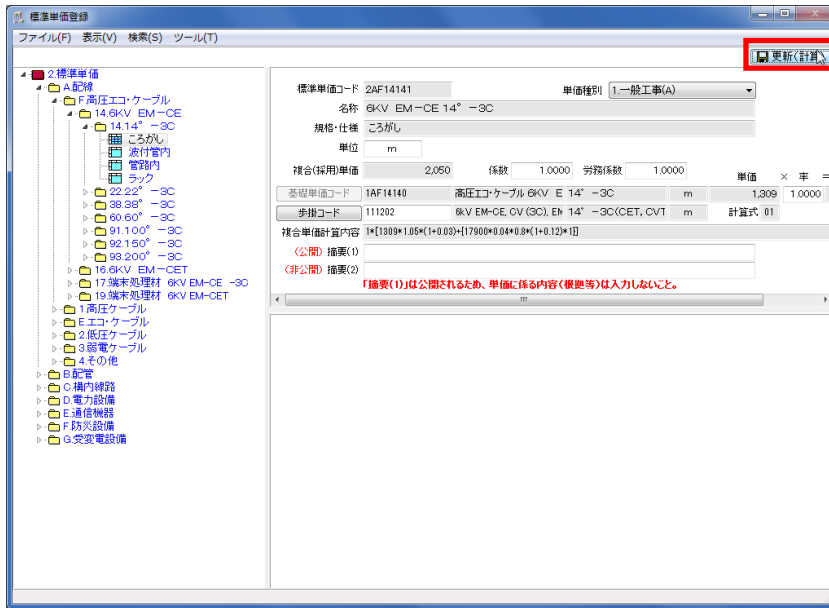
4. 標準単価の各種項目の編集

①編集を行いたいシートを選択し、ダブルクリックすると、画面右側の単価リスト表示部が標準単価項目編集表示に切り替わります。

(単価リスト表示部の、編集を行いたい行をダブルクリックしても同様の処理となります)



②各種項目を設定し、[更新(計算)]ボタンをクリックして下さい。

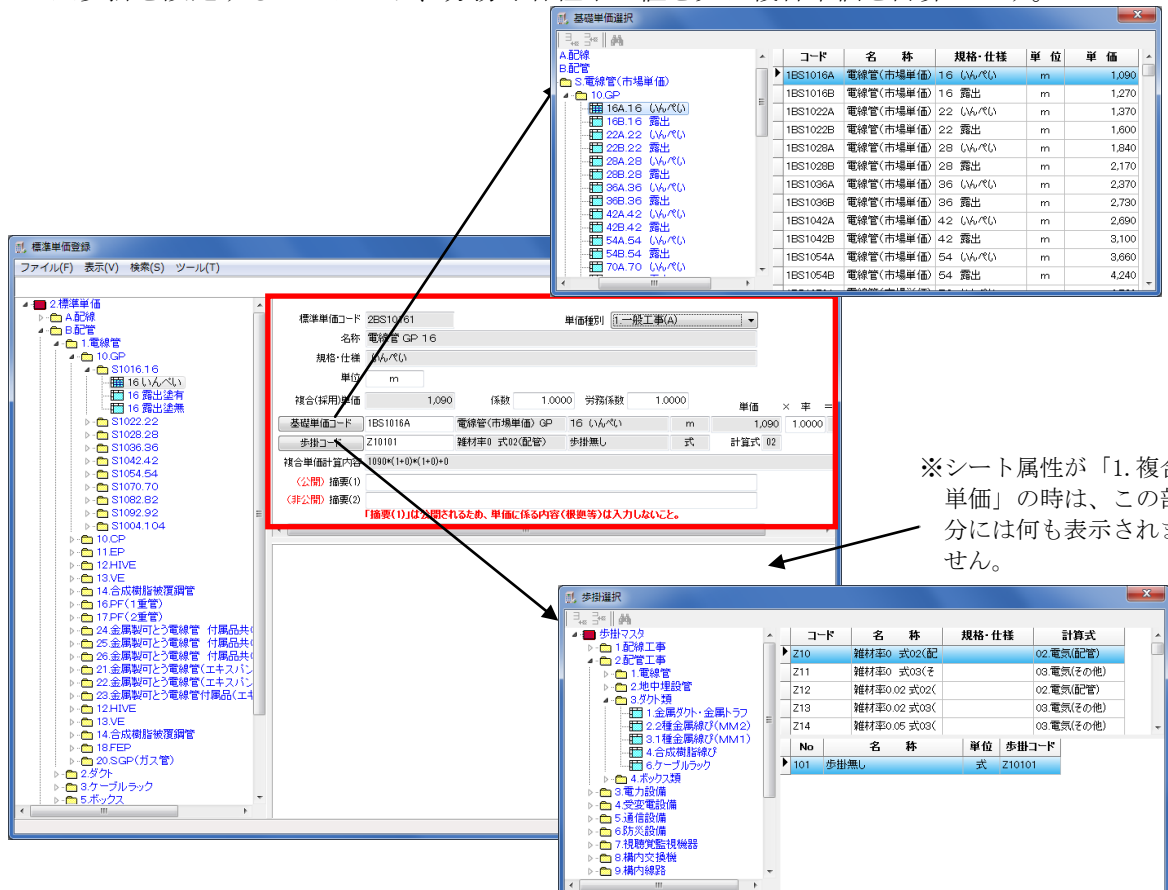


◆基本項目

単価の基本情報を設定します。

※シート属性が「1. 複合単価」の時は、基礎単価コードを設定します。(基礎単価に連動している時は自動設定されます。) シート属性が「1. 複合単価」以外の時は、基礎単価の項目は設定できません。

※歩掛を設定することにより、労務や各種率の値を元に複合単価を計算します。



※シート属性が「1. 複合単価」の時は、この部分には何も表示されません。

摘要(1) : 公開項目 (単価表に掲載)

摘要(2) : 守秘項目 (単価表に掲載しない (印刷設定により掲載も可))

◆共通代価入力項目

※シート属性が「2. 共通代価」の時

基礎単価選択画面

(ダブルクリックで選択)

補足単価選択画面

(ダブルクリックで選択)

コード	名称	規格・仕様	数量	単位	係数	損率	単価	金額	販	GP
1B511000	ボックス O. B	4角大浅 カバーなし	1.0000	個	1.0000	1.0000	220	220	1	
1B571120	ボックス 塗代カバー	大形4角	1.0000	個	1.0000	1.0000	74	74	1	

- ① コード (単価コード) を入力して下さい。
基礎単価 (1 頭コード) ・ 補足単価 (H 頭コード) のコード番号を入力して下さい。
該当単価の名称、規格・仕様、単位、単価等の情報が引き込まれます。
※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
※[コード]欄に計算コードを入力することにより計算することも可能です。入力方法の詳細は「計算コードについて」の項 (P131) を参照して下さい。

- ② 数量、係数・損率を入力して下さい。

- ③ [更新 (計算)] ボタンをクリックすると、データが保存されます。

【計算】

$$[\text{金額}] = [\text{数量}] \times [\text{係数}] \times [\text{損率}] \times [\text{単価}]$$

$$[(\text{素材}) \text{単価}] = [\text{金額}] \text{の合計}$$

※[複合 (採用) 単価]は設定されている歩掛の式により計算されます。

◆配線器具代価入力項目

※シート属性が「3. 配線器具代価」の時

基礎単価選択画面

(ダブルクリックで選択)

歩掛選択画面

(ダブルクリックで選択)

コード	名称	規格・仕様	単位	単価
1DA11AA0	スイッチ スイッチ(片)	1P15A 300V(個	110
1DA11BB0	スイッチ スイッチ(片)	1P15A 位置表	個	280
1DA11CC0	スイッチ スイッチ(片)	1P15A 300V(個	150
1DA11DD0	スイッチ スイッチ(片)	3線PL内蔵 1P1	個	370

コード	名称	規格・仕様	単位	計算式
311	スイッチ			03 電気(その他)
311	スイッチ			03 電気(その他)
311	スイッチ			03 電気(その他)
311	スイッチ			03 電気(その他)

No	名称	単位	歩掛コード
101	1P15A×1	個	311101
102	1P15A×2	個	311102
103	1P15A×3	個	311103
104	1P15A×4	個	311104
105	1P15A×5	個	311105
106	1P15A×6	個	311106

素材コード	名称	規格・仕様	単価	歩掛コード	率	乗率	新歩掛
1DA11AA0	スイッチ スイッチ(片切)	1P15A 300V(素材)	110	311101	0.054	1.000	0.054
1DE11KK0	プレート	取付枠	29	Z13101	0.000	0.500	0.000
1DE11AA0	プレート	大角 1ヶ用	160	Z13101	0.000	0.500	0.000

① 素材コード(基礎単価コード)を入力して下さい。
 該当単価の名称、規格・仕様・単価が引き込まれます。
 ※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。

② 歩掛コードを入力して下さい。
 該当歩掛の率・乗率・新歩掛が引き込まれます。
 ※ツールボタンにより歩掛選択画面からコード選択による入力も可能です。

③ [更新 (計算)] ボタンをクリックすると、データが保存されます。

【計算】

[乗率] = 歩掛の率が最大の行(複数該当の場合はそのうちの1行のみ)は 1.0 となり、
 その他は 0.5 となる。

[新歩掛] = 歩掛の率 × 乗率

[単価(素材単価)] = 単価(積み上げ分)の計

[新歩掛率] = 新歩掛の計

[複合(採用)単価] = [[素材単価] × (1 + 雑材料率) + { 電工 × [新歩掛率] × 労務係数 × (1 +
 その他率) }] × 係数

◆ハンドホール代価入力項目

※シート属性が「4. ハンドホール代価」の時

基礎単価選択画面

(ダブルクリックで選択)

基礎単価選択画面のスクリーンショット。左側のツリービューで「1 工事」の下にある「01 根切」が選択されています。中央の表には、コード、名称、規格・仕様、単位、単価の列があり、以下のデータが表示されています。

コード	名称	規格・仕様	単位	単価
1K101010	土工事 根切	人力 (機)	m3	6,110
1K101040	土工事 根切	機械 0.13m3 (機)	m3	2,160
1K101050	土工事 根切	機械 0.28m3 (機)	m3	1,360
1K101060	土工事 根切	機械 0.45m3 (機)	m3	1,000

下部の「計算式: 4. ハンドホール代価」の表は以下の通りです。

コード	名称	規格・仕様	数量	単位	単価	金額	販 GP
1K101010	土工事 根切	人力 (機)	5.2400	m3	6,110	32,016	* 1
1K107020	土工事 地業	砂利 (砕石) (機)	0.1440	m3	7,940	1,143	* 1
1K10A020	土工事 コンクリート	生コン 人力打設 (機)	0.0860	m3	28,100	2,416	* 1
1K10A020	土工事 残土処分 (場内)	場内 人力 (機)	1.4550	m3	3,600	5,238	* 1
1K10B010	土工事 埋め戻し	手作業 場内土 (機)	3.7850	m3	4,790	18,130	* 1
1K10B010	土工事 型枠	一般合板 (機)	8.7480	m2	5,910	51,700	* 1
1K10A020	土工事 コンクリート	生コン 人力打設 (機)	0.4960	m3	28,100	13,937	* 1
1K405910	電気共通工事 ハンドホール	鉄筋D10φ (機)	27.6490	kg	104	2,875	* 1
1K405920	電気共通工事 ハンドホール	鉄筋D13φ (機)	11.1440	kg	104	1,158	* 1
#	小計(直前合計)			式		128,613	*
1K107020	土工事 地業	砂利 (砕石) (機)	0.0180	m3	7,940	142	* 1
1K10B010	土工事 型枠	一般合板 (機)	0.6240	m2	5,910	3,687	* 1
1K10A020	土工事 コンクリート	生コン 人力打設 (機)	0.0930	m3	28,100	2,613	* 1
1K10B010	土工事 モルタル	厚 15mm (機)	1.1570	m2	1,670	1,932	* 1
#	小計(直前合計)			式		8,374	*

- ① コード(基礎単価コード)を入力して下さい。
 該当単価の名称、規格・仕様・単価が引き込まれます。
 ※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
 ※[コード]欄に計算コードを入力することにより計算することも可能です。入力方法の詳細は「計算コードについて」の項 (P131) を参照して下さい。
- ② 数量を入力して下さい。

- ③ [更新 (計算)] ボタンをクリックすると、データが保存されます。

【計算】

$$[金額] = [数量] \times [単価]$$

$$[(\text{素材}) \text{単価}] = [金額] \text{の合計}$$

◆接地工事代価入力項目

※シート属性が「5. 接地工事代価」の時

基礎単価選択画面

(ダブルクリックで選択)

基礎単価選択画面のスクリーンショット。左側のツリーで「02 接地工事」が選択されています。中央の表には以下の項目がリストアップされています。

コード	名称	規格・仕様	単位	単価
1K402940	電気共通工事 接	リード端子	個	360
1K402950	電気共通工事 接	銅棒 14φ 150	本	1,090
1K402960	電気共通工事 接	接地銅板(EC)500	枚	7,700
1K402970	電気共通工事 接	接地銅板(EB)50	枚	10,710
1K402980	電気共通工事 接	接地銅板 埋設槽	個	970
1K402990	電気共通工事 接	接地銅板(EA)90	枚	10,400

下部の計算表（計算式：5. 接地工事代価）のスクリーンショットも表示されています。

コード	名称	規格・仕様	数量	単位	乗数	単価	金額	仮	GP
1K402990	電気共通工事 接地工事	接地銅板(EA)90φ ×1.5t	1.0000	枚	1.0000	10,400	10,400		1
※2	雑材料		2.0000	%	1.0000	10,400	208		
1KAAA000	労務費(電工)	電工	1.5300	人	1.0000	15,400	23,562		2
1KAEB000	労務費(普通作業員)	普通工	3.5800	人	1.0000	14,000	50,120		2
1K402980	電気共通工事 接地工事	接地銅板 埋設槽	1.0000	個	1.0000	970	970		
※2	雑材料		2.0000	%	1.0000	970	19		
1KAAA000	労務費(電工)	電工	0.5130	人	1.0000	15,400	7,900		2
※2K12	雑材料		12.0000	%	1.0000	81,582	9,789		2

- ① コード(基礎単価コード)を入力して下さい。
 該当単価の名称、規格・仕様・単価が引き込まれます。
 ※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
 ※[コード]欄に計算コードを入力することにより計算することも可能です。入力方法の詳細は「計算コードについて」の項 (P131) を参照して下さい。

- ② 数量を入力して下さい。

- ③ [更新 (計算)] ボタンをクリックすると、データが保存されます。

【計算】

$$[\text{金額}] = [\text{数量}] \times [\text{乗数}] \times [\text{単価}]$$

$$[(\text{素材}) \text{単価}] = [\text{金額}] \text{の合計}$$

◆機器搬入代価入力項目

※シート属性が「6. 機器搬入代価」の時

基礎単価選択画面

(ダブルクリックで選択)

基礎単価選択

コード	名称	規格・仕様	単位	単価
1K302010	設備共通工事 搬入費 (機)		t	40,975

更新(計算)

工事(A)

単価 × 率 = 素材単価
41,980 × 1.0000 = 41,980

(公開) 摘要(1)
(非公開) 摘要(2)
「摘要(1)」は公開されるため、単価に係る内容(損料等)は入力しないこと。

計算式: 6. 機器搬入代価

コード	名称	規格・仕様	損料係数	数量	単位	係数	日数	単価	金額	仮	GP
1K302010	設備共通工事 搬入費	搬入費 (機)	0.34000000	1.0000	t	1.0000	1	40,975	13,931		1
1KAD000	労務費(とび工)	とび工	1.00000000	1.3900	人	1.0000	1	18,500	24,605		1
K14	雑材料		1.00000000	14.0000	%	1.0000	1	24,605	3,444		

- ① コード(基礎単価コード)を入力して下さい。
 該当単価の名称、規格・仕様・単価が引き込まれます。
 ※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
 ※[コード]欄に計算コードを入力することにより計算することも可能です。入力方法の詳細は「計算コードについて」の項 (P131) を参照して下さい。

- ② 数量を入力して下さい。

- ③ [更新 (計算)] ボタンをクリックすると、データが保存されます。

【計算】

$$[\text{金額}] = [\text{損料係数}] \times [\text{数量}] \times [\text{乗数}] \times [\text{日数}] \times [\text{単価}]$$

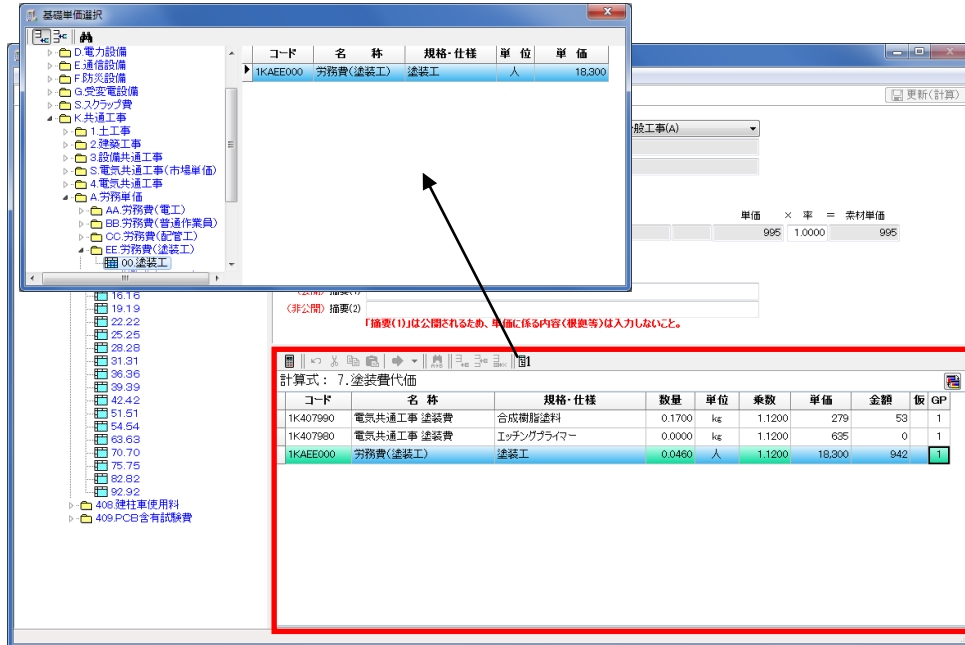
$$[(\text{素材}) \text{単価}] = [\text{金額}] \text{の合計}$$

◆ 塗装費代価入力項目

※シート属性が「7. 塗装費代価」の時

基礎単価選択画面

(ダブルクリックで選択)



- ① コード(基礎単価コード)を入力して下さい。
 該当単価の名称、規格・仕様・単価が引き込まれます。
 ※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
 ※[コード]欄に計算コードを入力することにより計算することも可能です。入力方法の詳細は「計算コードについて」の項 (P131) を参照して下さい。

- ② 数量を入力して下さい。

- ③ [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存されます。

【計算】

$$[\text{金額}] = [\text{数量}] \times [\text{乗数}] \times [\text{単価}]$$

$$[(\text{素材}) \text{単価}] = [\text{金額}] \text{の合計}$$

◆計算コードについて

※配線器具代価表を除く

コード入力部に入力できるコードは、登録済みの単価コード以外に次にあげるものがあります。

標準単価コード 2G441990 単価種別 1-一般工事(A)

名称
規格・仕様
単位

複合(採用)単価 12,500 係数 1.0000 労務係数 1.0000 単価 × 率 = 素材単価
基礎単価コード 11,918 1.0000 11,918

歩掛コード Z14101 雑材率0.05 式03(その他) 歩掛無し 計算式 03

複合単価計算内容 11918*(1+0.05)

(公開) 摘要(1)
(非公開) 摘要(2)
「摘要(1)」は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。

計算式: 2.共通代価

コード	名称	規格・仕様	数量	単位	係数	損率	単価	金額	仮 GP
1DA13AA0	スイッチ スイッチ(3路)	3W15A 300V(素材)	1.0000	個	1.0000	1.0000	170	170	* 1
1DA13BB0	スイッチ スイッチ(3路)	3W15A 位置表示内蔵 10	1.0000	個	1.0000	1.0000	370	370	* 1
1DA13CC0	スイッチ スイッチ(3路)	3W15A 300V(ネーム付)	1.0000	個	1.0000	1.0000	220	220	* 1
#	小計(直前合計)							760	
1DE11KK0	プレート	取付枠	1.0000	枚	1.0000	1.0000	29	29	2
1DE11KK0	プレート	取付枠	1.0000	枚	1.0000	1.0000	29	29	2
1DE11BB0	プレート	大角 2ヶ用	1.0000	枚	1.0000	1.0000	330	330	2
#2K10	雑材料		10.0000	%	1.0000	1.0000	388	388	2
1DA92EE0	スイッチ フル2線式リモコン	スイッチ 3個用(枠共)	1.0000	個	1.0000	1.0000	4,620	4,620	3
1DE11BB0	プレート	大角 2ヶ用	1.0000	枚	1.0000	1.0000	330	330	3
%12	諸雑費		12.0000	%	1.0000	1.0000	330	39	
1DA61110	スイッチ 自動点滅器	3A100V	1.0000	個	1.0000	1.0000	2,470	2,470	4
%50K10	雑材料		5.0000	%	1.0000	1.0000	2,470	123	
T	任意入力単価	マスタに無い単価	1.0000	個	1.0000	1.0000	3,000	3,000	5
1DA91NN0	スイッチ その他スイッチ	白熱灯調光器 500W用	0.0000	個	1.0000	1.0000	3,090	0	5
#5	小計(グループ合計)							3,000	* 5
%WS	雑材料		5.0000	%	1.0000	1.0000	3,000	150	

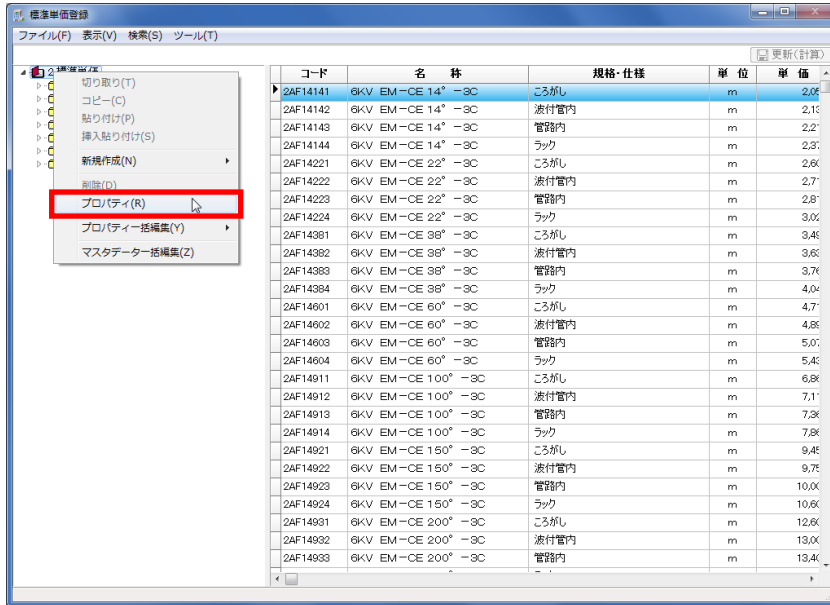
種別	入力例	入力例による結果
直前行掛率	%12	直前行*0.12
直前行掛率	%5%7	直前行*0.05*0.07
直前行掛率	%5	直前行*0.05 : 仮単価とする
直前行までの合計	#	直前行までの合計 : 仮単価とする
グループ合計	#1	全行のうち同一グループの合計 (グループ 1 の合計)
グループ合計に掛率	#1%5	全行のうち同一グループの合計*0.05 (グループ 1 の合計*0.05)
/	/	名称・規格にコメント
T	T	任意入力単価 (更新忘れ防止のため、任意入力単価は極力作成せず、必要な単価は単価マスタに登録すること)

5. 標準単価登録画面 その他の機能について

(1) ルートプロパティ

標準単価マスタの基本設定を行います。

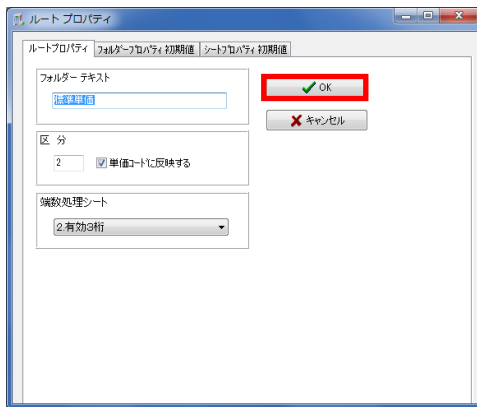
- ① ツリービューの一番上にある赤色のフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。



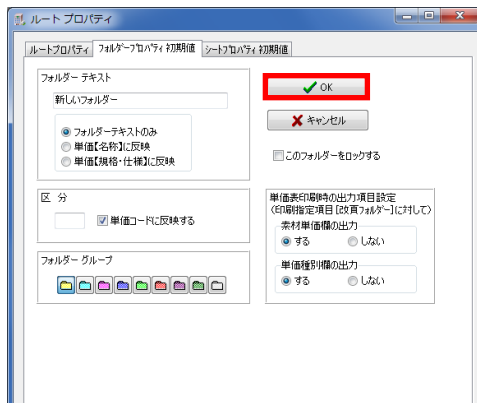
- ② 各種項目を設定の上、[OK]ボタンをクリックして下さい。

※必ず、下の図の通りになるように設定して下さい。

- ◆ ルートプロパティ (ルートフォルダーのプロパティ及び端数処理方法の設定を行う)



- ◆ フォルダープロパティ (新規作成時) 初期値



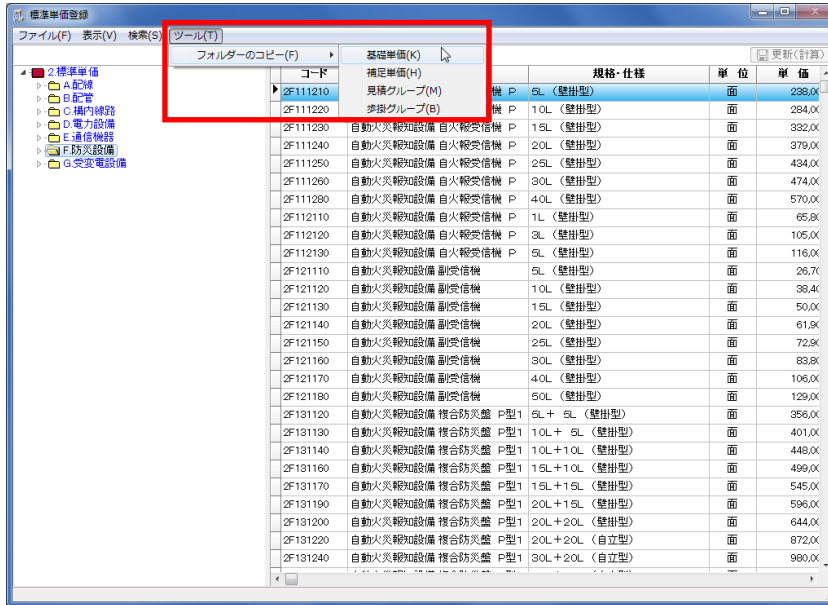
- ◆ シートプロパティ (新規作成時) 初期値



(2) フォルダのコピー ([ツール(T)]メニュー)

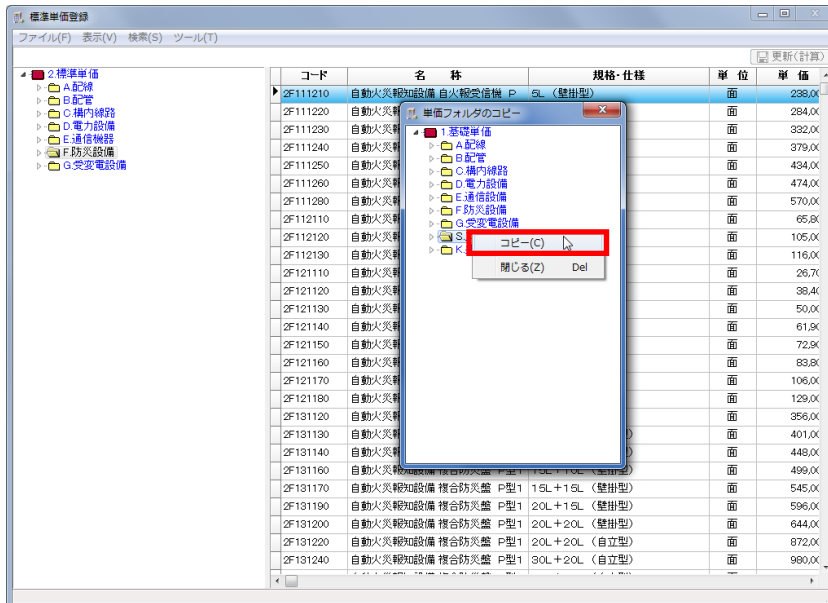
他の単価マスタのフォルダ階層構造（そのフォルダ階層下に含まれるフォルダを全て）をコピーする機能です（フォルダ階層の中の歩掛シートはコピーされません）。

① [ツール(T)] → 「フォルダのコピー(F)」 → [フォルダ階層をコピーしたい単価マスタ名] をクリックすると、フォルダ選択画面が表示されます。

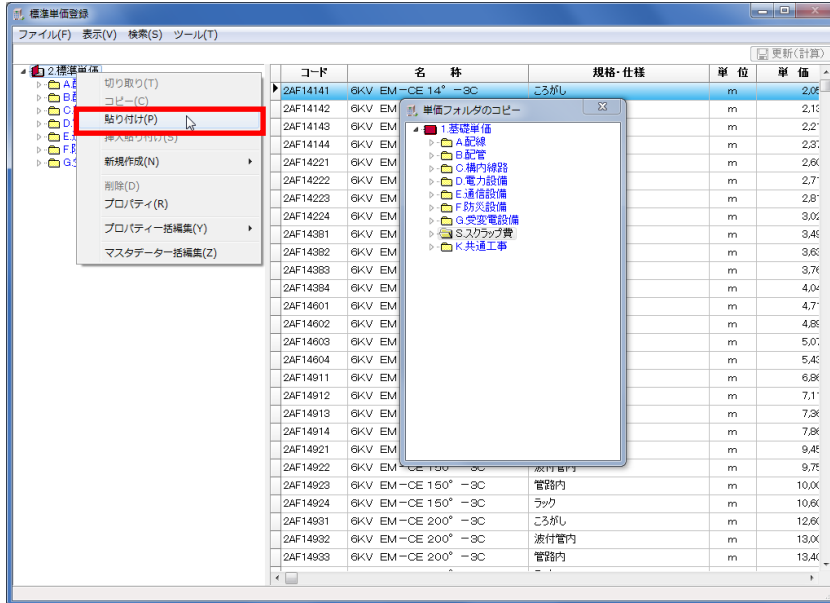


② コピーしたいフォルダを選択し、右クリック → [コピー(C)] をクリックして下さい。
(コピーしたフォルダ情報が記憶されます)

※フォルダ選択画面は貼り付け操作を行うまで閉じないで下さい。



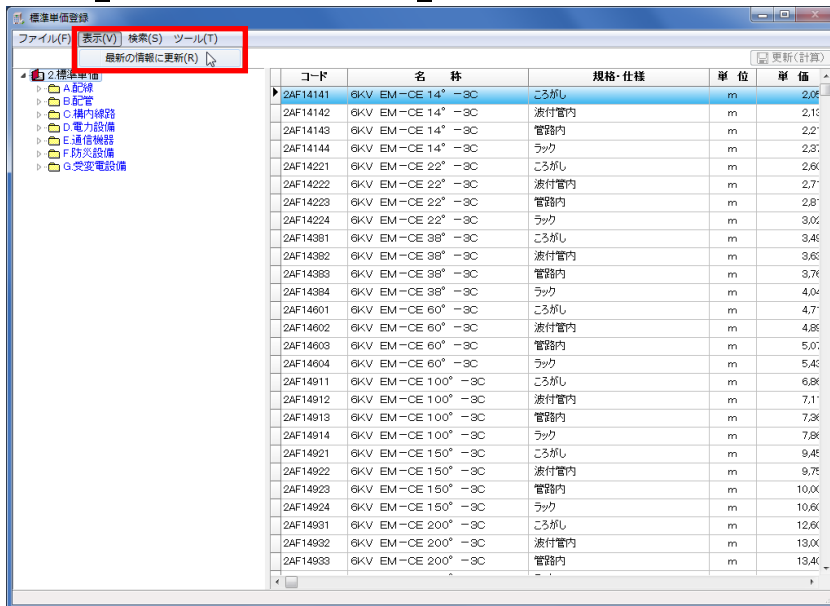
- ③貼り付けを行いたいフォルダー階層を選択し、右クリック→[貼り付け(P)]または[挿入貼り付け(S)]をクリックすると、フォルダー階層の貼り付けが行われます。



(3) 最新の情報に更新 ([表示(V)]メニュー)

マスタデータベースの内容を再読み込みします (特に使用することはありません)。

- ①[表示(V)]→[最新の情報に更新(R)]をクリックして下さい。

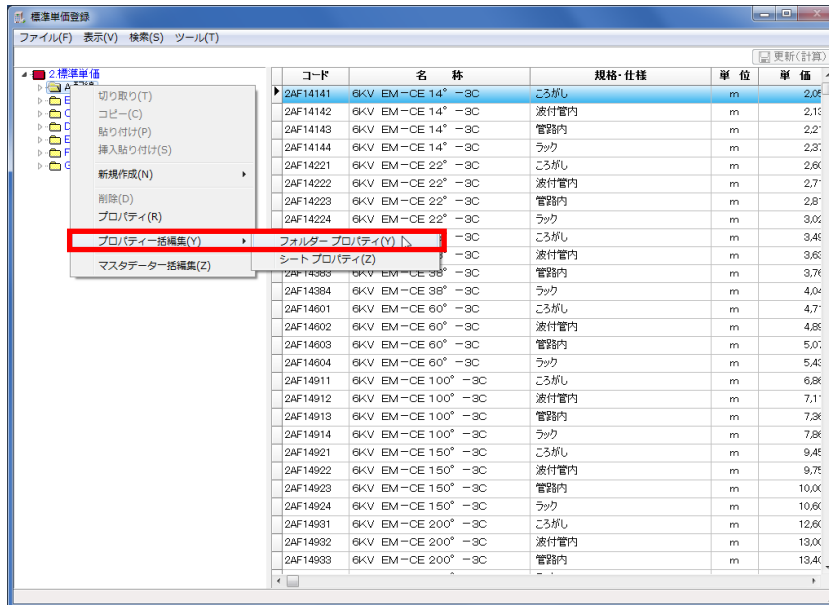


(4) フォルダープロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)

選択したフォルダーの配下にあるフォルダーのプロパティを一括編集します。

※大量のフォルダーが含まれるフォルダーを一度に処理しようとすると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

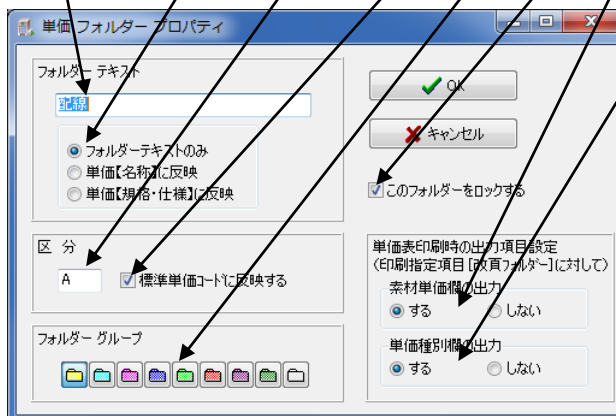
- ①一括編集したいフォルダーを配下に含むフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ一括編集(X)]→[フォルダープロパティ(Y)]をクリックして下さい。



- ②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。



対応項目

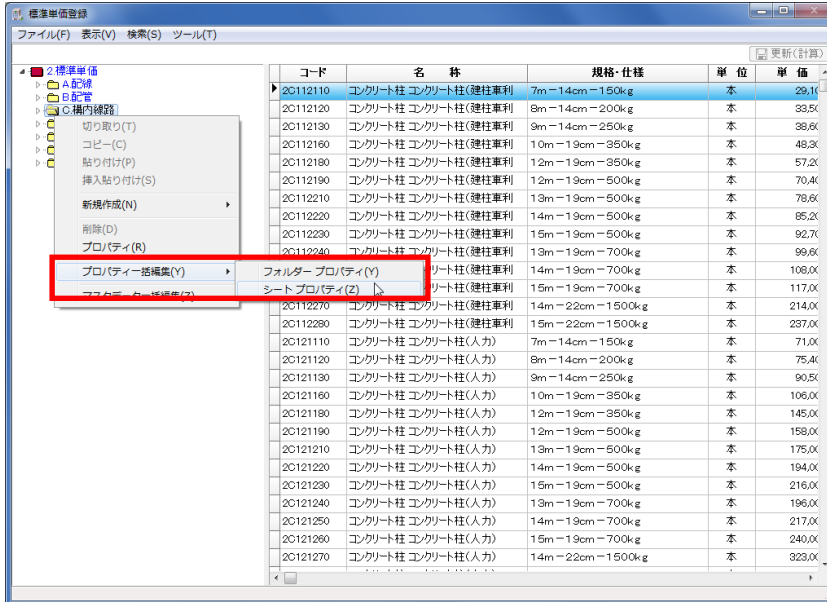


(5) シートプロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)

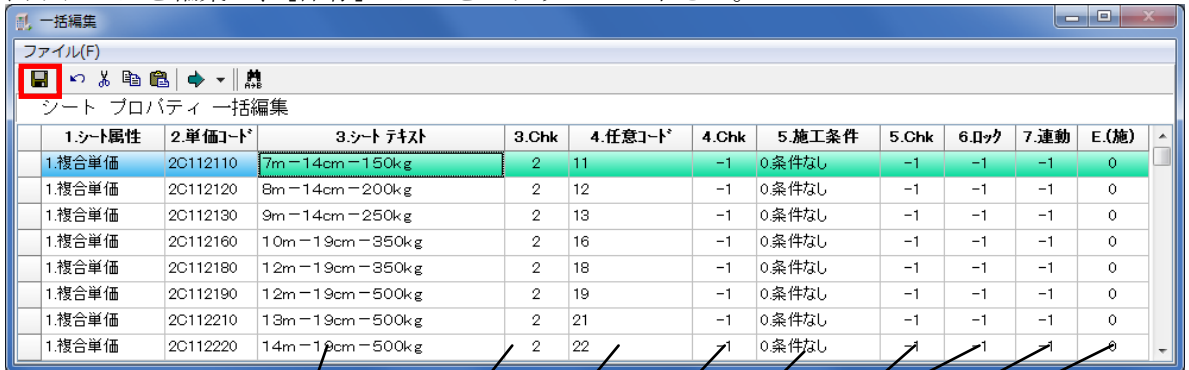
選択したフォルダーの配下にあるシートのプロパティを一括編集します。

※大量のシートが含まれるフォルダーを一度に処理しようとするると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

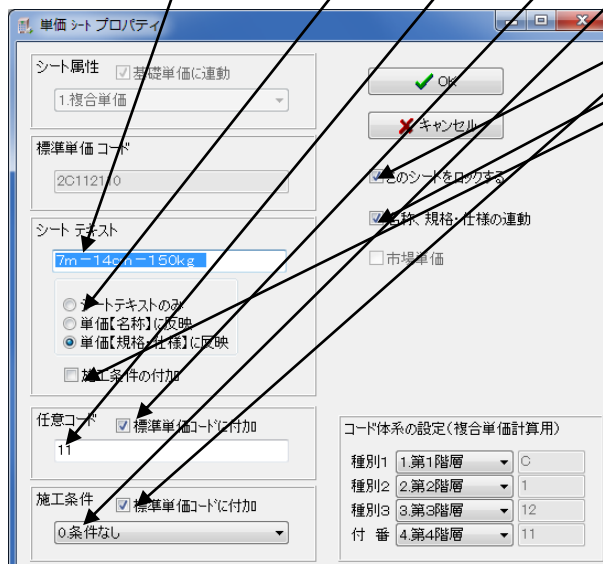
- ①一括編集したいシートを配下を含むフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ一括編集(X)]→[シートプロパティ(Z)]をクリックして下さい。



- ②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。



対応項目

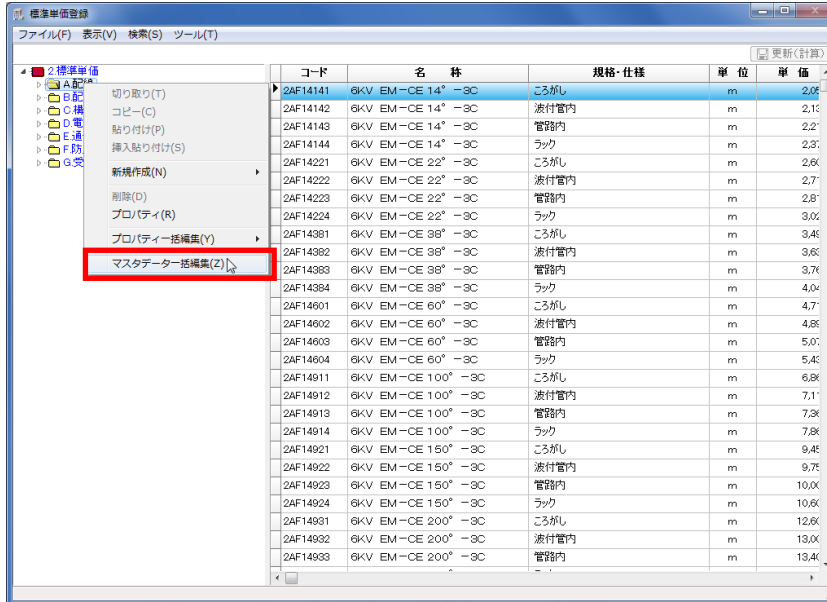


(6) マスタデータ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)

選択したフォルダーの配下にある単価を一括編集します。

※大量のシートが含まれるフォルダーを一度に処理しようとするると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

①一括編集したいシートを配下を含むフォルダーを選択し、右クリック→[マスタデータ一括編集(Y)]をクリックして下さい。

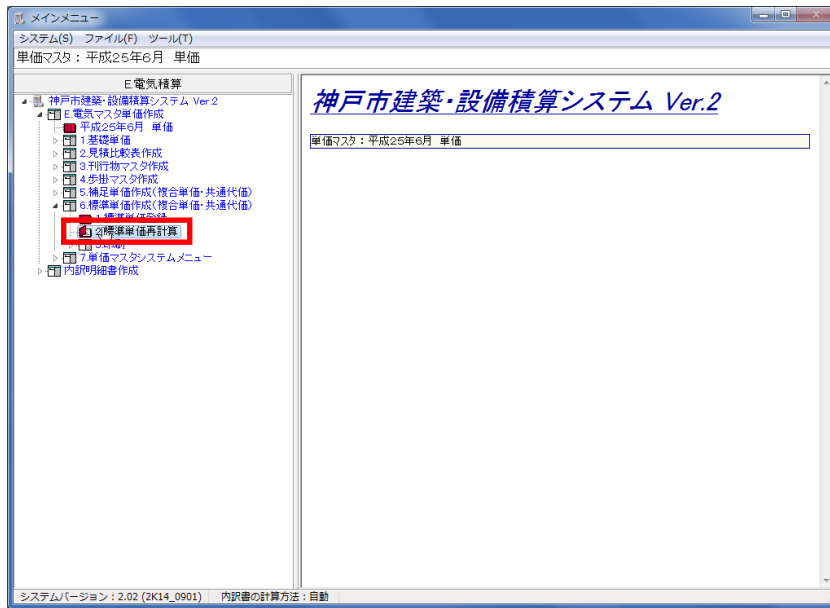


②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。



B. 標準単価再計算

- ①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[6. 標準単価]→[2. 標準単価再計算]をダブルクリックすると、標準単価再計算画面が表示されます。



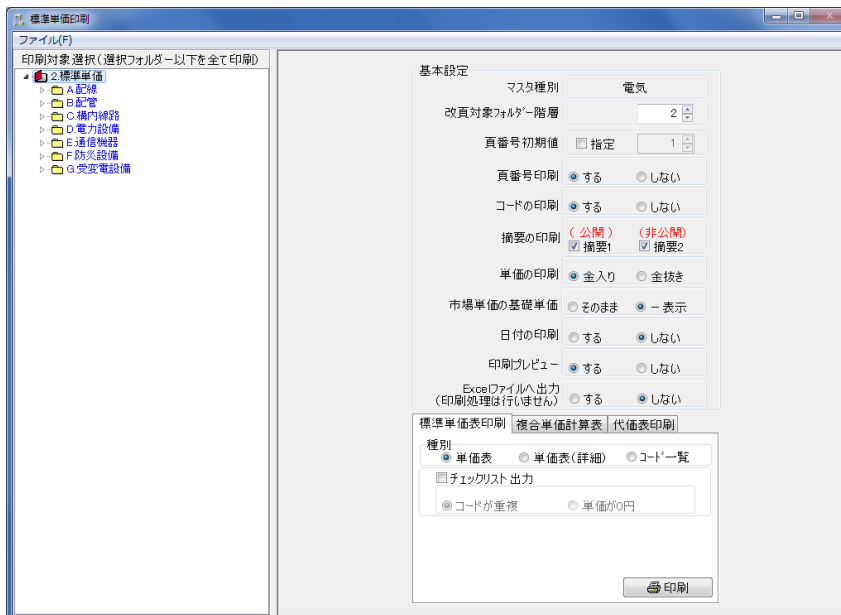
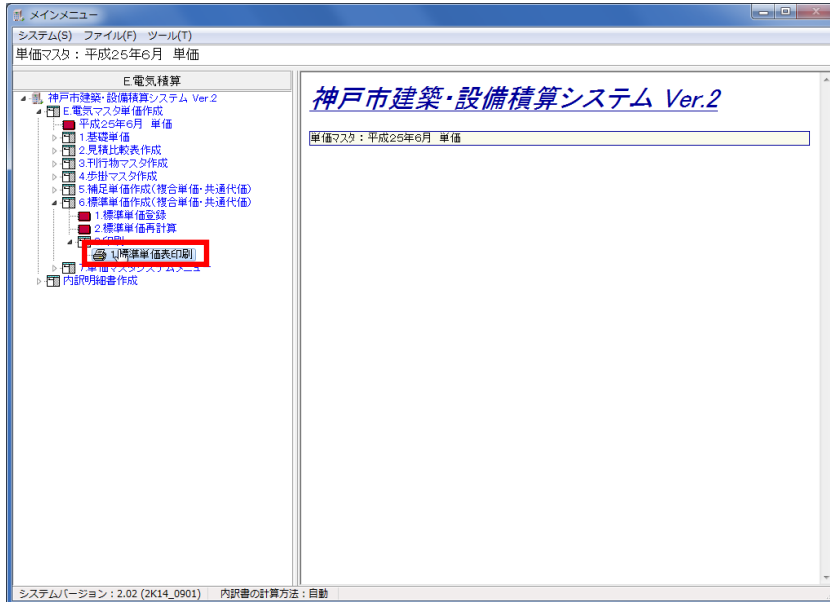
- ②[OK]ボタンをクリックすると、標準単価情報の再計算を開始します。
※再計算には時間がかかります。再計算が終わるまでお待ち下さい。



C. 標準単価表印刷

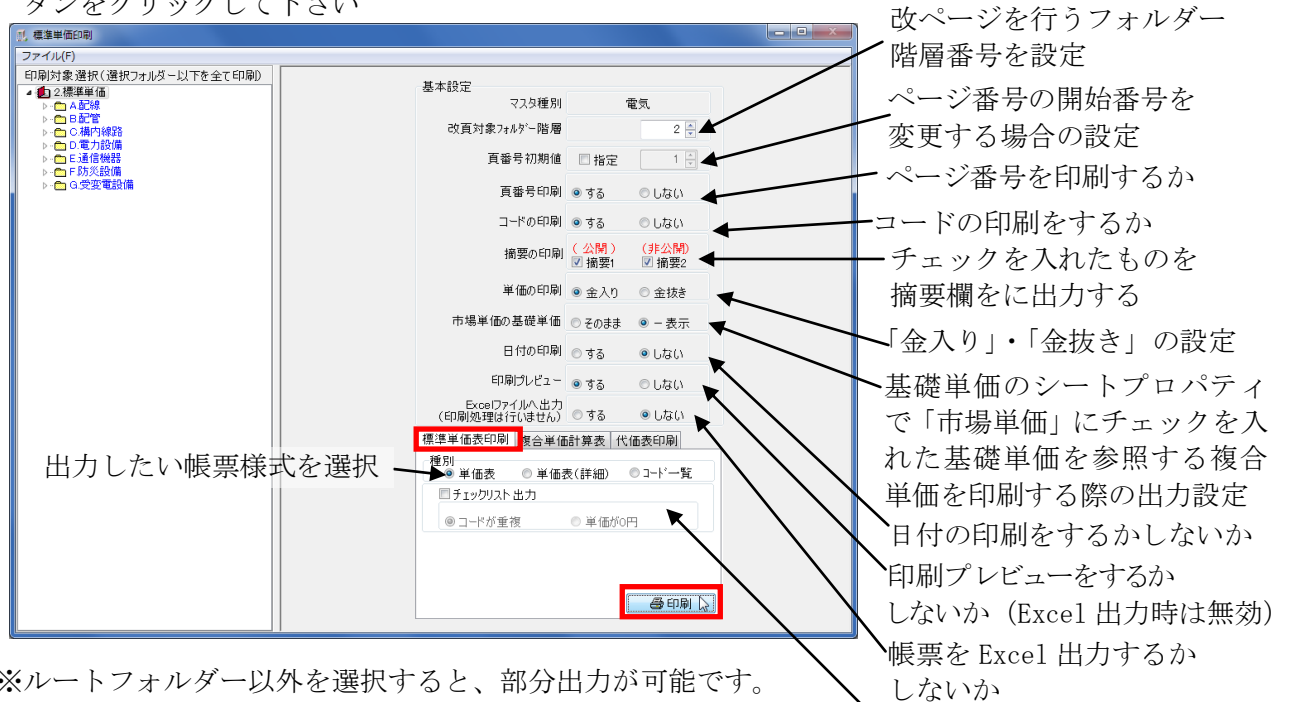
(1) 標準単価印刷画面の表示

- ①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[6. 標準単価]→[3. 印刷]→[1. 標準単価表印刷]をダブルクリックすると、標準単価印刷画面が表示されます。



(2) 標準単価表の印刷

- ① 「標準単価印刷」のタブを選択して下さい。
- ② 各種項目を設定し、[印刷]（「Excel ファイルへ出力」を「する」にしている場合は[出力]）ボタンをクリックして下さい

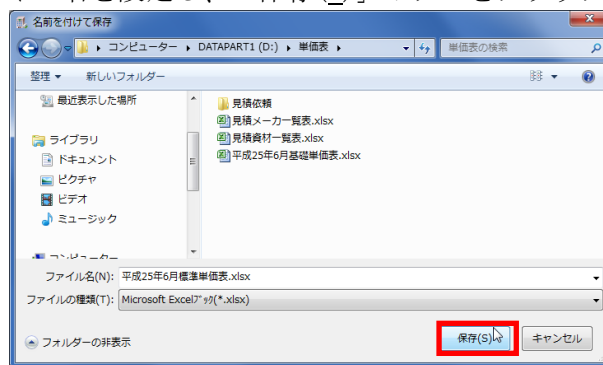


※ルートフォルダ以外を選択すると、部分出力が可能です。

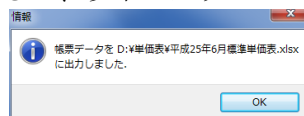
※思い通りの出力結果になるように、設定項目を適宜変更して下さい。チェックリストを出力する場合の設定

- ③ 「印刷プレビュー」を「する」にした場合は、Excel の画面で印刷プレビュー画面が表示されます。Excel の印刷プレビューからの印刷操作方法で印刷を行って下さい。

「Excel 出力」を「する」に設定した場合は、以下の画面が表示されます。保存先及びファイル名を設定し、「保存(S)」ボタンをクリックして下さい。



帳票の Excel 出力が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



※Excel で開く際は、上図のメッセージを閉じてから開いて下さい。

(3) 複合単価計算表の印刷

- ① 「複合単価計算表」のタブを選択して下さい。
- ② 各種項目を設定し、[印刷]（「Excel ファイルへ出力」を「する」にしている場合は[出力]）ボタンをクリックして下さい

改ページを行うフォルダ階層番号を設定

ページ番号の開始番号を変更する場合の設定

ページ番号を印刷するか

コードの印刷をするか

チェックを入れたものを摘要欄に出力する

「金入り」・「金抜き」の設定

複合単価計算表印刷時は無視されます (標準単価表印刷時の設定)

日付の印刷をするかしないか

印刷プレビューをするか

しないか (Excel 出力時は無効)

帳票を Excel 出力するかしないか

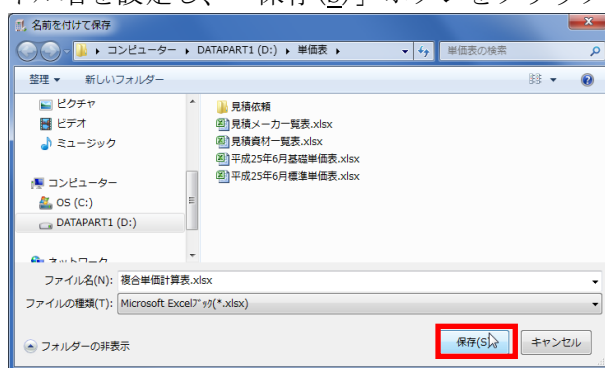
出力したい種別を選択

※ルートフォルダ以外を選択すると、部分出力が可能です。

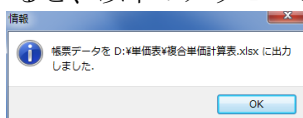
※思い通りの出力結果になるように、設定項目を適宜変更して下さい。チェックリストを出力する場合の設定

- ③ 「印刷プレビュー」を「する」にした場合は、Excel の画面で印刷プレビュー画面が表示されます。Excel の印刷プレビューからの印刷操作方法で印刷を行って下さい。

「Excel 出力」を「する」に設定した場合は、以下の画面が表示されます。保存先及びファイル名を設定し、「保存(S)」ボタンをクリックして下さい。



帳票の Excel 出力が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



※Excel で開く際は、上図のメッセージを閉じてから開いて下さい。

(4) 標準単価 代価表の印刷

- ① 「代価表印刷」 のタブを選択して下さい。
- ② 各種項目を設定し、[印刷]（「Excel ファイルへ出力」を「する」にしている場合は[出力]） ボタンをクリックして下さい

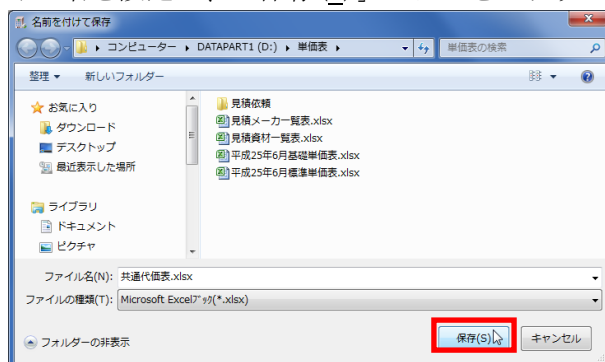
改ページを行うフォルダー階層番号を設定
ページ番号の開始番号を変更する場合の設定
ページ番号を印刷するか
コードの印刷をするか
チェックを入れたものを摘要欄に出力する
「金入り」・「金抜き」の設定
代価表印刷時は無視されます（標準単価表印刷時の設定）
日付の印刷をするかしないか
印刷プレビューをするかしないか（Excel 出力時は無効）
帳票を Excel 出力するかしないか

出力したい帳票様式を選択（電気単価マスタは「共通代価」のみが対象）

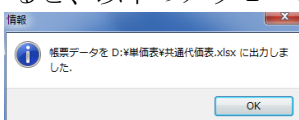
※ルートフォルダー以外を選択すると、部分出力が可能です。
※思い通りの出力結果になるように、設定項目を適宜変更して下さい。

- ③ 「印刷プレビュー」を「する」にした場合は、Excel の画面で印刷プレビュー画面が表示されません。Excel の印刷プレビューからの印刷操作方法で印刷を行って下さい。

「Excel 出力」を「する」に設定した場合は、以下の画面が表示されます。保存先及びファイル名を設定し、「保存(S)」ボタンをクリックして下さい。



帳票の Excel 出力が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



※Excel で開く際は、上図のメッセージを閉じてから開いて下さい。

帳票イメージ

標準単価表

電気 平成25年6月 単価

標準単価表

平成 年 月 日
1頁

A. 配線>F. 高圧エコ・ケーブル

標準単価コード	名称・仕様	単位	素材単価	標準単価	単価種別	備考
2AF14141	6KV EM-CE 14°-3C ころがし	m	1,309	2,050	1.一般工事(A)	
2AF14142	6KV EM-CE 14°-3C 波付管内	m	1,309	2,130	1.一般工事(A)	
2AF14143	6KV EM-CE 14°-3C 管路内	m	1,309	2,210	1.一般工事(A)	
2AF14144	6KV EM-CE 14°-3C ラック	m	1,309	2,370	1.一般工事(A)	
2AF14221	6KV EM-CE 22°-3C ころがし	m	1,640	2,600	1.一般工事(A)	
2AF14222	6KV EM-CE 22°-3C 波付管内	m	1,640	2,710	1.一般工事(A)	
2AF14223	6KV EM-CE 22°-3C 管路内	m	1,640	2,810	1.一般工事(A)	
2AF14224	6KV EM-CE 22°-3C ラック	m	1,640	3,020	1.一般工事(A)	
2AF14381	6KV EM-CE 38°-3C ころがし	m	2,224	3,490	1.一般工事(A)	
2AF14382	6KV EM-CE 38°-3C 波付管内	m	2,224	3,630	1.一般工事(A)	
2AF14383	6KV EM-CE 38°-3C 管路内	m	2,224	3,760	1.一般工事(A)	
2AF14384	6KV EM-CE 38°-3C ラック	m	2,224	4,040	1.一般工事(A)	
2AF14601	6KV EM-CE 60°-3C ころがし	m	3,024	4,710	1.一般工事(A)	
2AF14602	6KV EM-CE 60°-3C 波付管内	m	3,024	4,890	1.一般工事(A)	
2AF14603	6KV EM-CE 60°-3C 管路内	m	3,024	5,070	1.一般工事(A)	
2AF14604	6KV EM-CE 60°-3C ラック	m	3,024	5,430	1.一般工事(A)	
2AF14911	6KV EM-CE 100°-3C ころがし	m	4,511	6,860	1.一般工事(A)	
2AF14912	6KV EM-CE 100°-3C 波付管内	m	4,511	7,110	1.一般工事(A)	
2AF14913	6KV EM-CE 100°-3C 管路内	m	4,511	7,360	1.一般工事(A)	
2AF14914	6KV EM-CE 100°-3C ラック	m	4,511	7,860	1.一般工事(A)	
2AF14921	6KV EM-CE 150°-3C ころがし	m	6,502	9,450	1.一般工事(A)	
2AF14922	6KV EM-CE 150°-3C 波付管内	m	6,502	9,750	1.一般工事(A)	
2AF14923	6KV EM-CE 150°-3C 管路内	m	6,502	10,000	1.一般工事(A)	
2AF14924	6KV EM-CE 150°-3C ラック	m	6,502	10,600	1.一般工事(A)	
2AF14931	6KV EM-CE 200°-3C ころがし	m	8,945	12,600	1.一般工事(A)	
2AF14932	6KV EM-CE 200°-3C 波付管内	m	8,945	13,000	1.一般工事(A)	
2AF14933	6KV EM-CE 200°-3C 管路内	m	8,945	13,400	1.一般工事(A)	
2AF14934	6KV EM-CE 200°-3C ラック	m	8,945	14,100	1.一般工事(A)	
2AF16221	6KV EM-CET 22° ころがし	m	1,751	2,720	1.一般工事(A)	
2AF16222	6KV EM-CET 22° 波付管内	m	1,751	2,830	1.一般工事(A)	
2AF16223	6KV EM-CET 22° 管路内	m	1,751	2,930	1.一般工事(A)	
2AF16224	6KV EM-CET 22° ラック	m	1,751	3,140	1.一般工事(A)	
2AF16381	6KV EM-CET 38° ころがし	m	2,346	3,620	1.一般工事(A)	
2AF16382	6KV EM-CET 38° 波付管内	m	2,346	3,760	1.一般工事(A)	
2AF16383	6KV EM-CET 38° 管路内	m	2,346	3,900	1.一般工事(A)	
2AF16384	6KV EM-CET 38° ラック	m	2,346	4,170	1.一般工事(A)	
2AF16601	6KV EM-CET 60° ころがし	m	3,132	4,830	1.一般工事(A)	
2AF16602	6KV EM-CET 60° 波付管内	m	3,132	5,010	1.一般工事(A)	

標準単価表 (詳細)

電気 平成25年6月 単価

標準単価表

平成 年 月 日
1頁

A. 配線 > F. 高圧エコ・ケーブル

種別	標準単価コード	名称	仕様	施工条件	単位	素材単価	標準単価	単価種別	歩掛コード	乗率	労務係数	シート属性	摘要
6KV EM-CE	2AF14141	6KV EM-CE 14°-3C	ころがし	1.ころがし	m	1,309	2,050	1-般工事	111202	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14142	6KV EM-CE 14°-3C	波付管内	2.波付管内	m	1,309	2,130	1-般工事	111202	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14143	6KV EM-CE 14°-3C	管路内	3.管路内	m	1,309	2,210	1-般工事	111202	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14144	6KV EM-CE 14°-3C	ラック	4.ラック	m	1,309	2,370	1-般工事	111202	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14221	6KV EM-CE 22°-3C	ころがし	1.ころがし	m	1,640	2,600	1-般工事	111203	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14222	6KV EM-CE 22°-3C	波付管内	2.波付管内	m	1,640	2,710	1-般工事	111203	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14223	6KV EM-CE 22°-3C	管路内	3.管路内	m	1,640	2,810	1-般工事	111203	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14224	6KV EM-CE 22°-3C	ラック	4.ラック	m	1,640	3,020	1-般工事	111203	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14381	6KV EM-CE 38°-3C	ころがし	1.ころがし	m	2,224	3,490	1-般工事	111205	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14382	6KV EM-CE 38°-3C	波付管内	2.波付管内	m	2,224	3,630	1-般工事	111205	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14383	6KV EM-CE 38°-3C	管路内	3.管路内	m	2,224	3,760	1-般工事	111205	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14384	6KV EM-CE 38°-3C	ラック	4.ラック	m	2,224	4,040	1-般工事	111205	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14601	6KV EM-CE 60°-3C	ころがし	1.ころがし	m	3,024	4,710	1-般工事	111207	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14602	6KV EM-CE 60°-3C	波付管内	2.波付管内	m	3,024	4,890	1-般工事	111207	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14603	6KV EM-CE 60°-3C	管路内	3.管路内	m	3,024	5,070	1-般工事	111207	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14604	6KV EM-CE 60°-3C	ラック	4.ラック	m	3,024	5,430	1-般工事	111207	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14911	6KV EM-CE 100°-3C	ころがし	1.ころがし	m	4,511	6,880	1-般工事	111209	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14912	6KV EM-CE 100°-3C	波付管内	2.波付管内	m	4,511	7,110	1-般工事	111209	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14913	6KV EM-CE 100°-3C	管路内	3.管路内	m	4,511	7,360	1-般工事	111209	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14914	6KV EM-CE 100°-3C	ラック	4.ラック	m	4,511	7,860	1-般工事	111209	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14921	6KV EM-CE 150°-3C	ころがし	1.ころがし	m	6,502	9,450	1-般工事	111211	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14922	6KV EM-CE 150°-3C	波付管内	2.波付管内	m	6,502	9,750	1-般工事	111211	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14923	6KV EM-CE 150°-3C	管路内	3.管路内	m	6,502	10,000	1-般工事	111211	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14924	6KV EM-CE 150°-3C	ラック	4.ラック	m	6,502	10,600	1-般工事	111211	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14931	6KV EM-CE 200°-3C	ころがし	1.ころがし	m	8,945	12,600	1-般工事	111212	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14932	6KV EM-CE 200°-3C	波付管内	2.波付管内	m	8,945	13,000	1-般工事	111212	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14933	6KV EM-CE 200°-3C	管路内	3.管路内	m	8,945	13,400	1-般工事	111212	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CE	2AF14934	6KV EM-CE 200°-3C	ラック	4.ラック	m	8,945	14,100	1-般工事	111212	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CET	2AF16221	6KV EM-CET 22°	ころがし	1.ころがし	m	1,751	2,720	1-般工事	111203	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CET	2AF16222	6KV EM-CET 22°	波付管内	2.波付管内	m	1,751	2,830	1-般工事	111203	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CET	2AF16223	6KV EM-CET 22°	管路内	3.管路内	m	1,751	2,930	1-般工事	111203	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CET	2AF16224	6KV EM-CET 22°	ラック	4.ラック	m	1,751	3,140	1-般工事	111203	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CET	2AF16381	6KV EM-CET 38°	ころがし	1.ころがし	m	2,346	3,620	1-般工事	111205	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CET	2AF16382	6KV EM-CET 38°	波付管内	2.波付管内	m	2,346	3,760	1-般工事	111205	1.0000	1.0000	1.複合単価	
6KV EM-CET	2AF16383	6KV EM-CET 38°	管路内	3.管路内	m	2,346	3,900	1-般工事	111205	1.0000	1.0000	1.複合単価	

神戸市

標準単価マスタ コード一覧表

電気 平成25年6月 単価

標準単価マスタ コード一覧表

平成 年 月 日
1頁

標準単価	階層	コード	名称	規格	施工条件	シート属性
2.標準単価						
└ A.配線						
└└ F.高圧エコ・ケーブル						
└└└ 14.6KV EM-CE						
└└└└ 14.14°-3C						
└└└└└ ころがし		2AF14141	6KV EM-CE 14°-3C	ころがし	1.ころがし	1.複合単価
└└└└└ 波付管内		2AF14142	6KV EM-CE 14°-3C	波付管内	2.波付管内	1.複合単価
└└└└└ 管路内		2AF14143	6KV EM-CE 14°-3C	管路内	3.管路内	1.複合単価
└└└└└ ラック		2AF14144	6KV EM-CE 14°-3C	ラック	4.ラック	1.複合単価
└└└└ 22.22°-3C						
└└└└└ ころがし		2AF14221	6KV EM-CE 22°-3C	ころがし	1.ころがし	1.複合単価
└└└└└ 波付管内		2AF14222	6KV EM-CE 22°-3C	波付管内	2.波付管内	1.複合単価
└└└└└ 管路内		2AF14223	6KV EM-CE 22°-3C	管路内	3.管路内	1.複合単価
└└└└└ ラック		2AF14224	6KV EM-CE 22°-3C	ラック	4.ラック	1.複合単価
└└└└ 38.38°-3C						
└└└└└ ころがし		2AF14381	6KV EM-CE 38°-3C	ころがし	1.ころがし	1.複合単価
└└└└└ 波付管内		2AF14382	6KV EM-CE 38°-3C	波付管内	2.波付管内	1.複合単価
└└└└└ 管路内		2AF14383	6KV EM-CE 38°-3C	管路内	3.管路内	1.複合単価
└└└└└ ラック		2AF14384	6KV EM-CE 38°-3C	ラック	4.ラック	1.複合単価
└└└└ 60.60°-3C						
└└└└└ ころがし		2AF14601	6KV EM-CE 60°-3C	ころがし	1.ころがし	1.複合単価
└└└└└ 波付管内		2AF14602	6KV EM-CE 60°-3C	波付管内	2.波付管内	1.複合単価
└└└└└ 管路内		2AF14603	6KV EM-CE 60°-3C	管路内	3.管路内	1.複合単価
└└└└└ ラック		2AF14604	6KV EM-CE 60°-3C	ラック	4.ラック	1.複合単価
└└└└ 91.100°-3C						
└└└└└ ころがし		2AF14911	6KV EM-CE 100°-3C	ころがし	1.ころがし	1.複合単価
└└└└└ 波付管内		2AF14912	6KV EM-CE 100°-3C	波付管内	2.波付管内	1.複合単価
└└└└└ 管路内		2AF14913	6KV EM-CE 100°-3C	管路内	3.管路内	1.複合単価
└└└└└ ラック		2AF14914	6KV EM-CE 100°-3C	ラック	4.ラック	1.複合単価
└└└└ 92.150°-3C						
└└└└└ ころがし		2AF14921	6KV EM-CE 150°-3C	ころがし	1.ころがし	1.複合単価
└└└└└ 波付管内		2AF14922	6KV EM-CE 150°-3C	波付管内	2.波付管内	1.複合単価
└└└└└ 管路内		2AF14923	6KV EM-CE 150°-3C	管路内	3.管路内	1.複合単価
└└└└└ ラック		2AF14924	6KV EM-CE 150°-3C	ラック	4.ラック	1.複合単価
└└└└ 93.200°-3C						
└└└└└ ころがし		2AF14931	6KV EM-CE 200°-3C	ころがし	1.ころがし	1.複合単価
└└└└└ 波付管内		2AF14932	6KV EM-CE 200°-3C	波付管内	2.波付管内	1.複合単価
└└└└└ 管路内		2AF14933	6KV EM-CE 200°-3C	管路内	3.管路内	1.複合単価
└└└└└ ラック		2AF14934	6KV EM-CE 200°-3C	ラック	4.ラック	1.複合単価
└└└└ 16.6KV EM-CET						
└└└└└ 22.22°						
└└└└└└ ころがし		2AF16221	6KV EM-CET 22°	ころがし	1.ころがし	1.複合単価
└└└└└└ 波付管内		2AF16222	6KV EM-CET 22°	波付管内	2.波付管内	1.複合単価
└└└└└└ 管路内		2AF16223	6KV EM-CET 22°	管路内	3.管路内	1.複合単価

神戸市

標準単価チェックリスト

※「単価が0円」の場合も同じ様式です

電気 平成25年6月 単価

標準単価チェックリスト(コードが重複)

平成 年 月 日
1頁

フォルダ	標準単価コード	名称	仕様	施工条件	単位	素材単価	標準単価	単価種別	歩掛コード	乗率	労務係数	シート属性
A 配線 > F 高圧エコ・ケーブル > 14.6KV EM-CE > 92 150'-3C	2AF14921	6KV EM-CE 150'-3C ころがし		1.ころがし	m	6,502	9,450	1-般工事(A)	111211	1,0000	1,0000	1.複合単価
A 配線 > F 高圧エコ・ケーブル > 14.6KV EM-CE > 92 150'-3C	2AF14922	6KV EM-CE 150'-3C 波付管内		2.波付管内	m	6,502	9,750	1-般工事(A)	111211	1,0000	1,0000	1.複合単価
A 配線 > F 高圧エコ・ケーブル > 14.6KV EM-CE > 92 150'-3C	2AF14923	6KV EM-CE 150'-3C 管路内		3.管路内	m	6,502	10,000	1-般工事(A)	111211	1,0000	1,0000	1.複合単価
A 配線 > F 高圧エコ・ケーブル > 14.6KV EM-CE > 92 150'-3C	2AF14924	6KV EM-CE 150'-3C ラック		4.ラック	m	6,502	10,600	1-般工事(A)	111211	1,0000	1,0000	1.複合単価
A 配線 > F 高圧エコ・ケーブル > 14.6KV EM-CE > 93 200'-3C	2AF14921	6KV EM-CE 200'-3C ころがし		1.ころがし	m	8,945	12,600	1-般工事(A)	111212	1,0000	1,0000	1.複合単価
A 配線 > F 高圧エコ・ケーブル > 14.6KV EM-CE > 93 200'-3C	2AF14922	6KV EM-CE 200'-3C 波付管内		2.波付管内	m	8,945	13,000	1-般工事(A)	111212	1,0000	1,0000	1.複合単価
A 配線 > F 高圧エコ・ケーブル > 14.6KV EM-CE > 93 200'-3C	2AF14923	6KV EM-CE 200'-3C 管路内		3.管路内	m	8,945	13,400	1-般工事(A)	111212	1,0000	1,0000	1.複合単価
A 配線 > F 高圧エコ・ケーブル > 14.6KV EM-CE > 93 200'-3C	2AF14924	6KV EM-CE 200'-3C ラック		4.ラック	m	8,945	14,100	1-般工事(A)	111212	1,0000	1,0000	1.複合単価

神戸市

複合単価計算表

電気 平成25年6月 単価

複合単価計算表

平成 年 月 日
1頁

A 配線>F 高圧エコ・ケーブル

種別	複合コード	基礎単価コード	歩掛コード	複合単価	計算結果	式	計 算 式	シート属性
6KV EM-CE	2AF14141	1AF14140	111202	2,050,0000	2,057,0000	01	1*[1309+1.05*(1+0.03)+[17900+0.04+0.8*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14142	1AF14140	111202	2,130,0000	2,137,0000	01	1*[1309+1.05*(1+0.03)+[17900+0.04+0.9*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14143	1AF14140	111202	2,210,0000	2,217,0000	01	1*[1309+1.05*(1+0.03)+[17900+0.04+1*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14144	1AF14140	111202	2,370,0000	2,377,0000	01	1*[1309+1.05*(1+0.03)+[17900+0.04+1.2*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14221	1AF14220	111203	2,600,0000	2,607,0000	01	1*[1640+1.05*(1+0.03)+[17900+0.052+0.8*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14222	1AF14220	111203	2,710,0000	2,717,0000	01	1*[1640+1.05*(1+0.03)+[17900+0.052+0.9*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14223	1AF14220	111203	2,810,0000	2,816,0000	01	1*[1640+1.05*(1+0.03)+[17900+0.052+1*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14224	1AF14220	111203	3,020,0000	3,024,0000	01	1*[1640+1.05*(1+0.03)+[17900+0.052+1.2*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14381	1AF14380	111205	3,490,0000	3,495,0000	01	1*[2224+1.05*(1+0.03)+[17900+0.068+0.8*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14382	1AF14380	111205	3,630,0000	3,632,0000	01	1*[2224+1.05*(1+0.03)+[17900+0.068+0.9*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14383	1AF14380	111205	3,760,0000	3,768,0000	01	1*[2224+1.05*(1+0.03)+[17900+0.068+1*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14384	1AF14380	111205	4,040,0000	4,041,0000	01	1*[2224+1.05*(1+0.03)+[17900+0.068+1.2*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14601	1AF14600	111207	4,710,0000	4,713,0000	01	1*[3024+1.05*(1+0.03)+[17900+0.09+0.8*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14602	1AF14600	111207	4,890,0000	4,894,0000	01	1*[3024+1.05*(1+0.03)+[17900+0.09+0.9*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14603	1AF14600	111207	5,070,0000	5,074,0000	01	1*[3024+1.05*(1+0.03)+[17900+0.09+1*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14604	1AF14600	111207	5,430,0000	5,435,0000	01	1*[3024+1.05*(1+0.03)+[17900+0.09+1.2*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14911	1AF14910	111209	6,860,0000	6,867,0000	01	1*[4511+1.05*(1+0.03)+[17900+0.124+0.8*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14912	1AF14910	111209	7,110,0000	7,116,0000	01	1*[4511+1.05*(1+0.03)+[17900+0.124+0.9*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14913	1AF14910	111209	7,360,0000	7,364,0000	01	1*[4511+1.05*(1+0.03)+[17900+0.124+1*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14914	1AF14910	111209	7,860,0000	7,861,0000	01	1*[4511+1.05*(1+0.03)+[17900+0.124+1.2*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14921	1AF14920	111211	9,450,0000	9,453,0000	01	1*[6502+1.05*(1+0.03)+[17900+0.151+0.8*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14922	1AF14920	111211	9,750,0000	9,756,0000	01	1*[6502+1.05*(1+0.03)+[17900+0.151+0.9*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14923	1AF14920	111211	10,000,0000	10,059,0000	01	1*[6502+1.05*(1+0.03)+[17900+0.151+1*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14924	1AF14920	111211	10,600,0000	10,664,0000	01	1*[6502+1.05*(1+0.03)+[17900+0.151+1.2*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14931	1AF14930	111212	12,600,0000	12,689,0000	01	1*[8945+1.05*(1+0.03)+[17900+0.188+0.8*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14932	1AF14930	111212	13,000,0000	13,066,0000	01	1*[8945+1.05*(1+0.03)+[17900+0.188+0.9*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14933	1AF14930	111212	13,400,0000	13,443,0000	01	1*[8945+1.05*(1+0.03)+[17900+0.188+1*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CE	2AF14934	1AF14930	111212	14,100,0000	14,196,0000	01	1*[8945+1.05*(1+0.03)+[17900+0.188+1.2*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CET	2AF16221	1AF16220	111203	2,720,0000	2,727,0000	01	1*[1751+1.05*(1+0.03)+[17900+0.052+0.8*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CET	2AF16222	1AF16220	111203	2,830,0000	2,831,0000	01	1*[1751+1.05*(1+0.03)+[17900+0.052+0.9*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CET	2AF16223	1AF16220	111203	2,930,0000	2,936,0000	01	1*[1751+1.05*(1+0.03)+[17900+0.052+1*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CET	2AF16224	1AF16220	111203	3,140,0000	3,144,0000	01	1*[1751+1.05*(1+0.03)+[17900+0.052+1.2*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CET	2AF16381	1AF16380	111205	3,620,0000	3,627,0000	01	1*[2346+1.05*(1+0.03)+[17900+0.068+0.8*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CET	2AF16382	1AF16380	111205	3,760,0000	3,764,0000	01	1*[2346+1.05*(1+0.03)+[17900+0.068+0.9*(1+0.12)+1]]	1.複合単価
6KV EM-CET	2AF16383	1AF16380	111205	3,900,0000	3,900,0000	01	1*[2346+1.05*(1+0.03)+[17900+0.068+1*(1+0.12)+1]]	1.複合単価

神戸市

接地工事代価表

電気 平成25年6月 単価

接地工事代価表

平成 年 月 日
1頁

標準単価コード： 3K402010

名称 電気共通工事 接地工事
規格・仕様 E A (材工、埋設標共)

単位 箇所
単価種別 1. 一般工事 (A)

コード	材料・作業種別		数量	単位	係数	単価	合計	仮	GP
1K402990	電気共通工事 接地工事	接地銅板(EA)900×1.5t	1.0000	枚	1.0000	10.400	10.400		1
%2	雑材料		2.0000	%	1.0000	10.400		208	
1KAAA000	労務費(電工)	電工	1.5300	人	1.0000	16.300		24.939	2
1KABB000	労務費(普通作業員)	普通工	3.5800	人	1.0000	14.400		51.552	2
1K402980	電気共通工事 接地工事	接地銅板 埋設標	1.0000	個	1.0000	970		970	2
%2	雑材料		2.0000	%	1.0000	970		19	
1KAAA000	労務費(電工)	電工	0.5130	人	1.0000	16.300		8.361	2
#2%12	雑材料		12.0000	%	1.0000	85.822		10.298	2
計							106.747		

神戸市

機器搬入費代価表

電気 平成14年6月 単価

機器搬入代価表

平成 年 月 日
1頁

標準単価コード： 3K302

名称 搬入費
規格・仕様 :

単位： 式
単価種別： 1. 一般工事 (A)

コード	作業種別		損料係数	係数	数量	日数	合計	仮	GP
1K302010	設備共通工事 搬入費	搬入費 (機)	0.34000000	1.0000	1.0000	1	13.931		1
1KAA1000	労務費(とび工)	とび工	1.00000000	1.0000	1.3300	1	24.605		1
%14	雑材料		1.00000000	1.0000	14.0000	1	3.444		
計							41.980		

神戸市

塗装費代価表

電気 平成 2 5 年 6 月 単価

塗装費代価表

平成 年 月 日
1頁

標準単価コード： 3K407000

名称： 電気共通工事 塗装費
規格・仕様： 鉄部 1 m²

単 位： m²
単価種別： 1. 一般工事 (A)

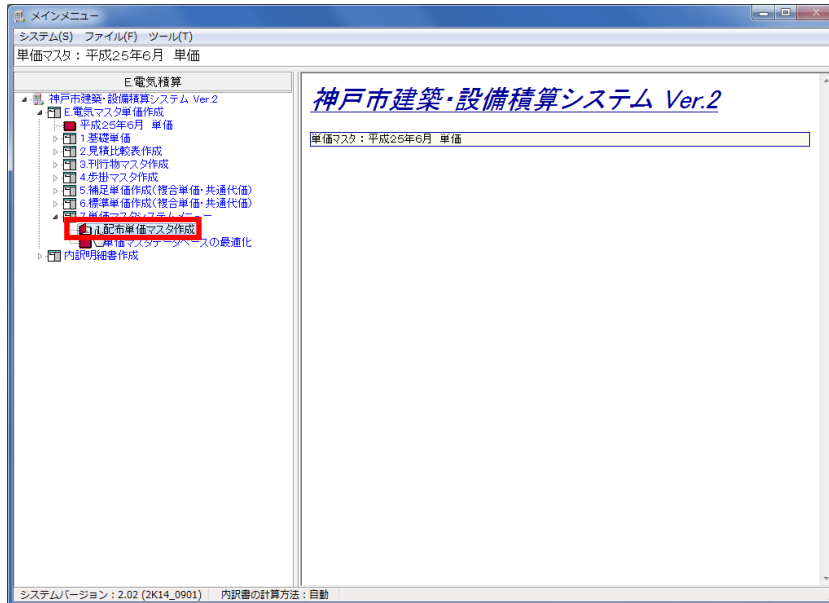
複単コード	材 料 ・ 作 業 種 別		数量	単位	係数	単価	合計	仮	GP
1K407990	電気共通工事 塗装費	合成樹脂塗料	0.1700	kg	1.1200	291	55		
1K407980	電気共通工事 塗装費	エッチングプライマー	0.0000	kg	1.1120	685	0		
1KAE000	労務費 (塗装工)	塗装工	0.0460	人	1.1200	17,700	911		
%10	雑材料		10.0000	%	1.0000	911	91		
		計					1,057		

神戸市

§ 11. 配布単価の作成

1. 配布単価作成・金抜き処理画面の表示

- ①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[7. 単価マスタシステムメニュー]→[2. 配布単価マスタ作成]をクリックすると、配布単価作成・金抜き処理画面が表示されます。



2. 配布単価作成手順

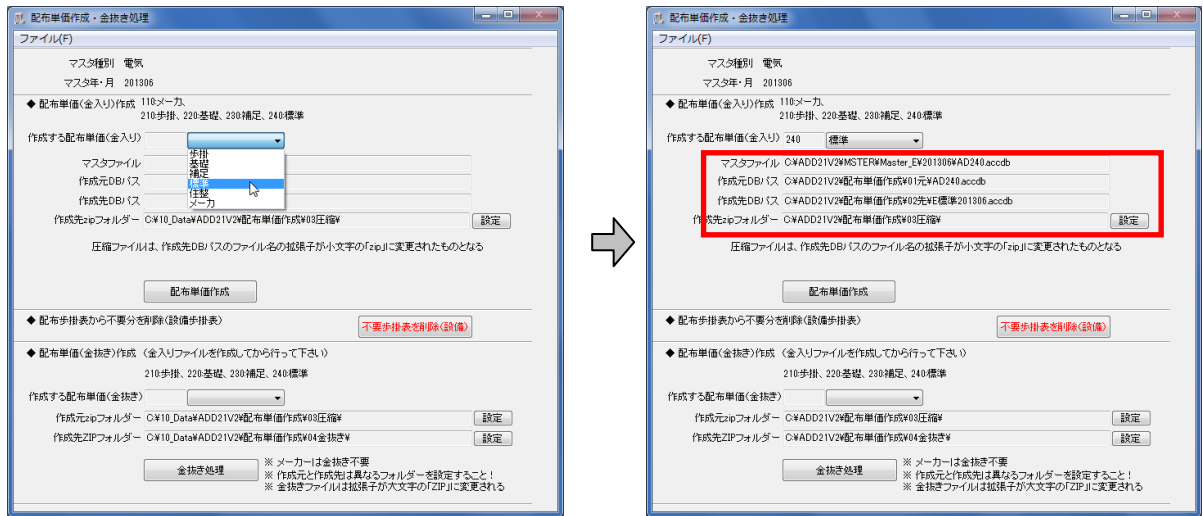
配布単価作成・金抜き処理画面にて、以下の操作を行って下さい。

※以降、当システムがCドライブの中のADD21V2フォルダー（C:¥ADD21V2¥）にセットアップされている前提で解説いたします。Dドライブや別のフォルダーにインストールした場合などは適宜読み替えて下さい。（DドライブのADD21V2フォルダーの場合→D:¥ADD21V2¥）

①[作成する配布単価（金入り）]の項目を選択して下さい。

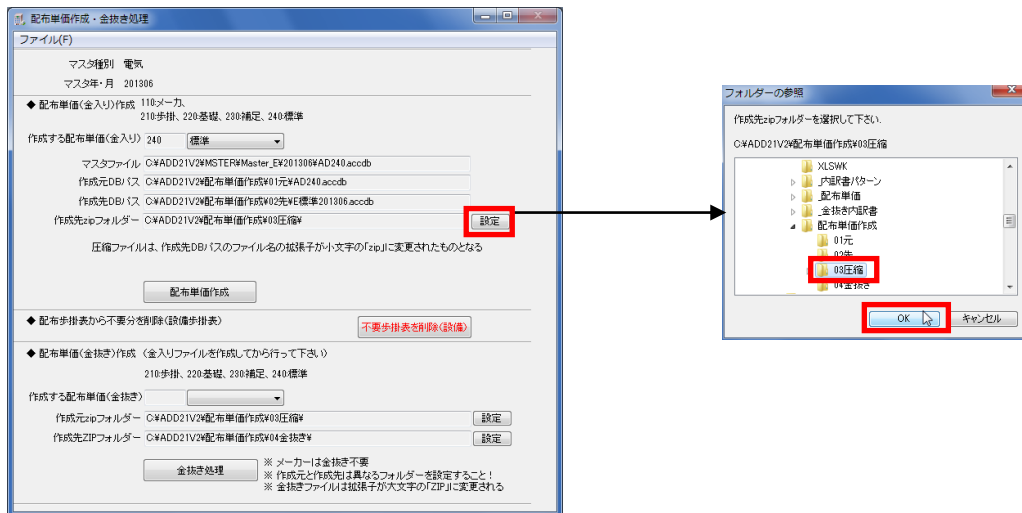
選択すると、「マスタファイル」・「作成元 DB パス」・「作成先 DB パス」の設定が自動的に行われます。

※以降、一部を除き標準単価を作成する方法にて解説します。他の単価も操作方法は同様です。

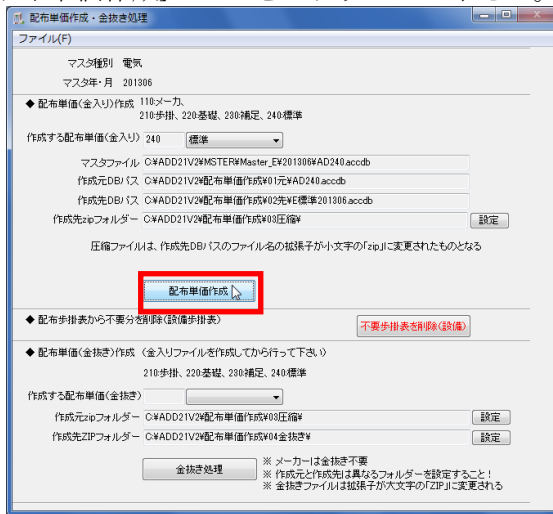


②作成先 zip フォルダーを「C:¥ADD21V2¥配布単価作成¥03 圧縮¥」に設定されていることを確認して下さい。設定が異なる場合は、「設定」ボタンをクリックし、[Cドライブ]→[ADD21V2]フォルダー→[配布単価作成]フォルダー→[03 圧縮]フォルダーを選択し、[OK]ボタンをクリックして再設定して下さい。

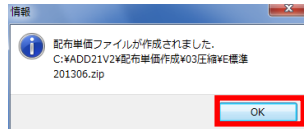
（一度設定すると次回からは設定する必要はありません。）



③ [配布単価作成] ボタンをクリックして下さい。



④ 以下のメッセージが表示されましたら、作成先 ZIP フォルダーに設定されているフォルダー (C:\¥ADD21V2¥配布単価作成¥03 圧縮¥) に金入りの配布単価ファイルが作成されています。

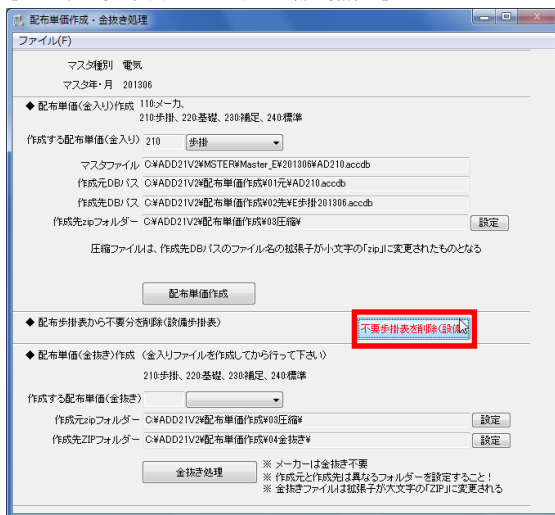


※ 歩掛作成時に不要な歩掛表のデータを削除する場合は、⑤へ進んで下さい。

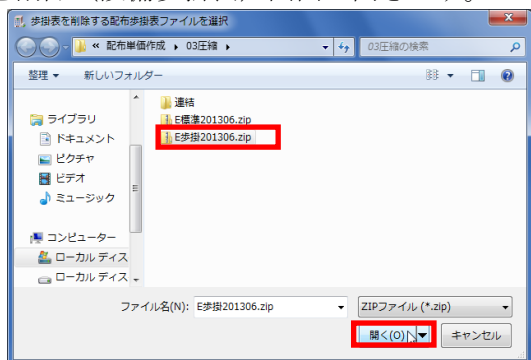
不要な歩掛表のデータを削除しない場合は、⑩ (金入り配布単価ファイルを元に金抜き配布単価ファイルの作成を行う) へ進んで下さい。

⑤ 歩掛の金入り配布歩掛表ファイルから不要な歩掛表のデータを削除します。

[不要な歩掛表を削除 (設備)] ボタンをクリックして下さい。

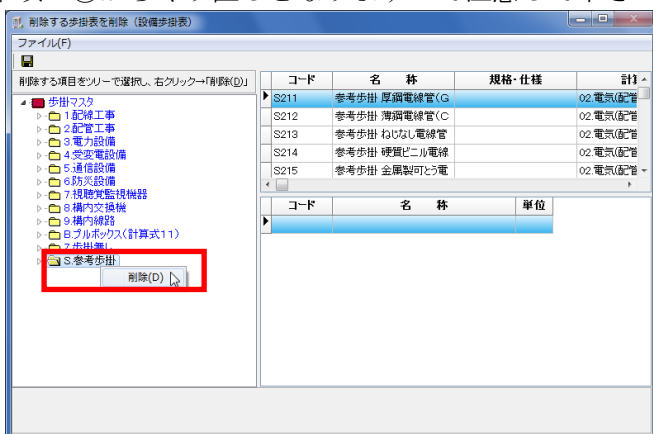


- ⑥ ④で作成した配布単価ファイルを選択し、[開く(O)]ボタンをクリックすると、削除する歩掛表を削除（設備歩掛表）画面が開きます。



- ⑦削除する歩掛表を削除（設備歩掛表）画面で、参考歩掛が格納されているフォルダーを選択し、右クリック→[削除(D)]をクリックすると、参考歩掛が格納されているフォルダーが削除されます。

※ 下記のイメージは解説のための参考です。必要なものを削除して保存すると元に戻せなくなり、本項の①からやり直しとなりますので注意して下さい。

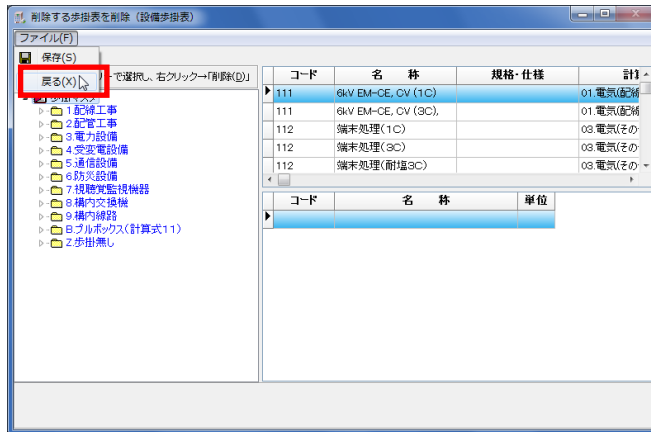


- ⑧[保存]ボタンをクリックして下さい。

※保存作業を行わないと、配布歩掛表ファイルに結果が反映されません。



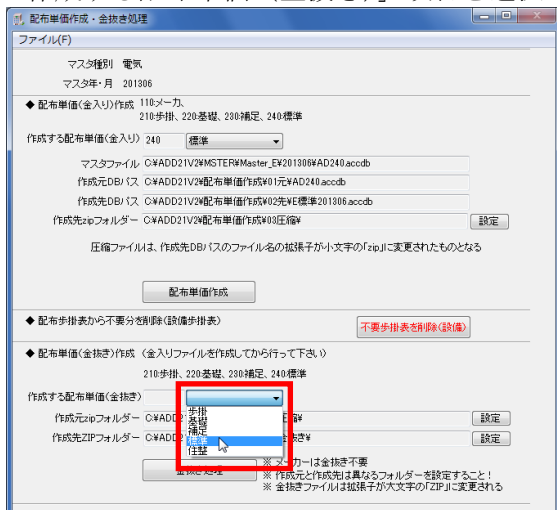
⑨ [ファイル(F)]→[戻る(X)]をクリックし、配布単価作成・金抜き処理画面に戻って下さい。



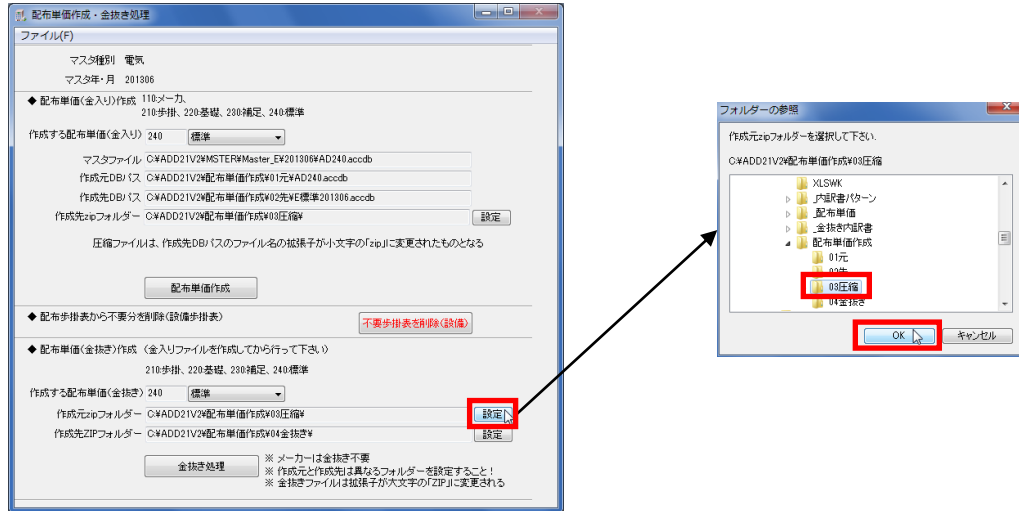
※この工程までで金入り配布単価ファイルの作成が完了しました。この金入り配布単価ファイルを元に金抜き配布単価ファイルを作成します。

金入り配布単価ファイルを元に金抜き配布単価ファイルを作成します。

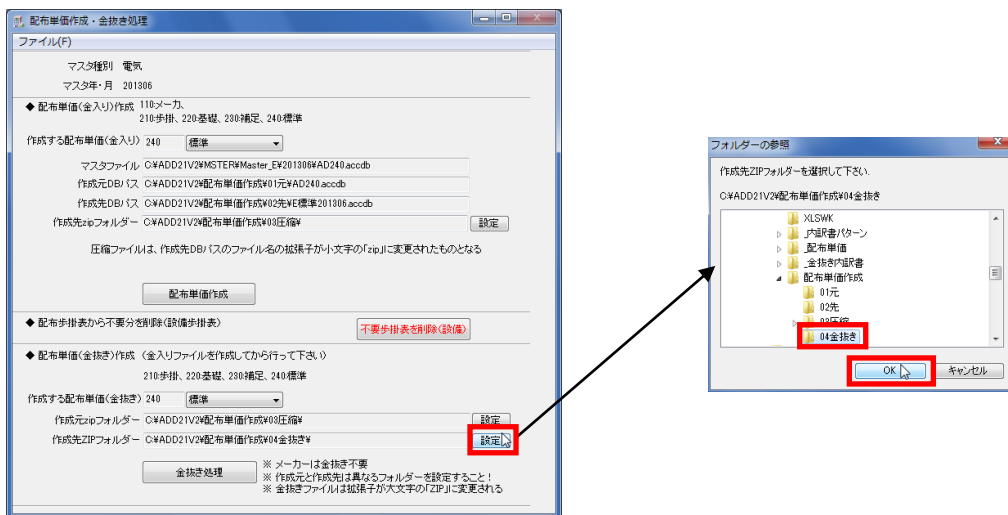
⑩ 「作成する配布単価 (金抜き)」項目を選択して下さい。



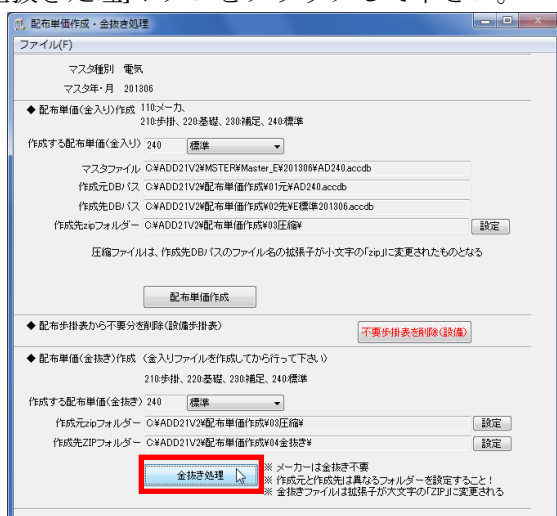
- ①作成元 ZIP フォルダを「C:¥ADD21V2¥配布単価作成¥03 圧縮¥」に設定されていることを確認して下さい (②で設定したフォルダと同じ場所になるように)。設定が異なる場合は、[設定] ボタンをクリックし、[C ドライブ]→[ADD21V2 フォルダ]→[配布単価作成フォルダ]→[03 圧縮フォルダ]を選択し、[OK] ボタンをクリックして再設定して下さい。
(一度設定すると次回からは設定する必要はありません。)



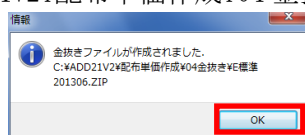
- ②作成先 ZIP フォルダを「C:¥ADD21V2¥配布単価作成¥04 金抜き¥」に設定されていることを確認して下さい。設定が異なる場合は、「設定」ボタンをクリックし、[C ドライブ]→[ADD21V2] フォルダ→[配布単価作成] フォルダ→[04 金抜き] フォルダを選択し、[OK] ボタンをクリックして再設定して下さい。
(一度設定すると次回からは設定する必要はありません。)



⑬[金抜き処理]ボタンをクリックして下さい。



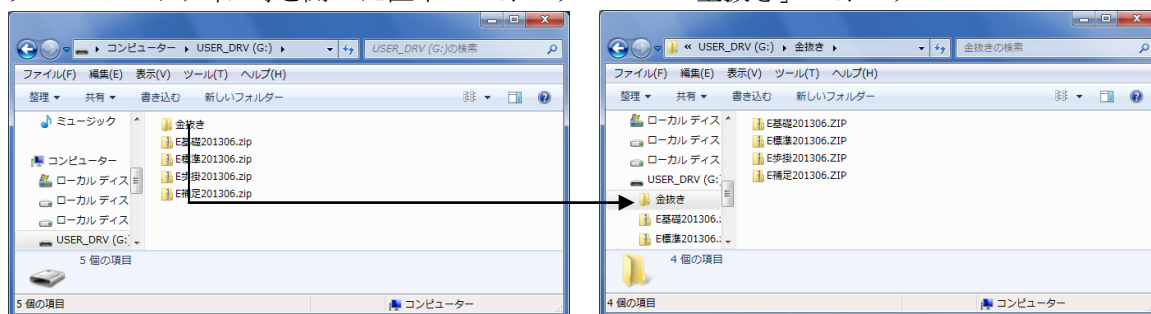
⑭以下のメッセージが表示されましたら、作成先 ZIP フォルダーに設定されているフォルダー (C:\¥ADD21V2¥配布単価作成¥04 金抜き¥) に金抜きの配布単価ファイルが作成されています。



⑮金入り配布単価ファイル・金抜き配布単価ファイルをそれぞれ CD-R や USB フラッシュメモリー等のリムーバブルメディアに保存し、各部署へ配布して下さい。

※「金抜き配布単価ファイル」と「金入り配布単価ファイル」のファイル名は同じものになります。リムーバブルメディア等に保存する場合は、リムーバブルメディア等を開いた直下に金入り配布単価ファイルを保存し、リムーバブルメディア等を開いた直下に「金抜き」フォルダーを作成し、その中に金抜き配布単価ファイルを保存して下さい。

リムーバブルメディア等を開いた直下のフォルダー 「金抜き」フォルダー



※「金抜き配布単価ファイル」と「金入り配布単価ファイル」を間違えないように注意して下さい。
 ※「金抜き配布単価ファイル」は「金入り配布単価ファイル」よりもファイルサイズが小さくなります。
 ※配布単価ファイルのファイル名は絶対に変更しないで下さい。積算システムで読み込みできなくなります。

§ 12. 単価マスターデータベースの最適化

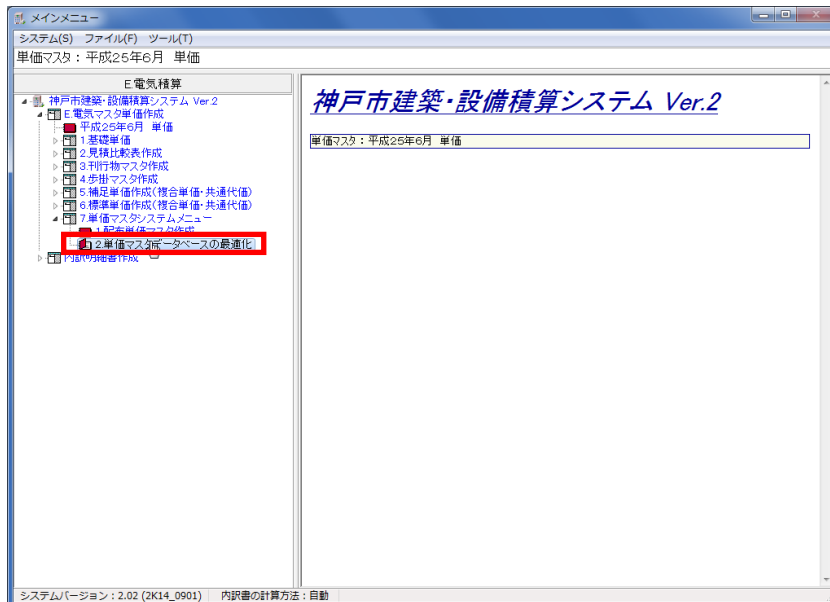
単価マスターデータベースは追加・編集・削除を行うと、どんどんファイル容量が大きくなり、肥大化します。(Access データベースの仕様により、変更・削除前の不要なデータを、使用者が見えない場所に持たせるため。)

ファイルの肥大化を防止してデータの破損を防ぐため、単価マスタに大きな変更を行ったときや、何度も再計算を行った時は、単価マスターデータベースの最適化を行って下さい。

※万一、データベースが破損してエラーメッセージが表示された時などにも、単価マスターデータベースの最適化処理を行うことにより、正常な状態に復旧できる場合もあります。

1. マスタデータベース最適化手順

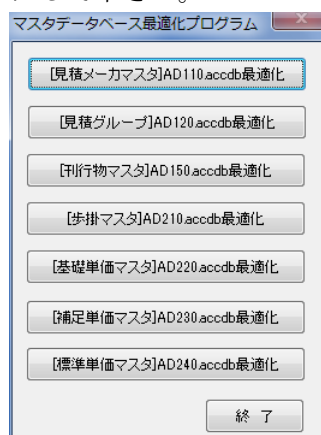
- ①メインメニューの[E. 電気マスタ単価作成]→[8. 単価マスタシステムメニュー]→[2. 単価マスタデータベースの最適化]をクリックすると、マスタデータベース最適化画面プログラム画面が表示されます。



- ②最適化を行いたいマスタのボタンをクリックすると最適化処理が行われます。

※どのマスタから最適化処理を行っていただいても支障ありません。

※万一、データベースが破損してエラーメッセージが表示された場合は、該当するマスタデータのボタンをクリックして下さい。



§ 13. バージョン 1.XX 形式配布単価ファイルの変換

積算システムバージョン 1.XX 形式の配布単価ファイルは、バージョン 2 ではそのまま利用することは出来ないため、変換プログラムにて変換を行います。

【注意】

誤配布防止のため、配布単価ファイルの変換作業時は、作業中の配布単価ファイルが金入りか金抜きかを確実に把握しておいて下さい。

1. バージョン 1.XX 形式配布単価ファイルの変換手順

①単価作成システム及び積算システムを起動している場合は、終了して下さい。

②バージョン 1.XX 形式の配布単価ファイルを変換先とは異なる場所の任意のフォルダーに予め格納しておいて下さい。
(本解説では、バージョン 1.XX 形式の配布単価ファイルは C ドライブ内の「配布単価変換」フォルダー内の「バージョン 1」フォルダー内に格納しているものとします。なお、バージョン 1.XX 形式の配布単価ファイルは、CD-R 等に記録してあっても問題ありません。)

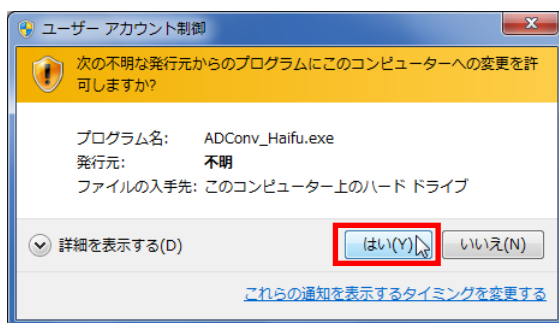
③「内訳書ファイルの変換」ショートカットアイコンをダブルクリックして下さい。

(ショートカットアイコンは、デスクトップまたはスタートメニュー→すべてのプログラム→神戸市建築・設備積算システム Ver. 2 にあります。)

※Windows Vista 以降の動作環境の場合、「配布単価ファイルの変換」プログラムのショートカットアイコンに「互換モードの設定」が必要です。〈本書 P4〜〉を参照して下さい。

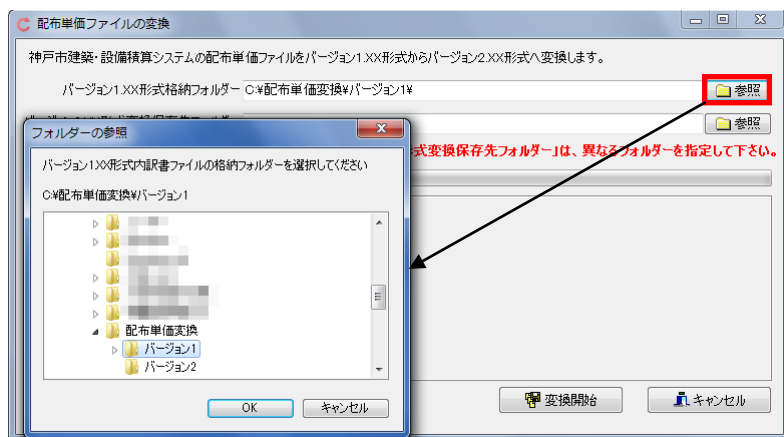


④Windows Vista 以降の OS 環境の場合、互換性設定を行っているため、ユーザー アカウント制御画面が表示されますので、「はい(Y)」ボタンをクリックして下さい。
(環境設定の状態により表示されない場合もあります。)



⑤バージョン 1. XX 形式内訳書ファイルが格納されているフォルダーを設定して下さい。

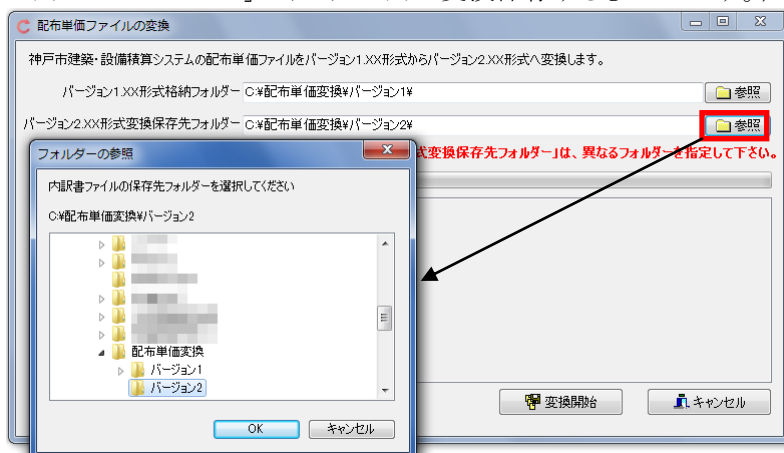
[参照] ボタンをクリックするとフォルダーの参照画面が表示されますので、正しいフォルダーを選択して下さい。



⑥バージョン 2.XX 形式内訳書ファイル変換保存先フォルダーを設定して下さい。

[参照] ボタンをクリックするとフォルダーの参照画面が表示されますので、正しいフォルダーを選択して下さい。

(本解説では、バージョン 2.XX 形式変換保存先フォルダーは、Cドライブ内の「配布単価変換」フォルダー内の「バージョン 2」フォルダー内へ変換保存するものとします。)

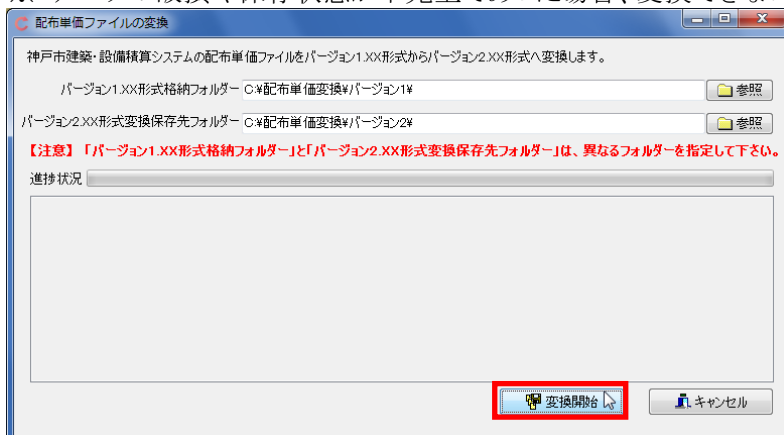


⑦[変換開始]ボタンをクリックすると、変換処理を開始します。

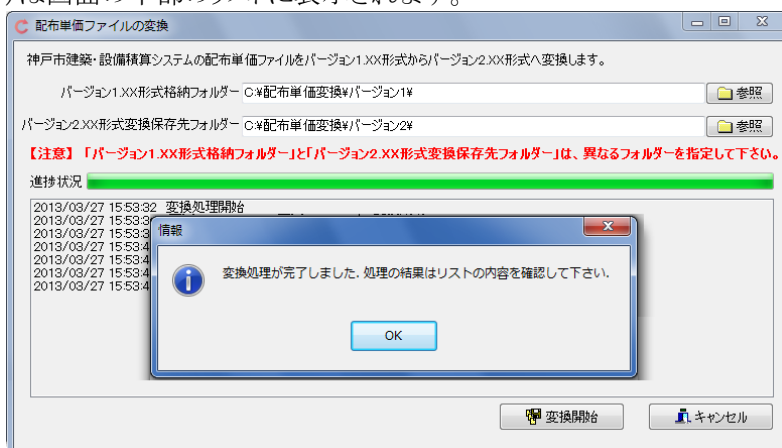
進捗状況や変換結果が画面下部に表示されますので終了するまでしばらくお待ち下さい。

※ バージョン 1. XX 形式の配布単価ファイルが複数ある場合、一括変換できます。

※ データの破損や保存状態が不完全であった場合、変換できない場合があります。



⑧変換処理が完了すると、メッセージが表示されます。変換処理結果の詳細(変換成功・変換失敗の理由等)は画面の下部のリストに表示されます。



§ 14. F A Q (よくある質問と回答)

Q 1. Windows のファイル格納先を示す文で「:」や「¥」記号の示す意味は？

A 1. 「:」記号は、ドライブ名の後ろに付く記号です。「C ドライブ」の場合は「C:」となります。また、「¥」記号は、フォルダー階層の区切り文字を意味します。

「C ドライブ」の直下 (C ドライブのルートフォルダー) は「C:¥」となります。

また、積算システムの規定のインストール先は (C ドライブの中の ADD21V2 フォルダー) は、「C:¥ADD21V2」となります。

また、「C ドライブ」の中の「ADD21V2」フォルダーの中の「My_SEKKEISYO」フォルダーの中にある内訳書ファイル「〇〇改修工事.zip」は、「C:¥ADD21V2¥My_SEKKEISYO¥〇〇改修工事.zip」となります。

なお、ネットワーク共有フォルダーの場合は、¥¥[コンピューター名]¥[共有フォルダー名]¥という形式になります。

(例) ネットワーク上の「SV1」というサーバの「共有」という名前の共有フォルダーの中の「test.xls」という Excel ファイルの場合 → ¥¥SV1¥共有¥test.xls

Q 2. 単価マスタファイルはどこに保存されていますか？

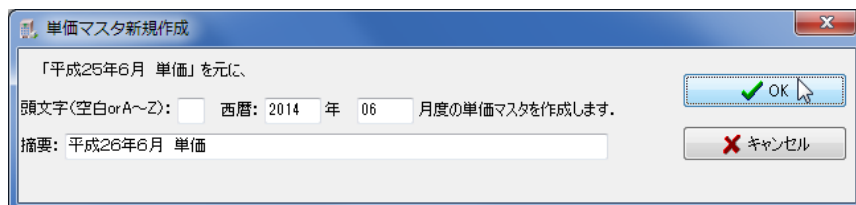
A 2. 積算システムインストールフォルダー→「MSTER」フォルダー→「MASTER_E」フォルダー (電気の場合) →「年月フォルダー」保存されています。

※Windows のファイル格納先を示す文で「:」や「¥」記号の示す意味は Q 1 を参照。

(例) 積算システムが C ドライブ内の ADD21V2 フォルダーにインストールされている場合における、平成 25 年 (2013 年) 6 月標準単価マスタの格納先。

(C:¥ADD21V2¥MSTER¥MASTER_E¥201306)

単価マスタ新規作成時に設定した内容 (頭文字・西暦年・月) 組み合わせになります。



Q 3. 単価マスタのバックアップ方法は？ また、バックアップしたファイルを復元する方法は？

A 3. バックアップは、単価マスタファイルの保存されているフォルダーを他のハードディスクなどに手作業でコピーして下さい。

(全部バックアップしたい場合は、C:¥ADD21V2¥MSTER¥MASTER_E を全てコピーして下さい。)

ファイル容量が大きいため、大容量のディスクにバックアップ保存して下さい。

また、バックアップファイルの復元は、バックアップしたファイルを同じフォルダーに手作業でコピーして下さい。

Q 4. メインメニューの[歩掛マスタ作成]とは何をするためのものですか？

A 4. 電気・電気単価マスタ作成作業で利用するものです。建築単価マスタ作成には使用しません。(現状、建築単価マスタ作成作業には対応していません。)

※歩掛マスタとは、労務費や労務経費に掛ける乗率・その他経費率などを掛けて、標準単価で歩掛コードを割り当ての上、歩掛を掛けた材工共になった「複合単価」を作成するためのものです。建築単価マスタ作成作業では、共通代価表で材料費・労務費・その他経費率などを掛けるという方法で歩掛を組むため、基本的に作業方法が異なります。

Q 5. なぜ、設備単価マスタ作成に関する項目が表示されているのか？ 設備単価作成システムでしか使用しない項目を建築単価マスタ作成時に非表示にすることは出来ないのか？

A 5. 当システムは、建築単価作成だけでなく、設備（電気及び電気）単価マスタ作成でも使用されています。設備単価マスタ（特に電気単価マスタ）は旧設備単価作成システムの仕様によりコード体系が厳格に規定されており、建築単価マスタの作成よりも自由が利かない部分があります。そのようなシステム仕様が現システムにも継承されているため、建築単価作成においても値を設定しなければ動作や計算等に影響を及ぼす項目となっていますので、非表示にすることは出来ません。

Q 6. 入力項目を変更したが、保存（計算）ボタンが使用できません（グレー表示になっている）。

A 6. 入力項目を変更後、Enter キーを押して確定し、次の入力項目へ移動して下さい。

Q 7. 基礎単価マスタの既存の単価コードを変更した場合、補足単価マスタや標準単価マスタの共通代価歩掛表で引き込みを行っている基礎単価コードはどうなりますか？

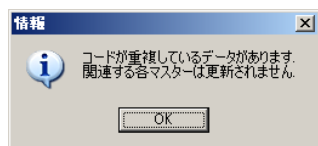
(補足単価マスタの既存の単価コードを変更した場合、標準単価マスタの共通代価歩掛表で引き込みを行っている補足単価コードはどうなりますか？)

A 7. 変更後の単価コードに自動的に置き換わります。但し、Q 9 のように重複単価コードがある場合は、重複を解消するまで自動的に置き換わりません。必ず、他の単価マスタの場合) の変更作業を行う前にコードの重複を解消して下さい。

Q 8. 建築単価マスタ作成で、シートテキストで入力した文字列を単価名称に連動は出来ますか？

A 8. 連動は出来ません。名称・規格・仕様の連動は、電気・電気単価のフォルダー及びシート構造で利用できますが、建築単価マスタのフォルダー及びシート構造では仕様上問題が発生いたします(フォルダー構造を更に細分化し、フォルダーに単価名称、シートに単価規格・仕様を割り当て直すなど、単価マスタの抜本的な構造変更が必要になります。また、連動処理を行うと、一部のフォルダー名称の変更により、その下層に入っている歩掛シートの名称への影響が出るなど、メンテナンスの手間が増大する場合がありますので、現状は連動処理を行っていません)。お手数ですが、シートテキストを入力後、コピー(ctrl+c キー)で Windows のクリップボードに記憶させ、名称を入力時に貼り付け(ctrl+v キー)して下さいますようお願いいたします。

Q 9. 各マスタの更新作業が終わって作業を終了する際、以下のメッセージが表示されます。対策方法は？



A 9. 重複する単価コードが存在するため、単価コードに自動的に置き換え作業が行えないことをお知らせするメッセージです。

各マスタの印刷画面で、「チェックリスト出力」のチェックボックスにチェックを入れ、「コードが重複」を選択の上、チェックリストを出力して確認の上、重複があるコードを解消して下さい。(必ず、他の単価マスタの変更作業を行う前にコードの重複を解消して下さい。)

Q10. 刊行物マスタのデータ移行作業時、CD からコピーした固定長テキストファイルと別に、作業フォルダーに「001_????」、「002_????」(????は固定長テキストファイル名) というように、固定長テキストファイル名の前に数字が付加されたファイルが作成されます。これは何ですか？

A10. 刊行物の固定長テキストファイルがフロッピーディスクに収録されていた時代では、フロッピーディスクの容量の都合上1枚に収まらないため、2枚に分かれてファイルが収録されていたときは、2枚とも同じファイル名で収録されていました。そのため、ファイル名が重複しないようにシステム上で「001_」「002_」を自動付加する処理をしています。その時の名残です。

Q11. 刊行物単価のテキストファイルは、CSV形式の読み込みは出来ますか？

A11. CSV形式の読み込みは出来ません。

Q12. 刊行物単価のテキストファイルは、名称有り・名称無しとも読み込み可能ですか？

A12. 名称有り・名称無しとも読み込み可能です。名称無しにした場合、基礎単価に反映した際に名称が表示されないため、本当に正しい刊行物単価が取り込まれたかを確認することは困難です。費用上の理由など、特別な理由がない場合は名称有りの固定長テキストファイルを取り込みしていただくことを推奨いたします。

Q13. 補足単価及び標準単価の似たような単価の共通代価歩掛を、一度に置き換えたい。

A13. 一度に置き換える機能はありません。お手数ですが、1歩掛シート毎に手作業で変更して下さい。

※他の歩掛シートをツリービュー上で[コピー]→[貼り付け]を行い、単価コードを変更し、名称及び規格・仕様などの変更を行った上で、代価歩掛の変更を行う方が容易な場合もありますので、作業を行いやすい方法で処理して下さい。

Q14. 今回の単価と以前の単価をシステム上で見比べたい。

A14. 単価マスタの選択(P21参照)にて、比較する作業単価マスタを開き直し、同じ単価コードを見比べて下さい。(システム上で同時に表示する機能はありません。単価表の印刷物などを併用して下さい。)

Q15. 配布単価マスタの作業フォルダー(「01元」・「02先」…等)を変更することは出来ますか？

A15. 出来ません。

Q16. 配布単価を直接フロッピーディスクに書き出すことは出来ますか？

A16. 一応可能ですが、推奨いたしません。確実に作業を行うことや無用なトラブルを防止するため、必ず本取扱説明書の手順で作業を行って下さい。

フロッピーディスクは容量が少なくかつ低速なメディアのため、稀にファイルの保存に失敗する場合があります。

なお、リムーバブルメディア等にコピーする場合も同様に、一旦ハードディスクに書き出してからコピーするようにして下さい。

Q17. 印刷処理に失敗します（エラーメッセージが表示されます）。

A17. ご使用のパソコンのシステムにプリンターが設定されていない場合、印刷に失敗します。

プリンターを必ず1台はシステムに設定して下さい。

プリンターを設定済みの場合は、コンピューターを再起動して様子を見て下さい。

※プリンターを接続していない場合でも、ダミーのプリンターで構いませんので、必ず1台はプリンターを設定して下さい。

Q18. Excel の計算処理・印刷処理で失敗します。

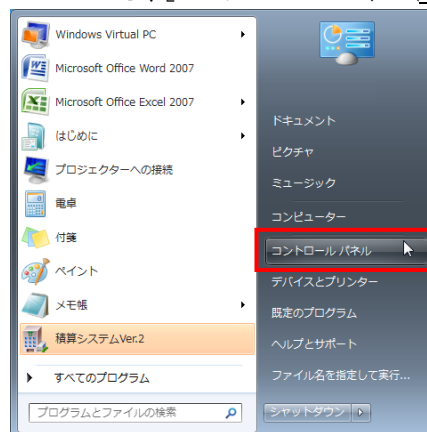
A18. Excel2007 の場合、SP3（サービスパック 3）以降、Excel2010 の場合は SP1 以降が適用されていることを確認して下さい。

※サービスパックとは、マイクロソフト社が Microsoft Office 製品の不具合解消や機能追加等を行うために無料で配布しているプログラムです。Microsoft Update やマイクロソフト社のサイトのダウンロード関連のページからダウンロードして適用して下さい。

※ 上記のサービスパックが適用されているにもかかわらず、正常に動作しない場合

①実行中のアプリケーションを全て終了して下さい。

②[スタート]メニューから、[コントロール パネル(C)]をクリックして下さい。

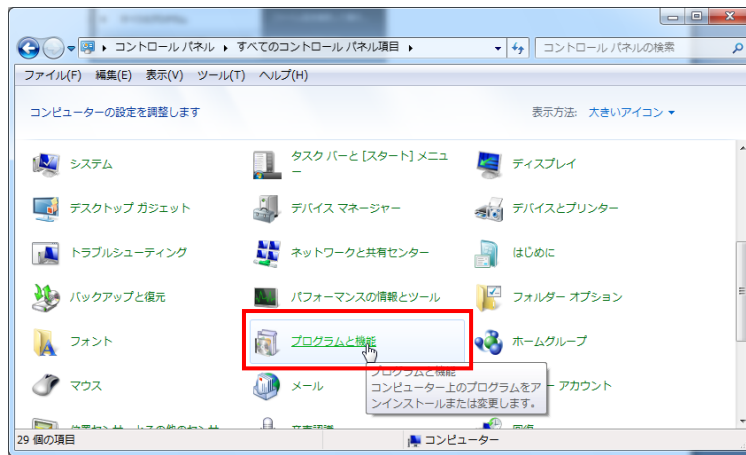


※Windows のバージョン及び設定により、表示方法が異なります。

- ③コントロールパネルの「プログラム」→「プログラムのアンインストール」または「プログラムと機能」をクリックして下さい。

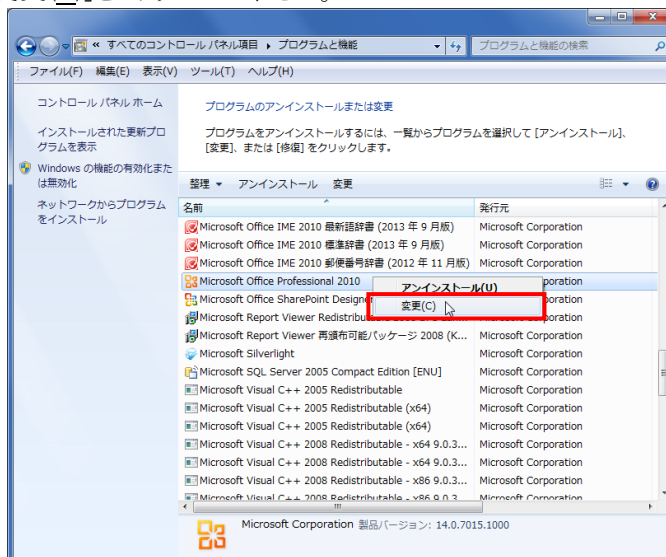


または



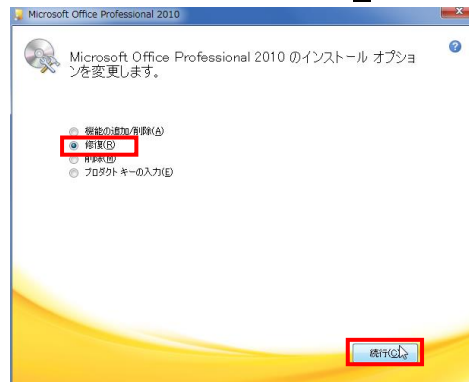
※Windows のバージョン及び設定により、表示方法が異なります。

- ④一覧から「Microsoft Office (エディション名・バージョン番号)」をクリックして選択し、右クリック→「変更(C)」をクリックして下さい。



※Windows のバージョン及び設定により、表示方法が異なります。

⑤インストールオプションの選択から[修復(R)]を選択し、続行(C)ボタンをクリックして下さい。



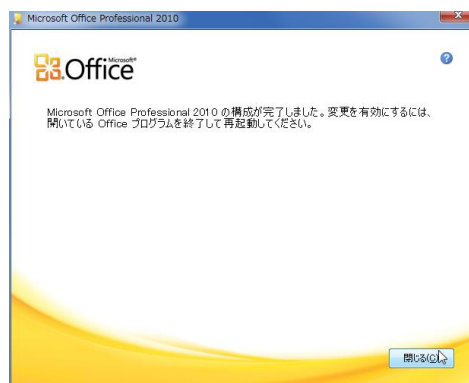
※Microsoft Office のバージョン及び設定により、表示方法が異なります。

⑥修復作業が完了するまでしばらくお待ち下さい。



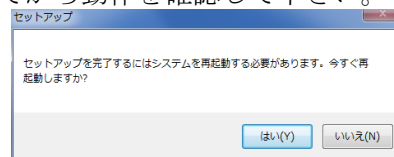
※Microsoft Office のバージョン及び設定により、表示方法が異なります。

⑦修復が完了しましたら、[閉じる(C)]ボタンをクリックして画面を閉じて下さい。



※Microsoft Office のバージョン及び設定により、表示方法が異なります。

⑧システムの再起動を促すメッセージが表示された場合は、[はい(Y)]ボタンをクリックし、再起動してから動作を確認して下さい。



それでも正常に動作しない場合は、Microsoft Office をコンピューターから一旦削除し、再インストールしてから動作を確認して下さい。